国立国語研究所学術情報リポジトリ

常用漢字の習得と指導 付・分類学習漢字表

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001280

国立国語研究所報告——106

常用漢字の習得と指導

付・分類学習漢字表

国立国語研究所

The National Language Research Institute

Research Report 106

ACQUISITION AND TEACHING OF JOYO KANJI

Appended: List of Classified Kanji to be Learned by School Children

Contents

Foreword

0. Outline of the Research
   (1) Aim and Constitution of the Research, Staff in Charge
   (2) Changes in Allocation of Kanji at Each Grade
   (3) Changes in Teaching Guidelines Concerning Teaching of Kanji at Elementary School and Junior High School Levels
1. Recent Trends of Kanji Acquisition by School Children and Junior High School Students
   (1) Outline of the Survey on Kanji Acquisition
   (2) Kanji Allocated at Each Grade and Its Acquisition
   (3) Longitudinal Comparison of Kanji Acquisition
   (4) Kanji Acquisition in Relation to the Number of Strokes and Frequency of Usage
   (5) *On-Kun* Reading and Kanji Acquisition
   (6) Kanji Acquisition Viewed from Error Analysis
2. Teaching of Kanji at Elementary Schools and Junior High Schools
   (1) Aim of the Survey
   (2) Outline of the Survey
   (3) Teachers Questioned
   (4) Results of the Survey (1); Teaching of Kanji in Japanese Language Classes
   (5) Results of the Survey (2); Teaching of Kanji in Classes of Other Subjects
   Appendix 1: Table Showing Answers to Questionnaire from Elementary School Teachers
   Appendix 2: Table Showing Answers to Questionnaire from Junior High School Teachers of Japanese Language
   Appendix 3: Table Showing Answers to Questionnaire from Junior High School Teachers of Other Subjects
3. Literature on Teaching of Kanji
   (1) Surveys on Kanji Acquisition by Elementary and Junior High School Children
   (2) Published Books
   (3) Articles in Academic Journals
4. List of Classified Kanji to be Learned By School Children
   Foreword
   (1) List of Classified Entries
   (2) List of Kanji
   (3) Index
   (4) List of Examples in Actual Use

刊行のことば

昭和56年度から，国立国語研究所を中心に，常用漢字の学習段階配当に関する研究を行いました。この研究に関しては，先に，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』（昭和63年）を公刊しました。その後，引き続き，児童・生徒の漢字習得に関する研究と，漢字の学習指導に関する研究とを行い，ここに，その成果を，『常用漢字の習得と指導』として公刊します。

この研究は，児童・生徒が漢字をどのように習得しているのかということを明らかにすることと，学校での漢字の学習指導の改善に役立てることとを目的として行ったものです。この報告書が教育の現場で広く活用されることを願ってやみません。

この研究の実施にあたり，調査校ならびに関係各位に格別のご協力とご配慮をいただきました。そして，第１章第３節の100字テストの利用にあたって，文部省初等中等教育局から許諾をいただきました。また，分類学習漢字表の語例一覧は，阪本一郎『新教育基本語彙』（学芸図書，昭和59年）の掲載語彙を利用したものですが，この利用にあたって，著作権者ならびに出版権者から許諾をいただきました。本書の刊行にあたり，これらの方々ならびに機関に厚くお礼を申し上げます。

この研究の担当については，序章第１節にあげましたが，この報告書の執筆には，序章から第３章までを島村直己があたり，分類学習漢字表は林大があたりました。そして，鮎澤孝子は分類学習漢字表の作成に協力しました。また，小高京子は第２章の付録集計表の作成と分類学習漢字表の作成に協力しました。

平成６年３月

国立国語研究所長　水　谷　　修

もくじ

刊行のことば……1

序　章　研究の概要……7

第1節　目的・構成・担当者……8

第2節　漢字の学習段階配当の変遷……9

第3節　小，中学校の学習指導要領における漢字の指導内容の変遷……15

(1) 小，中学校の学習指導要領……15

(2) 指導漢字……16

(3) 書写（筆順・字形指導を含む）……22

(4) 辞書指導……27

(5) 漢字の由来・構成等についての知識……28

(6) 送り仮名……30

(7) 漢字の活用……31

第1章　現代の児童・生徒の漢字習得の傾向……33

第1節　漢字の習得度調査の概要……34

(1) 漢字の習得度調査の構成……34

(2) 調査校……36

(3) 実施時期……36

(4) 調査方法……37

(5) 音訓のレベルの習得率，文字のレベルの習得率……37

第2節　配当学年と漢字習得……38

(1) 配当学年別平均習得率――到達度の場合――……38

(2) 1年後，2年後，4年後の場合……39

(3) 他の調査の場合……40

(4) 1年前の場合……42

第3節　漢字習得の経年比較……43

(1) 4つの事例……43

(2) 日教組調査……48

(3) 日教組調査の検証……51

第4節　画数・使用率と漢字習得……66

(1) 画数・使用率・学年配当……66

(2) 画数と習得率……70

(3) 使用率と習得率……77

第5節　音読み・訓読みと漢字習得 …… 80
(1) 音読みと訓読み …… 80
(2) 音訓と漢字習得 …… 85
(3) 漢字習得の機構 …… 91
第6節　誤答と漢字習得 …… 92
(1) 誤答分析 …… 92
(2) 読みの誤答分析 …… 94
1) 誤答のカテゴリー …… 94
2) コード3の解答の分析 …… 95
3) 誤答例 …… 97
(3) 書きの誤答分析 …… 99
1) 誤答のカテゴリー …… 99
2) コード3の解答の分析 …… 100
3) 誤答の構造 …… 101
第2章　小，中学校における漢字の学習指導の実態 …… 117
第1節　調査の目的 …… 118
第2節　調査の概要 …… 118
(1) 調査票 …… 118
小学校教師用 …… 119
中学校国語教師用 …… 125
中学校他教科教師用 …… 130
(2) 調査対象 …… 131
(3) 実施経過 …… 133
第3節　調査対象の教師 …… 136
第4節　国語の中での漢字の学習指導――調査の結果 (1)―― …… 142
(1) 漢字の学習指導の位置づけ …… 142
(2) 読みの指導 …… 145
(3) 書きの指導 …… 150
(4) 指導漢字 …… 155
(5) 指導音訓 …… 163
(6) 筆順指導 …… 167
(7) 部首指導 …… 171

(8) 字源指導……173
(9) 字形指導……174
(10) 辞書指導……177
(11) 他教科との関連指導 …… 181
(12) 漢字練習……182
(13) 漢字のテスト …… 183
(14) 字形の評価 …… 186
(15) 宿題……187
第5節　他教科における漢字の学習指導――調査の結果 (2)―― …… 189
付録1　小学校教師用アンケート集計表……194
付録2　中学校国語教師用アンケート集計表 …… 212
付録3　中学校他教科教師用アンケート集計表 …… 230
第3章　漢字の学習指導に関する文献目録……233
第1節　小，中学生の漢字習得に関する実態調査 …… 234
第2節　単行本……235
(1) 漢字の学習指導一般 …… 235
(2) 書写……237
(3) 石井方式・幼児の漢字教育 …… 237
第3節　雑誌論文 …… 238
(1) 漢字の学習指導一般 …… 238
(2) 書写……254
(3) 石井方式・幼児の漢字教育 …… 260
分類学習漢字表……263
まえがき……265
1　分類項目一覧 …… 267
2　本　表……271
3　索　引……286
4　語例一覧……318

序章

研究の概要

第1節　目的・構成・担当者

国立国語研究所では，科研費（文部省科学研究費補助金）の交付を受けて，常用漢字の学習段階配当に関する研究を行ってきた。この研究で交付を受けた科研費は，次の3つである。

総合研究（B）「『常用漢字の学習段階配当のための基礎的研究』にともなう研究計画の検討」
昭和56年（1981年）度，研究代表者：林大，課題番号：56305023

特定研究（1）「常用漢字の学習段階配当のための基礎的研究」
昭和57（1982）～59年（1984年）度，研究代表者：村石昭三，課題番号：57123111・58124026・59127012

一般研究（A）「漢字情報のデータベース化に基づく常用漢字の学習段階配当に関する研究」
昭和61（1986）～63年（1988年）度，研究代表者：村石昭三（昭和61・62年度），野村雅昭（昭和63年度），課題番号：61410011

本報告書で報告する研究のうち，第1章，第2章の研究および分類学習漢字表は，この常用漢字の学習段階配当に関する研究の成果である。そして，第3章は，この研究に関連して，次の科研費の交付を受けて行った研究の成果である。

奨励研究（A）「漢字の学習指導法に関する文献目録の作成とそれに基づいた漢字の学習指導法の分類」
平成元年（1989年）度，研究代表者：島村直己，課題番号：01710167

以下，本報告書の構成に従って，各研究の目的と担当者とについて簡単に述べることにする。

第1章　現代の児童・生徒の漢字習得の傾向

特定研究(1)「常用漢字の学習段階配当のための基礎的研究」で行った漢字の習得度調査の結果については，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』（昭和63年）に報告した。第1章は，主にこの調査の結果から，現代の児童・生徒の漢字習得の傾向について分析することを目的としている。担当者は，島村直己（言語教育研究部第1研究室室長）である。

第2章　小，中学校における漢字の学習指導の実態

一般研究(A)「漢字情報のデータベース化に基づく常用漢字の学習段階配当に関する研究」で行った漢字の学習指導に関するアンケート調査の報告である。担当者は，島村直己である。林大（名誉所員），斎賀秀夫（大妻女子大学教授），村石昭三（東京家政大学教授）が質問文の作成等において助言を与えた。そして，実施の際，川又瑠璃子（言語教育研究部第1研究室研究員）が作業を助けた。小高京子（言語教育研究部第1研究室研究員）は，付録の集計表の作成を助けた。また，アルバイタの田中志津子，渡辺陽子，中村弘子が，比較的長期にわたって作業を助けた。

第3章　漢字の学習指導に関する文献目録

奨励研究(A)「漢字の学習指導法に関する文献目録の作成とそれに基づいた漢字の学習指導法の分類」で行った漢字の学習指導法に関する文献調査の報告である。担当者は，島村直己である。アルバイタの田中志津子と渡辺陽子が，比較的長期にわたって作業を助けた。

分類学習漢字表

一般研究（A）「漢字情報のデータベース化に基づく常用漢字の学習段階配当に関する研究」で作成した『分類漢字表稿本』（林大担当，科研費報告書，1987年）の改訂増補である。担当者は，林大である。そして，この改訂増補を行うにあたって，鮎澤孝子（言語教育研究部部長）と小高京子が協力した。また，数名のアルバイタが作業を助けた。

以上について報告していくが，その前に，漢字の学習段階配当の変遷と，小，中学校の学習指導要領における漢字の指導内容の変遷とについて，本章の第2節と第3節とで見ておくことにする。

第2節　漢字の学習段階配当の変遷

昭和22年（1947年）3月公布の学校教育法の規定[1]によって，明治36年（1903年）4月の小学校令の改正以来行われていた教科書の国定制[2]は廃止され，検定制となった。当初は文部省著作の教科書（国定読本第6期）だけであったが，民間の検定教科書も使われ始め，ただちに次のことが問題となった[3]。

- 転校したばあい，他の児童の学んできた漢字と転校してきた児童の学んできた漢字が等しくないので困る。
- 新学年になって従来用いてきたものと違う教科書を採用すると，漢字指導の体系の調節がうまくできないので教師も児童も迷惑する。
- 他教科での使用漢字と国語の教科書の提出漢字との間に連絡がないので，総合的な漢字の指導がうまくできない。
- 児童の課外読み物に出てくる漢字と学習漢字との間に連絡がないので，読書意欲の向上をさまたげる。

そのため，文部省内に漢字学習指導研究会が設けられて，漢字の学年配当についての検討が行われた[4]。その結果，小学校学習指導要領に，昭和33年（1958年）の改訂版から，「学年別漢字配当表」が掲載されるようになった。以下に，小学校（尋常小学校）の漢字の学年配当に関する戦前からの主な基準をあげる[5]。

Ⅰ	国定読本第1期（イエスシ）	明治37年（1904年）度使用開始
Ⅱ	国定読本第2期（ハタタコ）	明治43年（1910年）度使用開始
Ⅲ	国定読本第3期（ハナハト）	大正7年（1918年）度使用開始
Ⅳ	国定読本第4期（サクラ）	昭和8年（1933年）度使用開始
Ⅴ	国定読本第5期（アサヒ）	昭和16年（1941年）度使用開始
Ⅵ	国定読本第6期（みんないいこ）[6]	昭和22年（1947年）度使用開始
Ⅶ	小学校学習指導要領	昭和33年（1958年）改訂，昭和36年（1961年）度実施
Ⅷ	小学校学習指導要領	昭和43年（1968年）改訂，昭和46年（1971年）度実施
Ⅸ	小学校学習指導要領	昭和52年（1977年）改訂，昭和55年（1980年）度実施
Ⅹ	小学校学習指導要領	平成元年（1989年）改訂，平成4年（1992年）度実施

表2-1　小学校の学年別配当漢字数の推移

	実施年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合　計
Ⅰ 国定読本第1期	明治37年度	10	73	161	256	152	202	854
Ⅱ 国定読本第2期	明治43年度	34	119	268	351	313	275	1,360
Ⅲ 国定読本第3期	大正7年度	49	173	307	343	262	232	1,366
Ⅳ 国定読本第4期	昭和8年度	82	234	336	298	215	197	1,362
Ⅴ 国定読本第5期	昭和16年度	129	276	244	225	234	193	1,301
Ⅵ 国定読本第6期	昭和22年度	50	98	150	144	133	109	684
Ⅶ 小学校学習指導要領	昭和36年度	46	105	187	205	194	144	881
Ⅷ 小学校学習指導要領	昭和46年度	46	105	187	205	194	144	881
		76	145	195	195	195	190	996
Ⅸ 小学校学習指導要領	昭和55年度	76	145	195	195	195	190	996
Ⅹ 小学校学習指導要領	平成4年度	80	160	200	200	185	181	1,006

注）Ⅷは，上段が書きの配当漢字数，下段が読みの配当漢字数。

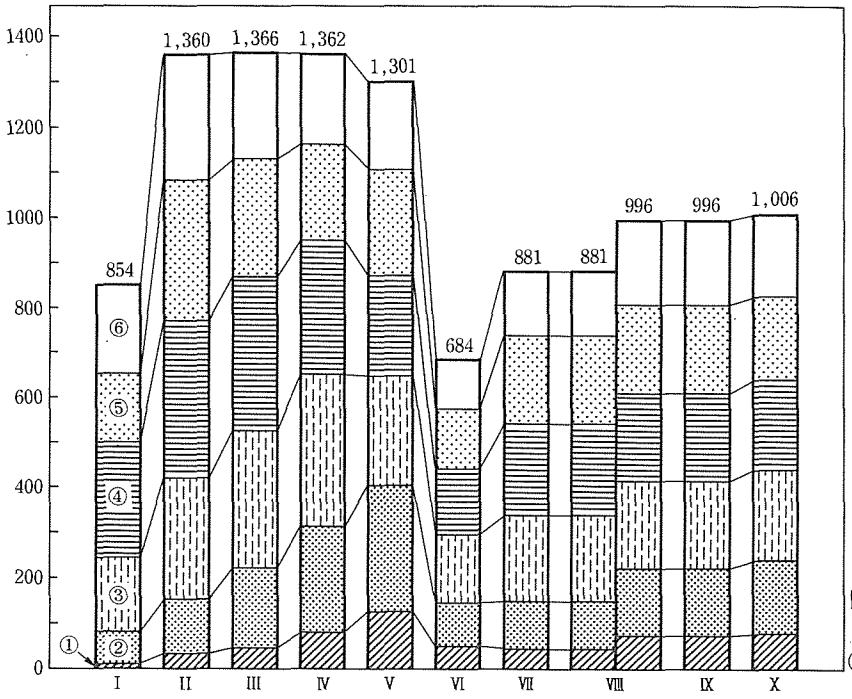


図2-1　小学校の配当漢字数の推移
①～⑥は配当学年

表2－1は，この10の基準のそれぞれについて，配当漢字数を学年別に示したものである。そして，図2－1は，それをグラフに表したものである。国定読本の提出漢字数については各期の編纂趣意書等に記載されていたりするが，戦前からいくつか誤りのあることが指摘されている[7]。ここでは，高梨信博の調査[8]にもとづいた。そして，第1期の時期は小学校尋常科の修業年限が4年であるので，高梨にならい，高等科第1・第2学年を，尋常科第5・第6学年とみなして他の時期と比較した。

国定読本の中では，第1期と第6期が比較的少ない。第6期は，戦後すぐの漢字制限の思潮を反映していると見ることができるだろう。義務教育用の漢字として当用漢字別表881字が告示されたの

は，昭和23年（1948年）のことである。昭和22年（1947年）度使用開始の第６期は，この当用漢字別表881字すら全部含んでいない。それに対して，第１期は，「配当漢字の字数はすくないといっても，ふりがなつきでもちいられている配当外漢字の数が多く，漢字の使用について全体的に制限するという性格のものでな」[9]かった。そして，第２期から第５期は，1,300字台で安定している。

小学校学習指導要領は，昭和33年（1958年）の改訂で，当用漢字別表881字が学年別漢字配当表に掲載され，小学校で学習することとなった。昭和43年（1968年）の改訂で，115字が学年別漢字配当表の「備考」として付け加えられ，小学校に配当された漢字の数は，実質的に，996字となった[10]。そして，昭和52年(1977年)の改訂で，この備考の漢字115字が組み込まれ，学年別漢字配当表に996字が掲載されるようになった。その後，昭和56年（1981年）の常用漢字表の公布にともない，学年別漢字配当表の根本的な見直しが行われ[11]，平成元年（1988年）の改訂で，1,006字が掲載されるようになった。

さて，児童の漢字の学習負担を見るために，国語の授業時間との関係を見ることにしよう[12]。有本良彦の調査[13]に従って，戦前からの小学校の国語の授業時数に関する主な基準をあげると，次のようなものがある。

(1)　小学校令施行規則　　明治33年（1900年）公布，明治34年（1901年）度実施
(2)　小学校令施行規則中改正　　明治40年（1907年）公布，明治41年（1908年）度実施
(3)　小学校令施行規則中改正　　大正８年（1919年）公布，大正８年（1919年）度実施
(4)　小学校令施行規則中改正　　大正15年（1926年）公布，昭和２年（1927年）度実施
(5)　国民学校令施行規則　　昭和16年（1941年）公布，昭和16年（1941年）度実施
(6)　学習指導要領一般編（試案）昭和22年（1947年）発行，昭和22年（1947年）度実施
(7)　学校教育法施行規則中改正　昭和33年（1958年）公布，昭和36年（1961年）度実施
(8)　学校教育法施行規則中改正　昭和43年（1968年）公布，昭和46年（1971年）度実施
(9)　学校教育法施行規則中改正　昭和52年（1977年）公布，昭和55年（1980年）度実施
(10)　学校教育法施行規則中改正　平成元年（1989年）公布，平成４年（1992年）度実施

表２－２は，この10の基準のそれぞれについて，国語の授業時数を学年別に示したものである[14]。図２－２は，年間授業時数をグラフに表したものである。(1)から(4)までは総時数が2,000を超えている。(6)がいちばん少なく，戦後すぐの経験主義教育の影響を示していると言えるだろう。(5)と(7)～(10)は総時数が1,600ほどでだいたい同じである。ただし，(9)はその中ですこし少ない。

表２－３は，漢字の学年配当の基準のⅠ～Ⅹについて，１漢字あたりの学習時間（分）を学年別に示したものである。図２－３は，それをグラフに表したものである。戦前（(1)～(5)）および(6)には，週当りの授業時数しか示されていないので，(7)～(10)と同じように，１単位時間を45分とし[15]，年間授業日数を第１学年は34週，第２学年以上は35週として計算した。Ⅰがいちばん学習時間が多く，132.3分である。ただし，上述のように，Ⅰ（第１期）は，「ふりがなつきでもちいられている配当外漢字の数が多」いということに注意する必要がある。Ⅱ・Ⅵ・Ⅶが80分台で続き，Ⅲ・Ⅳ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹが70分ほどであり，Ⅴがいちばん少なく，56.6分である。

表2-2　小学校の国語の授業時数の推移　　（上段：年間授業時数，下段：毎週授業時数）

	実施年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
(1) 小学校令施行規則	明治34年度	340 10	420 12	525 15	525 15	350 10	350 10	2,510 72
(2) 小学校令施行規則中改正	明治41年度	340 10	420 12	490 14	490 14	350 10	350 10	2,440 70
(3) 小学校令施行規則中改正	大正8年度	340 10	420 12	420 12	420 12	315 9	315 9	2,230 64
(4) 小学校令施行規則中改正	昭和2年度	340 10	420 12	420 12	420 12	315 9	315 9	2,230 64
(5) 国民学校令施行規則	昭和16年度	272 8	315 9	280 8	280 8	245 7	245 7	1,637 47
(6) 小学校学習指導要領（試案）	昭和22年度	170 5	210 6	210 6	245 7	210～245 6～7	210～280 6～8	1,255～1,360 36～39
(7) 学校教育法施行規則中改正	昭和36年度	238 7	315 9	280 8	280 8	245 7	245 7	1,603 46
(8) 学校教育法施行規則中改正	昭和46年度	238 7	315 9	280 8	280 8	245 7	245 7	1,603 46
(9) 学校教育法施行規則中改正	昭和55年度	272 8	280 8	280 8	280 8	210 6	210 6	1,532 44
(10) 学校教育法施行規則中改正	平成4年度	306 9	315 9	280 8	280 8	210 6	210 6	1,601 46

注）　(1)～(6)は，毎週授業時数しかあげられていないが，第1学年は34週，第2学年以降は35週として計算した。

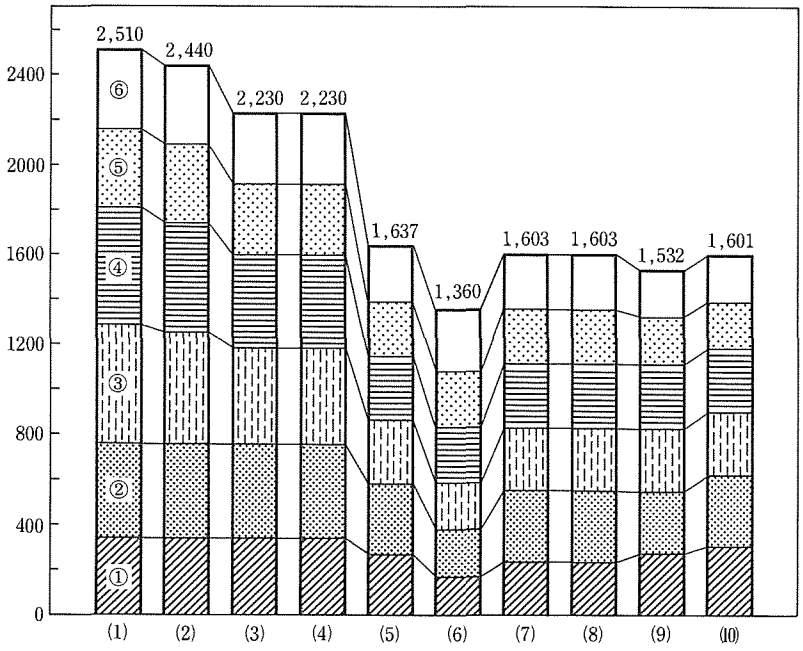


図2-2　小学校の国語の年間授業時数の推移

表2-3　小学校での１漢字あたりの学習時間の推移（ 分 ）

	授業時数の基準	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全　体
Ⅰ 国定読本第１期	(1)	1530.0	258.9	146.7	92.3	103.6	78.0	132.3
Ⅱ 国定読本第２期	(2)	450.0	158.8	82.3	62.8	50.3	57.3	80.7
Ⅲ 国定読本第３期	(3)	312.2	109.2	61.6	55.1	54.1	61.1	73.5
Ⅳ 国定読本第４期	(4)	186.6	80.8	56.3	63.4	65.9	72.0	73.7
Ⅴ 国定読本第５期	(5)	94.9	51.4	51.6	56.0	47.1	57.1	56.6
Ⅵ 国定読本第６期	(6)	153.0	96.4	63.0	76.6	71.1～ 82.9	86.7～ 115.6	82.6～ 89.5
Ⅶ 小学校学習指導要領	(7)	232.8	135.0	67.4	61.5	56.8	76.6	81.9
Ⅷ 小学校学習指導要領	(8)	232.8 140.9	135.0 97.8	67.4 64.6	61.5 64.6	56.8 56.5	76.6 58.0	81.9 72.4
Ⅸ 小学校学習指導要領	(9)	161.1	86.9	64.6	64.6	48.5	49.7	69.2
Ⅹ 小学校学習指導要領	(10)	172.1	88.6	63.0	63.0	51.1	52.2	71.6

注）授業時数の１単位時間を45分として計算した。なお，Ⅷは，上段が書きの１漢字あたりの学習時間，下段が読みの１漢字あたりの学習時間。

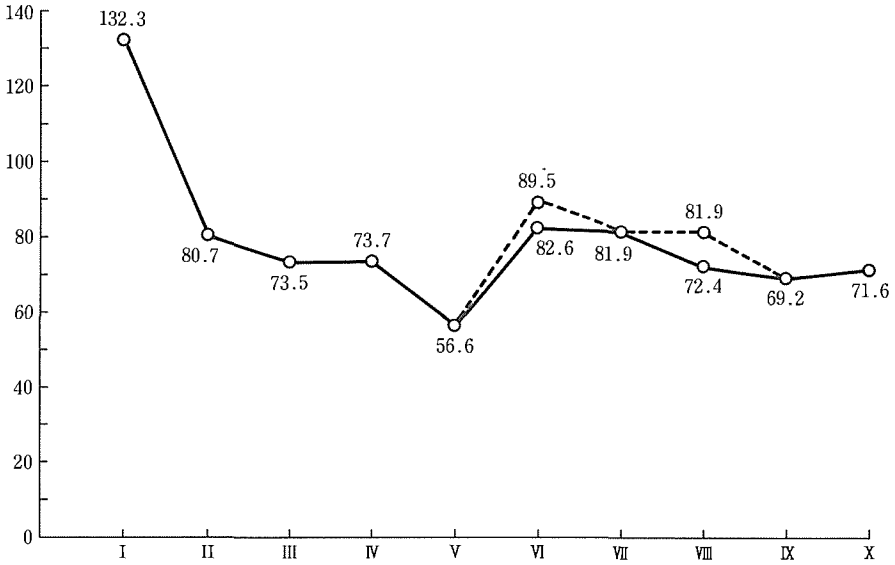


図2-3　１漢字あたりの学習時間の推移

注

1）昭和22年（1947年）３月公布の学校教育法の第21条に，「小学校においては，監督庁の検定若しくは認可を経た教科用図書又は監督庁において著作権を有する教科用図書を使用しなければならない。」と規定された。

2）明治36年（1903年）４月の小学校令の改正によって，「小学校ノ教科用図書ハ文部省ニ於テ著作権ヲ有スルモノタルヘシ」（第24条）と規定され，教科書の国定制が発足した。（実施は，明治37年度。）

3）文部省『教育漢字の学年配当』教育出版，昭和32年（1957年），２頁

4）この漢字学習指導研究会の検討結果については，

文部省『国語シリーズ24　漢字の学年配当（昭和27・28年度調査報告）』明治図書，昭和30年（1955年）

文部省『教育漢字の学年配当』教育出版，昭和32年（1957年）

に報告されている。また，

塩田紀和「教育漢字の学年配当について」，『文部時報』962号，昭和32年（1957年）

が簡潔に解説している。

5）明治33年（1900年）公布の「小学校令施行規則」には，「尋常小学校ニ於テ教授ニ用フル漢字ハ成ルヘク第三号表に掲クル文字ノ範囲内ニ於テ之ヲ選フヘシ」という方針のもとに，1,200字の漢字が示されている。また，昭和26年改訂の小学校学習指導要領には，「国語能力表」が掲載されていて，漢字については次のように字数のみ示されている。

（読　み）

第1学年　漢字は，だいたい30字ぐらい読むことができる。

第2学年　漢字は，だいたい130字ぐらい読むことができる。

第3学年　漢字は，だいたい280字ぐらい読むことができる。

第4学年　漢字は，だいたい460字ぐらい読むことができる。

第5学年　漢字は，だいたい680字ぐらい読むことができる。

第6学年　漢字は，だいたい当用漢字別表を中心とした881字程度の文字が読める。

（書　き）

第1学年　読める漢字のだいたいが書ける。

第2学年　読める漢字のだいたいが書ける。

第3学年　読める漢字のだいたいが書ける。

第4学年　読める漢字のだいたいが書ける。

第5学年　読める漢字のだいたいが書ける。

第6学年　読める漢字のだいたいが書ける。

6）上述のように，昭和22年（1947年）3月公布の学校教育法の規定によって，教科書は検定制となった。そのため，昭和22年度使用開始のこの国定読本第6期は，厳密には文部省著作の教科書と言うべきであるが，慣例に従った。

7）たとえば，次のものが誤りを指摘している。

森本角蔵『中学校ニ入学セル当初ノ生徒ノ漢字ニ関スル知識ノ調査』中等教育研究会，大正6年（1917年）

岡崎常太郎『漢字制限の基本的研究』松邑三松堂，昭和13年（1938年）

8）次の文献を参照。

高梨信博「国語教科書の漢字――忍耐・鍛錬・謙遜・賠償・壱・弐――」，『言語生活』410号，昭和61年（1986年）

高梨信博「国語教科書の漢字」，佐藤喜代治編『＜漢字講座8＞近代日本語と漢字』明治書院，昭和63年（1988年）

高梨信博「付録　小学校学年別配当漢字の変遷表」，佐藤喜代治編『＜漢字講座12＞漢字教育』明治書院，昭和63年（1988年）

9）高梨信博「国語教科書の漢字」，昭和63年（1988年），263頁

10）この改訂の経緯については，

輿水実編『小学校学習指導要領の展開　国語科編』明治図書，昭和49年（1974年）

に説明されている。

11）昭和56年（1981年）に告示された常用漢字表は，国語審議会から答申される際，「義務教育期間における漢字の指導については，常用漢字表に掲げる漢字のすべてを対象としなければならないとするものではなく，その扱いについては，従来の漢字の教育の経緯を踏まえ，かつ，児童生徒の発達段階に十分配慮した，別途の教育上の適切な措置にゆだねることとする。」と前文に書かれ，そして，常用漢字表の告示と同時に，それまで学年別漢字配当表の根拠となっていた当用漢字別表が廃止された。

12）このような分析は，宮島達夫ほか『図説日本語』角川書店，昭和57年（1982年），234～235頁でも行われているが，国定読本の漢字数を編纂趣意書等にもとづいて計算していることなどのため，改めて計算し直した。

13）有本良彦「Ⅰ　小学校の国語・社会・算数関係教科目の学習時間の歴史的比較」，文部省初等中

等教育局高等学校教育課委嘱研究報告書『小学校における各教科の内容に関する「歴史的研究」』昭和55年（1980年）による。なお，原資料は，(1)〜(4)については，

教育史編纂会『明治以降教育制度発達史（全13巻別巻索引１）』教育資料調査会，１〜13巻，昭和13年（1938年）〜昭和14年（1939年），別巻，昭和40年（1965年）

に，そして，(5)については，

近代日本教育制度史料編纂会『近代日本教育制度史料』第２巻，講談社，昭和31年（1956年）

に収録されている。また，学習指導要領については，昭和26年改訂版までは，

国立教育研究所内戦後教育改革史料研究会編『文部省学習指導要領』日本図書センター，昭和56年（1981年）

に復刻されている。昭和33年改訂版・昭和43年改訂版については，次の復刻がある。

『文部省学習指導要領　告示編』日本図書センター，昭和61年(1986年)

14）小学校令施行規則（明治33年）が制定されるまでの基準として，次のものがある。

小学教則・小学教則概表	明治５年（1872年）
小学教則綱領	明治14年（1881年）
小学校ノ学科及其程度	明治19年（1886年）
小学教則大綱・小学校各教科毎週時間配当一例	明治24年（1891年）

なお，学校教育法施行規則は昭和22年（1947年）に定められたが，当初は授業時数の規定を欠いていた。「小学校の各学年における各教科及び道徳の授業時数は，別表第一に定める授業時数を下ってはならない。」（第24条の２）というようにこの規定が掲載されるのは，昭和33年（1958年）の改正によってである。そして，この別表第一の備考として，

一　この表の授業時数の一単位時間は，四十五分とする。

二　かっこ内の授業時数は，年間授業日数を三十五週（第一学年については三十四週）とした場合における週当りの平均授業時数とする。

という２つのことが定められた。（ただし，現在では，二にあたることは，学習指導要領にあげられている。）

なお，小学校学習指導要領昭和26年改訂版では，国語は算数とあわせて，第１〜第４学年は全体の45〜40%，第５・第６学年は全体の40〜35%，というように割合しか示されていない。そのため，表２－２から除いた。

15）戦前（(1)〜(5)）および(6)の中で１単位時間あたりの実際の時間を示しているものは，(5)の国民学校令施行規則だけであって，「一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス」と定めている。しかし，おおよその比較をするため，(1)〜(6)についても，(7)〜(10)に合わせた。

第３節　小，中学校の学習指導要領における漢字の指導内容の変遷

(1) 小，中学校の学習指導要領

小，中学校の学習指導要領にもとづいて，漢字の指導内容の変遷を簡単に見ておくことにする。ただし，小学校学習指導要領に学年別漢字配当表が掲載された昭和33年（1958年）の改訂版以後の以下のものに限定する[1]。

小学校学習指導要領

昭和33年（1958年）改訂版	昭和33年（1958年）改訂，昭和36年（1961年）度実施
昭和43年（1968年）改訂版	昭和43年（1968年）改訂，昭和46年（1971年）度実施
昭和52年（1977年）改訂版	昭和52年（1977年）改訂，昭和55年（1980年）度実施
平成元年（1989年）改訂版	平成元年（1989年）改訂，平成４年（1992年）度実施

中学校学習指導要領

昭和33年（1958年）改訂版　　昭和33年（1958年）改訂，昭和37年（1962年）度実施
昭和44年（1969年）改訂版　　昭和44年（1969年）改訂，昭和47年（1972年）度実施
昭和52年（1977年）改訂版　　昭和52年（1977年）改訂，昭和56年（1981年）度実施
平成元年（1989年）改訂版　　平成元年（1989年）改訂，平成５年（1993年）度実施

小学校学習指導要領，中学校学習指導要領とも，昭和33年改訂版・昭和43年（44年）改訂版では，

A　聞くこと，話すこと
B　読むこと
C　書くこと
D　ことばに関する事項

の３領域１事項に内容が分かれ，漢字の指導は，「B　読むこと」「C　書くこと」と「D　ことばに関する事項」で扱われている。そして，昭和52年改訂版・平成元年改訂版では，

言語事項
A　表現
B　理解

の１事項２領域に改められ，漢字の指導は，書写の指導とともに「言語事項」にあげられている。以下，主に「内容」の記述[2]にもとづいて，次の６つに分けて，小，中学校の学習指導要領における漢字の指導内容の変遷について見ることにする[3]。

指導漢字
書写（筆順・字形指導を含む）
辞書指導
漢字の由来・構成等についての知識
送り仮名
漢字の活用

注
1）学習指導要領は，昭和22年（1947年）に初めて出され，昭和26年（1951年）に改訂された。ただし，両者とも「(試案)」という文字が付けられていた。学校教育法施行規則の規定によって文部省告示となるのは，昭和33年（1958年）の改訂版からである。
2）学習指導要領は，学年別に記述されている。そして，「目標」「内容」「内容の取り扱い」に分かれ，「内容」が「領域」と「事項」とに分かれている。
3）このようなことは，以下の文献でも行われているが，本報告書では，資料としての性格を中心にまとめることにする。
茨城大学大学院国語教育専修生『学習指導要領国語科通時的対照・系統表』平成２年（1990年）
飛田多喜雄・小林一仁『中学校国語科新旧学習指導要領の対比と考察』明治図書，平成元年（1989年）
藤原宏『小学校国語科新旧学習指導要領の対比と考察』明治図書，平成元年（1989年）

(2) 指導漢字

指導漢字については，学年別漢字配当表に定められている。ただし，学習指導要領の本文の記述

では，学年別漢字配当表が初めて掲載された昭和33年改訂版のときから，指導漢字数について幅を持たせた記述がなされている。これは，学年別漢字配当表が，「この学年配当は，なお研究を要するものであり，国語科をはじめとして全教科の学習指導上ならびに教科書編集上に影響するところが大きいから，ある程度の幅を持たせるなど，その取り扱いは慎重を要する。」として教育課程審議会から答申（昭和31年５月17日）されたことによる[1)]。

なお，指導音訓については，学習指導要領には何も述べられていないが，昭和33年の小学校学習指導要領の改訂時の担当教科調査官であった木藤才蔵は，問いに答えるという形式で次のように述べている[2)]。

問　教育漢字[3)]は，その字の配当されている学年で，音訓のすべてを指導しなければならないものか。

答　教育漢字は，その字が配当されている学年で，その字の音または訓の一つが指導されればよいことを前提に置いて配当されている。したがって，その字が配当された学年で，その字の音または訓のすべてを指導する必要はないが，いったん指導し始めた字は，それ以後できるだけ機会を求めて，その字のさまざまな使い方に関する指導をする。そして，中学三年までには教育漢字八八一字の音訓のすべてが，使いこなせるように指導に努めることが必要である。

しかし，当用漢字音訓表の改訂（昭和48年）にともなって音訓配当が行われ[4)]，そして，平成元年の学習指導要領の改訂にともない，音訓配当の改訂も行われている[5)]。

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　学年別漢字配当表の第１学年に配当されている漢字を中心とした40～50字ぐらいを読み，そのだいたいを書くこと。

第２学年　学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を中心とした140～160字ぐらいを読み，そのだいたいを書くこと。

第３学年　学年別漢字配当表の第３学年までに配当されている漢字を中心とした310～350字ぐらいを読み，そのだいたいを書くこと。

第４学年　学年別漢字配当表の第４学年までに配当されている漢字を中心とした500～550字ぐらいを読み，そのだいたいを書くこと。

第５学年　学年別漢字配当表の第５学年までに配当されている漢字を中心とした680～740字ぐらいを読み，そのだいたいを書くこと。

第６学年　学年別漢字配当表の第６学年までに配当されている漢字を中心とした800～881字ぐらいを読み，そのだいたいを書くこと。

〔昭和43年改訂版〕

第１学年　別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字を含めて，70字ぐらいの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の第１学年に配当されている漢字を主として，40字ぐらいの漢字を書くこと。

学年別漢字配当表の第１学年に配当されている漢字以外の漢字を指導する場合は，第２学年に配当されている漢字のうちから選ぶものとする。その際，＊印を付した漢字を含めるように考慮するものとする。

第２学年　学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を含めて，220字ぐらいの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字を主として，140字ぐらいの漢字を書くこと。

学年別漢字配当表の第２学年までに配当されている漢字以外の漢字を指導する場合は，第３学年に配当されている漢字のうちから選ぶものとする。その際，＊印を付した漢字を含めるように考慮するものとする。

第３学年　学年別漢字配当表の第３学年までに配当されている漢字を含めて，410字ぐらいの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の第３学年までに配当されている漢字を主として，310字ぐらいの漢字を書くこと。

学年別漢字配当表の第３学年までに配当されている漢字以外の漢字を指導する場合は，第４学年に配当されている漢字のうちから選ぶものとする。その際，＊印を付した漢字を含めるように考慮するものとする。

第４学年　学年別漢字配当表の第４学年までに配当されている漢字を含めて，610字ぐらいの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の第４学年までに配当されている漢字を主として，500字ぐらいの漢字を書くこと。

学年別漢字配当表の第４学年までに配当されている漢字以外の漢字を指導する場合は，第５学年に配当されている漢字のうちから選ぶものとする。その際，＊印を付した漢字を含めるように考慮するものとする。

第５学年　学年別漢字配当表の第５学年までに配当されている漢字を含めて，800字ぐらいの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の第５学年までに配当されている漢字を主として，680字ぐらいの漢字を書くこと。

学年別漢字配当表の第５学年までに配当されている漢字以外の漢字を指導する場合は，第６学年に配当されている漢字のうちから選ぶものとする。その際，＊印を付した漢字を含めるように考慮するものとする。

第６学年　当用漢字別表の漢字を読み，また，当用漢字別表以外の当用漢字を120字ぐらい読むこと。

当用漢字別表の漢字を主として，当用漢字のうち800字ぐらいの漢字を書くこと。

当用漢字別表の漢字以外の当用漢字を指導する場合は，学年別漢字配当表の備考に示す漢字を含めるように考慮するものとする。

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字のうち，70字ぐらいの漢字を読み，その大体を書くこと。

第２学年　学年別漢字配当表の第１学年及び第２学年に配当されている漢字のうち，220字ぐらいの漢字

を読み，その大体を書くこと。

第３学年　学年別漢字配当表の第１学年から第３学年までに配当されている漢字のうち，410字ぐらいの漢字を読み，その大体を書くこと。

第４学年　学年別漢字配当表の第１学年から第４学年までに配当されている漢字のうち，610字ぐらいの漢字を読み，その大体を書くこと。

第５学年　学年別漢字配当表の第１学年から第５学年までに配当されている漢字のうち，800字ぐらいの漢字を読み，その大体を書くこと。

第６学年　学年別漢字配当表の第１学年から第６学年までに配当されている漢字を含めて1,000字ぐらいの漢字を読み，その大体を書くこと。

〔平成元年改訂版〕

第１学年　別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第１学年に配当されている漢字を主として，それらの漢字を読みその大体を書くこと。

第２学年　学年別漢字配当表の第１学年及び第２学年に配当されている漢字を主として，それらの漢字を読みその大体を書くこと。

第３学年　学年別漢字配当表の第１学年から第３学年までに配当されている漢字を主として，それらの漢字を読みその大体を書くこと。

第４学年　学年別漢字配当表の第１学年から第４学年までに配当されている漢字を主として，それらの漢字を読みその大体を書くこと。

第５学年　学年別漢字配当表の第１学年から第５学年までに配当されている漢字を主として，それらの漢字を読みその大体を書くこと。

第６学年　学年別漢字配当表の第１学年から第６学年までに配当されている漢字を主として，それらの漢字を読みその大体を書くこと。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　当用漢字別表の漢字の読みに慣れ，その他のおもな当用漢字が読めるように努めること。

当用漢字別表の漢字の全部が書けるように努め，表記のしかたに注意し，くぎり符号などを正しく使うこと。

第２学年　当用漢字別表以外のおもな当用漢字が読めるようになること。

当用漢字別表の漢字の全部が書け，表記のしかたに慣れ，くぎり符号などを適切に使うこと。

第３学年　当用漢字別表以外のおもな当用漢字に読み慣れること。また，その他の当用漢字も読めるように努めること。

当用漢字別表の漢字を使いこなすこと。

〔昭和44年改訂版〕

第１学年　当用漢字別表の漢字および小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表の備考に示す漢字（以下この節において「備考の漢字」という。）の読みに慣れ，さらにその他の当用漢字を250字ぐらいから350字ぐらいまで読むこと。

当用漢字別表の漢字および備考の漢字のうち，900字程度の漢字を書くこと。なお，それ以外に上記アで学習した当用漢字についても，必要な場合，適切に用いるように努めること。

第２学年　第１学年で学習した当用漢字の読みに慣れ，さらにその他の当用漢字を300字ぐらいから400字

ぐらいまで読むこと。

当用漢字別表の漢字および備考の漢字を主として，1,000字程度の当用漢字を書くこと。なお，それ以外に上記アで学習した当用漢字についても，必要な場合，適切に用いるように努めること。

第３学年　第２学年までに学習した当用漢字の読みに慣れるとともに，その他の当用漢字を読むこと。

当用漢字別表の漢字および備考の漢字を主として，1,000字程度の当用漢字を使いこなすこと。なお，それ以外に上記アで学習した当用漢字も，必要な場合，適切に用いるように努めること。

〔昭和52年改訂版[6]〕

第１学年　小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示す漢字の読みに慣れ，更にその他の常用漢字を250字ぐらいから300字ぐらいまで読むこと。

学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書くこと。なお，それ以外に上記アで学習した常用漢字についても，必要な場合，適切に用いるように努めること。

第２学年　第１学年で学習した常用漢字の読みに慣れ，更にその他の常用漢字を300字ぐらいから350字ぐらいまで読むこと。

学年別漢字配当表の漢字を主として，1,000字程度の漢字を書くこと。なお，それ以外に上記アで学習した常用漢字についても，必要な場合，適切に用いるように努めること。

第３学年　第２学年までに学習した常用漢字の読みに慣れ，更にその他の常用漢字の大体も読むこと。

学年別漢字配当表の漢字を主として，1,000字程度の常用漢字について使い慣れること。なお，それ以外に上記アで学習した常用漢字についても，必要な場合，適切に用いるように努めること。

〔平成元年改訂版〕

第１学年　小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示す漢字の読みに慣れ，更にその他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文章の中で適切に使うようにすること。

第２学年　第１学年で学習した常用漢字の読みに慣れ，更にその他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読むこと。

学年別漢字配当表の漢字を身に付け，文章の中で適切に使うようにすること。

第３学年　第２学年までに学習した常用漢字の読みに慣れ，更にその他の常用漢字の大体も読むこと。

学年別漢字配当表に示されている漢字について使い慣れ，漢字を文章の中で適切に使うようにすること。

指導計画の作成および内容の取り扱いに関しては，以下のように記述されている。

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

ことばに関する事項は，聞き，話し，読み，書く活動の中に含めて指導するのを原則とする。しかし，発音とか文字などのように，くり返して，練習をさせることが必要なものについては，特にそれだけを取り上げて学習させることができるように計画を立ててもよい。

〔昭和43年改訂版〕

内容の指導に当たっては，児童の必要と能力に応じて話題や題材を選定し，聞き，話し，読み，書く活動に有機的な関連をもたせ，それらの活動が総合的に展開されるよう計画することを原則とすること。その場合，目標を明確にし，指導の中心をはっきりさせておくことが必要であること。なお，作文および書写の指導については，学級の実態や指導の効果を考慮して，特にそれだけを取り上げて指導するほうがよいと考える場合には，そのような計画を立て，指導してもさしつかえないこと。

ことばに関する事項については，聞き，話し，読み，書く活動のなかに含めて指導するのを原則とすること。

ただし，発音，文字などくり返して学習させることが必要と認められるものについては，特にそれだけを取り上げて学習させることとしてもさしつかえないこと。

〔昭和52年改訂版〕

作文及び書写の指導については，学級の実態や指導の効果を考慮して，特にそれだけを取り上げて指導することも差し支えないこと。

言語事項に示す発音，文字及び文法的事項並びに表現及び理解の能力の基礎となる事項のうち，繰り返して学習させることが必要なものについては，特にそれだけを取り上げて学習させるように配慮すること。

〔平成元年改訂版〕

音声，文字，文法的事項などのうち繰り返して学習させることが必要なものについては，特にそれだけを取り上げて学習させるよう工夫すること。

学年ごとに配当されている漢字は，原則として当該学年で指導することとするが，必要に応じて１学年前の学年又は１学年後の学年において指導することもできること。

当該学年よりも後の学年に配当されている漢字及びそれ以外の漢字を必要に応じて提示する場合は，振り仮名を付けるなど，児童の学習負担が過重にならないように十分配慮すること。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

ことばに関する事項の学習は，具体的な言語経験を通して行うようにし，機械的な暗記，形式的な文例の学習に陥らないように特に留意して指導する。

〔昭和44年改訂版〕

指導計画の作成に当たっては，第２の各学年の内容のＡ，Ｂ，ＣおよびＤについて相互に密接な関連を図り，効果的に指導するように配慮するものとする。また，他の教科，道徳および特別活動ともよく関連を図ることが必要である。

〔昭和52年改訂版〕

第２の各学年の内容の〔言語事項〕については，Ａ及びＢの指導を通して身につけさせるとともに，ある程度まとまった知識を得させるための指導もできるように配慮する必要がある。その場合，内容の取扱いが必要以上に細部にわたったり形式的になったりしないように注意する必要がある。

〔平成元年改訂版〕

〔言語事項〕(2)のイにおいて書くことを指導する漢字以外に，アにおいて読むことを指導する漢字についても，必要な場合には適切に使うように努めさせること。

注

1）これについて詳しくは，
武部良明『日本語の表記』角川書店，昭和54年（1979年），466頁
藤原宏『小学校国語科新旧学習指導要領の対比と考察』明治図書，平成元年（1989年），72頁
を参照のこと。

2）木藤才蔵「小学校改訂教育課程趣旨徹底講習会より」，『初等教育資料』106号，昭和34年（1959年）

3）学年別漢字配当表に掲載された当用漢字別表881字は，「義務教育の期間に，読み書きともにできるように指導することが必要であると認め」（当用漢字別表前書き）られた漢字である。そのため，教育漢字の呼称がある。

4）「〔資料〕音訓の取り扱いについて（音訓等調査研究協力者会議）」，『中等教育資料』358号，昭和52年（1977年）

5）文部省初等中等教育局小学校課『音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表』平成3年（1991年）

6）昭和56年（1981年）10月1日の常用漢字表の告示にともない，同日付けの文部省告示第152号によって学習指導要領の一部が改正された。ここには，その改正後のものをあげた。

(3) 書写（筆順・字形指導を含む）

筆順については，文部省から『筆順指導の手びき』(昭和33年)が出されている。ただし，この中で具体的に筆順が示されているのは，当用漢字別表881字についてだけである。

字形については，教科書体と，当用漢字字体表にあげられている漢字の形とが異なるということが問題としてあった。教科書体は，手書きの形にもとづいたものであり，当用漢字字体表は活字の形にもとづいたものである。そのため，教科書の検定では，特別の措置がとられていた[1]。しかし，それでもなお教科書間で若干の字形の違いがあったため，字形指導に混乱を起こすことがあった。そこで，小学校学習指導要領昭和52年改訂版で統一が行われ[2]，「漢字の指導においては，学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること。」と定められ，平成元年改訂版に引き継がれている。

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第1学年　文字の形に注意し，筆順に従って書くこと。

第2学年　文字の形や筆順に注意して正しく書くこと。

第3学年　文字の組立方の基本に注意して，形を整えて書くこと。

第4学年　文字の大きさや配列に気をつけて書くこと。

第5学年　書かれた文字の形，大きさ，配列などのよしあしを見分けること。

第6学年　文字の点画が乱れないように注意して正しく速く書くこと。

〔昭和43年改訂版〕

第1学年　姿勢を正し，また，用具のもち方を正しくして文字を書くこと。

文字の形に注意して，筆順に従ってていねいに書くこと。

点画に気をつけて文字を正しく書くこと。

第２学年　文字の形に注意して，筆順に従って正しく書くこと。

点画の交わり方，方向などに注意して文字を正しく書くこと。

第３学年　筆順に従って文字を正しく書くこと。

文字の組み立て方に注意して，形を整えて書くこと。

毛筆を使用して，文字の点画の長短，始筆，終筆（とめ，はね，払い）などの筆づかいに注意しながら，文字をていねいに書くこと。

第４学年　文字の組み立て方に注意して，形を整えて書くこと。

文字の大きさや配列に注意して書くこと。

毛筆を使用して，文字の点画の交わり方，方向などに注意しながら，文字を正しく書くこと。

第５学年　書かれた文字の形，大きさ，配列などのよしあしを見分けること。

きめられた形式に合うように書くこと。

毛筆を使用して，文字を正しく整えて書くこと。

第６学年　文字の形，大きさ，配列などに注意して書くこと。

いろいろな形式に従って書くことに慣れること。

毛筆を使用して，文字の形や大きさなどに注意しながら字くばりよく書くこと。

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　文字の形に注意して，筆順に従って丁寧に書くこと。

点画に注意して，文字を正しく書くこと。

第２学年　文字の形に注意して，筆順に従って丁寧に書くこと。

点画の接し方，交わり方，方向などに注意して，文字を正しく書くこと。

第３学年　筆順に従って文字を正しく書くこと。

文字の組立方に注意して，文字の形を整えて書くこと。

毛筆を使用して，点画の長短，始筆，送筆(折れ，曲がりなど)，終筆(とめ，はね及び払い)などの筆使いに注意しながら，文字を丁寧に書くこと。

第４学年　文字の組立方に注意して，文字の形を整えて書くこと。

文字の大きさや配列に注意して読みやすく書くこと。

毛筆を使用して，点画の接し方，交わり方，方向などに注意しながら，文字を正しく書くこと。

第５学年　書かれた文字の形，大きさ，配列などのよしあしを見分け，文字を書くときに役立てること。

毛筆を使用して，文字の組立方に注意しながら，正しく整えて書くこと。

第６学年　文字の形，大きさ，配列などに注意して書くこと。

毛筆を使用して，文字の形，大きさなどに注意しながら字配りよく書くこと。

〔平成元年改訂版〕

第１学年　姿勢や用具の持ち方を正しくして書くこと。

文字の形に注意して，筆順に従って丁寧に書くこと。

点画の長短，方向などに注意して，文字を正しく書くこと。

第２学年　姿勢や用具の持ち方を正しくして書くこと。

文字の形に注意して，筆順に従って丁寧に書くこと。

点画の接し方，交わり方，方向などに注意して，文字を正しく書くこと。

第３学年　姿勢や用具の持ち方に注意して，筆順に従って文字を正しく書くこと。

文字の組立て方に注意して，文字の形を整えて書くこと。

毛筆を使用して，点画の始筆，送筆（折れ，曲がりなど），終筆（とめ，はね及びはらい）などの筆使いに注意しながら，文字を丁寧に書くこと。

毛筆を使用して，点画の長短，方向などに注意しながら，文字を正しく書くこと。

第４学年　文字の組立て方に注意して，文字の形を整えて書くこと。

文字の大きさや配列に注意して読みやすく書くこと。

毛筆を使用して，点画の接し方，交わり方，方向などに注意しながら，文字を正しく書くこと。

毛筆を使用して，文字の中心，画と画との間などに注意しながら，文字の形を整えて書くこと。

第５学年　書かれた文字の形，大きさ，配列などのよしあしを見分け，文字を書くときに役立てること。

毛筆を使用して，文字の組立て方に注意しながら，文字の形を整えて書くこと。

毛筆を使用して，文字の大きさなどに注意しながら，字配りよく書くこと。

第６学年　文字の形，大きさ，配列などを理解して書くこと。

毛筆を使用して，文字の組立て方を理解しながら，文字の形を整えて書くこと。

毛筆を使用して，文字の大きさなどに注意しながら，字配りよく書くこと。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　硬筆による基礎的な書写の技能を高め，正しく速く書くとともに，正しい書写の態度を伸ばすこと。

毛筆による書写の基礎的な技能や態度を養うこと。

かい書およびやさしい行書を書く。

硬筆および毛筆による書写の指導においては，筆の持ち方や運び方に慣れさせ，字画を正したり，字形を整えたりして書くことに注意させるとともに，目的によって文字の大きさや位置を判断して書かせ，用具，書式などに慣れさせることを考慮する。

第２学年　目的や必要に応じて，適当な書写ができること。

書写については，その技能を高め，目的に応じた書きぶりで書くことができるように留意する。

第３学年　目的や場に応じた書写の効果を理解し，書写された文字を鑑賞すること。

書写については，必要に応じて，美しく，読みやすく，速く書くようにさせるとともに，書写された文字の表現やその美に対する感覚を養うように考慮する。

〔昭和44年改訂版〕

第１学年　硬筆と毛筆による書写の能力を高め，文字の書き方を理解し，形を整えて書くこと。

文字の大きさと配置に気をつけて書くこと。

やさしい行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

かなおよび漢字の楷書を書く。

やさしい行書を書く。

第２学年　目的に応じて，適切な用具を選び，文字の大きさと配置などを判断して効果的に書くこと。

やさしい行書の書き方を理解して書くこと。

かなおよび漢字の楷書ややさしい行書を書く。

第３学年　硬筆と毛筆のそれぞれの特質を生かし，書式に従って正しく書くこと。

書写された文字に対する理解と関心をもつこと。

かなおよび漢字の楷書ややさしい行書を書く。

書写された文字を鑑賞する。

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　硬筆と毛筆による文字の書き方を理解し，字形を整え，文字の大きさと配置に気を付けて書くこと。

漢字の楷書と仮名に書き慣れるとともに，易しい行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

第２学年　字形，文字の大きさと配置などを判断して書くとともに，適切な用具を選び，効果的に書くこと。

漢字の楷書や易しい行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くこと。

第３学年　目的や必要に応じて適切な形式を考え，用具の特質を生かして，調和よく書くこと。

書写された文字，形式，配置などについて理解を深め，その美しさを感じ取ること。

〔平成元年改訂版〕

第１学年　字形を整え，文字の大きさ，配列・配置に気を付けて書くこと。

漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き，漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

第２学年　字形，文字の大きさ，配列・配置などの適・不適を判断して，効果的に書くこと。

漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くこと。

第３学年　目的や必要に応じて適切な形式や文字の書き方を考え，調和よく書くとともに，書写された文字の形，大きさ，配列・配置の調和などについて理解を深めること。

漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名に書き慣れて，読みやすく速く書くこと。

なお，書写の取り扱いについては，次のように記述されている。

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

学校においては，必要に応じて第４学年以上の適宜の学年で，毛筆による書写を課することができる。ただし，その指導に充てる時間は年間35時間をこえてはならない。

(1)　毛筆による書写の目標および内容は次のとおりである。

ア　初歩の段階

目標　毛筆に慣れ親しんで興味をもって文字が書けるようにする。

内容　字画の簡単な文字による短いことばを書く。

この段階では，点画の長短，始筆，終筆，はね，払いなどを指導する。

イ　進んだ段階

目標　漢字のかい書やかなが正しく書けるようにする。

内容　短いことばを書く。

この段階では，文字のへん，つくり，かんむり，にょうなどの組立方や点画の接し方を指導する。

ウ さらに進んだ段階

イの目標，内容に基いて，さらに習熟させる。

(2) 毛筆で書写させる文字，語句，文はその学年の目標や内容と考え合わせて選ぶことが必要である。

(3) 毛筆による書写の学習は，書くことの指導の一環として行うものであるから，その学習によって文字の筆順や字形をよく記憶するのに役だち，文字や文を硬筆で筆写するときにも，正しく美しく書けるようにすることがたいせつである。

〔昭和43年改訂版〕

硬筆を使用する書写の指導は，すべての学年で行なうものとする。

また，毛筆を使用する書写の指導は，第３学年以上の各学年で行ない，文字の筆順を正し，字形を正確に理解して，文字を正しく整えて書かせるようにするものとする。なお，毛筆を使用する書写の指導に充てる授業時数は，各学年それぞれ年間20時間程度とするものとする。

〔昭和52年改訂版〕

毛筆を使用する書写の学習は，第３学年以上の各学年で行い，硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導し，文字を正しく整えて書かせるようにすること。なお，毛筆を使用する書写の指導に充てる授業時数は，各学年それぞれ年間20単位時間程度とすること。

漢字の指導においては，学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること。

〔平成元年改訂版〕

毛筆を使用する書写の指導は，第３学年以上の各学年で行い，硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導し，文字を正しく整えて書くことができるようにすること。また，毛筆を使用する書写の指導に配当する授業時数は，各学年年間35単位時間程度とすること。なお，硬筆についても，毛筆との関連を図りながら，特に取り上げて指導するよう配慮すること。

漢字の指導においては，学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

書くことのうち，書写の学習は，硬筆や毛筆を使って，主として，第１学年で指導するものとし，その年間最低授業時数の$\frac{2}{10}$程度をこれに充てるようにする。第２学年，第３学年では，時宜に応じて計画的に指導する。

〔昭和44年改訂版〕

第２の各学年の内容のＡおよびＣに充てる授業時数の国語の授業時数に対する割合は，次のとおりとする。

Ｃのうち，書写については，第１学年は10分の２程度，第２学年は10分の１程度とすること。なお，第３学年は適宜計画的に指導すること。

〔昭和52年改訂版〕

第２の各学年の内容のＡのうち，作文及び書写の指導に充てる授業時数の国語科の授業時数に対する割合は，次のとおりとする。

書写の指導については，第１学年は$\frac{2}{10}$程度，第２学年は$\frac{1}{10}$程度とすること。なお，第３学年は適宜

計画的に指導すること。

〔平成元年改訂版〕

文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに，文字感覚を養うよう配慮すること。

文字を自ら進んで工夫して丁寧に書く態度を育てるとともに，書写の能力を生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。

毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い，硬筆による書写の能力の基礎を養うようにすること。

書写の指導に配当する授業時数については，第１学年は35単位時間程度，第２学年及び第３学年は各学年15～20単位時間とすること。

注

1）詳しくは，武部良明『日本語の表記』角川書店，昭和54年（1979年），474～476頁を参照。

2）詳しくは，江森賢治『漢字の○×――教育漢字の標準の形と許容の形――』日本習字普及協会，昭和52年（1977年）を参照。

(4) 辞書指導

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

第４学年　――

第５学年　上に示す指導事項のほか，「国語辞典などが使えること」などについて指導することも望ましい。

第６学年　――

〔昭和43年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

第４学年　わからない文字や語句について辞書を利用して調べる方法を理解すること。

第５学年　わからない文字や語句を辞書で調べること。

第６学年　わからない文字や語句を辞書で調べながら文章を読む習慣をつけること。

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

第４学年　表現したり理解したりするために必要な文字や語句について，辞書を利用して調べる方法を理解すること。

第５学年　表現したり理解したりするために必要な語句について，辞書を利用して調べること。

第６学年　表現したり理解したりするために必要な語句について，辞書を利用する習慣をつけること。

〔平成元年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

第４学年　表現したり理解したりするために必要な文字や語句について，辞書を利用して調べる方法を理解すること。

第５学年　表現したり理解したりするために必要な語句について，辞書を利用して調べること。

第６学年　表現したり理解したりするために必要な語句について，辞書を利用する習慣をつけること。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　辞書，参考書などを利用すること。

第２学年　辞書，参考書の利用に慣れること。

第３学年　辞書，参考書，新聞，雑誌など，いろいろな資料を適切に利用する態度を身につけること。

〔昭和44年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　辞書，参考資料，新聞などの利用に慣れること。

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

〔平成元年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

(5) 漢字の由来・構成等についての知識

漢字の由来・構成等の知識に関しては，小学校学習指導要領昭和33年改訂版・昭和43年改訂版および中学校学習指導要領にはまったく述べられていない。

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

第４学年　――

第５学年　――

第６学年　――

〔昭和43年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――
第３学年　――
第４学年　――
第５学年　――
第６学年　――
〔昭和52年改訂版〕
第１学年　――
第２学年　――
第３学年　――
第４学年　――
第５学年　漢字の由来，特質，構成などについての初歩的な知識をもつこと。
第６学年　仮名及び漢字の由来，特質などについての理解を深めること。
〔平成元年改訂版〕
第１学年　――
第２学年　――
第３学年　漢字のへん，つくりなどの構成についての初歩的な知識を持つこと。
第４学年　漢字の構成についての知識を持つこと。
第５学年　漢字の由来，特質などについての初歩的な知識を持つこと。
第６学年　仮名及び漢字の由来，特質などについて理解すること。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕
第１学年　――
第２学年　――
第３学年　――
〔昭和44年改訂版〕
第１学年　――
第２学年　――
第３学年　――
〔昭和52年改訂版〕
第１学年　――
第２学年　――
第３学年　――
〔平成元年改訂版〕
第１学年　――
第２学年　――
第３学年　――

(6) 送り仮名

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第1学年　——

第2学年　——

第3学年　漢字で書く部分とかなで書く部分の区別をすることにより，送りがなについての初歩的な意識をもつこと。

第4学年　——

第5学年　——

第6学年　——

〔昭和43年改訂版〕

第1学年　——

第2学年　——

第3学年　送りがなに注意し，また，活用についての初歩的な意識をもつこと。

第4学年　送りがなに注意して書くこと。

第5学年　——

第6学年　送りがなに注意して書き，また，正しいかなづかいで書くこと。

〔昭和52年改訂版〕

第1学年　——

第2学年　——

第3学年　送り仮名に注意して書き，また，活用について気付くこと。

第4学年　送り仮名に注意して書き，また，活用についての意識をもつこと。

第5学年　送り仮名に注意して書き，また，仮名遣いに注意して正しく書くこと。

第6学年　送り仮名に注意して書き，また，正しい仮名遣いで書くこと。

〔平成元年改訂版〕

第1学年　——

第2学年　——

第3学年　送り仮名に注意して書き，また，活用について気付くこと。

第4学年　送り仮名に注意して書き，また，活用についての意識をもつこと。

第5学年　送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。

第6学年　送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第1学年　——

第2学年　——

第3学年　——

〔昭和44年改訂版〕

第1学年　——

第2学年　——

第３学年　――

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

〔平成元年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

(7) 漢字の活用

小学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　読むために必要な文字や語句を増すこと。

第３学年　わからない文字や語句を見つけ出すこと。

第４学年　わからない文字や語句を文脈にそって考えること。

第５学年　――

第６学年　――

〔昭和43年改訂版〕

第１学年　読むために必要な文字や語句を身につけようとすること。
わからない文字や語句に注意すること。
文章を書くために必要な文字や語句を身につけるようにすること。
文のなかでの漢字の使い方がわかること。

第２学年　読むために必要な文字や語句を増すこと。
わからない文字や語句を見つけ出すこと。
学習した漢字を文や文章のなかで進んで使うようにすること。

第３学年　読むために必要な文字や語句を増すこと。
わからない文字や語句を見つけ出すこと。
学習した漢字を文章のなかで正しく使うようにすること。

第４学年　学習した漢字を文章のなかで正しく使うようにすること。

第５学年　知っている漢字を文章のなかで適切に使うようにすること。

第６学年　漢字の役割を理解して，知っている漢字を文章のなかで適切に使うようにすること。

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　文の中で漢字を適切に使うこと。
読み方や意味の不明な文字や語句に注意すること。

第２学年　学習した漢字を文や文章の中で進んで使うようにすること。
表現したり理解したりするために必要な文字や語句を増すこと。

文章を読みながら，読めない文字，意味の不明な語句，理解できない箇所などをはっきりさせること。

第３学年　学習した漢字を文章の中で正しく使うようにすること。
表現したり理解したりするために必要な文字や語句を増すこと。

第４学年　学習した漢字を文章の中で正しく使うようにすること。

第５学年　文章の中において漢字が果たしている役割を理解して，知っている漢字を文章の中で適切に使うようにすること。

第６学年　漢字仮名交じり文の形態である現代の文章の中で漢字が果たしている役割に対する理解を深め，知っている漢字を文章の中で適切に使うようにすること。

〔平成元年改訂版〕

第１学年　学習した漢字を文の中で適切に使うようにすること。

第２学年　学習した漢字を文や文章の中で進んで使うようにすること。

第３学年　学習した漢字を文章の中で正しく使うようにすること。

第４学年　学習した漢字を文章の中で正しく使うようにすること。

第５学年　文章の中で漢字が果たしている役割を理解して，知っている漢字を文章の中で適切に使うようにすること。

第６学年　漢字仮名交じりの文である現代の文章の中で漢字が果たしている役割に対する理解を深め，知っている漢字を文章の中で適切に使うようにすること。

中学校学習指導要領

〔昭和33年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

〔昭和44年改訂版〕

第１学年　次の事項を理解させるようにする。
音声と文字，表記のしかたなど。

第２学年　――

第３学年　――

〔昭和52年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

〔平成元年改訂版〕

第１学年　――

第２学年　――

第３学年　――

第1章

現代の児童・生徒の漢字習得の傾向

本章では，主に，序章第１節に述べた漢字の習得度調査の結果にもとづいて，現代の児童・生徒の漢字習得の傾向について分析する。

第１節　漢字の習得度調査の概要

(1) 漢字の習得度調査の構成

漢字の習得度調査は，到達度調査，定着度調査，習得量調査の３つの下位調査から構成されている。以下に，それぞれの調査の概要を述べる[1]。

①到達度調査

小学校各学年の配当漢字について，それぞれの学年の終了時点で，その学年の児童を対象に音訓別に読み書き調査を行うもの。小学校配当漢字996字[2]，2,005音訓[3]について調査を行った。

ただし，学年末に調査を行うことが難しかったため，実際には，１つ学年が上の児童・生徒を対象に，年度が変わってまもない５月上旬に調査を行った。また，３年配当漢字[4]と６年配当漢字については，東京都だけでなく秋田県と奈良県でも調査を行った。

②定着度調査

小学校各学年の配当漢字について，その配当学年の１つ学年が下の児童，１つ学年が上の児童・生徒，２つ学年が上の児童・生徒，４つ学年が上の児童・生徒を対象にして音訓別に読み書き調査を行うもの。ただし，１年配当漢字については，１つ学年が下の児童（幼児）を対象にした調査は行わなかった。また，小学校配当漢字外常用漢字のうち児童・生徒にとって習得が比較的容易と思われる302字[5]，ならびに中学音訓・高校音訓[6]および付表の語[7]についても，同じように読み書き調査を行うもの。年度のだいたいまん中にあたる11月に行った。

③習得量調査

中学１年生，高校１年生それぞれ10名を対象に，常用漢字1,945字について，読みの調査を行うもの。到達度調査と定着度調査ではペーパーテストを採用したが，この調査では面接法を採用した。

上の３つの調査のそれぞれについて，調査漢字（音訓）と調査学年（調査対象の児童・生徒の学年）とを対照させると，次のようになる。

①到達度調査

１年配当漢字――小学２年生
２年配当漢字――小学３年生
３年配当漢字――小学４年生
４年配当漢字――小学５年生
５年配当漢字――小学６年生
６年配当漢字――中学１年生

②定着度調査

1年配当漢字――小学2・3・5年生

2年配当漢字――小学1・3・4・6年生

3年配当漢字――小学2・4・5年生，中学1年生

4年配当漢字――小学3・5・6年生，中学2年生

5年配当漢字――小学4・6年生，中学1・3年生

6年配当漢字――小学5年生，中学1・2年生，高校1年生

配当外302字 ――小学5・6年生，高校1年生[8)]

中 学 音 訓 ――小学5・6年生，高校1年生

高 校 音 訓 ――中学3年生

付 表 の 語 ――小学5・6年生，中学1・3年生，高校1年生

③習得量調査

常 用 漢 字 ――中学1年生，高校1年生

本章で扱うのは，到達度調査と定着度調査だけであり，そして小学校配当漢字についてだけである。各配当漢字を基準にして，到達度調査と定着度調査の調査学年を整理すると，表1-1-1のようになる。ただし，到達度調査は，実際には配当学年よりも1つ上の学年の児童・生徒を対象としたが，その配当学年の終了時点での調査ということを目指したので，表1-1-1では配当学年と同じ学年に◎を付けた。

表1-1-1　調査漢字と調査学年

		調査学年									
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1
調査漢字	1年配当漢字	◎	○	○		○					
	2年配当漢字	○	◎	○	○		○				
	3年配当漢字		○	◎	○	○		○			
	4年配当漢字			○	◎	○	○		○		
	5年配当漢字				○	◎	○	○		○	
	6年配当漢字					○	◎	○	○		○

注）◎は到達度調査，○は定着度調査。

注

1) 以下の説明は，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』（1988年）の第2章第3節の記述にもとづく。

2) 昭和52年改訂の小学校学習指導要領に掲載されている学年別漢字配当表にあげられている996字のこと。以下，特に断らない限り，本報告書で「学年別漢字配当表」という場合，この昭和52年改訂の小学校学習指導要領に掲載されている学年別漢字配当表を指す。

3) これは書きの場合で，読みの場合は2003音訓。6年配当漢字の「尊」は，漢字表記（尊い・尊ぶ）からは，「とうとい」「たっとい」と「とうとぶ」「たっとぶ」の読み分けが不可能なので，「尊い」と「尊ぶ」で提出して，「とうとい」「たっとい」と「とうとぶ」「たっとぶ」のどちらで読んでもそれぞれ正答とし，集計表では「とうとい」と「とうとぶ」にまとめた。そのため，読みは書きよりも2音訓少ない。

4) 第3学年に配当されている漢字のこと。以下，第1学年に配当されている漢字を1年配当漢字，第2学年に配当されている漢字を2年配当漢字，第3学年に配当されている漢字を3年配当漢字，

第4学年に配当されている漢字を4年配当漢字，第5学年に配当されている漢字を5年配当漢字，第6学年に配当されている漢字を6年配当漢字とそれぞれ呼ぶことにする。

5) この302字の選定方法については，報告95の第7章第2節第2項を参照。

6) 中学音訓・高校音訓とは，中学校・高等学校に指導段階が定められた音訓のこと。序章第3節(2)を参照。

7) 付表の語も，小学校，中学校，高等学校に指導段階が定められているので，実施にあたって，漢字と同様の考え方で調査学年を決めた。報告95の第8章を参照。

8) ただし，集計の対象としたのは，小学6年生と高校1年生だけである。中学音訓も同様である。報告95の第7章を参照。

(2) 調査校

調査校の選定方法については，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』の第2章第4節に詳しく説明した。また，調査校の名簿についても，報告95にあげた。ここでは，簡単に説明する。

①到達度調査

東京都の小，中学校。それぞれ各区1校，郡部5校を原則とした。3年配当漢字と6年配当漢字については，秋田県と奈良県の小，中学校でも実施した。本報告書では，東京都の結果だけを扱う。

②定着度調査

到達度調査と同じ東京都の小，中学校，および高等学校。

③習得量調査

東京都の中学校，高等学校それぞれ2校。

(3) 実施時期

①到達度調査

昭和58年5月上旬――――1年配当漢字，2年配当漢字，3年配当漢字

昭和59年5月上旬――――4年配当漢字，5年配当漢字，6年配当漢字

②定着度調査

昭和57年11月中旬～下旬――1年配当漢字，2年配当漢字，3年配当漢字

昭和58年11月中旬～下旬――4年配当漢字，5年配当漢字，6年配当漢字，高校音訓

昭和59年11月中旬～下旬――小学校配当漢字外常用漢字302字，中学音訓

昭和60年11月中旬～下旬――付表の語

③習得量調査

昭和59年5月

この実施時期を考慮して，表1-1-1の調査漢字と調査学年の関係を図に示すと，どの配当漢字についても図1-1-1のようになる。ただし，1年配当漢字については，1つ下の学年の児童（幼児）を調査していないことは，すでに述べた通りである。この図で，1年前，到達度，1年後，2年後，4年後は，次のような意味を持っている。

1年前――配当学年の1つ下の学年の児童を対象に調査した結果。つまり，学習する1年前の児

童を対象に調査した結果である。

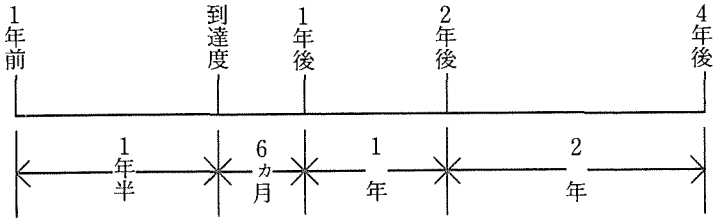
到達度――学習した直後の児童・生徒を対象に調査した結果である。

1年後――配当学年の1つ上の学年の児童・生徒を対象に調査した結果。つまり，学習してから1年たった後の児童・生徒を対象に調査した結果である。

2年後――配当学年の2つ上の学年の児童・生徒を対象に調査した結果。つまり，学習してから2年たった後の児童・生徒を対象に調査した結果である。

4年後――配当学年の4つ上の学年の児童・生徒を対象に調査した結果。つまり，学習してから4年たった後の児童・生徒を対象に調査した結果である。

図1-1-1　1年前，到達度，1年後，2年後，4年後の関係



1年前，到達度，1年後，2年後，4年後と言っても，同一の児童・生徒を縦断的に追跡調査したわけではない。そのため，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』では，そのような誤解を避けるために，1年下，到達度，1年上，2年上，4年上というように表現したが，本報告書では，研究の計画時の考え方に従って，1年前，到達度，1年後，2年後，4年後という言い方をすることにする。

(4) 調査方法

到達度調査と定着度調査は，学校で学級単位にペーパーテストによって音訓別に読み書きさせた。習得量調査は，調査員との1対1の面接による。

(5) 音訓のレベルの習得率，文字のレベルの習得率

到達度調査，定着度調査では，音訓別に読み書き調査を行った。したがって，音訓別に正答率が求められる。これを音訓のレベルの習得率と呼ぶことにする。この調査では，文字のレベルの習得率も設けた。文字のレベルの習得率とは，読みでは，文字を提出して，どの読み（音訓）でも読めれば正答とした場合の習得率であり，書きでは，どの用例でもよいからその文字を書けた場合の習得率のことである。しかし，この調査では，そのような調査方法を採っていないので，操作的に，その漢字の音訓の中で，もっとも正答率の高い音訓の正答率を，文字のレベルの習得率とした。音訓のレベルの習得率，文字のレベルの習得率をまとめると，次のようになる。

音訓のレベルの習得率――音訓それぞれの正答率

文字のレベルの習得率――その漢字の音訓の中で，もっとも正答率の高い音訓の正答率

例えば，1年配当漢字の「森」は，「シン」と「もり」という2つの音訓を持っている。到達度のそれぞれの正答率は次のとおりである。

	読み	書き
シン	9.5%	4.0%
もり	98.0%	96.0%

この正答率が，音訓のレベルの習得率である。そして，もっとも高い正答率が文字のレベルの習得率であるから，文字のレベルの習得率は，読み98.0%，書き96.0%である。

第2節　配当学年と漢字習得

児童・生徒の漢字習得は，漢字の配当学年によって大きく変わる。本節では，このことについて述べる[1)]。

注

1)　本節で述べることは，基本的には，島村直己「漢字の習得率――配当漢字による違い――」（『計量国語学』17巻6号，1990年）に述べたことである。資料を追加し，また論点を整理して，改めて報告する。

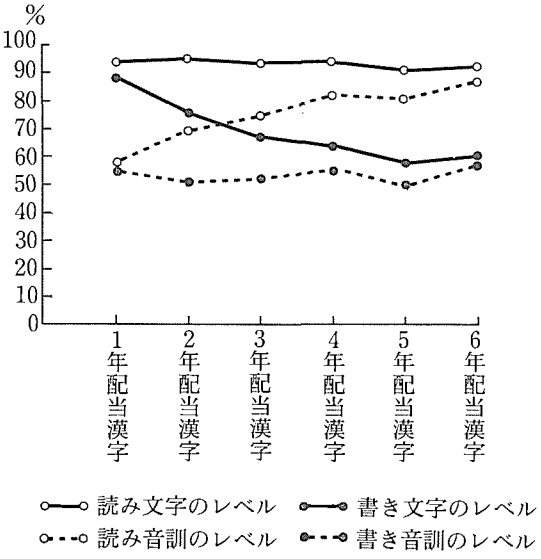
(1) 配当学年別平均習得率――到達度の場合――

表1-2-1は，漢字の配当学年別に到達度の平均習得率を示したものである。そして，図1-2-1はそれをグラフに表したものである。読み書きともに，高学年の配当漢字ほど，文字のレベルの平均習得率と音訓のレベルの平均習得率との違いが小さくなる。文字のレベルの習得率は，その漢字の音訓の中でもっとも習得率の高い音訓の習得率である。したがって，高学年の配当漢字ほど1音訓しか持たない漢字が多いことが，このことの理由として考えられる。1音訓しか持たない漢字の割合は，1年配当漢字10.5%，2年配当漢字13.1%，3年配当漢字32.8%，4年配当漢字45.1%，5年配当漢字53.8%，6年配当漢字61.1%である。

表1-2-1　到達度の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
全　　体	92.7	66.2	76.0	53.5
1年配当漢字	93.5	88.3	58.2	54.9
2年配当漢字	94.9	75.7	69.3	51.2
3年配当漢字	93.2	67.1	75.2	52.4
4年配当漢字	93.3	64.1	82.0	55.7
5年配当漢字	90.6	57.6	80.8	50.1
6年配当漢字	92.0	60.4	87.0	57.4

図1-2-1　到達度の平均習得率



さて，読みの場合，文字のレベルの平均習得率はどの配当漢字も90%台であって，比較的高い。これに対して，書きの場合，文字のレベルの平均習得率は，高学年の配当漢字ほど低い。上述のように，文字のレベルの習得率は，その漢字の音訓の中でもっとも習得率の高い音訓の習得率である。文字のレベルの平均習得率に注目することによって，次のように，読みと書きとの違いをまとめることができるだろう。

読み――どれか1つの音訓を読むだけならば，どの学年の配当漢字でもほとんどの児童・生徒が読める。

書き――どれか1つの音訓を書くのでも，高学年の配当漢字ほど難しくなる。

(2) 1年後，2年後，4年後の場合

1年後，2年後，4年後の場合はどうであろうか。表1-2-2～表1-2-4は，1年後，2年後，4年後の配当学年別平均習得率を示したものである。そして，図1-2-2～図1-2-4はそれをグラフに表したものである。(1)で見た到達度の習得傾向は，だんだん弱くなるものの，1年後，2年後，4年後でも，依然として続くようである。

表1-2-2　1年後の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
全　　体	93.5	62.6	79.5	52.4
1年配当漢字	96.0	89.6	66.2	61.2
2年配当漢字	96.4	77.0	75.5	57.9
3年配当漢字	94.5	63.5	79.8	51.2
4年配当漢字	92.8	56.4	81.9	47.8
5年配当漢字	91.6	53.3	83.3	46.5
6年配当漢字	92.1	56.0	87.3	52.3

図1-2-2　1年後の平均習得率

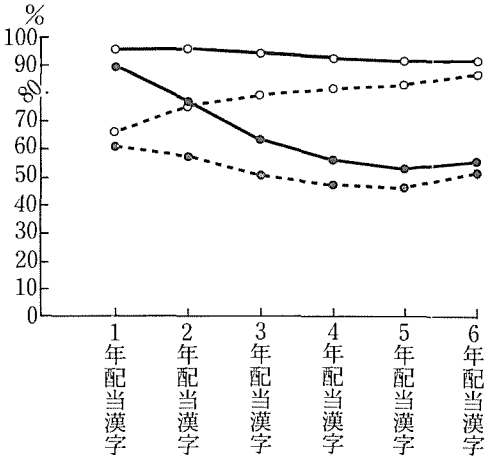


表1-2-3　2年後の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
全　　体	96.3	73.6	86.3	64.4
1年配当漢字	97.8	95.2	77.6	74.4
2年配当漢字	97.6	84.8	82.4	68.8
3年配当漢字	96.9	75.7	86.9	64.3
4年配当漢字	96.9	71.0	89.3	62.7
5年配当漢字	95.4	63.9	88.6	55.2
6年配当漢字	94.4	66.9	91.1	63.4

図1-2-3　2年後の平均習得率

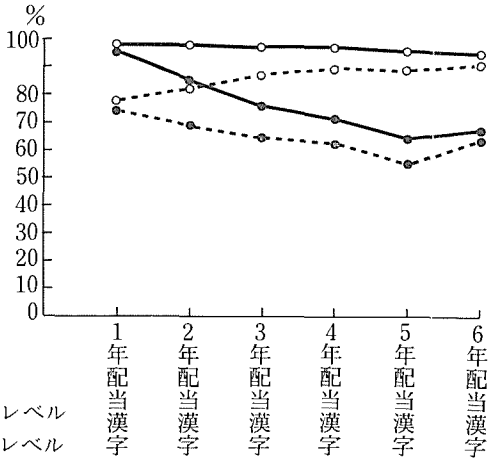
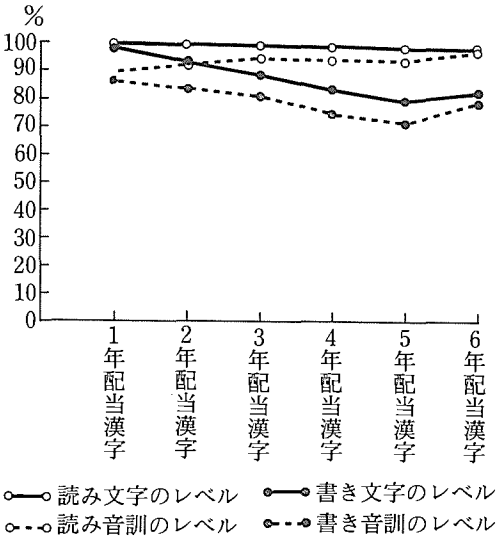


表1-2-4　4年後の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
全　　体	98.6	86.0	93.7	79.5
1年配当漢字	99.3	98.1	89.4	86.3
2年配当漢字	99.2	93.1	92.3	84.0
3年配当漢字	98.8	88.8	94.6	81.4
4年配当漢字	98.6	83.3	94.1	75.2
5年配当漢字	98.0	79.3	94.0	71.9
6年配当漢字	98.1	82.3	96.8	79.3

図1-2-4　4年後の平均習得率



(3) 他の調査の場合

(1)と(2)で見た読みと書きの習得傾向は，どの程度一般性があることなのだろうか。この調査だけの特殊な結果なのだろうか。他の調査の結果も見てみることにしよう。

次の①～③の調査は，到達度と同じく，漢字の配当学年の1つ上の学年の児童・生徒を対象に調査している。それぞれ，次のように到達度と比較した。

①文化庁調査

文化庁『児童・生徒の読み書きの力――当用漢字について――』(1972年) で報告されている調査である。配当学年の同じ音訓のみを比較する。比較した音訓数は，613音訓 (553字) である。

②日本標準教育研究所調査

日本標準教育研究所『全国学力調査シリーズ2　漢字』(1980年) で報告されている調査である。書きの結果だけが報告されている。比較した音訓数は，994音訓 (994字) である。

③総合初等教育研究所調査

総合初等教育研究所『小学生の漢字の力』(1982年) で報告されている調査である。比較した音訓数は，1,283音訓 (996字) である。

図1-2-5～図1-2-7は，その比較を行った結果である。全般的に読みよりも書きのほうが，到達度との平均習得率の違いが大きい。書きの場合，正誤判定の基準が，調査によってかなり異なることが影響していると思われる。しかし，いずれも到達度と同じようなグラフを描いている。したがって，①～③の調査とも，到達度と同じように小学校配当漢字996字2,005音訓を調査していたならば，図1-2-1のような結果になっていたと考えられる。

図1-2-5　文化庁調査との比較

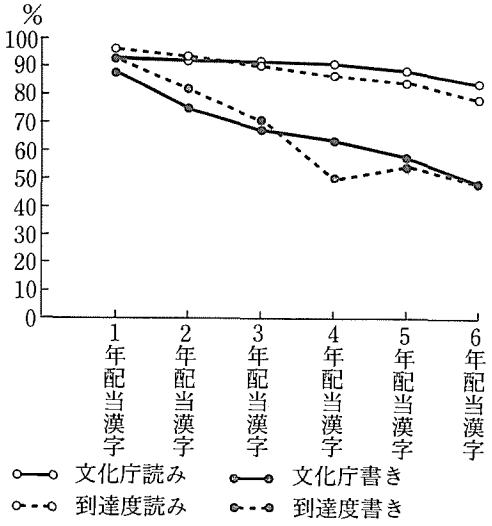


図1-2-6　日本標準教育研究所調査との比較

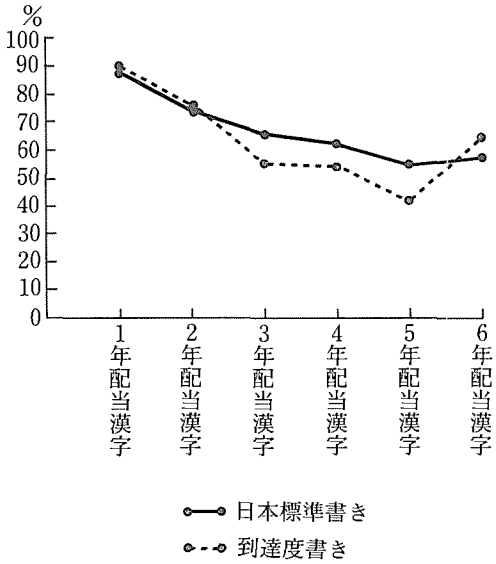
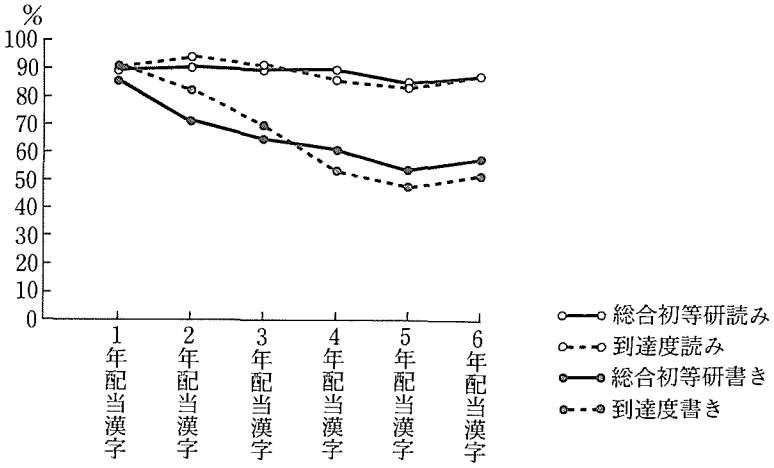


図1-2-7　総合初等教育研究所調査との比較



なお，次の④と⑤の調査は，①～③の調査と異なり，到達度とは直接比較できない。配当学年別平均習得率だけを，図1-2-8と図1-2-9に示す。書きだけについてであるが，高学年の配当漢字ほど習得しにくいという結果が示されていると言えるだろう。

④日本私学教育研究所調査

日本私学教育研究所『中等学校における漢字書写能力調査　昭和43年度』(1969年) で報告されている調査である。中学２年生，高校１・３年生を対象にした200字（200音訓）の書きの調査である。配当学年は，昭和33年改訂版小学校学習指導要領にもとづく。

⑤京都市立中学校教育研究会調査

京都市立中学校教育研究会国語部会「漢字を書く力」調査委員会『中学生の漢字を書く力の調査』(1980年) で報告されている調査である。中学１・３年生を対象にした小学校配当漢字1,707音訓 (985字) についての書きの調査である。配当学年は，昭和53年改訂版小学校学習指導要領にもとづく。

図1-2-8　日本私学教育研究所調査の平均習得率

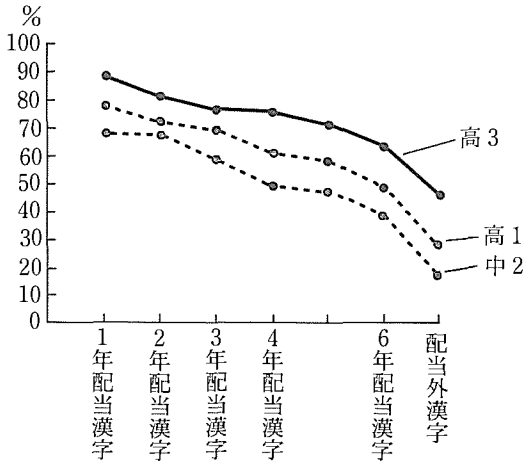
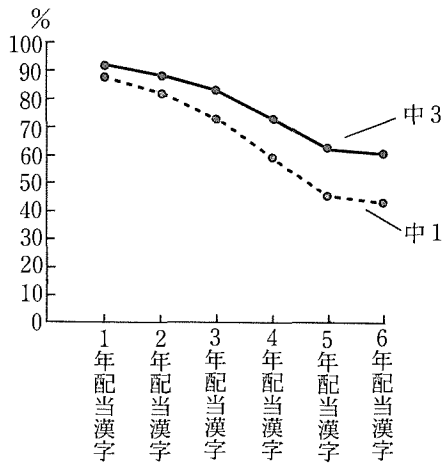


図1-2-9　京都市立中学校教育研究会調査の平均習得率



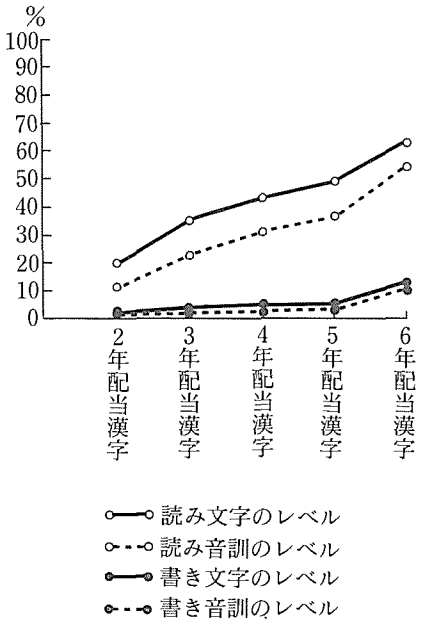
(4)　1年前の場合

表1-2-5は，1年前の配当学年別平均習得率を示したものである。図1-2-10は，それをグラフに表したものである。学校で組織だった学習をした後の結果である到達度，1年後，2年後，4年後の場合とは，違った結果が見られる。読み書きとも，また文字のレベル，音訓のレベルとも，高学年の配当漢字ほど平均習得率が高くなっている。しかし，この結果は，高学年の配当漢字ほど習得が容易であると考えるよりも，高学年の児童・生徒ほど，漢字の自然習得（学校教育によらない非組織的な学習）が盛んになると考えるほうが妥当であろう。このことと，(1)～(3)で見たこととを関連させると，書きの場合，自然習得は増すが，学校教育による負担はそれを超えていると言うことができるだろう。効果的な学習指導が望まれるところである[1]。

表1-2-5　1年前の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
全　　体	43.3	6.0	30.4	4.1
2年配当漢字	19.4	1.6	11.3	0.8
3年配当漢字	35.4	3.5	23.3	2.2
4年配当漢字	43.3	4.7	31.7	3.3
5年配当漢字	49.4	5.6	37.0	4.0
6年配当漢字	63.6	13.5	55.3	11.7

図1-2-10　1年前の平均習得率



注

1) 同様の指摘は，以下の文献においてもなされている。

有本良彦「小・中学校の諸教科における学習効果の現状に関する調査研究」，『国立教育研究所紀要』93集，1977年

このように，小・中学校のすべての段階を通じて，未習の段階における「書き」の力は，「読み」の場合にくらべ相当に低いことが明らかであり，ほとんどすべての文字は，少数の生徒を除けば，学校における指導をへなければ正しく書くことができないのである。したがって，学校における丁寧な指導が，「書き」においてはとくに大切だと考えられる。(60頁)

天野清・黒須俊夫『小学生の国語・算数の学力』秋山書店，1992年

漢字の読み・書きの習得について，上記の諸資料が示している興味ある第二の事実は，漢字の読み・書きの習得過程の相違に関するものである。第4-1-1図が示しているように，漢字の読みの場合，児童は，まだ教科書では提示されていない1学年，あるいは2学年上の学年で学習する漢字についても，その一部ではあるが，かなり正しく読むことができる。しかし，漢字の書きの場合，第5学年で6学年の漢字を書く場合が，多く認められたが，他の学年では，そのようなケースは，非常に少ない。いわば，その学年で教科書に出てきて，そこで書き方を習得する場合が，圧倒的に多く，それが習得の中心的な位置を占めているのである。(107頁)

第3節　漢字習得の経年比較

戦後，児童・生徒の漢字の読み書きの能力に関して，何回かの教育論議が行われている[1)]。本節では，児童・生徒の漢字習得の経年変化について見ることにする。

注

1) 児童・生徒の漢字の読み書きの能力の向上は，学習指導要領の改訂のたびごとに問題とされてきたことである。戦後，このことに関して行われた教育論議の中で最大のものは，昭和20年代に行われた学力低下に関する論争であろう。これは，「最近の子どもは集会をうまく運営し，さまざまな場で自分の意見を率直に発表できるようになった反面，漢字の読み書きや計算の学力がおち，県庁所在地や歴史上の重要人物などを知らないという常識に欠けるという批判であった。問題は，まず読み書き算，次に地理や歴史であった。」(大田堯編著『戦後日本教育史』岩波書店，1978年，231頁)というものである。このことに関連して，いくつかの学力調査が行われている。国語に関するもののみ，以下にあげる。

日本教育学会学力調査委員会『中学校生徒の基礎学力』東京大学出版会，1954年

日本教職員組合学力調査委員会『国語の学力調査』大日本図書，1955年

国立教育研究所『学力水準調査（第三次中間報告）』1956年

(1) 4つの事例

このことに関係する事例を4つ見ることにする。これらの事例は，いずれも児童・生徒の漢字の読み書きの能力が向上していることを，直接ないしは間接に示すものである。

事例1　漢字の習得度調査と文化庁調査との比較

報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』の第4章第4節で，漢字の習得度調査の結果と，その20年ほど前に行われた文化庁調査の結果との比較を行った。報告95にもとづいて述べる。なお，ここでは「漢字の習得度調査」を「国語研調査」と呼ぶ。

1) 文化庁調査の概要

調査の目的

義務教育の期間中における漢字の習得状況を調査して，国語施策の検討上，および，国語の学習指導上の基礎資料を得ること[1)]

調査内容

主な当用漢字についての音訓別読み書き調査

調査年度

昭和39（1964）～44（1969）年度

調査校

全国から選んだ小学校12校（昭和39～42年度），中学校12校（昭和39～42年度），高等学校59校（昭和43・44年度）

調査方法

学級ごとに行うペーパーテスト

この文化庁調査で，小，中学生を対象に当用漢字別表の漢字について行った調査は，昭和39年度に実施された。国語研調査の小学校配当漢字についての調査は，昭和57（1982）～59（1984）年度の3年間に実施された。したがって，この2つの調査は，正確には18～20年あいていることになる。

2) 比較の内容

文化庁調査と国語研調査を，次の要領で比較する。

音訓の習得率を比較する。

文化庁調査の時と国語研調査の時とで，配当学年が同じ音訓（漢字）だけを比較する[2)]。

文化庁調査と国語研調査で，ともに調査した音訓だけを比較する。

音訓（漢字）の配当学年の次の学年の児童・生徒を対象にした結果を比較する。

したがって，国語研調査の到達度と1年後と比較することになる。表1-3-1に示すように，9月に行われた文化庁調査は，5月に行われた到達度と，11月に行われた1年後の中間に入る。

表1-3-1　比較の対象となる調査

		実施時期	調査漢字	比較の対象とする児童・生徒
文化庁調査		昭和39年9月	当用漢字別表の漢字	配当学年の次の学年の児童・生徒
国語研調査	到達度	昭和58年5月 昭和59年5月	1～3年配当漢字 4～6年配当漢字	配当学年の次の学年の児童・生徒
	1年後	昭和57年11月 昭和58年11月	1～3年配当漢字 4～6年配当漢字	配当学年の次の学年の児童・生徒

3) 比較の結果

表1-3-2に，文化庁調査，到達度，１年後の平均習得率を示した。図1-3-1は，全体をグラフに表したものである。読みでは，文化庁調査の平均習得率がいちばん低い。そして，図1-3-2と図1-3-3は，配当学年別に平均習得率をグラフに表したものである。また，表1-3-3は，平均習得率の大小関係を不等号表示で示したものである。読み書きとも，低学年に配当されている音訓（漢字）は，文化庁調査のほうが高く，高学年に配当されている音訓（漢字）は，国語研調査のほうが高い[3]。特に，書きの場合，この傾向が強い。しかし，全体をまとめて見ると，上に述べたように，国語研調査のほうが高いという結果になる。

表1-3-2　文化庁調査と国語研調査との平均習得率の比較　(%)

	読み				書き			
	音訓数	文化庁	国語研		音訓数	文化庁	国語研	
			到達度	1年後			到達度	1年後
全体	613	87.9	90.3	91.3	612	62.6	64.5	61.1
1年配当漢字	36	96.5	93.0	96.0	36	93.4	88.4	90.7
2年配当漢字	85	93.9	92.3	95.1	85	82.7	75.0	78.2
3年配当漢字	126	90.9	92.1	93.4	126	71.2	67.4	64.0
4年配当漢字	143	87.0	91.3	90.5	143	50.4	64.0	56.3
5年配当漢字	148	85.1	89.0	90.4	147	55.0	58.4	55.3
6年配当漢字	75	79.2	84.2	84.5	75	49.2	49.3	42.6

図1-3-1　文化庁調査と国語研調査との比較

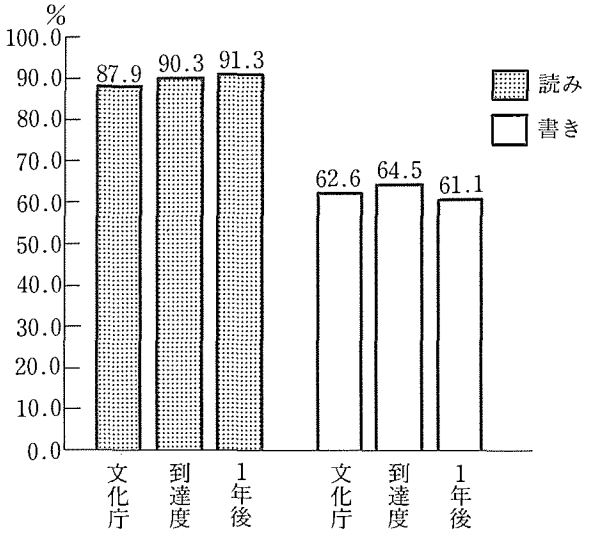


表1-3-3　配当漢字別に見た平均習得率の大小関係

	読　　み	書　　き
1年配当漢字	到達度＜1年後＜文化庁	到達度＜1年後＜文化庁
2年配当漢字	到達度＜文化庁＜1年後	到達度＜1年後＜文化庁
3年配当漢字	文化庁＜到達度＜1年後	1年後＜到達度＜文化庁
4年配当漢字	文化庁＜1年後＜到達度	文化庁＜1年後＜到達度
5年配当漢字	文化庁＜到達度＜1年後	文化庁＜1年後＜到達度
6年配当漢字	文化庁＜到達度＜1年後	1年後＜文化庁＜到達度

図1-3-2　配当漢字ごとの文化庁調査と国語研調査との比較

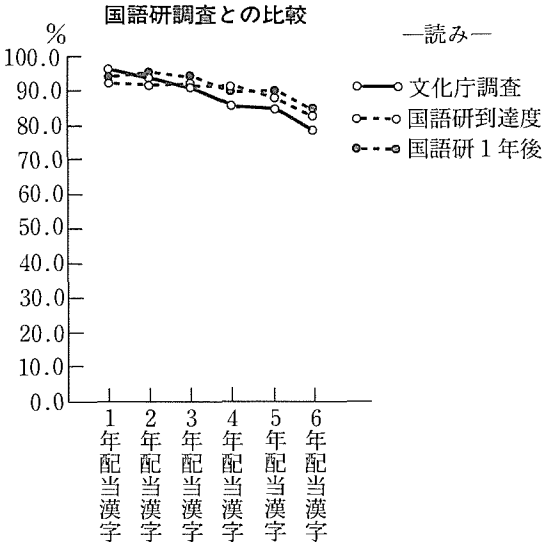
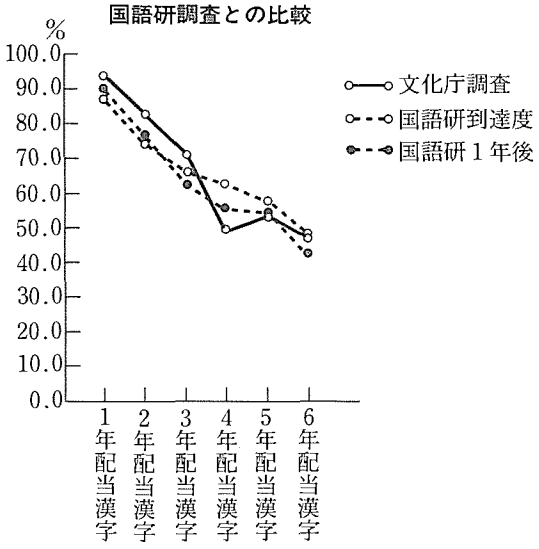


図1-3-3　配当漢字ごとの文化庁調査と国語研調査との比較



注

1)　文化庁「児童・生徒の読み書きの力――当用漢字について――」大蔵省印刷局，1972年，1頁。文化庁調査の結果は，この報告書による。

2)　報告95の第4章第4節の「集計表(3)――文化庁調査と国語研調査――」にあげた「折（おれる）」は，文化庁調査の実施当時（昭和39年度）と国語研調査の実施当時（昭和57～59年度）とで配当学年が異なっている。報告95の第4章第4節の表4-23は，この「折（おれる）」を含めて計算している。今回，修正した計算結果を表1-3-2に載せた。比較した音訓の数は，読み613音訓，書き612音訓である。

3)　この結果を見るにあたって，文化庁調査の実施当時（昭和39年度）の漢字の学年配当と，国語研調査の実施当時（昭和57～59年度）の漢字の学年配当との違いを考慮に入れる必要がある。序章第2節に述べたように，文化庁調査の実施当時よりも，低学年の配当漢字が多くなっている。したがって，文化庁調査のほうが低学年の配当漢字の平均習得率が高いことは，当然であると言えるだろう。なお，昭和43年改訂版小学校学習指導要領で低学年の配当漢字を増やした理由の1つとして，この文化庁調査で，低学年の配当漢字の習得率がひじょうによかったことがあげられている。興水実編『改訂小学校学習指導要領の展開　国語科編』明治図書，1968年，214～215頁を参照。

事例2　幼児のひらがなの読み書き調査

児童・生徒を調査したものではないが，幼児のひらがなの読み書き調査の結果は間接的に児童・

生徒の漢字の読み書きの能力の向上を示すものと言えるだろう。表1-3-4の「昭和28年調査」「今回の調査」とも，国立国語研究所が実施したものである[1]。報告45『幼児の読み書き能力』(1972年)から引用する。

表1-3-4　幼児のひらがなの読み書きの経年比較

	調査年月	対　　象	被調査児数	46文字中読める字の平均	46文字中書ける字の平均	71文字中読める字の平均	71文字中書ける字の平均
昭和28年調査	昭和28年 4～5月	6歳児（入学した児童）	読み650名 書き613名	26.1	17.8	34.8	22.7
今回の調査	昭和42年 11月	幼稚園児（4歳児クラス　5歳児クラス）	4歳児クラス 818名	24.4	8.7	33.5	10.8
			5歳児クラス 1,399名	36.8	19.9	53.0	26.0

注）「46文字」とは，「清音＋撥音(ん)」の46文字のこと。「71文字」とは，「清音＋撥音(ん)＋濁音＋半濁音」の71文字のこと。

注

1) 昭和28年調査，今回の調査は，それぞれ次の報告書に報告されている調査である。ただし，表1-3-4の「昭和28年調査」の結果は，報告45において再計算されたものである。

昭和28年調査――報告7『入門期の言語能力』秀英出版，1954年

今回の調査　――報告45『幼児の読み書き能力』東京書籍，1972年

事例3　児童の作文の漢字含有率調査

児童の書いた作文の漢字含有率[1]についても，調査結果が残されている。表1-3-5の「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」とも，国立国語研究所が実施したものである[2]。いずれも，児童に「ともだち」という課題で書かせた作文の漢字含有率を調べた結果（平均値）である。だんだんと漢字を多く使うようになるという傾向が見られるであろう。

表1-3-5　課題作文「ともだち」の漢字含有率の経年比較

	調査時期	調査対象	漢字含有率の平均(%)
Ⅰ	昭和33年1月	東京都新宿区，栃木県小山市の小学校6年生84名	11.8
Ⅱ	昭和48年5月	東京都杉並区，新潟県新潟市，奈良県奈良市の小学校6年生99名	14.3
Ⅲ	昭和58年2・3月	千葉県松戸市の小学校6年生60名	21.0

注

1) 漢字含有率には，いろいろな求め方（計算式）があり，それによって結果がかなり異なる。野村雅昭「週刊誌の漢字含有率」(『計量国語学』12巻5号，1980年）は，4つの計算式による結果を比較している。「Ⅲ」では，記号などを除く全文字中の漢字の割合として求めた。「Ⅰ」「Ⅱ」は計算式を明示していないが，「Ⅲ」と同じと思われる。

2) 「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」は，それぞれ次のものに報告されている調査である。ただし，「Ⅰ」は，報告63『児童の表現力と作文』(1978年）において再計算されたものである。

Ⅰ――報告26『小学生の言語能力の発達』明治図書，1964年

II――報告63『児童の表現力と作文』東京書籍，1978年
III――島村直己「児童の漢字使用」，報告90『研究報告集８』秀英出版，1987年

事例４　文部省の教育課程実施状況に関する総合的調査研究

文部省が全国の小，中学生の１パーセントを対象に昭和56（1981）～58（1983）年に行った教育課程実施状況に関する総合的調査研究の中のペーパーテスト（達成度調査）の結果によると，同一問題によって昭和31（1956）年度に行われた全国学力調査の結果と比較すると，国語の学力は向上している[1)]。

注
1)　これは，小学６年生を対象に同一問題文によって語句「しんしんと」の理解の達成状況を見た結果による。昭和31年度には65.9％の通過率だったのが，昭和56年度には88.7％に上昇している。文部省小学校課小学校教育研究会『学習達成状況と授業改造の視点［教育課程実施状況に関する総合的調査研究報告から］<小学校> I　国語』東洋館出版，1985年，116頁を参照。

(2) 日教組調査

国民教育研究所と日本教職員組合とが昭和50年（1975年）10～11月に行った学力実態調査（以下「日教組調査」と略す）が，児童・生徒の「読み書き能力の低下ないし停滞」を指摘して，(1)にあげた４つの事例とは違った結果を報告している。以下，この調査について見ることにする。

日教組調査の概要[1)]

1)　目的

いまの「学習指導要領」と，それをもとにして作られた教科書のもとで，多くの子どもたちが授業にとり残され，もっとも基礎的な学力，つまり，子どもの将来の発達をうながすような学力を身につけることができないでいる。その実態を明らかにし，教育課程の抜本的改善のための基礎的資料のひとつを得ること。(『国民教育』29号，９頁)

2)　調査科目

算数，国語

3)　国語の調査内容

【基本調査】

漢字の読み

漢字の書き

語句の意味

短文作り

【補充調査（歴史比較調査）】

昭和26年（1951年）に文部省初等教育課で実施した教育漢字100字の書きのテスト（100字テスト）[2)]

4)　調査対象

【基本調査】

A県の小学5年生，中学1年生

【補充調査——歴史比較調査】

3つの県の小学4・6年生，中学1・2・3年生

5)調査時期

昭和50（1975）年10月～11月

6)調査結果

①基本調査（漢字の読み書き）

読みについては，次のような結果が得られている[3)]。

第2に，では〈読み〉についてはどうであろうか。

中学校1年の場合，100語の読みについてみると，平均77.2%の正答率(女子81.7%，男子73.7%）であり，一見して，結果はよい。しかし，〈読み〉についても生徒間，男女間の格差は大きく，小学校で習得すべき漢字についての生徒への定着率は決してよい結果を示してはいない。0点が全体で1.2%（女子1.3%，男子1.1%）あり，70点以下が26%，すなわち4人に1人もおり，これらの生徒は毎日学校で使用する教科書も読むことにきわめて困難を感ずるであろうことを予想させる。(『国民教育』29号，13頁)

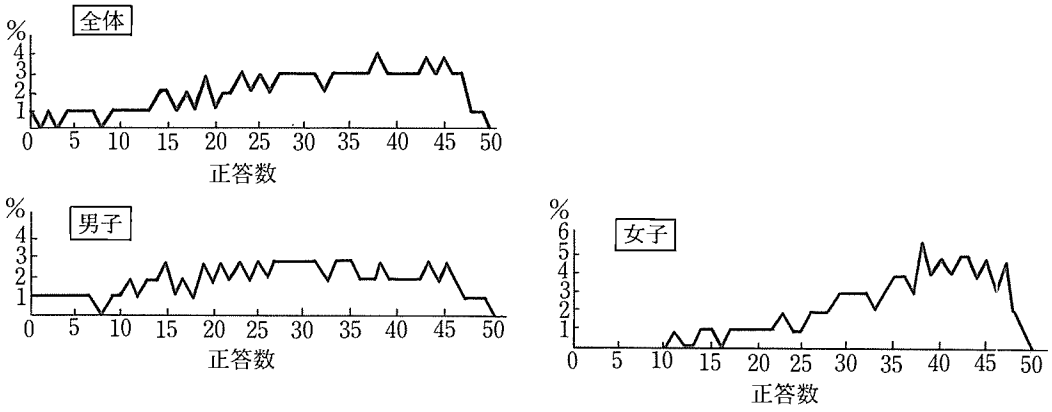
小学校5年生の場合，平均得点は84.5点であり，一見して高い正答率であるように思われる。だが，半分以下しか読めなかった子どもが全体の6.7%——1080名中72名(そのなかには0点が3名ふくまれている）——いる。比較的少数といえども，この数字を軽視するわけにはいかない（『国民教育』29号，14頁）

書きについては，次のような結果が得られている。なお，中学1年生の書きは，100字テストの後半50字の問題をそのまま出題している。

第3は，〈書き〉の力が停滞ないし低下している傾向についてである。

中学1年の漢字の書きの調査についてみると平均正答率は60.4%であって，しかも得点のばらつきが大きい。ただし，女子は平均正答率は69.6%でばらつきは相対的に少なく，男子は53.4%でばらつきも大きい。男女の格差があまりにもはなはだしいことが，今回調査の結果の一つの特徴であった。(『国民教育』29号，15頁)

図1-3-4　漢字書きの得点のばらつきの大きさ



小学校５年生の場合，平均得点は52点であり，全体として書けていない。半分以下しか書けなかった子どもが全体の44.2%――そのなかには０点が12名ふくまれている――であった。また，得点のばらつきが大きく，得点を５段階に区分すれば20点以下のものが13.3%，21～40点のものが19.5%，41～60点のものが25.8%，61～80点のものが29.6%，81点以上のものが11.9%である。さらに男女差は平均得点で見れば46.74点対58.30点であり，11.54点の差である。（『国民教育』29号，16頁）

この〈書き〉について，今日の学習指導要領に示されている漢字の配当学年が低学年つめこみ主義になっていることから，子どもたちがいわゆる消化不良をおこしていることである。（『国民教育』29号，16頁）

②補充調査（歴史比較調査）

補充調査は，100字テスト（100字の書き取りテスト）である。次のような結果が得られている。

1950年から51年にかけて文部省初等教育課の行った漢字書きの調査結果と今回100字について行った「歴史比較調査」と対照してみても，漢字のつめこみ教育が逆の結果を生んでいることが明らかである。すなわち，25年前では，教育漢字の読み書きを義務教育期間中に習得すればよいということになっており，新出漢字も現在よりは少なかったが，それでいて漢字習得は学年進行にともなって向上していた。ところが，今回の調査では，学年進行にともなう向上のカーブは緩慢となり，全体として，書きの能力の低下をきたしている。すなわち，25年前のあり方をそのまま肯定する意味ではないが，当時は，いわゆる「大器晩成型」であるのにたいし，現在は，「早期つめこみによる学習不振型」となっている。（『国民教育』29号，18～19頁）

図1-3-5　習熟と定着の少ない現在の漢字学習

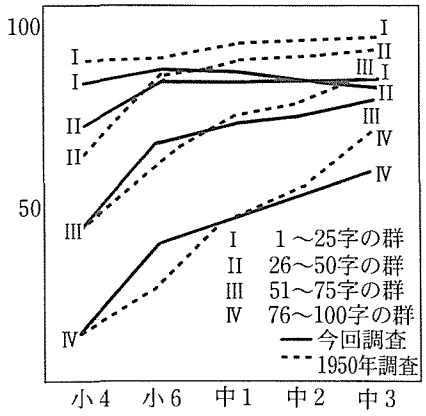
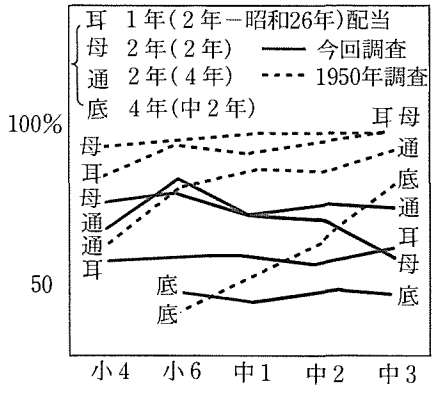


図1-3-6　漢字学習における学年進行にともなう停滞



注

1) 日教組調査は，以下のものに報告されている。

日本教職員組合・国民教育研究所「教育課程改善のための学力実態調査――その結果と分析――」，『国民教育』29号，1976年

伊ヶ崎暁生「II　調査の結果――その1・国語――」，『教育評論』338号，1976年

2) この文部省調査とは，

文部省『児童生徒の漢字を書く能力とその基準』明治図書，1952年

に報告されている調査のことである。

3) 以下，『国民教育』29号からの引用にあたって，漢数字を算用数字に改めた。

(3) 日教組調査の検証

日教組調査でいちばん強く主張されたことは，漢字の読み書きの定着がよくないということであった。しかし，実は，国語研調査（漢字の習得度調査）の結果からは，このような事実は見られないのである。表1-3-6～表1-3-12は，小学校配当漢字全体および各学年の配当漢字について，到達度，1年後，2年後，4年後の平均習得率の推移を示したものである。そして，図1-3-7～図1-3-13は，それをグラフに表したものである。読みでは，どの場合も，到達度，1年後，2年後，4年後

表1-3-6　小学校配当漢字全体の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	92.7	66.2	76.0	53.5
1年後	93.5	62.6	79.5	52.4
2年後	96.3	73.6	86.3	64.4
4年後	98.6	86.0	93.7	79.5

表1-3-7　1年配当漢字の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	93.5	88.3	58.2	54.9
1年後	96.0	89.6	66.2	61.2
2年後	97.8	95.2	77.6	74.4
4年後	99.3	98.1	89.4	86.3

図1-3-7　小学校配当漢字全体の平均習得率の推移

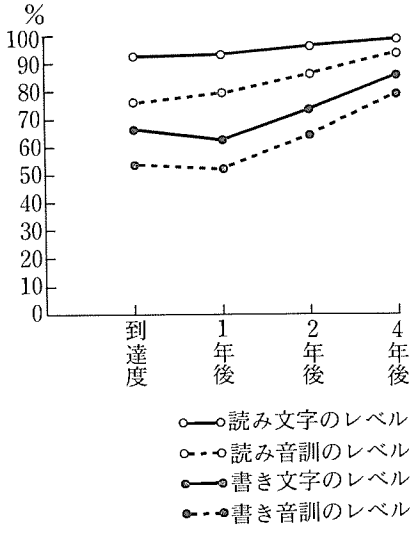


図1-3-8　1年配当漢字の平均習得率の推移

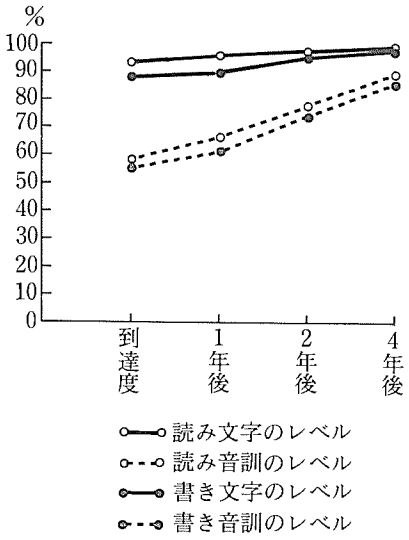


表1-3-8　2年配当漢字の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	94.9	75.7	69.3	51.2
1年後	96.4	77.0	75.5	57.9
2年後	97.6	84.8	82.4	68.8
4年後	99.2	93.1	92.3	84.0

表1-3-9　3年配当漢字の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	93.2	67.1	75.2	52.4
1年後	94.5	63.5	79.8	51.2
2年後	96.9	75.7	86.9	64.3
4年後	98.8	88.8	94.6	81.4

図1-3-9　2年配当漢字の平均習得率の推移

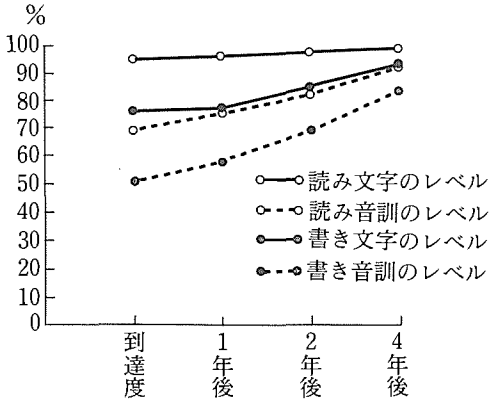


図1-3-10　3年配当漢字の平均習得率の推移

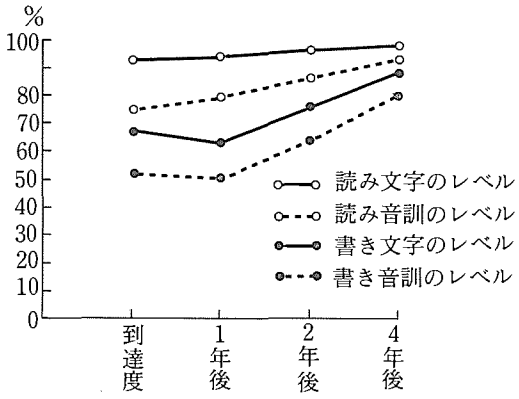


表1-3-10　4年配当漢字の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	93.3	64.1	82.0	55.7
1年後	92.8	56.4	81.9	47.8
2年後	96.9	71.0	89.3	62.7
4年後	98.6	83.3	94.1	75.2

表1-3-11　5年配当漢字の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	90.6	57.6	80.8	50.1
1年後	91.6	53.3	83.3	46.5
2年後	95.4	63.9	88.6	55.2
4年後	98.0	79.3	94.0	71.9

図1-3-11　4年配当漢字の平均習得率の推移

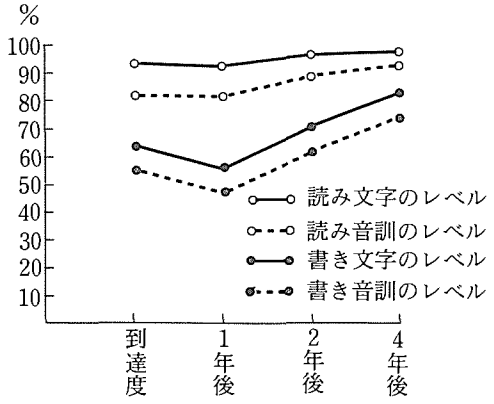


図1-3-12　5年配当漢字の平均習得率の推移

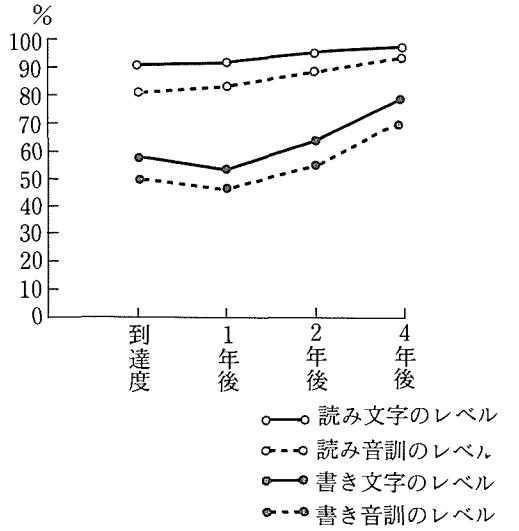
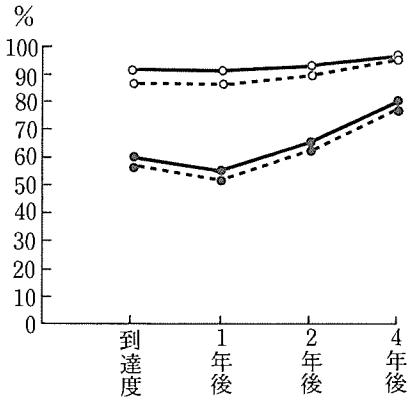


表1-3-12　6年配当漢字の平均習得率

	文字のレベル		音訓のレベル	
	読み	書き	読み	書き
到達度	92.0	60.4	87.0	57.4
1年後	92.1	56.0	87.3	52.3
2年後	94.4	66.9	91.1	63.4
4年後	98.1	82.3	96.8	79.3

図1-3-13　6年配当漢字の平均習得率の推移



となるに従い，平均習得率が上昇している。書きでは，全体および3～6年配当漢字の場合，1年後でいったん到達度よりも平均習得率が低くなるが，2年後，4年後となるに従って，平均習得率は上昇していく。1～2年配当漢字の場合は，読みと同様に，到達度，1年後，2年後，4年後となるに従い，着実に平均習得率が上昇している。この事実から，第3学年以上に配当されている漢字は，学習したすぐ後は児童の書く経験によって習熟されないので一時習得率が低下するが，その後の書く経験によって習熟し，2年後，4年後となるに従って習得率が上昇していくのだと言うことができるだろう。しかし，日教組調査が主張するほどの問題は見られない。そこで，日教組調査の結果を検証するための調査を実施した。以下，この検証調査の結果について報告する。

検証調査の概要

1)目的

漢字の書き（100字テスト）に関して，日教組調査の結果を検証すること。

2)調査内容

漢字の正答率は，調査問題の形式によって大きく変わる[1]。日教組調査の結果は，文部省調査の問題文が古い（難しい）ためとも考えられたので，次の2種類の調査票を作成した。（本節の終わりに調査票A・Bの問題文を掲載する。）

調査票A――文部省調査の100字テストとまったく同じ問題[2]

調査票B――原則として国語研の漢字の習得度調査で使われた問題

3)調査対象

東京都の公立小学校3校，公立中学校2校[3]の小学4・6年生，中学1・2・3年生。各学年とも，学校と性による偏りをなくすため，調査の実施後，各学校男女それぞれ同じ人数分調査票を無作為に抽出した。その結果，調査票A・Bとも，小学4年生は96名を，そしてそれ以外の学年は120名を対象とすることとなった。日教組調査よりも対象数が少ない[4]が，調査票のAとBとを比較することによって，誤差をチェックすることができると考えた[5]。

4)調査時期

1985年11月

5) 日教組調査の検証

①基本調査（中１・漢字の書き）の検証

中１・漢字の書きについて見ることにする。これは，100字テストの後半50題と同じ問題である。調査票Ａ・Ｂの後半50題の結果と比較してみることにする。表1-3-13は，３つの調査の平均正答数を示したものである。調査票のＡ・Ｂとも，男子よりも女子のほうが得点（平均正答数）が高い。そして，調査票のＡ・Ｂとも日教組調査よりも得点（平均正答数）が高い。また，調査票のＡとＢとを比べると，男女とも調査票Ｂのほうが得点（平均正答数）が高い。すなわち，日教組調査が使った文部省調査の問題よりも，国語研の漢字の習得度調査の問題のほうがやさしい。

表1-3-13　平均正答数

	男　子	女　子	全体
日 教 組	26.7	34.8	30.2
調査票Ａ	33.4(11.4)	38.5(8.2)	36.0(10.2)
調査票Ｂ	36.0(10.8)	41.1(7.3)	38.5(9.5)

注）（　）の中はSD

また，表1-3-14は，正答数の分布を示したものである。そして，図1-3-14は，全体の正答数の分布を日教組調査と対照させてグラフに表したものである。日教組調査よりも調査票のＡ・Ｂのほうが正答数のバラツキが小さい。そして，調査票のＡ・Ｂとも，日教組調査と同じく，男子よりも女子のほうが正答数のバラツキが小さい。後者のことは，表1-3-13の標準偏差の大きさからも言えることである。

②補充調査（歴史比較調査：100字テスト）の検証

100字テストの結果を見ることにしよう。表1-3-15は，学年進行による定着の度合を見るために，文部省調査，日教組調査，調査票のＡ・Ｂについて，日教組調査の整理の仕方にならって結果を示したものである。そして，図1-3-15，図1-3-16は，図1-3-5，図1-3-6と同じようにグラフに表したものである。「鼻」「底」のように習得率の停滞する漢字はあるが，日教組調査が指摘するほどの停滞は見られないと言ってよいだろう。

6) 日教組調査と調査票のＡ・Ｂとのくいちがいの理由

現代の児童・生徒の漢字の読み書きの力が十分に満足すべきものであるかどうかという議論は別にして，調査票のＡとＢとによる日教組調査の検証の結果からは，日教組調査が示したような漢字の書きの停滞という事実は見いだされなかった。ここでは，日教組調査と調査票のＡ・Ｂとのくいちがいの理由について考えてみることにしよう。

表1-3-14　正答数の分布　(%)

	日教組	調査票A			調査票B		
		男子	女子	全体	男子	女子	全体
0 − 5	3.8	1.7	0.0	0.8	1.7	0.0	0.8
6 − 10	3.3	1.7	0.0	0.8	1.7	0.0	0.8
11 − 15	7.1	6.7	0.0	3.3	5.0	0.0	2.5
16 − 20	7.5	3.3	5.0	4.2	1.7	0.0	0.8
21 − 25	9.6	5.0	6.7	5.8	3.3	5.0	4.2
26 − 30	11.7	21.7	1.7	11.7	11.7	3.3	7.5
31 − 35	15.1	10.0	15.0	12.5	13.3	13.3	13.3
36 − 40	16.7	18.3	28.3	23.3	11.7	13.3	12.5
41 − 45	17.7	15.0	20.0	17.5	36.7	30.0	33.3
46 − 50	7.5	16.7	23.3	20.0	13.3	35.0	24.2
調査人数	1,080	60	60	120	60	60	120

図1-3-14　漢字書きの得点のばらつきの大きさの比較

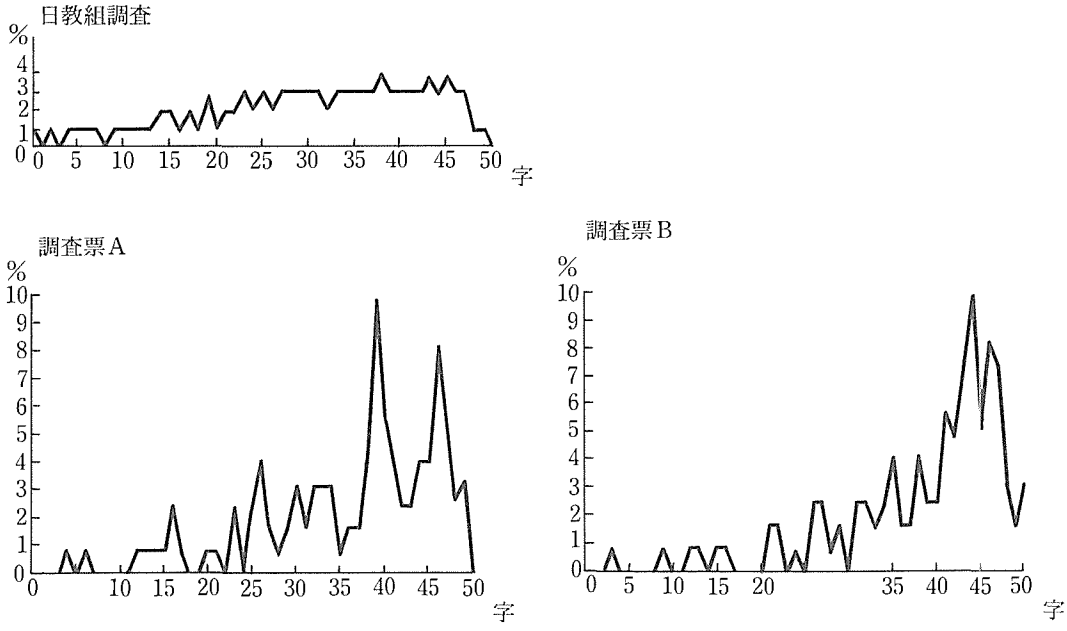


表1-3-15　学年進行による定着の度合（正答率）　(%)

	調　査(調査時期)	小　4	小　6	中　1	中　2	中　3
第　I　群 (1～25)	文部省(1950・51年)	92	93	97	98	99
	日教組(1975年)	86	90	90	87	88
	国語研A(1985年)	98	99	98	98	98
	国語研B(1985年)	97	98	99	99	99
第　II　群 (26～50)	文部省(1950・51年)	66	88	92	94	96
	日教組(1975年)	75	87	87	87	86
	国語研A(1985年)	91	95	95	96	96
	国語研B(1985年)	90	96	96	95	97
第　III　群 (51～75)	文部省(1950・51年)	46	65	76	82	90
	日教組(1975年)	46	70	75	78	82
	国語研A(1985年)	69	83	85	88	92
	国語研B(1985年)	66	84	86	89	92
第　IV　群 (76～100)	文部省(1950・51年)	17	31	50	59	76
	日教組(1975年)	17	42	50	57	64
	国語研A(1985年)	31	58	59	68	77
	国語研B(1985年)	35	65	68	76	82
全　体 (1～100)	文部省(1950・51年)	55	69	79	83	90
	日教組(1975年)	56	72	76	77	80
	国語研A(1985年)	72	84	84	88	91
	国語研B(1985年)	72	86	87	90	93
耳　(1年)	文部省(1950・51年)	86	94	92	95	97
(1年)	日教組(1975年)	61	63	63	61	65
(1年)	国語研A(1985年)	94	93	93	98	97
(1年)	国語研B(1985年)	90	94	97	98	99
母　(2年)	文部省(1950・51年)	93	95	97	98	98
(2年)	日教組(1975年)	78	81	74	73	62
(2年)	国語研A(1985年)	96	98	93	88	86
(2年)	国語研B(1985年)	90	94	93	91	90
野　(4年)	文部省(1950・51年)	75	94	94	97	96
(3年)	日教組(1975年)	66	73	78	76	66
(2年)	国語研A(1985年)	99	93	98	91	94
(2年)	国語研B(1985年)	92	98	95	96	99
時　(3年)	文部省(1950・51年)	84	96	96	97	98
(2年)	日教組(1975年)	92	87	90	81	77
(2年)	国語研A(1985年)	99	98	97	96	96
(2年)	国語研B(1985年)	97	98	98	97	96

間	(4年)	文部省(1950・51年)	76	94	93	97	96
	(3年)	日教組(1975年)	74	70	68	64	61
	(2年)	国語研A(1985年)	97	99	98	96	95
	(2年)	国語研B(1985年)	99	98	97	95	98
通	(4年)	文部省(1950・51年)	66	82	87	87	92
	(3年)	日教組(1975年)	70	85	74	78	77
	(2年)	国語研A(1985年)	80	90	89	88	93
	(2年)	国語研B(1985年)	81	92	87	85	86
農	(6年)	文部省(1950・51年)	28	68	79	81	89
	(4年)	日教組(1975年)	46	68	75	70	76
	(3年)	国語研A(1985年)	48	77	80	80	84
	(3年)	国語研B(1985年)	44	81	87	87	85
底	(中2)	文部省(1950・51年)	0	41	58	68	84
	(4年)	日教組(1975年)	1	53	50	53	52
	(4年)	国語研A(1985年)	39	86	78	75	76
	(4年)	国語研B(1985年)	42	76	78	80	83
開	(中1)	文部省(1950・51年)	21	53	67	72	87
	(3年)	日教組(1975年)	32	53	44	53	58
	(3年)	国語研A(1985年)	73	86	86	84	92
	(3年)	国語研B(1985年)	70	78	83	83	91
鼻	(中3)	文部省(1950・51年)	1	42	49	55	70
	(4年)	日教組(1975年)	27	40	63	58	49
	(3年)	国語研A(1985年)	54	51	50	70	69
	(3年)	国語研B(1985年)	60	53	59	67	81

注1)　第Ⅰ群：1～3年配当漢字，第Ⅱ群：1～4年配当漢字，
第Ⅲ群：2～5年配当漢字，第Ⅳ群：3～6年配当漢字

注2)　(　)の中は配当学年(文部省の場合は，適すると思われた学年)

図1-3-15　問題群別定着度

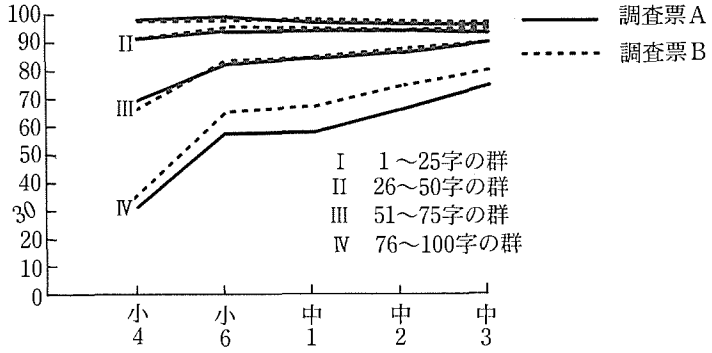
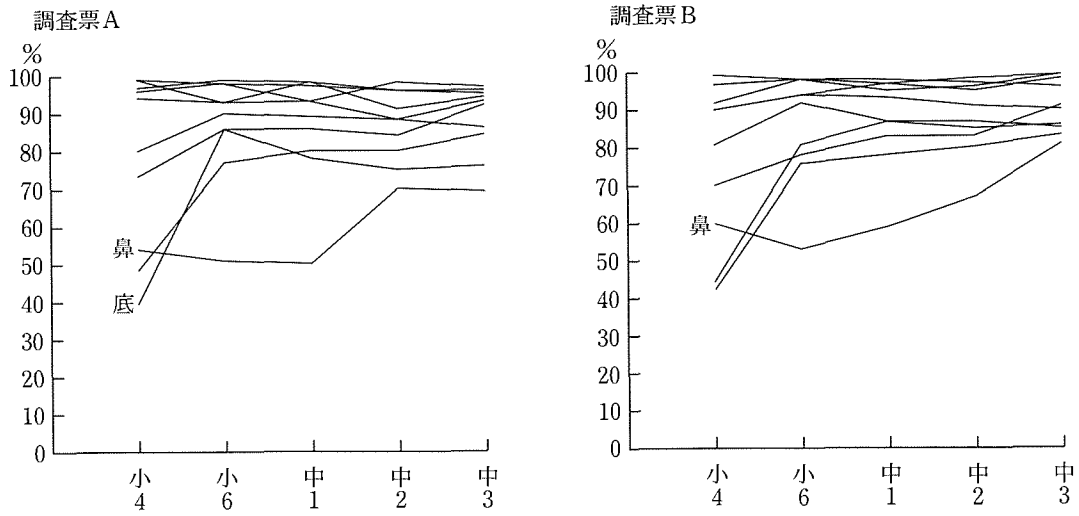


図1-3-16　漢字別定着度



実は，日教組調査については，児童言語研究会編集の『国語の授業』（17号，1976年）に特集され，検討が行われている[6]。この特集の中で，松井四郎が述べていることが参考となる。松井四郎は次のように述べている。

松山氏ばかりでなく多くの人が，中学段階で伸び悩んでいる漢字の書きを憂えているが，その字の内容を見ると次の字である。主なものだけを拾ってみる。

①中学校で低下しているもの

月，元，母，時，間，犬等の字である。これらの漢字は中1よりも中2，中3と進むに従って正答率が低下している。わたしはこれらのデータを信じないわけではないが，思うに，本当に書けないのではなくて，これらの字を書く，書きくせの悪さ――例えば楷書で書いていなかったり，くずしてあったりして――が出て，厳重な採点の結果こうなったのではないかと思われる。だからわたしはあまり心配しない。むしろこれを救えるのは，基本点画をしっかり書かせる教育（指導）にまつということになる。

②中学校で横ばいのもの

風，耳，気，池，治，駅，南，野，地，通，底などである。これらの字を見ても，中1～3で書けないというのは，おそらく不注意によるものと思われる。例えば，辶や，氵，冖，丶，冂，亅，乀など満足に書かない児童生徒はかなりあるとみてよい。(『国語の授業』17号，30頁)

日教組調査で問題となった漢字は，一般に，調査によって正誤判定の基準が大きく違うものである。このことが，日教組調査と調査票のAとBとのくいちがいの理由ではないかと考えられる。

以上の検討から結論的に言うと，日教組調査で指摘された漢字の読み書きの能力の低下ないし停滞ということは，筆者の行った検証調査では，はっきりとは認められなかった。しかし，第2節で見たように，漢字の書きの学習指導は，漢字の学習指導の中で克服しなければならない大きな課題である。このことを指摘したものとして，日教組調査を位置付けることができるだろう。なお，表1-3-16に，調査票のA・Bの漢字ごとの正答率を示した。

注

1) 提出語彙の難易度や，語で提出するか句で提出するかによって，結果に違いが出る。このことについては，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』の第3章第1節第3項に詳しく論じた。

2) 問題文は，文部省『児童生徒の漢字を書く能力とその基準』(明治図書，1952年)で使われているものと同じものを使用した。日教組調査は，少し問題文を変えている。

3) 調査校は，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』の第2章第4節第4項にあげた昭和60年度の以下の学校である。

港区立青南小学校
北区立滝野川第一小学校
田無市立柳沢小学校
北区立稲付中学校
練馬区立豊玉中学校

4) 日教組調査の対象については，次のように説明されている。

基本調査

A県の全学校生徒から，「層化二段比例抽出法」により標本を抽出した。

県内小・中学校を12の層にわけ，各層から全児童・生徒数に比例して，相当する数の学校を無作為に抽出し(比例抽出・一段目)，さらに調査校の対象学年全員に調査を実施して，このなかから無作為に一定数の標本をとりだした(二段抽出)。

標本数は，1080とした。(『国民教育』29号，10頁)

補充調査

B～F県での補充調査は，基本調査とあわせて，事態を構造的・歴史的に考察するために行った。

典型調査の考え方で，サンプル数は各調査とも200ないし400を基準とした。

(『国民教育』29号，10頁)

5) 飽戸弘によれば，回収数(対象数)は「誤差」に関係し，回収率は「偏り」に関係する。飽戸弘『社会調査ハンドブック』(日本経済新聞社，1987年，78頁)を参照。

6) 日教組調査に関係する論稿として，以下のものが掲載されている。

松山市造「提案：『国語の学力低下』をどう克服するか」
伊ヶ崎暁生「意見1：国語の学力実態調査を担当して」
松井四郎「意見2：もっと明確化したいこと」
田宮輝夫「意見3：文化遺産としての漢字の指導」
馬場正男「意見4：教育課程改善のたすけとはならない！」

調査票Aの問題（原文は縦書き）

・□のなかに，かんじを　かきなさい。

1．おんなの　こ［子］[1] が　おお［大］[2] きな　にもつを　て［手］[3] に　もって，おかの　うえ［上］[4] から　おりて　きます。

2．ばんごはんを　たべてから，うちの　ひと［人］[5] と　いっしょに　おはなしの　ほん［本］[6] を　かいに　いきました。そらには　あかるい　つき［月］[7] が　でて　いました。

3．なつは　いえの　なか［中］[8] に　いても　あついので，わたくしは　き［木］[9] の　したの　ひかげで　べんきょう　する　ことが　あります。

4．さむい　かぜ［風］[10] が　ふく，ゆきの　ふる　ひ［日］[11] でした。あたりは　もう　しろ［白］[12] く　なりはじめて　いました。ぼくは　となりむら［村］[13] まで　おつかいに　いきました。さむくて　みみ［耳］[14] が　いたいくらいでしたが，げんき［元］[15]［気］[16] を　だして　かけあしで　いきました。

5．ちちと　はは［母］[17] が　ろの　ひ［火］[18] に　あたりながら，ことしは　むぎも　おこめ［米］[19] も　たくさん　とれたと　はなして　いました。

6．うらやまに　のぼる　みちは，いし［石］[20] ころが　あって，あるきにくかった。やまの　うえからは　うみの　ほう［方］[21] まで　みえた。この　やまから　せかい［界］[22] の　すみずみまで　みる　ことが　できたら　おもしろい　ことだと　おもった。

7．いえの　ひがし［東］[23] には　ひろい　はたけが　ある。あに［兄］[24] と　おとうとは　そこで　こころ［心］[25] を　あわせて　はたらいて　いた。

8．みなみ［南］[26] の　そらに　くろ［黒］[27] い　くも［雲］[28] が　もくもくと　でて　きた。

9．あき［秋］[29] も　すぎて，ふゆが　ちかづいて　きた。しもの　おりる　あさ［朝］[30] が　おおくなって，の［野］[31] はらの　くさ［草］[32] も　かれはじめた。ぼくは　しもと　いう　だいで　さくぶん［作］[33]［文］[34] を　かこうと　おもう。

10．こくご［語］[35] の　じかん［時］[36]［間］[37] に　へいわ［和］[38] な　くにと　いう　ことに　ついて　はなしあった。

11．おおきな　いぬ［犬］[39] が　はなを　ち［地］[40] に　つけるようにして　くすりやの　みせ［店］[41] の　まえを　はしって　とお［通］[42] った。

12．きのはが　あかや　き［黄］[43] いろに　いろ［色］[44] づいて，やまも　たに［谷］[45] も　うつく［美］[46] しく　なった。

13．ぼくの　がっこうでも　うん［運］[47] どうでは，やきゅうが　さかんで　ある。しかし，たろうくん［君］[48] の　ピッチャーは　いいが，ない［内］[49] やが　よわい。

14．にもつが　おも［重］[50] いので　とちゅうで　かわの　きし［岸］[51] の　いわ［岩］[52] に　こしを　かけて　二十ぷん［分］[53] ほど　やすんだ。

15．もんを　はいると　しょうめん［面］[54] に　げんかんが　ある。げんかんの　よこ［横］[55] には　いけ［池］[56] が　あって，きんぎょが　およいで　いる。

16．ひが　くれたが　こう［交］[57] つうの　ふべんな　いなかだから，あるいて　いくより　しかたが　ない。あね［姉］[58] と　いもうとは，よりそって　ぜん［前］[59] ごを　みまわしながら　くら［暗］[60] い　さか［坂］[61] みちを　のぼって　いった。

17．うしや　うまを　ほ［保］[62] ご　しよう。どちらも　のう［農］[63] ぎょうに　やくだつ　ことが　おおい。

18. がっこうで　ちょう［帳］[64]めんを　とじる　とき，きりで　ゆび［指］[65]さきを　いためた。せんせいが　すぐ　くすり［薬］[66]を　つけて　くださった。

19. ありの　すの　ちかくに　パンくずを　な［投］[67]げて　やった。二ひきの　ありが　おもそうに　ひ［引］[68]いて　いった。

20. せんそう［争］[69]の　ない　たのしい　せかいに　するには，あかるい　せいじ［治］[70]の　ちからが　ひつようで　ある。

21. わたくしは　ようふくを　き［着］[71]ものに　きがえて，きしゃの　えき［駅］[72]の　ほうへ　さん［散］[73]ぽに　いきました。どこかで　しお［塩］[74]ざかなを　や［焼］[75]く　においが　して　いました。

22. かわは　ずいぶん　きゅう［急］[76]りゅうだが，そこ［底］[77]まで　すきとおって　いる。ゆうがたになると，どての　つきみそうの　はなが　ひら［開］[78]く。

23. ぼくが　すいえい［泳］[79]の　けいこを　して　いるのは，みずに　おぼれない　ためだが，がっこうの　せん［選］[80]しゅに　なるほど　じょうずに　なりたい。

24. びょうきの　くろう［労］[81]を　くりかえすより，つね［常］[82]に　けんこう［健］[83]［康］[84]に　きを　つけるように　したい。

25. さすが　きぬ［絹］[85]おりものの　さんちだけあって，まちの　まつ［祭］[86]りには　まいとし　きぬに　ついての　でん［伝］[87]せつを　おりこんだ　しばいが　おこなわれる。

26. とりは　こう［航］[88]くうに　つごうの　いい　かる［軽］[89]くて　じょうぶな　はねを　もって　いるから　うらやましい。つばめなどは　はねの　ちからで　いくつもの　くにの　こっきょう［境］[90]を　こえて　いったり　きたり　する。

27. Aしは　ざいさんが　あるので　はな［鼻］[91]を　たかく　して　いると　いう　ひとも　あるが，それは　ぎゃく［逆］[92]で　ある。まご［孫］[93]を　つれて　さんぽして　いる　ときなど，だれに　たいしても　こしの　ひく［低］[94]い　ぜん［善］[95]りょうな　ろうじんで　ある。Aしは　よく　まちの　ひとを　まね［招］[96]いて　はなしを　きく。そうして，くらしに　こまって　いる　ひとが　あるのを　きけば，いろいろな　しなものを　だまって　とど［届］[97]けて　やる　ことが　ある。Aしは　じこ［己］[98]を　わすれて　しゃかいに　つくす　ひとで　ある。

　Aしの　あつ［厚］[99]い　どうじょうに　よって　すく［救］[100]われた　ひとは　この　まちだけでも　すくなくない。

調査票Bの問題（原文は縦書き）

・□のなかに，かんじをかきなさい。

1．こ［子］[1] どもとおとな
2．おお［大］[2] きい長ぐつ
3．切て［手］[3] をあつめる
4．年うえ［上］[4] のともだち
5．たくさんのひと［人］[5]
6．絵ほん［本］[6] をよむ
7．つき［月］[7] の光
8．はこのなか［中］[8]
9．山のき［木］[9] を切る
10．北かぜ［風］[10] がふく
11．ひ［日］[11] の丸の旗
12．しろ［白］[12] い雪
13．町やむら［村］[13]
14．目とみみ［耳］[14]
15．げんき［元］[15]［気］[16] にあるく
16．はは［母］[17] 親にほめられる
17．花び［火］[18] をあげる
18．こめ［米］[19] をつくる
19．小いし［石］[20] をなげる
20．北のほう［方］[21] 角
21．世かい［界］[22] の国ぐに
22．ひがし［東］[23] の空
23．あに［兄］[24] と弟
24．ひとりではこころ［心］[25] 細い
25．みなみ［南］[26] の空
26．くろ［黒］[27] い長ぐつ
27．空にポッカリくも［雲］[28] がうかぶ
28．あき［秋］[29] 晴れ
29．あさ［朝］[30] 早くおきる
30．の［野］[31] 山をかける
31．くさ［草］[32] むしり
32．さくぶん［作］[33]［文］[34] をかく
33．国ご［語］[35] のべんきょう
34．じかん［時］[36]［間］[37] がたつ
35．昭わ［和］[38] 六十年
36．いぬ［犬］[39] 小屋をつくる
37．ち［地］[40] 図をみる
38．おもちゃのみせ［店］[41]
39．トラックがとお［通］[42] る
40．きいろ［黄］[43]［色］[44] のぼうし
41．たに［谷］[45] 川の水
42．うつく［美］[46] しいひと
43．うん［運］[47] 動をする
44．ともだちの○○くん［君］[48]
45．あん［案］[49] 内する
46．にもつがおも［重］[50] い
47．川のきし［岸］[51] をあるく
48．おおきないわ［岩］[52]
49．十五ふん［分］[53] たつ
50．正めん［面］[54] をみる
51．よこ［横］[55] をむく
52．いけ［池］[56] の水
53．かれは社こう［交］[57] 家だ
54．あね［姉］[58] と妹
55．午ぜん［前］[59] と午後
56．くら［暗］[60] い夜道
57．さか［坂］[61] 道をのぼる
58．まいごをほ［保］[62] 護する
59．のう［農］[63] 業をいとなむ
60．漢字の練習ちょう［帳］[64]
61．親ゆび［指］[65] でおす
62．くすり［薬］[66] をつける
63．ボールをな［投］[67] げる
64．つなをひ［引］[68] く
65．戦そう［争］[69] に反対する
66．にっぽんの政じ［治］[70]
67．赤い服をき［着］[71] ている
68．えき［駅］[72] のホーム
69．さん［散］[73] 歩をする
70．しお［塩］[74] 水でうがいをする
71．魚をや［焼］[75] く
72．きゅう［急］[76] 行にのる
73．海のそこ［底］[77] にしずむ

74. 教科書をひら［開］[78]く
75. 水えい［泳］[79]のれんしゅう
76. 学級委員のせん［選］[80]挙
77. 苦ろう［労］[81]がむくわれる
78. つね［常］[82]に努力する
79. けんこう［健］[83]［康］[84]にきをつける
80. きぬ［絹］[85]織物
81. おまつ［祭］[86]りにいく
82. でん［伝］[87]記をよむ
83. ぶじにこう［航］[88]海をおえる
84. かる［軽］[89]いにもつ
85. アメリカとカナダの国きょう［境］[90]
86. 目とはな［鼻］[91]
87. ぎゃく［逆］[92]転してかつ
88. おじいさんとまご［孫］[93]
89. 温度がひく［低］[94]くなる
90. 体質を改ぜん［善］[95]する
91. 友だちを家にまね［招］[96]く
92. 荷物をとど［届］[97]ける
93. 自こ［己］[98]を主張する
94. あつ［厚］[99]紙で箱をつくる
95. 命をすく［救］[100]う

表1-3-16　漢字ごとの正答率　(%)

番号	配当	漢字	調査票A 4年生	調査票A 6年生	調査票A 中1	調査票A 中2	調査票A 中3	調査票B 4年生	調査票B 6年生	調査票B 中1	調査票B 中2	調査票B 中3
1	11	子	100.0	99.2	99.2	97.5	97.5	97.9	96.7	96.7	100.0	99.2
2	11	大	100.0	100.0	99.2	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	99.2	99.2
3	11	手	99.0	96.7	95.0	90.8	96.7	95.8	99.2	97.5	98.3	99.2
4	11	上	99.0	100.0	99.2	100.0	100.0	99.0	99.2	100.0	100.0	100.0
5	11	人	99.0	99.2	99.2	100.0	100.0	99.0	99.2	100.0	100.0	100.0
6	11	本	100.0	100.0	100.0	98.3	100.0	100.0	99.2	100.0	100.0	100.0
7	11	月	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.2	100.0	100.0	100.0
8	11	中	99.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.9	100.0	100.0	99.2	100.0
9	11	木	100.0	99.2	99.2	100.0	99.2	97.9	99.2	99.2	95.8	99.2
10	22	風	94.8	94.2	97.5	94.2	98.3	90.6	95.8	100.0	98.3	99.2
11	11	日	99.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.9	98.3	98.3	98.3	100.0
12	11	白	100.0	100.0	100.0	99.2	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
13	12	村	97.9	99.2	99.2	99.2	99.2	96.9	99.2	99.2	100.0	99.2
14	11	耳	93.8	92.5	93.3	98.3	96.7	89.6	94.2	96.7	98.3	99.2
15	22	元	99.0	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	98.3	98.3	99.2	100.0
16	12	気	99.0	99.2	100.0	100.0	99.2	100.0	99.2	99.2	100.0	100.0
17	22	母	95.8	97.5	92.5	88.3	85.8	89.6	94.2	93.3	90.8	90.0
18	11	火	88.5	96.7	95.8	94.2	95.8	97.9	98.3	96.7	100.0	99.2
19	22	米	96.9	98.3	99.2	100.0	100.0	97.9	100.0	100.0	99.2	100.0
20	11	石	99.0	100.0	100.0	99.2	100.0	99.0	100.0	100.0	98.3	100.0
21	22	方	94.8	100.0	95.8	96.7	100.0	92.7	98.3	96.7	98.3	99.2
22	33	界	90.6	97.5	95.8	98.3	99.2	91.7	95.0	97.5	99.2	97.5
23	22	東	100.0	100.0	100.0	100.0	99.2	99.0	100.0	99.2	99.2	100.0
24	33	兄	94.8	96.7	93.3	95.8	95.0	94.8	98.3	95.8	95.8	97.5
25	22	心	99.0	99.2	99.2	100.0	100.0	99.0	97.5	98.3	99.2	100.0
26	22	南	85.4	89.2	92.5	94.2	95.0	84.4	94.2	92.5	92.5	96.7
27	22	黒	95.8	92.5	92.5	96.7	90.8	90.6	98.3	97.5	96.7	98.3
28	22	雲	90.6	94.2	93.3	95.8	99.2	82.3	90.8	95.8	93.3	96.7
29	22	秋	90.6	96.7	98.3	99.2	98.3	88.5	96.7	99.2	97.5	99.2
30	22	朝	95.8	99.2	99.2	98.3	99.2	96.9	99.2	100.0	99.2	100.0
31	23	野	99.0	93.3	98.3	90.8	94.2	91.7	97.5	95.0	95.8	99.2
32	22	草	97.9	97.5	99.2	99.2	99.2	93.8	98.3	98.3	98.3	100.0
33	22	作	94.8	98.3	96.7	100.0	95.0	93.8	97.5	98.3	95.8	97.5
34	12	文	96.9	100.0	99.2	97.5	97.5	93.8	98.3	98.3	98.3	95.8
35	23	語	91.7	97.5	89.2	97.5	95.0	100.0	98.3	100.0	99.2	100.0
36	22	時	99.0	98.3	96.7	95.8	95.8	96.9	97.5	97.5	96.7	95.8
37	22	間	96.9	99.2	97.5	95.8	95.0	99.0	98.3	96.7	95.0	97.5
38	33	和	87.5	95.0	95.0	99.2	98.3	94.8	97.5	98.3	97.5	100.0
39	12	犬	95.8	99.2	100.0	100.0	99.2	97.9	98.3	99.2	98.3	98.3
40	22	地	70.8	87.5	84.2	96.7	91.7	89.6	94.2	99.2	96.7	100.0
41	23	店	96.9	96.7	95.8	99.2	99.2	92.7	95.0	95.0	95.8	99.2
42	23	通	80.2	90.0	89.2	88.3	92.5	81.3	91.7	86.7	85.0	85.8
43	23	黄	82.3	85.0	92.5	92.5	94.2	82.3	90.0	95.8	90.8	97.5
44	22	色	97.9	99.2	99.2	100.0	98.3	99.0	98.3	98.3	99.2	100.0
45	22	谷	82.3	97.5	96.7	96.7	97.5	84.4	98.3	97.5	95.0	99.2
46	33	美	86.5	90.0	96.7	100.0	98.3	82.3	95.8	99.2	97.5	97.5

47	33	運	86.5	87.5	93.3	91.7	96.7	80.2	91.7	89.2	90.0	93.3
48	33	君	91.7	97.5	95.0	94.2	94.2	90.6	95.8	93.3	90.0	92.5
49	44	案	89.6	96.7	97.5	98.3	98.3	84.4	93.3	95.0	98.3	97.5
50	33	重	84.4	90.8	89.2	92.5	93.3	81.3	91.7	93.3	92.5	95.0
51	33	岸	54.2	76.7	79.2	86.7	91.7	51.0	81.7	78.3	83.3	90.0
52	33	岩	93.8	95.0	97.5	98.3	98.3	90.6	97.5	97.5	95.8	97.5
53	22	分	97.9	100.0	100.0	100.0	99.2	97.9	98.3	97.5	100.0	99.2
54	33	面	94.8	100.0	97.5	99.2	98.3	95.8	95.0	96.7	98.3	97.5
55	34	横	82.3	83.3	90.8	87.5	95.0	77.1	89.2	90.0	88.3	95.8
56	22	池	91.7	97.5	96.7	94.2	99.2	82.3	93.3	95.8	95.8	97.5
57	23	交	77.1	90.0	94.2	96.7	96.7	22.9	24.2	37.5	55.8	65.0
58	44	姉	65.6	83.3	80.8	86.7	94.2	63.5	81.7	84.2	83.3	87.5
59	22	前	80.2	94.2	93.3	99.2	97.5	88.5	99.2	100.0	99.2	98.3
60	33	暗	82.3	87.5	91.7	93.3	98.3	78.1	90.8	87.5	93.3	96.7
61	33	坂	81.3	78.3	78.3	90.0	95.8	75.0	87.5	85.8	93.3	87.5
62	55	保	46.9	89.2	90.0	91.7	83.3	50.0	92.5	93.3	96.7	96.7
63	34	農	47.9	76.7	80.0	80.0	84.2	43.8	80.8	86.7	86.7	85.0
64	34	帳	64.6	66.7	69.2	63.3	79.2	78.1	73.3	73.3	70.8	80.0
65	33	指	72.9	84.2	89.2	90.8	94.2	72.9	85.8	87.5	91.7	91.7
66	34	薬	88.5	87.5	90.8	86.7	96.7	86.5	85.8	90.8	92.5	95.8
67	33	投	66.7	78.3	81.7	86.7	95.8	66.7	83.3	84.2	91.7	95.0
68	23	引	87.5	90.0	85.8	94.2	95.0	91.7	95.0	97.5	96.7	95.0
69	44	争	61.5	79.2	77.5	70.0	80.8	65.6	86.7	90.8	90.8	86.7
70	44	治	47.9	87.5	85.0	95.0	94.2	46.9	94.2	95.8	97.5	98.3
71	33	着	67.7	72.5	62.5	77.5	87.5	59.4	78.3	74.2	86.7	88.3
72	33	駅	91.7	85.0	80.8	90.8	90.0	85.4	91.7	85.8	92.5	95.0
73	44	散	11.5	47.5	63.3	60.8	79.2	10.4	64.2	71.7	75.0	86.7
74	44	塩	30.2	74.2	85.8	89.2	92.5	38.5	71.7	87.5	92.5	93.3
75	44	焼	35.4	63.3	81.7	87.5	84.2	38.5	73.3	80.8	85.0	92.5
76	33	急	68.8	63.3	61.7	74.2	81.7	81.3	80.0	93.3	94.2	96.7
77	44	底	38.5	85.8	78.3	75.0	75.8	41.7	75.8	78.3	80.0	83.3
78	33	開	72.9	85.8	85.8	84.2	91.7	69.8	77.5	82.5	83.3	90.8
79	34	泳	66.7	80.8	77.5	90.8	89.2	76.0	79.2	74.2	87.5	90.0
80	44	選	49.0	69.2	71.7	84.2	89.2	51.0	82.5	80.0	83.3	93.3
81	44	労	60.4	67.5	64.2	75.8	80.8	74.0	73.3	79.2	85.8	88.3
82	55	常	6.3	49.2	58.3	61.7	70.8	7.3	56.7	63.3	73.3	63.3
83	45	健	40.6	68.3	72.5	69.2	80.8	39.6	71.7	81.7	75.0	89.2
84	45	康	20.8	60.8	63.3	65.0	76.7	29.2	68.3	60.0	74.2	79.2
85	56	絹	0.0	42.5	45.0	68.3	66.7	1.0	50.0	45.0	75.0	73.3
86	34	祭	46.9	60.0	58.3	79.2	80.8	46.9	69.2	75.8	75.8	90.0
87	45	伝	59.4	85.0	79.2	87.5	90.8	51.0	82.5	85.0	85.8	87.5
88	44	航	21.9	36.7	34.2	49.2	64.2	36.5	45.0	40.8	61.7	70.8
89	34	軽	49.0	60.8	67.5	75.0	92.5	50.0	63.3	77.5	83.3	84.2
90	56	境	5.2	45.8	57.5	61.7	85.0	11.5	54.2	68.3	69.2	79.2
91	34	鼻	54.2	50.8	50.0	70.0	69.2	60.4	52.5	59.2	66.7	80.8
92	56	逆	4.2	68.3	72.5	83.3	86.7	9.4	67.5	68.3	83.3	93.3
93	44	孫	47.9	48.3	44.2	70.8	78.3	52.1	55.0	54.2	73.3	80.8
94	45	低	41.7	65.8	67.5	70.8	73.3	41.7	64.2	77.5	74.2	85.8
95	56	善	1.0	34.2	36.7	37.5	60.0	0.0	40.8	37.5	51.7	57.5
96	56	招	8.3	56.7	52.5	62.5	87.5	11.5	67.5	64.2	78.3	77.5

97	66	届	0.0	60.8	60.8	70.0	84.2	3.1	59.2	57.5	73.3	82.5
98	66	己	2.1	40.8	46.7	47.5	56.7	4.2	70.8	78.3	80.0	88.3
99	55	厚	2.1	22.5	15.0	31.7	34.2	14.6	64.2	65.8	73.3	82.5
100	45	救	10.4	50.8	51.7	59.2	75.8	22.9	58.3	55.8	64.2	73.3

注）「配当」の欄には，調査票A・Bの実施時（昭和60年）の漢字の配当学年（昭和52年改訂版小学校学習指導要領）と，日教組調査の実施時（昭和50年）の漢字の配当学年（昭和43年改訂版小学校学習指導要領）とを併記した。

第4節　画数・使用率と漢字習得

報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』でも見たことであるが[1]，画数・使用率と漢字習得との関係について，本節で改めて見ることにする。

注

1）報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』では，画数を3画ずつまとめておおまかな傾向だけを見た。また，使用率についても，雑誌使用率と新聞使用率とを総合しておおまかな傾向だけを見た。本節では，画数については，1画ごとの違いを，そして，使用率については，雑誌使用率と新聞使用率とに分けて見ることにする。

(1) 画数・使用率・学年配当

漢和辞典等の違いによって画数の異なる漢字がある[1]。ここでは，鎌田正・米山寅太郎編『漢語林』(大修館書店,1987年)に従った[2]。そして,漢字および音訓の使用率[3]を,それぞれ次の2つ求めた。

雑誌使用率

報告22『現代雑誌九十種の用語用字(2)――漢字表――』（秀英出版，1963年）に報告されているもの。昭和31年（1956年）に発行された雑誌90誌を対象に調査した結果である。総延べ漢字数は280,094字である。

新聞使用率

報告56『現代新聞の漢字』（秀英出版，1976年）に報告されているもの。昭和41年（1966年）に発行された朝日・毎日・読売の3誌を対象に調査した結果である。総延べ漢字数は991,375字である。

画数・使用率と習得率との関係を見る前に，画数と使用率と配当学年との間の関係について見ておくことにしよう。表1-4-1と表1-4-2は，配当学年ごとに画数の分布を示したものである。表1-4-1は文字単位で集計したものであり,表1-4-2は音訓単位で集計したものである。そして,表1-4-3は,配当学年別に平均画数を求めたものである。図1-4-1は，それをグラフに表したものである。文字単位と音訓単位とで，傾向はあまり変わらない。高学年に配当されている漢字ほど，画数の多い漢字が多い[4]。

そして，表1-4-4は，配当学年別に平均使用率を求めたものである。また，図1-4-2と図1-4-3は，それをグラフに表したものである。高学年に配当されている漢字ほど使用率の低い漢字・音訓が多い。そして，雑誌よりも新聞のほうが，全般的に平均使用率が高い。つまり，雑誌よりも新聞のほうが，基本的な漢字（小学校配当漢字）が多く使われていると言えるだろう。

表1-4-1　配当学年別画数の分布－文字単位－

画数	配当学年						全体
	1	2	3	4	5	6	
1	1	0	0	0	0	0	1
2	8	1	1	0	0	0	10
3	13	2	1	1	1	6	24
4	14	16	5	5	3	3	46
5	12	11	16	14	11	7	71
6	11	19	14	9	8	15	76
7	8	17	15	20	14	11	85
8	6	12	28	22	19	19	106
9	1	18	30	18	13	22	102
10	1	12	17	23	20	22	95
11	0	11	19	18	27	20	95
12	1	10	26	21	23	17	98
13	0	6	10	14	14	13	57
14	0	6	5	10	20	11	52
15	0	0	3	10	9	8	30
16	0	2	4	3	5	7	21
17	0	0	0	0	3	4	7
18	0	2	1	3	3	3	12
19	0	0	0	2	1	2	5
20	0	0	0	2	1	0	3
合計	76	145	195	195	195	190	996

表1-4-2　配当学年別画数の分布－音訓単位－

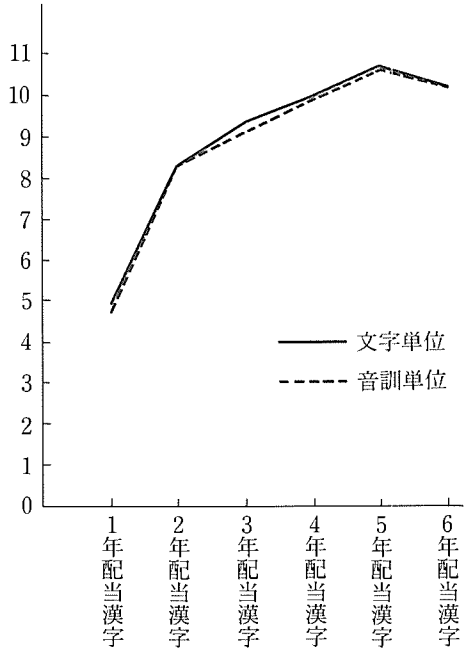
画数	配当学年						全体
	1	2	3	4	5	6	
1	4	0	0	0	0	0	4
2	30	2	1	0	0	0	33
3	50	3	1	1	2	10	67
4	35	43	10	9	6	3	106
5	44	30	37	24	16	8	159
6	24	55	29	18	14	24	164
7	25	34	31	47	21	15	173
8	19	32	75	37	35	33	231
9	3	38	56	33	21	36	187
10	1	35	34	44	32	34	180
11	0	28	46	32	50	33	189
12	2	23	62	41	39	33	200
13	0	16	12	26	26	21	101
14	0	18	7	21	30	14	90
15	0	0	5	14	14	9	42
16	0	7	8	5	10	9	39
17	0	0	0	0	3	10	13
18	0	3	1	3	5	4	16
19	0	0	0	4	1	2	7
20	0	0	0	3	1	0	4
合計	237	367	415	362	326	298	2005

表1-4-3　配当学年別平均画数

学年	文字単位	音訓単位
全体	9.4 (3.6)	9.0 (3.5)
1	4.9 (2.1)	4.7 (2.1)
2	8.3 (3.3)	8.3 (3.3)
3	9.3 (2.9)	9.1 (2.8)
4	10.0 (3.5)	9.9 (3.3)
5	10.7 (3.4)	10.6 (3.3)
6	10.2 (3.6)	10.2 (3.4)

注）（　）内は SD

図1-4-1　配当学年別平均画数



なお，表1-4-5は，画数ごとに平均使用率を求めたものである。そして，図1-4-4と図1-4-5は，それをグラフに表したものである。画数の多い漢字ほど使用率が低い。そして，この傾向は，雑誌と新聞とであまり変わらない。ただし，13画，15画，18画，20画の漢字が例外である。それらを次にあげる。

13画（57字）　遠　楽　新　数　電　話　暗　意　園　感　業　詩　鉄　農　福　路　愛　塩
漢　試　辞　照　勢　節　戦　想　続　置　腸　働　解　幹　義　禁　群　絹
鉱　罪　資　準　損　墓　豊　預　勧　源　署　傷　蒸　聖　誠　暖　賃　腹
幕　盟　裏

15画（30字）　横　線　調　億　課　器　賞　選　談　熱　標　養　輪　確　歓　潔　賛　質
敵　導　編　暴　遺　劇　権　熟　諸　蔵　潮　論

18画（12字）　額　簡　観　顔　験　織　職　題　難　曜　臨　類

20画（3字）　議　競　護

表1-4-4　配当学年別平均使用率

(‰)

学年	文字単位		音訓単位	
	雑誌	新聞	雑誌	新聞
全体	0.858 (1.247)	0.905 (1.401)	0.373 (0.655)	0.399 (0.819)
1	2.985 (2.927)	3.083 (3.394)	0.793 (1.335)	0.821 (1.669)
2	1.409 (1.239)	1.455 (1.467)	0.493 (0.679)	0.490 (0.852)
3	0.878 (0.699)	0.942 (0.829)	0.373 (0.492)	0.406 (0.643)
4	0.554 (0.477)	0.644 (0.599)	0.271 (0.371)	0.318 (0.481)
5	0.446 (0.340)	0.487 (0.421)	0.239 (0.287)	0.290 (0.500)
6	0.301 (0.353)	0.271 (0.267)	0.164 (0.277)	0.156 (0.226)

注）（　）内はSD

図1-4-2　配当学年別平均使用率ー文字単位ー

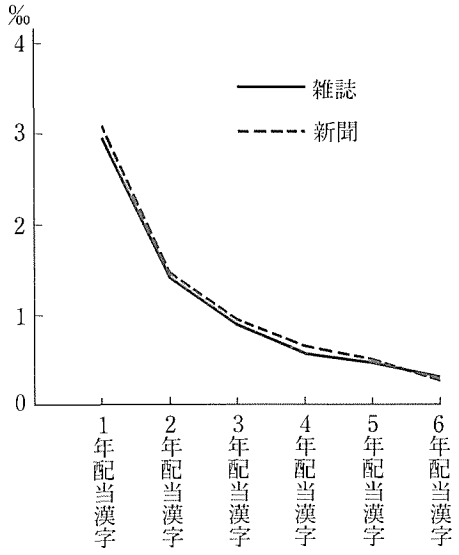


図1-4-3　配当学年別平均使用率ー音訓単位ー

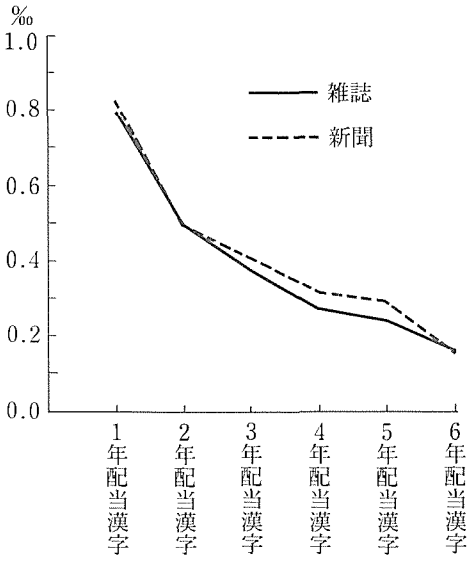


表1-4-5　画数別平均使用率

(‰)

画数	文字単位		音訓単位	
	雑誌	新聞	雑誌	新聞
全体	0.858 (1.247)	0.905 (1.401)	0.373 (0.655)	0.399 (0.819)
1	16.345 (0.000)	14.927 (0.000)	3.402 (5.107)	3.443 (6.013)
2	4.068 (3.765)	4.649 (4.324)	1.127 (1.793)	1.322 (2.576)
3	2.293 (2.497)	2.056 (2.649)	0.610 (0.909)	0.553 (1.098)
4	1.745 (1.864)	2.006 (2.736)	0.643 (0.926)	0.736 (1.191)
5	1.129 (1.406)	1.117 (1.356)	0.418 (0.640)	0.402 (0.621)
6	1.065 (1.242)	1.183 (1.534)	0.456 (0.753)	0.502 (1.044)
7	0.889 (0.943)	0.723 (0.712)	0.393 (0.585)	0.322 (0.484)
8	0.832 (0.914)	0.977 (1.313)	0.335 (0.564)	0.373 (0.754)
9	0.761 (0.817)	0.798 (0.781)	0.373 (0.531)	0.394 (0.578)
10	0.602 (0.679)	0.657 (0.813)	0.276 (0.363)	0.310 (0.554)
11	0.571 (0.538)	0.654 (0.698)	0.256 (0.371)	0.302 (0.507)
12	0.574 (0.639)	0.576 (0.647)	0.246 (0.345)	0.289 (0.573)
13	0.610 (0.626)	0.639 (0.768)	0.318 (0.463)	0.331 (0.544)
14	0.443 (0.374)	0.465 (0.396)	0.239 (0.264)	0.248 (0.320)
15	0.478 (0.363)	0.565 (0.467)	0.318 (0.321)	0.374 (0.390)
16	0.427 (0.356)	0.485 (0.457)	0.198 (0.252)	0.230 (0.366)
17	0.235 (0.198)	0.245 (0.170)	0.118 (0.168)	0.129 (0.170)
18	0.529 (0.418)	0.584 (0.490)	0.377 (0.408)	0.431 (0.491)
19	0.275 (0.144)	0.280 (0.233)	0.185 (0.162)	0.198 (0.228)
20	0.489 (0.362)	1.257 (1.552)	0.354 (0.377)	0.935 (1.414)

注）（　）内はSD

図1-4-4　画数別平均使用率－文字単位－

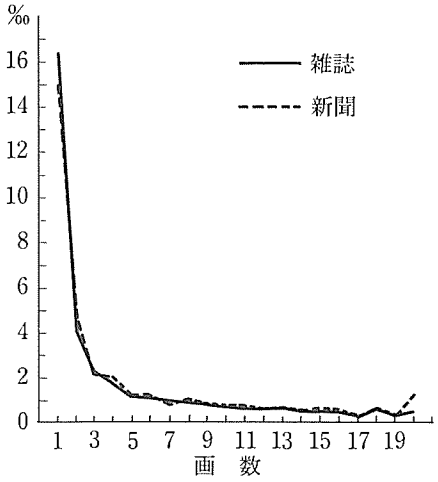
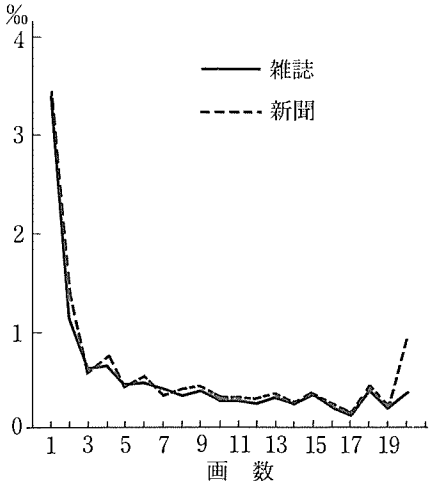


図1-4-5　画数別平均使用率－音訓単位－



注

1) 試みに，常用漢字1945字について，次の３つの漢和（漢字）辞典で画数を調べてみた。この３つの辞典で画数の一致しない漢字は，表1-4-6にあげるように12字あった。（小高京子の調査による。）

小川環樹・西田太一郎・赤塚忠編『新字源』角川書店，1968年
藤堂明保編『例解学習漢字辞典』小学館，第４版，1990年
鎌田正・米山寅太郎編『漢語林』大修館書店，1987年

表1-4-6　３つの漢和辞典で画数の一致しない漢字

	新字源	学習漢和	漢語林
卸	9	9	8
巨	5	5	4
御	12	12	11
極	13	12	12
孤	9	9	8
弧	9	9	8
紫	11	11	12
雌	13	13	14
芝	7	6	6
収	5	4	5
衷	10	9	10
露	20	21	21

注）数字は画数

2) 報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』では，文部省調査局の編集による『当用漢字・送りがな・筆順』（『文部時報』別冊，1960年）の付録の「『教育漢字の筆順』索引」に従った。『漢語林』と異なるものが若干ある。

3) 漢字，音訓の使用率とも，次の式で計算した。（単位は千分率（パーミル）。）

$$\text{ある漢字（音訓）の使用率}=\frac{\text{その漢字（音訓）の使用度数}}{\text{総延べ漢字数}}\times 1000$$

4) ６年配当漢字は５年配当漢字よりも平均画数が小さい。これは，６年配当漢字に，いわゆる備考漢字が含まれているためである。備考漢字として，「字画の少ない漢字，既習漢字の部分や組み合せになる漢字，漢字字典の部首になる漢字」等が選ばれた。武部良明『日本語の表記』（角川書店，1979年，469頁）を参照。

(2) 画数と習得率

河井芳文は，「国字問題では，漢字の字形の複雑性が中心的課題のひとつとして扱われてきた。そのとき，複雑性を論じるのに，画によって複雑性を代用するか，あるいは，ただ漠然と複雑ということばを用いながら，一切その性質や定義に触れないのが，これまでの多くの，漢字の複雑性の扱い方の実際の姿であった。」[1]と述べている。確かに，河井の言う通りであろう。しかし，画数の代わりに提案されているもの[2]が，漢字の字形の複雑性の指標として，画数よりも優るという根拠もまたないのである。点画は漢字の運筆上の単位であり，画数はその数のことである。それ故に，画数は，漢字の字形の複雑性の指標として，直観的な理解が得やすいのである。本節で漢字習得の要因の１つとして画数を取り上げる理由は，ここのところにある。

さて，表1-4-7～表1-4-10は，小学校配当漢字全体について，画数ごとの平均習得率を示したものである。そして，図1-4-6～図1-4-9は，それらをグラフに表したものである。17画の漢字の書き

表1-4-7　画数別平均習得率ー読み文字のレベルー

画数	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
全体	43.3	92.7	93.5	96.3	98.6
1	—	97.0	96.2	96.9	98.2
2	40.2	90.9	93.9	96.5	98.9
3	61.5	94.3	95.9	97.7	99.4
4	38.2	93.5	95.1	97.3	99.0
5	45.9	92.7	93.8	96.8	98.8
6	44.6	94.5	94.7	96.7	98.4
7	37.3	92.2	93.2	96.2	98.5
8	41.8	92.7	93.3	96.4	98.7
9	43.0	92.6	93.5	95.8	97.9
10	43.5	91.9	92.5	95.3	98.2
11	46.2	92.5	93.4	96.4	98.5
12	40.8	92.4	93.6	96.5	98.8
13	43.4	92.1	92.2	95.2	98.0
14	46.6	92.9	93.3	96.3	98.8
15	47.0	92.2	93.6	96.9	99.0
16	40.6	93.4	93.8	96.2	98.7
17	52.6	92.0	91.4	93.4	99.2
18	38.2	94.2	94.3	96.8	99.0
19	69.1	96.9	95.9	97.6	99.1
20	41.5	95.3	93.5	98.0	99.3

表1-4-8　画数別平均習得率ー読み音訓のレベルー

画数	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
全体	30.4	76.0	79.5	86.3	93.7
1	—	63.0	69.0	72.1	84.9
2	27.5	62.0	68.5	81.2	89.9
3	58.5	63.7	71.6	82.0	90.8
4	22.4	72.3	77.7	84.7	92.5
5	29.8	69.0	73.7	81.7	91.6
6	29.4	72.2	76.6	83.8	93.6
7	27.5	76.4	79.3	86.3	93.6
8	27.6	73.3	77.3	85.0	93.2
9	33.5	80.2	82.6	88.2	94.0
10	31.2	79.5	81.8	87.9	94.9
11	30.9	79.4	82.2	88.9	95.3
12	27.9	76.1	80.0	86.8	94.1
13	33.8	85.0	86.0	90.9	95.6
14	32.1	79.0	81.5	86.8	93.4
15	39.6	86.9	89.3	93.9	97.8
16	27.7	74.5	77.5	84.6	90.6
17	33.2	79.2	83.1	87.2	94.8
18	32.0	85.0	86.7	91.2	96.4
19	53.9	91.6	91.3	94.5	98.4
20	40.9	88.6	87.4	91.3	92.3

表1-4-9　画数別平均習得率ー書き文字のレベルー

画数	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
全体	6.0	66.2	62.6	73.6	86.0
1	—	92.0	96.7	97.8	100.0
2	16.6	87.5	89.3	94.1	97.2
3	27.2	88.5	87.4	92.3	97.0
4	6.8	80.0	80.2	86.9	93.0
5	8.5	72.0	68.5	79.0	89.4
6	11.3	77.3	74.9	82.8	90.4
7	6.2	67.6	63.9	75.0	87.7
8	7.7	67.2	63.8	75.2	86.3
9	6.7	69.0	65.5	76.4	88.2
10	4.8	62.6	57.2	69.5	82.9
11	4.2	60.2	57.3	70.0	84.6
12	3.4	59.1	54.1	66.6	82.2
13	3.6	59.7	56.0	68.1	82.0
14	3.2	56.2	53.2	65.1	81.9
15	2.7	60.0	50.4	62.7	80.8
16	2.9	58.9	55.7	67.3	79.7
17	2.3	50.1	42.6	49.3	66.7
18	3.0	56.7	55.7	66.8	84.3
19	2.2	55.8	48.6	61.8	82.2
20	2.3	55.7	48.3	67.3	80.0

表1-4-10　画数別平均習得率ー書き音訓のレベルー

画数	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
全体	4.1	53.5	52.4	64.4	79.5
1	—	53.3	61.6	73.8	85.5
2	11.1	62.3	67.1	79.3	89.7
3	25.0	58.4	63.1	75.8	86.7
4	4.2	60.3	64.3	73.2	84.3
5	5.3	52.9	54.0	66.1	80.6
6	6.7	54.9	56.5	67.0	81.6
7	4.2	56.1	54.2	66.6	81.7
8	4.7	50.8	51.0	63.2	77.6
9	5.2	57.7	55.6	67.8	88.2
10	3.1	52.7	49.2	62.8	77.2
11	3.2	52.3	49.4	62.1	78.6
12	2.3	48.1	44.5	57.3	74.9
13	2.8	53.7	52.0	62.7	77.5
14	2.2	46.9	46.0	57.7	75.2
15	2.4	56.6	47.6	60.4	79.1
16	1.8	48.2	45.2	56.8	73.9
17	2.2	55.7	45.2	54.5	71.8
18	2.6	49.7	51.2	62.8	81.8
19	1.6	49.7	43.3	56.1	80.0
20	2.0	57.8	48.0	64.0	76.5

の平均習得率の低いことが目に付く。17画の漢字の書きの習得率を表1-4-11と表1-4-12にあげる。また，第3節で見た到達度と1年後との書きの平均習得率の逆転現象は，画数の多い漢字で特に見られるようである。そして，表1-4-13に，小学校配当漢字全体について，画数と習得率との相関係数を示した。書きの場合，文字のレベル，音訓のレベルとも，負の相関である。すなわち，書きの場合，画数の多い漢字ほど習得率が低いという傾向がある。しかし，読みの場合，画数との相関係数の絶対値は書きよりも小さく，また，音訓のレベルでは正の相関である。すなわち，読みの場合，音訓のレベルでは，画数の多い漢字ほど習得率が高いという傾向がある。

実は，この結果を見るにあたって，配当学年による漢字の画数の分布の違いと，配当学年による習得率の分布の違いとの2つのことを考慮する必要がある。表1-4-3に示したように，文字単位，音訓単位とも，高学年ほど画数の多い漢字が配当されている。そして，図1-4-10に見られるように，到達度の読みの音訓のレベルは，高学年に配当されている音訓ほど習得率が高く，また，第2節で

図1-4-6　画数別平均習得率ー読み文字のレベルー

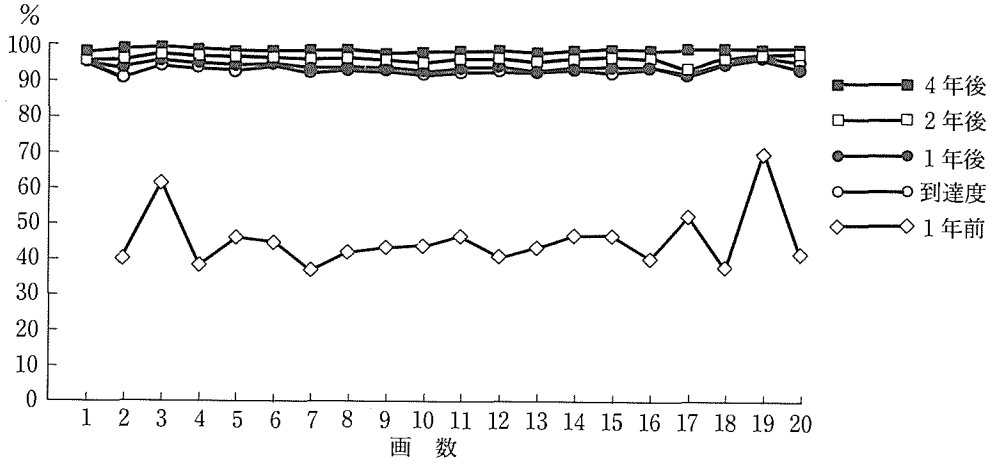


図1-4-7　画数別平均習得率ー読み音訓のレベルー

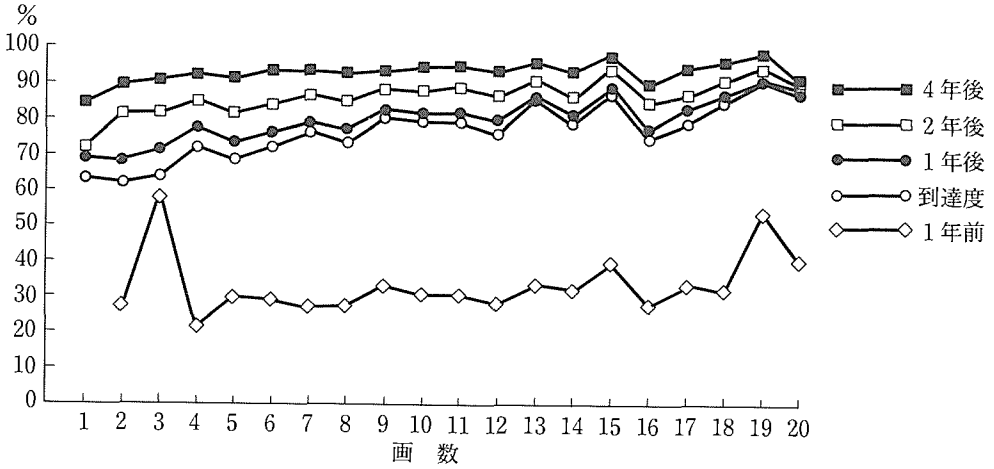


図1-4-8　画数別平均習得率ー書き文字のレベルー

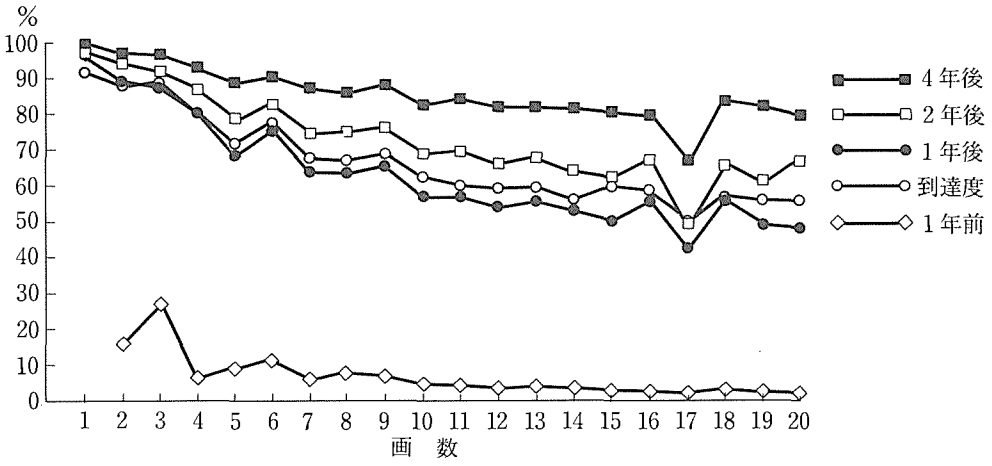


図1-4-9　画数別平均習得率ー書き音訓のレベルー

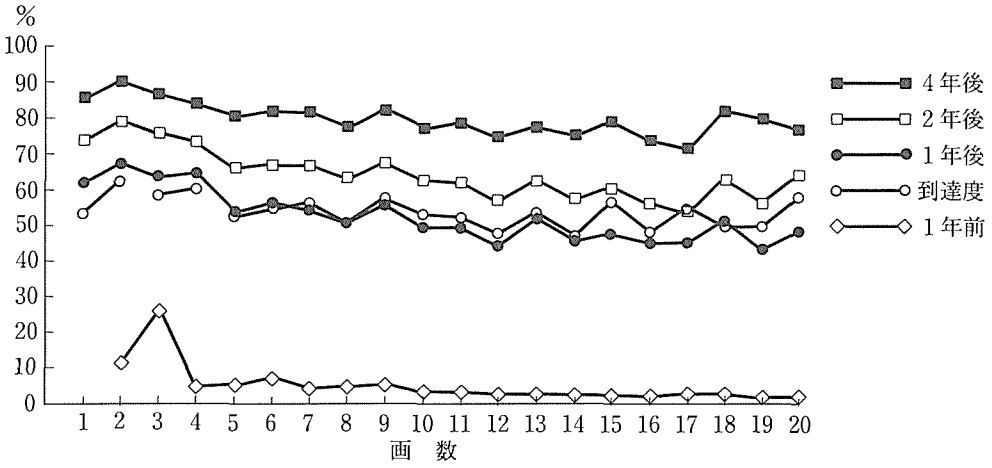


表1-4-11　17画の漢字の書きの習得率ー文字のレベルー

配当学年	漢字	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
5	講	1.0	25.0	22.0	24.0	49.0
5	謝	1.0	62.0	55.0	67.0	80.0
5	績	1.0	58.0	38.0	30.0	39.0
6	厳	3.0	30.0	20.0	42.0	60.0
6	縮	4.0	76.0	71.0	80.0	93.0
6	優	4.0	61.0	62.0	61.0	83.0
6	覧	2.0	39.0	30.0	41.0	63.0

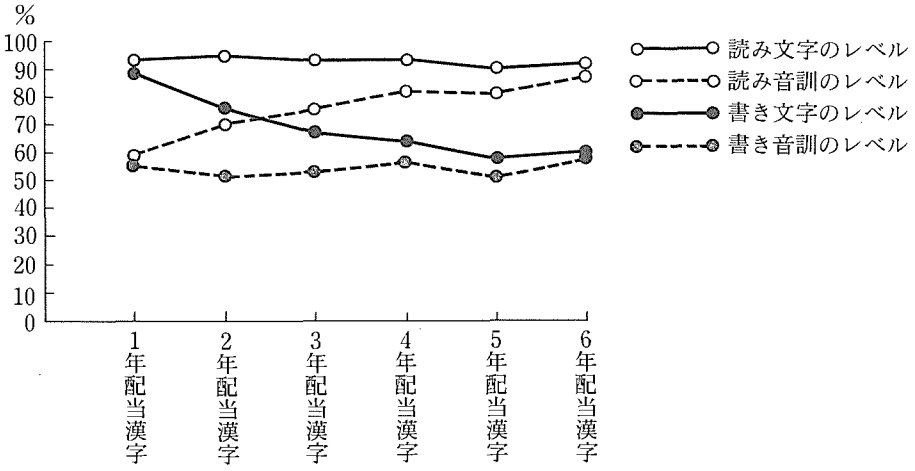
表1-4-12　17画の漢字の書きの習得率ー音訓のレベルー

配当学年	漢字	音　訓	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
5	講	コウ	1.0	25.0	22.0	24.0	49.0
5	謝	シャ	1.0	62.0	55.0	67.0	80.0
5	績	セキ	1.0	58.0	38.0	30.0	39.0
6	厳	ゲン	2.0	29.0	10.0	42.0	60.0
		きび-しい	3.0	30.0	20.0	34.0	51.0
6	縮	シュク	4.0	70.0	70.0	73.0	93.0
		ちぢ-む	2.0	73.0	62.0	66.0	90.0
		ちぢ-まる	1.0	75.0	71.0	73.0	88.0
		ちぢ-める	4.0	65.0	62.0	80.0	92.0
		ちぢ-れる	3.0	61.0	48.0	67.0	73.0
		ちぢ-らす	1.0	76.0	37.0	51.0	73.0
6	優	ユウ	4.0	61.0	62.0	61.0	83.0
6	覧	ラン	2.0	39.0	30.0	41.0	63.0

表1-4-13　画数と習得率との相関係数ー小学校配当漢字全体ー

		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
読み	文字のレベル	0.026	−0.020	−0.052	−0.039	−0.004
	音訓のレベル	0.049	0.158	0.130	0.109	0.083
書き	文字のレベル	−0.249	−0.416	−0.412	−0.389	−0.314
	音訓のレベル	−0.182	−0.092	−0.189	−0.186	−0.147

図1-4-10　到達度の平均習得率



見たように，この傾向は，1年後，2年後，4年後でも同様である。そのため，到達度，1年後，2年後，4年後とも，読みの音訓のレベルでは，小学校配当漢字全体をまとめて見ると，画数の多い漢字ほど習得率が高いという結果となるのである。表1-4-14～表1-4-17は，配当学年別に画数と習得率との相関係数を示したものであるが，配当学年別に見ると，読みの音訓のレベルでは，小学校配当漢字全体をまとめて見たときのような傾向は見られない。

表1-4-14　画数と習得率との相関係数－読み文字のレベル－

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1年配当漢字	－	0.006	0.085	0.148	0.122
2年配当漢字	−0.093	0.089	0.100	0.083	−0.019
3年配当漢字	−0.141	0.137	0.118	0.079	0.058
4年配当漢字	−0.006	0.097	0.104	0.016	0.120
5年配当漢字	−0.159	−0.056	−0.068	−0.101	−0.052
6年配当漢字	−0.120	−0.006	0.013	0.048	0.086

表1-4-15　画数と習得率との相関係数－読み音訓のレベル－

	1年前	到達度	1年度	2年後	4年後
1年配当漢字	－	−0.040	−0.046	−0.066	0.018
2年配当漢字	−0.054	0.019	−0.005	−0.003	−0.038
3年配当漢字	−0.087	0.010	0.039	0.056	0.053
4年配当漢字	0.016	0.062	0.078	0.048	0.047
5年配当漢字	−0.076	0.052	0.046	0.037	0.020
6年配当漢字	−0.180	−0.084	−0.037	−0.013	0.001

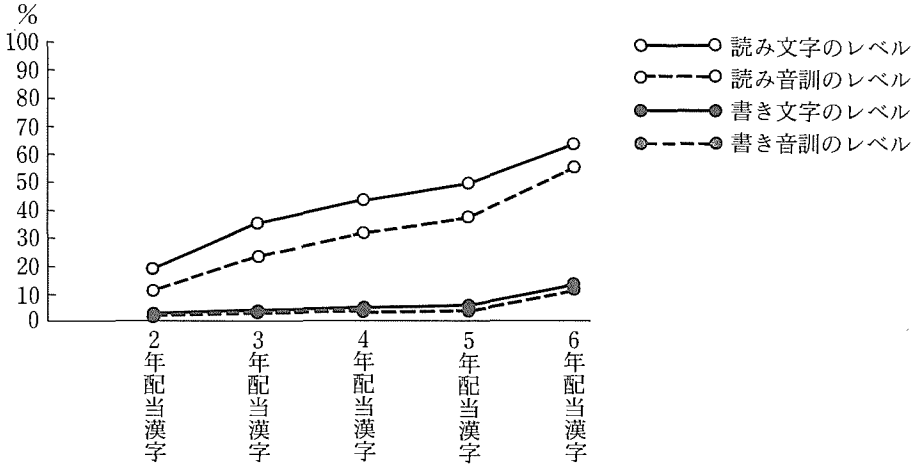
表1-4-16　画数と習得率との相関係数－書き文字のレベル－

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1年配当漢字	－	−0.284	−0.252	−0.218	−0.102
2年配当漢字	−0.383	−0.253	−0.213	−0.218	−0.131
3年配当漢字	−0.367	−0.214	−0.139	−0.138	−0.177
4年配当漢字	−0.335	−0.214	−0.216	−0.223	−0.169
5年配当漢字	−0.368	−0.322	−0.342	−0.318	−0.216
6年配当漢字	−0.424	−0.323	−0.303	−0.240	−0.141

表1-4-17　画数と習得率との相関係数ー書き音訓のレベルー

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1年配当漢字	−	−0.104	−0.103	−0.139	−0.116
2年配当漢字	−0.278	−0.048	−0.067	−0.048	−0.010
3年配当漢字	−0.285	−0.058	−0.059	−0.028	−0.007
4年配当漢字	−0.269	−0.122	−0.121	−0.100	−0.027
5年配当漢字	−0.311	−0.143	−0.170	−0.134	−0.048
6年配当漢字	−0.405	−0.251	−0.251	−0.180	−0.131

図1-4-11　1年前の平均習得率



また，書きの文字のレベルでは，高学年に配当されている漢字ほど習得率が低い。そのため，小学校配当漢字全体をまとめて見ると，画数の効果がより大きく出るのである。表1-4-13と表1-4-16とを比べると，そのことがよく分かるであろう。

そして，図1-4-11に見られるように，1年前は，どの場合も，高学年の配当漢字ほど平均習得率が高い。特に，読みの場合，その傾向が強い。そのため，読みでは，配当学年別に見ると，文字のレベル，音訓のレベルとも，相関係数は負の値であるが，小学校配当漢字全体をまとめて見ると，両方とも，相関係数は正の値となるのである。

なお，文字のレベル，音訓のレベルとも，読みよりも書きのほうが，相関係数の絶対値が大きい。すなわち，読みよりも書きのほうが，画数の影響が強いと言えるだろう。

注

1) 河井芳文「漢字の画の分布と複雑性」,『東京学芸大学紀要（第1部門）』22集，1971年，68頁

2) 画数以外に漢字の字形の複雑性の指標として提案されているものに，次のものがある。

線数

渡辺茂『漢字と図形』（日本放送出版協会，1976年）にあげられているもの。

物理的複雑性（C）

河井芳文「漢字の物理的複雑性と読みの学習」,『教育心理学研究』（14巻3号，1966年）にあげられているもの。漢字の「物理的複雑性（C）」は，次のようにして求められるものである。「漢字を無意味線分パターンとみなし，その物理的複雑性（C）を測定する。この場合の複雑性は，独立した線分，支点または接点によって分けられる線分，および点などの数によって規定する。線分の長さは考慮しない。したがって，点も1単位として計上される。また，情報論的に見た場合，単位のとり方によっては，直線と曲線では複雑性は異なってくるが，ここでは，さしあたって，両者を等価な単位と仮定する。たとえば，〝二〟のC（複雑性）は2，〝人〟のCは3として計上する。」（同上，2頁）

複雑価

賀集寛・石原岩太郎・井上道雄・斎藤洋典・前田泰宏「漢字の視覚的複雑性」,『人文論究』（29巻1号，1979年）にあげられているもの。被験者（大学生）に漢字の視覚的複雑性を評定させたものである。具体的な手続きは，次のようなものである。「評定尺度は左端を非常に簡単，右端を非常に複雑とし，その間を7段階に分ける7点スケールとした。そして，各スケールの左側の漢字を見て感じた複雑さの程度を，スケール上に○印で示すようにという教示を与えた。5文字の練習と質疑ののち，被験者ペースで評定してもらった。」（同上，107頁）そして，漢字の視覚的複雑性の指標である「複雑価」は，次のようにして求められる。「各漢字40名の評定の平均値を視覚的複雑性の指標とし，これを複雑価となずける。」（同上，107頁）

(3) 使用率と習得率

よく使われる漢字・音訓の習得の早いことは，常識的にも考えられることである。表1-4-18は，小学校配当漢字全体について，雑誌使用率・新聞使用率と習得率との相関係数を示したものである。雑誌使用率・新聞使用率とも，成人を主な対象とした活字媒体の使用率であるが，児童・生徒の接する活字媒体の使用率も，それらのなんらかの関数であると考えられる。到達度，1年後，2年後，4年後のいずれの場合も，使用率と習得率とは正の相関をしており，そして，そのどの場合も読みよりも書きのほうが相関関係が強い。しかし，1年前は，それほど相関係数の絶対値が大きくなく，しかも負のものが多い。表1-4-19～表1-4-22は，配当学年別に使用率と習得率との相関係数を示したものであるが，配当学年別に見ると，小学校配当漢字全体をまとめて見たような傾向は見られない。すなわち，1年前の場合も，使用率と習得率とは正の相関をしており，そして，読みよりも書きのほうが相関関係が強い。使用率の場合も，画数の場合と同じように，配当学年が大きな要因となっているようである。

表1-4-18　使用率と習得率との相関係数－小学校配当漢字全体－

			1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
読み	文字のレベル	雑誌	−0.170	0.103	0.159	0.130	0.103
		新聞	−0.161	0.076	0.137	0.122	0.098
	音訓のレベル	雑誌	0.056	0.177	0.200	0.198	0.160
		新聞	0.080	0.154	0.178	0.184	0.153
書き	文字のレベル	雑誌	−0.083	0.363	0.410	0.403	0.342
		新聞	−0.101	0.337	0.374	0.372	0.320
	音訓のレベル	雑誌	−0.003	0.260	0.326	0.344	0.309
		新聞	−0.013	0.212	0.265	0.291	0.270

表1-4-19　使用率と習得率との相関係数－読み文字のレベル－

		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
雑誌	1年配当漢字	−	0.095	0.097	0.039	0.215
	2年配当漢字	0.158	−0.034	0.080	0.141	0.157
	3年配当漢字	0.127	0.077	0.092	0.120	0.030
	4年配当漢字	0.160	0.117	0.163	0.139	0.110
	5年配当漢字	0.210	0.144	0.178	0.255	0.228
	6年配当漢字	0.199	0.167	0.176	0.166	0.126
新聞	1年配当漢字	−	−0.060	−0.031	−0.020	0.163
	2年配当漢字	0.204	0.038	0.131	0.188	0.183
	3年配当漢字	0.132	0.029	0.098	0.139	0.064
	4年配当漢字	0.114	0.102	0.149	0.144	0.138
	5年配当漢字	0.263	0.181	0.213	0.275	0.209
	6年配当漢字	0.063	0.119	0.114	0.142	0.144

表1-4-20　使用率と習得率との相関係数－読み音訓のレベル－

		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
雑誌	1年配当漢字	−	0.349	0.331	0.317	0.249
	2年配当漢字	0.171	0.275	0.293	0.276	0.214
	3年配当漢字	0.315	0.316	0.321	0.305	0.240
	4年配当漢字	0.326	0.328	0.336	0.295	0.249
	5年配当漢字	0.408	0.361	0.360	0.368	0.321
	6年配当漢字	0.129	0.058	0.016	0.015	−0.082
新聞	1年配当漢字	−	0.282	0.266	0.260	0.202
	2年配当漢字	0.173	0.197	0.229	0.233	0.199
	3年配当漢字	0.294	0.265	0.277	0.272	0.211
	4年配当漢字	0.295	0.312	0.322	0.287	0.248
	5年配当漢字	0.367	0.290	0.271	0.278	0.230
	6年配当漢字	0.115	0.165	0.142	0.149	0.106

表1-4-21　使用率と習得率との相関係数ー書き文字のレベルー

		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
雑誌	1年配当漢字	―	0.198	0.300	0.305	0.206
	2年配当漢字	−0.024	0.166	0.213	0.317	0.300
	3年配当漢字	0.108	0.218	0.290	0.328	0.301
	4年配当漢字	0.126	0.275	0.363	0.385	0.319
	5年配当漢字	0.063	0.115	0.164	0.252	0.240
	6年配当漢字	0.254	0.246	0.266	0.270	0.259
新聞	1年配当漢字	―	0.224	0.280	0.296	0.209
	2年配当漢字	0.129	0.236	0.290	0.376	0.382
	3年配当漢字	0.097	0.200	0.268	0.296	0.326
	4年配当漢字	0.082	0.216	0.287	0.347	0.252
	5年配当漢字	0.164	0.084	0.169	0.205	0.231
	6年配当漢字	0.065	0.081	0.051	0.111	0.173

表1-4-22　使用率と習得率との相関係数ー書き音訓のレベルー

		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
雑誌	1年配当漢字	―	0.342	0.348	0.342	0.301
	2年配当漢字	0.032	0.265	0.287	0.336	0.304
	3年配当漢字	0.118	0.275	0.314	0.344	0.326
	4年配当漢字	0.171	0.279	0.374	0.392	0.362
	5年配当漢字	0.158	0.257	0.286	0.366	0.350
	6年配当漢字	0.191	0.171	0.197	0.193	0.196
新聞	1年配当漢字	―	0.293	0.296	0.287	0.259
	2年配当漢字	0.079	0.187	0.227	0.275	0.263
	3年配当漢字	0.115	0.222	0.262	0.301	0.305
	4年配当漢字	0.147	0.243	0.319	0.360	0.321
	5年配当漢字	0.207	0.206	0.213	0.296	0.290
	6年配当漢字	0.018	0.051	0.054	0.108	0.170

図1-4-12　小学校配当漢字の使用率の分布
ー文字単位ー

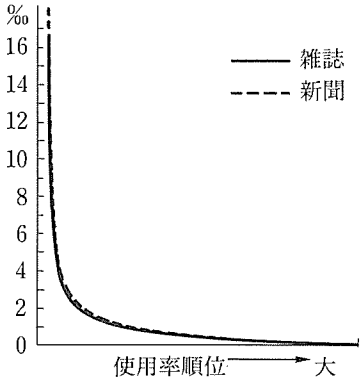
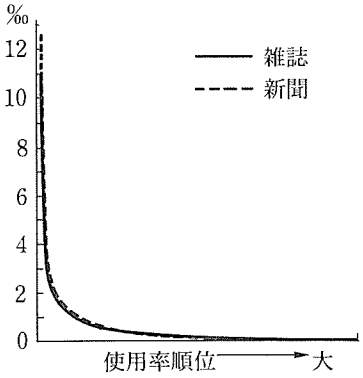


図1-4-13　小学校配当漢字の使用率の分布
ー音訓単位ー



なお，図1-4-12と図1-4-13に示すように，小学校配当漢字全体の漢字・音訓の使用率の分布は，高使用率の漢字・音訓のほうに大きく歪むという特異なものとなっている[1]。使用率の数字をそのまま用いるよりも，何らかの変数変換をして用いるほうが，習得率との関係をもっとよく説明できるかもしれない。また，画数と使用率との関係を個別に見るのではなく，両者を関連づけて見ることも必要だろう。これらについては，今後の課題としたい。

注

1) 河井芳文は，前掲論文の中で次のように述べている。「漢字の使用頻度の決定には，国立国語研究所『現代雑誌九十種の用語用字：漢字表』(1963) を用いた。これは，標本に現われた3328字に関してその使用頻度が調べられてある。ことば（単語）の場合と同様，漢字の使用頻度の分布は，高使用頻度の文字の方へ大きく歪んでいる。つまり，使用頻度と，使用頻度の順位との間に，一種の指数関数的な関係が成立すると考えられる。たとえば，高使用頻度の字から数えるとき，使用頻度は，最初の100字で約40%，200字で約55%，500字で約80%，1,000字で約90%の使用率を占める。」（河井芳文「漢字の物理的複雑性と読みの学習」，『教育心理学研究』14巻3号，1966年，2頁）

第5節　音読み・訓読みと漢字習得

第3節で見た日教組調査では，読みの場合，訓読みに弱点があることが指摘されている[1]。本節では，漢字習得における音読みと訓読みの違いと，漢字習得における訓読みの役割とについて考察する。

注

1) 『国民教育』(29号，1976年，14頁）から当該箇所を引用する。

小学校5年生の場合，平均得点は84.5点であり，一見して高い正答率であるように思われる。だが，半分以下しか読めなかった子どもが全体の6.7%——1080名中72名（そのなかには0点が3名ふくまれている）——いる。比較的小数といえども，この数字を軽視するわけにはいかない（中略）

また，「改める」，「帯」，「整える」，「種」の正答率は，それぞれ，26.5%，39.4%，54.4%，51.9%であり，いずれも訓読みであって，訓読みに弱点があることが指摘できる。「改める」は4年字，「整える」は3年で習うこともあるとされる4年字である

(1) 音読みと訓読み

表1-5-1は，小学校配当漢字全体について，音読みと訓読みの平均習得率を示したものである。大小関係を不等号で示し，そして，訓読みのほうが高いものに下線を付けた。読みでは，どの場合も音読みのほうが高い。しかし，書きでは，到達度と1年後は訓読みのほうが高く，2年後と4年後は音読みのほうが高い。つまり，読みと書きとで，傾向がやや異なるのである。

そして，表1-5-2と表1-5-3は，音読みと訓読みのそれぞれについて，習得率の度数分布を示したものである。読み書きとも，到達度では，訓読みよりも音読みのほうに習得率の低い音訓が多い。しかし，1年後，2年後，4年後となるに従って，訓読みのほうに習得率の低い音訓が多くなる。

表1-5-1　音読みと訓読みの平均習得率－小学校配当漢字全体－

	読み		書き	
	音読み	訓読み	音読み	訓読み
1年前	36.1 ＞	23.9	4.4 ＞	3.7
到達度	77.1 ＞	74.8	51.1 ＜	56.0
1年後	81.1 ＞	77.7	50.8 ＜	54.1
2年後	88.2 ＞	84.3	64.7 ＞	64.2
4年後	95.3 ＞	92.0	81.6 ＞	77.2

注）1年前は，1年配当漢字を調査していない。

表1-5-2　読みの習得率の度数分布－小学校配当漢字全体－

	音読み				訓読み			
	到達度	1年後	2年後	4年後	到達度	1年後	2年後	4年後
90.0－100.0	517	570	746	915	401	454	580	759
80.0－ 89.9	178	184	113	62	173	155	144	88
70.0－ 79.9	78	73	51	20	89	103	72	53
60.0－ 69.9	45	44	34	15	73	54	49	26
50.0－ 59.9	42	41	28	9	56	49	31	16
40.0－ 49.9	39	24	20	10	48	47	32	6
30.0－ 39.9	34	29	11	3	31	35	21	5
20.0－ 29.9	28	26	18	3	33	23	13	6
10.0－ 19.9	36	21	7	0	30	24	16	6
0.0－ 9.9	40	25	9	0	32	22	8	1
合　計	1037	1037	1037	1037	966	966	966	966

表1-5-3　書きの習得率の度数分布－小学校配当漢字全体－

	音読み				訓読み			
	到達度	1年後	2年後	4年後	到達度	1年後	2年後	4年後
90.0－100.0	40	48	119	382	59	65	139	335
80.0－ 89.9	84	83	174	297	121	115	167	202
70.0－ 79.9	140	104	187	170	152	123	147	157
60.0－ 69.9	173	130	165	89	149	116	136	93
50.0－ 59.9	147	192	152	57	131	137	116	83
40.0－ 49.9	118	139	96	22	108	117	91	39
30.0－ 39.9	125	148	65	13	87	107	69	26
20.0－ 29.9	72	82	40	5	60	92	51	17
10.0－ 19.9	63	65	27	2	62	57	37	13
0.0－ 9.9	75	46	12	0	39	39	15	3
合　計	1037	1037	1037	1037	968	968	968	968

以下に，「音」と「訓」とに分けて，読み書きのそれぞれについて，到達度で10％未満の習得率の音訓と10％台の習得率の音訓とを一覧する。

到達度・読みで10%未満の習得率の「音」

［1年配当漢字］一イツ，右ウ，雨ウ，気ケ，口コウ，口ク，子ス，糸シ，森シン，青セイ，石シャク，赤セキ，早ソウ，村ソン，町チョウ，田デン，文モン，目モク，林リン［2年配当漢字］絵カイ，玉ギョク，戸コ，広コウ，首シュ，色シキ，声セイ，雪セツ，組ソ，知チ，昼チュウ，頭ズ，読トク，読トウ，分ブ，米ベイ，米マイ，明ミョウ［3年配当漢字］持ジ，重チョウ，和オ

到達度・読みで10%台の習得率の「音」

［1年配当漢字］下ゲ，休キュウ，金コン，見ケン，山サン，手シュ，出シュツ，正セイ，男ナン，土ト，日ジツ，木ボク，名ミョウ，立リツ，力リキ［2年配当漢字］引イン，雲ウン，夏カ，帰キ，原ゲン，後コウ，工ク，寺ジ，晴セイ，買バイ，鳴メイ，楽ラク，里リ［3年配当漢字］軽ケイ，取シュ，息ソク，都ツ，平ビョウ，葉ヨウ，緑リョク［4年配当漢字］治チ

到達度・読みで10%未満の習得率の「訓」

［1年配当漢字］音ね，下しも，下くだ-す，空あ-く，空あ-ける，空から，十と，上のぼ-る，上のぼ-せる，上のぼ-す，生は-やす，足た-りる，足た-る，足た-す，白しら，木こ，六む［2年配当漢字］外ほか，外はず-す，計はか-らう，語かた-らう，交まじ-える，行おこな-う，高たか，自みずか-ら，半なか-ば［3年配当漢字］苦にが-る，仕つか-える，反そ-る，反そ-らす［4年配当漢字］栄は-える，費つい-える

到達度・読みで10%台の習得率の「訓」

［1年配当漢字］円まる-い，下くだ-る，下くだ-さる，学まな-ぶ，上かみ，正まさ，生い-かす，八や，本もと［2年配当漢字］記しる-す，計はか-る，語かた-る，交まじ-わる，交ま-ざる，行ゆ-く，新あら-た，親した-しむ，通かよ-う，風かぜ，歩あゆ-む，用もち-いる［3年配当漢字］幸さいわ-い，直ただ-ちに，有あ-る，路じ［4年配当漢字］宿やど-す，治おさ-まる［5年配当漢字］在あ-る，燃も-す［6年配当漢字］危あや-ぶむ

到達度・書きで10%未満の習得率の「音」

［1年配当漢字］一イツ，右ウ，雨ウ，気ケ，休キュウ，口コウ，口ク，子ス，糸シ，手シュ，森シン，正セイ，生ショウ，青セイ，石シャク，赤セキ，早ソウ，村ソン，男ナン，町チョウ，田デン，日ジツ，文モン，木ボク，名ミョウ，目モク，立リツ，林リン［2年配当漢字］雲ウン，夏カ，絵カイ，帰キ，玉ギョク，原ゲン，戸コ，古コ，広コウ，考コウ，合ガッ，合カッ，思シ，寺ジ，色シキ，声セイ，晴セイ，雪セツ，組ソ，多タ，知チ，昼チュウ，刀トウ，答トウ，読トウ，分ブ，明ミョウ，鳴メイ，楽ラク，里リ［3年配当漢字］寒カン，去コ，軽ケイ，持ジ，守シュ，守ス，取シュ，重チョウ，深シン，息ソク，待タイ，都ツ，波ハ，様ヨウ，緑リョク，和オ［4年配当漢字］勢セイ

到達度・書きで10%台の習得率の「音」

［1年配当漢字］下カ，下ゲ，金コン，見ケン，山サン，出シュツ，石セキ，足ソク，土ト［2年配当漢字］引イン，海カイ，近キン，工ク，黄オウ，合ゴウ，作サ，自シ，首シュ，秋シュウ，西セイ，走ソウ，池チ，冬トウ，頭ズ，読トク，買バイ，売バイ，米ベイ，米マイ，明メイ［3年配当漢字］飲イン，起キ，宮キュウ，祭サイ，細サイ，指シ，受ジュ，暑ショ，消ショウ，打ダ，着チャク，柱チュウ，追ツイ，定ジョウ，皮ヒ，平ビョウ，由ユ，葉ヨウ，落ラク，流リュウ［4年配当漢字］喜キ，折セツ，治チ［5年配当漢字］寄キ，興コウ，再サ，蚕サン，衆シュウ，述ジュツ，除ジョ［6年配当漢字］革カク，降コウ，縦ジュウ

到達度・書きで10%未満の習得率の「訓」

［1年配当漢字］円まる-い，音ね，空あ-く，空あ-ける，空から，十と，生い-かす，生い-ける，足た-りる，足た-る，足た-す，木こ［2年配当漢字］外ほか，記しる-す，計はか-る，計はか-らう，後のち，語かた-る，語かた-らう，交まじ-える，交ま-ざる，交ま-ぜる，行おこな-う，自みずか-ら，親した-しむ，晴は-らす，半なか-ば，明あ-く［3年配当漢字］仕つか-える，次つ-ぐ，代か-える，直ただ-ちに，反そ-る，反そ-らす，放はな-れる，路じ［4年配当漢字］説と-く［5年配当漢字］在あ-る，修おさ-まる

到達度・書きで10%台の習得率の「訓」

［1年配当漢字］雨あま，下しも，下くだ-す，学まな-ぶ，上うわ，上のぼ-せる，上のぼ-す，正まさ，生は-やす，千ち，八や，八や-っ［2年配当漢字］外はず-す，外はず-れる，教おそ-わる，交まじ-わる，交ま-じる，社やしろ，新あら-た，親した-しい，通かよ-う，歩あゆ-む，明あき-らか，明あ-くる，用もち-いる［3年配当漢字］温あたた-か，温あたた-かい，球たま，苦にが-る，係かか-る，幸さいわ-い，指さ-す，代か-わる，注そそ-ぐ，等ひと-しい，負お-う，放はな-す，放はな-つ，有あ-る［4年配当漢字］栄は-える，挙あ-がる，欠か-く，刷す-る，試こころ-みる，唱とな-える，成な-る，成な-す，節ふし，帯お-びる，満み-たす［5年配当漢字］易やさ-しい，解と-かす，経へ-る，構かま-う，収おさ-める，収おさ-まる，責せ-める，絶た-やす，絶た-つ，善よ-い，務つと-める［6年配当漢字］危あや-ぶむ

そして，4年後でも20%未満の習得率の音訓は，読みでは，

栄は-える，十と，上のぼ-せる，上のぼ-す，白しら，費つい-える，燃も-す

の7つであり，書きでは，

明あ-く，収おさ-まる，善よ-い，空あ-ける，上のぼ-す，足た-す，外ほか，<u>代タイ</u>，代か-わる，放はな-れる，栄は-える，<u>量はか-る</u>，解と-かす，構かま-う，収おさ-める，修おさ-まる，<u>留と-まる</u>，<u>弐ニ</u>

の18である。(到達度で20%以上の習得率の音訓には下線を付けた。) 日教組調査で指摘された「訓」もそうであるが，低習得率の音訓は，書き言葉的で使用頻度の低いものが多いようである。

さて，表1-5-4～表1-5-8は，配当学年別に音読みと訓読みの平均習得率を示したものである。表1-5-1と同様に，大小関係を不等号で示し，そして，訓読みのほうが高いものに下線を付けた。1～3年配当漢字は訓読みのほうが平均習得率が高く，4～6年配当漢字は，全般的に，音読みのほうが平均習得率が高い。特に到達度と1年後の場合は，その傾向がはっきりとしている。林四郎は，「昔から日本人の漢字教育は，一字一字が語であることを無条件の前提として行われてきた。」[1)]と述べている。この場合，「語」とは一般に「訓」であることが多いであろう[2)]。この林四郎の言葉を参考にすると，到達度，1年後で訓読みのほうが平均習得率が高いのは，児童・生徒が，「訓」から先に漢字の読み書きを学習しているからだと言うことができるだろう。そして，4～6年配当漢字で音読みのほうが平均習得率が高いのは，表1-5-9に示すように[3)]，4～6年配当漢字で，「音」の割合が大きくなることが関係しているのかもしれない。(2)で，漢字習得における音読みと訓読みとの違いについて，別の方向から見ることにする。

表1-5-4　音読みと訓読みの平均習得率
－1年前・配当学年別－

	読み		書き	
	音読み	訓読み	音読み	訓読み
1年配当漢字	－	－	－	－
2年配当漢字	10.8 <	11.6	0.7 <	1.0
3年配当漢字	27.1 >	19.6	2.6 >	1.8
4年配当漢字	38.0 >	23.7	3.9 >	2.5
5年配当漢字	46.7 >	22.3	5.0 >	2.6
6年配当漢字	57.1 >	52.8	10.2 <	13.8

表1-5-5　音読みと訓読みの平均習得率
－到達度・配当学年別－

	読み		書き	
	音読み	訓読み	音読み	訓読み
1年配当漢字	49.5 <	64.0	46.1 <	60.9
2年配当漢字	60.0 <	77.0	40.3 <	60.4
3年配当漢字	74.0 <	76.3	49.8 <	55.0
4年配当漢字	87.9 >	74.6	58.2 >	52.7
5年配当漢字	86.6 >	72.0	53.0 >	45.8
6年配当漢字	89.3 >	83.9	55.3 <	60.3

表1-5-6　音読みと訓読みの平均習得率
－1年後・配当学年別－

	読み		書き	
	音読み	訓読み	音読み	訓読み
1年配当漢字	59.0 <	71.0	53.2 <	66.5
2年配当漢字	68.7 <	81.3	49.8 <	64.6
3年配当漢字	79.7 <	79.9	49.8 <	52.6
4年配当漢字	88.5 >	73.6	51.3 >	43.5
5年配当漢字	88.4 >	75.4	50.3 >	40.8
6年配当漢字	89.8 >	83.9	51.7 <	53.2

表1-5-7　音読みと訓読みの平均習得率
－2年後・配当学年別－

	読み		書き	
	音読み	訓読み	音読み	訓読み
1年配当漢字	74.0 <	79.9	70.2 <	77.2
2年配当漢字	78.8 <	85.4	64.7 <	72.3
3年配当漢字	87.7 >	86.2	64.5 >	64.2
4年配当漢字	94.0 >	83.4	66.5 >	57.8
5年配当漢字	93.4 >	81.5	61.0 >	46.3
6年配当漢字	93.2 >	88.3	63.7 >	63.1

表1-5-8　音読みと訓読みの平均習得率
－4年後・配当学年別－

	読み		書き	
	音読み	訓読み	音読み	訓読み
1年配当漢字	90.1 >	88.9	88.2 >	85.1
2年配当漢字	90.8 <	93.6	83.4 <	84.4
3年配当漢字	95.9 >	93.2	83.3 >	79.5
4年配当漢字	97.1 >	90.2	80.2 >	68.9
5年配当漢字	96.7 >	89.9	77.5 >	63.3
6年配当漢字	97.9 >	95.4	80.4 >	77.7

表1-5-9　配当学年別音訓数の分布

	音	訓	合計
1年配当漢字	95	142	237
2年配当漢字	167	200	367
3年配当漢字	205	210	415
4年配当漢字	201	161	362
5年配当漢字	197	129	326
6年配当漢字	172	126	298
合　計	1037	968	2005

注

1)　林四郎『言語行動の諸相』明治書院，1978年，501頁

2)　林四郎は，上記文献において，さらに当用漢字1850字の音訓の一語としての独立性を調べて（用言を除く），「訓」で独立する漢字は373字，「音」で独立する漢字は288字，「訓」でも「音」でも独立する漢字は54字あるという結果を報告している。

3)　中学音訓・高校音訓は集計から除いた。

(2) 音訓と漢字習得

漢字によって音訓数に違いがある。表1-5-10は，小学校配当漢字全体について，音訓数別に漢字の数を集計したものである[1)]。音訓数のもっとも多い漢字は，下[1]と明[2]で，11音訓である[2)]。それでは，音訓数の多い漢字は習得が難しいのだろうか。そして，同一漢字の音訓の習得率には，どのような違いがあるのだろうか。表1-5-11～表1-5-14は，音訓数別に平均習得率を示したものである。表1-5-11と表1-5-12は，文字のレベルについてであり，表1-5-13と表1-5-14は，音訓のレベルについてである。そして，到達度についてのみ，図1-5-1と図1-5-2にそれをグラフに表した。文字のレベルでは，音訓数の多い漢字ほど習得率が高いという傾向がある。しかし，音訓のレベルでは，反対に，音訓数の多い漢字ほど習得率が低いという傾向がある。つまり，どれか１つの音訓を習得するというだけならば音訓数の多い漢字ほど習得が容易なのであるが，音訓全体を均して見ると，音訓数の多い漢字ほど習得が難しいのである。そして，集計表は省略するが，この傾向は，配当学年別に見てもほとんど変わらない。

さて，表1-5-15は，７音訓以上の漢字について，音訓別に習得率を示したものである。どの漢字でも，１つないし２，３，学校での学習の初め（到達度）から，ほかの音訓に比べて特に習得率の高い音訓のあることが認められる。表1-5-15にあげた漢字について言えば，

分　ブン，フン
冷　レイ，つめ－たい，ひ－やす
上　うえ
生　セイ，う－まれる
下　した
明　あか－るい

などがそうである。これら以外の音訓は，到達度ではそれほど習得率が高くなく，１年後，２年後，４年後となるに従ってだんだんと習得率が上昇していく。つまり，「訓」ないしよく使われる「音」が漢字習得の上で中核となっているようである。このことを仮説として，「音」と「訓」のどちらが漢字習得の上で中核となっているかを，小学校配当漢字全体について概観してみよう。「音」と「訓」をどのように持つかということで漢字を分類すると，次のようになる。表1-5-16は，配当学年別にその数を示したものである。

「音」だけを持つ漢字
「訓」だけを持つ漢字
「音」と「訓」の両方を持つ漢字

そして，「音」と「訓」の両方を持つ漢字について，それぞれその漢字の「いちばん習得率が高い音読み」と「いちばん習得率が高い訓読み」とを比較して，

音読みのほうが習得率の高い漢字
訓読みのほうが習得率の高い漢字
両方同じ習得率の漢字

表1-5-10　1漢字あたりの音訓数の分布

音訓数	配当学年						合計
	1	2	3	4	5	6	
1	8	19	64	88	105	116	400
2	26	71	72	69	59	52	349
3	17	35	40	24	22	14	152
4	14	10	9	10	8	5	56
5	8	5	9	2	1	2	27
6	0	3	1	1	0	1	6
7	0	1	0	0	0	0	1
8	0	0	0	1	0	0	1
9	1	0	0	0	0	0	1
10	1	0	0	0	0	0	1
11	1	1	0	0	0	0	2
合　計	76	145	195	195	195	190	996

表1-5-11　音訓数別平均習得率ー読み・文字のレベルー

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1音訓の漢字	48.6	92.6	92.6	95.5	98.2
2音訓の漢字	41.3	92.8	93.9	96.6	98.7
3音訓の漢字	36.3	93.0	94.3	96.8	98.9
4音訓の漢字	39.1	93.5	95.0	97.9	99.1
5音訓の漢字	34.8	91.6	94.5	96.8	98.9
6音訓の漢字	24.3	92.4	93.6	97.3	99.4
7音訓の漢字	20.5	92.5	96.2	98.8	100.0
8音訓の漢字	75.0	99.0	98.5	100.0	99.5
9音訓の漢字	ー	89.5	93.8	95.3	99.4
10音訓の漢字	ー	96.5	96.2	98.9	100.0
11音訓の漢字	14.0	90.5	91.5	96.8	99.4

表1-5-12　音訓数別平均習得率ー書き・文字のレベルー

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1音訓の漢字	6.3	60.7	55.5	67.2	82.0
2音訓の漢字	5.9	67.8	64.8	75.7	87.2
3音訓の漢字	5.1	71.6	69.5	79.0	89.6
4音訓の漢字	7.9	74.0	71.9	82.8	90.8
5音訓の漢字	3.7	76.0	74.4	84.3	93.0
6音訓の漢字	2.6	72.0	71.7	86.6	94.8
7音訓の漢字	4.0	87.0	88.7	98.8	99.0
8音訓の漢字	5.0	83.0	73.0	83.0	97.0
9音訓の漢字	ー	91.0	94.8	97.3	99.4
10音訓の漢字	ー	90.0	94.8	94.1	97.7
11音訓の漢字	1.0	79.0	86.0	93.5	98.3

表1-5-13　音訓数別平均習得率ー読み・音訓のレベルー

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1音訓の漢字	48.6	92.6	92.6	95.5	98.2
2音訓の漢字	30.1	76.5	79.8	86.7	94.2
3音訓の漢字	22.3	71.7	76.0	84.1	92.8
4音訓の漢字	23.3	71.5	75.3	83.8	91.8
5音訓の漢字	15.9	61.5	69.1	78.0	89.4
6音訓の漢字	9.7	58.0	67.5	76.1	89.3
7音訓の漢字	6.1	66.1	71.7	77.2	86.0
8音訓の漢字	45.1	80.4	81.0	85.0	93.9
9音訓の漢字	―	34.6	41.5	60.2	72.6
10音訓の漢字	―	42.7	54.7	67.4	81.8
11音訓の漢字	5.7	41.9	56.3	68.3	82.7

表1-5-14　音訓数別平均習得率ー書き・音訓のレベルー

	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
1音訓の漢字	6.3	60.7	55.5	67.2	82.0
2音訓の漢字	4.2	52.8	51.8	64.0	79.6
3音訓の漢字	2.7	51.7	51.0	63.2	78.7
4音訓の漢字	4.2	54.3	53.9	65.7	79.1
5音訓の漢字	1.4	48.7	50.9	62.2	76.6
6音訓の漢字	1.5	45.5	52.7	61.8	76.4
7音訓の漢字	1.1	49.9	52.9	55.9	69.7
8音訓の漢字	2.8	58.1	50.3	60.9	77.3
9音訓の漢字	―	34.0	41.6	63.7	72.4
10音訓の漢字	―	34.0	46.4	66.2	77.7
11音訓の漢字	0.2	30.2	44.7	60.7	78.6

図1-5-1　音訓数別平均習得率
ー到達度・文字のレベルー

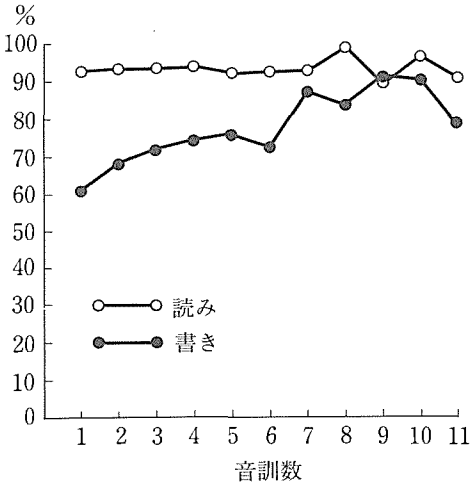


図1-5-2　音訓数別平均習得率
ー到達度・音訓のレベルー

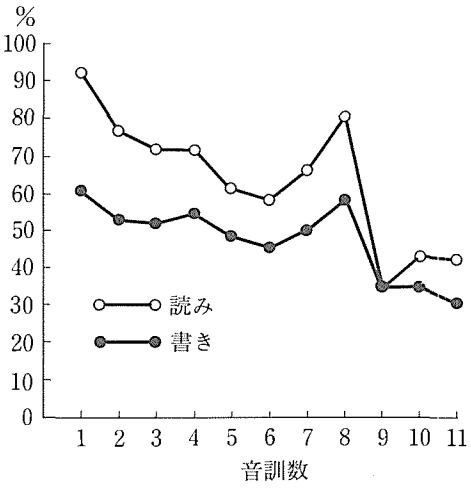


表1-5-15　音訓数の多い漢字の音訓別習得率

漢字	音　訓	読み					書き				
		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後	1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
分[2]	ブン	12.5	92.5	96.2	98.8	100.0	3.0	87.0	85.7	98.8	99.0
	フン	20.5	89.5	84.4	88.4	93.0	4.0	83.0	88.7	90.0	98.0
(7)	ブ	0.0	0.5	3.2	3.6	21.5	0.0	4.0	7.1	8.7	35.0
	わ-ける	4.0	86.0	95.1	97.0	99.0	0.5	59.0	69.9	73.7	87.5
	わ-かれる	4.5	85.0	91.2	94.5	99.5	0.0	47.0	48.9	47.4	59.0
	わ-かる	1.0	73.5	82.2	87.1	96.0	0.0	39.0	48.6	45.7	58.5
	わか-つ	0.0	35.5	49.5	71.3	93.0	0.0	30.0	21.5	27.2	51.0
冷[4]	レイ	75.0	98.0	97.0	98.5	99.0	4.0	71.0	69.0	68.0	95.0
	つめ-たい	68.5	98.5	98.0	100.0	99.5	4.0	83.0	73.0	83.0	95.0
(8)	ひ-える	46.0	91.5	94.0	97.5	98.5	3.0	72.0	51.0	79.0	83.0
	ひ-や	42.5	78.0	80.5	91.5	98.5	1.0	58.0	45.0	49.0	75.0
	ひ-やす	57.5	99.0	98.5	100.0	99.5	5.0	78.0	73.0	83.0	97.0
	ひ-やかす	63.5	94.5	97.0	99.0	99.5	2.0	45.0	50.0	47.0	71.0
	さ-める	3.5	42.0	45.0	45.0	79.5	2.0	35.0	19.0	40.0	52.0
	さ-ます	4.0	42.0	38.0	48.5	77.0	1.0	23.0	22.0	38.0	50.0
上[1]	ジョウ	−	23.5	44.9	86.4	98.2	−	30.0	56.3	94.7	99.4
	うえ	−	89.5	93.8	94.8	99.4	−	91.0	94.8	97.3	98.8
(9)	うわ	−	27.0	40.3	75.5	91.0	−	15.0	14.7	67.4	86.7
	かみ	−	12.0	18.6	51.3	84.2	−	22.0	25.8	55.5	93.6
	あ-げる	−	76.0	79.9	93.5	99.4	−	44.0	64.5	70.1	94.2
	あ-がる	−	75.5	84.7	95.3	98.8	−	48.0	52.0	77.7	97.1
	のぼ-る	−	6.5	10.4	35.5	58.9	−	24.0	33.3	45.4	35.1
	のぼ-せる	−	1.0	0.6	4.2	13.0	−	16.0	19.5	36.2	29.1
	のぼ-す	−	0.5	0.0	5.3	10.2	−	16.0	13.3	29.0	17.7
生[1]	セイ	−	96.5	96.2	98.9	100.0	−	90.0	94.8	94.1	96.5
	ショウ	−	20.5	42.3	62.4	89.3	−	9.0	20.0	59.9	87.9
(10)	い-きる	−	62.5	89.5	97.9	99.4	−	25.0	53.2	87.7	97.7
	い-かす	−	15.5	29.1	65.8	92.1	−	9.0	26.9	60.6	84.2
	い-ける	−	20.0	37.5	67.7	83.1	−	8.0	12.7	38.8	56.0
	う-まれる	−	94.5	94.9	97.3	100.0	−	74.0	81.9	93.6	95.3
	う-む	−	59.0	54.3	61.6	90.5	−	61.0	52.6	71.9	61.7
	は-える	−	23.0	52.1	44.2	57.2	−	27.0	46.7	51.6	50.3
	は-やす	−	5.0	11.7	11.0	25.6	−	10.0	21.4	30.6	59.9
	なま	−	30.0	39.8	67.4	80.6	−	27.0	53.5	72.8	87.3
下[1]	カ	−	49.5	83.4	92.6	98.8	−	11.0	46.7	67.9	90.9
	ゲ	−	16.0	44.3	70.1	92.1	−	13.0	26.9	53.5	91.3
(11)	した	−	87.5	85.1	94.7	98.2	−	93.0	90.6	94.2	100.0
	しも	−	4.5	13.8	31.7	80.1	−	14.0	22.7	51.9	93.1
	さ-げる	−	43.5	77.8	93.7	97.0	−	36.0	71.4	85.0	87.2
	さ-がる	−	41.0	77.9	82.8	98.2	−	36.0	65.4	77.3	83.3
	くだ-る	−	19.0	31.4	65.6	91.0	−	26.0	32.7	68.5	88.4
	くだ-す	−	2.5	1.9	7.4	24.3	−	19.0	20.1	46.5	62.3

	くだ－さる	－	12.0	8.8	21.5	57.6	－	30.0	34.8	48.1	71.9
	お－ろす	－	62.0	83.4	87.8	96.4	－	34.0	42.6	52.7	61.5
	お－りる	－	68.0	80.9	90.1	92.3	－	45.0	59.7	62.9	76.7
明[2]	メイ	5.0	44.0	73.0	94.5	100.0	0.0	17.0	34.1	75.1	94.5
	ミョウ	2.0	9.0	15.6	28.7	65.0	0.0	9.0	19.9	32.9	77.9
(11)	あ－かり	6.5	78.5	85.6	95.2	99.0	0.5	41.0	57.7	83.1	92.5
	あか－るい	14.0	93.5	97.8	98.8	100.0	1.0	65.0	81.4	92.8	96.5
	あか－るむ	2.0	52.0	65.4	72.1	88.5	0.0	49.0	61.3	66.1	78.0
	あか－らむ	0.5	26.5	43.0	28.7	50.5	0.0	26.0	45.1	55.5	68.5
	あき－らか	3.5	20.5	50.0	61.6	82.0	1.0	12.0	28.8	44.5	69.2
	あ－ける	11.5	79.0	83.6	95.8	98.5	0.0	43.0	57.1	73.4	92.5
	あ－く	1.0	22.5	21.9	38.7	39.5	0.0	4.0	4.3	7.0	9.5
	あ－くる	13.0	49.5	68.6	74.8	80.0	0.0	19.0	55.2	64.2	79.0
	あ－かす	4.0	41.5	44.9	75.2	89.5	0.0	22.0	25.5	32.9	64.5

注）（　）の中の数字は音訓数

表1-5-16　音訓の持ち方別漢字数の分布

	音だけ	訓だけ	両　方	合　計
1年配当漢字	7	3	66	76
2年配当漢字	21	5	119	145
3年配当漢字	61	6	128	195
4年配当漢字	92	3	100	195
5年配当漢字	103	6	86	195
6年配当漢字	102	22	66	190
合　　計	386	45	565	996

に分類して示したものが，表1-5-17と表1-5-18である。括弧の中の数字は，表1-5-16の「音だけ」と「訓だけ」とを，「音読みのほう」と「訓読みのほう」にそれぞれ加えたものである。括弧の中の数字に注目して小学校配当漢字全体について見ると，どの場合も「音読みのほう」が圧倒的に多い。つまり，「音」が漢字習得の上で中心的な役割を果たしているのである。林四郎は，「昔から日本人の漢字教育は，一字一字が語であることを無条件の前提として行われてきた。」と述べた後，「それは，教育の基本方針としては，今も正しさを失わないが，現代日本語の語彙の実態は，漢字の一字一字が，そのまま語であるよりも，各字は語の一部すなわち造語要素に過ぎないという性格を次第に強くしつつある。」[3]と続けている。「音」だからといって語として独立しないというわけではないが[4]，「音読みのほう」が圧倒的に多いというこの結果は，「一字一字が語であることを無条件の前提として」漢字の教育を行うことが，現代ではしにくくなっていることを示していると言えるだろう。

さて，児童・生徒の漢字習得の傾向を見るために，「音」と「訓」の両方を持つ漢字に注目することにしよう。読みでは，1年前以外は「訓読みのほう」が多い。そして，書きでは，どの場合も「訓読みのほう」が多い。また，配当学年別に見ると，1～3年配当漢字は，「訓読みのほう」が

多く，4～6年配当漢字は，「音読みのほう」が多い。つまり，高学年に配当されている漢字よりも低学年に配当されている漢字のほうが，そして読みよりも書きのほうが，「訓」に依存した漢字習得が行われていると言えるだろう。

表1-5-17　同一漢字の音読みと訓読みの比較－小学校配当漢字全体－

		1年前	到達度	1年後	2年後	4年後
漢字数		499(920)	565(996)	565(996)	565(996)	565(996)
読み	音読みのほう	261(640)	229(615)	246(632)	263(649)	255(641)
	訓読みのほう	238(280)	330(375)	315(360)	289(334)	268(313)
	両方同じ	0	6	4	13	42
書き	音読みのほう	180(559)	191(577)	216(602)	241(627)	258(644)
	訓読みのほう	212(254)	363(408)	343(388)	314(359)	290(335)
	両方同じ	107	11	6	10	17

注）（　）の中の数字は，表1-5-16の「音だけ」「訓だけ」を加えた数

表1-5-18　同一漢字の音読みと訓読みの比較－到達度・配当学年別－

	漢字数	読み			書き		
		音読みのほう	訓読みのほう	両方同じ	音読みのほう	訓読みのほう	両方同じ
1年配当漢字	66(76)	23(30)	43(46)	0	22(29)	44(47)	0
2年配当漢字	119(145)	23(44)	96(101)	0	21(42)	98(103)	0
3年配当漢字	128(195)	42(103)	85(91)	1	41(102)	87(93)	0
4年配当漢字	100(195)	57(149)	40(43)	3	52(144)	46(49)	2
5年配当漢字	86(195)	49(152)	37(43)	0	48(151)	36(42)	2
6年配当漢字	66(190)	35(137)	29(51)	2	32(134)	32(54)	2

注）（　）の中の数字は，表1-5-16の「音だけ」「訓だけ」を加えた数

注
1）中学音訓・高校音訓は，集計から除いた。
2）漢字の右肩の数字は，配当学年である。表1-5-13も同じ。
3）林四郎『言語行動の諸相』明治書院，1978年，501頁
4）(1)の注2)を参照。

(3) 漢字習得の機構

福沢周亮は,「漢字の読字学習の原理的な形態は,漢字に音が結びつくことにあるわけで,これは,漢字を刺激項,音を反応項とした対連合学習である。」[1]と述べている。文字と音節とが原則として1対1の対応をしている仮名文字の場合,このような説明はなじみやすい。

しかし,漢字は,通例,複数の読み(音訓)と複数の意味とを持っている。そして,このことが,現代日本語における漢字の用法の複雑さの元ともなっており,漢字習得の上での困難さの原因ともなっている。福沢の説明は,事態をやや単純にしすぎているようである。

(2)で見たように,現代の漢字教育では「一字一字が語であることを無条件の前提として行」うということが難しくなっている。このことに対応した漢字の学習指導の方法の開発が必要とされるところであり,そして,本報告書に報告する「分類学習漢字表」の有用性は,実はここのところにある。なお,本項では,「漢字習得の機構」という題目としながらも,具体的に触れ得なかった。次の武部良明の文章を引用することによって,このことに代えることにする。

> しかし,一つの漢字の読み方が何種類にもわたるのは,個々の漢字を単位として見た場合の結論である。個々の語を表すために用いられる漢字のほうは,それぞれの語ごとに固定しているのが実情である。問題は,その場合に個々の漢字の読み方をすべて学習したとしても,そのことから特定の語の読み方が導き出せないということである。ただし,そのことは,漢字の場合に限らないのである。個々の語の習得に当たっては,その語の意味や発音を覚えるとともに,その語の文字表記を覚え,その文字表記の読み方を覚えるべきである。未学習の語の漢字表記に出会ったときにそれが読めないと非難するのは,全くの筋違いである。また,未学習の語の漢字表記も自由に読みこなしたいと意図して個々の漢字の読み方をすべて習得しようとすることは,全くむだなことである。漢字の指導に当たっては,まず,このことを心得ておくべきである。
>
> ただ,この場合,次のことを見逃してはならないのである。それは,漢字が基本的には意味を表す文字として用いられるということである。そうして,このことは,漢字の持つ利点として,大いに役立てるべきである。それは,漢字を単位としてその意味を習得することが,大いに役立つということである。特に理解の立場では,読み方が分からなくても,意味が分かれば十分である。一般に言語を理解する場合,文字表記から発音が分かるのと文字表記から意味が分かるのとどちらが役立つかといえば,意味の分かるほうが役立つはずである。その点では,漢字が意味を表す文字だということを,もっと積極的に活用すべきである。そうして,このことが,漢字で書かれた語の意味を記憶の中に定着させる上でも,大いに役立つことを十分に心得ておくべきである[2]。

注

1) 福沢周亮『漢字の読字学習－その教育心理学的研究－』学燈社,1976年,78頁
2) 武部良明『日本語表記法の課題』三省堂,1981年,332～333頁

第6節　誤答と漢字習得

誤答が，正答と同じか，あるいはそれ以上に，児童・生徒の漢字習得の傾向を示すことがある。報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』では，誤答の分析を行うまでには至らなかった。本節で，誤答の分析を行うことにする。

(1) 誤答分析

誤答に関する研究は，以前からさまざまな分野で行われてきた。しかし，ここで言う誤答分析（error analysis）とは，1960年代にアメリカの第2言語習得（外国語教育）の研究の中から生まれてきた考え方を指している[1)]。すなわち，言語習得は，単純な習慣形成ではなく，学習者の能動的な規則発見のプロセスであって，誤答とは，「学習者が学習段階において目標言語に対して持っている自己の仮設〔中略〕をうかがわせる資料である」[2)]，という考え方である。

吉田章宏・松田彌生・志村正子「漢字の教授＝学習――誤字分析からの接近――」，『東京大学教育学部紀要』14巻，1974年

は，第1言語習得（母国語教育）の領域においてであるが，島村の知る限り，漢字習得に関して，上のような考え方で誤答分析を行った最初の研究である[3)]。吉田等によれば，誤答（誤字）の研究には，次の3つの意義がある。

第一には，誤りを除くために誤りを知ること。すなわち，克服し排除すべき対象である誤字をまず研究すべきだということ。

第二は，正しいものを知るために誤りを知ること。すなわち，正字を書く過程の研究からだけでは見出すことの困難な様々な側面を，誤字発生の研究を通じて明らかにすることである。たとえば，正字を書く活動の根底には，生じやすい誤りを抑制する活動がある。このような側面は，誤字の研究によって明らかになると期待される。正しいものを真に理解するためには誤りを理解しなければならないという考えは，より一般的には，心理学における病理的方法の考え方に通じている。子どもの誤答の研究から「臨床法」を生み出したピアジェ（1955）にも，思考の病理を研究したツァイガルニック（Zeigarnik，1965）にも，また，言い誤り，書き誤りの分析におけるフロイド（1970）にも，同様に，この考え方がみられる。

さて，第三は，正しいものを生むために誤りを知ること。すなわち，正字の教授法の改善のために誤字を研究するということである。誤字の研究の重要性については，ロシア語の読み書きの学習の教授法の改善という立場から，アナニエフも次のようにいっている。「同じ子どもでくり返されたり，また，異なった学級や学校でくり返しくり返し現われるような誤りを研究することは，……方法学の完成にとって，すなわち，一般的にいえば，教授＝学習の，また特殊的には，読みおよび書きの教授＝学習の改良にとって大きな意味を持っている」（Ananjew，1963，p.384）[4)]

漢字習得の研究において，誤答の研究は，これまで，もっぱら誤答の分類という形式で行われてきた。そして，その場合，多くの研究は，吉田等のあげる誤答分析の3つの意義のうち，第1と第

3の意義にのみ注目して，第2の意義，すなわち「正字を書く過程の研究からだけでは見出すことの困難な様々な側面を，誤字発生の研究を通じて明らかにすること」には，あまり注目してこなかったように思われる。たとえば，

東京都立教育研究所教科研究部国語研究室『児童・生徒の漢字学習に関する基礎的研究（Ⅰ）——漢字の読みの習得の実態と学習指導——』非売品，1989年

東京都立教育研究所教科研究部国語研究室『児童・生徒の漢字学習に関する基礎的研究（II）——漢字の習得の実態と学習指導——』非売品，1990年

は，漢字の読みと書きの誤答の分類を行っている。すなわち，読みについては，

ア　読まない又は飛ばして読む。

イ　類似の字形に当てはめて読む。〔例〕島（とり），働き（うごき），銀色（きんいろ）

ウ　音と訓を混同して読む。〔例〕加えた（か），建物（けんぶつ），部下（ぶした）

エ　文脈の中で類推して読む。〔例〕喜んで（ふくらんで），運び（とび），午後（ごぜん）

オ　片仮名と混同して読む。〔例〕力（カ），八（ハ），夕やけ（タ）

カ　知っている語に当てはめて読む。〔例〕相談（ほうこく），原子力（でんしりょく）

キ　知っている読みに当てはめて読む。〔例〕部屋（ぶや），置き代え（ちきだえ）

ク　発音の不明瞭なままに読む。〔例〕授業中（じぎょうちゅう），級友（きゅゆう）

ケ　一字の読みから創作して読む。〔例〕願望（ねんぼう，げんぼう），散在（たんざい）

に分類しており，書きについては，

ア　誤答がなく無答になる。

イ　無答がなく誤答になる。

ウ　字形の認識が不明確で誤って書く。

エ　同じ読みの異なる字を当てはめて書く。〔例〕子→小，天気→手木，世話→世和

オ　意味から類推して書く。〔例〕川→水，上→下，木→林，努力→協力

カ　知っている字，似ている字を当てはめて書く。〔例〕続け→読け，残す→浅す，苦→若

キ　偏（へん）や旁（つくり）を誤って書く。〔例〕校→姌，輪→綸，録→諌，緑→線

ク　熟語の語の順序を取り違えて書く。〔例〕変化→化変，案内→内案

ケ　かがみ文字に書く。〔例〕下→丁

に分類している。しかし，このような分類では，漢字のテスト場面での児童・生徒の解答傾向をうかがわせはするが，児童・生徒の漢字習得の傾向をうかがわせはしないだろう。本節では，吉田等のあげる誤答分析の第2の意義に注目して，誤答を分析することによって，児童・生徒の漢字習得の傾向に接近することにする[5)]。

注

1) 誤答分析に関する以下の説明は，小篠敏明編『英語の誤答分析』（大修館書店，1983年）にもとづく。

2) 小篠敏明編『英語の誤答分析』，2～3頁

3) そして，島村の知る限り，唯一の研究でもある。ただし，この研究がアメリカの誤答分析の研究を参照して行われたものかどうかということは，不明である。

4) 吉田章宏・松田彌生・志村正子「漢字の教授＝学習――誤字分析からの接近――」，『東京大学教育学部紀要』14巻，1974年，224頁

5) 島村にはこの問題に別の方法でアプローチしたものがある。島村直己「児童の漢字学習――アンケート調査の結果から――」（報告96『研究報告集10』秀英出版，1989年）を参照。

(2) 読みの誤答分析

1) 誤答のカテゴリー

解答の正誤判定の基準については，報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』の第3章第3節第2項に述べたので，説明は省略する。ここでは，この調査で設けた読みの誤答のカテゴリーについて説明する。読みの場合，誤答には，次の3～9および0のコードを付けた[1]。

3……連濁の表記を誤ったり[2]，促音・拗音・長音・撥音などの音節の表記を誤ったりしたもの〔例〕番組（ばんくみ），北海道（ほかいどう），兄弟（きょだい）

4……正しい読みであるが，表外音訓（常用漢字表に掲載されていない音訓）を書いたもの〔例〕空く（すく），注ぐ（つぐ），留まる（とどまる），私（わたし）

5～8…コード3・4以外の誤答で，漢字の学習指導上参考になると思われる以下のもの

似た文字を誤って書いたと思われるもの〔例〕子犬（こいね），馬（うは）

濁点・半濁点を付けてないもの〔例〕半分（はんふん），勝負（しょうふ）

濁点・半濁点を付け加えたもの〔例〕自転車（じでんしゃ），土地（どち）

音声を付け加えたもの〔例〕番組（ばあんぐみ），由来（ゆうらい）

音声を脱落させたもの〔例〕強い（つおい），体育（たいく）

発音がなまったもの〔例〕親しい（ひたしい），原因（げいいん）

その他（その漢字の別の音訓を書いたものなど）

9……無答

0……3～9以外の誤答

注

1) 「わ」「え」に，「は」「へ」の文字をあてたものは，コード3に入れた。また，コード5～8は，「コード3・4以外の誤答で，漢字の学習指導上参考になると思われるもの」に，出現順に5・6・7・8のコードを順番に付けた。

2) この調査では，文字としてだけでなく，語としても読めていないと正答としなかった。そのため，連濁することが通常のものは，連濁表記をしていないと，誤答とした。

2) コード３の解答の分析

コード３の解答は，「連濁の表記を誤ったり，促音・拗音・長音・撥音などの音節の表記を誤ったもの」である。実は，これには，表記の誤りと，発音の誤りとが混在している。そして，正答にもっとも近い誤答であって，ソビエト連邦の心理学者ヴィゴツキーの用語を借りれば，次に発達する領域，すなわち「発達の最近接領域」[1)]と言えるものである。ここでは，到達度についてのみ，コード３の解答について見ることにする。

まず，１つ１つの音訓について，次の２つの数字を求める。

正答率　　正答の割合

正３率　　「正答＋コード３の解答」の割合

図1-6-1と図1-6-2は，配当学年別に平均正答率と平均正３率をグラフに表したものである。文字のレベル，音訓のレベルとも，平均正答率と平均正３率との間の違いはほとんどない。これは，「連濁の表記を誤ったり，促音・拗音・長音・撥音などの音節の表記を誤った」りする可能性のあるものが，提出した問題のごく一部だということが関係しているだろう。そして，コード３の解答を正答に入れるかどうかということは，全体の結果にそれほど影響を与えるものではないと言えるだろう。以下に，コード３の解答の割合が５％以上のものを一覧する。左に漢字と音訓とを示し，右に提出語彙と，括弧の中に実際に出現したコード３の解答とを示した。漢字の右肩の数字は，配当学年である。

図1-6-1　配当学年別平均正答率と平均正３率
ー読み文字のレベルー

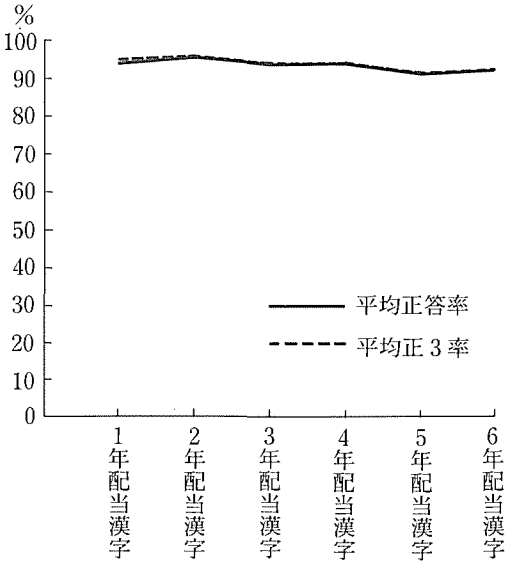
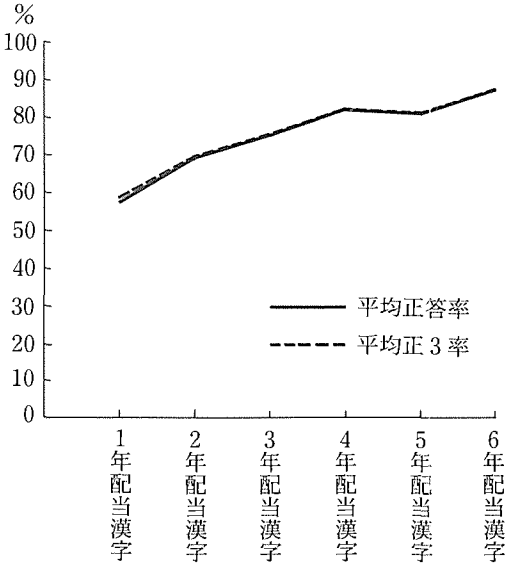


図1-6-2　配当学年別平均正答率と平均正３率
ー読み音訓のレベルー



20%台

空[1] そら　青空（そら）
十[1] ジッ　十本（じ，じゅ）
出[1] シュッ　出発（しゅ，しっ）
称[5] ショウ　名称（しょ）

10%台

九[1] キュウ　九こ（きゅ）
三[1] み　三日め（み）
十[1] ジュウ　十月（じゅ，じう）
川[1] かわ　小川（かわ）
牛[2] ギュウ　牛乳（ぎゅ，ぎう）
高[2] たか　売り上げ高（たか）
組[2] くみ　番組（くみ）
借[4] シャク　借金（しゃ）
授[5] ジュ　授業（じ）

5%以上10%未満

火[1] ひ　花火（ひ）
十[1] とお　十日（と）
小[1] ショウ　小学校（しょ）
正[1] ショウ　正月（しょ）
夕[1] ゆう　夕方（ゆ）
中[1] チュウ　中心（ちゅ，ちう）
入[1] ニュウ　入学（にゅ，にう）
何[2] なん　何度（な）
顔[2] ガン　顔面（が）
教[2] キョウ　教室（きょ）
形[2] かた　ひし形（かた）
合[2] カッ　雪合戦（かっ，が）
弱[2] よわ-い　弱い（よは，よあ）
秋[2] シュウ　秋分の日（しゅ）
少[2] ショウ　少年（しょ）
分[2] わ-かる　分かる（は）
北[2] ホク　北海道（ほく）
話[2] ワ　電話（は）
言[3] ゴン　伝言板（ご，ごう）
住[3] ジュウ　住所（じゅ）
勝[3] ショウ　勝負（しょ）
注[3] チュウ　注意（ちゅ）
丁[3] チョウ　一丁目（ちょ）
表[3] ヒョウ　発表（ぴょ，ひょう，ひょお）
願[4] ガン　念願（が）
河[5] カ　運河（か）

注

1) L. S. ヴィゴツキー，柴田義松訳『思考と言語　上』（明治図書，1962年，268～269頁）から引用する。

上述の例を思いおこそう。われわれのまえに知能年齢が同じ七才の子どもが二人いる。しかし，そのうちの一人は，ちょっとした援助で，九才の問題を解くが，もう一人は七才半の問題しか解けない。これら両人の知能発達が同じだろうか？　かれらの自主的活動という点では同じである。だが，発達の最近接可能性という点では，かれらは鋭く分れる。大人の援助を得て子どもがすることのできるものは，われわれにかれの発達の最近接領域を示してくれる。これは，この方法によるときわれわれは，すでに今日完成した発達過程だけでなく，すでに完結した発達サイクルだけでなく，すでにしあがった成長過程だけでなく，現在生成しつつある過程，成長しはじめたばかりの過程をも考慮することができることを意味する。

子どもが今日，大人の助けを受けてできることは，明日には，自主的にできるようになるだろう。このように，発達の最近接領域は，われわれが，発達においてすでに到達したものだけでなく，成長過程にいまあるものを考慮しつつ，子どもの明日，子どもの発達の動的状態を明らかにすることを助ける。上述の二人の子どもは，すでに完結した発達サイクルの点では同一の知能年齢を示す。だが，かれらの発達の動態は，まったく異なっている。このようなわけで，子どもの知能の発達状態は，少なくとも二つの水準――現在の発達水準と発達の最近接領域――を明らかにすることによって，明確にされることができる。

3) 誤答例

コード5～8の解答，すなわち「コード3・4以外の誤答で，漢字の学習指導上参考になると思われるもの」について，到達度で5％以上のものを一覧する。表記の誤りは，実際には発音の誤りであることが多い。そして，その漢字の別の音訓を書くという誤答は，コード5～8の解答の中でもっとも多いが，テスト場面での自然な選択行動であるだろう。

濁点・半濁点を付け加えたもの

点[2] テン	点線	でんせん(10.0)
細[3] サイ	細工	ざいく(6.0)
神[3] シン	神話	じんわ(5.0)
転[3] テン	自転車	じでんしゃ(11.5)
畑[3] はた	田畑がひろがる	たばた(5.5)
臣[4] シン	家臣	かじん(42.5)
治[4] チ	自治会	じじかい・じぢかい(44.5)

音声を付け加えたもの等

十[1] ジツ	十本	じゅうぽん・じうぽん・じゅっうぽん(32.5)
立[1] た-てる	立てる	たってる(10.0)
六[1] む-つ	六つ切り	むっつぎり・むつつぎり・むっつつぎり(30.0)
湖[3] コ	湖水	こうすい(10.5)
酒[3] シュ	ぶどう酒	ぶどうしゅう(8.5)
由[3] ユ	由来	ゆうらい(20.5)
油[3] ユ	石油	せきゆう(14.0)
勢[4] いきお-い	水の勢い	いきよい(6.0)

音声を脱落させたもの

体[2] タイ	体育	たいく(10.5)
育[3] イク	体育	たいく(18.0)
温[3] あたた-まる	温まる	あったまる(10.0)
栄[4] は-える	優勝に栄えるチーム	あえる(50.0)
低[4] ひく-い	低くなる	ひくなる(19.0)
付[4] つ-ける	付ける	うける(7.0)

発音がなまったもの

七[1] シチ	七五三	ひちごさん(14.0)
千[1] セン	千円	せいえん(5.0)
原[2] ゲン	原因	げいいん・げえいん(9.5)
退[5] タイ	退院	たんいん(8.5)

その他（その漢字の別の音訓を書いたものなど）[1)]

一[1] イツ	同一	どういち(40.5)
雨[1] あま	雨戸	あめど(31.5)
下[1] しも	川下	かわした(56.5)
下[1] くだ-る	川を下る	おりる(11.5)
金[1] かな	金づち	かねづち(6.0)
口[1] ク	口調	くちちょう(46.5)
三[1] み-つ	三つ子	みっつご(11.5)
三[1] みっ-つ	三つ	みつ(34.5)
四[1] よ	四人	よんにん(10.0)
四[1] よ-つ	道の四つ角	よっつかど・よつつかど・よっつつかど(30.5)
上[1] うわ	上着	うえぎ(39.0)
上[1] のぼ-る	川を上る	あがる(14.0)
正[1] ショウ	正月	おしょうがつ・おしょがつ(9.0)
白[1] しら	白む	しろむ(44.0)
木[1] こ	木かげ	きかげ(60.0)
記[2] しる-す	記す	きす(24.0)
魚[2] うお	魚市場	さかないちば(24.5)
戸[2] コ	戸外	とがい(62.0)
行[2] ゆ-く	行く末	いくすえ(74.0)
自[2] シ	自然	じぜん(21.0)
船[2] ふな	船旅	ふねたび(44.5)
読[2] トク	国語の読本	よみほん(18.0)，どくほん(6.5)
風[2] かざ	風上	かぜかみ(57.0)
開[3] ひら-ける	土地が開ける	あける(28.5)
開[3] あ-く	しばいの幕が開く	ひらく(71.0)
角[3] かど	四つ角	よつかく(23.0)
係[3] かか-る	係る	かかわる(5.0)
酒[3] さか	酒屋	さけや(35.0)
重[3] かさ-なる	重なる	おもくなる(12.5)
世[3] セイ	二十一世紀	せ (13.0)
代[3] タイ	交代	こうだい(7.5)
注[3] そそ-ぐ	注ぐ	つぐ(5.0)
登[3] ト	登山	とうざん(12.5)
畑[3] はた	田畑がひろがる	たばたけ・たはたけ(21.0)
反[3] そ-る	反る	かえる(10.0)

宿[4] やど-す	宿す	しゅくす(31.5)
不[4] フ	不細工	ふさいく(61.5)
再[5] サ	再来年	さいらいねん(24.0)
志[5] こころざ-す	志す	しす(10.5)
任[5] まか-す	任す	にんす(5.0)
燃[5] も-す	燃す	もやす(76.5)
判[5] バン	小判	こはん(10.5)
武[5] ム	武者ぶるい	ぶしゃぶるい(9.5)
預[5] ヨ	預金	ちょきん(38.0)
巻[6] まき	源氏物語の巻の一	かんのいち(15.5)
私[6] わたくし	公と私	わたし(48.0)
背[6] せい	背くらべ	せくらべ (38.5)[2]

注
1) コード4の表外音訓も含める。
2) 「背くらべ」は,「せくらべ」と読むこともあるが,現代語では「せいくらべ」が通常の読み方であると考えて,「せくらべ」は誤答とした。

(3) 書きの誤答分析

1) 誤答のカテゴリー

解答の正誤判定の基準については,報告95『児童・生徒の常用漢字の習得』の第3章第3節第3項に述べた。誤答には,次の3～9,および0のコードを付けた[1]。

3……その漢字を書こうとして,字形の面で誤ったもの

〔例〕 溫(塩),初(初),脈(脈),紬(紙),則(順),倍(借),昨(昨)

4……同じ読みをもった別の漢字を書いたもの

〔例〕 三(算サン),坂(逆さか),正(青セイ),休(安やすい),箱(運はこぶ)

5……形の上で似た別の漢字を書いたもの

点画の過不足・長短のちがい等によって別字となったもの〔例〕土(士),大(犬)

偏旁冠脚が付け加わったり,脱落したもの〔例〕関(門),虫(蚕),売(読)

同じ部分(偏旁冠脚等)を共有する別の漢字を書いたもの〔例〕学(字),空(究)

6……同じ読みをもち,かつ形の上で似た別の漢字を書いたもの

〔例〕 頭(登トウ),思(志シ),黄(横オウ),竹(築チク),星(生セイ)

7・8…意味の類似した別の漢字を書いたもの(通用字体・旧字体を書いたものを含める)

9……無答

0……3～9以外の誤答

注

1) コード７・８の「意味の類似した別の漢字」は，「異字同訓の用法」（国語審議会参考資料，1972年）を参考にして決めた。〔例〕のうち，括弧の中の漢字が問題として提出した漢字であり，括弧の外の漢字が誤答例である。

2) コード３の解答の分析

コード３の「その漢字を書こうとして，字形の面で誤ったもの」は，正答にもっとも近い誤答である。読みと同じように，１つ１つの音訓について，次の２つの数字を求めることにしよう。

正答率　　正答の割合

正３率　　「正答＋コード３の解答」の割合

図1-6-3と図1-6-4は，配当学年別に平均正答率と平均正３率をグラフに表したものである。文字のレベル，音訓のレベルとも，読みと異なり，平均正答率と平均正３率とが相当に隔たっている。「その漢字を書こうとして，字形の面で誤ったもの」というコード３の基準をどの程度強く適用するかで，結果（正答率）にかなりの違いが出てくると言えるだろう。

さて，コード３の解答の割合（コード３率）だけを見ることにする。図1-6-5は，配当学年別に平均コード３率を示したものであり，そして，図1-6-6は，画数別に平均コード３率を示したものである。高学年に配当されている漢字ほどコード３率が高く，そして，画数の多い漢字ほどコード３率が高い，という傾向が見られる。

図1-6-3　配当学年別平均正答率と平均正３率
ー書き文字のレベルー

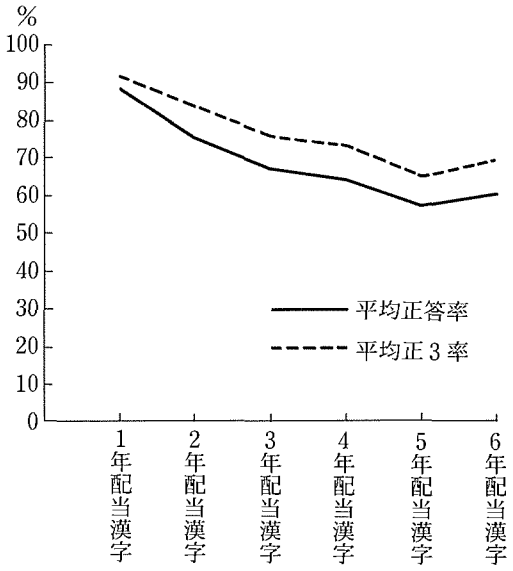


図1-6-4　配当学年別平均正答率と平均正３率
ー書き音訓のレベルー

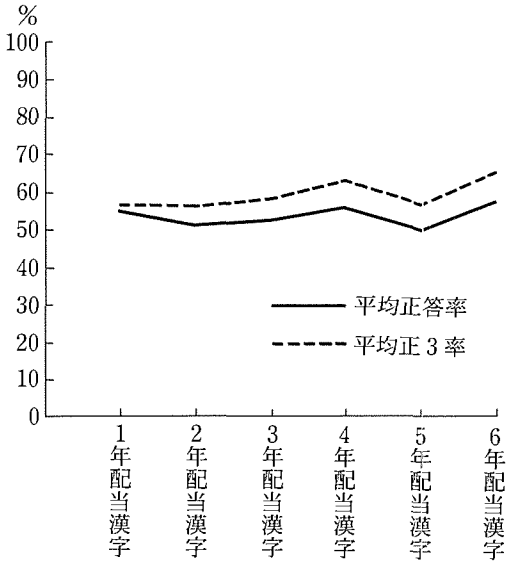


図1-6-5　配当学年別平均コード３率
ー書きー

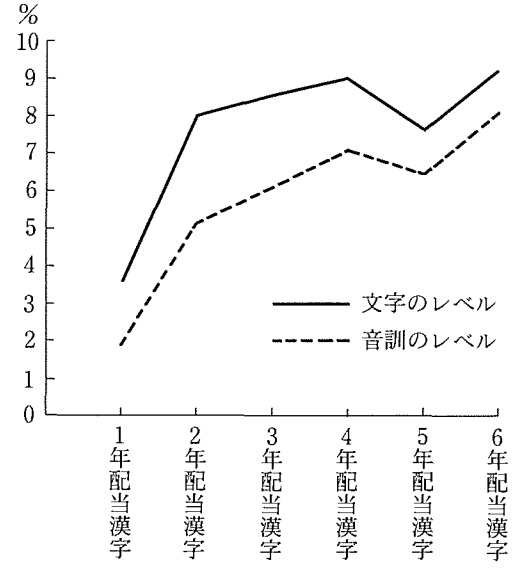
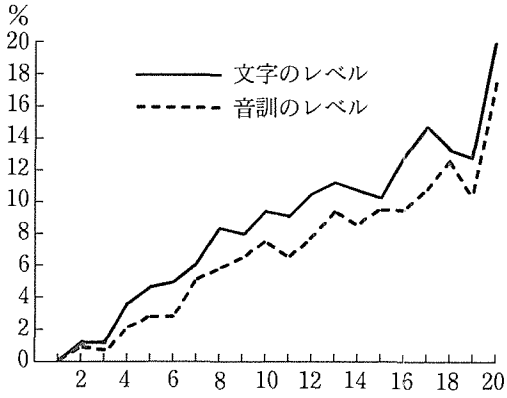


図1-6-6　画数別平均コード３率



3）誤答の構造

書字習得の傾向を見るために，次のような書字と誤答発生のモデルを考えてみた。入力は「読み」である。「読み」から「字形イメージ」を思い浮かべる。なんの「字形イメージ」も思い浮かばなかったら，「無答」を出力する。その後，読みや意味などを手がかりに，「目的の漢字の字形イメージ」を思い浮かべる。「目的の漢字の字形イメージ」に的中しないで出力すれば，「他の漢字」である。最後が，実際に書くこと，つまり「字形の再現」である。だが，その前に他の類似した字

形に干渉されて出力すれば，「類似字形」である。そして，無事に字形が再現できれば，「正答（正字)」を出力し，そうでなければ，「不完全字形」を出力する。

図1-6-7　書字と誤答発生のプロセス・モデル

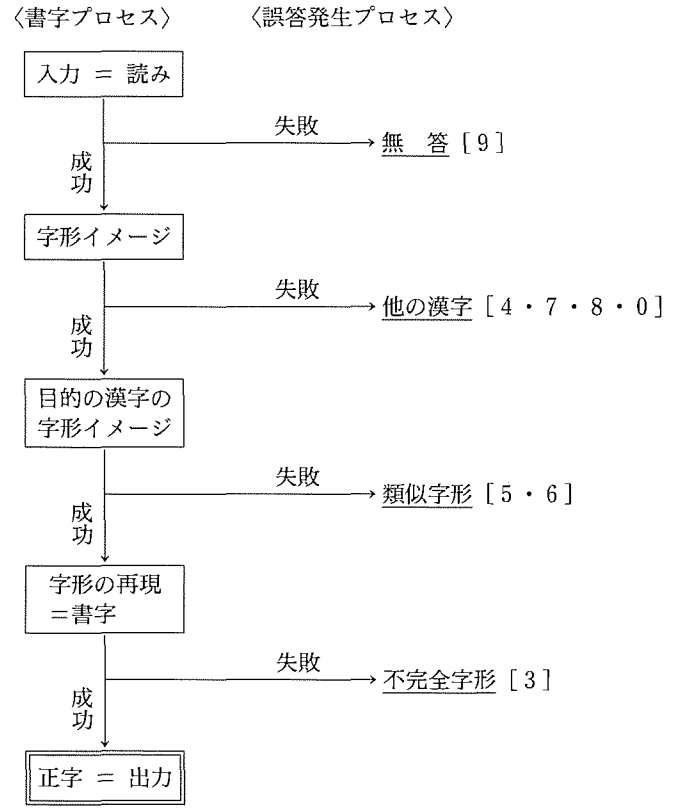


図1-6-7に示したこのモデルに合うように，解答のカテゴリーを次のようにまとめる。

9　→ 無答
4・7・8・0 → 他の漢字（他漢字と略す）
5・6　→ 類似字形（類似形と略す）
3　→ 不完全字形（不完全と略す）
正答　→ 正答

ただし，概略的に，文字単位に見ることにする。まず，文字単位に各コードの合計を求める。「一」を例にすると，次のようになる。

	正答	3	4	5	6	7	8	9	0	合計
一イチ	92	0	0	0	0	0	0	5	3	100
一イツ	9	0	7	0	0	0	0	81	3	100
一ひと	38	0	51	0	0	0	0	10	1	100
一ひと-つ	74	0	21	0	0	0	0	3	2	100
合　計	213	0	79	0	0	0	0	99	9	400

それから，上にあげた新しいカテゴリーで数字をまとめ，カテゴリーごとの割合を求める。次の「一」の例では，上段に実数，下段に割合（%）を示した。

	無答	他漢字	類似形	不完全	正答
一	99	88	0	0	213
	24.8	22.0	0.0	0.0	53.2

表1-6-1と表1-6-2は，1字1字について上のような計算を行って，配当学年別および画数別に，各カテゴリーの平均値を計算したものである。（1字1字の数字については，本節末の表1-6-5にあげる。）高学年の配当漢字ほど，そして，画数の多い漢字ほど，「類似形」と「不完全」の割合が大きい。

表1-6-1　解答の内訳－配当学年別平均値－　(%)

	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
全　　体	24.9	8.5	4.0	6.9	55.7
1年配当漢字	29.9	7.6	1.2	2.3	59.1
2年配当漢字	25.7	12.1	2.7	5.8	53.8
3年配当漢字	25.4	8.5	3.6	6.8	55.6
4年配当漢字	22.6	7.6	4.1	8.0	57.8
5年配当漢字	27.4	8.2	5.1	6.9	52.4
6年配当漢字	21.9	7.5	5.0	8.7	56.9

表1-6-2　解答の内訳－画数別平均値－　(%)

	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
全　体	24.9	8.5	4.0	6.9	55.7
1	24.8	22.0	0.0	0.0	53.3
2	25.5	7.2	2.0	0.9	64.4
3	22.2	7.0	0.9	0.7	69.2
4	23.5	9.4	1.9	3.0	62.2
5	25.0	11.4	3.4	3.7	56.6
6	24.3	9.1	2.9	3.9	59.8
7	24.4	8.6	3.9	5.4	57.7
8	24.9	8.0	4.2	6.7	56.3
9	22.0	7.4	3.9	6.9	59.8
10	24.9	8.4	4.1	8.1	54.5
11	26.9	8.3	5.1	7.7	52.0
12	28.8	10.1	3.8	8.4	48.9
13	23.2	7.5	4.8	10.4	54.1
14	27.5	8.6	5.7	9.2	49.0
15	23.0	6.8	4.0	9.8	56.4
16	25.2	8.3	5.5	11.1	49.9
17	23.2	5.8	8.6	13.1	49.2
18	26.1	4.9	3.4	13.0	52.6
19	27.4	4.4	5.2	10.6	52.4
20	20.7	3.0	1.3	20.5	54.5

正答を除外して誤答だけを取り出し，各カテゴリーの割合を求め，上と同様に計算したものが，表1-6-3と表1-6-4である。そして，図1-6-8と図1-6-9は，それをグラフに表したものである。高学年ほど「無答」の割合が小さくなり，それに代わって，「類似形」と「不完全」の割合が大きくなる。高学年の児童・生徒ほど，ともかくも何かの漢字を書こうとするようである。そして，記憶している漢字数が多くなると，他の漢字の影響（干渉）が強くなるようである。しかし，「他漢字」の割合があまり変わらないところを見ると，読みや意味の類似よりも，字形の類似のほうが，影響が強そうである。そして，高学年の配当漢字ほど「不完全」の割合が大きくなるのは，高学年の配当漢字ほど字形の複雑な漢字が多くなるということと，高学年の児童・生徒ほど書字が雑になるということの２つのことが関係しているように思われる。

表1-6-3　誤答の内訳－配当学年別平均値－　(%)

	無　答	他漢字	類似形	不完全
全　　体	55.4	18.3	9.7	16.7
1年配当漢字	70.3	17.8	3.5	8.4
2年配当漢字	54.6	24.5	6.7	14.2
3年配当漢字	55.8	18.1	9.0	17.2
4年配当漢字	51.9	17.7	10.6	19.7
5年配当漢字	57.0	16.4	11.3	15.3
6年配当漢字	51.4	16.5	12.4	19.7

表1-6-4　誤答の内訳－画数別平均値－　(%)

	無　答	他漢字	類似形	不完全
全　体	55.4	18.3	9.7	16.7
1	52.9	47.1	0.0	0.0
2	68.9	18.4	8.3	4.5
3	67.9	21.4	5.7	5.0
4	60.7	23.9	6.4	9.0
5	57.2	24.4	7.9	10.5
6	58.3	21.0	9.3	11.4
7	57.4	19.1	9.6	13.8
8	54.7	17.2	10.7	17.4
9	53.0	16.9	10.6	19.5
10	52.9	17.3	10.4	19.4
11	55.0	17.0	10.8	17.2
12	56.3	19.1	7.8	16.9
13	49.9	15.6	11.1	23.5
14	53.1	15.9	11.7	19.3
15	52.8	15.4	9.1	22.6
16	49.6	15.3	11.3	23.8
17	45.2	9.3	17.8	27.7
18	54.5	9.8	6.8	28.8
19	55.6	8.8	11.8	23.8
20	47.0	7.1	2.4	43.6

図1-6-8　誤答の内訳－配当学年別平均値－

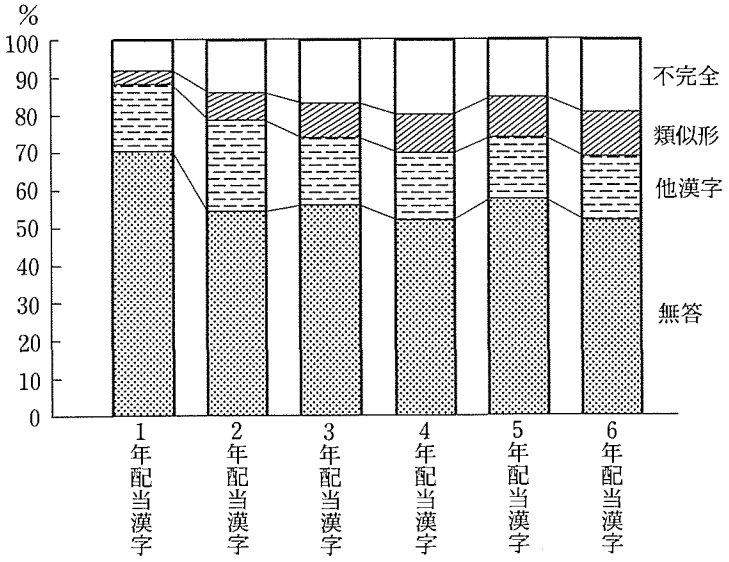


図1-6-9　誤答の内訳－画数別－

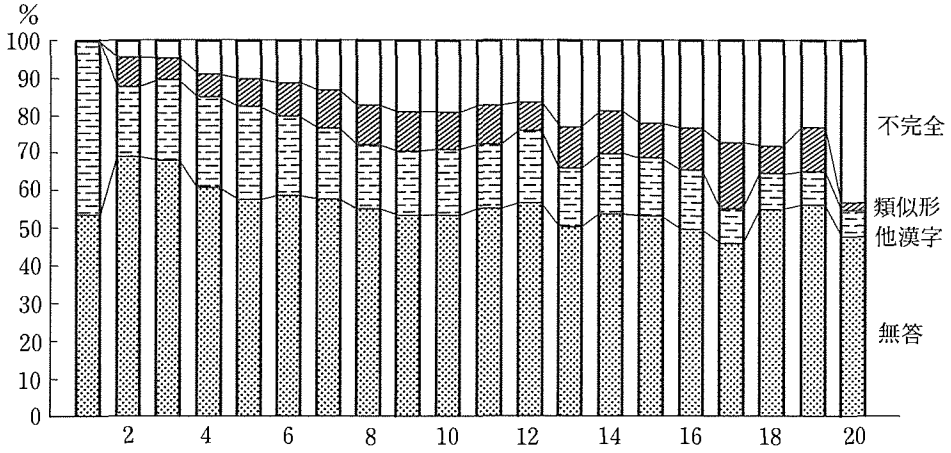


表1-6-5　文字別解答の内訳　(%)

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
1	一	24.8	22.0	0.0	0.0	53.3
1	右	38.3	20.7	2.3	0.0	38.7
1	雨	49.7	10.0	0.0	4.0	36.3
1	円	30.0	19.5	0.0	1.5	49.0
1	王	2.0	3.0	1.0	1.0	93.0
1	音	40.0	4.7	1.0	2.7	51.7
1	下	57.5	8.9	0.0	1.1	32.5
1	火	12.0	12.0	0.0	0.0	76.0
1	花	24.5	15.5	0.0	0.5	59.5
1	学	53.0	2.5	2.0	3.0	39.5
1	気	44.0	10.0	0.0	2.5	43.5
1	九	16.0	7.0	0.5	2.5	74.0
1	休	19.8	13.8	3.5	1.5	61.5
1	金	37.8	3.8	0.3	2.5	55.8
1	空	60.6	14.2	0.2	2.0	23.0
1	月	3.3	1.0	0.0	0.0	95.7
1	犬	30.0	5.5	0.5	0.0	64.0
1	見	24.8	2.0	0.3	4.3	68.8
1	五	9.3	9.7	0.3	3.7	77.0
1	口	38.0	25.3	0.0	0.3	36.3
1	校	4.0	1.0	0.0	5.0	90.0
1	左	36.0	3.0	4.0	1.0	56.0
1	三	8.3	6.5	0.0	0.0	85.3
1	山	34.5	7.5	0.5	0.0	57.5
1	子	48.0	4.3	0.0	1.3	46.3
1	四	16.0	1.0	0.0	0.6	82.4
1	糸	46.5	8.5	0.0	4.5	40.5
1	字	13.0	2.0	2.0	5.0	78.0
1	耳	4.0	1.0	2.0	9.0	84.0
1	七	17.3	5.0	0.0	2.0	75.8
1	車	8.0	0.0	0.0	1.5	90.5
1	手	46.5	6.5	1.0	7.0	39.0
1	十	29.0	6.8	0.8	0.0	63.5
1	出	34.7	7.7	0.0	1.0	56.7
1	女	9.5	0.5	1.0	0.5	88.5
1	小	15.8	17.8	0.3	0.5	65.8
1	上	60.1	5.6	0.2	0.1	34.0
1	森	46.5	2.5	0.5	0.5	50.0
1	人	11.3	2.3	2.7	0.3	83.3
1	水	0.5	0.0	0.0	1.0	98.5
1	正	35.4	18.8	2.8	1.8	41.2
1	生	46.5	17.0	0.5	2.0	34.0
1	青	18.0	23.7	0.0	14.0	44.3
1	夕	4.0	0.0	1.0	2.0	93.0
1	石	55.3	7.7	2.7	0.0	34.3
1	赤	24.4	2.6	0.0	8.2	64.8
1	千	43.5	8.0	1.5	2.5	44.5
1	川	4.0	1.0	0.0	1.0	94.0
1	先	41.5	1.5	2.5	2.5	52.0
1	早	34.5	4.0	1.0	4.5	56.0
1	足	52.6	25.2	0.0	1.8	20.4
1	村	46.0	1.5	2.0	2.5	48.0
1	大	18.8	3.2	2.0	0.4	75.6
1	男	36.3	6.0	0.0	1.0	56.7
1	中	18.0	2.5	0.0	0.5	79.0
1	虫	21.0	1.0	20.5	11.5	46.0
1	町	39.5	11.5	0.0	7.0	42.0
1	天	6.0	2.0	5.0	2.0	85.0
1	田	50.5	10.0	1.0	0.0	38.5
1	土	26.7	3.7	0.3	0.0	69.3
1	二	21.7	1.7	0.0	0.3	76.3
1	日	26.0	8.0	0.3	0.0	65.8
1	入	38.5	8.3	5.5	0.8	47.0
1	年	20.5	1.0	2.5	13.0	63.0
1	白	37.0	0.5	2.3	2.0	58.3
1	八	40.2	15.4	0.4	0.4	43.6
1	百	7.0	2.0	1.0	14.0	76.0
1	文	33.0	16.5	0.0	2.0	48.5
1	木	28.0	22.5	0.0	0.5	49.0
1	本	29.5	3.0	1.0	0.5	66.0
1	名	54.7	2.7	0.3	0.0	42.3
1	目	33.5	21.5	2.0	0.0	43.0
1	立	41.3	10.0	0.3	0.0	48.3
1	力	51.0	1.0	1.0	0.7	46.3
1	林	46.0	3.5	3.5	0.5	46.5
1	六	36.0	5.0	0.0	0.2	58.8
2	引	32.3	22.7	1.3	0.7	43.0
2	雲	42.0	10.0	3.5	8.0	36.5
2	遠	30.0	3.0	9.0	16.5	41.5
2	何	18.5	1.0	3.0	5.0	72.5
2	科	8.0	0.0	1.0	23.0	68.0
2	夏	31.5	25.5	1.0	5.5	36.5
2	家	23.5	14.8	0.0	11.0	50.8
2	歌	22.0	6.0	0.0	22.3	49.7
2	画	29.0	21.5	0.0	4.0	45.5
2	回	6.0	7.0	0.0	1.0	86.0
2	会	5.5	25.0	0.5	0.5	68.5
2	海	12.5	30.0	2.5	8.0	47.0
2	絵	29.0	16.5	12.5	1.0	41.0
2	貝	8.0	7.0	7.0	0.0	78.0
2	外	47.2	9.2	0.2	0.4	43.0
2	間	18.3	7.8	2.5	1.5	70.0
2	顔	34.5	5.0	2.0	9.0	49.5
2	汽	10.0	3.0	13.0	15.0	59.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
2	記	32.5	23.0	3.0	2.5	39.0
2	帰	22.0	22.3	0.0	17.3	38.3
2	牛	4.5	2.5	8.0	2.5	82.5
2	魚	27.0	4.3	0.7	6.7	61.3
2	京	13.0	0.0	2.0	6.0	79.0
2	教	37.3	4.0	8.7	7.3	42.7
2	強	14.3	6.0	1.0	12.5	66.3
2	玉	37.0	11.5	0.5	0.0	51.0
2	近	30.0	27.0	2.0	1.5	39.5
2	形	22.3	15.8	0.3	6.5	55.3
2	計	61.0	9.0	0.3	1.7	28.0
2	元	35.7	19.0	0.0	0.3	45.0
2	原	27.0	23.5	0.0	6.5	43.0
2	戸	25.0	35.0	0.0	1.5	38.5
2	古	17.3	24.0	0.7	0.3	57.7
2	午	10.0	6.0	16.0	2.0	66.0
2	後	41.0	21.0	0.0	2.2	35.8
2	語	39.3	21.3	2.7	2.0	34.7
2	工	38.0	15.5	0.5	0.0	46.0
2	広	15.7	13.0	0.3	2.5	68.5
2	交	60.2	16.5	3.7	0.2	19.5
2	光	11.7	12.7	1.0	2.7	72.0
2	行	47.8	18.4	0.2	0.6	33.0
2	考	24.5	27.5	3.0	1.5	43.5
2	高	25.0	12.8	0.0	2.0	60.2
2	黄	16.0	32.0	0.5	17.0	34.5
2	合	29.2	31.8	1.2	0.5	37.3
2	谷	16.0	0.0	1.0	24.0	59.0
2	国	7.5	2.0	0.0	2.5	88.0
2	黒	9.7	12.0	2.3	7.7	68.3
2	今	31.5	4.0	0.5	0.0	64.0
2	才	14.0	2.0	1.0	5.0	78.0
2	作	28.3	6.3	1.0	2.0	62.3
2	算	8.0	1.0	0.0	13.0	78.0
2	止	22.7	12.7	1.3	0.3	63.0
2	市	29.5	15.0	0.5	7.0	48.0
2	思	43.5	9.0	1.0	1.0	45.5
2	紙	22.0	5.5	2.0	27.5	43.0
2	寺	25.0	16.5	6.5	1.5	50.5
2	自	40.3	19.0	3.3	0.3	37.0
2	時	19.5	3.0	4.0	3.0	70.5
2	室	10.0	1.0	1.0	13.0	75.0
2	社	38.5	4.5	0.5	4.0	52.5
2	弱	24.4	2.2	0.6	5.2	67.6
2	首	42.5	5.0	2.0	4.5	46.0
2	秋	29.0	21.0	2.0	5.0	43.0
2	春	28.5	6.5	2.0	2.0	61.0
2	書	11.0	5.0	0.0	14.0	70.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
2	少	10.3	2.7	7.0	2.3	77.7
2	場	37.5	15.5	1.5	7.0	38.5
2	色	35.7	12.3	0.3	2.7	49.0
2	食	18.7	2.3	0.3	11.3	67.3
2	心	20.0	11.0	2.0	0.5	66.5
2	新	38.0	8.7	3.3	4.7	45.3
2	親	27.0	34.5	5.0	3.5	30.0
2	図	13.5	4.0	1.0	12.5	69.0
2	数	12.7	4.0	0.7	10.7	72.0
2	西	24.3	20.7	0.0	1.3	53.7
2	声	22.5	28.0	0.0	10.0	39.5
2	星	19.5	5.0	14.0	8.0	53.5
2	晴	43.0	23.0	4.0	2.0	28.0
2	切	38.7	14.0	1.0	11.0	35.3
2	雪	41.0	12.0	2.5	3.0	41.5
2	船	32.0	12.0	0.3	8.3	47.3
2	前	9.0	7.0	0.0	10.0	74.0
2	組	49.0	7.3	0.0	2.0	41.7
2	走	38.5	7.5	2.5	7.5	44.0
2	草	19.5	5.0	2.5	7.0	66.0
2	多	33.0	21.5	0.5	1.5	43.5
2	太	16.5	12.0	3.3	0.3	68.0
2	体	10.0	1.5	5.5	0.0	83.0
2	台	19.5	40.0	1.0	1.0	38.5
2	池	17.5	5.0	32.5	4.0	41.0
2	地	20.0	8.5	4.5	5.5	61.5
2	知	35.0	33.0	1.0	7.5	23.5
2	竹	37.0	5.5	0.5	3.5	53.5
2	茶	17.0	0.0	2.0	12.0	69.0
2	昼	19.5	36.0	1.0	10.0	33.5
2	長	13.0	3.5	1.5	4.5	77.5
2	鳥	23.0	8.5	3.5	11.0	54.0
2	朝	21.5	17.0	1.0	4.0	56.5
2	通	38.3	6.8	11.0	7.8	36.3
2	弟	22.5	19.5	0.5	8.5	49.0
2	店	14.0	6.0	25.0	3.5	51.5
2	点	18.0	25.0	0.0	2.0	55.0
2	電	17.0	4.0	1.0	5.0	73.0
2	冬	29.5	15.5	0.5	1.5	53.0
2	刀	27.0	23.5	5.5	0.0	44.0
2	当	33.3	21.7	0.7	3.0	41.3
2	東	4.0	3.0	0.5	3.0	89.5
2	答	24.0	14.7	1.7	3.7	56.0
2	頭	29.0	27.7	2.0	2.0	39.3
2	同	36.5	9.5	1.5	0.5	52.0
2	道	26.0	8.5	4.5	3.5	57.5
2	読	49.5	17.8	4.0	6.0	22.8
2	南	22.0	15.5	0.0	10.0	52.5

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
2	馬	21.5	10.5	1.0	7.5	59.5
2	買	32.5	17.0	4.0	3.0	43.5
2	売	30.3	12.7	0.3	10.7	46.0
2	麦	15.0	4.0	7.0	8.0	66.0
2	半	10.5	43.5	1.5	11.5	33.0
2	番	21.0	1.0	0.0	17.0	61.0
2	父	27.0	2.5	2.0	0.5	68.0
2	風	31.3	5.0	0.0	13.3	50.3
2	分	36.9	9.4	3.0	0.9	49.9
2	聞	10.0	21.3	3.7	3.3	61.7
2	米	47.3	12.0	0.7	0.7	39.3
2	歩	48.0	9.3	0.3	6.7	35.7
2	母	21.5	4.0	0.5	6.5	67.5
2	方	21.0	7.0	1.0	1.5	69.5
2	北	30.0	6.0	0.5	1.0	62.5
2	毎	6.0	3.0	2.0	13.0	76.0
2	妹	17.0	2.0	0.0	22.0	59.0
2	明	40.7	28.5	0.8	2.0	27.9
2	鳴	35.8	7.3	1.8	12.5	42.8
2	毛	44.0	5.0	4.0	4.0	43.0
2	門	8.0	0.0	10.0	1.0	81.0
2	夜	17.0	17.7	0.7	13.7	51.0
2	野	28.0	4.0	4.5	10.5	53.0
2	友	20.0	7.5	2.0	3.5	67.0
2	用	56.5	11.5	0.0	1.0	31.0
2	曜	16.0	3.0	0.0	23.0	58.0
2	来	42.5	12.5	0.0	2.5	42.5
2	楽	30.3	2.8	0.5	3.5	63.0
2	里	36.5	5.0	17.5	0.5	40.5
2	理	9.0	4.0	5.0	2.0	80.0
2	話	14.7	4.0	3.3	2.3	75.7
3	悪	17.5	3.0	2.0	15.5	62.0
3	安	17.0	7.0	0.0	3.5	72.5
3	暗	22.5	13.5	0.5	2.5	61.0
3	医	24.0	5.0	3.0	7.0	61.0
3	意	8.0	5.0	3.0	2.0	82.0
3	育	9.0	2.0	0.3	1.0	87.7
3	員	20.0	8.0	1.0	0.0	71.0
3	院	27.0	7.0	2.0	15.0	49.0
3	飲	36.0	15.5	1.5	9.0	38.0
3	運	20.0	4.0	5.0	1.5	69.5
3	泳	14.0	1.5	14.0	17.5	53.0
3	駅	21.0	2.0	2.0	9.0	66.0
3	園	3.0	0.0	0.0	14.0	83.0
3	横	41.5	4.5	2.5	7.0	44.5
3	屋	26.5	5.5	0.5	7.5	60.0
3	温	51.0	9.8	7.4	2.2	29.6
3	化	28.7	12.0	2.3	1.7	55.3

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
3	荷	33.0	1.0	6.0	3.0	57.0
3	界	2.0	4.0	0.0	5.0	89.0
3	開	25.0	14.6	4.8	2.4	53.2
3	階	15.0	19.0	2.0	23.0	41.0
3	角	9.0	2.3	0.0	14.3	74.3
3	活	8.0	0.0	7.0	4.0	81.0
3	寒	40.0	20.0	1.5	15.5	23.0
3	感	32.0	8.0	5.0	14.0	41.0
3	館	16.0	3.0	0.0	20.0	61.0
3	岸	46.5	5.0	4.0	17.0	27.5
3	岩	22.0	3.5	4.5	3.0	67.0
3	起	38.5	9.0	1.5	5.0	46.0
3	期	19.0	6.0	4.0	12.0	59.0
3	客	18.0	1.0	13.0	5.0	63.0
3	究	23.0	2.0	3.0	5.0	67.0
3	急	17.0	4.0	1.5	3.5	74.0
3	級	7.0	2.0	2.0	11.0	78.0
3	宮	31.5	20.5	4.5	3.0	40.5
3	球	14.5	40.0	3.0	7.0	35.5
3	去	46.3	23.7	4.0	0.3	25.7
3	橋	28.0	8.0	1.5	7.5	55.0
3	業	25.0	2.0	0.0	15.0	58.0
3	曲	27.0	13.0	1.7	0.0	58.3
3	局	27.0	1.0	0.0	4.0	68.0
3	銀	17.0	0.0	8.0	6.0	69.0
3	苦	47.8	6.8	1.3	2.2	41.8
3	具	8.0	1.0	4.0	7.0	80.0
3	君	6.5	1.5	0.0	5.5	86.5
3	兄	11.0	3.0	0.0	1.0	85.0
3	係	45.0	6.0	0.3	8.7	40.0
3	軽	59.0	14.0	4.5	2.0	20.5
3	血	15.0	1.5	1.0	3.5	79.0
3	決	37.3	10.0	2.3	7.3	43.0
3	県	13.0	4.0	0.0	9.0	74.0
3	研	23.0	4.0	0.0	11.0	62.0
3	言	26.0	12.5	2.0	0.5	59.0
3	庫	51.0	16.0	1.0	0.0	32.0
3	湖	18.5	21.5	3.0	4.5	52.5
3	公	4.0	2.0	0.0	0.0	94.0
3	向	30.8	9.0	1.0	1.2	58.0
3	幸	43.3	6.3	3.0	13.3	34.0
3	港	38.5	14.5	1.5	7.5	38.0
3	号	8.0	5.0	2.0	14.0	71.0
3	根	25.5	1.5	3.0	5.5	64.5
3	祭	34.7	12.3	1.3	20.3	31.3
3	細	25.4	13.2	0.8	0.6	60.0
3	仕	19.0	3.0	37.0	4.0	37.0
3	死	22.5	4.5	4.0	15.0	54.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
3	使	25.5	11.5	6.0	4.0	53.0
3	始	28.0	9.7	2.3	1.7	58.3
3	指	57.7	9.3	1.7	6.0	25.3
3	歯	27.5	7.5	0.0	17.0	48.0
3	詩	17.0	1.0	14.0	1.0	67.0
3	次	29.3	28.7	3.7	2.0	36.3
3	事	14.0	9.5	0.0	5.0	71.5
3	持	30.5	26.0	8.5	0.5	34.5
3	式	11.0	1.0	1.0	13.0	74.0
3	実	35.7	13.3	0.7	7.7	42.7
3	写	22.0	6.7	0.7	8.7	62.0
3	者	12.0	21.0	0.0	2.0	65.0
3	主	33.7	20.0	2.3	0.3	43.7
3	守	49.3	21.0	3.0	0.0	26.7
3	取	45.5	29.0	0.0	0.0	25.5
3	酒	20.3	12.0	7.0	2.0	58.7
3	受	49.7	12.3	0.7	10.0	27.3
3	州	9.0	3.0	1.0	8.0	79.0
3	拾	30.0	8.0	3.0	2.0	57.0
3	終	24.3	9.7	0.7	2.7	62.7
3	習	25.0	9.0	0.0	0.5	65.5
3	週	15.0	4.0	10.0	3.0	68.0
3	集	17.0	12.7	0.3	7.0	63.0
3	住	32.3	6.7	5.0	1.7	54.3
3	重	30.8	8.4	1.0	2.2	57.6
3	所	22.5	4.0	0.0	2.5	71.0
3	暑	46.0	12.5	1.5	4.0	36.0
3	助	20.3	6.7	5.0	7.3	60.7
3	昭	11.0	0.0	3.0	10.0	76.0
3	消	31.0	10.7	2.0	2.3	54.0
3	商	26.0	8.0	0.0	11.0	55.0
3	章	33.0	11.0	4.0	3.0	49.0
3	勝	26.0	2.5	0.5	29.0	42.0
3	乗	26.7	6.7	0.7	14.3	51.7
3	植	23.0	15.0	5.7	0.3	56.0
3	申	29.0	3.0	8.0	1.0	59.0
3	身	34.5	19.0	0.0	13.0	33.5
3	神	22.3	16.3	1.0	1.3	59.0
3	深	26.0	17.3	1.0	7.0	48.8
3	進	21.3	15.3	3.3	11.0	49.0
3	世	12.0	12.3	0.0	0.3	75.3
3	整	26.7	3.7	1.3	12.0	56.3
3	線	10.0	0.0	5.0	22.0	63.0
3	全	28.0	6.5	0.5	1.0	64.0
3	送	37.0	2.5	3.0	7.0	50.5
3	息	33.5	19.0	5.0	6.0	36.5
3	族	36.0	2.0	13.0	13.0	36.0
3	他	22.0	10.0	9.0	1.0	58.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
3	打	58.0	9.0	2.5	3.5	27.0
3	対	28.0	5.0	3.0	5.0	59.0
3	待	35.5	18.0	15.5	3.0	28.0
3	代	33.8	37.0	0.8	0.8	27.6
3	第	4.0	3.0	15.0	8.0	70.0
3	題	16.0	4.0	0.0	14.0	66.0
3	炭	36.5	12.0	8.0	3.5	40.0
3	短	29.5	3.5	7.0	10.0	50.0
3	着	42.4	7.8	1.6	12.8	35.4
3	注	36.5	9.0	6.0	1.0	47.5
3	柱	16.0	21.0	18.5	3.0	41.5
3	帳	15.0	5.0	1.0	14.0	65.0
3	調	25.5	7.5	7.5	2.0	57.5
3	直	39.8	13.8	0.8	0.6	45.0
3	追	45.5	7.5	1.5	3.5	42.0
3	丁	3.0	1.0	4.0	2.0	90.0
3	定	47.8	11.3	2.0	3.5	35.5
3	庭	19.0	3.0	1.5	13.5	63.0
3	鉄	22.0	1.0	4.0	18.0	55.0
3	転	26.4	4.6	2.8	1.6	64.6
3	都	44.7	10.3	2.3	7.3	35.3
3	度	7.0	1.0	0.0	4.0	88.0
3	投	33.0	9.0	7.0	3.5	47.5
3	島	5.0	2.5	2.0	13.5	77.0
3	湯	29.0	6.0	16.0	2.5	46.5
3	登	30.0	12.3	4.3	7.0	46.3
3	等	31.0	26.5	6.0	2.5	34.0
3	動	11.7	3.7	2.3	6.0	76.3
3	童	9.0	14.0	19.0	4.0	54.0
3	内	17.0	4.5	0.5	1.0	77.0
3	肉	2.0	0.0	4.0	0.0	94.0
3	農	37.0	5.0	1.0	21.0	36.0
3	波	47.5	6.5	6.5	10.0	29.5
3	配	41.5	5.5	4.0	4.5	44.5
3	畑	4.5	0.0	1.5	4.0	90.0
3	発	17.0	2.0	7.0	10.0	64.0
3	反	64.3	12.7	0.7	0.0	22.3
3	坂	13.0	4.0	13.0	5.0	65.0
3	板	34.0	3.3	3.0	1.0	58.7
3	皮	42.0	8.0	3.0	11.0	36.0
3	悲	33.0	8.7	1.0	17.0	40.3
3	美	9.0	2.0	0.0	17.5	71.5
3	鼻	13.0	1.0	1.0	24.0	61.0
3	氷	17.5	8.5	22.5	11.5	40.0
3	表	30.3	5.8	0.0	14.5	49.5
3	秒	9.0	1.0	5.0	2.0	83.0
3	病	40.0	5.5	0.0	15.0	39.5
3	品	14.0	2.0	0.0	0.5	83.5

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
3	負	29.0	14.3	0.3	0.8	55.8
3	部	19.0	6.0	8.0	4.0	63.0
3	服	16.0	3.0	1.0	14.0	66.0
3	福	24.0	5.0	5.0	7.0	59.0
3	物	6.7	7.0	0.7	5.0	80.7
3	平	25.0	18.3	1.0	0.8	55.0
3	返	20.7	15.3	7.3	2.3	54.3
3	勉	12.0	7.0	0.0	8.0	73.0
3	放	58.3	14.0	8.8	4.5	14.5
3	万	1.0	0.0	1.0	1.0	97.0
3	味	19.0	3.0	6.3	12.0	59.7
3	命	21.0	15.5	0.5	11.0	52.0
3	面	5.0	2.0	0.0	3.0	90.0
3	問	32.3	7.3	10.5	0.0	50.0
3	役	33.0	3.0	16.0	4.0	44.0
3	薬	28.5	6.0	4.5	1.0	60.0
3	由	32.0	11.5	4.0	1.0	51.5
3	油	11.5	4.0	12.0	1.5	71.0
3	有	48.5	14.0	1.0	0.0	36.5
3	遊	25.5	6.0	1.5	10.5	56.5
3	予	21.0	3.0	1.0	7.0	68.0
3	洋	9.0	3.0	3.0	15.0	70.0
3	葉	23.0	21.0	1.0	3.0	52.0
3	陽	11.0	5.0	10.0	8.0	66.0
3	様	25.5	23.5	0.0	16.5	34.5
3	落	34.0	11.7	0.3	14.0	40.0
3	流	33.7	8.7	1.0	9.0	47.7
3	旅	28.0	2.5	6.0	20.0	43.5
3	両	15.0	1.0	2.0	1.0	81.0
3	緑	32.0	21.0	3.5	17.0	26.5
3	礼	12.0	8.0	3.0	3.0	74.0
3	列	20.0	4.0	2.0	9.0	65.0
3	路	42.0	22.5	2.5	5.5	27.5
3	和	37.0	14.5	3.0	2.0	43.5
4	愛	10.0	1.0	2.0	17.0	70.0
4	案	3.0	1.0	14.0	1.0	81.0
4	衣	10.0	7.0	1.0	17.0	65.0
4	以	10.0	3.0	4.0	9.0	74.0
4	囲	22.7	7.3	9.7	2.7	57.7
4	位	10.0	5.0	1.5	1.5	82.0
4	委	3.0	1.0	12.0	3.0	81.0
4	胃	17.0	4.0	1.0	6.0	72.0
4	印	13.0	3.0	2.5	5.5	76.0
4	英	9.0	1.0	1.0	17.0	72.0
4	栄	40.7	15.7	2.7	3.0	38.0
4	塩	12.5	4.5	1.0	14.5	67.5
4	央	5.0	3.0	1.0	1.0	90.0
4	億	6.0	0.0	0.0	5.0	89.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
4	加	21.0	4.3	0.3	0.3	74.0
4	貨	49.0	10.0	6.0	2.0	33.0
4	課	34.0	14.0	10.0	5.0	37.0
4	芽	10.5	4.5	2.0	6.5	76.5
4	改	34.0	17.3	0.7	2.3	45.7
4	械	23.0	6.0	0.0	29.0	42.0
4	害	21.0	10.0	4.0	6.0	59.0
4	各	11.0	4.0	3.0	0.0	82.0
4	覚	33.0	13.0	1.3	7.3	45.5
4	完	20.0	7.0	1.0	0.0	72.0
4	官	29.0	8.0	18.0	4.0	41.0
4	漢	18.0	1.0	0.0	37.0	44.0
4	管	22.0	2.0	16.5	11.5	48.0
4	関	27.5	13.5	5.0	4.5	49.5
4	観	23.0	5.0	0.0	21.0	51.0
4	願	39.0	6.0	2.5	3.0	49.5
4	希	13.0	7.0	4.0	8.0	68.0
4	季	19.0	8.0	3.0	3.0	67.0
4	紀	10.0	7.0	15.0	3.0	65.0
4	喜	23.5	17.0	0.5	20.0	39.0
4	旗	34.0	8.0	9.0	24.0	25.0
4	器	12.0	8.0	0.0	0.0	80.0
4	機	12.0	6.0	2.0	20.0	60.0
4	議	17.0	1.0	1.0	23.0	58.0
4	求	31.5	10.5	12.0	3.0	43.0
4	救	30.0	10.0	20.5	11.5	28.0
4	給	4.0	3.0	3.0	2.0	88.0
4	挙	35.7	25.0	0.0	6.7	32.7
4	漁	23.0	23.0	11.0	1.0	42.0
4	共	13.0	28.5	4.0	0.5	54.0
4	協	8.0	2.0	2.0	4.0	84.0
4	鏡	36.0	7.0	3.5	17.0	36.5
4	競	19.0	4.0	0.0	9.5	67.5
4	極	13.0	5.0	1.0	16.0	65.0
4	区	21.0	6.0	0.0	10.0	63.0
4	軍	21.0	5.0	17.0	1.0	56.0
4	郡	22.0	10.0	8.0	7.0	53.0
4	型	26.5	14.0	0.0	5.0	54.5
4	景	13.0	0.0	0.0	5.0	82.0
4	芸	19.0	1.0	6.0	2.0	72.0
4	欠	29.7	26.7	2.7	2.0	39.0
4	結	27.0	13.5	3.0	6.0	50.5
4	建	12.3	9.0	13.0	8.0	57.7
4	健	7.0	3.0	9.0	7.0	74.0
4	験	23.0	7.0	3.0	14.0	53.0
4	固	20.0	4.0	9.5	1.8	64.8
4	功	19.0	10.0	2.0	14.0	55.0
4	候	26.0	2.0	1.0	18.0	53.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
4	航	21.0	8.0	9.0	13.0	49.0
4	康	18.0	5.0	0.0	18.0	59.0
4	告	44.0	16.5	2.5	1.0	36.0
4	差	28.5	4.5	1.5	4.5	61.0
4	菜	9.0	0.5	5.0	10.5	75.0
4	最	30.0	1.5	1.0	3.5	64.0
4	材	20.0	2.0	0.0	8.0	70.0
4	昨	9.0	7.0	19.0	4.0	61.0
4	刷	56.0	6.0	1.0	4.0	33.0
4	殺	30.0	3.0	2.5	14.5	50.0
4	察	29.0	3.0	3.0	15.0	50.0
4	参	37.5	12.0	1.0	11.0	38.5
4	散	30.4	7.0	1.0	9.6	52.0
4	産	19.7	31.7	0.3	2.0	46.3
4	残	17.7	2.7	2.0	15.3	62.3
4	士	21.0	7.0	2.0	0.0	70.0
4	氏	13.0	6.0	0.0	11.0	70.0
4	史	5.0	4.0	1.0	2.0	88.0
4	司	10.0	5.0	1.0	6.0	78.0
4	姉	14.0	0.0	11.0	8.0	67.0
4	試	19.5	41.0	4.0	4.5	31.0
4	辞	16.0	10.0	4.0	24.0	46.0
4	失	27.5	6.5	6.0	1.0	59.0
4	借	41.5	11.5	4.5	9.0	33.5
4	種	21.0	7.5	3.5	9.5	58.5
4	周	13.5	17.0	8.5	5.5	55.5
4	宿	18.3	4.5	1.8	6.5	69.0
4	順	17.0	4.0	2.0	3.0	74.0
4	初	4.5	13.5	0.3	13.3	68.5
4	省	40.0	8.0	4.3	3.7	44.0
4	唱	41.0	9.5	2.0	9.0	38.5
4	照	32.0	9.5	1.8	4.0	52.8
4	賞	18.0	8.0	4.0	13.0	57.0
4	焼	25.5	2.5	1.5	22.0	48.5
4	臣	18.0	25.0	0.5	2.0	54.5
4	信	8.0	4.0	8.0	2.0	78.0
4	真	23.0	5.0	1.5	5.0	65.5
4	成	48.0	15.0	0.0	1.7	35.3
4	清	34.0	12.0	1.5	1.0	51.5
4	勢	39.0	22.5	4.0	3.5	31.0
4	静	20.4	11.2	3.2	3.6	61.6
4	席	12.0	0.0	5.0	9.0	74.0
4	積	25.7	9.7	1.7	11.0	52.0
4	折	41.8	10.8	4.0	3.0	40.5
4	節	49.0	2.0	3.0	11.5	34.5
4	説	45.5	11.0	2.5	2.5	38.5
4	浅	28.0	4.0	8.0	4.0	56.0
4	戦	25.0	5.5	0.0	12.0	57.5

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
4	選	12.0	6.0	0.0	5.0	77.0
4	然	17.5	15.0	1.5	10.0	56.0
4	争	15.5	13.5	1.0	1.5	68.5
4	相	13.5	6.5	9.0	0.5	70.5
4	倉	35.5	7.5	0.0	17.5	39.5
4	想	13.0	2.0	7.0	3.0	75.0
4	象	32.5	5.5	9.5	8.0	44.5
4	速	7.7	10.7	0.7	2.3	78.7
4	側	22.5	10.5	6.0	6.5	54.5
4	続	18.7	5.0	4.3	9.3	62.7
4	卒	18.0	1.0	1.0	8.0	72.0
4	孫	40.0	2.5	6.5	8.5	42.5
4	帯	43.7	15.7	0.0	9.7	31.0
4	隊	22.0	3.0	0.0	18.0	57.0
4	達	23.0	7.0	3.0	23.0	44.0
4	単	37.0	11.0	1.0	6.0	45.0
4	談	16.0	3.0	0.0	5.0	76.0
4	治	39.7	23.3	1.0	0.3	35.7
4	置	15.5	7.0	4.0	4.0	69.5
4	貯	43.0	3.0	7.0	16.0	31.0
4	腸	25.0	5.0	6.0	8.0	56.0
4	低	12.0	4.8	9.8	14.8	58.8
4	底	10.0	3.5	16.5	21.5	48.5
4	停	36.0	10.0	2.0	15.0	37.0
4	的	40.5	6.5	1.0	4.0	48.0
4	典	6.0	6.0	1.0	15.0	72.0
4	伝	13.8	4.0	3.5	3.8	75.0
4	徒	24.0	5.0	3.0	8.0	60.0
4	努	35.0	6.5	7.0	12.5	39.0
4	灯	35.0	10.0	1.0	3.0	51.0
4	堂	15.0	5.0	2.0	15.0	63.0
4	働	10.0	5.0	18.0	5.0	62.0
4	毒	20.0	1.0	0.0	14.0	65.0
4	熱	18.0	4.0	2.5	10.0	65.5
4	念	22.0	5.0	2.0	5.0	66.0
4	敗	36.5	5.0	5.5	5.0	48.0
4	倍	0.0	2.0	3.0	1.0	94.0
4	博	31.0	3.0	2.0	21.0	43.0
4	飯	24.5	2.5	10.0	13.0	50.0
4	飛	8.0	1.0	0.0	12.0	79.0
4	費	40.7	7.7	1.3	4.3	46.0
4	必	16.0	1.5	0.5	5.5	76.5
4	筆	28.0	2.0	1.0	12.5	56.5
4	票	21.0	13.0	30.0	5.0	31.0
4	標	5.0	3.0	4.0	8.0	80.0
4	不	25.5	8.0	0.5	3.5	62.5
4	夫	21.5	8.0	2.0	3.0	65.5
4	付	42.0	13.3	1.7	1.3	41.7

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
4	府	45.0	8.0	3.0	4.0	40.0
4	副	5.0	2.0	12.0	4.0	77.0
4	粉	31.7	5.3	4.3	4.3	54.3
4	兵	20.0	10.0	0.0	7.0	63.0
4	別	16.5	5.0	3.5	5.0	70.0
4	辺	23.7	5.7	0.0	2.0	68.7
4	変	11.7	4.7	0.0	3.3	80.3
4	便	36.7	5.0	2.7	10.3	45.3
4	包	15.0	30.0	2.5	6.5	46.0
4	法	5.0	6.0	3.0	7.0	79.0
4	望	22.5	5.0	0.0	3.0	69.5
4	牧	15.0	3.0	9.0	10.0	63.0
4	末	31.5	8.5	19.0	0.0	41.0
4	満	56.0	12.7	1.0	6.7	23.7
4	脈	18.0	2.0	1.0	36.0	43.0
4	民	16.0	3.0	1.0	12.0	68.0
4	約	23.0	7.0	2.0	5.0	63.0
4	勇	18.0	4.0	2.5	5.5	70.0
4	要	4.0	9.0	8.0	5.0	74.0
4	養	40.5	11.0	0.5	2.5	45.5
4	浴	36.7	4.7	6.7	2.7	49.3
4	利	16.0	8.0	0.0	0.0	76.0
4	陸	23.0	3.0	2.0	8.0	64.0
4	良	27.0	13.0	0.0	9.0	51.0
4	料	15.0	4.0	14.0	8.0	59.0
4	量	29.5	17.0	4.5	5.0	44.0
4	輪	21.5	20.0	2.5	21.0	35.0
4	類	22.0	2.0	2.0	14.0	60.0
4	令	6.0	10.0	13.0	2.0	69.0
4	冷	23.9	12.0	2.3	3.8	58.1
4	例	18.5	8.5	9.5	10.0	53.5
4	歴	9.0	0.0	1.0	16.0	74.0
4	連	32.0	8.3	6.3	3.5	50.0
4	練	30.0	4.0	2.0	1.5	62.5
4	老	26.5	8.0	2.5	1.5	61.5
4	労	35.0	6.0	1.0	7.0	51.0
4	録	22.0	0.0	13.0	12.0	53.0
5	圧	9.0	11.0	11.0	5.0	64.0
5	易	39.3	18.7	0.0	9.3	32.7
5	移	20.7	8.0	0.0	3.0	68.3
5	因	7.0	2.0	2.0	0.0	89.0
5	永	6.5	16.0	0.0	3.0	74.5
5	営	33.5	7.5	5.5	7.5	46.0
5	衛	28.0	14.0	1.0	24.0	33.0
5	益	34.0	10.0	0.0	6.0	50.0
5	液	20.0	6.0	2.0	18.0	54.0
5	演	30.0	3.0	3.0	16.0	48.0
5	往	24.0	4.0	8.0	2.0	62.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
5	応	30.0	8.0	2.0	0.0	60.0
5	恩	12.0	0.0	3.0	8.0	77.0
5	仮	25.0	2.5	15.0	3.5	54.0
5	果	32.3	3.5	0.8	2.5	61.0
5	河	17.5	29.0	1.0	1.5	51.0
5	過	22.3	5.7	0.0	1.0	71.0
5	価	8.0	2.0	2.0	4.0	84.0
5	賀	16.0	2.0	0.0	5.0	77.0
5	快	32.0	20.0	4.0	5.0	39.0
5	解	41.3	9.5	0.3	11.3	37.8
5	格	13.0	4.0	4.0	11.0	68.0
5	確	18.0	10.7	1.3	13.0	57.0
5	額	54.5	4.5	6.0	4.5	30.5
5	刊	14.0	5.0	3.0	10.0	68.0
5	幹	31.0	6.0	1.0	12.5	49.5
5	慣	31.0	13.3	1.7	8.3	45.7
5	歓	33.0	12.0	13.0	10.0	32.0
5	眼	18.0	5.0	6.0	13.0	58.0
5	基	6.0	4.0	3.0	7.0	80.0
5	寄	46.7	8.0	4.3	4.3	36.7
5	規	33.0	7.0	2.0	16.0	42.0
5	技	25.0	8.0	8.0	1.0	58.0
5	義	21.0	2.0	14.0	11.0	52.0
5	逆	23.7	10.7	1.3	6.3	58.0
5	久	12.0	5.0	1.0	0.0	82.0
5	旧	25.0	49.0	0.0	0.0	26.0
5	居	33.5	14.0	0.0	1.0	51.5
5	許	49.0	7.0	6.0	4.0	34.0
5	境	35.0	12.0	5.0	9.5	38.5
5	興	31.5	18.5	0.0	5.5	44.5
5	均	13.0	3.0	9.0	22.0	53.0
5	禁	5.0	0.0	1.0	25.0	69.0
5	句	19.0	1.0	0.0	2.0	78.0
5	訓	35.0	13.0	6.0	1.0	45.0
5	群	30.3	12.3	7.5	10.0	40.0
5	経	48.0	12.0	3.5	3.0	33.5
5	潔	31.0	0.0	2.0	16.0	51.0
5	件	21.0	6.0	1.0	5.0	67.0
5	券	6.0	2.0	0.0	49.0	43.0
5	険	39.5	5.5	19.5	3.5	32.0
5	検	14.0	3.0	16.0	10.0	57.0
5	絹	30.0	4.0	7.0	11.0	48.0
5	限	45.0	10.5	8.0	0.5	36.0
5	現	14.0	15.3	0.3	2.3	68.0
5	減	25.7	7.3	3.7	7.3	56.0
5	故	16.0	6.0	6.0	3.0	69.0
5	個	8.0	3.0	5.0	7.0	77.0
5	護	26.0	4.0	3.0	29.0	38.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
5	効	37.0	11.5	3.0	2.5	46.0
5	厚	12.0	0.0	4.0	11.0	73.0
5	耕	28.5	22.0	0.0	8.5	41.0
5	構	50.7	7.7	5.0	7.0	29.7
5	講	28.0	22.0	23.0	2.0	25.0
5	鉱	32.0	10.0	11.0	6.0	41.0
5	混	46.3	11.3	1.8	4.8	36.0
5	査	19.0	3.0	3.0	4.0	71.0
5	再	26.7	22.7	0.0	4.3	46.3
5	災	30.0	8.0	0.0	2.0	60.0
5	妻	31.5	6.5	10.0	17.0	35.0
5	採	47.5	19.5	1.5	2.5	29.0
5	際	26.0	4.0	12.0	12.0	46.0
5	在	48.0	11.5	0.0	4.5	36.0
5	財	24.0	10.0	8.0	8.0	50.0
5	罪	21.0	3.0	3.5	2.0	70.5
5	雑	35.5	8.0	2.0	3.0	51.5
5	蚕	31.0	24.5	0.5	2.5	41.5
5	酸	11.0	1.0	9.0	13.0	66.0
5	賛	30.0	5.0	2.0	3.0	60.0
5	支	51.0	8.5	1.0	0.0	39.5
5	示	25.0	16.0	0.5	1.5	57.0
5	志	41.3	14.3	3.3	0.0	41.0
5	師	35.0	3.0	2.0	12.0	48.0
5	資	54.0	16.0	6.0	2.0	22.0
5	似	19.0	1.0	15.0	0.0	65.0
5	児	8.0	9.0	0.0	22.0	61.0
5	識	26.0	0.0	13.0	6.0	55.0
5	質	34.0	1.0	5.0	0.0	60.0
5	舎	12.0	6.0	7.0	7.0	68.0
5	謝	17.0	4.0	9.0	8.0	62.0
5	授	15.0	2.0	7.0	11.0	65.0
5	収	39.7	37.3	0.0	1.0	22.0
5	修	45.0	25.7	0.0	6.7	22.7
5	衆	46.0	21.0	0.0	17.0	16.0
5	祝	16.0	7.0	4.0	21.5	51.5
5	述	20.5	2.0	34.5	4.5	38.5
5	術	22.0	2.0	1.0	5.0	70.0
5	準	12.0	7.0	5.0	7.0	69.0
5	序	34.0	3.0	5.0	7.0	51.0
5	除	54.0	13.5	5.0	2.5	25.0
5	招	40.5	4.0	5.5	3.0	47.0
5	承	41.0	10.0	0.0	7.0	42.0
5	称	49.0	10.0	3.0	7.0	31.0
5	証	25.0	4.0	4.0	1.0	66.0
5	条	22.0	5.0	0.0	2.0	71.0
5	状	13.0	7.0	0.0	3.0	77.0
5	常	30.0	8.5	2.0	11.5	48.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
5	情	45.0	13.0	2.0	2.5	37.5
5	織	27.0	12.5	16.0	3.0	41.5
5	職	28.0	6.0	6.0	6.0	54.0
5	制	45.0	3.0	5.0	7.0	40.0
5	性	5.0	1.0	2.0	2.0	90.0
5	政	19.0	0.0	4.0	3.0	74.0
5	精	28.0	3.0	9.0	4.0	56.0
5	製	25.0	13.0	13.0	15.0	34.0
5	税	32.0	6.0	9.0	6.0	47.0
5	責	36.5	11.0	4.5	2.5	45.5
5	績	8.0	0.0	24.0	10.0	58.0
5	接	44.0	4.0	0.0	6.0	46.0
5	設	50.0	6.5	3.5	2.0	38.0
5	舌	7.0	5.0	4.0	0.0	84.0
5	絶	49.0	15.0	1.0	2.5	32.5
5	銭	28.0	10.0	4.0	7.0	51.0
5	善	31.5	31.0	1.5	8.0	28.0
5	祖	20.0	2.0	4.0	9.0	65.0
5	素	21.0	2.0	1.0	0.0	76.0
5	総	45.0	12.0	1.0	4.0	38.0
5	造	17.0	14.5	0.0	1.5	67.0
5	像	14.0	4.0	12.0	9.0	61.0
5	増	34.0	7.5	1.0	9.3	48.3
5	則	22.0	2.0	13.0	1.0	62.0
5	測	28.5	25.5	7.0	0.5	38.5
5	属	34.0	1.0	1.0	12.0	52.0
5	損	32.0	8.0	4.0	3.0	53.0
5	退	49.0	3.7	4.0	2.7	40.7
5	貸	21.0	13.0	13.0	4.0	49.0
5	態	21.0	10.0	19.0	1.0	49.0
5	団	20.0	3.0	2.0	2.0	73.0
5	断	36.0	6.0	0.5	2.0	55.5
5	築	43.0	2.0	2.0	8.0	45.0
5	張	50.5	8.0	8.0	1.5	32.0
5	提	21.0	5.0	12.0	12.0	50.0
5	程	28.0	27.0	0.0	10.0	35.0
5	敵	24.0	11.0	7.0	12.0	46.0
5	適	16.0	8.0	23.0	8.0	45.0
5	統	34.0	44.0	0.0	1.0	21.0
5	銅	41.0	9.0	2.0	5.0	43.0
5	導	11.5	4.5	1.0	4.0	79.0
5	特	9.0	2.0	13.0	7.0	69.0
5	得	36.0	6.5	12.5	6.5	38.5
5	徳	14.0	0.0	1.0	16.0	69.0
5	独	14.0	6.0	1.0	18.0	61.0
5	任	42.3	3.7	2.7	0.7	50.7
5	燃	17.3	2.8	10.5	11.5	58.0
5	能	10.0	1.0	9.0	3.0	77.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
5	破	33.0	5.7	4.3	8.0	49.0
5	犯	25.0	8.0	2.0	21.0	44.0
5	判	31.5	15.5	6.0	2.5	44.5
5	版	32.0	6.0	12.0	17.0	33.0
5	比	26.0	5.0	1.5	1.5	66.0
5	非	10.0	2.0	1.0	5.0	82.0
5	肥	42.0	18.0	1.0	4.6	34.4
5	備	39.3	4.3	2.7	9.0	44.7
5	俵	23.5	3.0	21.0	6.5	46.0
5	評	39.0	13.0	0.0	3.0	45.0
5	貧	40.5	2.5	1.5	4.0	51.5
5	布	26.0	8.0	4.0	1.5	60.5
5	婦	36.0	14.0	3.0	9.0	38.0
5	富	35.0	5.3	1.0	4.7	54.0
5	武	17.0	8.0	4.0	18.5	52.5
5	復	13.0	1.0	9.0	6.0	71.0
5	複	17.0	6.0	18.0	8.0	51.0
5	仏	14.5	4.0	2.5	0.0	79.0
5	編	27.5	3.5	2.5	20.0	46.5
5	弁	8.0	2.0	0.0	8.0	82.0
5	保	18.5	2.0	0.5	1.0	78.0
5	墓	27.5	1.5	11.5	13.5	46.0
5	報	19.0	10.0	0.0	22.0	49.0
5	豊	15.5	3.5	1.5	4.5	75.0
5	防	35.0	4.0	4.0	0.5	56.5
5	貿	40.0	6.0	3.0	5.0	46.0
5	暴	36.5	2.0	0.0	9.5	52.0
5	未	14.0	2.0	14.0	2.0	68.0
5	務	40.0	19.5	1.5	13.5	25.5
5	無	27.7	3.7	0.0	7.3	61.3
5	迷	7.0	2.0	9.0	1.0	81.0
5	綿	34.5	7.0	16.5	7.0	35.0
5	輸	9.0	1.0	32.0	4.0	54.0
5	余	43.7	13.3	2.7	3.7	36.7
5	預	26.7	3.0	9.0	9.0	52.3
5	容	8.0	4.0	2.0	3.0	83.0
5	率	24.0	12.5	4.5	9.0	50.0
5	略	41.0	1.0	4.0	5.0	49.0
5	留	26.0	23.8	0.8	4.3	45.3
5	領	45.0	1.0	2.0	6.0	46.0
6	異	25.0	17.0	0.0	4.5	53.5
6	遺	39.0	24.0	0.0	4.0	33.0
6	域	9.0	0.0	1.0	30.0	60.0
6	壱	38.0	20.0	0.0	9.0	33.0
6	宇	0.0	20.0	4.0	13.0	63.0
6	羽	15.0	7.0	0.0	0.0	78.0
6	映	9.7	33.0	1.0	4.0	52.3
6	延	29.3	16.0	13.5	2.5	38.8

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
6	沿	35.0	13.5	6.5	2.5	42.5
6	可	18.0	8.0	0.0	4.0	70.0
6	我	30.0	4.0	4.0	9.0	53.0
6	灰	13.0	3.0	7.0	0.0	77.0
6	街	14.0	12.0	3.5	5.5	65.0
6	革	49.0	16.0	1.0	17.0	17.0
6	拡	10.0	6.0	1.0	4.0	79.0
6	閣	10.0	3.0	11.0	0.0	76.0
6	割	16.3	2.7	0.3	2.0	78.7
6	株	44.0	3.0	6.0	11.0	36.0
6	干	24.5	14.5	4.5	0.5	56.0
6	巻	20.3	4.7	1.7	14.3	59.0
6	看	45.0	10.0	2.0	10.0	33.0
6	勧	12.0	34.0	13.0	3.0	38.0
6	簡	15.0	0.0	3.0	6.0	76.0
6	丸	16.8	8.5	0.0	0.5	74.3
6	危	38.0	14.0	0.0	21.0	27.0
6	机	2.0	0.0	2.0	0.0	96.0
6	揮	27.0	9.0	2.0	2.0	60.0
6	貴	26.0	7.0	3.0	11.0	53.0
6	疑	33.5	14.5	0.5	12.5	39.0
6	弓	8.0	1.0	2.0	0.0	89.0
6	吸	15.0	4.5	3.0	4.0	73.5
6	泣	10.0	13.0	1.0	2.0	74.0
6	供	23.3	15.0	10.3	0.3	51.0
6	胸	15.0	0.0	1.5	16.0	67.5
6	郷	23.0	10.0	2.0	21.0	44.0
6	勤	21.7	15.0	2.3	13.0	48.0
6	筋	27.0	0.5	7.5	8.5	56.5
6	系	7.0	4.0	11.0	0.0	78.0
6	径	11.0	3.0	28.0	1.0	57.0
6	敬	42.0	10.5	0.0	1.5	46.0
6	警	26.0	7.0	3.0	13.0	51.0
6	劇	20.0	2.0	0.0	53.0	25.0
6	穴	7.0	1.0	1.0	4.0	87.0
6	兼	37.0	14.0	4.0	11.0	34.0
6	憲	22.0	11.0	0.0	6.0	61.0
6	権	16.0	4.0	9.0	13.0	58.0
6	源	14.5	1.0	5.5	2.5	76.5
6	厳	40.0	6.5	0.0	24.0	29.5
6	己	9.0	16.0	0.0	0.0	75.0
6	呼	16.5	5.0	1.5	4.5	72.5
6	誤	34.5	10.0	2.5	5.0	48.0
6	后	44.0	5.0	2.0	1.0	48.0
6	好	9.7	0.7	0.3	0.3	89.0
6	孝	22.0	8.0	8.0	0.0	62.0
6	皇	19.0	5.0	0.0	5.0	71.0
6	紅	10.5	7.5	2.0	1.5	78.5

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
6	降	26.8	13.8	0.3	14.8	44.5
6	鋼	17.0	6.0	21.0	5.0	51.0
6	刻	26.5	4.0	0.0	13.5	56.0
6	穀	36.0	10.0	1.0	19.0	34.0
6	骨	12.5	0.0	1.5	5.0	81.0
6	困	17.5	5.5	13.0	0.0	64.0
6	砂	11.0	1.5	0.5	2.0	85.0
6	座	28.0	1.0	0.0	4.0	67.0
6	済	38.0	9.3	3.7	1.7	47.3
6	裁	32.5	6.5	0.5	12.5	48.0
6	策	28.0	11.0	2.0	19.0	40.0
6	冊	15.0	2.0	0.0	5.0	78.0
6	至	44.0	11.0	0.5	0.5	44.0
6	私	9.5	2.5	1.0	1.0	86.0
6	姿	26.5	8.0	2.0	4.5	59.0
6	視	9.0	10.0	7.0	15.0	59.0
6	詞	14.0	1.0	49.0	1.0	35.0
6	誌	19.0	15.0	7.0	4.0	55.0
6	磁	20.0	2.0	8.0	21.0	49.0
6	射	26.5	6.0	3.0	6.5	58.0
6	捨	19.0	5.5	24.0	2.5	49.0
6	尺	22.0	8.0	7.0	2.0	61.0
6	釈	30.0	1.0	30.0	13.0	26.0
6	若	2.0	0.0	2.0	4.0	92.0
6	需	35.0	21.0	1.0	8.0	35.0
6	樹	19.0	2.0	1.0	13.0	65.0
6	宗	22.0	8.0	2.0	3.0	65.0
6	就	44.0	6.0	0.0	6.0	44.0
6	従	36.7	8.7	5.3	6.7	42.7
6	縦	39.0	7.5	6.5	14.5	32.5
6	縮	19.7	1.8	3.5	5.0	70.0
6	熟	39.0	14.0	11.0	6.0	30.0
6	純	27.0	10.0	0.0	29.0	34.0
6	処	33.0	11.0	2.0	10.0	44.0
6	署	6.0	16.0	10.0	7.0	61.0
6	諸	10.0	4.0	3.0	5.0	78.0
6	将	16.0	4.0	1.0	15.0	64.0
6	笑	15.0	0.0	0.0	17.0	68.0
6	傷	27.5	6.5	1.0	23.5	41.5
6	障	34.0	9.0	5.0	1.0	51.0
6	城	6.0	1.0	3.0	5.5	84.5
6	蒸	23.0	3.0	2.0	48.0	24.0
6	針	14.5	9.5	2.5	2.0	71.5
6	仁	32.0	30.0	3.0	0.0	35.0
6	垂	35.7	10.7	1.0	11.7	41.0
6	推	20.0	27.0	7.0	0.0	46.0
6	寸	10.0	4.0	0.0	0.0	86.0
6	是	50.0	13.0	0.0	4.0	33.0

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
6	聖	22.0	14.0	0.0	4.0	60.0
6	誠	22.0	22.0	10.0	1.0	45.0
6	宣	21.0	4.0	1.0	20.0	54.0
6	専	16.0	2.0	1.0	36.0	45.0
6	染	31.5	3.0	2.5	18.5	44.5
6	泉	9.5	2.0	2.0	7.0	79.5
6	洗	6.0	1.5	2.5	1.0	89.0
6	奏	27.0	13.0	13.0	8.0	39.0
6	窓	19.0	7.5	8.0	7.5	58.0
6	創	27.0	18.0	1.0	4.0	50.0
6	層	30.0	2.0	12.0	8.0	48.0
6	操	8.0	2.0	1.0	22.0	67.0
6	蔵	25.0	10.0	10.0	3.0	52.0
6	臓	10.0	2.0	4.0	14.0	70.0
6	俗	18.0	29.0	5.0	3.0	45.0
6	存	25.0	4.0	6.5	1.0	63.5
6	尊	44.6	6.0	0.8	11.8	36.8
6	宅	24.0	3.0	3.0	4.0	66.0
6	担	12.0	1.0	11.0	2.0	74.0
6	探	24.5	5.0	9.5	10.0	51.0
6	段	18.0	6.0	1.0	20.0	55.0
6	暖	17.4	17.0	0.4	14.4	50.8
6	値	13.5	2.0	11.5	5.0	68.0
6	仲	3.0	0.0	1.0	0.0	96.0
6	宙	3.0	1.0	2.0	17.0	77.0
6	忠	16.0	15.0	6.0	0.0	63.0
6	著	32.0	3.0	8.0	4.0	53.0
6	庁	23.0	14.0	10.0	1.0	52.0
6	兆	8.0	3.0	1.0	5.0	83.0
6	頂	21.7	3.3	2.3	3.7	69.0
6	潮	12.0	7.5	8.5	3.5	68.5
6	賃	33.0	3.0	17.0	5.0	42.0
6	痛	17.3	1.5	3.3	12.0	66.0
6	展	22.0	14.0	0.0	30.0	34.0
6	党	22.0	8.0	10.0	5.0	55.0
6	討	29.0	18.0	7.0	4.0	42.0
6	糖	30.0	4.0	9.0	23.0	34.0
6	届	26.5	2.0	2.0	3.0	66.5
6	難	25.5	3.5	3.0	26.0	42.0
6	弐	40.0	9.0	4.0	19.0	28.0
6	乳	11.0	0.0	0.0	6.0	83.0
6	認	25.0	8.0	2.0	3.0	62.0
6	納	20.3	28.0	0.7	2.0	49.0
6	脳	20.0	0.0	24.0	21.0	35.0
6	派	17.0	1.0	15.0	7.0	60.0
6	拝	37.5	14.5	1.0	17.0	30.0
6	肺	28.0	4.0	7.0	6.0	55.0
6	背	19.3	3.3	1.7	5.0	70.7

配当学年	漢字	無　答	他漢字	類似形	不完全	正　答
6	俳	22.0	2.0	12.0	7.0	57.0
6	班	2.0	0.0	0.0	7.0	91.0
6	晩	21.0	14.0	3.0	8.0	54.0
6	否	16.0	36.0	1.0	1.0	46.0
6	批	21.0	12.0	30.0	6.0	31.0
6	秘	10.0	1.0	17.0	1.0	71.0
6	腹	24.5	3.0	9.5	12.5	50.5
6	奮	50.0	4.0	1.0	8.5	36.5
6	陛	32.0	11.0	20.0	6.0	31.0
6	閉	12.8	0.8	3.0	1.8	81.8
6	片	12.0	1.0	1.0	46.0	40.0
6	補	48.5	11.5	0.0	11.5	28.5
6	宝	8.0	1.0	1.5	0.5	89.0
6	訪	30.0	2.5	9.0	1.0	57.5
6	亡	10.0	2.0	3.0	0.0	85.0
6	忘	8.0	2.0	4.0	4.0	82.0
6	棒	29.0	11.0	2.0	23.0	35.0
6	枚	11.0	0.0	0.0	3.0	86.0
6	幕	36.0	1.5	5.0	6.0	51.5
6	密	11.0	0.0	0.0	7.0	82.0
6	盟	10.0	9.0	6.0	8.0	67.0
6	模	37.5	8.5	1.5	7.0	45.5
6	矢	9.0	2.0	13.0	2.0	74.0
6	訳	29.0	12.0	2.5	1.5	55.0
6	郵	20.0	4.0	1.0	18.0	57.0
6	優	12.0	0.0	0.0	27.0	61.0
6	幼	17.5	8.5	0.0	14.0	60.0
6	羊	9.0	1.0	15.0	6.0	69.0
6	欲	33.0	1.0	14.0	7.0	45.0
6	翌	23.0	11.0	8.0	6.0	52.0
6	乱	30.7	3.7	1.3	0.7	63.7
6	卵	9.0	1.0	1.0	22.0	67.0
6	覧	38.0	6.0	1.0	16.0	39.0
6	裏	14.0	3.0	1.0	32.0	50.0
6	律	5.0	9.0	18.0	7.0	61.0
6	臨	29.0	6.0	0.0	15.0	50.0
6	朗	16.0	5.0	30.0	3.0	46.0
6	論	24.0	0.0	7.0	13.0	56.0

第2章

小，中学校における
漢字の学習指導の実態

第1節　調査の目的

序章第1節に述べたように，本章では，漢字の学習指導に関するアンケート調査の結果について報告する。この調査は，漢字の学習指導の改善のための資料を得ることを目的として，昭和62年（1987年）度に行ったものである。

この調査を行うことは，総合研究(B)「『常用漢字の学習段階配当のための基礎的研究』にともなう研究計画の検討」（昭和56年度）の中で計画されていたことであった。しかし，特定研究(1)「常用漢字の学習段階配当のための基礎的研究」（昭和57～59年度）の中では，残念ながら，行うことができなかった。そのため，一般研究(A)「漢字情報のデータベース化に基づく常用漢字の学習段階配当に関する研究」（昭和61～63年度）の中で行ったのである。

だが，常用漢字の学習段階配当をめぐる状況は，この調査を計画した昭和56年（1981年）度当時と比べると，大きく変化していた。当時は，常用漢字の学習段階配当を検討するための資料を作成することが，緊急の課題であった。このアンケート調査も，そのために計画されたものであった。しかし，この調査を行った昭和62年（1987年）度には，常用漢字の学習段階配当の検討を行う研究協力者会議が文部省内にすでに発足していて，改訂案が取りまとめられつつあった。そのため，当初の計画よりも目的を広げ，上記の目的で行ったのである。

第2節　調査の概要

(1) 調査票

小，中学校の教師を対象に，漢字の学習指導に関して，全国的な規模で行われたアンケート調査には，次の2つがある。

国立国語研究所「中学校の漢字学習の実態に関する質問紙調査」

国立国語研究所が昭和41（1966）年12月～昭和42（1967）年3月にかけて行った調査である。中学校の教師1,236名を対象に実施して，643名から回答を得ている。調査結果は，報告36『中学生の漢字習得に関する研究』（秀英出版，1971年）に報告されている。

文化庁「漢字学習指導についてのアンケート調査」

文化庁国語課が，昭和39（1964）年度から行っていた漢字の習得状況調査の付帯調査として，昭和46（1971）年2月に行った調査である。小学校の教師684名を対象に実施して，全員から回答を得ている。調査結果は，文化庁国語課『「漢字学習指導についてのアンケート調査」集計表』（1971年9月）に報告されている。

この2つの調査を参考にして，調査票を作成した。作成にあたって，林大，斎賀秀夫，村石昭三の助言を得た。調査票は，小学校教師用と中学校国語教師用とを分けたが，中学校については，さらに，他教科の教師用のものも作成した。したがって，次の3種類の調査票を作成したことになる。

小学校教師用

中学校国語教師用

中学校他教科教師用

以下に，この３つの調査票の質問項目と回答項目とをあげる。小学校教師用と中学校国語教師用とは，一部を除いて同じである。

小学校教師用

Ⅰ．性別をお答えください。

1）男　　2）女

Ⅱ．何歳ですか。

1）25歳以下　2）26～30歳　3）31～35歳　4）36～40歳
5）41～45歳　6）46～50歳　7）51～55歳　8）56歳以上

Ⅲ．教職についてから，何年になりますか。（非常勤講師の経験のある方は，その年数も加えてください。）

1）1～5年　2）6～10年　3）11～15年　4）16～20年
5）21～25年　6）26～30年　7）31～35年　8）36年以上

Ⅳ．今年度は，何学年の児童の学級担任をしていますか。

1）1学年　2）2学年　3）3学年
4）4学年　5）5学年　6）6学年

Ⅴ．興味を持っている教科を三つ選んでください。（三つない場合は，一つまたは二つ選んでください。）

1）国語　2）算数　3）理科　4）社会　5）音楽
6）体育　7）図工　8）道徳　9）家庭　10）特別活動

1．「国語」の指導の中で，漢字の読み書きの指導を重視していますか。

1）非常に重視している
2）比較的重視している
3）あまり重視していない

2．漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視していますか。

1）読みの指導　2）書きの指導　3）両方同じ程度

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。

① 教科書を音読して，児童に聞かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

② 漢字の読み方を指導してから，児童に教科書を音読させる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

③ 文脈から漢字の読み方を想像させて，児童に教科書を音読させる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

④ 黒板に漢字の読み方を書いて，児童に示す。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

⑤ 授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

⑥ 授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

⑦ カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑧ 前もって，家で調べさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑨ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑩ そのほかの方法で指導をすることがありましたら，具体的に書いてください。

（　　）

4. 教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。

① 黒板に漢字を書いて，児童に見せる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

② どのような形から組み立てられているかを説明する。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

③ 画数を数えさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

④ 手や指で，空中に漢字を書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑤ 教科書を見させて，教科書の形どおりに漢字を書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑥ 授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑦ 家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑧ 漢字を使った熟語をつくらせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑨ 漢字を使った短文をつくらせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑩ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑪ そのほかの方法で指導をすることがありましたら，具体的に書いてください。

（　　）

5. 新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導していますか。(複数回答可)

1) 全部

2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字

3) 児童の生活の中で，よく使われる漢字

4) その他（　　）

6. 新出漢字の読みを指導するとき，同一時間内に，その漢字の書きも指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

7. 読み替え漢字の中で，どのような漢字に重点を置いて指導していますか。(複数回答可)

1) 全部

2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字

3) 児童の生活の中で，よく使われる漢字

4) その他（　　）

8. その学年ですでに指導した漢字や，下の学年に配当されている漢字を指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

8-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)

1) 教科書に出てきた漢字全部

2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字

3) 児童の生活の中で，よく使われる漢字

4) その他（　　）

9. 上の学年に配当されている漢字や，小学校に配当されていない常用漢字を，教科書には出てこなくても，指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

9-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)

1) 人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字

2) 児童が興味を持ちそうな漢字

3) その他（　　）

9-2. その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1) ほとんど読みだけ

2) 書きも指導するが，読みのほうが多い

3) 読み書き同じ程度

4) 読みも指導するが，書きのほうが多い

5) ほとんど書きだけ

10. 常用漢字表に示された漢字以外の漢字を指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

10-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)

1) 人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字

2) 児童が興味を持ちそうな漢字

3) その他（　　）

10-2. その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1) ほとんど読みだけ

2) 書きも指導するが，読みのほうが多い

3) 読み書き同じ程度

4) 読みも指導するが，書きのほうが多い

5) ほとんど書きだけ

11. 新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，ほかの音訓も指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

11-1. どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1) その漢字の常用漢字表の音訓全部
2) 児童の生活の中で，よく使われる音訓
3) その他（　　）

12．読み替え漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，それまでに指導した音訓も指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

12-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1) それまでに指導した音訓全部
2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい音訓
3) 児童の生活の中で，よく使われる音訓
4) その他（　　）

13．常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

13-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1) 人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる音訓
2) 児童が興味を持ちそうな音訓
3) その他（　　）

14．新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

14-1．辞書によって筆順が違う漢字がありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

15．同じ漢字について，何度も筆順を指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

15-1．どのような漢字について，何度も筆順を指導しますか。(複数回答可)

1) 画数の多い漢字
2) 画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字
3) その他（　　）

16．児童の筆順が指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい，という意見があります。この意見に賛成ですか。

1) 賛成（筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい）
2) 反対（指導した筆順以外の筆順は認めるべきではない）
3) 分からない
4) その他（　　）

17．指導した筆順とは違った筆順で漢字を書いている児童を見たとき，指導した筆順で書くように注意をすることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

18. ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

18-1. 辞書によって，部首の立て方や呼び方や配列の仕方が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

19. 漢字の字源について指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

19-1. 辞書によって，字源の説明が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

20. 長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の形どおりに書かなければいけない，と指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

21. あなたの担任している学級には，いわゆるマンガ文字を書く児童がいますか。

1) たくさんいる　　2) まあまあいる　　3) ほとんどいない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

21-1. マンガ文字を書く児童は，男子と女子とでは，どちらが多いですか。

1) ほとんど男子だけ
2) 女子もいるが，男子のほうが多い
3) 男子と女子とで同じぐらい
4) 男子もいるが，女子のほうが多い
5) ほとんど女子だけ

21-2. マンガ文字を書く児童に対して，マンガ文字を書かないように指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

22. 国語辞典を持っている児童は，学級にどのくらいいますか。

1) ほとんどの児童が持っている
2) 半分くらいの児童が持っている
3) ほとんどの児童が持っていない
4) どのくらいの児童が持っているか分からない

23. 漢和辞典を持っている児童は，学級にどのくらいいますか。

1) ほとんどの児童が持っている
2) 半分くらいの児童が持っている
3) ほとんどの児童が持っていない
4) どのくらいの児童が持っているか分からない

24. 国語辞典の使い方を指導しますか。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

25. 漢和辞典の使い方を指導しますか。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

26．授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせていますか。

1）自由に使わせている

2）指導して使わせている

3）使わせていない

27．あなたは「国語」以外の教科の授業で，漢字の指導をすることがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

27-1．どのような教科の指導のときに，漢字の指導をしますか。指導をすると思われる教科を，いくつでもよいですから選んでください。

1）社会　2）算数　3）理科　4）音楽　5）図画工作

6）家庭　7）体育　8）道徳　9）特別活動

27-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1）ほとんど読みだけ

2）書きも指導するが，読みのほうが多い

3）読み書き同じ程度

4）読みも指導するが，書きのほうが多い

5）ほとんど書きだけ

28．たとえば，毎週何分，毎日何分，毎授業時間何分のように，学校のなかで特別に時間を決めて，漢字の練習をさせていますか。

1）させている　　2）させていない

29．漢字のテストは，どういうときに行っていますか。

1）教科書の区切りのよいとき

2）毎日

3）毎週

4）その他（　　）

30．漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いですか。

1）ほとんど読みだけ

2）書きもするが，読みのほうが多い

3）読み書き同じ程度

4）読みもするが，書きのほうが多い

5）ほとんど書きだけ

31．漢字の書き取りのテストで，児童の書いた漢字の字形の評価については，長短，とめ，はね，点の方向など，教科書にある形に従っていますか。

1）厳密に従っている　2）だいたい従っている　3）ほとんど従っていない

32．教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

32-1．どのような課題を出しますか。（複数回答可）

1）漢字の書き取り練習

2）市販されている練習問題（集）

3）教師作成の練習問題（集）

4) その他（　　）

中学校国語教師用

Ⅰ．性別をお答えください。

1) 男　　2) 女

Ⅱ．何歳ですか。

1) 25歳以下　2) 26～30歳　3) 31～35歳　4) 36～40歳
5) 41～45歳　6) 46～50歳　7) 51～55歳　8) 56歳以上

Ⅲ．教職についてから，何年になりますか。（非常勤講師の経験のある方は，その年数も加えてください。）

1) 1～5年　2) 6～10年　3) 11～15年　4) 16～20年
5) 21～25年　6) 26～30年　7) 31～35年　8) 36年以上

Ⅳ．今年度は，何学年の生徒の国語の指導を受け持っていますか。（複数の学年を受け持っている場合は，受け持っている学年を全部選んでください。）

1) 1学年　2) 2学年　3) 3学年

1．「国語」の指導の中で，漢字の読み書きの指導を重視していますか。

1) 非常に重視している
2) 比較的重視している
3) あまり重視していない

2．漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視していますか。

1) 読みの指導　2) 書きの指導　3) 両方同じ程度

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。

① 教科書を音読して，生徒に聞かせる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

② 漢字の読み方を指導してから，生徒に教科書を音読させる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

③ 文脈から漢字の読み方を想像させて，生徒に教科書を音読させる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

④ 黒板に漢字の読み方を書いて，生徒に示す。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

⑤ 授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

⑥ 授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

⑦ カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

⑧ 前もって，家で調べさせる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

⑨ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。
1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

⑩ そのほかの方法で指導をすることがありましたら，具体的に書いてください。
（　　）

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。

① 黒板に漢字を書いて，生徒に見せる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

② どのような形から組み立てられているかを説明する。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

③ 画数を数えさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

④ 手や指で，空中に漢字を書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑤ 教科書の巻末の漢字表を見させて，その形どおりに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑥ 授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑦ 家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑧ 漢字を使った熟語をつくらせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑨ 漢字を使った短文をつくらせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑩ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑪ そのほかの方法で指導をすることがありましたら，具体的に書いてください。

（　　）

5. 小学校に配当されている漢字以外の常用漢字について，どのような指導目標を立てて指導していますか。

1) すべての漢字を読み書きできるようにする

2) 書けない漢字が何字かあっても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする

3) ほとんどの漢字が書けなくても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする

4) 書けない漢字が何字かあって，また読めない漢字も何字かある，というぐらいにする

5) ほとんどの漢字が書けなくても，読めない漢字が何字かある，というぐらいにする

6) ほとんどの漢字が書けなくても読めなくてもよい

7) 特にはっきりとした目標を立てていない

8) その他（　　）

6. 新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導していますか。(複数回答可)

1) 全部

2) これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字

3) 生徒の生活の中で，よく使われる漢字

4) その他（　　）

7. 新出漢字の読みを指導するとき，同一時間内に，その漢字の書きも指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

8. 小学校ですでに指導された漢字（小学校に配当されている漢字）を，指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

8-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)

1) 教科書に出てきた漢字全部
2) これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字
3) 生徒の生活の中で，よく使われる漢字
4) その他（　　）

9. すでにその学年で指導した漢字や，（中学校の）下の学年で指導した漢字を指導することがありますか。
1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
↓
1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
9-1. どのような漢字を指導しますか。（複数回答可）
1) 教科書に出てきた漢字全部
2) これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字
3) 生徒の生活の中で，よく使われる漢字
4) その他（　　）

10. 常用漢字表に示された漢字以外の漢字を指導することがありますか。
1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
↓
1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
10-1. どのような漢字を指導しますか。（複数回答可）
1) 人名や地名などに使われていて，生徒の目によくふれる漢字
2) 生徒が興味を持ちそうな漢字
3) その他（　　）
10-2. その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
1) ほとんど読みだけ
2) 書きも指導するが，読みのほうが多い
3) 読み書き同じ程度
4) 読みも指導するが，書きのほうが多い
5) ほとんど書きだけ

11. 新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，ほかの音訓も指導することがありますか。
1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
↓
1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
11-1. どのような音訓を指導しますか。（複数回答可）
1) その漢字の常用漢字表の音訓全部
2) 生徒の生活の中で，よく使われる音訓
3) その他（　　）

12. 常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがありますか。
1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
↓
1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
12-1. どのような音訓を指導しますか。（複数回答可）
1) 人名や地名などに使われていて，生徒の目によくふれる音訓
2) 生徒が興味を持ちそうな音訓

3) その他（　　）

13．新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

13-1．辞書によって筆順が違う漢字がありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

14．同じ漢字について，何度も筆順を指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

14-1．どのような漢字について，何度も筆順を指導しますか。（複数回答可）

1) 画数の多い漢字

2) 画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字

3) その他（　　）

15．生徒の筆順が指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい，という意見があります。この意見に賛成ですか。

1) 賛成（筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい）

2) 反対（指導した筆順以外の筆順は認めるべきではない）

3) 分からない

4) その他（　　）

16．指導した筆順とは違った筆順で漢字を書いている生徒を見たとき，指導した筆順で書くように注意をすることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

17．ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

17-1．辞書によって，部首の立て方や呼び方や配列の仕方が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

18．漢字の字源について指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

18-1．辞書によって，字源の説明が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

19．長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の巻末の漢字表の形（教科書体）どおりに書かなければいけない，と指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

20．あなたの指導している生徒のなかに，いわゆるマンガ文字を書く生徒がいますか。

1) たくさんいる　　2) まあまあいる　　3) ほとんどいない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

20-1．マンガ文字を書く生徒は，男子と女子とでは，どちらが多いですか。

1) ほとんど男子だけ
2) 女子もいるが，男子のほうが多い
3) 男子と女子とで同じぐらい
4) 男子もいるが，女子のほうが多い
5) ほとんど女子だけ

20-2．マンガ文字を書く生徒に対して，マンガ文字を書かないように指導することがありますか。

1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

21．国語辞典を持っている生徒は，どのくらいいますか。

1) ほとんどの生徒が持っている
2) 半分くらいの生徒が持っている
3) ほとんどの生徒が持っていない
4) どのくらいの生徒が持っているか分からない

22．漢和辞典を持っている生徒は，どのくらいいますか。

1) ほとんどの生徒が持っている
2) 半分くらいの生徒が持っている
3) ほとんどの生徒が持っていない
4) どのくらいの生徒が持っているか分からない

23．国語辞典の使い方を指導しますか。

1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

24．漢和辞典の使い方を指導しますか。

1) よくする　2) ときどきする　3) ほとんどしない

25．授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせていますか。

1) 自由に使わせている
2) 指導して使わせている
3) 使わせていない

26．たとえば，この漢字は，理科の用語によく使われる漢字だから，よく教えておこう，というように，国語以外の教科のことを考えて，漢字の指導をすることがありますか。

1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

26-1．どのような教科のことを考えて，漢字の指導をしますか。その教科を，いくつでもよいですから選んでください。

1) 社会　2) 数学　3) 理科　4) 音楽　5) 美術
6) 保健体育　7) 技術　8) 家庭　9) 英語

26-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1) ほとんど読みだけ
2) 書きも指導するが，読みのほうが多い
3) 読み書き同じ程度
4) 読みも指導するが，書きのほうが多い
5) ほとんど書きだけ

27．たとえば，毎週何分，毎日何分，毎授業時間何分のように，学校のなかで特別に時間を決めて，漢字

の練習をさせていますか。

1) させている　　2) させていない

28. 漢字のテストは，どういうときに行っていますか。

1) 教科書の区切りのよいとき

2) 毎日

3) 毎週

4) その他（　　）

29. 漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いですか。

1) ほとんど読みだけ

2) 読みのほうが多い

3) 読み書き同じ程度

4) 書きのほうが多い

5) ほとんど書きだけ

30. 漢字の書き取りのテストで，生徒の書いた漢字の字形の評価については，長短，とめ，はね，点の方向など，教科書の巻末の漢字表の形（教科書体）に従っていますか。

1) 厳密に従っている　2) だいたい従っている　3) ほとんど従っていない

31. 教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがありますか。

1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

31-1. どのような課題を出すことが多いですか。(複数回答可)

1) 漢字の書き取り練習

2) 市販されている練習問題（集）

3) 教師作成の練習問題（集）

4) その他（　　）

中学校他教科教師用

I. 性別をお答えください。

1) 男　　2) 女

II. 何歳ですか。

1) 25歳以下　2) 26～30歳　3) 31～35歳　4) 36～40歳

5) 41～45歳　6) 46～50歳　7) 51～55歳　8) 56歳以上

III. 教職についてから，何年になりますか。(非常勤講師の経験のある方は，その年数も加えてください。)

1) 1～5年　2) 6～10年　3) 11～15年　4) 16～20年

5) 21～25年　6) 26～30年　7) 31～35年　8) 36年以上

IV. どの教科を担当していますか。(二つ以上の教科を担当している場合は，主に担当している教科を一つだけ選んでください。)

1) 社会　2) 数学　3) 理科　4) 音楽　5) 美術

6) 保健体育　7) 技術　8) 家庭　9) 英語

V. 今年度は，何学年の生徒の指導を受け持っていますか。(二つ以上の学年を受け持っている場合は，受け持っている学年を全部選んでください。)

1) 1学年　2) 2学年　3) 3学年

1. あなたの（主に）担当している教科の授業中に，漢字の指導をすることがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

1-1. その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1）ほとんど読みだけ

2）書きも指導するが，読みのほうが多い

3）読み書き同じ程度

4）読みも指導するが，書きのほうが多い

5）ほとんど書きだけ

2. あなたの（主に）担当している教科の授業中に，「国語」でもうすこし漢字の読み書きの指導をしてもらいたい，と思うことがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

2-1. その場合，読みと書きのどちらを，「国語」でもうすこし指導してもらいたい，と思いますか。

1）読みのほう

2）読み書き両方

3）書きのほう

3. 「国語」以外の教科でよく使われる漢字については，「国語」のなかで指導するよりも，その教科のなかで指導するほうがよい，という意見があります。この意見に賛成ですか。

1）賛成（その教科のなかで指導するほうがよい）

2）賛成でも反対でもない（その教科と「国語」の両方で指導すべきだ）

3）反対（「国語」以外の教科では指導しなくてよい）

4）分からない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

3-1. その場合，その教科では，読み書き両方とも指導すべきだと思いますか。

1）読み書き両方とも指導すべきだと思う

2）読みだけ指導すべきだと思う

3）書きだけ指導すべきだと思う

(2) 調査対象

調査対象は，東京都・秋田県・奈良県の公立小，中学校の教師である。漢字の習得度調査と同じく，東京都・秋田県・奈良県を調査地域とした。そして，集落調査法[1)]によって，調査対象の教師を抽出した。すなわち，まず小学校250校，中学校250校を抽出し，それから調査対象の教師に調査票を割り当てた。ただし，規模（生徒数）の極端に小さい学校は，複式学級などの特別の学級編成を行っていることが考えられたので，とりあえず，生徒数が100人以上の公立小，中学校を母集団とした。抽出の台帳として，『昭和62年版学校総覧』（原書房，1987年）を使った。そして，秋田県と奈良県を市部と郡部とに分け，東京都を区部と市・郡部とに分けて，小，中学校とも，

秋田県市部…… 20校

秋田県郡部…… 30校

奈良県市部…… 30校

〃　郡部…… 20校

東京都区部……100校

〃　市・郡部…… 50校

を抽出した。表2-2-1に，この6つの地域の学校数，抽出数，抽出率を示した。東京都と秋田県と奈良県の抽出数の比が3：1：1になっているのは，東京都の学校数が秋田県と奈良県に比べてきわめて多いので，秋田県と奈良県に重みをつけて抽出したためである。

表2-2-1　学校数，抽出数，抽出率

		小学校			中学校		
		学校数	抽出数	抽出率(%)	学校数	抽出数	抽出率(%)
秋田県	市　部	105	20	19.0	50	20	40.0
(100校)	郡　部	155	30	19.4	71	30	42.3
奈良県	市　部	120	30	25.0	55	30	54.5
(100校)	郡　部	79	20	25.3	35	20	57.1
東京都	区　部	934	100	10.7	427	100	23.4
(300校)	市・郡部	450	50	11.1	212	50	23.6

そして，抽出した学校を，それぞれの地域（秋田県市部，秋田県郡部，奈良県市部，奈良県郡部，東京都区部，東京都市・郡部）で，小規模校，中規模校，大規模校に3等分して，それぞれ次の人数分調査票を割り当てた。

〔小学校教師用〕

小規模校　各学年1人，合計6人

中規模校　各学年2人，合計12人

大規模校　各学年3人，合計18人

〔中学校国語教師用〕

小規模校　3人

中規模校　3人

大規模校　6人

〔中学校他教科教師用〕

小規模校　27人

中規模校　27人

大規模校　27人

注

1)　「集落調査法」とは，「最初から目的とする抽出単位を選出するのではなく，グループ（集落，クラスター）を抽出し，その構成単位を標本とする方法である。」（松井敬『標本調査論』内田老鶴圃，1990年，89頁）この調査では，一段目に学校を抽出し，二段目に教師を抽出する二段集落調査法を採用した。

(3) 実施経過

昭和62年（1987年）６月23日に，調査校の校長あてに次のものを郵送した。

依頼状

実施要領

調査票（回答用紙とも）

返送用の封筒

７月10日までに回答用紙を入れた封筒を投函するように依頼したのであるが，その日までに回答があったのは，６割ほどの学校にすぎなかった。そこで，電話によって，調査の協力を重ねて依頼した。その結果，８月末日までに９割ほどの学校から回答があった。そして，９月になって，さらに葉書による督促状を出した。最終的に，小学校232校（92.8%），中学校233校（93.2%）から回答を得た[1)]。回答のあった学校には，葉書による礼状を出した。

さて，表2-2-2は，回収数（学校数）と回収率の推移を示したものである。日付は，回収した封筒の消印による。そして，図2-2-1は，表2-2-2の日付区分による累積回収率の推移をグラフに表したものである。小，中学校とも，調査票発送（６月23日）後，10日以内で１割４分の学校から回答があり，20日以内で５割，１カ月以内で７割の学校から回答があったことになる。また，表2-2-3は，地域別回収数と回収率を示したものである。奈良県市部の中学校を除いて，どの地域も９割を超える回収率である。集計結果に調査不能による偏りはあまりないと見てよいだろう。

表2-2-2　回収数と回収率の推移

	小学校		中学校	
		%		%
Ⅰ：６月24日～６月30日	34	13.6	34	13.6
Ⅱ：７月１日～７月10日	124	49.6	126	50.4
Ⅲ：７月11日～７月20日	50	20.0	52	20.8
Ⅳ：７月21日～７月31日	11	4.4	10	4.0
Ⅴ：８月１日～８月31日	1	0.4	1	0.4
Ⅵ：９月１日～９月30日	8	3.2	8	3.2
Ⅶ：10月１日～10月５日	1	0.4	0	0.0
日付不明	3	1.2	2	0.8
回答なし	18	7.2	17	6.8
合計	250	100.0	250	100.0

図2-2-1　累積回収率の推移

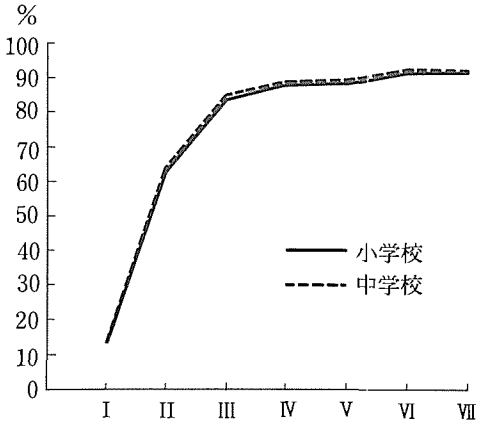


表2-2-3　地域別回収数と回収率

		小学校		中学校	
		回収数	回収率	回収数	回収率
秋田県	市部	20	100.0	19	95.0
(100校)	郡部	29	96.7	29	96.7
奈良県	市部	28	93.3	25	83.3
(100校)	郡部	18	90.0	18	90.0
東京都	区部	90	90.0	95	95.0
(300校)	市・郡部	47	94.0	47	94.0
合計		232	92.8	233	93.2

回答用紙に学校コードと通し番号を付けたのち，パーソナル・コンピュータを利用して集計作業を行った。そして，調査の概要と集計結果とを，『漢字の学習指導に関するアンケート調査』（科研費報告書，1988年10月）という冊子に印刷して，調査校に送った。

実施要領

調査の実施要領は，調査の取りまとめにあたる教員を対象に作成した。次のような内容のものである。

〔小学校小規模校〕

1．調査対象となる先生の選定の仕方

各学年１組の学級担任の先生を対象とします。したがって，それぞれの学年で１人，全部で６人の先生を対象とします。（調査票は，控えの１部を含めて，全部で７部入れてあります。）

2．調査票の配付の仕方

職員会議の始まる前や終わった後など，調査対象となった先生がたが同時に集まるときに渡してください。

3．回答の記入方法についての説明の仕方

調査対象となった先生がたのお一人お一人に対して，次のように説明してください。「回答は，調査票にはさみこんである回答用紙の所定の欄に，選んだ選択肢の番号を，鉛筆ではっきりと記入してください。『その他』にあたる番号を記入した場合は，矢印の後の欄に具体的に書いてください。なお，どのような回答を記入するかということに関して，ほかの先生と絶対に相談しないでください。」

4．回答用紙の回収の仕方

回答用紙は，調査票を配付したその日のうちに回収してください。（したがって，調査票を配付するときに，その日のうちに回答を記入して回答用紙を返してくださいと，調査対象となった先生がたのお一人お一人に伝えてください。）

5．回答用紙の返送について

回答用紙のみ，同封した返送用の封筒に入れて，7月10日までに，投函してください。（調査票は，学校側で処分してください。回答を記入した回答用紙だけ送ってください。）

＊下線の部分は，中規模校では，次のようになる。

各学年１組，２組の学級担任の先生を対象とします。したがって，それぞれの学年で２人，全部で12人の先生を対象とします。（調査票は，控えの１部を含めて，全部で13部入れてあります。）

そして，大規模校では，次のようになる。

各学年１組，２組，３組の学級担任の先生を対象とします。したがって，それぞれの学年で３人，全部で18人の先生を対象とします。（調査票は，控えの１部を含めて，全部で19部入れてあります。）

〔中学校小規模校・中規模校〕

1．調査対象となる先生の選定の仕方

調査票は，「国語科」用と「(国語科以外の) 他教科」用の二通りあります。それぞれについて，調査対象となる先生を，次のように選定してください。

①「国語科」用の場合

「国語」の授業を担当しているすべての先生を対象とします。しかし，「国語」の授業を担当している先生が，全校で4人以上いる場合には，3人までを対象としてください。(調査票は，控えの1部を含めて，全部で4部入れてあります。)

②「他教科」用の場合

「他教科」とは，「国語」以外の，次の9教科を指します。

1) 社会　2) 数学　3) 理科　4) 音楽　5) 美術
6) 保健体育　7) 技術　8) 家庭　9) 英語

この九つの教科を担当しているすべての先生を対象とします。しかし，この九つの教科の先生が，全校で28人以上いる場合には，それぞれの教科について，なるべく均等に，27人までを対象としてください。(調査票は，控えの1部を含めて，全部で，28部入れてあります。)

2．調査票の配付の仕方

職員会議の始まる前や終わった後など，調査対象となった先生がたが同時に集まるときに渡してください。

3．回答の記入方法についての説明の仕方

調査対象となった先生がたのお一人お一人に対して，次のように説明してください。「回答は，調査票にはさみこんである回答用紙の所定の欄に，選んだ選択肢の番号を，鉛筆ではっきりと記入してください。『その他』にあたる番号を記入した場合は，矢印の後の欄に具体的に書いてください。なお，どのような回答を記入するかということに関して，ほかの先生と絶対に相談しないでください。」

4．回答用紙の回収の仕方

回答用紙は，調査票を配付したその日のうちに回収してください。(したがって，調査票を配付するときに，その日のうちに回答を記入して回答用紙を返してくださいと，調査対象となった先生がたのお一人お一人に伝えてください。)

5．回答用紙の返送について

回答用紙のみ，同封した返送用の封筒に入れて，7月10日までに，投函してください。(調査票は，学校側で処分してください。回答を記入した回答用紙だけ送ってください。)

＊下線の部分は，大規模校では，次のようになる。

①「国語科」用の場合

「国語」の授業を担当しているすべての先生を対象とします。しかし，「国語」の授業を担当している先生が，全校で7人以上いる場合には，6人までを対象としてください。(調査票は，控えの1部を含めて，全部で7部入れてあります。)

注

1) 調査校には，『漢字の学習指導に関するアンケート調査』(科研費報告書，1988年10月) を配付して，調査結果について報告したが，その後，小学校1校から回答があった。それは，含めていない。

また，回答した中学校233校のうち，国語と他教科の両方に回答した学校は，230校で，2校が国語だけに回答し，1校が他教科だけに回答した。

第3節　調査対象の教師

回収した回答用紙の枚数，すなわち回答数は，次のとおりである[1]。以下，これを調査対象とする。

小学校教師用	232校	2,557枚	小規模校	77校	447枚
			中規模校	75校	818枚
			大規模校	80校	1,292枚
中学校国語教師用	232校	781枚	小規模校	78校	193枚
			中規模校	74校	220枚
			大規模校	80校	368枚
中学校他教科教師用	231校	4,054枚	小規模校	78校	1,040枚
			中規模校	73校	1,346枚
			大規模校	80校	1,668枚

これから，1校あたりの回答用紙の枚数（回答数）を計算すると，次のようになる。

小学校教師用	11.0枚	小規模校	5.8枚
		中規模校	10.9枚
		大規模校	16.2枚
中学校国語教師用	3.4枚	小規模校	2.5枚
		中規模校	3.0枚
		大規模校	4.6枚
中学校他教科教師用	17.5枚	小規模校	13.3枚
		中規模校	18.4枚
		大規模校	20.9枚

しかし，前節に述べたように，調査票は，各学校に次のように割り当てたわけであった。

小学校教師用	小規模校	各学年1人，合計6人
	中規模校	各学年2人，合計12人
	大規模校	各学年3人，合計18人
中学校国語教師用	小規模校	3人
	中規模校	3人
	大規模校	6人
中学校他教科教師用	小規模校	27人
	中規模校	27人
	大規模校	27人

したがって，依頼したとおりに調査を実施しなかった学校があったことになる[2]。対象となる教師の数が少なかったためか，それとも不完全に実施したための，そのどちらかであると思われる。しかし，上に述べたように，回収した回答用紙をそのまま調査対象とした。

さて，調査対象の教師は，どのような構成をしているのであろうか。表2-3-1～表2-3-4は，小学

校教師，中学校国語教師，中学校他教科教師のそれぞれについて，地域別，性別，年齢別，教職年数別の構成を示したものである。秋田県と奈良県と東京都との比が１：１：３になるように学校を抽出したわけであるが，調査対象の教師の人数の比もほぼそのようになっている。そして，小学校教師，中学校国語教師とも，男性よりも女性のほうが多い。男性の割合は，小学校教師が３割５分であり，中学校国語教師が４割強である。それに対して，中学校他教科教師は，男性の割合が高く，３分の２を占めている。年齢別の構成を見ると，小学校教師は30歳代がいちばん多く，４割以上である。そして，中学校国語教師，中学校他教科教師とも，20歳代後半がいちばん多く，どちらも２割以上である。ただし，中学校国語教師，中学校他教科教師の両方とも，50歳代前半が，その前後の年代に比べて少し多い。教職年数を見ると，小学校は，６～15年がいちばん多く，４割以上を占めている。そして，中学校国語教師，中学校他教科教師は，１～10年がいちばん多く，どちらも４割以上である。なお，表は省略するが，年齢と教職年数との間には，当然のことながら，きわめて高い正の相関がある。今後，年齢ないしは教職年数を問題にするときは，年齢で代表させることにする。そして，表2-3-5は，小学校教師の担任学年別構成を示したものである[3)]。男性に比べ女性のほうが低学年を担任している人が多い。担任学年は重要な属性なので，表2-3-6～表2-3-8に，年齢との関係を示した。表2-3-7と表2-3-8は，男女別々に示したものである。特徴をつかむために，全体の欄の数字よりも大きいものに下線を付けた。男性のほうが女性よりも，そして，中間の年齢の教師のほうがそうでない教師よりも，高学年を担任する傾向がある。

また，表2-3-9は，中学校他教科教師の担当教科別の構成を示したものである。社会，数学，理科，保健体育，英語を担当する教師が，音楽，美術，技術，家庭を担当する教師よりも多い。そして，男性の割合を担当教科別に見ると，社会83.2%，数学75.1%，理科83.2%，音楽32.3%，美術59.5%，保健体育68.9%，技術98.8%，家庭1.8%，英語52.5%である。中学校国語の男性の割合は，42.4% であったから，国語は，家庭，音楽に次いで女性の割合の高い教科であると言えるだろう。

さて，中学校国語教師は，当然のことながら，国語に興味を持っていることであろう。そして，中学校他教科教師は，国語よりもそれぞれの担当教科に興味を持っていることであろう。それでは，教科担任制でない小学校教師は，いったいどのような教科に興味を持っているのだろうか。小学校教師用の質問Ｖ（「興味を持っている教科を三つ選んでください。（三つない場合は，一つまたは二つ選んでください。）」）は，興味を持っている教科をたずねるものである。結果は，表2-3-10に示すとおりである。国語，算数にいちばん興味を持つことは，男女とも変わりはないが，この２つの教科への興味の集中度は，女性のほうが大きい。また，国語に興味を持つ割合も，男性より大きい。これに対して，男性教師の特徴として，体育に興味を持つ教師の割合が大きいことがあげられる。ただし，以上の傾向は，表2-3-11に示すように，担任学年によって少し異なる。国語と算数が１位と２位を占めることは同じであるが，高学年の担任ほど，概して，国語に興味を持つ教師が少なくなる。その代わり，社会に興味を持つ教師が多くなる[4)]。なお，算数に興味を持つ教師の割合も担任学年によって異なり，第２～第４学年で少し高くなるが，国語ほど大きく違わない。

表2-3-1　調査対象の教師の地域別構成

	小学校		中学校 国語		中学校 他教科	
		%		%		%
秋田県	512	20.0	158	20.2	671	16.6
奈良県	520	20.3	161	20.6	817	20.2
東京都	1525	59.6	462	59.2	2556	63.3
合　計	2557	100.0	781	100.0	4054	100.0

表2-3-2　調査対象の教師の性別構成

	小学校		中学校 国語		中学校 他教科	
		%		%		%
男　性	892	34.9	331	42.4	2716	67.0
女　性	1663	65.0	450	57.6	1336	33.0
無回答	2	0.1	0	0.0	2	0.0
合　計	2557	100.0	781	100.0	4054	100.0

表2-3-3　調査対象の教師の年齢別構成

	小学校		中学校 国語		中学校 他教科	
		%		%		%
25歳以下	141	5.5	79	10.1	476	11.7
26～30歳	433	16.9	204	26.1	829	20.4
31～35歳	542	21.2	114	14.6	656	16.2
36～40歳	541	21.2	104	13.3	548	13.5
41～45歳	315	12.3	85	10.9	294	7.3
46～50歳	207	8.1	50	6.4	379	9.3
51～55歳	237	9.3	94	12.0	521	12.9
56歳以上	141	5.5	50	6.4	348	8.6
無回答	0	0.0	1	0.1	3	0.1
合　計	2557	100.0	781	100.0	4054	100.0

表2-3-4　調査対象の教師の教職年数別構成

	小学校		中学校 国語		中学校 他教科	
		%		%		%
1～5年	340	13.3	192	24.6	986	24.3
6～10年	528	20.6	177	22.7	767	18.9
11～15年	547	21.4	112	14.3	603	14.9
16～20年	472	18.5	94	12.0	367	9.1
21～25年	236	9.2	48	6.1	310	7.6
26～30年	168	6.6	63	8.1	432	10.7
31～35年	156	6.1	59	7.6	403	9.9
36年以上	108	4.2	34	4.4	181	4.5
無回答	2	0.1	2	0.3	5	0.1
合　計	2557	100.0	781	100.0	4054	100.0

表2-3-5　小学校教師の担任学年別・性別構成

	男　性		女　性		無回答		全　体	
		%		%		%		%
第1学年	64	7.2	345	20.7	1	50.0	410	16.0
第2学年	72	8.1	359	21.6	1	50.0	432	16.9
第3学年	131	14.7	289	17.4	0	0.0	420	16.4
第4学年	158	17.7	274	16.5	0	0.0	432	16.9
第5学年	228	25.6	193	11.6	0	0.0	421	16.5
第6学年	237	26.6	197	11.8	0	0.0	434	17.0
無回答	2	0.2	6	0.4	0	0.0	8	0.3
合　計	892	100.0	1663	100.0	2	100.0	2557	100.0

表2-3-6　小学校教師の担任学年別・年齢別構成

(%)

	25歳以下	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	全 体
第1学年	12.8	15.2	17.5	14.4	14.6	19.8	18.1	14.9	16.0
第2学年	20.6	14.8	16.8	16.5	14.0	20.8	20.3	17.0	16.9
第3学年	19.1	18.2	15.9	14.6	15.6	17.4	16.0	18.4	16.4
第4学年	19.9	16.9	15.1	16.5	19.0	16.9	14.8	21.3	16.9
第5学年	18.4	17.6	16.2	16.3	19.4	14.5	12.7	15.6	16.5
第6学年	9.2	17.3	18.5	21.3	17.1	9.2	16.9	12.8	17.0
無 回 答	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	1.4	1.3	0.0	0.3
人　　数	141	433	542	541	315	207	237	141	2557

表2-3-7　小学校男性教師の担任学年別・年齢別構成

(%)

	25歳以下	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	全 体
第1学年	3.3	6.5	6.6	8.8	10.1	10.9	3.2	7.4	7.2
第2学年	15.0	5.4	3.0	8.2	6.3	21.7	15.9	8.8	8.1
第3学年	18.3	16.3	14.6	12.9	7.6	13.0	17.5	19.1	14.7
第4学年	23.3	17.4	17.7	13.4	20.3	15.2	17.5	25.0	17.7
第5学年	31.7	26.6	25.3	24.2	29.1	26.1	19.0	23.5	25.6
第6学年	8.3	27.7	32.8	32.5	26.6	10.9	25.4	16.2	26.6
無 回 答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	1.6	0.0	0.2
人　　数	60	184	198	194	79	46	63	68	892

表2-3-8　小学校女性教師の担任学年別・年齢別構成

(%)

	25歳以下	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	全 体
第1学年	4.6	15.7	23.8	18.3	10.7	10.4	11.9	4.6	20.7
第2学年	24.7	21.7	24.7	21.0	16.6	20.5	21.8	23.6	21.6
第3学年	19.8	19.7	16.6	15.6	18.3	18.6	15.5	18.1	17.4
第4学年	17.3	16.5	13.7	18.2	18.7	17.4	13.8	18.1	16.5
第5学年	8.6	10.8	11.0	11.8	16.2	11.2	10.3	8.3	11.6
第6学年	9.9	9.6	10.2	15.0	14.0	8.7	13.8	9.7	11.8
無 回 答	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	1.2	1.1	0.0	0.4
人　　数	81	249	344	347	235	161	174	72	1663

表2-3-9　中学校他教科教師の担当教科別・性別構成

	男性		女性		無回答		全体	
		%		%		%		%
社会	520	19.1	105	7.9	0	0.0	625	15.4
数学	474	17.5	157	11.8	0	0.0	631	15.6
理科	509	18.7	103	7.7	0	0.0	612	15.1
音楽	92	3.4	192	14.4	1	50.0	285	50.0
美術	175	6.4	119	8.9	0	0.0	294	7.3
保健体育	387	14.2	175	13.1	0	0.0	562	13.9
技術	256	9.4	3	0.2	0	0.0	259	6.4
家庭	4	0.1	215	16.1	0	0.0	219	5.4
英語	282	10.4	255	19.1	0	0.0	537	13.2
無回答	17	0.6	12	0.8	1	50.0	30	0.7
合計	2716	100.0	1336	100.0	2	100.0	4054	100.0

表2-3-10　小学校教師の興味を持っている教科　(%)

	男性	女性	全体
国語	43.3 ③	70.4 ①	60.9 ①
算数	56.2 ①	62.6 ②	60.3 ②
理科	34.2 ⑤	22.5 ⑥	26.7 ⑤
社会	40.0 ④	27.1 ④	31.6 ④
音楽	10.4 ⑨	20.4 ⑦	16.9 ⑧
体育	51.1 ②	22.8 ⑤	32.7 ③
図工	12.0 ⑦	28.8 ③	22.9 ⑥
道徳	11.8 ⑧	11.2 ⑨	11.4 ⑨
家庭	0.9 ⑩	3.5 ⑩	2.6 ⑩
特別活動	26.8 ⑥	19.6 ⑧	22.1 ⑦

注）数字は，選んだ教師の割合。○の中の数字は，順位。

表2-3-11　小学校教師の興味を持っている教科－担任学年別－　(%)

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	74.1 ①	65.3 ①	61.2 ②	62.0 ①	51.3 ②	51.8 ②
算数	56.3 ②	64.1 ②	65.2 ①	61.8 ②	57.5 ①	57.4 ①
理科	20.0 ⑦	25.5 ④	26.2 ⑥	28.9 ⑤	30.9 ⑤	28.1 ⑤
社会	21.5 ⑥	23.4 ⑥	27.9 ④	30.8 ④	38.7 ④	47.2 ③
音楽	22.4 ⑤	23.1 ⑦	19.3 ⑦	12.5 ⑨	13.1 ⑧	10.8 ⑨
体育	30.0 ③	25.5 ④	29.3 ③	31.3 ③	41.8 ③	38.7 ④
図工	29.5 ④	29.2 ③	26.4 ⑤	21.1 ⑦	15.4 ⑦	16.1 ⑦
道徳	11.0 ⑨	12.5 ⑨	11.7 ⑨	13.4 ⑧	8.8 ⑨	11.1 ⑧
家庭	2.7 ⑩	1.6 ⑩	1.7 ⑩	1.2 ⑩	4.8 ⑩	3.7 ⑩
特別活動	18.5 ⑧	16.7 ⑧	19.3 ⑦	25.0 ⑥	27.8 ⑥	25.3 ⑥

注）数字は，選んだ教師の割合。○の中の数字は，順位。

表2-3-12　小学校教師の興味を持っている教科－男女別・担任学年別－

(%)

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
男性	国語	54.7 ①	51.4 ②	38.2 ③	46.2 ②	39.0 ④	42.6 ④
	算数	45.3 ③	55.6 ①	58.0 ①	60.1 ①	60.1 ①	52.3 ①
	理科	25.0 ⑤	29.2 ⑤	33.6 ⑤	36.1 ⑤	38.2 ⑤	33.3 ⑤
	社会	25.0 ⑤	33.3 ④	36.6 ④	36.7 ④	40.4 ③	50.2 ③
	音楽	20.3 ⑦	27.8 ⑥	10.7 ⑨	5.7 ⑨	9.2 ⑧	6.3 ⑨
	体育	53.1 ②	45.8 ③	52.7 ②	43.0 ③	56.1 ②	51.9 ②
	図工	14.1 ⑧	5.6 ⑨	15.3 ⑦	13.9 ⑧	9.6 ⑦	12.2 ⑧
	道徳	12.5 ⑨	13.9 ⑧	14.5 ⑧	14.6 ⑦	6.1 ⑨	13.1 ⑦
	家庭	0.0 ⑩	1.4 ⑩	0.0 ⑩	0.0 ⑩	1.8 ⑩	1.3 ⑩
	特別活動	29.7 ④	22.2 ⑦	22.1 ⑥	29.7 ⑥	27.2 ⑥	27.4 ⑥
女性	国語	77.7 ①	68.2 ①	71.6 ①	71.2 ①	65.8 ①	62.9 ②
	算数	58.6 ②	65.7 ②	68.5 ②	62.8 ②	54.4 ②	63.5 ①
	理科	18.8 ⑦	24.5 ④	22.8 ⑥	24.8 ⑤	22.3 ⑥	21.8 ⑥
	社会	20.9 ⑥	21.2 ⑦	23.9 ④	27.4 ③	36.8 ③	43.7 ③
	音楽	22.9 ⑤	22.3 ⑤	23.2 ⑤	16.4 ⑧	17.6 ⑧	16.2 ⑧
	体育	25.5 ④	21.4 ⑥	18.7 ⑦	24.5 ⑥	24.9 ⑤	22.8 ④
	図工	32.5 ③	34.0 ③	31.5 ③	25.2 ④	22.3 ⑥	20.8 ⑦
	道徳	10.7 ⑨	12.3 ⑨	10.4 ⑨	12.8 ⑨	11.9 ⑨	8.6 ⑨
	家庭	3.2 ⑩	1.7 ⑩	2.4 ⑩	1.8 ⑩	8.3 ⑩	6.6 ⑩
	特別活動	16.5 ⑧	15.6 ⑧	18.0 ⑧	22.3 ⑦	28.5 ④	22.8 ④

注）　数字は，選んだ教師の割合。○の中の数字は，順位。

注

1)　前節の表2-2-3に示したように，中学校の回収学校数は，233校である。この数字は，以下にあげる数字とくいちがうが，その理由は，230校が国語教師用と他教科教師用の両方に回答し，2校が国語教師用にのみ回答し，1校が他教科教師用にのみ回答したためである。

2)　割り当てた人数どおり調査を実施できた学校は，小学校156校（回収した学校のうちの67.2%。以下同じ。），中学校国語121校（51.9%），中学校他教科15校（6.4%）であった。小学校，中学校国語，中学校他教科とも，割り当てた数よりも多く回答用紙を送ってきた学校があったが，それはきわめて少なかった。多くは，割り当てた数よりも少なかった。

3)　調査票の回答項目では，1学年，2学年，3学年，4学年，5学年，6学年としたが，以下の分析では，通例の呼称に従い，第1学年，第2学年，第3学年，第4学年，第5学年，第6学年とする。付録の集計表も同じである。

4)　表2-3-12に示すように，男女別に見ても，この傾向はあまり変わらない。

第4節　国語の中での漢字の学習指導――調査の結果(1)――

本節では，小学校教師用アンケートと中学校国語教師用アンケートとにもとづいて，小，中学校の国語の授業の中での漢字の学習指導について見る。他教科の授業の中での漢字の学習指導については，次節で扱う。

(1) 漢字の学習指導の位置づけ

質問1は，国語の指導の中で，漢字の学習指導をどのように位置づけているか，ということをたずねるものである[1)]。そして，質問2は，漢字の読みと書きのどちらの指導を重視しているか，ということをたずねるものである。

1.　「国語」の指導の中で，漢字の読み書きの指導を重視していますか。
　1) 非常に重視している
　2) 比較的重視している
　3) あまり重視していない
2.　漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視していますか。
　1) 読みの指導　　2) 書きの指導　　3) 両方同じ程度

前節では，調査対象の教師の構成（人数）を見るために，ＮＡ（無回答）を回答の１つとして集計した。しかし，これ以降の分析では，結果の明快さと，同じ回答項目を持つ質問項目間の比較を容易にするために，ＮＡを除去して集計する[2)]。そして，以下，次の３つの要因に注目して，結果を見ることにする。

①学校段階の違い
②年齢の違い
③担任学年の違い

①は，小学校と中学校という学校段階の違いである。学校段階によって，漢字の学習指導がどのように変わるかを見るわけである。②の年齢の違いは，教師集団の対立の要因として取り上げる。学校の中での指導は，教師がひとりで孤立して行うものではなく，教師集団の中で行うものであろう。そして，どのような集団においても，年齢は，対立の大きな要因である。そのため，年齢の違いに注目する[3)]。また，児童・生徒の発達の程度によって，学習指導の異なることが当然予想される。③の担任学年の違いに注目するのは，このことによる[4)]。

さて，質問１の結果は，次のとおりである。「あまり重視していない」は，小学校も中学校も，きわめて少ない。そして，「非常に重視している」は，小学校のほうが多い。

	[小学校]	[中学校]
非常に重視している	33.9%	27.8%

比較的重視している	61.4	66.3
あまり重視していない	4.7	5.9

［図2-4-1-1］「非常に重視している」の割合は，第1学年がやや低い。第1学年は，かな文字の指導の比重が大きいことが影響しているだろう。そして，第2学年からは，高学年ほど低くなる。

［図2-4-1-2］小学校，中学校とも，年齢が高いほど，「非常に重視している」の割合が高い。そして，この傾向は，小学校で特に強い。中学校では，「46～50歳」よりも上の年齢が，きわめて高い。

図2-4-1-1 「非常に重視している」の割合
－担任学年別－

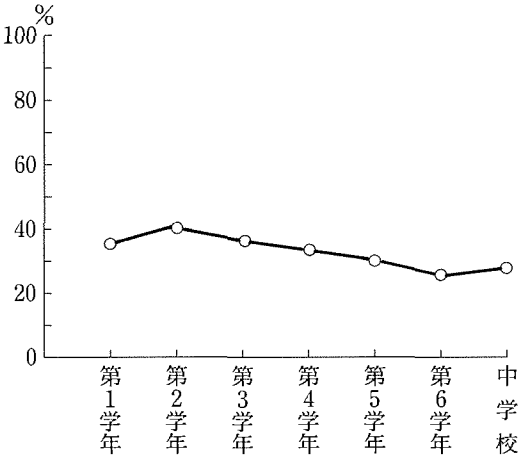
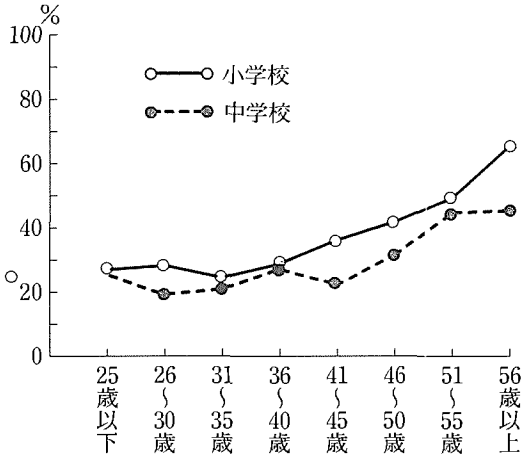


図2-4-1-2 「非常に重視している」の割合
－年齢別－



そして，質問2の結果は，次のとおりである。小学校は「書きの指導」の割合が，いちばん高い。しかし，中学校では，「両方同じ程度」の割合がいちばん高い。

	［小学校］	［中学校］
読みの指導	9.5%	23.1%
書きの指導	52.7	22.2
両方同じ程度	37.9	54.7

［図2-4-1-3］小学校では，「書きの指導」の割合が，高学年ほど高い。しかし，中学校では，小学校と比べると，「書きの指導」の割合は極端に低い。［図2-4-1-4・図2-4-1-5］年齢が高いほど「読みの指導」の割合が高く，「書きの指導」の割合が低い。ただし，中学校では，「両方同じ程度」がどの年齢でも多いため，小学校ほどその傾向は強くない。

なお，中学校国語教師には，次の質問も行った。「小学校に配当されている漢字以外の常用漢字」とは，中学校で新しく指導する漢字のことである。

5．小学校に配当されている漢字以外の常用漢字について，どのような指導目標を立てて指導していますか。

1）すべての漢字を読み書きできるようにする

2) 書けない漢字が何字かあっても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする
3) ほとんどの漢字が書けなくても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする
4) 書けない漢字が何字かあって，また読めない漢字も何字かある，というぐらいにする
5) ほとんどの漢字が書けなくても，読めない漢字が何字かある，というぐらいにする
6) ほとんどの漢字が書けなくても読めなくてもよい
7) 特にはっきりとした目標を立てていない
8) その他（　　）

結果は，次のとおりである。「書けない漢字が何字かあっても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする」がいちばん多く，５割弱の回答率である。そして，「すべての漢字を読み書きできるようにする」が４分の１弱で続いている。しかし，「特にはっきりとした目標を立てていない」も１割強いる。

すべての漢字を読み書きできるようにする	23.3%
書けない漢字が何字かあっても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする	48.9
ほとんどの漢字が書けなくても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする	7.7
書けない漢字が何字かあって，また読めない漢字も何字かある，というぐらいにする	5.8
ほとんどの漢字が書けなくても，読めない漢字が何字かある，というぐらいにする	1.8
ほとんどの漢字が書けなくても読めなくてもよい	0.0
特にはっきりとした目標を立てていない	11.3
その他	1.2

図2-4-1-3　漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視しているか ー担任学年別ー

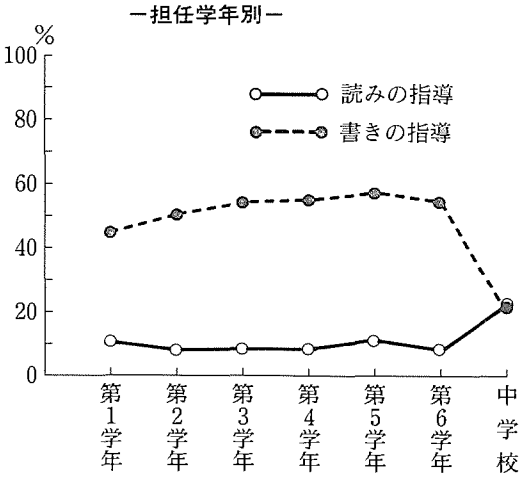


図2-4-1-4　漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視しているか ー小学校・年齢別ー

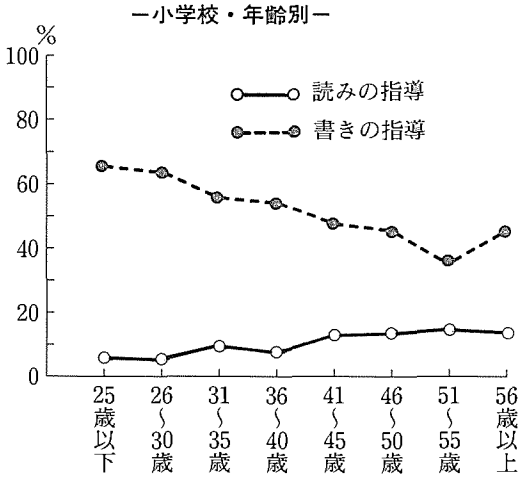
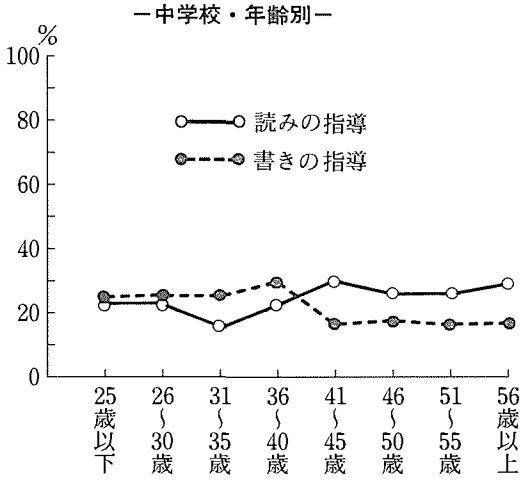


図2-4-1-5　漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視しているか
－中学校・年齢別－



注

1)　本報告書では，「指導」と「学習指導」とを同じ意味で用いる。そして，小学校教師用アンケートと中学校国語教師用アンケートとは，「児童」を「生徒」に変えただけで，ワーディングはほとんど同じである。そのため，以下では，小学校教師用アンケートの質問だけをあげる。しかし，小学校教師用アンケートと中学校国語教師用アンケートのどちらかだけに出した質問がいくつかある。そのような質問は，別にあげる。また，小学校教師用アンケートと中学校国語教師用アンケートとで質問の番号が異なる場合があるが，小学校教師用アンケートの番号をあげる。

2)　NA（無回答）の扱い方に関して，一般に，次の2つの方法が使われる。1つは，NAを回答の1つと考え，それを1カテゴリーとして集計する方法であり，もう1つは，NAを全体から除去して集計する方法である。『漢字の学習指導に関するアンケート調査』（科研費報告書，1988年）には，質問項目ごとにNAの数を明記したが，どの質問項目でも，多くて数パーセントであった。アンケート調査（質問紙調査）におけるNAの扱い方に関して，詳しくは，
　島村直己「質問紙調査における『無回答』の扱い方」，『計量国語学』19巻3号，1993年
を参照のこと。

3)　同様の趣旨で言えば，性の違いも，対立の大きな要因となるはずである。しかし，前節で見たように，小学校教師，中学校国語教師とも，女性が多数を占めている。そのため，本節および次節の分析では取り上げなかった。

4)　中学校では，複数の学年を担任することが一般的であるので，1つにまとめた。

(2) 読みの指導

質問3は，教科書に出てきた漢字の読みの指導についてたずねるものである。全部で10の下位質問に分かれている。

3.　教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。

①　教科書を音読して，児童に聞かせる。

1)　よくする　　2)　ときどきする　　3)　ほとんどしない

②　漢字の読み方を指導してから，児童に教科書を音読させる。

1)　よくする　　2)　ときどきする　　3)　ほとんどしない

③ 文脈から漢字の読み方を想像させて，児童に教科書を音読させる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

④ 黒板に漢字の読み方を書いて，児童に示す。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑤ 授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑥ 授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑦ カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑧ 前もって，家で調べさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑨ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑩ そのほかの方法で指導をすることがありましたら，具体的に書いてください。

(　　)

図2-4-2-1　どの読みの指導をどのくらいするか
ー小学校ー

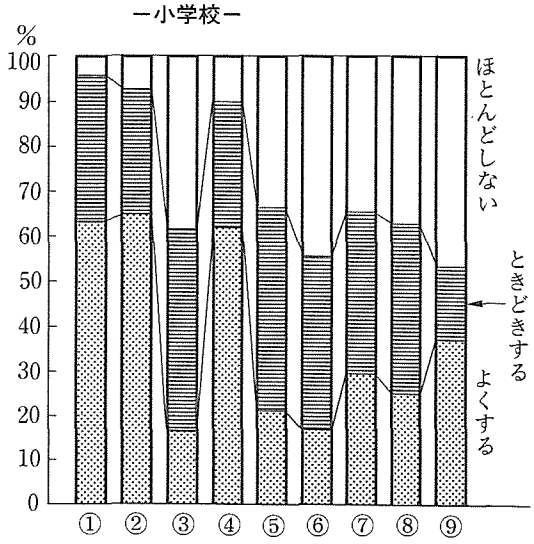
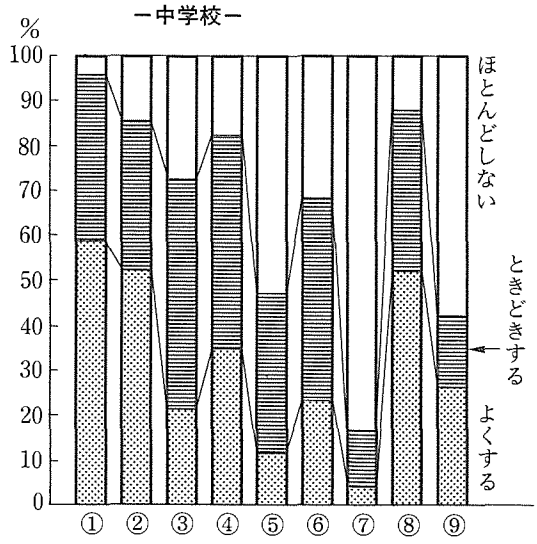


図2-4-2-2　どの読みの指導をどのくらいするか
ー中学校ー



以下，具体的にたずねた①～⑨についてだけ見ることにする[1]。図2-4-2-1と図2-4-2-2は，小学校と中学校とに分けて，①～⑨の結果をグラフに示したものである。結果を特徴づけるために，「よくする」の割合に注目することにしよう。「よくする」の割合の大きい順に並べると，小学校では，次のようになる。

① 教科書を音読して，児童に聞かせる。　　62.9%

② 漢字の読み方を指導してから，児童に教科書を音読させる。　64.4
④ 黒板に漢字の読み方を書いて，児童に示す。　61.5
⑨ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。　36.5
⑦ カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。　29.0
⑧ 前もって，家で調べさせる。　24.8
⑤ 授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。　20.8
⑥ 授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。　16.6
③ 文脈から漢字の読み方を想像させて，児童に教科書を音読させる。　16.0

そして，中学校では，次のようになる。小学校と比べると，⑧の「前もって，家で調べさせる。」が多くなり，⑦の「カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。」が少なくなる。

① 教科書を音読して，児童に聞かせる。　58.9%
② 漢字の読み方を指導してから，児童に教科書を音読させる。　52.2
⑧ 前もって，家で調べさせる。　51.7
④ 黒板に漢字の読み方を書いて，児童に示す。　34.7
⑨ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。　25.9
⑥ 授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。　23.0
③ 文脈から漢字の読み方を想像させて，児童に教科書を音読させる。　21.1
⑤ 授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。　11.4
⑦ カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。　3.9

担任学年別の特徴

担任学年別の特徴を見ることにしよう。しかし，１つ１つの質問について見ると，全体の特徴がつかみにくいので，「よくする」の割合に注目して，次のように見ることにする。表2-4-2-1は，「よくする」の割合を示したものである。そして，各欄の値をそれぞれ「小学全体」の各欄の割合で割る。そうすると，表2-4-2-2のようになる。この表2-4-2-2の値は「特化係数」と呼ばれ，この値が１より大きいと，その学年でよく行われる指導であると見ることができ，反対にこの値が１よ

表2-4-2-1　質問３の「よくする」の割合　(%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
小学全体	62.9	64.4	16.0	61.5	20.8	16.6	29.0	24.8	36.5
第１学年	73.5	78.2	17.4	75.2	20.3	11.4	50.5	19.4	28.8
第２学年	68.1	72.7	14.2	80.3	22.1	4.2	42.4	7.7	39.8
第３学年	65.0	65.2	12.9	70.3	26.3	7.5	30.1	12.9	36.9
第４学年	58.9	62.1	15.9	57.2	21.9	24.1	22.1	21.6	41.7
第５学年	57.2	55.6	16.4	46.4	16.5	22.8	16.2	38.8	33.7
第６学年	54.7	53.1	19.0	40.0	17.7	28.4	13.4	47.0	37.4
中学校	58.9	52.2	21.1	34.7	11.4	23.0	3.9	51.7	25.9

表2-4-2-2　質問3の「よくする」の特化係数

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
小学全体	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
第1学年	1.17	1.21	1.09	1.22	0.98	0.69	1.74	0.78	0.79
第2学年	1.08	1.13	0.89	1.31	1.06	0.25	1.46	0.31	1.09
第3学年	1.03	1.01	0.81	1.14	1.26	0.45	1.04	0.52	1.01
第4学年	0.94	0.96	0.99	0.93	1.05	1.45	0.76	0.87	1.14
第5学年	0.91	0.86	1.03	0.75	0.79	1.37	0.56	1.56	0.92
第6学年	0.87	0.82	1.19	0.65	0.85	1.71	0.46	1.90	1.02
中学校	0.94	0.81	1.32	0.56	0.55	1.39	0.13	2.08	0.71

表2-4-2-3　質問3の「よくする」の特化係数の＋－

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
第1学年	＋	＋	＋	＋	－	－	＋＋	－	－
第2学年	＋	＋	－	＋	＋	－－	＋	－－	＋
第3学年	＋	＋	－	＋	＋	－－	＋	－	＋
第4学年	－	－	－	－	＋	＋	－	－	＋
第5学年	－	－	＋	－	－	＋	－	＋＋	－
第6学年	－	－	＋	－	－	＋＋	－－	＋＋	＋
中学校	－	－	＋	－	－	＋	－－	＋＋	－

注）　－－<0.50，0.50≦－<1.00，1.00<＋≦1.50，＋＋>1.50

り小さいと，その学年であまり行われない指導であると見ることができる[2)]。また，表2-4-2-3は，特化係数を，－－（0.5より小），－（0.5～1），＋（1～1.5），＋＋（1.5より大）に分けて表に示したものである。

小学校を低学年（第1～3学年）と高学年（第4～6学年）に分けると，低学年と高学年とで，はっきりと傾向が分かれる。そして，低学年では，第2・3学年がよく似ていて，第1学年がやや異質であり，高学年では，第4学年がやや異質である。中学校は，第5・6学年に似ている。

指導の分類

表2-4-2-3をもとに，指導を分類すると，次のように分類できる。

〔低学年でよく行われる指導〕

① 教科書を音読して，児童に聞かせる。

② 漢字の読み方を指導してから，児童に教科書を音読させる。

④ 黒板に漢字の読み方を書いて，児童に示す。

⑦ カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。

〔高学年でよく行われる指導〕

⑥ 授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。

⑧ 前もって，家で調べさせる。

〔中間の学年でよく行われる指導〕

⑤ 授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。

⑨ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

〔その他（第1学年および高学年でよく行われる指導）〕

③ 文脈から漢字の読み方を想像させて，児童に教科書を音読させる。

注

1) ⑩の回答については，まだ集計を行っていないが，①～⑨と重複する回答が多い。これは，書きの場合も同じである。

2) これは，経済地理学の分野で開発されたレート・シェア分析という方法の簡略版である。この方法について，簡単に解説したものに，次のものがある。

上田尚一『統計データの見方・使い方』朝倉書店，1981年

上田尚一『統計グラフの賢い見方・作り方』講談社ブルーバックス，1988年

熱心さとバラエティー

さて，教師がどの程度熱心に漢字の読みの指導を行っているだろうか。そして，指導の仕方にどのくらいのバラエティーを持たせているだろうか。ある教師の漢字の読みの指導の熱心さとバラエティーを次のように定義する。

○熱心さ

①～⑨の指導の頻度の総和。操作的に，回答を以下のように数量化して，その合計点を求める[1]。

よくする	2点
ときどきする	1点
ほとんどしない	0点

○バラエティー

①～⑨のうち，「よくする」と「ときどきする」と答えた質問項目の数[2]。

図2-4-2-3と図2-4-2-4は，担任学年別に熱心さとバラエティーそれぞれの平均値をグラフに表したものである。そして，図2-4-2-5と図2-4-2-6は，年齢別に熱心さとバラエティーの平均値をグラフに表したものである。熱心さとバラエティーの両方とも，担任学年による違いはあまり大きくなく，年齢による違いが大きい。

図2-4-2-3　読みの指導の熱心さ
ー担任学年別ー

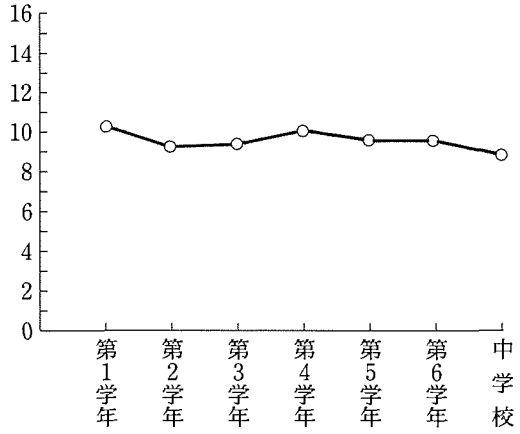


図2-4-2-4　読みの指導のバラエティー
ー担任学年別ー

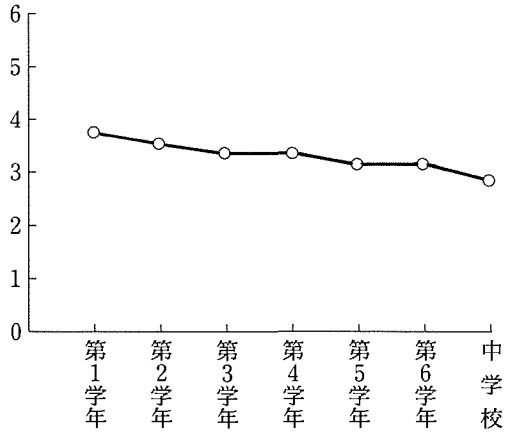


図2-4-2-5　読みの指導の熱心さ
ー年齢別ー

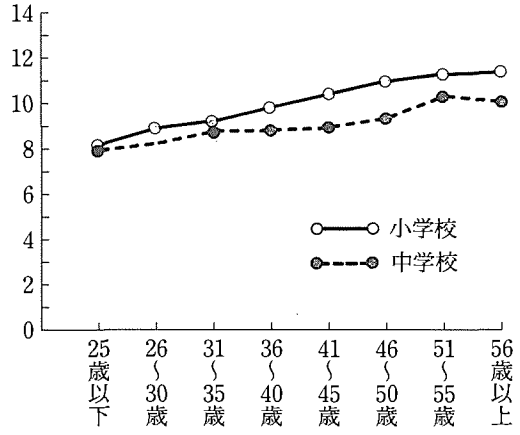
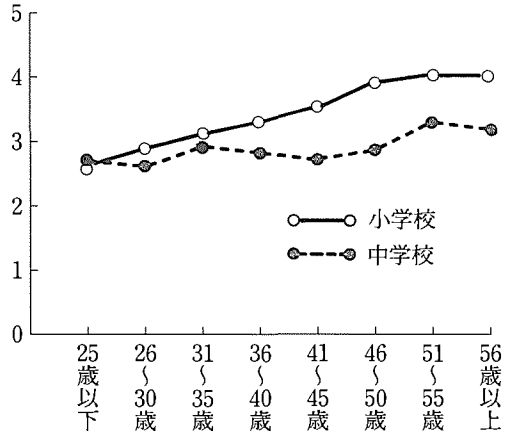


図2-4-2-6　読みの指導のバラエティー
ー年齢別ー



注

1)　このようにア・プリオリに得点を与える数量化の方法を，リッカートの方法という。東洋ほか編『心理学の基礎知識』(有斐閣，1970年，251頁）を参照。

2)　これは，次のように回答を数量化して合計点を求めたことと等しい。

よくする	1点
ときどきする	1点
ほとんどしない	0点

(3) 書きの指導

質問4は，教科書に出てきた漢字の書きの指導についてたずねるものである。全部で11の下位質問に分かれている。

4. 教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。

① 黒板に漢字を書いて，児童に見せる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

② どのような形から組み立てられているかを説明する。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

③ 画数を数えさせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

④ 手や指で，空中に漢字を書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑤ 教科書を見させて，教科書の形どおりに漢字を書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑥ 授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑦ 家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑧ 漢字を使った熟語をつくらせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑨ 漢字を使った短文をつくらせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑩ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

1) よくする　　2) ときどきする　　3) ほとんどしない

⑪ そのほかの方法で指導をすることがありましたら，具体的に書いてください。

（　　）

質問3と同じように，具体的にたずねた①～⑩についてだけ見ることにする。図2-4-3-1と図2-4-3-2は，小学校と中学校とに分けて，①～⑩の結果をグラフに示したものである。「よくする」の割合の大きい順に並べると，小学校では，次のようになる。

① 黒板に漢字を書いて，児童に見せる。	80.9%
③ 画数を数えさせる。	60.5
④ 手や指で，空中に漢字を書かせる。	60.0
⑦ 家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。	47.8
⑧ 漢字を使った熟語をつくらせる。	45.9
② どのような形から組み立てられているかを説明する。	40.6
⑤ 教科書を見させて，教科書の形どおりに漢字を書かせる。	39.8
⑨ 漢字を使った短文をつくらせる。	37.0

図2-4-3-1　どの書きの指導をどのくらいするか
ー小学校ー

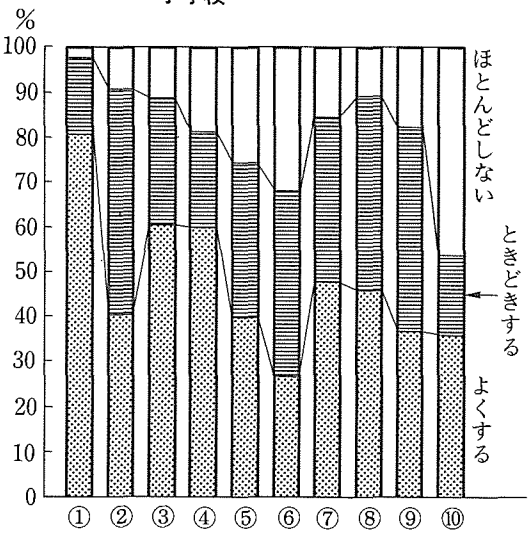
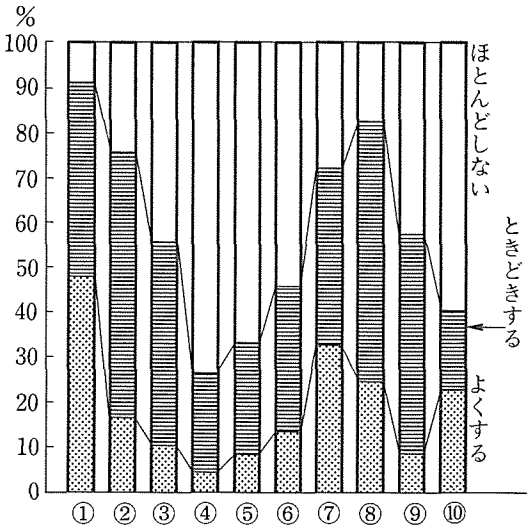


図2-4-3-2　どの書きの指導をどのくらいするか
ー中学校ー



⑩ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。　36.0
⑥ 授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。　26.8

そして，中学校では，次のようになる。小学校に比べると，全般的に値が小さくなる。順位に注目すると，③の「画数を数えさせる。」と④の「手や指で，空中に漢字を書かせる。」が低くなり，⑥の「授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。」と⑩の「漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。」が高くなる。

① 黒板に漢字を書いて，児童に見せる。　48.0%
⑦ 家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。　32.7
⑧ 漢字を使った熟語をつくらせる。　24.6
⑩ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。　22.9
② どのような形から組み立てられているかを説明する。　16.7
⑥ 授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。　13.5
③ 画数を数えさせる。　10.5
⑨ 漢字を使った短文をつくらせる。　8.8
⑤ 教科書の巻末の漢字表を見させて，その形どおりに書かせる。　8.5
④ 手や指で，空中に漢字を書かせる。　4.7

担任学年別の特徴

表2-4-3-1は，特化係数を示したものである。そして，表2-4-3-2は，特化係数を，－－（0.5より小），－（0.5～1），＋（1～1.5），＋＋（1.5より大）に分けて表に示したものである。低学年（第1～3学年）と高学年（第4～6学年）とではっきりと傾向が分かれる。また，小学校と中学校とではっきりと傾向が分かれる。

表2-4-3-1　質問4の「よくする」の特化係数

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
全　体	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
第1学年	1.17	1.25	1.37	1.43	1.16	1.16	0.91	1.15	1.21	0.86
第2学年	1.19	1.34	1.30	1.40	1.13	1.42	0.91	1.05	1.22	1.08
第3学年	1.11	1.06	1.16	1.21	1.15	1.25	1.09	0.97	1.03	0.98
第4学年	1.00	0.95	0.99	0.92	1.00	0.91	1.03	1.01	1.01	1.12
第5学年	0.82	0.73	0.72	0.63	0.81	0.62	1.03	0.81	0.71	0.95
第6学年	0.71	0.68	0.48	0.45	0.76	0.65	1.04	1.03	0.85	0.99
中学校	0.59	0.41	0.17	0.08	0.21	0.50	0.68	0.54	0.24	0.64

表2-4-3-2　質問4の「よくする」の特化係数の＋－

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
第1学年	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋	－
第2学年	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋
第3学年	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	－
第4学年	1.00	－	－	－	1.00	－	＋	＋	＋	＋
第5学年	－	－	－	－	－	－	＋	－	－	－
第6学年	－	－	－－	－－	－	－	＋	＋	－	－
中学校	－	－－	－－	－－	－－	－	－	－	－－	－

注）　－－<0.50，0.50≦－<1.00，1.00<＋≦1.50，＋＋>1.50

指導の分類

表2-4-3-2をもとに，書きの指導を分類すると，次のように分類できる。

〔低学年でよく行われる指導〕

① 黒板に漢字を書いて，児童に見せる。

② どのような形から組み立てられているかを説明する。

③ 画数を数えさせる。

④ 手や指で，空中に漢字を書かせる。

⑤ 教科書を見させて，教科書の形どおりに漢字を書かせる。

⑥ 授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

〔低・中学年でよく行われる指導〕

⑨ 漢字を使った短文をつくらせる。

〔中・高学年でよく行われる指導〕

⑦ 家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。

〔その他（はっきりとした傾向のつかみにくい指導）〕

⑧ 漢字を使った熟語をつくらせる。

⑩ 漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。

熱心さとバラエティー

漢字の書きの指導について，読みの指導と同じように，教師の熱心さと指導のバラエティーを見ることにしよう。図2-4-3-3と図2-4-3-4は，担任学年別に熱心さとバラエティーの平均値をグラフに示したものである。そして，図2-4-3-5と図2-4-3-6は，年齢別に熱心さとバラエティーの平均値をグラフに示したものである。読みの指導と異なり，熱心さとバラエティーの両方とも，年齢による違いよりも担任学年による違いのほうが大きい。

図2-4-3-3　書きの指導の熱心さ
ー担任学年別ー

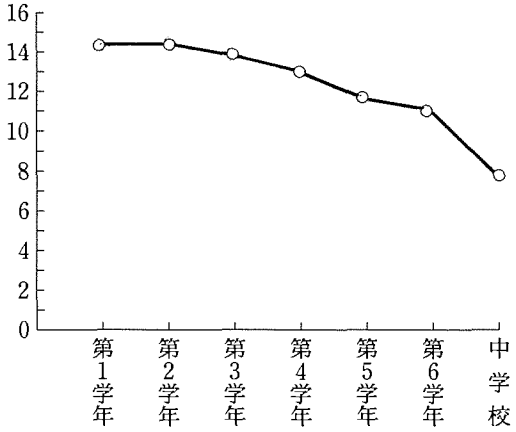


図2-4-3-4　書きの指導のバラエティー
ー担任学年別ー

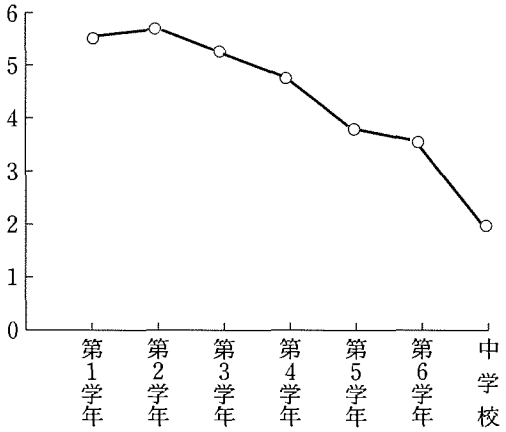


図2-4-3-5　書きの指導の熱心さ
ー年齢別ー

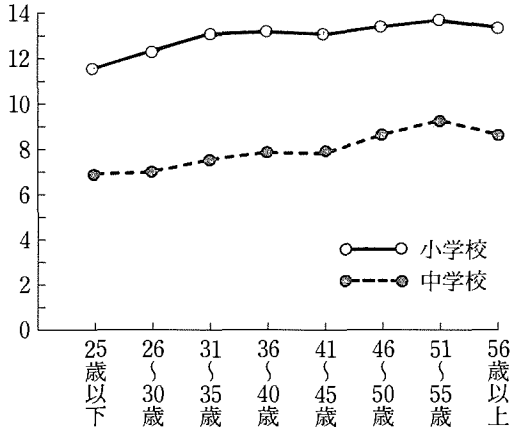
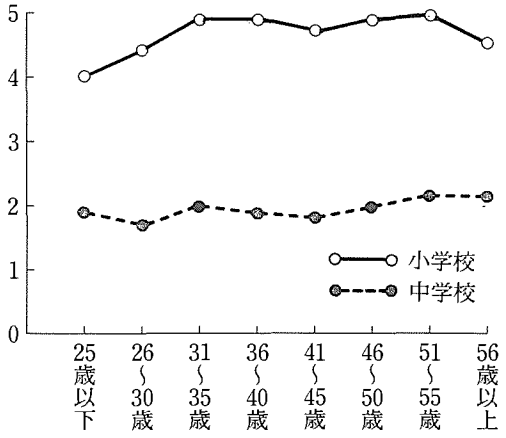


図2-4-3-6　書きの指導のバラエティー
ー年齢別ー



(4) 指導漢字

5. 新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導していますか。(複数回答可)
   1) 全部
   2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字
   3) 児童の生活の中で，よく使われる漢字
   4) その他（　　）
6. 新出漢字の読みを指導するとき，同一時間内に，その漢字の書きも指導することがありますか。
   1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
8. その学年ですでに指導した漢字や，下の学年に配当されている漢字を指導することがありますか。
   1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
   ↓
   1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
   8-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)
      1) 教科書に出てきた漢字全部
      2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字
      3) 児童の生活の中で，よく使われる漢字
      4) その他（　　）
10. 常用漢字表に示された漢字以外の漢字を指導することがありますか。
   1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
   ↓
   1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
   10-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)
      1) 人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字
      2) 児童が興味を持ちそうな漢字
      3) その他（　　）
   10-2. その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
      1) ほとんど読みだけ
      2) 書きも指導するが，読みのほうが多い
      3) 読み書き同じ程度
      4) 読みも指導するが，書きのほうが多い
      5) ほとんど書きだけ

質問5は，新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導しているか，ということをたずねるものである。複数回答可とした。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
全部	71.5%	45.1%
これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字	53.5	50.3
児童の生活の中で，よく使われる漢字	27.8	58.3
その他	0.8	1.4

小学校教師は，「全部」がいちばん多く，７割が回答している。だが，「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」も５割いる。そして，中学校国語教師は，「児童の生活の中で，よく使われる漢字」がいちばん多く，６割が回答している。ただし，「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」「全部」とそれほど大きな違いはない。

［図2-4-4-1］担任学年別に見ると，「全部」は，第２・３学年で多く，「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」は，第４～６学年で多い。そして，「児童の生活の中で，よく使われる漢字」は，第６学年および中学校で多い。［図2-4-4-2・図2-4-4-3］年齢別に見ると，小学校教師の場合，年齢が上がるほど，「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」と「児童の生活の中で，よく使われる漢字」の割合が高くなる。そして，中学校国語教師の場合，「全部」の割合が，年齢が上がるほど高くなる。

図2-4-4-1　新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導しているか ー担任学年別ー

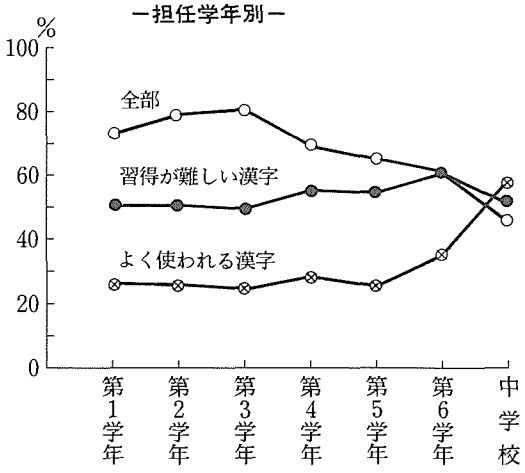


図2-4-4-2　新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導しているか ー小学校・年齢別ー

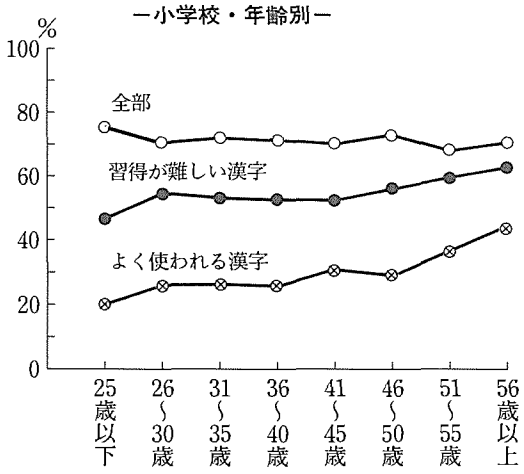
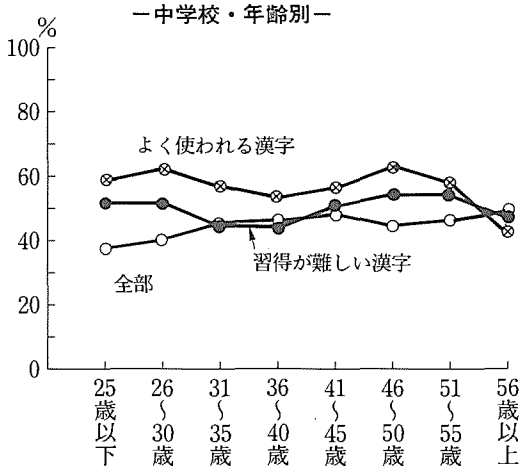


図2-4-4-3　新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導しているか ー中学校・年齢別ー



質問6は，新出漢字の指導のときに，読み書き同時に指導するか，ということをたずねるものである。読み書き分離学習が唱えられることがあるため，たずねた[1]。「よくある」と「よくある＋ときどきある」の2つに分けて見ることにする。結果は次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	57.0%	36.0%
よくある＋ときどきある	89.5	83.4

小学校教師，中学校国語教師とも，8割以上が「ある」(よくある＋ときどきある)と答えている。そして，小学校教師のほうが，「よくある」と答えた教師が多い。[図2-4-4-4]担任学年別に見ると，高学年の担任ほど，「よくある」の割合が低い。[図2-4-4-5] また，中学校国語教師は，年齢が上がるほど，「よくある」の割合が高い。

図2-4-4-4　新出漢字の読みを指導するとき，同時間内に，その漢字の書きも指導することがあるかー担任学年別ー

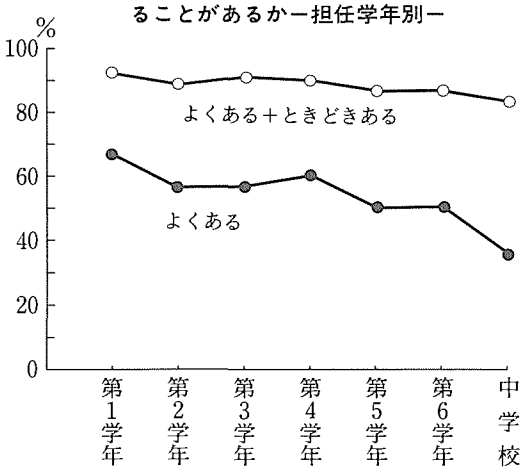
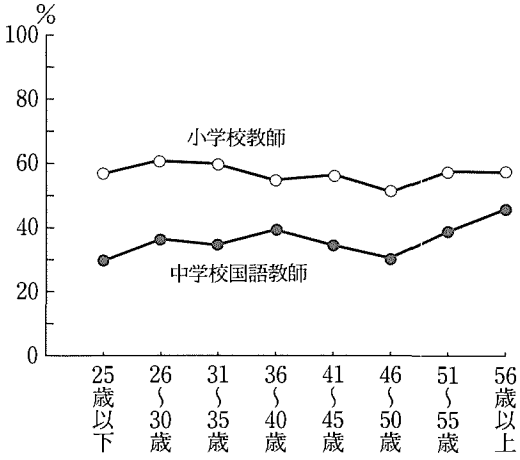


図2-4-4-5　「よくある」の割合ー年齢別--



質問8は，すでに指導した漢字を繰り返し指導するか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	21.9%	38.2%
よくある＋ときどきある	88.3	95.1

小学校教師よりも中学校国語教師のほうが，すでに指導した漢字を繰り返し指導する傾向が強い。[図2-4-4-6] そして，小学校では，担任学年による違いはあまりない。[図2-4-4-7] また，小学校教師，中学校国語教師とも，年齢が高いほど，「よくある」の割合が高い傾向がある。

図2-4-4-6　その学年ですでに指導した漢字や，下の学年に配当されている漢字を指導することがあるか－担任学年別－

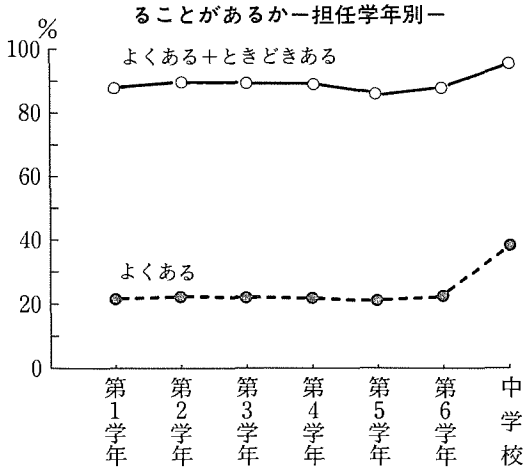
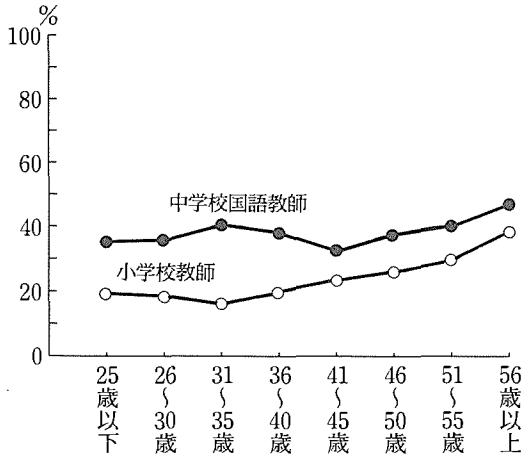


図2-4-4-7　「よくある」の割合－年齢別－



そして，質問8-1の結果は，次のとおりである。小学校教師，中学校国語教師とも，質問8で「よくある」または「ときどきある」と回答した教師の4分の3が「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」と回答している。

	[小学校]	[中学校]
教科書に出てきた漢字全部	19.9%	15.4%
これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字	74.5	74.6
児童の生活の中で，よく使われる漢字	34.7	61.2
その他	1.2	2.4

質問10は，常用漢字以外の漢字を指導するか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	3.7%	7.1%
よくある＋ときどきある	45.3	74.3

当然のことながら，小学校教師よりも中学校国語教師のほうが，「ある」（よくある＋ときどきある）と答えた教師の割合が高い。しかし，小学校でも，5割弱の教師が「ある」（よくある＋ときどきある）と答えている。[図2-4-4-8] そして，担任学年別に見ると，第3学年以降，「よくある＋ときどきある」の割合が高くなっていく。[図2-4-4-9] また，小学校教師の場合，年齢が上がるほど，「よくある＋ときどきある」の割合が高い。

そして，質問10-1の結果は，次のとおりである。小学校教師，中学校国語教師とも，「人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字」がいちばん多い。

	[小学校]	[中学校]
人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字	87.5%	82.7%
児童が興味を持ちそうな漢字	42.4	50.3
その他	1.7	4.9

図2-4-4-8　常用漢字表に示された漢字以外の漢字を指導することがあるか ー担任学年別ー

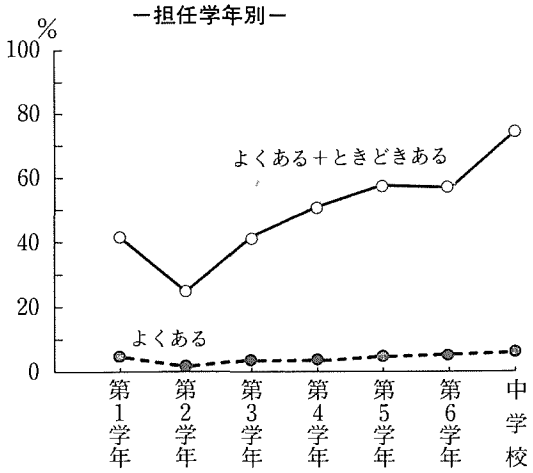
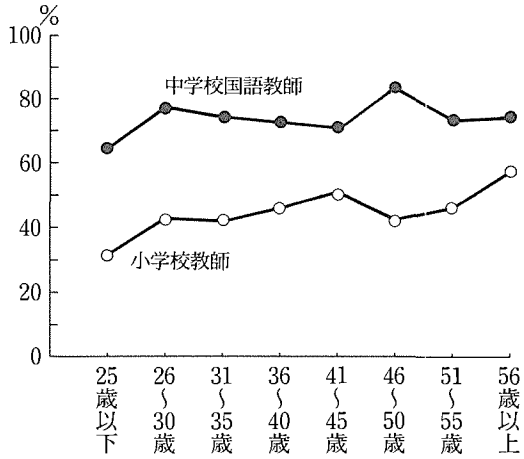


図2-4-4-9　「ある」の割合ー年齢別ー



また，質問10-2の結果は次のとおりである。小学校教師の場合，「ほとんど読みだけ」がいちばん多く，中学校国語教師の場合，「書きも指導するが，読みのほうが多い」がいちばん多い。

	[小学校]	[中学校]
ほとんど読みだけ	50.4%	27.9%
書きも指導するが，読みのほうが多い	38.9	55.0
読み書き同じ程度	9.2	15.5
読みも指導するが，書きのほうが多い	1.5	1.7
ほとんど書きだけ	0.0	0.0

（小学校教師用）

7．読み替え漢字の中で，どのような漢字に重点を置いて指導していますか。（複数回答可）

1）全部

2）これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字

3）児童の生活の中で，よく使われる漢字

4）その他（　　）

9．上の学年に配当されている漢字や，小学校に配当されていない常用漢字を，教科書には出てこなくても，指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

9-1．どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)

1) 人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字

2) 児童が興味を持ちそうな漢字

3) その他（　　）

9-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1) ほとんど読みだけ

2) 書きも指導するが，読みのほうが多い

3) 読み書き同じ程度

4) 読みも指導するが，書きのほうが多い

5) ほとんど書きだけ

上の質問7と9は，小学校教師だけに質問したものである。質問7は，読み替え漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導しているか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

全部	48.8%
これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字	58.5
児童の生活の中で，よく使われる漢字	38.0
その他	0.4

「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」がいちばん多い。ただし，「全部」も約5割の回答である。[図2-4-4-10] 担任学年別に見ると，高学年ほど，「全部」の割合が低くなり，そのかわり，「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」の割合が高くなる。[図2-4-4-11] そして，年齢別に見ると，「全部」「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字」「児童の生活の中で，よく使われる漢字」の3つとも，年齢が上がるほど，高くなる。

図2-4-4-10　読み替え漢字の中で，どのような漢字に重点を置いて指導しているか－担任学年別－

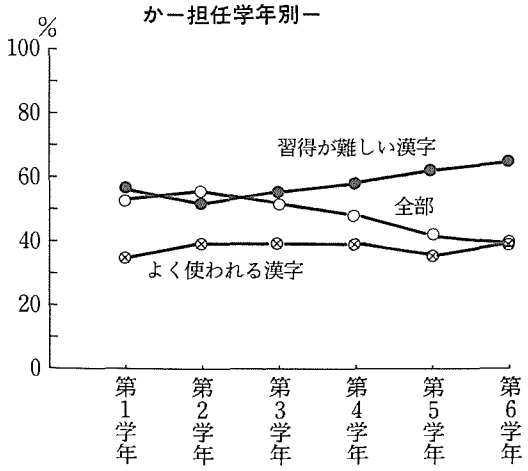
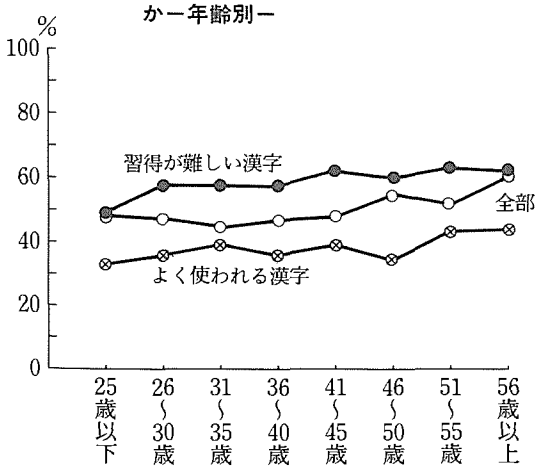


図2-4-4-11　読み替え漢字の中で，どのような漢字に重点を置いて指導しているか－年齢別－



質問９は，教科書にまだ出てこない漢字（上の学年に配当されている漢字や，小学校に配当されていない常用漢字）を指導することがあるか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

よくある	5.9%
よくある＋ときどきある	64.2

［図2-4-4-12］担任学年別に見ると，第１・２学年と第３～６学年とではっきりと分かれる。第３～６学年のほうが，「ある」（よくある＋ときどきある）の割合が高い。［図2-4-4-13］そして，年齢による違いは，あまりない。

図2-4-4-12　上の学年に配当されている漢字や，小学校に配当されていない常用漢字を，教科書には出てこなくても，指導することがあるか
ー担任学年別ー

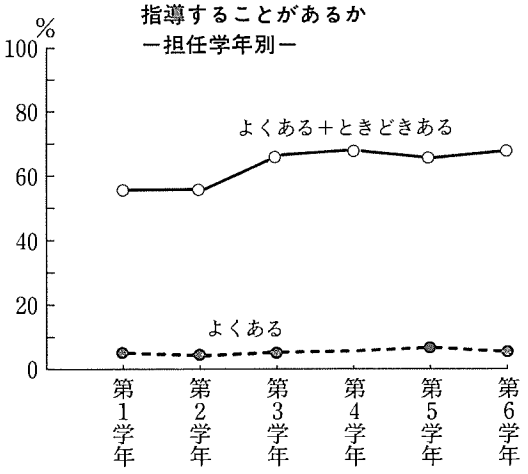
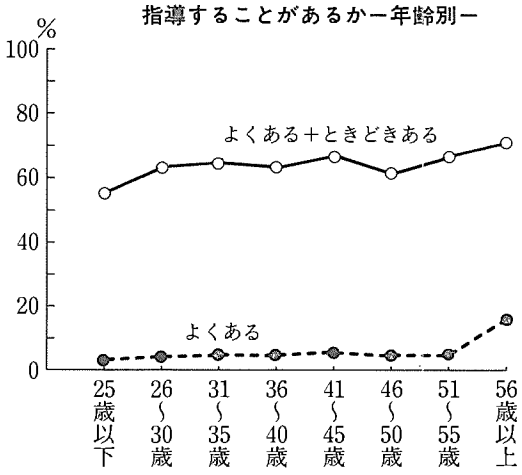


図2-4-4-13　上の学年に配当されている漢字や，小学校に配当されていない常用漢字を，教科書には出てこなくても，指導することがあるかー年齢別ー



そして，質問9-1の結果は，次のとおりである。「人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字」がいちばん多い。

人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字	87.4%
児童が興味を持ちそうな漢字	48.2
その他	3.3

また，質問9-2の結果は，次のとおりである。読みの指導が中心である。

ほとんど読みだけ	41.7%
書きも指導するが，読みのほうが多い	42.9
読み書き同じ程度	10.9
読みも指導するが，書きのほうが多い	4.3
ほとんど書きだけ	0.2

（中学校国語教師用）
8.　小学校ですでに指導された漢字（小学校に配当されている漢字）を，指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

8-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)

1) 教科書に出てきた漢字全部

2) これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字

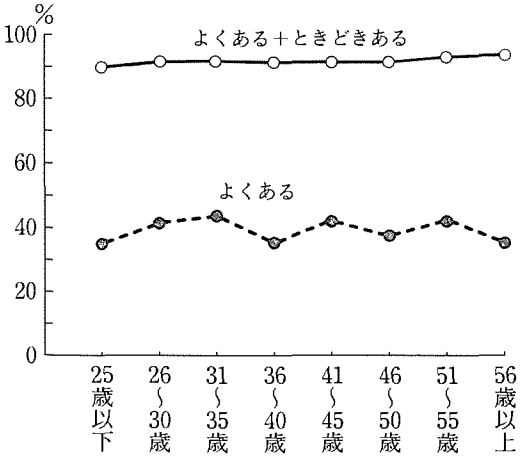
3) 生徒の生活の中で，よく使われる漢字

4) その他（　　）

上の質問8は，中学校国語教師だけに質問したものである。結果は，次のとおりである。ほとんどの教師が，「ある」（よくある＋ときどきある）と答えている。[図2-4-4-14] 年齢による違いはあまりない。

よくある	39.7%
よくある＋ときどきある	91.9

図2-4-4-14　小学校ですでに指導された漢字を，指導することがあるか－年齢別－



そして，質問8-1の結果は，次のとおりである。「これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字」と「生徒の生活の中で，よく使われる漢字」が多い。

教科書に出てきた漢字全部	15.4%
これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字	74.6
生徒の生活の中で，よく使われる漢字	61.2
その他	2.4

注

1) たとえば，国語教育研究所編『漢字の読み書き分離学習』(明治図書，1971年) を参照。

(5) 指導音訓

11．新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，ほかの音訓も指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

11-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1）その漢字の常用漢字表の音訓全部

2）児童の生活の中で，よく使われる音訓

3）その他（　　）

13．常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

13-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1）人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる音訓

2）児童が興味を持ちそうな音訓

3）その他（　　）

質問11は，新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓だけでなく，ほかの音訓も指導することがあるか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	29.2%	20.0%
よくある＋ときどきある	81.3	81.5

小学校のほうが，中学校よりも，指導する傾向が少し強い。[図2-4-5-1] 担任学年別に見ると，中学校で「よくある」の割合がやや低いが，大きな違いはない。[図2-4-5-2・図2-4-5-3] そして，小，中学校とも，年齢が上がると，「よくある」の割合が高くなる傾向がある。

質問11-1の結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，「児童の生活の中で，よく使われる音訓」がいちばん多く，8割以上である。

	[小学校]	[中学校]
その漢字の常用漢字表の音訓全部	15.5%	21.2%
児童の生活の中で，よく使われる音訓	85.6	82.0
その他	1.7	1.7

図2-4-5-1　新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓だけでなく，ほかの音訓も指導することがあるかー担任学年別ー

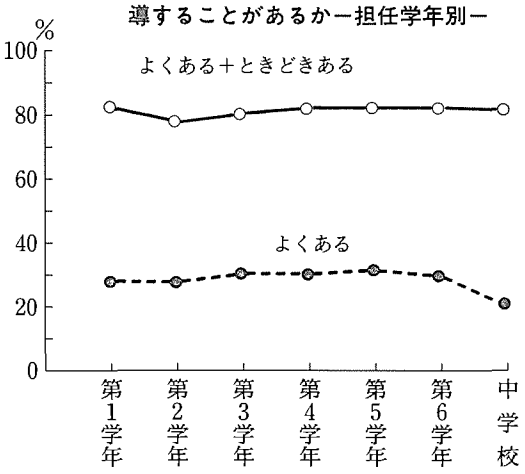


図2-4-5-2　新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓だけでなく，ほかの音訓も指導することがあるかー小学校・年齢別ー

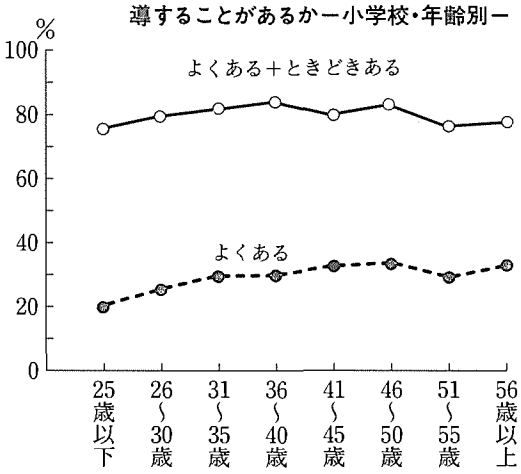
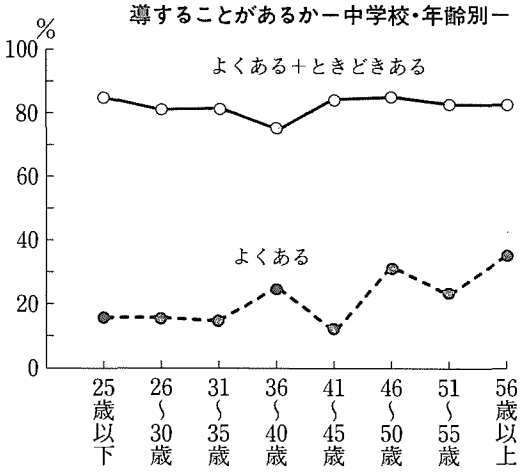


図2-4-5-3　新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓だけでなく，ほかの音訓も指導することがあるかー中学校・年齢別ー



質問13は，常用漢字表外の音訓を指導することがあるか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	5.0%	5.8%
よくある＋ときどきある	50.4	66.3

中学校のほうが指導する傾向が強い。しかし，小学校とそれほど大きな違いはない。[図2-4-5-4] 担任学年別に見ると，あまり大きな違いはない。[図2-4-5-5・図2-4-5-6] そして，小，中学校とも，年齢が上がるほど，「よくある」と「ある」（よくある＋ときどきある）の割合が高くなる傾向がある。

図2-4-5-4　常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがあるか
ー担任学年別ー

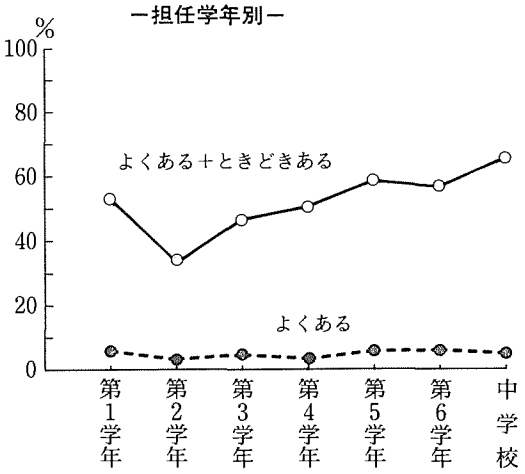


図2-4-5-5　常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがあるか
ー小学校・年齢別ー

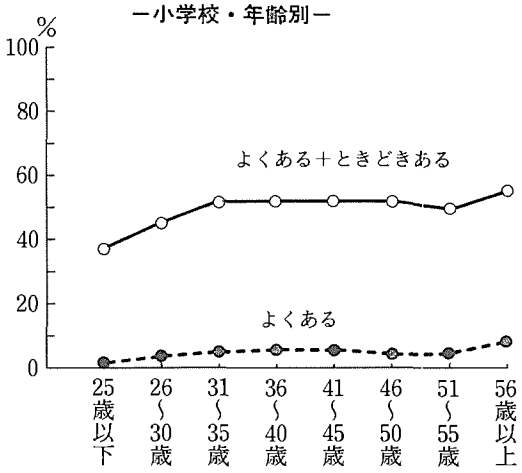
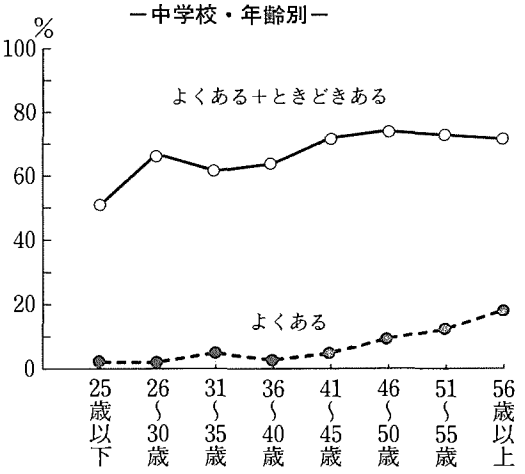


図2-4-5-6　常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがあるか
ー中学校・年齢別ー



質問13-1の結果は，次のとおりである。小，中学校とも，「人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる音訓」が8割以上の回答である。

	[小学校]	[中学校]
人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる音訓	82.9%	82.1%
児童が興味を持ちそうな音訓	44.3	49.5
その他	1.1	3.5

（小学校教師用）

12．読み替え漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，それまでに指導した音訓も指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

12-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1) それまでに指導した音訓全部

2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい音訓

3) 児童の生活の中で，よく使われる音訓

4) その他（　　）

上の質問12は，読み替え漢字の指導のとき，すでに指導した音訓も指導することがあるか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

よくある	30.4%
よくある＋ときどきある	88.8

[図2-4-5-7] ただし，高学年ほど，「よくある」の割合が低くなる傾向がある。[図2-4-5-8] また，年齢が上がるほど，「よくある」の割合が高くなる傾向がある。そして，質問12-1の結果は，次のとおりである。「これまでの経験から，児童にとって習得が難しい音訓」と「児童の生活の中で，よく使われる音訓」の割合が比較的高い。

それまでに指導した音訓全部	23.7%
これまでの経験から，児童にとって習得が難しい音訓	56.6
児童の生活の中で，よく使われる音訓	48.6
その他	0.3

図2-4-5-7　読み替え漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓だけでなく，それまでに指導した音訓も指導することがあるか ー担任学年別ー

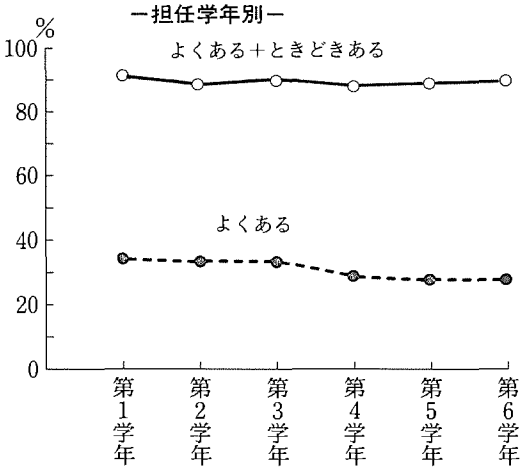
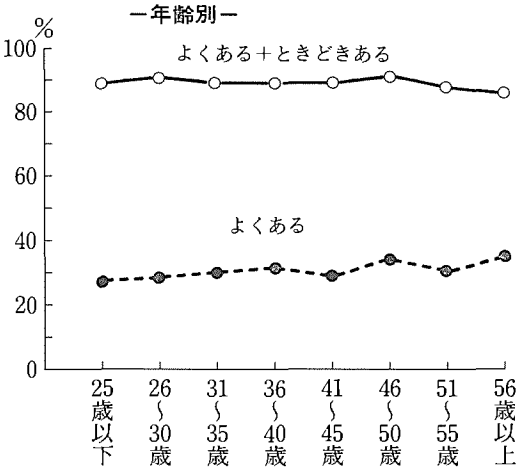


図2-4-5-8　読み替え漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓だけでなく，それまでに指導した音訓も指導することがあるか ー年齢別ー



(6) 筆順指導

14. 新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがありますか。
　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
　　↓
　1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
　14-1. 辞書によって筆順が違う漢字がありますが，そのことについて困ることがありますか。
　　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
15. 同じ漢字について，何度も筆順を指導することがありますか。
　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
　　↓
　1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
　15-1. どのような漢字について，何度も筆順を指導しますか。(複数回答可)
　　1) 画数の多い漢字
　　2) 画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字
　　3) その他（　　）
16. 児童の筆順が指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい，という意見があります。この意見に賛成ですか。
　1) 賛成（筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい）
　2) 反対（指導した筆順以外の筆順は認めるべきではない）
　3) 分からない
　4) その他（　　）
17. 指導した筆順とは違った筆順で漢字を書いている児童を見たとき，指導した筆順で書くように注意をすることがありますか。
　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

質問14は，新出漢字の筆順指導をするか，ということについてたずねるものである。結果は，次のとおりである。小学校では，たいていの教師が指導している。中学校でも，小学校ほど多くはないが，多くの教師が指導している。

	[小学校]	[中学校]
よくある	80.8%	22.3%
よくある＋ときどきある	97.6	80.5

[図2-4-6-1] 高学年ほど，「よくある」の割合が低い。[図2-4-6-2・図2-4-6-3] そして，年齢が上がるほど，「よくある」の割合が高い。なお，質問14-1の結果は，次のとおりである。筆順指導をあまり行っていない中学校のほうが，困ることが多い。

	[小学校]	[中学校]
よくある	6.1%	6.7%
よくある＋ときどきある	47.9	61.8

図2-4-6-1　新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがあるかー担任学年別ー

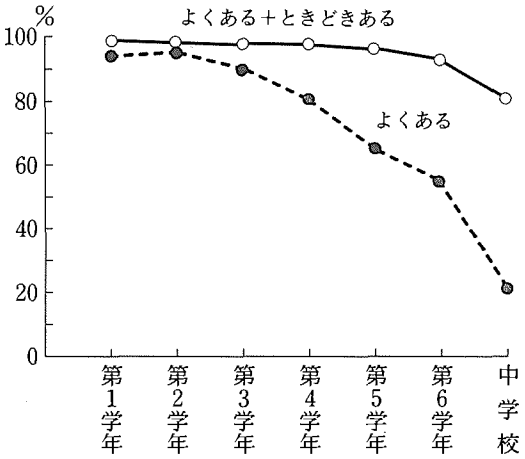


図2-4-6-2　新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがあるかー小学校・年齢別ー

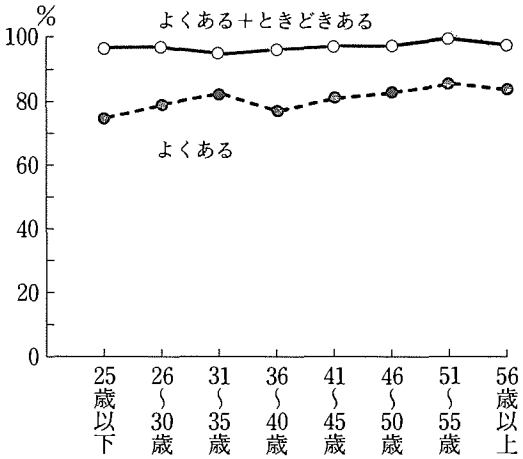
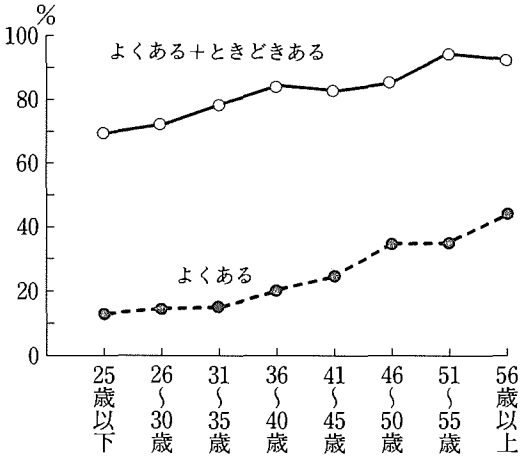


図2-4-6-3　新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがあるかー中学校・年齢別ー



質問15は，すでに筆順を指導した漢字の筆順指導をするか，ということについてたずねるものである。結果は，次のとおりである。新出漢字ほど多くはないが，筆順を指導している。

	[小学校]	[中学校]
よくある	20.3%	9.6%
よくある＋ときどきある	76.5	51.3

[図2-4-6-4] 担任学年別に見ると，高学年ほど何度も指導しなくなる。[図2-4-6-5・図2-4-6-6] また，年齢が上がるほど，何度も指導する。なお，質問15-1の結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，「画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字」が圧倒的に多い。

	[小学校]	[中学校]
画数の多い漢字	22.1%	11.4%
画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字	92.2	97.5
その他	0.9	1.3

図2-4-6-4　同じ漢字について，何度も筆順を指導することがあるか－担任学年別－

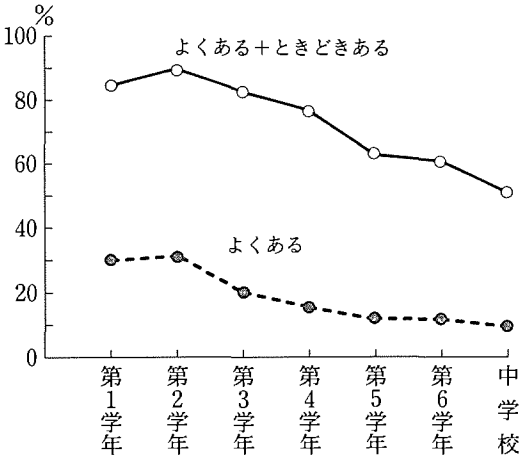


図2-4-6-5　同じ漢字について，何度も筆順を指導することがあるか－小学校・年齢別－

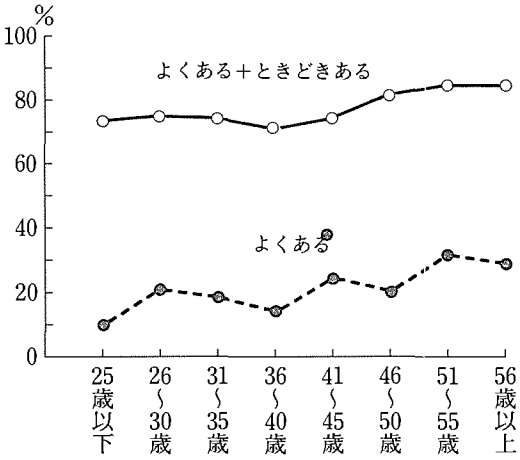
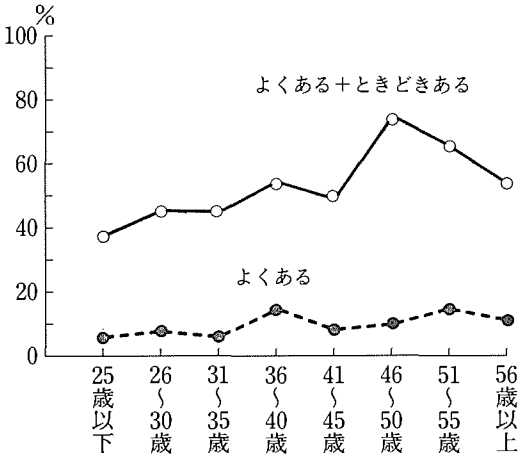


図2-4-6-6　同じ漢字について，何度も筆順を指導することがあるか－中学校・年齢別－



そして，質問16は，教師の持っている筆順指導の方針について，たずねるものである。結果は，次のとおりである。「賛成」，すなわち「筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい」が，小，中学校ともいちばん多い。[図2-4-6-7] 高学年ほど，「賛成」が多くなる。[図2-4-6-8・図2-4-6-9] そして，年齢が上がるほど，「その他」が少なくなり，「賛成」か「反対」にはっきりと分かれる。

	[小学校]	[中学校]
賛成	42.5%	57.1%
反対	30.0	20.0
分からない	24.4	21.3
その他	3.1	1.7

図2-4-6-7　指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ，黙認するほうがよい，という意見に賛成か－担任学年別－

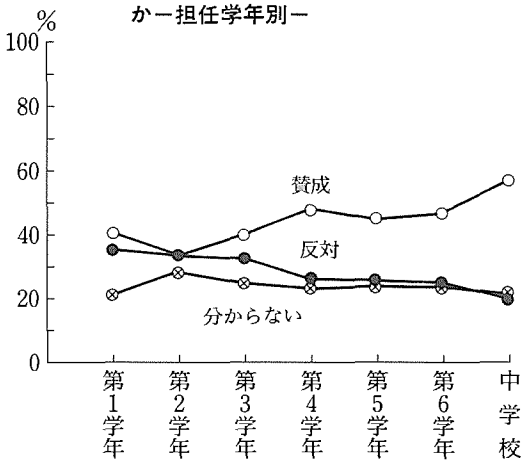


図2-4-6-8　指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ，黙認するほうがよい，という意見に賛成か－小学校・年齢別－

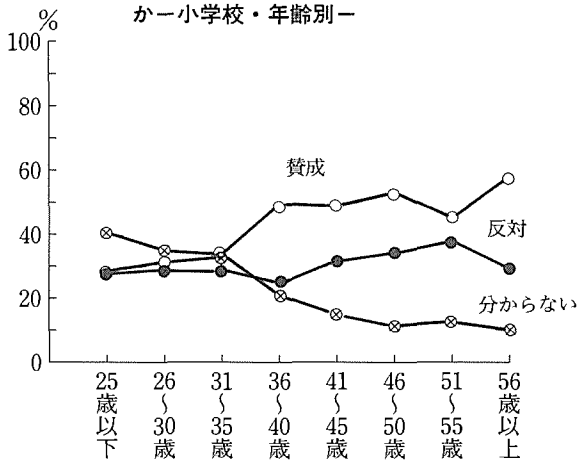
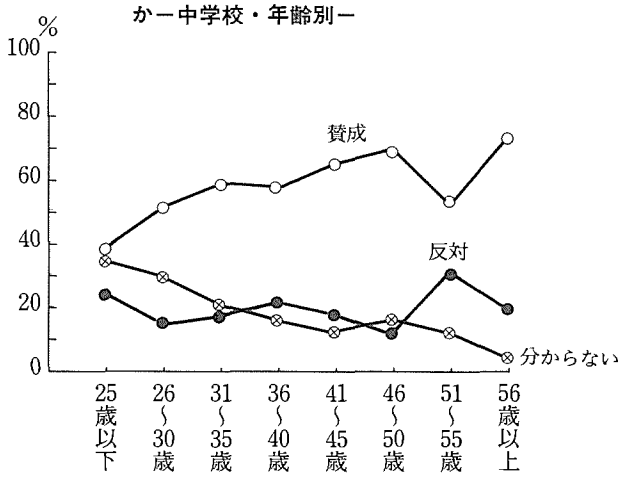


図2-4-6-9　指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ，黙認するほうがよい，という意見に賛成か－中学校・年齢別－



質問17は，質問16で見た筆順指導の方針を，教師が実際に行動の上でどのように実現しているのか，ということを見るものである。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	54.6%	28.4%
よくある＋ときどきある	98.7	91.8

頭の中では，「筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい」と考えていても，実際には，一定の筆順を指導することが多いようである。[図2-3-6-10・図2-3-6-11・図2-3-6-12]そして，この傾向は，高学年の担任ほど，そして年齢が上がるほど，強くなる。

図2-4-6-10　指導した筆順とは違った筆順で書いている児童(生徒)を見たとき，指導した筆順で書くように注意することがあるかー担任学年別ー

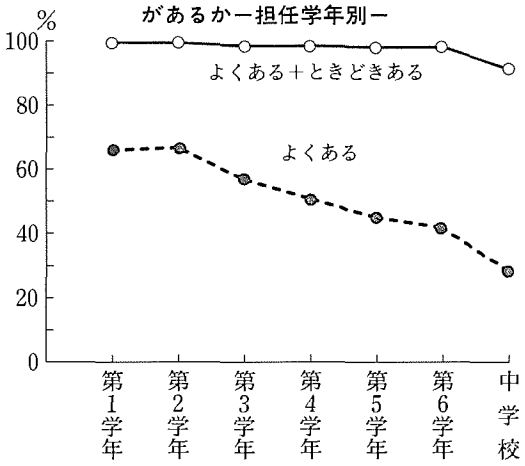


図2-4-6-11　指導した筆順とは違った筆順で書いている児童(生徒)を見たとき，指導した筆順で書くように注意することがあるかー小学校・年齢別ー

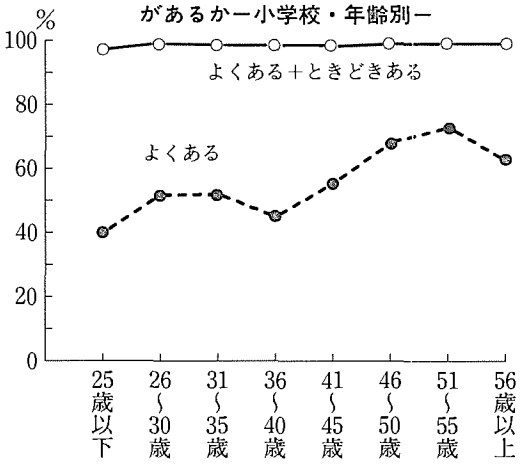
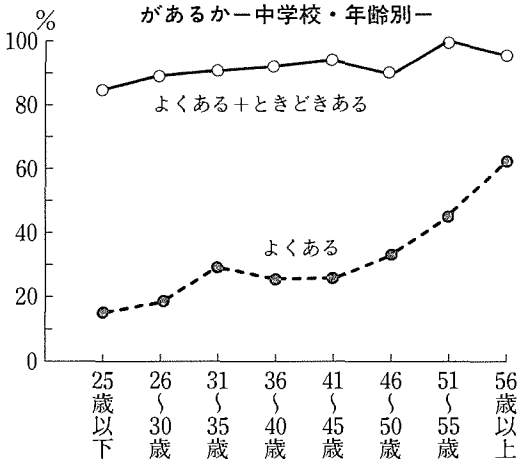


図2-4-6-12　指導した筆順とは違った筆順で書いている児童(生徒)を見たとき，指導した筆順で書くように注意することがあるかー中学校・年齢別ー



(7) 部首指導

18．ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

18-1．辞書によって，部首の立て方や呼び方や配列の仕方が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

質問18は，漢字の部首の指導をするか，ということについてたずねるものである。結果は，次の

とおりである。小学校のほうが指導する傾向が強い。

	[小学校]	[中学校]
よくある	33.4%	21.8%
よくある＋ときどきある	87.4	86.4

[図2-4-7-1] 担任学年別に見ると，第２学年で「よくある」「ある」（よくある＋ときどきある）ともに低いが，そのほかの学年では，あまり大きな違いがない。[図2-4-7-2・図2-4-7-3] そして，小，中学校とも，年齢が上がるほど指導する傾向が強い。なお，質問18-1の結果は，次のとおりである[1)]。中学校のほうが困ることが多いようである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	8.2%	10.0%
よくある＋ときどきある	64.0	73.8

図2-4-7-1　ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがあるか－担任学年別－

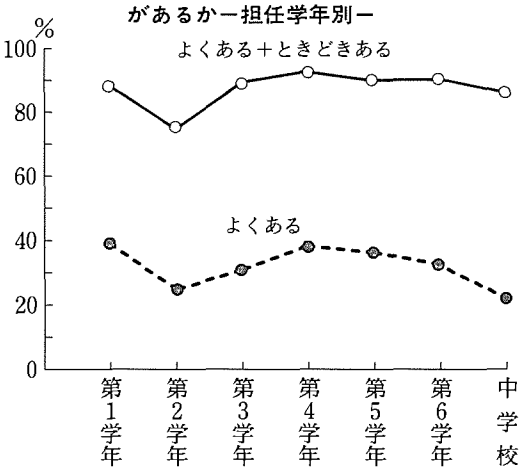


図2-4-7-2　ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがあるか－小学校・年齢別－

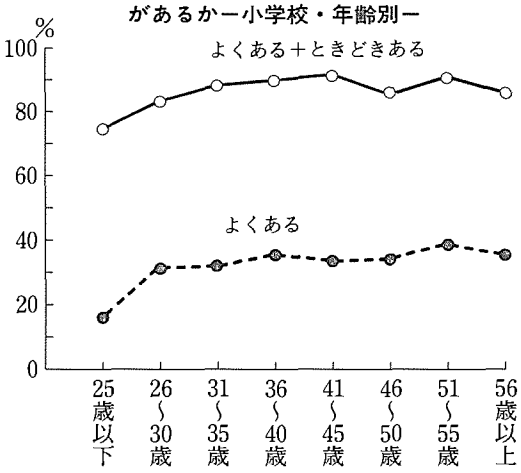
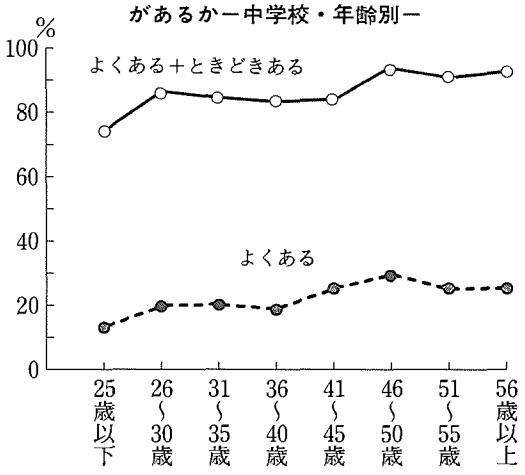


図2-4-7-3　ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがあるか－中学校・年齢別－



注

1) 山田忠雄『近代国語辞書の歩み（上・下）』（三省堂，1981年）によると，漢和辞典における実用的な部首見出しの立て方は，すでに明治時代に始まっていたという。

(8) 字源指導

19. 漢字の字源について指導することがありますか。
　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
　　↓
　1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
　19-1. 辞書によって，字源の説明が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。
　　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

質問19は，漢字の字源について指導するか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	20.4%	10.4%
よくある＋ときどきある	79.3	74.9

[図2-4-8-1] 高学年ほど指導する傾向が弱くなる。[図2-4-8-2・図2-4-8-3] そして，小，中学校とも，年齢が上がるほど，指導する傾向が強くなる。なお，質問19-1の結果は，次のとおりである。部首と同じく，中学校のほうが困ることが多いようである。

	[小学校]	[中学校]
よくある	4.0%	4.6%
よくある＋ときどきある	47.6	53.6

図2-4-8-1　漢字の字源について指導することがあるか－担任学年別－

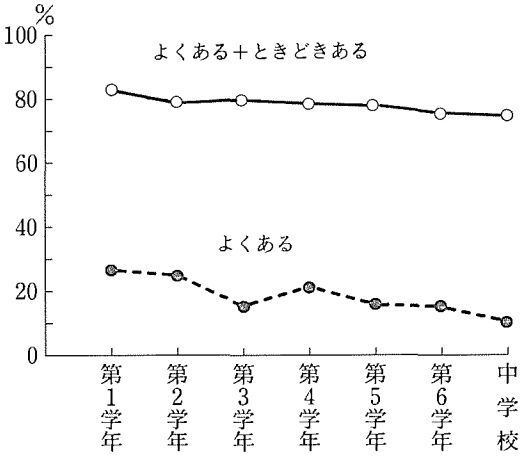


図2-4-8-2　漢字の字源について指導することがあるか－小学校・年齢別－

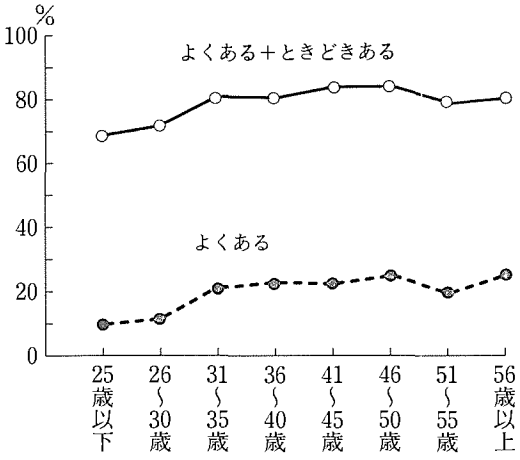
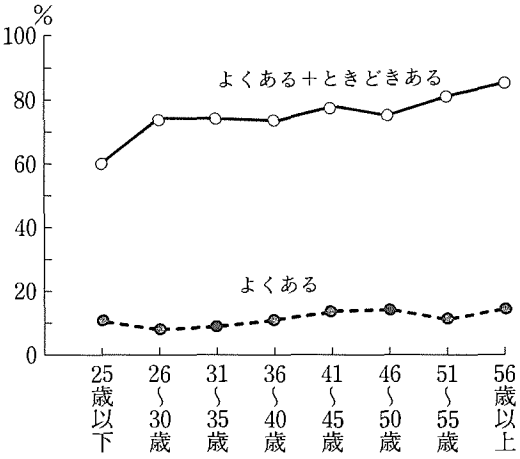


図2-4-8-3　漢字の字源について指導することがあるか－中学校・年齢別－



(9) 字形指導

20．長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の形どおりに書かなければいけない，と指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

21．あなたの担任している学級には，いわゆるマンガ文字を書く児童がいますか。

1）たくさんいる　　2）まあまあいる　　3）ほとんどいない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

21-1．マンガ文字を書く児童は，男子と女子とでは，どちらが多いですか。

1）ほとんど男子だけ
2）女子もいるが，男子のほうが多い
3）男子と女子とで同じぐらい
4）男子もいるが，女子のほうが多い
5）ほとんど女子だけ

21-2．マンガ文字を書く児童に対して，マンガ文字を書かないように指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

昭和53年改訂の小学校学習指導要領から，「漢字の指導においては，学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること。」と定められている。教科書も，この形に従っている。質問20は，この形にどの程度厳密に従って指導しているか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。中学校よりも，小学校のほうが，厳密に字形を指導する傾向が強い。

	[小学校]	[中学校]
よくある	56.3%	21.5%
よくある＋ときどきある	92.5	68.4

[図2-4-9-1] 高学年ほど厳密に指導する傾向が弱くなる。[図2-4-9-2・図2-4-9-3] そして，年齢が上がるほど，厳密に指導するようになる。ただし，小学校は，その傾向が強いが，中学校では，小学校ほどその傾向は強くない。

図2-4-9-1　長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の形どおりに書かなければいけない，と指導することがあるか－担任学年別－

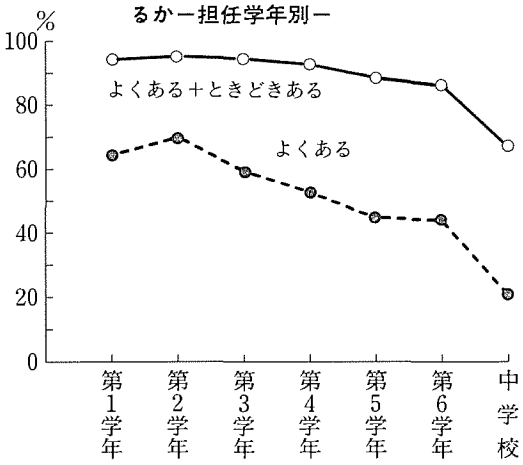


図2-4-9-2　長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の形どおりに書かなければいけない，と指導することがあるか－小学校・年齢別－

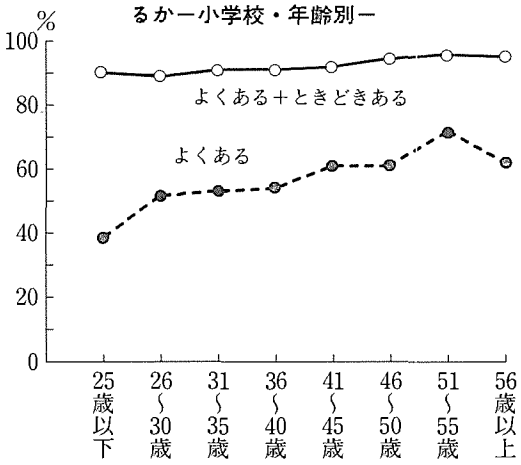
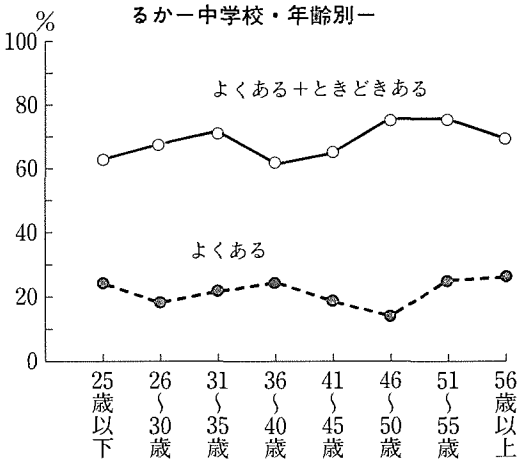


図2-4-9-3　長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の形どおりに書かなければいけない，と指導することがあるか－中学校・年齢別－



また，質問21の結果は次のとおりである。小学校よりも中学校のほうが，マンガ文字を書く児童・生徒が多い。

	[小学校]	[中学校]
たくさんいる	4.2%	21.1%
たくさんいる＋まあまあいる	39.9	86.4

[図2-4-9-4] 高学年ほどマンガ文字を書く児童・生徒が多い。そして，質問21-1の結果は，次のとおりである。小，中学校とも，女子のほうが多い[1]。[図2-4-9-5] 特に第3学年から，その傾向が強い。

	[小学校]	[中学校]
ほとんど男子だけ	1.9%	0.5%
女子もいるが，男子のほうが多い	4.9	1.2
男子と女子とで同じぐらい	11.7	2.0
男子もいるが，女子のほうが多い	34.7	64.4
ほとんど女子だけ	46.8	32.0

図2-4-9-4　担任している学級には，マンガ文字を書く児童(生徒)がいるか－担任学年別－

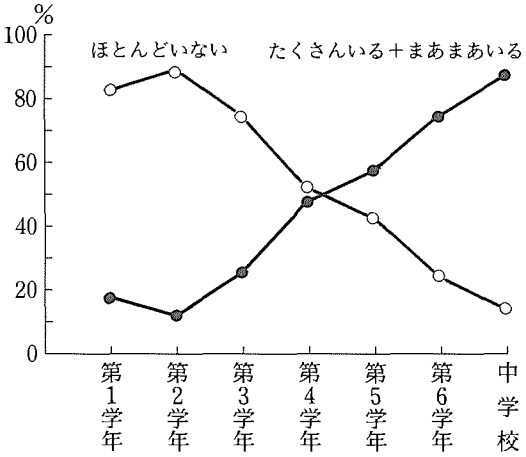
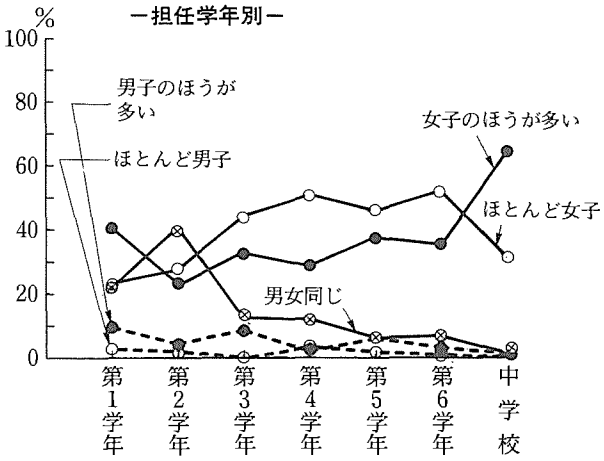


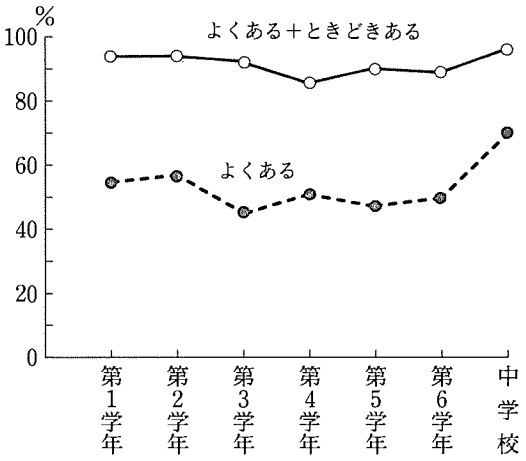
図2-4-9-5　マンガ文字を書く児童(生徒)は，男子と女子とでは，どちらが多いか－担任学年別－



質問21-2は，マンガ文字を書かないように指導しているか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。中学校のほうが，指導することが多い。[図2-4-9-6] そして，小学校では，学年による違いはあまりない。

	[小学校]	[中学校]
よくある	49.5%	69.5%
よくある＋ときどきある	89.7	96.9

図2-4-9-6　マンガ文字を書かないように指導することがあるか－担任学年別－



注
1)　山根一眞『変体少女文字の研究』（講談社，1986年）によれば，マンガ文字は，少女の中から生まれたものだという。

(10) 辞書指導

22．国語辞典を持っている児童は，学級にどのくらいいますか。
　1）ほとんどの児童が持っている
　2）半分くらいの児童が持っている
　3）ほとんどの児童が持っていない
　4）どのくらいの児童が持っているか分からない
23．漢和辞典を持っている児童は，学級にどのくらいいますか。
　1）ほとんどの児童が持っている
　2）半分くらいの児童が持っている
　3）ほとんどの児童が持っていない
　4）どのくらいの児童が持っているか分からない
24．国語辞典の使い方を指導しますか。
　1）よくする　　2）ときどきする　　3）ほとんどしない
25．漢和辞典の使い方を指導しますか。
　1）よくする　　2）ときどきする　　3）ほとんどしない
26．授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせていますか。
　1）自由に使わせている
　2）指導して使わせている
　3）使わせていない

質問22と23は，国語辞典と漢和辞典を，どのくらいの数の児童・生徒が持っているか，ということについてたずねるものである。質問22（国語辞典）の結果は，次のとおりである。中学校では，

「ほとんどの児童が持っている」が，9割以上の回答である。

	[小学校]	[中学校]
ほとんどの児童が持っている	44.6%	91.5%
半分くらいの児童が持っている	14.6	5.3
ほとんどの児童が持っていない	17.7	0.4
どのくらいの児童が持っているか分からない	23.1	2.8

そして，質問23（漢和辞典）の結果は，次のとおりである。持っている児童・生徒の数は，国語辞典の場合よりも，少ない。

	[小学校]	[中学校]
ほとんどの児童が持っている	13.8%	33.4%
半分くらいの児童が持っている	24.3	43.3
ほとんどの児童が持っていない	30.3	12.0
どのくらいの児童が持っているか分からない	31.5	11.3

[図2-4-10-1・図2-4-10-2] 質問22と23の結果を，担任学年別に見ると，国語辞典の場合，「ほとんどの児童が持っている」の割合が，第4学年から急に高くなる。漢和辞典の場合は，「ほとんどの児童が持っている」と「半分くらいの児童が持っている」の割合が，やはり第4学年から高くなる。小学校学習指導要領に，第4学年から辞書の利用が書かれていることと，関係しているだろう。

図2-4-10-1　国語辞典を持っている児童(生徒)は，どのくらいいるか－担任学年別－

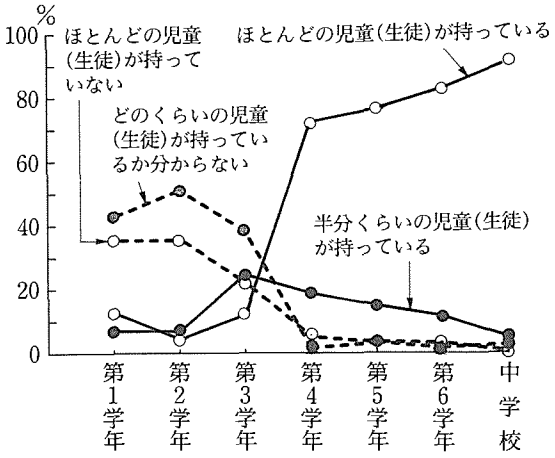
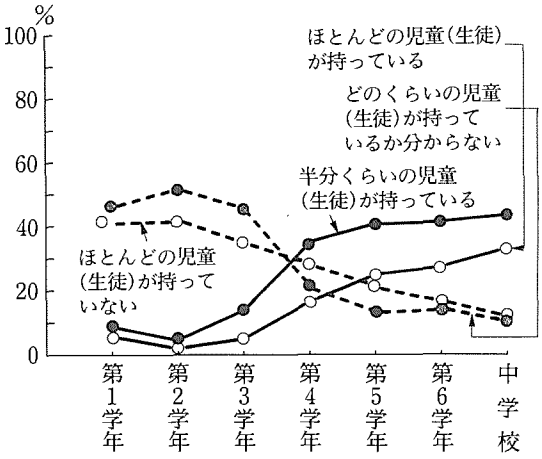


図2-4-10-2　漢和辞典を持っている児童(生徒)は，どのくらいいるか－担任学年別－



そして，質問24と25は，国語辞典と漢和辞典の使い方を指導するか，ということについてたずねるものである。質問24（国語辞典）の結果は，次のとおりである。わずかながら，中学校のほうが，指導する傾向が強い。

	[小学校]	[中学校]
よくある	20.6%	26.4%
よくある＋ときどきある	55.9	79.2

［図2-4-10-3・図2-4-10-4］しかし，担任学年別に見ると，第４学年で指導することがいちばん多い。上で見た小学校学習指導要領の規定が関係しているだろう[1]。［図2-4-10-5・図2-4-10-6］また，年齢が上がるほど，辞書指導をする傾向が強い。

図2-4-10-3　国語辞典の使い方を指導するか
－担任学年別－

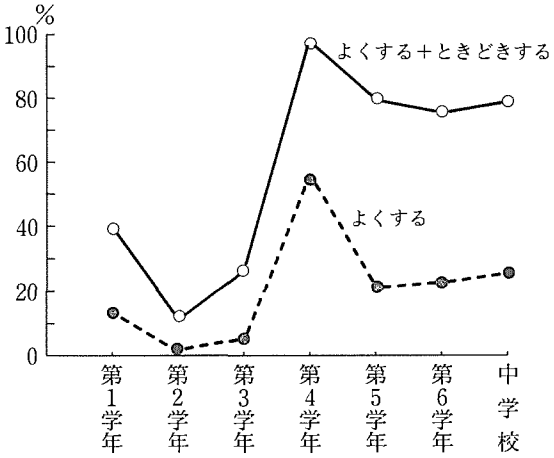


図2-4-10-4　漢和辞典の使い方を指導するか
－担任学年別－

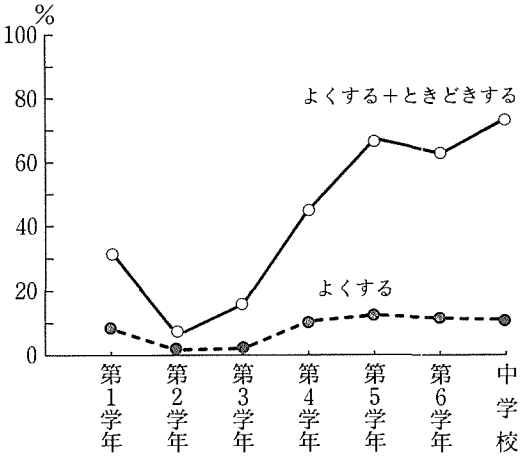


図2-4-10-5　「よくする＋ときどきする」の割合
－小学校・年齢別－

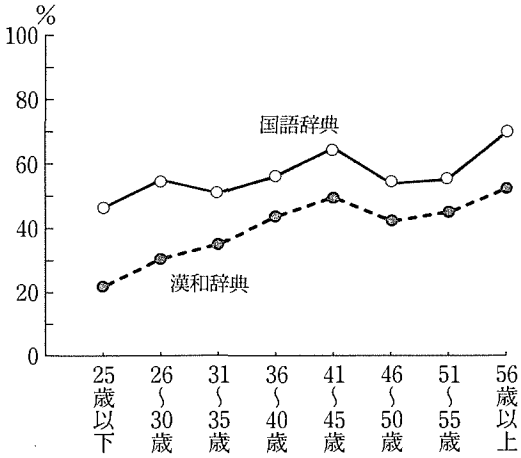
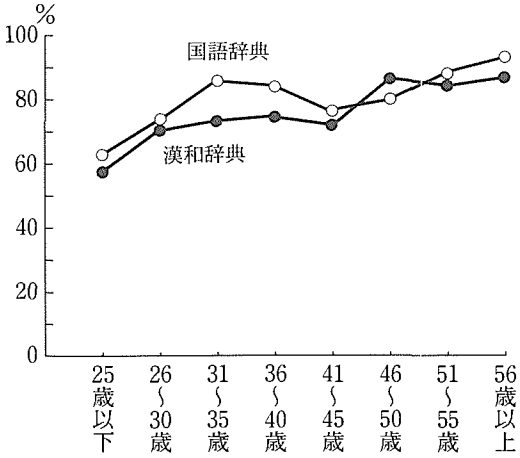


図2-4-10-6　「よくする＋ときどきする」の割合
－中学校・年齢別－



質問25（漢和辞典）の結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，国語辞典の場合よりも指導することが少ない。そして小学校のほうが，その傾向が強い。

	［小学校］	［中学校］
よくある	7.9%	11.2%
よくある＋ときどきある	39.2	74.0

質問26は，授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせているか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。中学校のほうが，どのような使わせ方にせよ，多く使わせている。

	［小学校］	［中学校］
自由に使わせている	25.7%	41.1%

指導して使わせている	29.9	38.4
使わせていない	44.3	20.4

［図2-4-10-7］担任学年別に見ると，「使わせていない」の割合が，第4学年以降，極端に低くなる。そして，第4学年では，「指導して使わせている」がいちばん多く，第5学年～中学校では，「自由に使わせている」がいちばん多い。［図2-4-10-8・図2-4-10-9］年齢別に見ると，小，中学校とも，「使わせていない」が，年齢が上がるにつれて少なくなる。そして，中学校の場合，年齢が上がるほど，「自由に使わせている」の割合が高くなり，「指導して使わせている」の割合が低くなる。

図2-4-10-7　授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせているか－担任学年別－

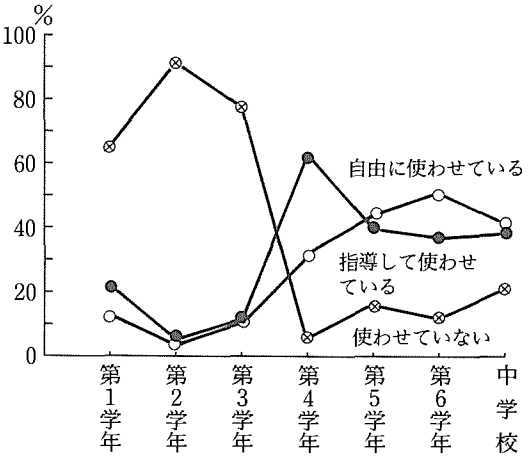


図2-4-10-8　授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせているか－小学校・年齢別－

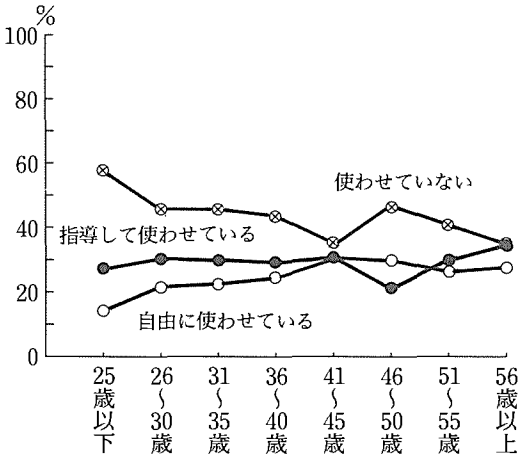
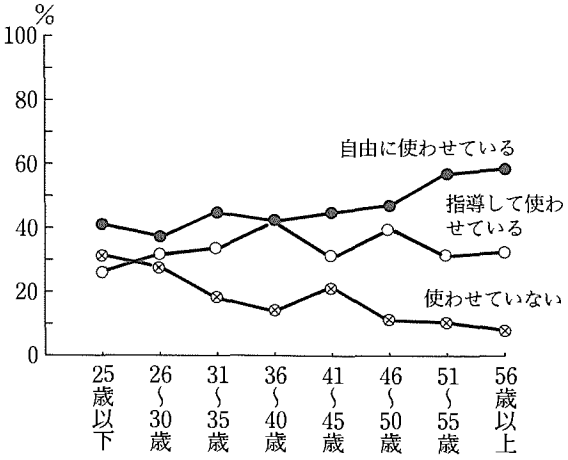


図2-4-10-9　授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせているか－中学校・年齢別－



注

1）小学校学習指導要領の規定に，教師が直接従っていると考えるよりも，教科書に辞書指導に関係する項目が出てくるためと考えるほうが，おそらく適切だろう。

(11) 他教科との関連指導

(中学校国語教師用)

26. たとえば,この漢字は,理科の用語によく使われる漢字だから,よく教えておこう,というように,国語以外の教科のことを考えて,漢字の指導をすることがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

26-1. どのような教科のことを考えて,漢字の指導をしますか。その教科を,いくつでもよいですから選んでください。

1) 社会　2) 数学　3) 理科　4) 音楽　5) 美術
6) 保健体育　7) 技術　8) 家庭　9) 英語

26-2. その場合,読みと書きとでは,どちらを指導することが多いですか。

1) ほとんど読みだけ
2) 書きも指導するが,読みのほうが多い
3) 読み書き同じ程度
4) 読みも指導するが,書きのほうが多い
5) ほとんど書きだけ

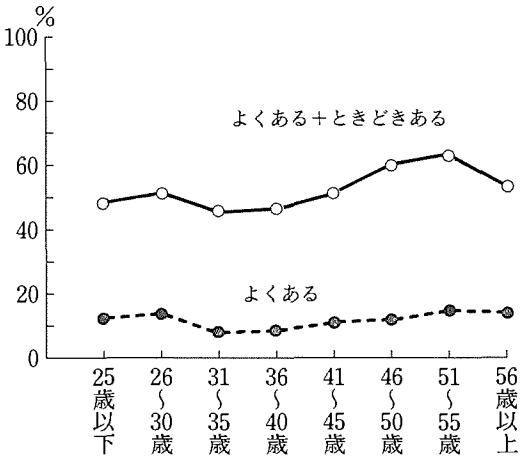
上の質問26は,他教科のことを考えて指導しているかどうかをたずねるものである。教科担任制である中学校の国語教師だけに質問した。結果は,次のとおりである。「ある」(よくある+ときどきある)と答えた教師は,全体のだいたい5割である。

よくある	11.9%
よくある+ときどきある	51.8

[図2-4-11-1] そして,年齢が上がるほど国語以外の教科のことを考えて指導する傾向が強くなる。なお,質問26-1の結果は,次のとおりである。選んだ割合の大きい順にあげる。社会と理科が圧倒的に大きい。

社会	97.3%
理科	70.1
数学	21.7
美術	17.0
家庭	16.0
保健体育	15.0
音楽	12.0
英語	11.0
技術	9.5

図2-4-11-1　国語以外の教科のことを考えて，漢字の指導をすることがあるか－年齢別－



また，質問26-2の結果は，次のとおりである。書きよりも読みを指導することが多い。おそらく，教科書を理解させる必要からだろう[1]。

ほとんど読みだけ	37.4%
書きも指導するが，読みのほうが多い	42.7
読み書き同じ程度	18.3
読みも指導するが，書きのほうが多い	0.5
ほとんど書きだけ	1.0

注

1)　他教科の教科書では，振り仮名を付けてある語が多い。実際の例については，国立国語研究所言語計量研究部『小学校教科書漢字別語彙表』（科研費報告書，1989年）を参照。

(12) 漢字練習

28．たとえば，毎週何分，毎日何分，毎授業時間何分のように，学校のなかで特別に時間を決めて，漢字の練習をさせていますか。
　1）させている　　2）させていない

質問28は，学校の中で特別に時間を決めて漢字の練習をさせているか，ということをたずねるものである。学校以外の場での漢字練習については，質問31でたずねる。結果は，次のとおりである。

	[小学校]	[中学校]
させている	36.8%	31.1%
させていない	63.2	68.9

小学校教師のほうが「させている」の割合が高い。しかし，中学校国語教師とそれほどの違いは

ない。[図2-4-12-1・図2-4-12-2] そして，担任学年による違いよりも年齢による違いのほうが大きい。

図2-4-12-1　学校のなかで特別に時間を決めて，漢字の練習をさせているか
ー担任学年別ー

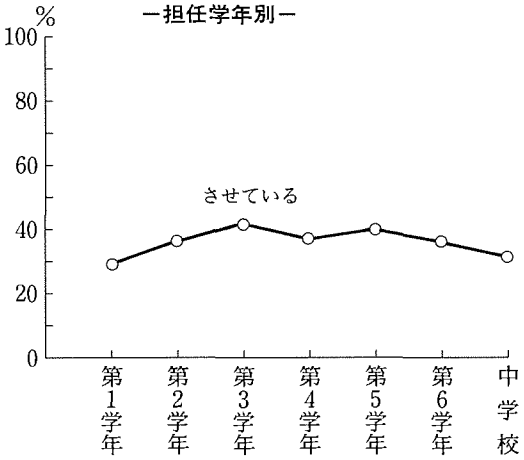
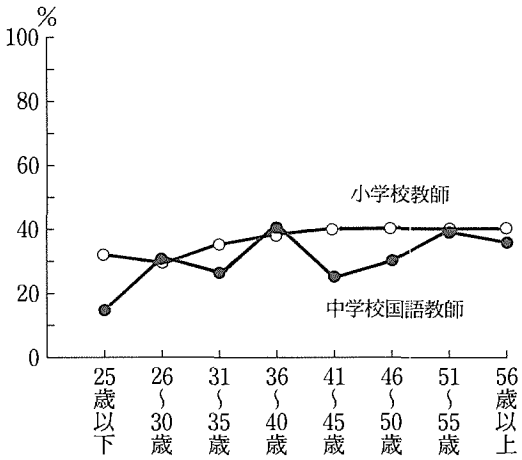


図2-4-12-2　「させている」の割合ー年齢別ー



(13) 漢字のテスト

29. 漢字のテストは，どういうときに行っていますか。
　1) 教科書の区切りのよいとき
　2) 毎日
　3) 毎週
　4) その他（　　）
30. 漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いですか。
　1) ほとんど読みだけ
　2) 書きもするが，読みのほうが多い
　3) 読み書き同じ程度
　4) 読みもするが，書きのほうが多い
　5) ほとんど書きだけ

質問29は，漢字のテストをいつ行うか，ということについてたずねるものである。結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，「教科書の区切りのよいとき」がいちばん多い。しかし，小学校の場合，「毎日」「毎週」も少なからずある。

	[小学校]	[中学校]
教科書の区切りのよいとき	45.7%	61.9%
毎日	14.6	8.9
毎週	29.0	13.3
その他	10.7	15.8

［図2-4-13-1］そして，小学校では，担任学年による違いはあまりない。［図2-4-13-2・図2-4-13-3］また，小学校，中学校とも，年齢による違いはあまりない。

図2-4-13-1　漢字のテストは，どういうときに行っているかー担任学年別ー

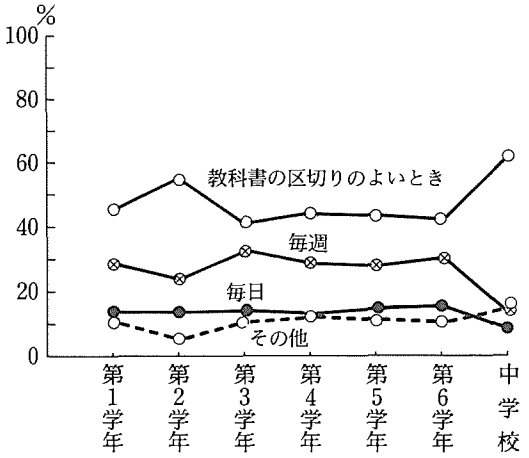


図2-4-13-2　漢字のテストは，どういうときに行っているかー小学校・年齢別ー

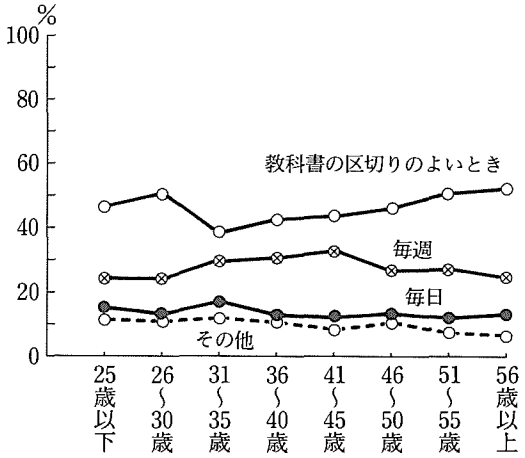
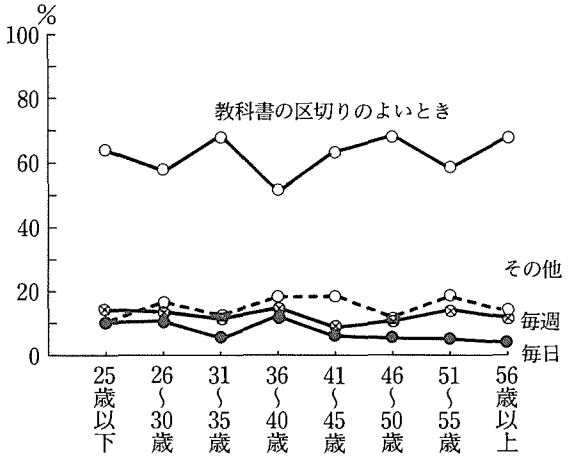


図2-4-13-3　漢字のテストは，どういうときに行っているかー中学校・年齢別ー



質問30は，漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いか，ということについてたずねるものである。結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，漢字のテストは，書きが中心である。

	［小学校］	［中学校］
ほとんど読みだけ	0.7%	0.6%
書きもするが，読みのほうが多い	2.3	5.0
読み書き同じ程度	14.7	42.6
読みもするが，書きのほうが多い	52.9	40.5
ほとんど書きだけ	29.4	11.2

［図2-4-13-4］そして，小学校では，高学年ほど書きが中心となる。［図2-4-13-5・図2-4-13-6］また，小学校では，年齢が高くなるほど，「読みもするが，書きのほうが多い」が少なくなり，反対に，「ほとんど書きだけ」が多くなる。しかし，中学校では，年齢が高くなるほど，「読みもするが，書きのほうが多い」と「ほとんど書きだけ」が少なくなり，反対に，「読み書き同じ程度」が多くなる。

図2-4-13-4　漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いか
ー担任学年別ー

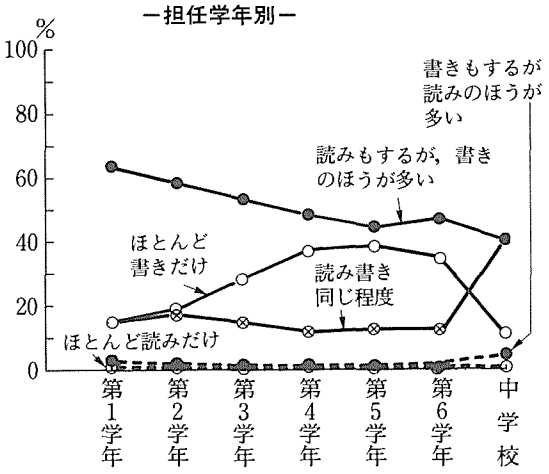


図2-4-13-5　漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いか
ー小学校・年齢別ー

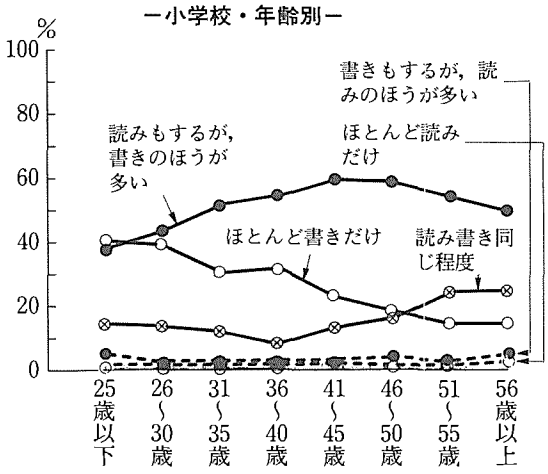
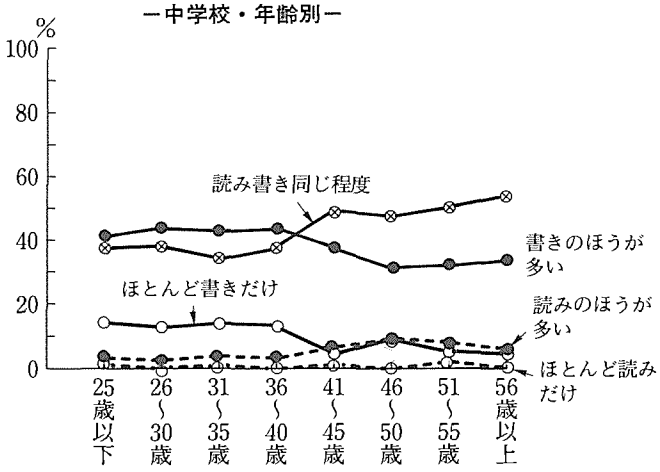


図2-4-13-6　漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いか
ー中学校・年齢別ー



(14) 字形の評価

31. 漢字の書き取りのテストで，児童の書いた漢字の字形の評価については，長短，とめ，はね，点の方向など，教科書にある形に従っていますか。
1) 厳密に従っている　2) だいたい従っている　3) ほとんど従っていない

質問31は，漢字の書き取りのテストのときに，教科書の漢字の形(標準字体[1])にどの程度従っているか，ということをたずねるものである。結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，「だいたい従っている」がいちばん多い。

	[小学校]	[中学校]
厳密に従っている	26.5%	12.9%
だいたい従っている	71.6	80.8
ほとんど従っていない	1.9	6.3

[図2-4-14-1] そして，高学年ほど「だいたい従っている」が多くなる。[図2-4-14-2・図2-4-14-3] また，小学校では年齢が高いほど厳密に従う傾向が強い。しかし，中学校では年齢による違いはあまりない。

図2-4-14-1　漢字の書き取りのテストで，児童の書いた漢字の字形の評価については，教科書にある形に従っているか
ー担任学年別ー

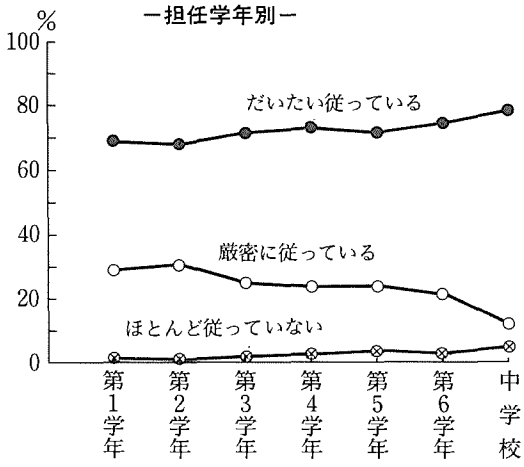


図2-4-14-2　漢字の書き取りのテストで，児童の書いた漢字の字形の評価については，教科書にある形に従っているか
ー小学校・年齢別ー

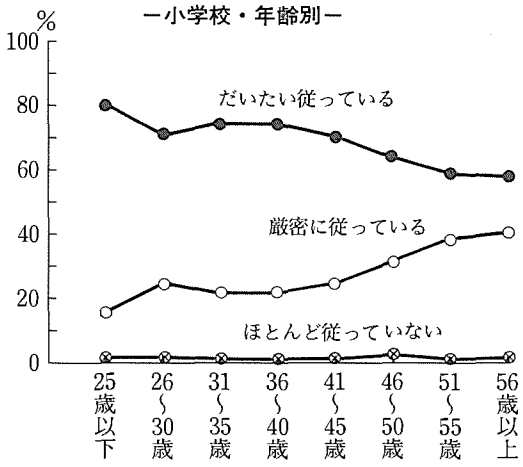
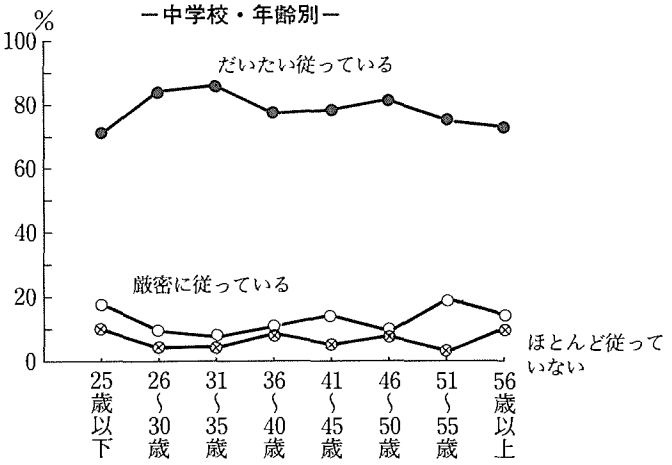


図2-4-14-3　漢字の書き取りのテストで，児童の書いた漢字の字形の評価については，教科書にある形に従っているか
－中学校・年齢別－



注
1)　昭和53年改訂の小学校学習指導要領から，「漢字の指導においては，学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること。」と定められている。そのため，学年別漢字配当表の漢字の形は「標準字体」と呼ばれる。

(15) 宿題

32．教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがありますか。
　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
　　↓
　1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
　32-1．どのような課題を出しますか。(複数回答可)
　　1) 漢字の書き取り練習
　　2) 市販されている練習問題（集）
　　3) 教師作成の練習問題（集）
　　4) その他（　　）

質問32は，漢字の宿題についてたずねるものである。結果は，次のとおりである。「ある」（よくある＋ときどきある）の割合は，小学校で9割弱，中学校で7割5分である。

	[小学校]	[中学校]
よくある	45.1%	21.1%
よくある＋ときどきある	88.2	75.4

[図2-4-15-1] そして，第3・4学年で「よくある」の割合がいちばん大きい。[図2-4-15-2・図2-4-15-3] また，小学校では，年齢が高いほど「よくある」の割合が大きい。中学校では，小学校ほど年齢による違いがない。

図2-4-15-1　教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがあるかー担任学年別ー

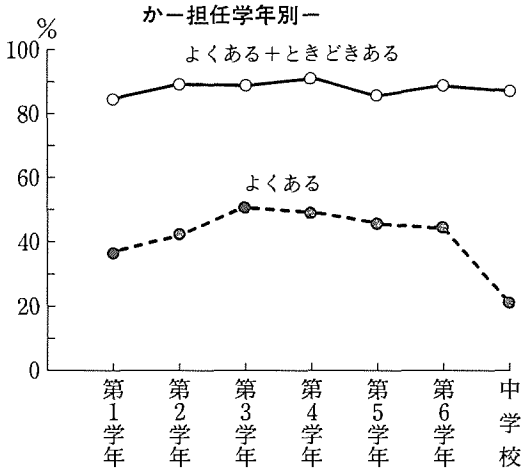


図2-4-15-2　教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがあるかー小学校・年齢別ー

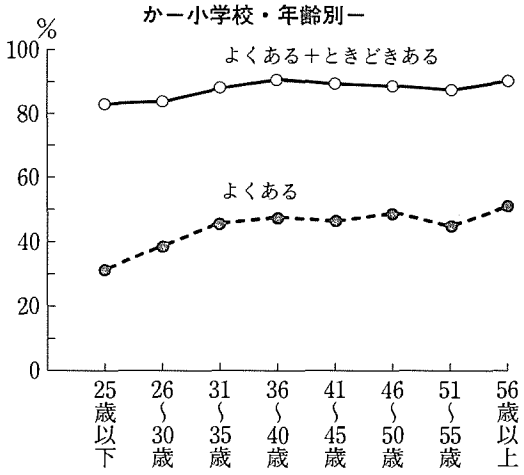
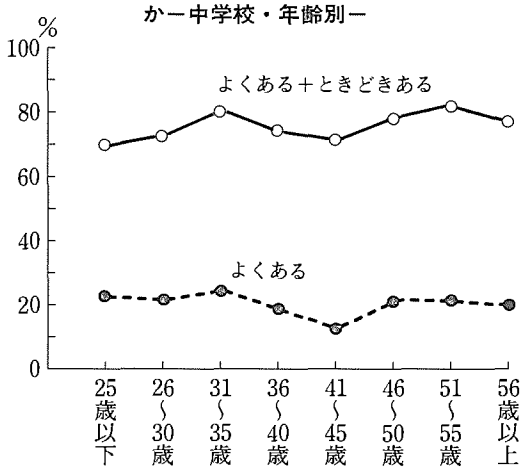


図2-4-15-3　教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがあるかー中学校・年齢別ー



そして，質問32-1の結果は，次のとおりである。小学校，中学校とも，「漢字の書き取り練習」がいちばん多い。しかし，「市販されている練習問題（集）」と「教師作成の練習問題（集）」も，小学校，中学校とも，だいたい4割の回答である。

	[小学校]	[中学校]
漢字の書き取り練習	71.1%	58.5%
市販されている練習問題（集）	38.2	35.0
教師作成の練習問題（集）	37.6	42.9
その他	2.6	1.0

第5節　他教科における漢字の学習指導――調査の結果(2)――

他教科でも漢字の指導をすべきだと言われることがある[1)]。本節では，他教科における漢字の学習指導について報告する。

(小学校教師用)
27．あなたは「国語」以外の教科の授業で，漢字の指導をすることがありますか。
　1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない
　　↓
　1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
　27-1．どのような教科の指導のときに，漢字の指導をしますか。指導をすると思われる教科を，いくつでもよいですから選んでください。
　　1) 社会　2) 算数　3) 理科　4) 音楽　5) 図画工作
　　6) 家庭　7) 体育　8) 道徳　9) 特別活動
　27-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
　　1) ほとんど読みだけ
　　2) 書きも指導するが，読みのほうが多い
　　3) 読み書き同じ程度
　　4) 読みも指導するが，書きのほうが多い
　　5) ほとんど書きだけ

小学校については，小学校教師用アンケートの質問27でたずねた。結果は，次のとおりである。7割近くの教師が「ある」(よくある＋ときどきある）と答えている。

よくある	8.1%
よくある＋ときどきある	66.5

[図2-5-1] そして，担任学年別に見ると，第1・2学年よりも第3～6学年のほうが，「ある」(よくある＋ときどきある）の割合が高い。[図2-5-2] また，年齢別に見ると，50歳以上の年齢層で，「ある」(よくある＋ときどきある）の割合が高い。

なお，質問27-1の結果は，次のとおりである。多い順に並べた。「社会」がいちばん多く，「算数」「理科」がそれに続く。そして，「道徳」が4番目に位置していて，興味深い結果となっている。

社会	92.5%
算数	49.9
理科	43.6
道徳	21.0
特別活動	9.4
家庭	4.8
音楽	3.6

図画工作　　2.4

体育　　1.4

図2-5-1 「国語」以外の教科の授業で，漢字の指導をすることがあるか－担任学年別－

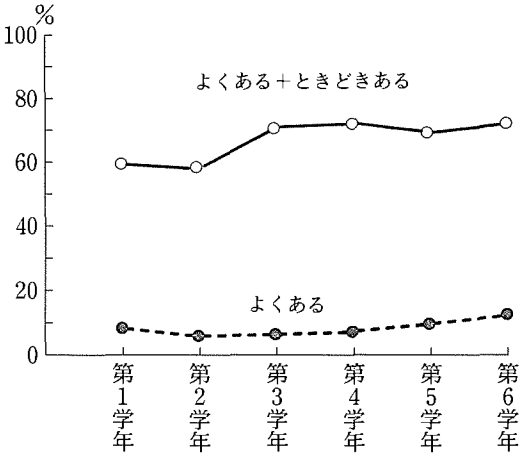
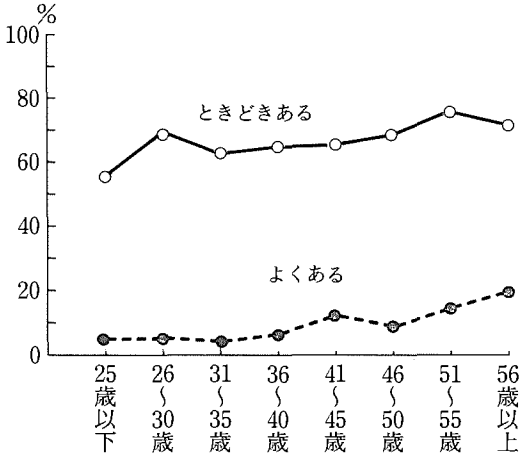


図2-5-2 「国語」以外の教科の授業で，漢字の指導をすることがあるか－年齢別－



そして，質問27-2の結果は，次のとおりである。読みを指導することが多い。

ほとんど読みだけ	49.4%
書きも指導するが，読みのほうが多い	34.2
読み書き同じ程度	11.9
読みも指導するが，書きのほうが多い	3.6
ほとんど書きだけ	0.8

（中学校他教科教師用）

1．あなたの（主に）担当している教科の授業中に，漢字の指導をすることがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。

1-1．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1）ほとんど読みだけ
2）書きも指導するが，読みのほうが多い
3）読み書き同じ程度
4）読みも指導するが，書きのほうが多い
5）ほとんど書きだけ

2．あなたの（主に）担当している教科の授業中に，「国語」でもうすこし漢字の読み書きの指導をしてもらいたい，と思うことがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある　　3）ほとんどない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

2-1. その場合,読みと書きのどちらを,「国語」でもうすこし指導してもらいたい,と思いますか。

1) 読みのほう

2) 読み書き両方

3) 書きのほう

3. 「国語」以外の教科でよく使われる漢字については,「国語」のなかで指導するよりも,その教科のなかで指導するほうがよい,という意見があります。この意見に賛成ですか。

1) 賛成(その教科のなかで指導するほうがよい)

2) 賛成でも反対でもない(その教科と「国語」の両方で指導すべきだ)

3) 反対(「国語」以外の教科では指導しなくてよい)

4) 分からない

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

3-1. その場合,その教科では,読み書き両方とも指導すべきだと思いますか。

1) 読み書き両方とも指導すべきだと思う

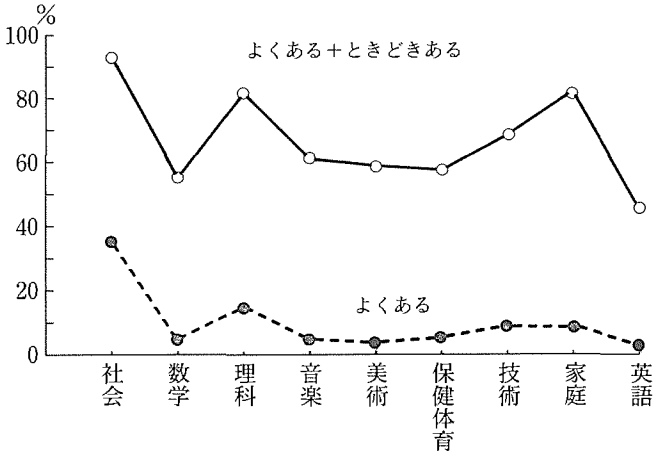
2) 読みだけ指導すべきだと思う

3) 書きだけ指導すべきだと思う

中学校については,中学校他教科教師用アンケートで質問した。質問1の結果は,次のとおりである。[図2-5-3] 小学校と同じく,「社会」と「理科」が他の教科よりも格段に多く,1位と2位を占めている。

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
よくある	35.1%	4.0%	15.4%	5.3%	3.7%	5.9%	8.9%	9.1%	3.2%
よくある+ときどきある	93.9	55.2	81.9	60.1	58.8	57.3	68.0	82.6	46.5

図2-5-3 担当している教科の授業中に,漢字の指導をすることがあるか



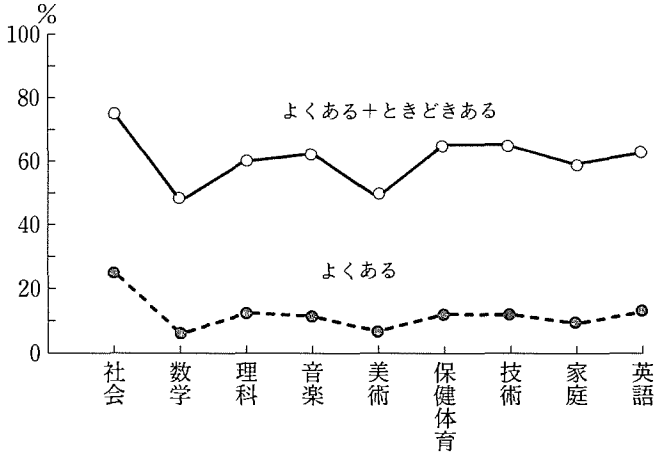
そして，質問1-1の結果は，次のとおりである。読みを指導することが多いが，書きも予想外に多く指導している。

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
ほとんど読みだけ	13.7%	25.7%	17.0%	17.6%	26.1%	30.7%	29.5%	23.2%	8.5%
書きも指導するが，読みのほうが多い	42.2	32.3	27.6	36.5	23.3	34.2	38.6	47.5	16.3
読み書き同じ程度	33.0	24.0	33.3	30.0	20.3	22.3	21.6	22.1	37.0
読みも指導するが，書きのほうが多い	9.7	14.2	19.5	10.0	16.3	9.7	6.3	5.5	19.5
ほとんど書きだけ	1.4	3.8	2.6	5.9	14.0	3.1	4.0	1.7	18.7

質問２の結果は，次のとおりである。[図2-5-4] 質問１と同じく，「社会」と「理科」が１位と２位を占めている。しかし，他の教科との違いは，質問１ほど大きくはない。

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
よくある	25.0%	6.5%	12.0%	10.6%	7.2%	11.6%	10.9%	9.6%	12.0%
よくある＋ときどきある	74.8	47.0	59.9	62.7	48.0	64.9	64.2	58.4	61.2

図2-5-4 「国語」でもうすこし漢字の読み書きの指導をしてもらいたい，と思うことがあるか



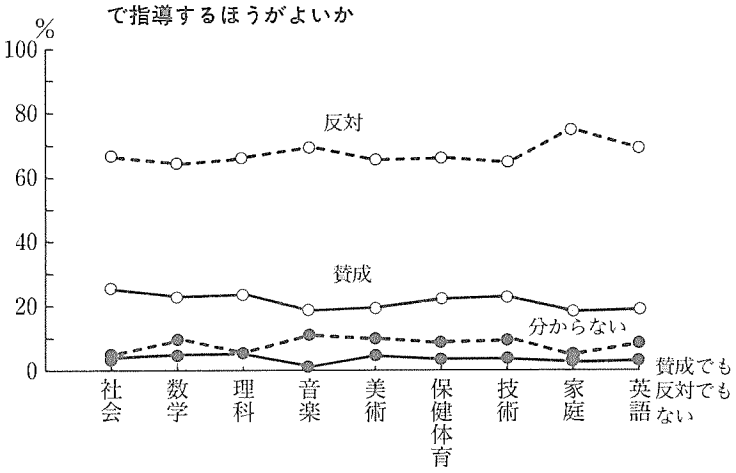
そして，質問2-1の結果は，次のとおりである。どの教科も，「読み書き両方」がいちばん多い。

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
読みのほう	29.3%	37.1%	18.3%	23.2%	28.5%	29.9%	37.7%	24.0%	13.5%
読み書き両方	59.4	45.0	59.1	54.2	52.5	54.6	48.7	64.8	55.8
書きのほう	11.3	17.9	22.6	22.6	19.0	15.5	13.6	11.2	30.7

また，質問３の結果は，次のとおりである。[図2-5-5] どの教科でも，「反対」，すなわち「『国語』以外の教科では指導しなくてよい」が，全体の６，７割を占めている。そして，「賛成」，すなわち「その教科のなかで指導するほうがよい」が，どの教科でも，２割ほどの回答である。

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
賛成	25.3%	22.7%	23.7%	18.9%	19.7%	21.6%	22.8%	18.0%	18.8%
賛成でも反対でもない	3.5	4.8	4.9	1.4	4.8	3.2	3.5	2.8	3.8
反対	67.2	63.0	66.6	69.5	65.6	66.6	64.4	75.1	69.3
分からない	4.0	9.5	4.8	10.2	9.9	8.6	9.3	4.1	8.1

図2-5-5 「国語」以外の教科でよく使われる漢字については，「国語」のなかで指導するよりも，その教科のなかで指導するほうがよいか



そして，質問3-1の結果は，次のとおりである。どの教科でも，「読み書き両方とも指導すべきだと思う」が断然多く，7，8割を占めている。

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
読み書き両方	81.5%	78.7%	83.1%	82.4%	80.3%	77.4%	68.0%	76.8%	79.6%
読みだけ	18.1	20.5	15.4	16.8	18.4	22.0	31.1	23.2	17.5
書きだけ	0.4	0.8	1.5	0.8	1.3	0.6	0.9	0.0	2.9

注

1) このような議論は数多いが，最近では，林四郎が，「理科や社会科の教科書は，じつに格好な言語教材である。」（林四郎「言語教育と教科書」，『日本語学』12巻2号，1993年，10頁）と述べ，このような議論を行っている。

付録1　小学校教師用アンケート集計表

1　数字は，実数を省略し，百分率（パーセント）のみとした。四捨五入による誤差のため，合計が100.0にならない場合があるが，そのままとした。

2　調査対象の教師の属性（地域，性別，年齢，担任学年）別の集計を基本とした。調査対象の教師の属性別の人数については，本章の第3節を参照されたい。

3　無回答（NA）は除外して集計した。しかし，どの質問も無回答の数はきわめて少なかったので，そのことによる影響はほとんどないと思われる。

V．興味を持っている教科を三つ選んでください。（三つない場合は，一つまたは二つ選んでください。）
1）国語　2）算数　3）理科　4）社会　5）音楽
6）体育　7）図工　8）道徳　9）家庭　10）特別活動

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	全体
全体		60.9	60.3	26.7	31.6	16.9	32.7	22.9	11.4	2.6	22.1	100.0
地域	秋田県	56.4	60.5	19.7	27.9	25.0	28.9	31.6	17.6	5.3	18.9	20.0
	奈良県	60.4	57.5	28.7	34.2	15.4	27.3	26.9	12.5	1.5	20.6	20.3
	東京都	62.6	61.2	28.3	32.0	14.7	35.8	18.6	8.9	2.0	23.7	59.6
性別	男性	43.3	56.2	34.2	40.0	10.4	51.1	12.0	11.8	0.9	26.8	34.9
	女性	70.4	62.6	22.5	27.1	20.4	22.8	28.8	11.2	3.5	19.6	65.1
年齢	25歳以下	58.9	58.9	19.9	30.5	26.2	36.9	23.4	14.2	5.7	19.1	5.5
	26～30歳	55.2	56.4	24.0	31.2	21.7	45.0	20.6	10.2	1.4	23.6	16.9
	31～35歳	59.2	57.7	28.8	31.4	14.9	33.8	23.4	10.1	2.2	26.2	21.2
	36～40歳	63.4	63.0	25.7	33.8	13.7	30.1	20.3	10.2	2.2	23.7	21.2
	41～45歳	67.0	61.9	28.6	31.7	14.6	26.0	26.0	10.8	1.3	20.0	12.3
	46～50歳	70.0	65.7	21.7	24.2	18.8	30.9	27.1	12.1	3.4	16.4	8.1
	51～55歳	58.2	62.9	30.4	30.8	19.0	23.6	23.6	14.3	4.2	22.8	9.3
	56歳以上	55.3	58.2	34.0	39.0	11.3	29.1	23.4	17.0	5.0	10.6	5.5
担任学年	第1学年	74.1	56.3	20.0	21.5	22.4	30.0	29.5	11.0	2.7	18.5	16.1
	第2学年	65.3	64.1	25.5	23.4	23.1	25.5	29.2	12.5	1.6	16.7	16.9
	第3学年	61.2	65.2	26.2	27.9	19.3	29.3	26.4	11.7	1.7	19.3	16.5
	第4学年	62.0	61.8	28.9	30.8	12.5	31.3	21.1	13.4	1.2	25.0	16.9
	第5学年	51.3	57.5	30.9	38.7	13.1	41.8	15.4	8.8	4.8	27.8	16.5
	第6学年	51.8	57.4	28.1	47.2	10.8	38.7	16.1	11.1	3.7	25.3	17.0

1．「国語」の指導の中で，漢字の読み書きの指導を重視していますか。
1）非常に重視している　2）比較的重視している
3）あまり重視していない

		1	2	3	全体
全体		33.9	61.4	4.7	100.0
地域	秋田県	37.3	60.1	2.6	20.0
	奈良県	33.8	60.8	5.4	20.4
	東京都	32.8	62.0	5.2	59.6
性別	男性	31.0	62.2	6.7	35.0
	女性	35.4	60.9	3.6	65.0
年齢	25歳以下	27.0	68.1	5.0	5.5
	26～30歳	28.0	64.7	7.2	16.8
	31～35歳	25.3	71.0	3.7	21.2
	36～40歳	29.1	63.8	7.1	21.2
	41～45歳	36.9	58.6	4.5	12.3
	46～50歳	42.0	54.1	3.9	8.1
	51～55歳	49.2	50.8	0.0	9.3
	56歳以上	65.7	32.9	1.4	5.5
担任学年	第1学年	36.1	61.4	2.5	15.8
	第2学年	41.1	57.1	1.9	17.0
	第3学年	36.7	58.8	4.5	16.5
	第4学年	33.1	61.8	5.1	17.0
	第5学年	29.9	64.6	5.5	16.6
	第6学年	26.5	65.0	8.5	17.1

2．漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視していますか。
1）読みの指導　2）書きの指導　3）両方同じ程度

		1	2	3	全体
全体		9.5	52.7	37.9	100.0
地域	秋田県	9.7	56.7	33.6	20.3
	奈良県	7.7	52.3	40.1	20.6
	東京都	10.0	51.4	38.6	59.1
性別	男性	11.3	55.1	33.6	35.0
	女性	8.4	51.4	40.2	65.0
年齢	25歳以下	6.6	65.4	27.9	5.5
	26～30歳	5.5	63.1	31.4	16.8
	31～35歳	9.5	56.1	34.4	21.4
	36～40歳	7.3	53.4	39.3	21.0
	41～45歳	12.4	47.1	40.5	12.4
	46～50歳	12.9	45.0	42.1	8.2
	51～55歳	14.0	35.4	50.7	9.2
	56歳以上	13.2	44.9	41.9	5.5
担任学年	第1学年	10.5	44.4	45.2	15.9
	第2学年	8.2	50.4	41.5	16.9
	第3学年	8.6	54.3	37.0	16.4
	第4学年	8.8	55.1	36.0	17.0
	第5学年	11.7	57.0	31.3	16.6
	第6学年	8.7	55.0	36.3	17.3

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
①教科書を音読して，児童に聞かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		62.9	32.6	4.6	100.0
地域	秋田県	61.7	34.4	3.9	20.0
	奈良県	58.7	36.9	4.4	20.4
	東京都	64.7	30.5	4.8	59.6
性別	男性	55.9	37.7	6.4	34.9
	女性	66.7	29.7	3.6	65.1
年齢	25歳以下	56.7	39.0	4.3	5.5
	26～30歳	58.7	35.0	6.3	16.8
	31～35歳	62.7	32.7	4.6	21.2
	36～40歳	63.9	31.2	4.8	21.1
	41～45歳	64.4	31.1	4.4	12.4
	46～50歳	67.6	27.5	4.8	8.1
	51～55歳	66.9	30.1	3.0	9.3
	56歳以上	61.0	38.3	0.7	5.5
担任学年	第1学年	73.5	24.0	2.5	15.9
	第2学年	68.1	28.9	3.0	17.0
	第3学年	65.0	30.5	4.5	16.5
	第4学年	58.9	35.3	5.8	17.0
	第5学年	57.2	37.5	5.2	16.6
	第6学年	54.7	39.0	6.2	17.0

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
②漢字の読み方を指導してから，児童に教科書を音読させる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		64.4	27.9	7.7	100.0
地域	秋田県	65.5	28.4	6.1	20.0
	奈良県	65.0	27.9	7.1	20.4
	東京都	63.8	27.7	8.5	59.5
性別	男性	52.8	34.2	13.0	34.9
	女性	70.5	24.5	5.0	65.1
年齢	25歳以下	51.1	36.9	12.1	5.5
	26～30歳	59.9	31.0	9.1	16.9
	31～35歳	59.8	30.4	9.8	21.2
	36～40歳	65.2	27.0	7.8	21.1
	41～45歳	69.9	24.7	5.4	12.3
	46～50歳	73.4	21.3	5.3	8.1
	51～55歳	70.5	25.3	4.2	9.3
	56歳以上	69.5	24.8	5.7	5.5
担任学年	第1学年	78.2	18.9	3.0	15.9
	第2学年	72.7	21.8	5.6	17.0
	第3学年	65.2	27.6	7.1	16.5
	第4学年	62.1	29.8	8.1	16.9
	第5学年	55.6	34.0	10.5	16.6
	第6学年	53.1	34.9	12.0	17.1

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
③文脈から漢字の読み方を想像させて，児童に教科書を音読させる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		16.0	45.3	38.7	100.0
地域	秋田県	14.8	48.0	37.2	20.0
	奈良県	13.5	42.9	43.6	20.4
	東京都	17.3	45.2	37.5	59.6
性別	男性	15.3	44.4	40.3	34.9
	女性	16.4	45.7	37.9	65.1
年齢	25歳以下	9.9	33.3	56.7	5.6
	26～30歳	8.2	38.4	53.4	16.8
	31～35歳	10.9	40.7	48.4	21.3
	36～40歳	14.3	50.7	35.0	21.2
	41～45歳	19.2	48.9	31.9	12.3
	46～50歳	23.8	50.0	26.2	8.1
	51～55歳	24.9	54.5	20.6	9.2
	56歳以上	38.3	45.4	16.3	5.6
担任学年	第1学年	17.4	43.7	39.0	15.9
	第2学年	14.2	40.7	45.1	17.0
	第3学年	12.9	51.1	36.0	16.5
	第4学年	15.9	46.9	37.3	16.9
	第5学年	16.4	46.0	37.6	16.6
	第6学年	19.0	44.0	37.0	17.1

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
④黒板に漢字の読み方を書いて，児童に示す。
1）よくする　2）ときどきする
3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		61.5	28.4	10.1	100.0
地域	秋田県	66.3	26.8	6.9	20.0
	奈良県	65.0	27.6	7.4	20.3
	東京都	58.6	29.3	12.1	59.7
性別	男性	49.2	36.5	14.3	34.9
	女性	68.1	24.1	7.8	65.1
年齢	25歳以下	56.7	29.1	14.2	5.6
	26～30歳	57.8	32.1	10.1	16.8
	31～35歳	57.7	30.1	12.2	21.3
	36～40歳	58.0	29.5	12.5	21.1
	41～45歳	58.7	30.4	10.9	12.3
	46～50歳	73.8	22.3	3.9	8.1
	51～55歳	73.6	21.3	5.1	9.3
	56歳以上	72.9	22.9	4.3	5.5
担任学年	第1学年	75.2	19.6	5.2	16.0
	第2学年	80.3	15.3	4.4	17.0
	第3学年	70.3	22.7	7.0	16.4
	第4学年	57.2	30.8	11.9	16.9
	第5学年	46.4	38.1	15.5	16.6
	第6学年	40.0	43.8	16.2	17.1

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑤授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		20.8	45.5	33.7	100.0
地域	秋田県	23.0	46.9	30.1	19.9
	奈良県	15.6	42.7	41.7	20.5
	東京都	21.9	45.9	32.2	59.5
性別	男性	17.6	45.2	37.2	35.0
	女性	22.5	45.6	31.9	65.0
年齢	25歳以下	14.2	39.0	46.8	5.6
	26～30歳	13.1	39.8	47.1	16.9
	31～35歳	16.0	42.9	41.2	21.3
	36～40歳	16.8	47.3	35.9	21.1
	41～45歳	24.4	49.0	26.6	12.3
	46～50歳	31.7	45.9	22.4	8.1
	51～55歳	36.9	53.2	9.9	9.2
	56歳以上	34.3	50.7	15.0	5.5
担任学年	第1学年	20.3	49.9	29.8	16.0
	第2学年	22.1	41.7	36.1	17.0
	第3学年	26.3	45.8	28.0	16.4
	第4学年	21.9	48.6	29.5	17.0
	第5学年	16.5	46.2	37.3	16.6
	第6学年	17.7	40.9	41.4	17.0

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑥授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		16.6	39.0	44.5	100.0
地域	秋田県	13.5	43.7	42.7	19.9
	奈良県	11.8	34.6	53.7	20.5
	東京都	19.2	38.9	41.9	59.7
性別	男性	18.7	48.3	33.0	35.1
	女性	15.4	33.9	50.7	64.9
年齢	25歳以下	9.9	24.1	66.0	5.6
	26～30歳	12.6	39.4	48.0	16.9
	31～35歳	12.1	39.0	49.0	21.3
	36～40歳	18.5	37.9	43.6	21.1
	41～45歳	21.2	44.1	34.7	12.3
	46～50歳	15.7	40.2	44.1	8.1
	51～55歳	24.5	37.3	38.2	9.2
	56歳以上	23.0	46.0	30.9	5.5
担任学年	第1学年	11.4	37.9	50.8	15.7
	第2学年	4.2	6.8	89.0	17.0
	第3学年	7.5	20.2	72.3	16.4
	第4学年	24.1	60.1	15.8	17.1
	第5学年	22.8	52.7	24.5	16.7
	第6学年	28.4	55.0	16.6	17.2

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑦カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		29.0	36.0	35.0	100.0
地域	秋田県	41.1	39.1	19.8	20.0
	奈良県	21.3	31.7	46.9	20.5
	東京都	27.5	36.5	36.0	59.5
性別	男性	16.2	34.4	49.4	34.9
	女性	35.8	36.9	27.3	65.1
年齢	25歳以下	17.7	44.7	37.6	5.5
	26～30歳	24.5	34.1	41.4	16.8
	31～35歳	21.8	36.2	42.0	21.3
	36～40歳	25.7	32.3	42.0	21.1
	41～45歳	31.4	40.4	28.2	12.3
	46～50歳	44.9	34.3	20.8	8.1
	51～55歳	42.2	37.6	20.3	9.3
	56歳以上	42.1	37.1	20.7	5.5
担任学年	第1学年	50.5	33.8	15.7	15.9
	第2学年	42.4	39.4	18.3	17.0
	第3学年	30.1	38.3	31.6	16.5
	第4学年	22.1	37.8	40.1	16.9
	第5学年	16.2	34.7	49.2	16.6
	第6学年	13.4	32.1	54.5	17.1

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑧前もって，家で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		24.8	37.8	37.4	100.0
地域	秋田県	21.8	44.4	33.8	20.0
	奈良県	29.7	30.1	40.3	20.4
	東京都	24.1	38.2	37.7	59.5
性別	男性	29.5	39.2	31.3	35.0
	女性	22.2	37.0	40.7	65.0
年齢	25歳以下	17.0	31.2	51.8	5.6
	26～30歳	22.4	34.3	43.2	16.9
	31～35歳	23.3	33.6	43.1	21.3
	36～40歳	24.4	35.8	39.7	21.1
	41～45歳	26.5	44.1	29.4	12.3
	46～50歳	21.4	43.2	35.4	8.1
	51～55歳	32.5	43.5	24.1	9.3
	56歳以上	34.8	47.1	18.1	5.4
担任学年	第1学年	19.4	38.6	42.0	15.9
	第2学年	7.7	28.9	63.4	16.9
	第3学年	12.9	40.5	46.5	16.5
	第4学年	21.6	42.9	35.5	17.0
	第5学年	38.8	39.3	21.9	16.6
	第6学年	47.0	37.3	15.7	17.1

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑨漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		36.5	16.8	46.8	100.0
地域	秋田県	17.5	18.8	63.7	19.9
	奈良県	55.3	12.2	32.5	20.4
	東京都	36.4	17.6	46.0	59.7
性別	男性	27.9	17.4	54.6	35.0
	女性	41.0	16.4	42.6	65.0
年齢	25歳以下	25.5	10.6	63.8	5.6
	26～30歳	35.4	12.6	52.0	16.9
	31～35歳	42.8	15.2	42.0	21.3
	36～40歳	42.8	16.4	40.8	21.2
	41～45歳	38.8	15.7	45.5	12.3
	46～50歳	32.5	19.7	47.8	8.0
	51～55歳	25.0	25.4	49.6	9.2
	56歳以上	21.6	26.6	51.8	5.5
担任学年	第1学年	28.8	21.8	49.4	15.8
	第2学年	39.8	11.6	48.6	17.0
	第3学年	36.9	17.3	45.8	16.5
	第4学年	41.7	17.1	41.2	16.9
	第5学年	33.7	18.2	48.1	16.6
	第6学年	37.4	15.0	47.6	17.2

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
①黒板に漢字を書いて，児童に見せる。
1）よくする　2）ときどきする
3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		80.9	17.0	2.1	100.0
地域	秋田県	85.1	13.9	1.0	20.1
	奈良県	85.4	12.9	1.7	20.4
	東京都	77.9	19.5	2.6	59.5
性別	男性	70.6	25.9	3.5	34.9
	女性	86.4	12.3	1.3	65.1
年齢	25歳以下	85.1	12.1	2.8	5.5
	26～30歳	81.4	16.1	2.6	16.8
	31～35歳	81.3	16.5	2.2	21.2
	36～40歳	77.5	19.4	3.2	21.1
	41～45歳	80.6	18.4	1.0	12.4
	46～50歳	83.5	15.5	1.0	8.1
	51～55歳	81.0	18.6	0.4	9.3
	56歳以上	83.0	14.9	2.1	5.5
担任学年	第1学年	94.8	5.0	0.2	15.8
	第2学年	96.3	3.5	0.2	17.0
	第3学年	90.2	8.8	1.0	16.5
	第4学年	81.0	18.1	0.9	17.0
	第5学年	66.7	29.5	3.8	16.5
	第6学年	57.3	36.7	6.0	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
②どのような形から組み立てられているかを説明する。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		40.6	50.4	9.0	100.0
地域	秋田県	36.7	53.5	9.8	20.0
	奈良県	37.2	50.9	11.9	20.4
	東京都	43.0	49.2	7.8	59.6
性別	男性	30.5	55.0	14.5	34.9
	女性	46.0	47.9	6.1	65.1
年齢	25歳以下	27.0	53.2	19.9	5.5
	26～30歳	33.9	53.3	12.9	16.8
	31～35歳	37.9	52.3	9.8	21.2
	36～40歳	43.2	46.7	10.1	21.1
	41～45歳	38.4	56.2	5.4	12.4
	46～50歳	49.5	45.6	4.9	8.1
	51～55歳	47.7	48.9	3.4	9.3
	56歳以上	54.6	41.8	3.5	5.5
担任学年	第1学年	50.9	44.7	4.5	15.9
	第2学年	54.3	43.2	2.6	17.0
	第3学年	43.2	49.9	6.9	16.5
	第4学年	38.4	53.0	8.6	17.0
	第5学年	29.7	54.4	15.9	16.6
	第6学年	27.7	57.0	15.2	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
③画数を数えさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		60.5	28.6	11.0	100.0
地域	秋田県	57.1	32.7	10.2	20.0
	奈良県	66.3	22.3	11.3	20.4
	東京都	59.6	29.3	11.1	59.6
性別	男性	40.2	40.3	19.4	34.9
	女性	71.4	22.1	6.5	65.1
年齢	25歳以下	50.4	27.7	22.0	5.5
	26～30歳	56.2	27.7	16.1	16.8
	31～35歳	58.6	29.2	12.2	21.2
	36～40歳	61.3	27.0	11.7	21.1
	41～45歳	60.0	32.7	7.3	12.4
	46～50歳	68.6	23.7	7.7	8.1
	51～55歳	69.6	27.8	2.5	9.3
	56歳以上	61.0	34.8	4.3	5.5
担任学年	第1学年	82.6	15.4	2.0	15.9
	第2学年	78.7	16.2	5.1	17.0
	第3学年	70.2	23.1	6.7	16.5
	第4学年	60.0	30.1	10.0	17.0
	第5学年	43.7	41.1	15.2	16.6
	第6学年	29.0	44.5	26.5	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
④手や指で，空中に漢字を書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		60.0	21.8	18.2	100.0
地域	秋田県	60.1	22.4	17.5	20.0
	奈良県	63.5	18.5	18.0	20.4
	東京都	58.8	22.6	18.5	59.6
性別	男性	38.4	28.5	33.0	34.9
	女性	71.6	18.1	10.3	65.1
年齢	25歳以下	53.2	22.0	24.8	5.5
	26～30歳	59.1	18.9	22.0	16.8
	31～35歳	60.2	20.2	19.6	21.2
	36～40歳	61.3	20.4	18.2	21.2
	41～45歳	59.4	22.4	18.2	12.3
	46～50歳	61.7	25.2	13.1	8.1
	51～55歳	63.3	22.8	13.9	9.3
	56歳以上	57.6	33.1	9.4	5.5
担任学年	第1学年	86.0	10.3	3.8	15.8
	第2学年	83.8	11.8	4.4	17.0
	第3学年	72.6	17.6	9.8	16.6
	第4学年	55.1	28.6	16.3	17.0
	第5学年	37.6	32.1	30.2	16.6
	第6学年	27.0	29.3	43.8	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑤教科書を見させて，教科書の形どおりに漢字を書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		39.8	35.1	25.2	100.0
地域	秋田県	35.8	42.3	21.9	20.1
	奈良県	39.7	31.5	28.8	20.3
	東京都	41.1	33.8	25.0	59.6
性別	男性	35.2	39.2	25.6	35.1
	女性	42.2	32.8	25.0	64.9
年齢	25歳以下	33.3	41.1	25.5	5.6
	26～30歳	31.9	36.8	31.4	16.9
	31～35歳	35.9	33.3	30.9	21.2
	36～40歳	40.7	33.8	25.4	21.1
	41～45歳	39.2	38.5	22.3	12.4
	46～50歳	42.4	33.2	24.4	8.1
	51～55歳	55.8	29.6	14.6	9.2
	56歳以上	52.5	39.6	7.9	5.5
担任学年	第1学年	46.1	28.8	25.1	15.8
	第2学年	45.0	32.4	22.6	17.0
	第3学年	45.9	32.3	21.8	16.6
	第4学年	39.8	37.2	23.0	16.9
	第5学年	32.3	39.0	28.7	16.7
	第6学年	30.2	39.9	29.9	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑥授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		26.8	41.7	31.6	100.0
地域	秋田県	24.2	46.5	29.3	20.0
	奈良県	23.1	36.0	41.0	20.4
	東京都	28.9	42.1	29.1	59.6
性別	男性	24.9	40.7	34.4	35.0
	女性	27.7	42.3	30.0	65.0
年齢	25歳以下	27.7	42.6	29.8	5.5
	26～30歳	28.4	38.9	32.6	16.9
	31～35歳	26.8	41.0	32.2	21.3
	36～40歳	25.0	39.9	35.2	21.1
	41～45歳	25.2	42.7	32.2	12.3
	46～50歳	25.6	43.5	30.9	8.1
	51～55歳	28.7	43.5	27.8	9.3
	56歳以上	29.5	51.1	19.4	5.5
担任学年	第1学年	31.0	46.7	22.3	15.9
	第2学年	38.0	43.5	18.5	17.0
	第3学年	33.6	42.9	23.6	16.5
	第4学年	24.5	40.9	34.6	16.9
	第5学年	16.6	39.7	43.7	16.6
	第6学年	17.3	36.9	45.9	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑦家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		47.8	37.2	15.0	100.0
地域	秋田県	33.2	46.6	20.2	20.0
	奈良県	60.7	27.9	11.4	20.4
	東京都	48.3	37.3	14.5	59.6
性別	男性	44.4	38.7	17.0	35.0
	女性	49.7	36.4	13.9	65.0
年齢	25歳以下	44.0	41.1	14.9	5.5
	26～30歳	48.5	35.9	15.6	16.9
	31～35歳	55.1	32.0	12.9	21.3
	36～40歳	49.7	37.4	12.8	21.1
	41～45歳	45.9	38.9	15.3	12.3
	46～50歳	41.7	42.2	16.0	8.1
	51～55歳	36.6	45.1	18.3	9.2
	56歳以上	45.7	32.9	21.4	5.5
担任学年	第1学年	43.3	43.0	13.7	15.9
	第2学年	43.6	41.8	14.6	17.0
	第3学年	52.0	34.8	13.1	16.5
	第4学年	49.1	35.8	15.1	17.0
	第5学年	49.2	35.6	15.2	16.6
	第6学年	49.7	32.8	17.6	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑧漢字を使った熟語をつくらせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		45.9	43.6	10.5	100.0
地域	秋田県	32.8	55.2	12.0	20.0
	奈良県	63.1	28.7	8.3	20.5
	東京都	44.4	44.8	10.8	59.5
性別	男性	33.4	52.1	14.5	35.0
	女性	52.6	39.1	8.3	65.0
年齢	25歳以下	28.4	43.3	28.4	5.5
	26～30歳	38.3	48.1	13.6	16.8
	31～35歳	50.6	39.9	9.4	21.3
	36～40歳	50.8	38.2	11.0	21.1
	41～45歳	48.4	46.2	5.4	12.4
	46～50歳	42.2	49.5	8.3	8.1
	51～55歳	51.5	42.6	6.0	9.2
	56歳以上	40.0	52.1	7.9	5.5
担任学年	第1学年	52.6	38.2	9.2	15.9
	第2学年	48.3	36.4	15.3	17.0
	第3学年	44.4	43.0	12.6	16.5
	第4学年	46.2	45.2	8.6	16.9
	第5学年	37.1	54.0	8.8	16.6
	第6学年	47.1	44.8	8.1	17.1

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑨漢字を使った短文をつくらせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		37.0	45.7	17.3	100.0
地域	秋田県	26.0	54.4	19.5	20.0
	奈良県	46.4	37.9	15.7	20.4
	東京都	37.4	45.5	17.1	59.6
性別	男性	24.8	51.2	23.9	35.0
	女性	43.5	42.8	13.7	65.0
年齢	25歳以下	25.0	39.3	35.7	5.5
	26～30歳	31.8	46.3	22.0	16.9
	31～35歳	38.6	43.0	18.4	21.3
	36～40歳	41.7	43.2	15.1	21.1
	41～45歳	38.3	46.3	15.3	12.3
	46～50歳	37.6	48.8	13.7	8.1
	51～55歳	41.1	49.6	9.3	9.3
	56歳以上	29.5	58.3	12.2	5.5
担任学年	第1学年	44.6	44.6	10.8	15.8
	第2学年	45.2	42.0	12.8	17.0
	第3学年	38.0	43.1	18.9	16.5
	第4学年	37.4	46.2	16.5	17.0
	第5学年	26.1	49.4	24.5	16.5
	第6学年	31.3	48.6	20.1	17.1

4. 教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑩漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		36.0	17.8	46.2	100.0
地域	秋田県	14.7	20.0	65.3	20.1
	奈良県	57.4	13.3	29.3	20.2
	東京都	35.9	18.6	45.5	59.7
性別	男性	26.7	18.0	55.4	35.3
	女性	41.0	17.7	41.3	64.7
年齢	25歳以下	26.1	10.1	63.8	5.6
	26～30歳	35.2	14.0	50.7	17.0
	31～35歳	45.4	15.8	38.8	21.3
	36～40歳	42.9	19.2	37.9	21.3
	41～45歳	32.6	21.3	46.2	12.2
	46～50歳	31.6	18.9	49.5	7.9
	51～55歳	24.2	22.5	53.3	9.2
	56歳以上	18.0	22.6	59.4	5.4
担任学年	第1学年	31.0	21.2	47.8	15.7
	第2学年	39.0	12.7	48.3	17.0
	第3学年	35.3	18.5	46.2	16.5
	第4学年	40.4	18.5	41.1	16.9
	第5学年	34.1	18.6	47.2	16.8
	第6学年	35.7	17.6	46.7	17.1

5. 新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導していますか。（複数回答可）
1）全部　2）これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字　3）児童の生活の中で，よく使われる漢字　4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		71.5	53.5	27.8	0.8	100.0
地域	秋田県	67.8	55.5	30.9	0.4	20.0
	奈良県	71.2	56.7	28.1	1.2	20.3
	東京都	72.9	51.7	26.7	0.8	59.6
性別	男性	70.2	51.5	30.4	0.8	34.9
	女性	72.3	54.5	26.5	0.8	65.1
年齢	25歳以下	74.5	46.8	19.1	0.0	5.5
	26～30歳	70.7	53.3	25.2	0.7	16.9
	31～35歳	72.3	52.2	25.5	0.9	21.2
	36～40歳	71.5	51.8	24.2	0.6	21.2
	41～45歳	70.5	51.4	30.5	0.6	12.3
	46～50歳	73.9	56.0	29.0	1.9	8.1
	51～55歳	68.8	59.5	37.6	0.8	9.3
	56歳以上	71.6	62.4	43.3	0.7	5.5
担任学年	第1学年	72.7	50.2	27.3	0.5	16.1
	第2学年	79.4	50.2	26.9	0.2	16.9
	第3学年	80.2	49.3	24.3	0.5	16.5
	第4学年	69.4	56.0	28.2	1.4	16.9
	第5学年	66.7	54.9	25.9	0.7	16.5
	第6学年	61.3	60.1	34.3	1.4	17.0

6. 新出漢字の読みを指導するとき，同一時間内に，その漢字の書きも指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		57.0	32.5	10.5	100.0
地域	秋田県	58.0	36.1	5.9	20.0
	奈良県	62.9	28.5	8.5	20.3
	東京都	54.7	32.7	12.6	59.7
性別	男性	53.5	36.9	9.6	35.1
	女性	58.9	30.2	10.9	64.9
年齢	25歳以下	56.5	37.0	6.5	5.4
	26～30歳	60.7	30.2	9.1	16.8
	31～35歳	59.6	30.1	10.4	21.3
	36～40歳	54.1	33.0	12.9	21.1
	41～45歳	56.9	33.2	9.9	12.3
	46～50歳	50.2	35.1	14.6	8.1
	51～55歳	57.6	34.3	8.1	9.3
	56歳以上	56.7	34.8	8.5	5.6
担任学年	第1学年	66.8	25.9	7.2	15.9
	第2学年	57.2	31.9	10.9	17.0
	第3学年	57.1	34.3	8.6	16.6
	第4学年	60.5	29.7	9.8	16.9
	第5学年	50.1	36.8	13.1	16.6
	第6学年	50.2	37.0	12.8	17.0

7. 読み替え漢字の中で，どのような漢字に重点を置いて指導していますか。（複数回答可）
1）全部　2）これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字　3）児童の生活の中で，よく使われる漢字　4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		48.8	58.5	38.0	0.4	100.0
地域	秋田県	44.3	61.3	41.0	0.4	20.0
	奈良県	46.2	62.5	37.7	0.4	20.3
	東京都	51.1	56.2	37.0	0.4	59.6
性別	男性	45.7	58.9	37.4	0.3	34.9
	女性	50.4	58.3	38.2	0.4	65.1
年齢	25歳以下	48.2	49.6	32.6	0.0	5.5
	26～30歳	47.1	57.5	36.0	0.0	16.9
	31～35歳	45.0	57.7	39.5	0.4	21.2
	36～40歳	47.1	56.7	36.0	0.7	21.2
	41～45歳	48.3	61.6	39.4	0.3	12.3
	46～50歳	55.6	59.9	34.8	0.0	8.1
	51～55歳	52.3	63.7	43.0	0.8	9.3
	56歳以上	60.3	62.4	44.0	0.7	5.5
担任学年	第1学年	53.4	57.1	34.1	0.5	16.1
	第2学年	56.5	52.1	39.8	0.0	16.9
	第3学年	52.1	56.7	39.3	0.5	16.5
	第4学年	48.6	58.1	39.1	0.0	16.9
	第5学年	42.5	62.2	35.9	0.7	16.5
	第6学年	39.9	65.0	39.9	0.7	17.0

8. その学年ですでに指導した漢字や，下の学年に配当されている漢字を指導することがありますか。
1) よくある
2) ときどきある
3) ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		21.9	66.4	11.7	100.0
地域	秋田県	19.6	71.7	8.6	20.0
	奈良県	18.9	68.3	12.7	20.4
	東京都	23.6	64.0	12.4	59.6
性別	男性	24.0	64.9	11.1	35.0
	女性	20.7	67.2	12.1	65.0
年齢	25歳以下	19.1	73.8	7.1	5.6
	26～30歳	18.7	72.0	9.3	16.9
	31～35歳	16.3	70.7	13.0	21.3
	36～40歳	19.9	64.1	16.0	21.1
	41～45歳	23.3	66.8	9.9	12.3
	46～50歳	27.3	62.0	10.7	8.1
	51～55歳	29.8	60.0	10.2	9.3
	56歳以上	38.3	51.1	10.6	5.6
担任学年	第1学年	21.5	66.5	12.0	15.8
	第2学年	22.3	67.3	10.4	17.0
	第3学年	22.4	66.6	11.0	16.5
	第4学年	21.9	66.5	11.6	17.0
	第5学年	20.9	65.8	13.3	16.6
	第6学年	22.0	66.0	12.0	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
8-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)
1) 教科書に出てきた漢字全部 2) これまでの経験から，児童にとって習得が難しい漢字 3) 児童の生活の中で，よく使われる漢字 4) その他 (　　)

		1	2	3	4	全体
全体		19.9	74.5	34.7	1.2	100.0
地域	秋田県	12.9	76.8	38.5	1.3	20.7
	奈良県	17.0	75.4	32.3	1.8	20.2
	東京都	23.3	73.4	34.1	1.1	59.1
性別	男性	20.7	71.5	36.4	1.3	35.2
	女性	19.5	76.1	33.7	1.2	64.8
年齢	25歳以下	9.9	77.1	42.7	0.8	5.8
	26～30歳	14.4	73.5	33.5	2.3	17.3
	31～35歳	17.4	74.3	32.3	1.3	21.0
	36～40歳	20.2	74.9	29.0	1.3	20.1
	41～45歳	23.8	77.3	34.4	0.7	12.6
	46～50歳	24.6	73.8	38.3	0.0	8.2
	51～55歳	24.2	73.0	38.9	1.4	9.4
	56歳以上	32.5	71.4	46.8	0.8	5.6
担任学年	第1学年	21.9	70.7	35.5	0.9	15.7
	第2学年	20.2	75.9	33.4	0.5	17.3
	第3学年	22.8	74.8	30.3	1.1	16.7
	第4学年	19.5	75.8	35.5	1.3	17.0
	第5学年	19.2	74.0	35.6	1.6	16.3
	第6学年	16.3	75.8	37.4	2.1	17.0

9. 上の学年に配当されている漢字や，小学校に配当されていない常用漢字を，教科書には出てこなくても，指導することがありますか。
1) よくある 2) ときどきある
3) ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		5.9	58.3	35.9	100.0
地域	秋田県	4.5	57.6	37.9	20.1
	奈良県	4.8	58.1	37.0	20.4
	東京都	6.7	58.5	34.8	59.5
性別	男性	8.2	58.5	33.3	35.1
	女性	4.6	58.1	37.2	64.9
年齢	25歳以下	3.5	52.5	44.0	5.6
	26～30歳	4.0	59.2	36.9	16.8
	31～35歳	5.4	58.8	35.8	21.3
	36～40歳	5.2	57.9	36.9	21.1
	41～45歳	7.3	60.2	32.5	12.4
	46～50歳	5.4	55.6	39.0	8.1
	51～55歳	5.6	62.0	32.5	9.2
	56歳以上	16.5	54.0	29.5	5.5
担任学年	第1学年	5.5	51.1	43.4	15.8
	第2学年	4.2	52.8	43.0	17.0
	第3学年	5.5	62.2	32.3	16.5
	第4学年	6.3	62.0	31.7	16.9
	第5学年	7.1	59.1	33.7	16.7
	第6学年	6.5	62.0	31.5	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
9-1. どのような漢字を指導しますか。(複数回答可)
1) 人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字 2) 児童が興味を持ちそうな漢字
3) その他 (　　)

		1	2	3	全体
全体		87.4	48.2	3.3	100.0
地域	秋田県	87.3	47.8	1.9	19.5
	奈良県	85.5	43.7	3.7	20.0
	東京都	88.1	49.8	3.7	60.5
性別	男性	84.8	51.5	3.9	36.5
	女性	88.9	46.4	3.0	63.5
年齢	25歳以下	84.8	39.2	3.8	4.9
	26～30歳	89.6	48.0	2.2	16.6
	31～35歳	89.6	43.4	4.0	21.3
	36～40歳	86.4	45.1	3.3	20.8
	41～45歳	86.3	51.4	2.4	13.1
	46～50歳	85.6	57.6	1.6	7.7
	51～55歳	84.8	53.8	5.1	9.7
	56歳以上	88.8	56.1	5.1	6.0
担任学年	第1学年	85.8	48.7	2.2	14.0
	第2学年	82.4	51.8	3.3	15.1
	第3学年	89.4	50.9	3.2	17.5
	第4学年	86.6	45.4	4.5	18.0
	第5学年	89.6	48.0	3.9	17.2
	第6学年	89.9	45.6	2.7	18.3

9-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
1）ほとんど読みだけ　2）書きも指導するが，読みのほうが多い　3）読み書き同じ程度　4）読みも指導するが，書きのほうが多い　5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		41.7	42.9	10.9	4.3	0.2	100.0
地域	秋田県	39.0	44.3	9.8	6.9	0.0	20.1
	奈良県	42.0	46.3	9.7	2.0	0.0	19.7
	東京都	42.6	41.2	11.6	4.3	0.3	60.2
性別	男性	35.1	46.0	14.5	4.1	0.4	35.5
	女性	45.5	41.1	8.9	4.5	0.1	64.5
年齢	25歳以下	41.9	44.6	10.8	2.7	0.0	4.9
	26～30歳	45.0	44.2	7.0	3.9	0.0	17.0
	31～35歳	43.3	41.7	11.6	3.1	0.3	21.0
	36～40歳	43.7	43.1	6.8	6.4	0.0	20.5
	41～45歳	39.2	43.2	14.1	3.0	0.5	13.1
	46～50歳	36.4	46.6	13.6	3.4	0.0	7.8
	51～55歳	41.4	40.1	15.8	2.6	0.0	10.0
	56歳以上	33.0	39.8	14.8	11.4	1.1	5.8
担任学年	第1学年	48.8	38.5	7.5	5.2	0.0	14.1
	第2学年	53.8	31.8	11.2	2.7	0.4	14.7
	第3学年	44.2	41.3	10.8	3.7	0.0	17.7
	第4学年	39.2	45.8	9.9	4.8	0.4	18.0
	第5学年	33.8	48.1	13.1	5.0	0.0	17.2
	第6学年	34.2	48.6	12.2	4.7	0.4	18.3

10．常用漢字表に示された漢字以外の漢字を指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		3.7	41.6	54.8	100.0
地域	秋田県	3.0	39.3	57.7	20.0
	奈良県	1.9	44.0	54.1	20.4
	東京都	4.5	41.5	54.0	59.6
性別	男性	5.1	46.3	48.6	35.0
	女性	2.9	39.0	58.1	65.0
年齢	25歳以下	0.0	31.4	68.6	5.5
	26～30歳	2.1	41.0	56.9	16.9
	31～35歳	3.1	39.1	57.8	21.4
	36～40歳	3.9	43.1	53.0	21.2
	41～45歳	4.8	46.0	49.2	12.3
	46～50歳	3.0	39.9	57.1	8.0
	51～55歳	3.5	44.2	52.4	9.1
	56歳以上	12.3	45.7	42.0	5.5
担任学年	第1学年	4.3	36.5	59.2	15.8
	第2学年	1.4	23.8	74.8	17.0
	第3学年	3.1	37.3	59.6	16.5
	第4学年	3.3	47.0	49.8	17.0
	第5学年	4.8	53.0	42.3	16.7
	第6学年	5.4	51.7	42.9	17.0

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
10-1．どのような漢字を指導しますか。（複数回答可）
1）人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる漢字　2）児童が興味を持ちそうな漢字
3）その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		87.5	42.4	1.7	100.0
地域	秋田県	85.4	43.7	1.4	18.6
	奈良県	86.5	35.4	1.3	20.7
	東京都	88.5	44.4	2.0	60.6
性別	男性	86.1	46.7	2.0	39.8
	女性	88.5	39.5	1.6	60.2
年齢	25歳以下	77.3	40.9	2.3	3.8
	26～30歳	90.8	44.0	2.2	16.1
	31～35歳	88.2	39.5	2.2	19.9
	36～40歳	89.3	38.1	0.8	22.0
	41～45歳	82.3	44.9	2.5	13.8
	46～50歳	88.5	52.9	1.1	7.6
	51～55歳	89.1	41.8	0.0	9.6
	56歳以上	85.0	46.3	3.8	7.0
担任学年	第1学年	85.8	43.8	1.9	14.2
	第2学年	85.2	47.2	2.8	9.5
	第3学年	90.5	46.4	1.2	14.7
	第4学年	87.9	44.7	2.3	18.8
	第5学年	87.2	37.4	1.6	21.3
	第6学年	87.3	39.6	1.2	21.5

10-2．読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
1）ほとんど読みだけ　2）書きも指導するが，読みのほうが多い　3）読み書き同じ程度　4）読みも指導するが，書きのほうが多い　5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		50.4	38.9	9.2	1.5	0.0	100.0
地域	秋田県	48.2	42.1	7.6	2.0	0.0	19.0
	奈良県	47.7	39.4	11.5	1.4	0.0	21.0
	東京都	52.0	37.7	8.8	1.4	0.0	60.0
性別	男性	46.2	41.0	11.1	1.7	0.0	39.1
	女性	53.2	37.5	7.9	1.4	0.0	60.9
年齢	25歳以下	56.1	31.7	12.2	0.0	0.0	3.9
	26～30歳	51.5	39.2	8.2	1.2	0.0	16.5
	31～35歳	50.2	38.5	10.2	1.0	0.0	19.7
	36～40歳	55.0	37.2	5.6	2.2	0.0	22.3
	41～45歳	50.7	37.3	9.9	2.1	0.0	13.7
	46～50歳	49.4	44.4	6.2	0.0	0.0	7.8
	51～55歳	42.7	42.7	12.6	1.9	0.0	9.9
	56歳以上	40.6	40.6	15.6	3.1	0.0	6.2
担任学年	第1学年	50.6	40.3	7.8	1.3	0.0	14.9
	第2学年	56.3	33.3	10.4	0.0	0.0	9.3
	第3学年	52.3	38.6	7.2	2.0	0.0	14.8
	第4学年	50.3	38.6	10.2	1.0	0.0	19.0
	第5学年	51.6	38.6	8.8	0.9	0.0	20.8
	第6学年	45.2	41.2	10.4	3.2	0.0	21.3

11．新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓(読み方）だけでなく，ほかの音訓も指導することがありますか。

1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		29.2	52.1	18.7	100.0
地域	秋田県	18.6	58.2	23.1	20.1
	奈良県	32.9	48.4	18.6	20.4
	東京都	31.6	51.2	17.2	59.5
性別	男性	28.3	51.9	19.8	35.0
	女性	29.7	52.2	18.1	65.0
年齢	25歳以下	19.4	56.1	24.5	5.5
	26～30歳	26.0	53.9	20.1	16.9
	31～35歳	29.7	52.5	17.8	21.3
	36～40歳	29.7	54.6	15.6	21.2
	41～45歳	32.2	48.1	19.7	12.4
	46～50歳	33.7	50.7	15.6	8.1
	51～55歳	29.1	49.1	21.8	9.2
	56歳以上	32.6	46.4	21.0	5.4
担任学年	第1学年	27.8	54.8	17.5	15.8
	第2学年	27.6	50.7	21.7	16.9
	第3学年	30.0	50.4	19.7	16.5
	第4学年	30.1	52.7	17.2	17.0
	第5学年	31.0	51.7	17.4	16.6
	第6学年	29.3	52.4	18.2	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

11-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1）その漢字の常用漢字表の音訓全部　2）児童の生活の中で，よく使われる音訓　3）その他(　　)

		1	2	3	全体
全体		15.5	85.6	1.7	100.0
地域	秋田県	6.9	93.1	1.0	19.0
	奈良県	18.3	82.4	2.6	20.4
	東京都	17.2	84.3	1.5	60.6
性別	男性	16.7	83.7	1.4	34.5
	女性	14.8	86.6	1.8	65.5
年齢	25歳以下	6.7	90.5	2.9	5.1
	26～30歳	12.6	88.6	1.5	16.6
	31～35歳	17.4	83.3	1.8	21.5
	36～40歳	18.7	82.8	0.7	22.0
	41～45歳	15.1	86.5	1.6	12.2
	46～50歳	12.7	87.3	1.7	8.4
	51～55歳	14.2	89.1	2.2	8.9
	56歳以上	19.3	81.7	3.7	5.3
担任学年	第1学年	18.2	86.1	0.9	16.1
	第2学年	11.0	89.6	1.8	16.3
	第3学年	14.6	88.1	2.7	16.3
	第4学年	16.1	84.8	0.8	17.3
	第5学年	12.4	84.1	2.0	16.9
	第6学年	20.6	81.4	1.4	17.2

12．読み替え漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，それまでに指導した音訓も指導することがありますか。

1）よくある　　2）ときどきある

3）ほとんどない　　↗

		1	2	3	全体
全体		30.4	58.4	11.1	100.0
地域	秋田県	25.6	63.7	10.7	20.0
	奈良県	33.6	53.7	12.7	20.4
	東京都	31.0	58.3	10.7	59.6
性別	男性	28.0	59.5	12.4	34.9
	女性	31.8	57.8	10.4	65.1
年齢	25歳以下	27.9	60.7	11.4	5.5
	26～30歳	28.6	62.0	9.4	16.8
	31～35歳	29.9	58.6	11.5	21.2
	36～40歳	31.4	57.2	11.3	21.2
	41～45歳	29.0	59.6	11.5	12.4
	46～50歳	34.0	57.3	8.7	8.1
	51～55歳	30.5	56.8	12.7	9.3
	56歳以上	35.0	51.4	13.6	5.5
担任学年	第1学年	34.5	57.0	8.5	15.8
	第2学年	33.2	54.8	12.1	17.0
	第3学年	33.2	56.8	10.0	16.5
	第4学年	28.7	58.7	12.6	16.9
	第5学年	27.0	61.1	11.9	16.5
	第6学年	27.0	62.0	11.1	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

12-1．どのような音訓を指導しますか。(複数回答可)

1）それまでに指導した音訓全部　2）これまでの経験から，児童にとって習得が難しい音訓　3）児童の生活の中で，よく使われる音訓　4）その他(　　)

		1	2	3	4	全体
全体		23.7	56.6	48.6	0.3	100.0
地域	秋田県	18.3	60.7	52.1	0.2	20.1
	奈良県	27.4	56.4	44.7	0.4	20.0
	東京都	24.3	55.3	48.7	0.3	59.9
性別	男性	21.7	56.9	49.8	0.4	34.4
	女性	24.9	56.5	48.0	0.3	65.6
年齢	25歳以下	25.0	53.2	51.6	0.0	5.5
	26～30歳	26.4	55.4	49.2	0.3	17.1
	31～35歳	24.1	54.7	47.0	0.6	21.1
	36～40歳	25.2	53.7	47.2	0.2	21.1
	41～45歳	24.8	59.0	45.3	0.4	12.3
	46～50歳	19.7	57.4	51.1	0.5	8.3
	51～55歳	15.5	64.6	52.4	0.0	9.1
	56歳以上	24.8	62.8	52.9	0.0	5.4
担任学年	第1学年	26.8	57.9	44.8	0.5	16.3
	第2学年	26.6	53.0	47.8	0.0	16.8
	第3学年	27.9	56.2	50.1	0.3	16.7
	第4学年	24.0	54.7	50.9	0.0	16.7
	第5学年	16.5	56.4	52.0	0.5	16.4
	第6学年	20.7	61.4	46.1	0.5	17.1

13．常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		5.0	45.4	49.6	100.0
地域	秋田県	1.6	46.2	52.3	20.0
	奈良県	5.6	39.5	54.9	20.4
	東京都	6.0	47.1	46.9	59.6
性別	男性	6.3	47.3	46.3	34.9
	女性	4.3	44.3	51.4	65.1
年齢	25歳以下	1.4	36.4	62.1	5.5
	26～30歳	3.5	41.5	54.9	16.8
	31～35歳	5.2	47.2	47.6	21.3
	36～40歳	6.1	46.3	47.6	21.2
	41～45歳	6.1	46.9	46.9	12.3
	46～50歳	3.9	48.5	47.5	8.0
	51～55歳	4.2	45.3	50.4	9.3
	56歳以上	8.6	47.1	44.3	5.5
担任学年	第1学年	6.0	47.3	46.8	15.8
	第2学年	3.0	30.9	66.0	17.0
	第3学年	4.8	42.7	52.5	16.5
	第4学年	3.5	47.6	49.0	17.0
	第5学年	6.4	52.9	40.7	16.6
	第6学年	6.5	50.6	43.0	17.1

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
13-1．どのような音訓を指導しますか。（複数回答可）
1）人名や地名などに使われていて，児童の目によくふれる音訓　2）児童が興味を持ちそうな音訓
3）その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		82.9	44.3	1.1	100.0
地域	秋田県	80.2	47.5	0.4	19.0
	奈良県	82.4	36.5	1.7	18.2
	東京都	83.8	45.6	1.1	62.8
性別	男性	80.6	51.1	1.5	37.1
	女性	84.3	40.4	0.9	62.9
年齢	25歳以下	83.0	50.9	0.0	4.2
	26～30歳	89.6	41.1	0.5	15.0
	31～35歳	82.0	40.6	1.8	22.2
	36～40歳	83.0	42.6	1.1	22.1
	41～45歳	77.0	46.7	1.2	12.9
	46～50歳	80.4	54.2	1.9	8.4
	51～55歳	82.1	41.9	0.0	9.2
	56歳以上	85.9	52.6	1.3	6.1
担任学年	第1学年	79.8	42.3	0.9	16.7
	第2学年	79.5	45.9	2.1	11.5
	第3学年	83.3	49.0	2.0	15.6
	第4学年	86.3	42.0	0.9	17.2
	第5学年	82.7	43.0	0.8	19.6
	第6学年	84.6	44.9	0.4	19.4

14．新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがありますか。
1）よくある　　2）ときどきある
3）ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		80.8	16.8	2.4	100.0
地域	秋田県	83.1	15.9	1.0	20.0
	奈良県	82.4	14.1	3.5	20.4
	東京都	79.4	18.0	2.6	59.6
性別	男性	68.4	27.5	4.1	35.0
	女性	87.4	11.0	1.6	65.0
年齢	25歳以下	75.0	22.1	2.9	5.5
	26～30歳	79.9	18.0	2.1	16.8
	31～35歳	82.0	14.1	3.9	21.3
	36～40歳	77.0	20.3	2.8	21.2
	41～45歳	81.4	17.0	1.6	12.3
	46～50歳	83.5	14.6	1.9	8.1
	51～55歳	86.8	12.8	0.4	9.3
	56歳以上	83.5	14.4	2.2	5.5
担任学年	第1学年	94.8	4.7	0.5	15.9
	第2学年	96.3	2.3	1.4	17.0
	第3学年	90.4	8.4	1.2	16.5
	第4学年	81.1	17.3	1.6	16.9
	第5学年	66.4	29.8	3.8	16.6
	第6学年	56.3	37.7	6.0	17.1

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
14-1．辞書によって筆順が違う漢字がありますが，そのことについて困ることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		6.1	41.8	52.1	100.0
地域	秋田県	4.9	41.3	53.8	20.7
	奈良県	6.1	41.6	52.3	20.3
	東京都	6.5	42.1	51.4	59.0
性別	男性	6.1	45.3	48.6	34.5
	女性	6.1	40.0	53.9	65.5
年齢	25歳以下	5.5	35.9	58.6	5.6
	26～30歳	3.8	40.7	55.5	17.3
	31～35歳	7.1	40.2	52.7	21.0
	36～40歳	5.3	42.6	52.0	20.6
	41～45歳	6.8	41.3	52.0	12.4
	46～50歳	6.2	40.4	53.4	7.8
	51～55歳	6.6	43.7	49.8	9.4
	56歳以上	9.8	54.1	36.1	5.9
担任学年	第1学年	8.0	34.0	57.9	16.5
	第2学年	5.9	34.4	59.7	16.5
	第3学年	6.3	43.1	50.7	16.9
	第4学年	5.2	45.6	49.2	17.1
	第5学年	4.6	49.7	45.7	16.3
	第6学年	6.6	44.2	49.2	16.7

15．同じ漢字について，何度も筆順を指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		20.3	56.2	23.6	100.0
地域	秋田県	25.0	60.2	14.8	20.0
	奈良県	19.8	57.8	22.5	20.4
	東京都	18.9	54.3	26.9	59.6
性別	男性	17.1	50.8	32.1	35.1
	女性	22.0	59.1	18.9	64.9
年齢	25歳以下	10.0	63.6	26.4	5.5
	26～30歳	20.9	55.3	23.8	16.8
	31～35歳	18.4	56.9	24.7	21.2
	36～40歳	14.5	56.8	28.7	21.2
	41～45歳	24.2	51.0	24.8	12.4
	46～50歳	20.5	60.5	19.0	8.1
	51～55歳	31.9	53.2	14.9	9.3
	56歳以上	29.1	56.7	14.2	5.6
担任学年	第1学年	30.0	54.5	15.5	15.8
	第2学年	31.1	58.6	10.3	16.9
	第3学年	20.3	62.8	16.9	16.6
	第4学年	16.1	60.8	23.1	17.0
	第5学年	12.2	51.6	36.3	16.6
	第6学年	12.2	48.7	39.0	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

15-1．どのような漢字について，何度も筆順を指導しますか。（複数回答可）
1）画数の多い漢字　2）画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字　3）その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		22.1	92.2	0.9	100.0
地域	秋田県	22.6	92.6	0.7	22.3
	奈良県	19.0	93.0	0.8	20.6
	東京都	23.0	91.7	1.0	57.0
性別	男性	19.1	89.2	1.0	31.1
	女性	23.5	93.5	0.8	68.9
年齢	25歳以下	16.5	95.1	0.0	5.3
	26～30歳	16.7	93.5	1.2	16.7
	31～35歳	17.8	92.3	1.0	20.9
	36～40歳	21.1	93.2	0.8	19.8
	41～45歳	21.6	91.1	0.0	12.2
	46～50歳	25.3	94.0	0.6	8.6
	51～55歳	32.0	87.5	2.0	10.3
	56歳以上	38.8	89.3	0.8	6.2
担任学年	第1学年	25.7	92.6	1.2	17.5
	第2学年	31.5	91.7	1.3	19.9
	第3学年	23.3	92.8	0.3	18.0
	第4学年	17.3	93.6	0.3	17.1
	第5学年	15.7	90.6	1.5	13.8
	第6学年	14.4	90.9	0.8	13.7

16．児童の筆順が指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい，という意見があります。この意見に賛成ですか。
1）賛成（筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい）　2）反対（指導した筆順以外の筆順は認めるべきではない）　3）分からない　4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		42.5	30.0	24.4	3.1	100.0
地域	秋田県	35.3	36.1	26.1	2.6	20.0
	奈良県	31.0	37.1	28.5	3.3	20.3
	東京都	48.8	25.6	22.4	3.2	59.7
性別	男性	46.3	26.7	24.8	2.2	34.9
	女性	40.5	31.7	24.2	3.6	65.1
年齢	25歳以下	28.8	28.1	40.3	2.9	5.5
	26～30歳	31.1	29.6	35.8	3.5	16.9
	31～35歳	33.9	29.4	33.3	3.4	21.2
	36～40歳	49.9	25.2	21.1	3.8	21.2
	41～45歳	48.9	31.7	15.5	3.9	12.3
	46～50歳	52.9	34.3	11.8	1.0	8.1
	51～55歳	46.9	38.6	12.7	1.8	9.1
	56歳以上	58.2	29.8	9.9	2.1	5.6
担任学年	第1学年	41.0	35.9	20.9	2.3	15.7
	第2学年	33.6	33.8	28.9	3.7	17.2
	第3学年	40.0	32.3	25.3	2.4	16.6
	第4学年	48.1	26.3	23.0	2.6	16.9
	第5学年	45.5	26.3	24.3	3.9	16.6
	第6学年	46.6	25.8	23.9	3.7	17.1

17．指導した筆順とは違った筆順で漢字を書いている児童を見たとき，指導した筆順で書くように注意をすることがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		54.6	44.1	1.3	100.0
地域	秋田県	58.4	41.0	0.6	20.1
	奈良県	59.5	39.7	0.8	20.3
	東京都	51.6	46.6	1.8	59.6
性別	男性	43.5	54.1	2.4	34.9
	女性	60.6	38.6	0.8	65.1
年齢	25歳以下	40.0	57.1	2.9	5.5
	26～30歳	51.4	47.7	0.9	16.8
	31～35歳	52.0	46.7	1.3	21.3
	36～40歳	46.5	52.2	1.3	21.2
	41～45歳	56.7	41.1	2.2	12.4
	46～50歳	68.8	30.7	0.5	8.1
	51～55歳	73.0	26.2	0.8	9.3
	56歳以上	63.1	35.5	1.4	5.5
担任学年	第1学年	66.7	32.8	0.5	15.9
	第2学年	67.4	32.3	0.2	17.0
	第3学年	57.3	41.3	1.4	16.5
	第4学年	50.5	48.1	1.4	16.9
	第5学年	44.2	53.7	2.1	16.6
	第6学年	42.2	55.5	2.3	17.1

18．ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		33.4	54.0	12.5	100.0
地域	秋田県	26.6	56.6	16.8	20.1
	奈良県	33.4	52.5	14.1	20.4
	東京都	35.7	53.7	10.5	59.5
性別	男性	28.3	59.5	12.2	35.1
	女性	36.3	51.1	12.6	64.9
年齢	25歳以下	17.5	56.9	25.5	5.5
	26～30歳	32.1	51.2	16.7	16.8
	31～35歳	32.1	56.8	11.1	21.4
	36～40歳	36.7	53.2	10.1	21.0
	41～45歳	33.2	58.3	8.5	12.3
	46～50歳	34.3	51.5	14.1	8.0
	51～55歳	39.1	51.5	9.4	9.4
	56歳以上	35.7	50.7	13.6	5.6
担任学年	第1学年	38.8	49.6	11.6	15.6
	第2学年	25.0	50.0	25.0	17.1
	第3学年	31.2	58.0	10.9	16.7
	第4学年	38.2	54.0	7.8	17.0
	第5学年	36.1	53.9	10.0	16.5
	第6学年	32.2	58.1	9.6	17.1

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
18-1．辞書によって，部首の立て方や呼び方や配列の仕方が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		8.2	55.8	36.0	100.0
地域	秋田県	6.0	52.9	41.1	19.1
	奈良県	9.9	60.9	29.2	20.3
	東京都	8.3	55.0	36.7	60.6
性別	男性	8.4	54.4	37.2	35.4
	女性	8.0	56.6	35.4	64.6
年齢	25歳以下	9.3	47.4	43.3	4.6
	26～30歳	8.3	52.8	38.9	16.2
	31～35歳	7.6	56.9	35.5	22.0
	36～40歳	9.3	56.4	34.4	21.7
	41～45歳	8.7	58.0	33.3	12.6
	46～50歳	8.6	54.0	37.4	7.8
	51～55歳	5.5	57.8	36.7	9.5
	56歳以上	7.6	59.3	33.1	5.6
担任学年	第1学年	9.6	55.9	34.6	15.5
	第2学年	6.3	48.4	45.4	14.5
	第3学年	8.1	55.6	36.2	17.0
	第4学年	7.5	60.4	32.1	17.9
	第5学年	7.6	58.7	33.7	17.0
	第6学年	9.8	55.2	35.0	18.0

19．漢字の字源について指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない ↗

		1	2	3	全体
全体		20.4	58.9	20.7	100.0
地域	秋田県	14.2	60.8	25.0	20.0
	奈良県	18.4	55.8	25.8	20.4
	東京都	23.1	59.3	17.6	59.6
性別	男性	16.6	60.9	22.5	34.9
	女性	22.3	57.9	19.8	65.1
年齢	25歳以下	10.0	58.6	31.4	5.5
	26～30歳	12.5	60.0	27.5	16.8
	31～35歳	21.1	60.0	18.9	21.3
	36～40歳	23.8	56.7	19.5	21.2
	41～45歳	23.1	60.9	16.0	12.3
	46～50歳	26.2	58.3	15.5	8.1
	51～55歳	19.2	59.8	20.9	9.2
	56歳以上	25.7	55.0	19.3	5.5
担任学年	第1学年	27.6	55.3	17.1	15.7
	第2学年	26.1	52.9	21.0	17.0
	第3学年	16.0	64.0	20.0	16.6
	第4学年	20.7	58.5	20.7	17.0
	第5学年	16.5	61.6	22.0	16.6
	第6学年	15.9	60.8	23.3	17.2

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
19-1．辞書によって，字源の説明が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		4.0	43.6	52.3	100.0
地域	秋田県	2.7	38.8	58.5	19.0
	奈良県	5.3	46.9	47.7	19.3
	東京都	4.1	44.1	51.9	61.7
性別	男性	3.7	42.9	53.4	34.4
	女性	4.2	44.0	51.8	65.6
年齢	25歳以下	3.2	31.6	65.3	4.9
	26～30歳	3.3	39.3	57.4	15.6
	31～35歳	3.9	42.9	53.1	22.1
	36～40歳	5.0	43.4	51.7	21.6
	41～45歳	2.8	51.6	45.6	12.7
	46～50歳	6.0	42.5	51.5	8.6
	51～55歳	2.9	48.0	49.1	8.9
	56歳以上	5.5	46.4	48.2	5.6
担任学年	第1学年	5.0	41.7	53.3	16.5
	第2学年	3.6	38.4	58.0	17.0
	第3学年	2.8	48.0	49.2	16.8
	第4学年	5.2	46.2	48.6	16.9
	第5学年	2.5	46.7	50.8	16.3
	第6学年	5.3	41.0	53.7	16.5

20．長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の形どおりに書かなければいけない，と指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		56.3	36.2	7.5	100.0
地域	秋田県	58.8	35.3	5.8	20.2
	奈良県	60.9	33.2	5.9	20.5
	東京都	53.8	37.5	8.6	59.3
性別	男性	42.5	45.3	12.2	35.3
	女性	63.8	31.3	5.0	64.7
年齢	25歳以下	38.0	52.6	9.5	5.6
	26～30歳	51.9	37.9	10.1	16.8
	31～35歳	53.9	37.4	8.7	21.4
	36～40歳	54.2	37.7	8.1	21.0
	41～45歳	60.9	31.8	7.3	12.3
	46～50歳	60.7	34.8	4.5	8.2
	51～55歳	72.5	24.9	2.6	9.3
	56歳以上	61.3	35.0	3.6	5.6
担任学年	第1学年	64.2	30.0	5.7	15.6
	第2学年	69.8	27.1	3.1	17.0
	第3学年	59.6	35.5	4.9	16.7
	第4学年	53.1	39.5	7.4	17.0
	第5学年	46.0	43.0	11.0	16.6
	第6学年	45.7	41.4	12.9	17.1

21．あなたの担任している学級には，いわゆるマンガ文字を書く児童がいますか。
1）たくさんいる　2）まあまあいる
3）ほとんどいない

		1	2	3	全体
全体		4.2	35.7	60.1	100.0
地域	秋田県	4.2	32.1	63.7	19.9
	奈良県	2.1	28.0	69.8	20.4
	東京都	4.9	39.5	55.6	59.7
性別	男性	4.1	46.8	49.1	35.0
	女性	4.3	29.7	66.1	65.0
年齢	25歳以下	3.6	30.0	66.4	5.5
	26～30歳	3.3	38.9	57.8	16.9
	31～35歳	3.7	31.9	64.4	21.3
	36～40歳	4.7	40.3	55.0	21.2
	41～45歳	4.5	39.0	56.5	12.2
	46～50歳	6.8	30.0	63.3	8.2
	51～55歳	2.6	33.6	63.8	9.2
	56歳以上	5.8	33.1	61.2	5.5
担任学年	第1学年	3.8	14.6	81.7	15.8
	第2学年	3.0	8.4	88.6	17.0
	第3学年	2.2	23.5	74.3	16.5
	第4学年	3.0	45.6	51.4	17.0
	第5学年	4.5	53.8	41.7	16.6
	第6学年	8.3	66.2	25.5	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
21-1．マンガ文字を書く児童は，男子と女子とでは，どちらが多いですか。
1）ほとんど男子だけ　2）女子もいるが，男子のほうが多い　3）男子と女子とで同じぐらい　4）男子もいるが，女子のほうが多い　5）ほとんど女子だけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		1.9	4.9	11.7	34.7	46.8	100.0
地域	秋田県	2.2	7.1	8.8	31.3	50.5	18.4
	奈良県	3.9	3.9	13.0	37.7	41.6	15.6
	東京都	1.4	4.4	12.3	35.0	46.9	66.0
性別	男性	1.4	2.9	7.0	39.7	49.0	44.7
	女性	2.4	6.4	15.4	30.8	45.1	55.3
年齢	25歳以下	0.0	4.3	8.5	29.8	57.4	4.8
	26～30歳	2.2	2.8	9.6	32.6	52.8	18.0
	31～35歳	1.1	3.2	10.5	36.3	48.9	19.2
	36～40歳	1.7	2.5	14.4	33.5	47.9	23.9
	41～45歳	2.3	6.2	4.7	34.9	51.9	13.1
	46～50歳	1.3	5.3	20.0	37.3	36.0	7.6
	51～55歳	3.7	13.4	14.6	34.1	34.1	8.3
	56歳以上	3.9	11.8	15.7	43.1	25.5	5.2
担任学年	第1学年	2.8	9.9	22.5	40.8	23.9	7.2
	第2学年	2.2	4.3	41.3	23.9	28.3	4.7
	第3学年	0.0	8.6	13.3	33.3	44.8	10.7
	第4学年	3.9	2.4	12.7	29.3	51.7	20.8
	第5学年	2.1	6.6	6.2	38.4	46.7	24.6
	第6学年	1.0	2.9	7.6	36.2	52.4	32.0

21-2．マンガ文字を書く児童に対して，マンガ文字を書かないように指導することがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		49.5	40.2	10.4	100.0
地域	秋田県	39.2	51.1	9.7	18.6
	奈良県	61.1	34.0	4.9	15.2
	東京都	49.7	38.5	11.8	66.2
性別	男性	42.7	46.3	11.0	46.1
	女性	55.4	34.8	9.8	53.9
年齢	25歳以下	31.8	54.5	13.6	4.7
	26～30歳	45.4	44.8	9.8	18.4
	31～35歳	54.7	37.0	8.3	19.1
	36～40歳	45.1	44.6	10.3	23.7
	41～45歳	54.4	32.8	12.8	13.2
	46～50歳	55.7	32.9	11.4	7.4
	51～55歳	52.6	33.3	14.1	8.2
	56歳以上	54.0	42.0	4.0	5.3
担任学年	第1学年	54.7	39.1	6.3	6.8
	第2学年	57.6	36.4	6.1	3.5
	第3学年	45.5	46.5	7.9	10.7
	第4学年	51.0	34.8	14.1	21.0
	第5学年	47.3	43.0	9.7	25.1
	第6学年	49.7	39.7	10.6	32.9

22．国語辞典を持っている児童は，学級にどのくらいいますか。
1）ほとんどの児童が持っている　2）半分くらいの児童が持っている　3）ほとんどの児童が持っていない　4）どのくらいの児童が持っているか分からない

		1	2	3	4	全体
全体		44.6	14.6	17.7	23.1	100.0
地域	秋田県	35.5	19.2	25.9	19.4	20.1
	奈良県	54.4	10.2	11.6	23.8	20.4
	東京都	44.3	14.6	17.1	24.1	59.6
性別	男性	57.0	18.3	12.6	12.1	35.4
	女性	37.9	12.5	20.6	29.0	64.6
年齢	25歳以下	35.0	14.3	26.4	24.3	5.6
	26～30歳	43.4	17.7	17.5	21.5	17.0
	31～35歳	46.7	12.2	15.6	25.5	21.3
	36～40歳	50.3	11.2	17.3	21.3	21.1
	41～45歳	45.9	15.0	15.0	24.1	12.3
	46～50歳	36.5	16.3	22.7	24.6	8.1
	51～55歳	38.2	17.5	21.5	22.8	9.1
	56歳以上	47.8	19.9	12.5	19.9	5.4
担任学年	第1学年	13.1	7.3	36.6	43.1	15.4
	第2学年	4.3	7.1	36.9	51.8	17.0
	第3学年	12.1	25.4	23.2	39.3	16.3
	第4学年	72.9	19.4	5.6	2.1	17.2
	第5学年	77.1	16.2	3.1	3.6	16.8
	第6学年	82.9	12.0	3.2	1.8	17.4

23．漢和辞典を持っている児童は，学級にどのくらいいますか。
1）ほとんどの児童が持っている　2）半分くらいの児童が持っている　3）ほとんどの児童が持っていない　4）どのくらいの児童が持っているか分からない

		1	2	3	4	全体
全体		13.8	24.3	30.3	31.5	100.0
地域	秋田県	5.8	17.6	48.5	28.0	19.9
	奈良県	22.3	29.1	18.5	30.1	20.7
	東京都	13.6	24.9	28.4	33.1	59.4
性別	男性	17.0	29.9	30.1	22.9	35.6
	女性	12.1	21.2	30.5	36.2	64.4
年齢	25歳以下	8.0	18.2	40.9	32.8	5.7
	26～30歳	10.1	21.7	34.1	34.1	17.1
	31～35歳	16.7	23.0	25.7	34.7	21.5
	36～40歳	14.9	26.5	30.2	28.4	21.3
	41～45歳	19.3	27.1	25.1	28.5	12.2
	46～50歳	10.0	20.0	35.3	34.7	7.8
	51～55歳	8.7	28.0	33.9	29.4	9.0
	56歳以上	17.7	30.0	25.4	26.9	5.4
担任学年	第1学年	5.0	8.6	40.4	46.0	14.9
	第2学年	1.7	4.7	41.4	52.2	16.8
	第3学年	4.3	13.8	35.7	46.2	16.5
	第4学年	16.8	34.8	28.1	20.4	17.3
	第5学年	25.1	40.3	20.9	13.8	16.8
	第6学年	28.0	41.1	16.8	14.0	17.7

24．国語辞典の使い方を指導しますか。
1）よくする　2）ときどきする
3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		20.6	35.3	44.2	100.0
地域	秋田県	19.4	36.0	44.5	19.9
	奈良県	17.8	33.1	49.0	20.5
	東京都	21.9	35.8	42.4	59.6
性別	男性	21.6	46.5	31.9	35.4
	女性	20.0	29.1	50.9	64.6
年齢	25歳以下	16.7	29.7	53.6	5.6
	26～30歳	16.8	37.8	45.4	17.0
	31～35歳	15.5	35.2	49.2	21.2
	36～40歳	22.7	34.1	43.2	21.2
	41～45歳	22.7	42.0	35.3	12.1
	46～50歳	20.8	32.7	46.5	8.1
	51～55歳	24.6	30.7	44.7	9.2
	56歳以上	35.3	34.5	30.2	5.6
担任学年	第1学年	13.3	25.8	60.9	15.2
	第2学年	2.4	8.9	88.7	16.8
	第3学年	6.1	21.1	72.7	16.4
	第4学年	55.0	42.7	2.3	17.3
	第5学年	21.1	58.5	20.4	16.8
	第6学年	23.0	52.3	24.7	17.5

25．漢和辞典の使い方を指導しますか。
1）よくする　2）ときどきする
3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		7.9	31.3	60.9	100.0
地域	秋田県	3.5	27.5	69.0	19.9
	奈良県	9.6	28.7	61.8	20.8
	東京都	8.7	33.4	57.9	59.4
性別	男性	8.9	40.6	50.5	35.3
	女性	7.3	26.1	66.6	64.7
年齢	25歳以下	3.6	17.4	79.0	5.7
	26～30歳	5.1	24.9	70.0	17.1
	31～35歳	6.2	28.8	65.0	21.5
	36～40歳	9.1	33.8	57.1	21.4
	41～45歳	11.3	38.2	50.5	12.1
	46～50歳	5.8	35.8	58.4	7.9
	51～55歳	11.2	33.5	55.3	8.9
	56歳以上	13.1	39.2	47.7	5.4
担任学年	第1学年	8.2	23.7	68.1	14.7
	第2学年	1.5	5.2	93.4	16.9
	第3学年	2.5	14.7	82.8	16.7
	第4学年	10.5	35.4	54.1	17.3
	第5学年	12.8	54.8	32.4	16.9
	第6学年	11.4	51.7	37.0	17.5

26．授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせていますか。
1）自由に使わせている　2）指導して使わせている
3）使わせていない

		1	2	3	全体
全体		25.7	29.9	44.3	100.0
地域	秋田県	22.0	32.2	45.8	19.9
	奈良県	22.3	29.1	48.5	20.5
	東京都	28.1	29.5	42.4	59.6
性別	男性	34.0	35.2	30.8	35.2
	女性	21.2	27.1	51.7	64.8
年齢	25歳以下	15.0	27.1	57.9	5.6
	26～30歳	22.8	30.8	46.5	17.0
	31～35歳	23.6	30.3	46.1	21.3
	36～40歳	26.5	29.9	43.6	21.2
	41～45歳	31.4	31.7	36.9	12.2
	46～50歳	30.2	22.0	47.8	8.2
	51～55歳	27.5	31.0	41.5	9.1
	56歳以上	28.6	35.0	36.4	5.6
担任学年	第1学年	13.1	21.7	65.3	15.3
	第2学年	3.5	5.4	91.1	17.0
	第3学年	10.3	11.8	77.9	16.6
	第4学年	31.9	62.1	6.1	17.0
	第5学年	43.0	39.9	17.1	16.8
	第6学年	50.9	37.3	11.8	17.2

27．あなたは「国語」以外の教科の授業で，漢字の指導をすることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない ↙

		1	2	3	全体
全体		8.1	58.4	33.5	100.0
地域	秋田県	6.1	62.3	31.6	20.0
	奈良県	7.2	57.6	35.3	20.4
	東京都	9.0	57.4	33.6	59.7
性別	男性	9.2	58.8	32.1	35.0
	女性	7.5	58.2	34.3	65.0
年齢	25歳以下	5.0	51.1	43.9	5.5
	26～30歳	5.4	63.7	30.9	16.9
	31～35歳	4.8	58.6	36.6	21.2
	36～40歳	6.7	58.2	35.1	21.2
	41～45歳	11.5	54.2	34.3	12.3
	46～50歳	8.3	59.7	32.0	8.1
	51～55歳	13.6	62.1	24.3	9.3
	56歳以上	19.3	51.4	29.3	5.5
担任学年	第1学年	8.3	51.1	40.6	15.7
	第2学年	5.4	52.4	42.2	17.0
	第3学年	6.2	64.4	29.4	16.5
	第4学年	7.5	63.6	29.0	16.9
	第5学年	9.5	58.9	31.6	16.7
	第6学年	11.1	60.0	28.9	17.1

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
27-1．どのような教科の指導のときに，漢字の指導をしますか。指導をすると思われる教科を，いくつでもよいですから選んでください。
1）社会　2）算数　3）理科　4）音楽　5）図画工作　6）家庭　7）体育　8）道徳　9）特別活動

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	全体
全体		92.5	49.9	43.6	3.6	2.4	4.8	1.4	21.0	9.4	100.0
地域	秋田県	92.2	47.7	38.4	5.8	3.8	9.5	1.4	32.4	14.7	20.5
	奈良県	92.8	48.2	37.4	3.6	3.0	3.6	0.3	18.3	7.8	19.8
	東京都	92.4	51.3	47.4	2.9	1.7	3.6	1.8	18.0	8.2	59.6
性別	男性	93.3	42.4	47.9	2.3	2.7	4.2	3.3	22.0	11.8	35.7
	女性	92.0	54.1	41.2	4.3	2.2	5.2	0.4	20.5	8.1	64.3
年齢	25歳以下	87.2	44.9	32.1	1.3	0.0	3.8	1.3	16.7	5.1	4.6
	26～30歳	94.9	46.8	42.0	4.7	3.4	6.4	1.4	22.0	11.9	17.5
	31～35歳	93.8	45.5	43.7	2.1	1.5	2.9	1.5	15.5	7.3	20.2
	36～40歳	93.7	51.1	42.0	3.2	2.0	3.4	0.6	17.2	6.3	20.7
	41～45歳	91.7	56.6	50.7	3.4	1.5	4.9	2.4	18.5	6.8	12.2
	46～50歳	90.0	57.1	45.0	6.4	2.9	5.7	1.4	28.6	10.7	8.3
	51～55歳	88.2	47.2	42.7	4.5	2.2	6.7	1.7	31.5	12.9	10.6
	56歳以上	92.9	55.6	47.5	4.0	7.1	7.1	2.0	29.3	21.2	5.9
担任学年	第1学年	89.4	47.0	44.1	5.9	2.5	3.0	0.4	19.5	8.5	14.1
	第2学年	86.7	69.4	39.9	9.7	3.6	0.4	0.8	18.5	10.5	14.8
	第3学年	94.9	60.7	49.8	1.7	2.4	0.7	1.4	19.0	9.5	17.6
	第4学年	93.1	51.3	45.1	3.3	2.6	3.0	1.6	27.6	10.5	18.1
	第5学年	94.8	37.5	41.7	2.1	0.3	10.8	2.8	23.6	9.7	17.2
	第6学年	94.5	36.4	41.2	0.6	2.9	9.7	1.3	17.5	8.1	18.3

27-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
1）ほとんど読みだけ　2）書きも指導するが，読みのほうが多い　3）読み書き同じ程度　4）読みも指導するが，書きのほうが多い　5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		49.4	34.2	11.9	3.6	0.8	100.0
地域	秋田県	43.4	37.2	10.6	7.8	0.9	20.9
	奈良県	44.1	39.0	15.3	1.3	0.3	20.4
	東京都	53.4	31.6	11.1	2.9	1.0	58.7
性別	男性	42.6	39.1	11.9	4.8	1.5	35.1
	女性	53.1	31.7	11.9	2.9	0.5	64.9
年齢	25歳以下	40.3	36.1	16.7	6.9	0.0	4.7
	26～30歳	41.0	37.4	14.4	6.1	1.1	18.1
	31～35歳	49.5	35.0	13.6	1.5	0.3	21.1
	36～40歳	52.5	34.2	8.2	4.1	0.9	20.6
	41～45歳	54.3	32.1	12.0	1.1	0.5	12.0
	46～50歳	57.9	32.2	6.6	1.7	1.7	7.9
	51～55歳	54.5	31.2	9.1	4.5	0.6	10.0
	56歳以上	41.2	32.9	18.8	4.7	2.4	5.5
担任学年	第1学年	54.4	32.5	9.2	3.4	0.5	13.5
	第2学年	52.4	26.9	15.9	3.5	1.3	14.8
	第3学年	48.4	35.2	11.4	5.1	0.0	17.8
	第4学年	50.5	38.2	7.8	2.5	1.1	18.5
	第5学年	50.0	35.0	10.4	3.8	0.8	17.0
	第6学年	42.7	35.9	16.7	3.2	1.4	18.4

28．たとえば，毎週何分，毎日何分，毎授業時間何分のように，学校のなかで特別に時間を決めて，漢字の練習をさせていますか。
1）させている
2）させていない

		1	2	全体
全体		36.8	63.2	100.0
地域	秋田県	39.8	60.2	20.0
	奈良県	34.0	66.0	20.5
	東京都	36.7	63.3	59.5
性別	男性	37.9	62.1	34.8
	女性	36.2	63.8	65.2
年齢	25歳以下	32.1	67.9	5.6
	26～30歳	29.5	70.5	16.7
	31～35歳	36.0	64.0	21.2
	36～40歳	38.5	61.5	21.2
	41～45歳	40.3	59.7	12.3
	46～50歳	40.6	59.4	8.2
	51～55歳	40.3	59.7	9.3
	56歳以上	40.6	59.4	5.5
担任学年	第1学年	28.8	71.2	15.6
	第2学年	36.8	63.2	17.0
	第3学年	41.9	58.1	16.7
	第4学年	37.3	62.7	16.9
	第5学年	39.7	60.3	16.6
	第6学年	36.0	64.0	17.2

29．漢字のテストは，どういうときに行っていますか。
1）教科書の区切りのよいとき
2）毎日
3）毎週
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		45.7	14.6	29.0	10.7	100.0
地域	秋田県	60.7	9.6	23.2	6.5	20.0
	奈良県	38.8	18.7	28.6	13.9	20.3
	東京都	43.1	14.8	31.1	11.0	59.7
性別	男性	48.9	14.6	26.9	9.6	35.3
	女性	44.0	14.6	30.1	11.3	64.7
年齢	25歳以下	47.0	16.4	24.6	11.9	5.5
	26～30歳	51.0	13.2	24.3	11.5	17.0
	31～35歳	39.4	18.0	30.1	12.5	21.1
	36～40歳	43.2	13.9	32.0	10.8	21.1
	41～45歳	44.3	12.8	33.9	9.1	12.1
	46～50歳	47.3	14.4	27.4	10.9	8.2
	51～55歳	51.7	12.5	28.0	7.8	9.5
	56歳以上	52.9	14.0	25.7	7.4	5.5
担任学年	第1学年	46.4	13.7	29.0	11.0	15.2
	第2学年	55.7	13.5	24.6	6.2	17.2
	第3学年	41.7	14.6	33.0	10.7	16.5
	第4学年	44.6	13.1	29.1	13.3	16.9
	第5学年	43.6	15.6	28.7	12.2	16.8
	第6学年	42.4	16.7	30.4	10.6	17.4

30．漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いですか。
1）ほとんど読みだけ　2）書きもするが，読みのほうが多い　3）読み書き同じ程度　4）読みもするが，書きのほうが多い　5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		0.7	2.3	14.7	52.9	29.4	100.0
地域	秋田県	0.6	2.4	23.8	53.1	20.2	20.0
	奈良県	0.6	1.9	8.1	55.8	33.6	20.5
	東京都	0.7	2.3	14.0	51.9	31.1	59.6
性別	男性	0.5	2.3	15.1	45.5	36.7	35.0
	女性	0.8	2.2	14.5	57.0	25.6	65.0
年齢	25歳以下	0.7	4.3	15.7	38.6	40.7	5.5
	26～30歳	0.2	1.4	14.7	43.8	39.8	16.7
	31～35歳	0.7	2.2	12.6	52.9	31.5	21.3
	36～40歳	0.4	1.5	8.6	56.4	33.1	21.2
	41～45歳	1.3	1.0	14.0	60.2	23.6	12.4
	46～50歳	0.0	3.9	17.6	59.5	19.0	8.1
	51～55歳	0.4	2.6	25.2	56.0	15.8	9.2
	56歳以上	2.9	5.7	25.7	50.0	15.7	5.5
担任学年	第1学年	1.5	3.3	15.6	64.0	15.6	15.5
	第2学年	0.9	2.8	17.9	58.8	19.5	17.0
	第3学年	0.2	1.9	15.5	53.7	28.6	16.6
	第4学年	0.2	1.6	11.9	48.6	37.6	17.0
	第5学年	0.5	1.7	13.5	45.4	39.0	16.7
	第6学年	0.7	2.3	13.6	47.7	35.7	17.2

31．漢字の書き取りのテストで，児童の書いた漢字の字形の評価については，長短，とめ，はね，点の方向など，教科書にある形に従っていますか。
1）厳密に従っている　2）だいたい従っている
3）ほとんど従っていない

		1	2	3	全体
全体		26.5	71.6	1.9	100.0
地域	秋田県	27.3	71.0	1.6	19.8
	奈良県	28.2	70.6	1.2	20.7
	東京都	25.7	72.1	2.3	59.5
性別	男性	20.3	75.7	4.0	34.7
	女性	29.8	69.4	0.8	65.3
年齢	25歳以下	17.4	80.3	2.3	5.4
	26～30歳	25.3	72.0	2.7	16.7
	31～35歳	22.0	76.1	1.9	21.3
	36～40歳	22.5	76.2	1.3	21.2
	41～45歳	27.5	70.9	1.6	12.5
	46～50歳	32.2	64.9	3.0	8.2
	51～55歳	39.1	59.6	1.3	9.2
	56歳以上	40.4	58.1	1.5	5.5
担任学年	第1学年	29.6	69.0	1.3	15.4
	第2学年	31.6	68.0	0.5	16.9
	第3学年	26.0	72.5	1.5	16.6
	第4学年	24.5	73.4	2.1	17.2
	第5学年	25.4	71.2	3.4	16.6
	第6学年	22.3	75.1	2.6	17.2

32．教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがありますか。
1）よくある
2）ときどきある
3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		45.1	43.1	11.9	100.0
地域	秋田県	27.8	55.2	17.1	19.9
	奈良県	58.5	32.2	9.3	20.4
	東京都	46.3	42.7	11.0	59.6
性別	男性	38.1	45.7	16.1	35.1
	女性	48.9	41.5	9.6	64.9
年齢	25歳以下	31.4	52.1	16.4	5.5
	26～30歳	38.2	46.0	15.8	16.8
	31～35歳	46.7	41.5	11.7	21.3
	36～40歳	47.7	43.2	9.1	21.3
	41～45歳	47.1	42.7	10.2	12.4
	46～50歳	49.3	39.0	11.7	8.1
	51～55歳	45.9	41.6	12.6	9.1
	56歳以上	51.1	39.6	9.4	5.5
担任学年	第1学年	37.1	47.8	15.1	15.5
	第2学年	42.1	47.2	10.7	17.0
	第3学年	50.1	38.2	11.7	16.6
	第4学年	49.6	40.7	9.6	16.9
	第5学年	46.3	40.6	13.1	16.7
	第6学年	44.7	44.0	11.3	17.2

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
32-1．どのような課題を出しますか。(複数回答可)
1）漢字の書き取り練習　2）市販されている練習問題(集)　3）教師作成の練習問題(集)　4）その他(　)

		1	2	3	4	全体
全体		71.1	38.2	37.6	2.6	100.0
地域	秋田県	73.0	45.5	39.0	1.4	18.8
	奈良県	73.9	38.0	35.5	2.6	21.0
	東京都	69.6	36.0	37.9	3.1	60.2
性別	男性	67.6	41.5	32.6	3.0	33.4
	女性	73.0	36.6	40.1	2.5	66.6
年齢	25歳以下	67.5	41.0	30.8	0.9	5.3
	26～30歳	72.8	43.4	31.9	2.5	16.0
	31～35歳	70.7	33.8	33.8	3.8	21.3
	36～40歳	69.9	38.5	36.5	3.1	21.9
	41～45歳	72.0	35.8	42.9	1.8	12.7
	46～50歳	72.4	42.0	44.2	0.6	8.1
	51～55歳	72.8	38.6	43.1	3.0	9.1
	56歳以上	69.8	35.7	48.4	3.2	5.7
担任学年	第1学年	73.5	27.7	46.4	0.9	14.9
	第2学年	75.1	26.2	45.0	3.1	17.2
	第3学年	70.3	41.1	41.1	2.7	16.7
	第4学年	67.6	46.1	34.2	2.6	17.4
	第5学年	73.5	44.5	28.1	3.6	16.5
	第6学年	67.3	42.9	31.9	2.9	17.3

付録2　中学校国語教師用アンケート集計表

1　数字は，実数を省略し，百分率（パーセント）のみとした。四捨五入による誤差のため，合計が100.0にならない場合があるが，そのままとした。

2　調査対象の教師の属性（地域，性別，年齢）別の集計を基本とした。調査対象の教師の属性別の人数については，本章の第3節を参照されたい。

3　無回答（NA）は除外して集計した。しかし，どの質問も無回答の数はきわめて少なかったので，そのことによる影響はほとんどないと思われる。

1.「国語」の指導の中で，漢字の読み書きの指導を重視していますか。
1）非常に重視している　2）比較的重視している
3）あまり重視していない

		1	2	3	全体
全体		27.8	66.3	5.9	100.0
地域	秋田県	23.4	72.8	3.8	20.3
	奈良県	28.0	66.5	5.6	20.6
	東京都	29.3	64.0	6.7	59.1
性別	男性	32.6	59.5	7.9	42.4
	女性	24.3	71.3	4.5	57.6
年齢	25歳以下	26.6	69.6	3.8	10.1
	26～30歳	19.6	74.5	5.9	26.2
	31～35歳	21.9	68.4	9.6	14.6
	36～40歳	27.9	66.3	5.8	13.4
	41～45歳	23.5	67.1	9.4	10.9
	46～50歳	32.7	65.3	2.0	6.3
	51～55歳	45.7	51.1	3.2	12.1
	56歳以上	46.0	50.0	4.0	6.4

2. 漢字の読みの指導と書きの指導とでは，どちらを重視していますか。
1）読みの指導　2）書きの指導　3）両方同じ程度

		1	2	3	全体
全体		23.1	22.2	54.7	100.0
地域	秋田県	31.4	21.2	47.4	20.5
	奈良県	14.0	25.5	60.5	20.6
	東京都	23.4	21.4	55.1	58.9
性別	男性	27.4	24.0	48.6	42.2
	女性	20.0	20.9	59.1	57.8
年齢	25歳以下	22.8	24.1	53.2	10.4
	26～30歳	22.7	25.3	52.0	26.1
	31～35歳	16.2	24.3	59.5	14.6
	36～40歳	21.4	29.1	49.5	13.6
	41～45歳	29.3	15.9	54.9	10.8
	46～50歳	25.5	17.0	57.4	6.2
	51～55歳	25.6	15.6	58.9	11.8
	56歳以上	28.0	16.0	56.0	6.6

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
①教科書を音読して，生徒に聞かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		58.9	37.0	4.1	100.0
地域	秋田県	54.4	42.4	3.2	20.3
	奈良県	56.5	39.8	3.7	20.7
	東京都	61.2	34.2	4.6	59.0
性別	男性	58.5	37.0	4.5	42.4
	女性	59.2	37.1	3.8	57.6
年齢	25歳以下	57.0	43.0	0.0	10.2
	26～30歳	62.6	34.5	3.0	26.1
	31～35歳	60.5	33.3	6.1	14.7
	36～40歳	60.2	31.1	8.7	13.3
	41～45歳	54.1	45.9	0.0	10.9
	46～50歳	48.0	44.0	8.0	6.4
	51～55歳	63.8	33.0	3.2	12.1
	56歳以上	49.0	44.9	6.1	6.3

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
②漢字の読み方を指導してから，生徒に教科書を音読させる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		52.2	33.4	14.4	100.0
地域	秋田県	51.9	38.0	10.1	20.4
	奈良県	55.9	28.6	15.5	20.7
	東京都	51.0	33.5	15.5	58.9
性別	男性	53.0	31.1	15.9	42.3
	女性	51.6	35.0	13.4	57.7
年齢	25歳以下	49.4	32.9	17.7	10.2
	26～30歳	46.8	35.5	17.7	26.2
	31～35歳	50.9	32.5	16.7	14.7
	36～40歳	53.8	30.8	15.4	13.4
	41～45歳	46.4	40.5	13.1	10.8
	46～50歳	58.0	34.0	8.0	6.5
	51～55歳	60.2	32.3	7.5	12.0
	56歳以上	66.7	22.9	10.4	6.2

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
③文脈から漢字の読み方を想像させて，生徒に教科書を音読させる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		21.1	51.3	27.6	100.0
地域	秋田県	16.5	57.0	26.6	20.3
	奈良県	22.4	44.1	33.5	20.7
	東京都	22.2	51.9	25.9	59.0
性別	男性	20.1	50.5	29.5	42.3
	女性	21.8	51.9	26.3	57.7
年齢	25歳以下	17.7	36.7	45.6	10.2
	26～30歳	17.2	55.7	27.1	26.1
	31～35歳	18.4	49.1	32.5	14.7
	36～40歳	23.1	48.1	28.8	13.4
	41～45歳	27.1	47.1	25.9	10.9
	46～50歳	20.0	62.0	18.0	6.4
	51～55歳	28.7	54.3	17.0	12.1
	56歳以上	20.8	58.3	20.8	6.2

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
④黒板に漢字の読み方を書いて，生徒に示す。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		34.7	47.7	17.6	100.0
地域	秋田県	24.7	55.7	19.6	20.3
	奈良県	39.1	47.8	13.0	20.7
	東京都	36.6	44.9	18.5	59.0
性別	男性	34.0	46.8	19.1	42.3
	女性	35.2	48.3	16.5	57.7
年齢	25歳以下	31.6	46.8	21.5	10.2
	26～30歳	27.6	50.2	22.2	26.1
	31～35歳	37.7	41.2	21.1	14.7
	36～40歳	38.5	45.2	16.3	13.4
	41～45歳	35.3	49.4	15.3	10.9
	46～50歳	32.0	54.0	14.0	6.4
	51～55歳	40.4	46.8	12.8	12.1
	56歳以上	43.8	52.1	4.2	6.2

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑤授業中，教科書の巻末の漢字表で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		11.4	35.7	52.9	100.0
地域	秋田県	15.8	38.0	46.2	20.3
	奈良県	8.7	33.5	57.8	20.7
	東京都	10.9	35.7	53.5	59.1
性別	男性	11.8	34.8	53.3	42.4
	女性	11.1	36.3	52.6	57.6
年齢	25歳以下	2.5	20.3	77.2	10.2
	26～30歳	3.9	30.5	65.5	26.1
	31～35歳	11.4	31.6	57.0	14.7
	36～40歳	14.4	37.5	48.1	13.4
	41～45歳	14.1	41.2	44.7	10.9
	46～50歳	16.0	44.0	40.0	6.4
	51～55歳	19.1	51.1	29.8	12.1
	56歳以上	26.5	40.8	32.7	6.3

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑥授業中，辞書（国語辞典，漢和辞典）で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		23.0	45.6	31.4	100.0
地域	秋田県	36.7	51.3	12.0	20.3
	奈良県	11.2	37.9	50.9	20.7
	東京都	22.5	46.3	31.2	58.9
性別	男性	24.5	44.2	31.2	42.5
	女性	21.9	46.5	31.5	57.5
年齢	25歳以下	16.5	36.7	46.8	10.2
	26～30歳	16.8	42.6	40.6	26.0
	31～35歳	21.1	49.1	29.8	14.7
	36～40歳	25.0	50.0	25.0	13.4
	41～45歳	25.9	38.8	35.3	11.0
	46～50歳	22.0	56.0	22.0	6.4
	51～55歳	37.2	47.9	14.9	12.1
	56歳以上	27.1	52.1	20.8	6.2

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑦カードなどに漢字の読み方を書いて，掲示する。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		3.9	12.5	83.7	100.0
地域	秋田県	8.2	29.7	62.0	20.3
	奈良県	1.2	8.7	90.1	20.7
	東京都	3.3	7.8	88.9	59.1
性別	男性	3.9	10.9	85.2	42.4
	女性	3.8	13.6	82.6	57.6
年齢	25歳以下	0.0	3.8	96.2	10.2
	26～30歳	3.9	8.4	87.7	26.1
	31～35歳	1.8	9.6	88.6	14.7
	36～40歳	2.9	6.7	90.4	13.4
	41～45歳	2.4	23.5	74.1	10.9
	46～50歳	6.0	14.0	80.0	6.4
	51～55歳	9.6	27.7	62.8	12.1
	56歳以上	6.1	12.2	81.6	6.3

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑧前もって，家で調べさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		51.7	36.6	11.7	100.0
地域	秋田県	53.2	41.1	5.7	20.3
	奈良県	62.7	27.3	9.9	20.7
	東京都	47.3	38.3	14.4	59.0
性別	男性	50.2	37.7	12.2	42.3
	女性	52.8	35.9	11.4	57.7
年齢	25歳以下	57.7	21.8	20.5	10.0
	26～30歳	54.2	35.0	10.8	26.1
	31～35歳	57.0	33.3	9.6	14.7
	36～40歳	42.3	37.5	20.2	13.4
	41～45歳	38.8	51.8	9.4	10.9
	46～50歳	58.0	38.0	4.0	6.4
	51～55歳	50.0	42.6	7.4	12.1
	56歳以上	57.1	34.7	8.2	6.3

3．教科書に出てきた漢字の読みの指導をするとき，次のことをしますか。
⑨漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		25.9	16.1	57.9	100.0
地域	秋田県	19.1	17.2	63.7	20.3
	奈良県	46.3	10.6	43.1	20.6
	東京都	21.2	17.7	61.1	59.1
性別	男性	20.0	14.8	65.2	42.6
	女性	30.3	17.1	52.6	57.4
年齢	25歳以下	31.6	11.4	57.0	10.2
	26～30歳	25.7	14.4	59.9	26.1
	31～35歳	29.8	14.0	56.1	14.7
	36～40歳	24.0	15.4	60.6	13.4
	41～45歳	27.1	14.1	58.8	11.0
	46～50歳	24.5	28.6	46.9	6.3
	51～55歳	25.0	20.7	54.3	11.9
	56歳以上	14.3	20.4	65.3	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
①黒板に漢字を書いて，生徒に見せる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		48.0	43.5	8.5	100.0
地域	秋田県	40.5	51.3	8.2	20.3
	奈良県	60.9	32.3	6.8	20.7
	東京都	46.1	44.8	9.1	59.1
性別	男性	49.1	41.5	9.4	42.4
	女性	47.2	45.0	7.8	57.6
年齢	25歳以下	48.1	45.6	6.3	10.2
	26～30歳	44.3	43.8	11.8	26.1
	31～35歳	42.1	43.9	14.0	14.7
	36～40歳	48.1	46.2	5.8	13.4
	41～45歳	47.1	44.7	8.2	10.9
	46～50歳	50.0	46.0	4.0	6.4
	51～55歳	55.3	42.6	2.1	12.1
	56歳以上	61.2	30.6	8.2	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
②どのような形から組み立てられているかを説明する。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		16.7	59.2	24.1	100.0
地域	秋田県	17.1	61.4	21.5	20.3
	奈良県	16.1	57.1	26.7	20.7
	東京都	16.7	59.1	24.1	59.1
性別	男性	20.3	57.9	21.8	42.4
	女性	14.0	60.1	25.8	57.6
年齢	25歳以下	7.6	45.6	46.8	10.2
	26～30歳	10.3	59.1	30.5	26.1
	31～35歳	15.8	53.5	30.7	14.7
	36～40歳	18.3	64.4	17.3	13.4
	41～45歳	17.6	61.2	21.2	10.9
	46～50歳	22.0	70.0	8.0	6.4
	51～55歳	29.8	61.7	8.5	12.1
	56歳以上	24.5	63.3	12.2	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
③画数を数えさせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		10.5	45.3	44.2	100.0
地域	秋田県	16.5	60.1	23.4	20.3
	奈良県	18.6	50.3	31.1	20.7
	東京都	5.7	38.5	55.9	59.1
性別	男性	11.2	47.3	41.5	42.4
	女性	10.0	43.9	46.1	57.6
年齢	25歳以下	8.9	34.2	57.0	10.2
	26～30歳	4.9	39.9	55.2	26.1
	31～35歳	7.9	40.4	51.8	14.7
	36～40歳	8.7	39.4	51.9	13.4
	41～45歳	12.9	48.2	38.8	10.9
	46～50歳	16.0	70.0	14.0	6.4
	51～55歳	17.0	62.8	20.2	12.1
	56歳以上	24.5	46.9	28.6	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
④手や指で，空中に漢字を書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		4.7	21.4	73.8	100.0
地域	秋田県	5.7	38.0	56.3	20.3
	奈良県	5.0	26.7	68.3	20.7
	東京都	4.3	13.9	81.7	59.1
性別	男性	7.0	17.9	75.2	42.4
	女性	3.1	24.1	72.8	57.6
年齢	25歳以下	1.3	15.2	83.5	10.2
	26～30歳	1.5	13.8	84.7	26.1
	31～35歳	2.6	21.1	76.3	14.7
	36～40歳	5.8	21.2	73.1	13.4
	41～45歳	4.7	22.4	72.9	10.9
	46～50歳	12.0	30.0	58.0	6.4
	51～55歳	7.4	38.3	54.3	12.1
	56歳以上	14.3	22.4	63.3	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑤教科書の巻末の漢字表を見させて，その形どおりに書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		8.5	24.9	66.6	100.0
地域	秋田県	8.2	32.3	59.5	20.3
	奈良県	8.1	19.9	72.0	20.7
	東京都	8.7	24.2	67.1	59.0
性別	男性	8.2	26.1	65.7	42.3
	女性	8.7	24.1	67.3	57.7
年齢	25歳以下	3.8	16.5	79.7	10.2
	26～30歳	6.4	18.2	75.4	26.1
	31～35歳	8.0	16.8	75.2	14.5
	36～40歳	11.5	29.8	58.7	13.4
	41～45歳	16.5	24.7	58.8	10.9
	46～50歳	6.0	30.0	64.0	6.4
	51～55歳	8.5	42.6	48.9	12.1
	56歳以上	8.2	36.7	55.1	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑥授業中，同じ漢字を何回もノートに書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		13.5	32.2	54.3	100.0
地域	秋田県	13.3	32.9	53.8	20.3
	奈良県	13.0	25.5	61.5	20.7
	東京都	13.7	34.3	52.0	59.1
性別	男性	14.2	32.7	53.0	42.4
	女性	12.9	31.8	55.2	57.6
年齢	25歳以下	12.7	25.3	62.0	10.2
	26～30歳	15.3	26.6	58.1	26.1
	31～35歳	14.0	31.6	54.4	14.7
	36～40歳	13.5	36.5	50.0	13.4
	41～45歳	12.9	35.3	51.8	10.9
	46～50歳	12.0	24.0	64.0	6.4
	51～55歳	13.8	43.6	42.6	12.1
	56歳以上	8.2	40.8	51.0	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑦家で，同じ漢字を何回もノートに書かせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		32.7	39.4	27.9	100.0
地域	秋田県	17.7	48.1	34.2	20.3
	奈良県	39.4	31.3	29.4	20.6
	東京都	35.5	39.2	25.3	59.1
性別	男性	28.7	37.2	34.1	42.2
	女性	35.6	41.0	23.4	57.8
年齢	25歳以下	41.8	30.4	27.8	10.2
	26～30歳	37.6	39.1	23.3	26.0
	31～35歳	37.2	41.6	21.2	14.6
	36～40歳	30.8	34.6	34.6	13.4
	41～45歳	20.0	49.4	30.6	11.0
	46～50歳	30.0	48.0	22.0	6.4
	51～55歳	28.7	39.4	31.9	12.1
	56歳以上	24.5	34.7	40.8	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑧漢字を使った熟語をつくらせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		24.6	58.2	17.2	100.0
地域	秋田県	23.4	64.6	12.0	20.3
	奈良県	32.3	54.0	13.7	20.7
	東京都	22.2	57.5	20.3	59.0
性別	男性	22.2	58.7	19.1	42.3
	女性	26.3	57.9	15.8	57.7
年齢	25歳以下	26.9	46.2	26.9	10.0
	26～30歳	22.2	60.6	17.2	26.1
	31～35歳	28.9	50.0	21.1	14.7
	36～40歳	22.1	58.7	19.2	13.4
	41～45歳	18.8	63.5	17.6	10.9
	46～50歳	34.0	54.0	12.0	6.4
	51～55歳	24.5	66.0	9.6	12.1
	56歳以上	24.5	67.3	8.2	6.3

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑨漢字を使った短文をつくらせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		8.8	48.6	42.6	100.0
地域	秋田県	4.4	65.2	30.4	20.4
	奈良県	9.4	43.8	46.9	20.6
	東京都	10.1	44.6	45.3	59.0
性別	男性	9.1	48.5	42.4	42.3
	女性	8.5	48.5	42.7	57.7
年齢	25歳以下	9.0	32.1	59.0	10.1
	26～30歳	5.0	40.3	54.7	26.0
	31～35歳	9.6	42.1	48.2	14.7
	36～40歳	10.6	51.9	37.5	13.4
	41～45歳	5.9	54.1	40.0	11.0
	46～50歳	10.0	62.0	28.0	6.5
	51～55歳	12.8	69.1	18.1	12.1
	56歳以上	14.6	54.2	31.3	6.2

4．教科書に出てきた漢字の書きの指導をするとき，次のことをしますか。
⑩漢字の読み方や語例などを書かせた特別のノート（辞書）を作らせる。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		22.9	17.6	59.5	100.0
地域	秋田県	15.1	19.7	65.1	20.0
	奈良県	40.1	11.5	48.4	20.7
	東京都	19.5	19.1	61.4	59.3
性別	男性	18.1	17.1	64.8	42.2
	女性	26.4	18.0	55.6	57.8
年齢	25歳以下	33.8	7.8	58.4	10.1
	26～30歳	22.8	16.2	60.9	26.0
	31～35歳	26.1	19.8	54.1	14.6
	36～40歳	19.4	20.4	60.2	13.6
	41～45歳	25.3	16.9	57.8	10.9
	46～50歳	20.8	18.8	60.4	6.3
	51～55歳	19.4	20.4	60.2	12.3
	56歳以上	10.6	23.4	66.0	6.2

5．小学校に配当されている漢字以外の常用漢字について，どのような指導目標を立てて指導していますか。
1）すべての漢字を読み書きできるようにする
2）書けない漢字が何字かあっても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする
3）ほとんどの漢字が書けなくても，読みだけはすべての漢字を読めるようにする
4）書けない漢字が何字かあって，また読めない漢字も何字かある，というぐらいにする
5）ほとんどの漢字が書けなくても，読めない漢字が何字かある，というぐらいにする
6）ほとんどの漢字が書けなくても読めなくてもよい
7）特にはっきりとした目標を立てていない
8）その他（　　）

		1	2	3	4	5	6	7	8	全体
全体		23.3	48.9	7.7	5.8	1.8	0.0	11.3	1.2	100.0
地域	秋田県	15.3	60.5	10.2	5.1	2.5	0.0	6.4	0.0	20.6
	奈良県	22.0	52.2	5.7	4.4	1.3	0.0	12.6	1.9	20.8
	東京都	26.6	43.6	7.6	6.5	1.8	0.0	12.5	1.3	58.6
性別	男性	24.5	43.7	8.6	6.4	1.8	0.0	13.8	1.2	42.9
	女性	22.5	52.8	7.1	5.3	1.8	0.0	9.4	1.1	57.1
年齢	25歳以下	15.4	46.2	6.4	11.5	3.8	0.0	15.4	1.3	10.2
	26～30歳	22.5	47.0	5.5	4.5	2.5	0.0	16.5	1.5	26.2
	31～35歳	32.1	41.1	3.6	5.4	3.6	0.0	13.4	0.9	14.7
	36～40歳	27.7	49.5	8.9	3.0	1.0	0.0	9.9	0.0	13.3
	41～45歳	17.1	58.5	8.5	8.5	1.2	0.0	4.9	1.2	10.8
	46～50歳	16.7	64.6	4.2	8.3	0.0	0.0	4.2	2.1	6.3
	51～55歳	25.0	47.8	15.2	5.4	0.0	0.0	5.4	1.1	12.1
	56歳以上	24.5	49.0	14.3	2.0	0.0	0.0	8.2	2.0	6.4

6．新出漢字の中で，どのような漢字に重点をおいて指導していますか。（複数回答可）
1）全部
2）これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字
3）生徒の生活の中で，よく使われる漢字
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		45.1	50.3	58.3	1.4	100.0
地域	秋田県	41.1	50.0	60.8	1.9	20.2
	奈良県	46.6	52.8	54.7	0.0	20.6
	東京都	45.9	49.6	58.7	1.7	59.2
性別	男性	46.5	47.4	58.6	0.6	42.4
	女性	44.0	52.4	58.0	2.0	57.6
年齢	25歳以下	38.0	51.9	59.5	0.0	10.1
	26～30歳	40.2	52.0	62.7	2.5	26.2
	31～35歳	47.4	45.6	57.9	0.0	14.6
	36～40歳	48.1	44.2	53.8	2.9	13.3
	41～45歳	49.4	51.8	57.6	3.5	10.9
	46～50歳	46.0	54.0	64.0	0.0	6.4
	51～55歳	47.9	56.4	59.6	0.0	12.1
	56歳以上	50.0	48.0	42.0	0.0	6.4

7．新出漢字の読みを指導するとき，同一時間内に，その漢字の書きも指導することがありますか。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		36.0	47.4	16.6	100.0
地域	秋田県	27.8	55.1	17.1	20.3
	奈良県	43.4	41.5	15.1	20.4
	東京都	36.2	46.9	16.9	59.3
性別	男性	32.7	49.1	18.2	42.4
	女性	38.4	46.2	15.4	57.6
年齢	25歳以下	29.1	51.9	19.0	10.2
	26～30歳	36.0	41.9	22.2	26.1
	31～35歳	34.5	47.8	17.7	14.5
	36～40歳	39.4	48.1	12.5	13.4
	41～45歳	34.1	48.2	17.6	10.9
	46～50歳	30.0	58.0	12.0	6.4
	51～55歳	39.4	52.1	8.5	12.1
	56歳以上	44.9	40.8	14.3	6.3

8．小学校ですでに指導された漢字（小学校に配当されている漢字）を，指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		39.7	52.2	8.1	100.0
地域	秋田県	27.4	62.4	10.2	20.2
	奈良県	31.7	59.6	8.7	20.7
	東京都	46.6	46.2	7.2	59.2
性別	男性	41.3	49.8	8.8	42.2
	女性	38.4	54.0	7.6	57.8
年齢	25歳以下	34.2	55.7	10.1	10.2
	26～30歳	40.7	51.0	8.3	26.2
	31～35歳	43.0	49.1	7.9	14.7
	36～40歳	36.5	54.8	8.7	13.4
	41～45歳	41.2	50.6	8.2	10.9
	46～50歳	38.0	54.0	8.0	6.4
	51～55歳	41.9	51.6	6.5	12.0
	56歳以上	36.7	57.1	6.1	6.3

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
8-1．どのような漢字を指導しますか。（複数回答可）
1）教科書に出てきた漢字全部
2）これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字
3）生徒の生活の中で，よく使われる漢字
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		15.4	74.6	61.2	2.4	100.0
地域	秋田県	9.9	77.3	58.9	1.4	19.7
	奈良県	11.6	83.0	55.1	1.4	20.5
	東京都	18.5	70.8	64.0	3.0	59.8
性別	男性	18.0	68.3	60.0	1.7	41.9
	女性	13.5	79.1	62.0	2.9	58.1
年齢	25歳以下	14.1	66.2	63.4	0.0	9.9
	26～30歳	11.8	72.7	64.7	2.7	26.2
	31～35歳	15.2	78.1	57.1	3.8	14.7
	36～40歳	15.8	75.8	60.0	1.1	13.3
	41～45歳	15.4	75.6	65.4	2.6	10.9
	46～50歳	15.2	80.4	58.7	2.2	6.4
	51～55歳	20.7	79.3	60.9	2.3	12.2
	56歳以上	21.7	67.4	50.0	4.3	6.4

9．すでにその学年で指導した漢字や，（中学校の）下の学年で指導した漢字を指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		38.2	56.9	4.9	100.0
地域	秋田県	25.0	66.0	9.0	20.1
	奈良県	31.9	64.4	3.8	20.6
	東京都	44.9	51.2	3.9	59.2
性別	男性	40.1	53.8	6.1	42.2
	女性	36.8	59.2	4.0	57.8
年齢	25歳以下	35.4	60.8	3.8	10.2
	26～30歳	36.5	57.6	5.9	26.2
	31～35歳	40.4	54.4	5.3	14.7
	36～40歳	38.8	58.3	2.9	13.3
	41～45歳	32.9	60.0	7.1	11.0
	46～50歳	38.0	60.0	2.0	6.5
	51～55歳	40.2	54.3	5.4	11.9
	56歳以上	47.9	47.9	4.2	6.2

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。
9-1．どのような漢字を指導しますか。（複数回答可）
1）教科書に出てきた漢字全部
2）これまでの経験から，生徒にとって習得が難しい漢字
3）生徒の生活の中で，よく使われる漢字
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		13.0	78.8	60.1	1.6	100.0
地域	秋田県	8.5	79.6	57.0	1.4	19.3
	奈良県	9.7	83.1	54.5	0.6	20.9
	東京都	15.6	77.1	63.0	2.0	59.8
性別	男性	15.6	73.6	58.6	1.3	41.7
	女性	11.2	82.6	61.2	1.9	58.3
年齢	25歳以下	13.2	75.0	55.3	0.0	10.3
	26～30歳	12.0	75.9	65.4	1.0	26.0
	31～35歳	12.0	79.6	58.3	2.8	14.7
	36～40歳	13.0	84.0	60.0	1.0	13.6
	41～45歳	11.4	82.3	59.5	2.5	10.7
	46～50歳	6.1	83.7	65.3	2.0	6.7
	51～55歳	17.2	81.6	55.2	1.1	11.8
	56歳以上	21.7	67.4	54.3	4.3	6.3

10．常用漢字表に示された漢字以外の漢字を指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		7.1	67.2	25.7	100.0
地域	秋田県	5.1	60.5	34.4	20.2
	奈良県	2.5	73.0	24.5	20.5
	東京都	9.3	67.5	23.2	59.3
性別	男性	9.7	64.4	25.8	42.3
	女性	5.1	69.2	25.7	57.7
年齢	25歳以下	2.5	62.0	35.4	10.2
	26～30歳	5.4	72.4	22.2	26.2
	31～35歳	4.4	70.2	25.4	14.7
	36～40歳	9.6	62.5	27.9	13.4
	41～45歳	7.1	63.5	29.4	11.0
	46～50歳	4.1	79.6	16.3	6.3
	51～55歳	9.7	64.5	25.8	12.0
	56歳以上	20.4	55.1	24.5	6.3

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
10-1．どのような漢字を指導しますか。（複数回答可）
1）人名や地名などに使われていて，生徒の目によくふれる漢字
2）生徒が興味を持ちそうな漢字
3）その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		82.7	50.3	4.9	100.0
地域	秋田県	84.5	38.8	5.8	17.9
	奈良県	80.0	54.2	1.7	20.8
	東京都	83.1	52.3	5.6	61.4
性別	男性	80.3	53.3	7.4	42.3
	女性	84.4	48.0	3.0	57.7
年齢	25歳以下	84.3	62.7	0.0	8.9
	26～30歳	84.8	50.6	8.2	27.4
	31～35歳	78.8	49.4	1.2	14.8
	36～40歳	82.7	48.0	5.3	13.0
	41～45歳	83.3	51.7	1.7	10.4
	46～50歳	70.7	46.3	7.3	7.1
	51～55歳	82.6	44.9	4.3	12.0
	56歳以上	91.9	51.4	8.1	6.4

10-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
1）ほとんど読みだけ
2）書きも指導するが，読みのほうが多い
3）読み書き同じ程度
4）読みも指導するが，書きのほうが多い
5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		27.9	55.0	15.5	1.7	0.0	100.0
地域	秋田県	35.8	50.5	12.6	1.1	0.0	17.5
	奈良県	23.0	60.2	16.8	0.0	0.0	20.8
	東京都	27.2	54.5	15.9	2.4	0.0	61.6
性別	男性	24.3	55.0	19.4	1.4	0.0	41.0
	女性	30.3	55.0	12.8	1.9	0.0	59.0
年齢	25歳以下	29.4	52.9	15.7	2.0	0.0	9.4
	26～30歳	24.5	59.4	12.9	3.2	0.0	28.7
	31～35歳	24.1	57.0	19.0	0.0	0.0	14.6
	36～40歳	34.7	45.8	16.7	2.8	0.0	13.3
	41～45歳	39.3	53.6	7.1	0.0	0.0	10.4
	46～50歳	23.7	63.2	13.2	0.0	0.0	7.0
	51～55歳	26.8	53.6	19.6	0.0	0.0	10.4
	56歳以上	20.6	50.0	26.5	2.9	0.0	6.3

11. 新出漢字の指導のとき，教科書に出てきた音訓（読み方）だけでなく，ほかの音訓も指導することがありますか。
1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

↗

		1	2	3	全体
全体		20.0	61.5	18.6	100.0
地域	秋田県	15.3	62.4	22.3	20.2
	奈良県	20.0	66.9	13.1	20.6
	東京都	21.6	59.3	19.2	59.1
性別	男性	21.9	61.7	16.4	42.4
	女性	18.6	61.3	20.1	57.6
年齢	25歳以下	16.5	68.4	15.2	10.2
	26～30歳	16.7	64.2	19.1	26.3
	31～35歳	14.3	67.0	18.8	14.5
	36～40歳	25.0	50.0	25.0	13.4
	41～45歳	11.9	72.6	15.5	10.8
	46～50歳	32.0	54.0	14.0	6.5
	51～55歳	23.7	58.1	18.3	12.0
	56歳以上	36.7	44.9	18.4	6.3

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
11-1. どのような音訓を指導しますか。（複数回答可）
1) その漢字の常用漢字表の音訓全部
2) 生徒の生活の中で，よく使われる音訓
3) その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		21.2	82.0	1.7	100.0
地域	秋田県	15.6	83.6	1.6	19.3
	奈良県	22.3	82.7	0.0	22.0
	東京都	22.6	81.1	2.4	58.7
性別	男性	20.7	82.5	2.5	43.5
	女性	21.6	81.5	1.1	56.5
年齢	25歳以下	17.9	83.6	0.0	10.6
	26～30歳	10.9	89.1	2.4	26.1
	31～35歳	25.3	79.1	0.0	14.4
	36～40歳	26.9	76.9	1.3	12.4
	41～45歳	16.9	85.9	1.4	11.3
	46～50歳	34.9	72.1	4.7	6.8
	51～55歳	27.6	76.3	1.3	12.0
	56歳以上	27.5	82.5	5.0	6.3

12. 常用漢字表に示された音訓以外の音訓を指導することがありますか。
1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

↗

		1	2	3	全体
全体		5.8	60.5	33.7	100.0
地域	秋田県	1.9	56.7	41.4	20.3
	奈良県	4.4	59.4	36.3	20.7
	東京都	7.7	62.1	30.2	59.0
性別	男性	7.9	61.6	30.5	42.4
	女性	4.3	59.6	36.1	57.6
年齢	25歳以下	2.5	48.1	49.4	10.2
	26～30歳	1.5	65.5	33.0	26.3
	31～35歳	5.4	57.1	37.5	14.5
	36～40歳	2.9	61.5	35.6	13.5
	41～45歳	6.0	65.1	28.9	10.7
	46～50歳	10.0	64.0	26.0	6.5
	51～55歳	12.9	60.2	26.9	12.0
	56歳以上	18.4	53.1	28.6	6.3

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
12-1. どのような音訓を指導しますか。（複数回答可）
1) 人名や地名などに使われていて，生徒の目によくふれる音訓
2) 生徒が興味を持ちそうな音訓
3) その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		82.1	49.5	3.5	100.0
地域	秋田県	84.8	38.0	2.2	17.9
	奈良県	80.4	50.0	2.9	19.9
	東京都	81.8	52.7	4.1	62.2
性別	男性	75.4	52.6	5.7	44.4
	女性	87.4	47.0	1.8	55.6
年齢	25歳以下	80.0	57.5	0.0	7.8
	26～30歳	76.5	53.7	7.4	26.6
	31～35歳	80.0	50.0	2.9	13.7
	36～40歳	80.6	52.2	3.0	13.1
	41～45歳	86.4	52.5	0.0	11.5
	46～50歳	89.2	37.8	2.7	7.2
	51～55歳	85.3	44.1	2.9	13.3
	56歳以上	91.4	37.1	2.9	6.8

13．新出漢字を指導するとき，筆順も指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

↗

		1	2	3	全体
全体		22.3	58.2	19.5	100.0
地域	秋田県	25.5	61.8	12.7	20.2
	奈良県	35.6	50.6	13.8	20.6
	東京都	16.6	59.7	23.7	59.1
性別	男性	25.2	55.3	19.5	42.4
	女性	20.1	60.4	19.5	57.6
年齢	25歳以下	13.9	55.7	30.4	10.2
	26～30歳	15.2	57.4	27.5	26.3
	31～35歳	16.1	62.5	21.4	14.5
	36～40歳	20.2	64.4	15.4	13.4
	41～45歳	25.0	57.1	17.9	10.8
	46～50歳	34.0	52.0	14.0	6.5
	51～55歳	35.5	59.1	5.4	12.0
	56歳以上	42.9	49.0	8.2	6.3

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。

13-1．辞書によって筆順が違う漢字がありますが，そのことについて困ることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		6.7	55.1	38.2	100.0
地域	秋田県	3.0	55.6	41.4	21.6
	奈良県	14.0	56.6	29.4	22.1
	東京都	5.2	54.3	40.5	56.3
性別	男性	5.4	54.6	40.0	42.3
	女性	7.6	55.5	36.9	57.7
年齢	25歳以下	1.9	64.8	33.3	8.8
	26～30歳	11.5	50.0	38.5	24.1
	31～35歳	5.8	61.6	32.6	14.0
	36～40歳	4.7	46.5	48.8	14.0
	41～45歳	6.0	50.7	43.3	10.9
	46～50歳	9.3	60.5	30.2	7.0
	51～55歳	3.4	56.3	40.2	14.2
	56歳以上	7.0	62.8	30.2	7.0

14．同じ漢字について，何度も筆順を指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

↗

		1	2	3	全体
全体		9.6	41.7	48.6	100.0
地域	秋田県	9.0	43.6	47.4	20.3
	奈良県	15.1	52.2	32.7	20.7
	東京都	7.9	37.4	54.6	59.0
性別	男性	11.7	43.3	45.1	42.4
	女性	8.1	40.6	51.2	57.6
年齢	25歳以下	6.3	31.6	62.0	10.3
	26～30歳	8.3	37.7	53.9	26.6
	31～35歳	6.4	39.1	54.5	14.3
	36～40歳	14.7	40.2	45.1	13.3
	41～45歳	8.4	41.0	50.6	10.8
	46～50歳	10.0	64.0	26.0	6.5
	51～55歳	14.0	51.6	34.4	12.1
	56歳以上	10.6	42.6	46.8	6.1

1）と2）を選んだ場合だけ答えてください。

14-1．どのような漢字について，何度も筆順を指導しますか。（複数回答可）
1）画数の多い漢字
2）画数は多くなくても，筆順のまちがえやすい漢字
3）その他（　　）

		1	2	3	全体
全体		11.4	97.5	1.3	100.0
地域	秋田県	8.5	97.6	0.0	20.8
	奈良県	9.3	98.1	0.9	27.1
	東京都	13.6	97.1	1.9	52.2
性別	男性	13.4	97.8	1.1	45.3
	女性	9.7	97.2	1.4	54.7
年齢	25歳以下	13.3	96.7	0.0	7.6
	26～30歳	6.4	98.9	0.0	23.9
	31～35歳	8.0	96.0	0.0	12.7
	36～40歳	10.7	98.2	3.6	14.2
	41～45歳	14.6	100.0	0.0	10.4
	46～50歳	13.5	94.6	0.0	9.4
	51～55歳	9.8	95.1	3.3	15.5
	56歳以上	32.0	100.0	4.0	6.3

15．生徒の筆順が指導した筆順とは違っていても，筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい，という意見があります。この意見に賛成ですか。
1）賛成（筆順の大原則からはずれていなければ黙認するほうがよい）
2）反対（指導した筆順以外の筆順は認めるべきではない）
3）分からない
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		57.1	20.0	21.3	1.7	100.0
地域	秋田県	56.7	24.2	18.5	0.6	20.2
	奈良県	45.6	24.4	28.8	1.3	20.6
	東京都	61.2	17.0	19.6	2.2	59.1
性別	男性	61.4	21.9	14.9	1.8	42.4
	女性	53.9	18.6	26.0	1.6	57.6
年齢	25歳以下	39.2	25.3	35.4	0.0	10.2
	26～30歳	52.0	15.7	30.9	1.5	26.3
	31～35歳	59.8	17.9	21.4	0.9	14.5
	36～40歳	57.7	21.2	15.4	5.8	13.4
	41～45歳	67.5	18.1	13.3	1.2	10.7
	46～50歳	70.0	12.0	16.0	2.0	6.5
	51～55歳	53.8	32.3	12.9	1.1	12.0
	56歳以上	74.0	20.0	6.0	0.0	6.5

16．指導した筆順とは違った筆順で漢字を書いている生徒を見たとき，指導した筆順で書くように注意をすることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		28.4	63.4	8.3	100.0
地域	秋田県	32.5	61.1	6.4	20.3
	奈良県	30.0	65.6	4.4	20.6
	東京都	26.4	63.3	10.3	59.1
性別	男性	30.4	59.0	10.6	42.5
	女性	26.9	66.6	6.5	57.5
年齢	25歳以下	15.2	69.6	15.2	10.2
	26～30歳	18.6	70.6	10.8	26.4
	31～35歳	29.5	60.7	9.8	14.5
	36～40歳	26.0	67.3	6.7	13.4
	41～45歳	26.2	67.9	6.0	10.9
	46～50歳	32.7	57.1	10.2	6.3
	51～55歳	45.2	54.8	0.0	12.0
	56歳以上	61.2	34.7	4.1	6.3

17．ある漢字がどういう部首に属しているか，ということについて指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		21.8	64.6	13.5	100.0
地域	秋田県	27.6	64.1	8.3	20.1
	奈良県	25.6	58.8	15.6	20.6
	東京都	18.5	66.9	14.6	59.2
性別	男性	21.9	65.3	12.8	42.5
	女性	21.7	64.1	14.1	57.5
年齢	25歳以下	13.9	60.8	25.3	10.2
	26～30歳	20.1	67.2	12.7	26.4
	31～35歳	20.5	65.2	14.3	14.5
	36～40歳	19.2	64.4	16.3	13.4
	41～45歳	26.2	59.5	14.3	10.9
	46～50歳	30.0	64.0	6.0	6.5
	51～55歳	26.1	65.2	8.7	11.9
	56歳以上	26.5	67.3	6.1	6.3

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
17-1．辞書によって，部首の立て方や呼び方や配列の仕方が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		10.0	63.8	26.2	100.0
地域	秋田県	4.3	69.1	26.6	21.1
	奈良県	18.8	63.2	18.0	20.2
	東京都	9.0	62.1	28.9	58.8
性別	男性	9.5	65.7	24.7	42.9
	女性	10.3	62.3	27.3	57.1
年齢	25歳以下	7.0	61.4	31.6	8.6
	26～30歳	11.9	61.6	26.6	26.9
	31～35歳	11.6	66.3	22.1	14.4
	36～40歳	8.3	61.9	29.8	12.7
	41～45歳	8.5	64.8	26.8	10.8
	46～50歳	10.6	68.1	21.3	7.1
	51～55歳	9.8	64.6	25.6	12.4
	56歳以上	8.7	65.2	26.1	7.0

18. 漢字の字源について指導することがありますか。
1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		10.4	64.5	25.1	100.0
地域	秋田県	5.8	64.5	29.7	20.2
	奈良県	9.6	59.6	30.8	20.4
	東京都	12.3	66.2	21.5	59.4
性別	男性	12.7	65.6	21.7	42.2
	女性	8.8	63.7	27.5	57.8
年齢	25歳以下	10.3	50.0	39.7	10.2
	26～30歳	7.9	66.3	25.7	26.4
	31～35歳	9.2	65.1	25.7	14.2
	36～40歳	10.7	63.1	26.2	13.5
	41～45歳	13.1	65.5	21.4	11.0
	46～50歳	14.3	61.2	24.5	6.4
	51～55歳	10.9	70.7	18.5	12.0
	56歳以上	14.6	70.8	14.6	6.3

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
18-1. 辞書によって，字源の説明が違うことがありますが，そのことについて困ることがありますか。
1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		4.6	49.0	46.4	100.0
地域	秋田県	1.9	46.7	51.4	18.9
	奈良県	11.3	52.8	35.8	18.8
	東京都	3.4	48.6	48.0	62.3
性別	男性	4.8	49.0	46.2	44.4
	女性	4.5	49.0	46.5	55.6
年齢	25歳以下	2.1	48.9	48.9	8.3
	26～30歳	6.1	52.7	41.2	26.2
	31～35歳	5.0	51.3	43.8	14.2
	36～40歳	1.4	44.6	54.1	13.1
	41～45歳	6.2	38.5	55.4	11.5
	46～50歳	5.6	50.0	44.4	6.4
	51～55歳	2.7	49.3	47.9	12.9
	56歳以上	7.3	53.7	39.0	7.3

19. 長短，とめ，はね，点の方向など，漢字は教科書の巻末の漢字表の形（教科書体）どおりに書かなければいけない，と指導することがありますか。
1) よくある　2) ときどきある　3) ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		21.5	46.9	31.6	100.0
地域	秋田県	19.7	55.4	24.8	20.2
	奈良県	25.6	43.1	31.3	20.6
	東京都	20.7	45.3	34.0	59.1
性別	男性	19.1	49.5	31.3	42.4
	女性	23.3	45.0	31.8	57.6
年齢	25歳以下	24.1	39.2	36.7	10.2
	26～30歳	18.6	49.0	32.4	26.3
	31～35歳	22.3	49.1	28.6	14.5
	36～40歳	24.0	37.5	38.5	13.4
	41～45歳	19.0	46.4	34.5	10.8
	46～50歳	14.0	62.0	24.0	6.5
	51～55歳	25.8	50.5	23.7	12.0
	56歳以上	26.5	42.9	30.6	6.3

20．あなたの指導している生徒のなかに，いわゆるマンガ文字を書く生徒がいますか。
1）たくさんいる　2）まあまあいる
3）ほとんどいない

		1	2	3	全体
全体		21.1	65.3	13.5	100.0
地域	秋田県	15.3	63.1	21.7	20.2
	奈良県	15.0	67.5	17.5	20.6
	東京都	25.3	65.4	9.4	59.1
性別	男性	22.5	66.6	10.9	42.4
	女性	20.1	64.4	15.4	57.6
年齢	25歳以下	17.7	62.0	20.3	10.2
	26～30歳	21.6	64.2	14.2	26.3
	31～35歳	24.3	64.0	11.7	14.3
	36～40歳	21.2	69.2	9.6	13.4
	41～45歳	21.4	70.2	8.3	10.8
	46～50歳	24.0	62.0	14.0	6.5
	51～55歳	19.4	62.4	18.3	12.0
	56歳以上	16.0	72.0	12.0	6.5

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
20-1．マンガ文字を書く生徒は，男子と女子とでは，どちらが多いですか。
1）ほとんど男子だけ
2）女子もいるが，男子のほうが多い
3）男子と女子とで同じぐらい
4）男子もいるが，女子のほうが多い
5）ほとんど女子だけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		0.5	1.2	2.0	64.4	32.0	100.0
地域	秋田県	0.8	2.5	3.3	56.2	37.2	18.2
	奈良県	0.8	1.5	3.1	64.1	30.5	19.7
	東京都	0.2	0.7	1.2	66.9	30.9	62.2
性別	男性	0.3	2.1	3.1	64.6	29.9	43.7
	女性	0.5	0.5	1.1	64.3	33.6	56.3
年齢	25歳以下	0.0	1.6	1.6	58.1	38.7	9.3
	26～30歳	0.0	0.6	2.9	65.1	31.4	26.3
	31～35歳	1.0	0.0	0.0	68.0	30.9	14.6
	36～40歳	0.0	0.0	1.1	65.6	33.3	14.0
	41～45歳	0.0	1.3	1.3	50.6	46.8	11.6
	46～50歳	0.0	0.0	2.3	65.1	32.6	6.5
	51～55歳	2.7	2.7	1.3	72.0	21.3	11.3
	56歳以上	0.0	7.0	7.0	69.8	16.3	6.5

20-2．マンガ文字を書く生徒に対して，マンガ文字を書かないように指導することがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		69.5	27.4	3.2	100.0
地域	秋田県	54.6	42.9	2.5	18.1
	奈良県	83.7	14.0	2.3	19.6
	東京都	69.3	27.1	3.7	62.3
性別	男性	61.2	33.6	5.2	43.5
	女性	75.8	22.6	1.6	56.5
年齢	25歳以下	63.9	32.8	3.3	9.3
	26～30歳	69.7	28.6	1.7	26.6
	31～35歳	72.9	21.9	5.2	14.6
	36～40歳	63.8	30.9	5.3	14.3
	41～45歳	67.6	31.1	1.4	11.3
	46～50歳	78.0	22.0	0.0	6.2
	51～55歳	74.0	21.9	4.1	11.1
	56歳以上	67.4	27.9	4.7	6.5

21．国語辞典を持っている生徒は，どのくらいいますか。
1）ほとんどの生徒が持っている
2）半分くらいの生徒が持っている
3）ほとんどの生徒が持っていない
4）どのくらいの生徒が持っているか分からない

		1	2	3	4	全体
全体		91.5	5.3	0.4	2.8	100.0
地域	秋田県	89.2	6.4	0.6	3.8	20.2
	奈良県	93.1	3.1	0.0	3.8	20.6
	東京都	91.7	5.7	0.4	2.2	59.1
性別	男性	89.4	6.7	0.3	3.6	42.5
	女性	93.0	4.3	0.4	2.2	57.5
年齢	25歳以下	88.6	3.8	0.0	7.6	10.2
	26～30歳	92.2	4.9	0.0	2.9	26.3
	31～35歳	93.8	5.4	0.0	0.9	14.5
	36～40歳	91.3	4.8	0.0	3.8	13.4
	41～45歳	92.9	6.0	1.2	0.0	10.8
	46～50歳	92.0	6.0	0.0	2.0	6.5
	51～55歳	85.9	8.7	2.2	3.3	11.9
	56歳以上	96.0	2.0	0.0	2.0	6.5

22．漢和辞典を持っている生徒は，どのくらいいますか。
1）ほとんどの生徒が持っている
2）半分くらいの生徒が持っている
3）ほとんどの生徒が持っていない
4）どのくらいの生徒が持っているか分からない

		1	2	3	4	全体
全体		33.4	43.3	12.0	11.3	100.0
地域	秋田県	26.9	45.5	19.9	7.7	20.2
	奈良県	48.8	35.6	3.8	11.9	20.7
	東京都	30.3	45.2	12.3	12.3	59.1
性別	男性	36.7	40.0	13.3	10.0	42.7
	女性	31.0	45.7	11.1	12.2	57.3
年齢	25歳以下	21.5	45.6	12.7	20.3	10.2
	26～30歳	30.5	45.3	10.3	13.8	26.3
	31～35歳	27.7	46.4	11.6	14.3	14.5
	36～40歳	38.5	38.5	11.5	11.5	13.5
	41～45歳	41.0	38.6	12.0	8.4	10.8
	46～50歳	44.9	42.9	10.2	2.0	6.4
	51～55歳	34.1	41.8	18.7	5.5	11.8
	56歳以上	42.0	46.0	10.0	2.0	6.5

23．国語辞典の使い方を指導しますか。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		26.4	52.8	20.8	100.0
地域	秋田県	29.9	51.0	19.1	20.3
	奈良県	14.4	53.1	32.5	20.7
	東京都	29.3	53.4	17.3	59.0
性別	男性	25.2	56.5	18.2	42.5
	女性	27.2	50.1	22.7	57.5
年齢	25歳以下	21.5	40.5	38.0	10.2
	26～30歳	26.5	47.1	26.5	26.4
	31～35歳	24.1	61.6	14.3	14.5
	36～40歳	23.3	60.2	16.5	13.3
	41～45歳	26.2	48.8	25.0	10.9
	46～50歳	22.0	58.0	20.0	6.5
	51～55歳	34.4	54.8	10.8	12.0
	56歳以上	33.3	60.4	6.3	6.2

24．漢和辞典の使い方を指導しますか。
1）よくする　2）ときどきする　3）ほとんどしない

		1	2	3	全体
全体		11.2	62.8	26.0	100.0
地域	秋田県	11.0	67.5	21.4	20.0
	奈良県	11.3	57.9	30.8	20.7
	東京都	11.2	62.9	25.9	59.3
性別	男性	11.6	65.4	22.9	42.5
	女性	10.9	60.9	28.3	57.5
年齢	25歳以下	11.4	45.6	43.0	10.3
	26～30歳	6.4	63.7	29.9	26.6
	31～35歳	13.5	60.4	26.1	14.5
	36～40歳	6.8	68.0	25.2	13.4
	41～45歳	15.7	55.4	28.9	10.8
	46～50歳	20.4	65.3	14.3	6.4
	51～55歳	13.2	72.5	14.3	11.8
	56歳以上	14.6	72.9	12.5	6.3

25．授業中，国語辞典や漢和辞典を使わせていますか。
1）自由に使わせている
2）指導して使わせている
3）使わせていない

		1	2	3	全体
全体		41.1	38.4	20.4	100.0
地域	秋田県	48.1	42.3	9.6	20.2
	奈良県	35.6	30.6	33.8	20.7
	東京都	40.7	39.8	19.5	59.1
性別	男性	47.9	32.6	19.5	42.4
	女性	36.2	42.7	21.1	57.6
年齢	25歳以下	26.9	41.0	32.1	10.1
	26～30歳	33.3	38.2	28.4	26.4
	31～35歳	34.8	46.4	18.8	14.5
	36～40歳	42.7	42.7	14.6	13.3
	41～45歳	46.4	31.0	22.6	10.9
	46～50歳	48.0	40.0	12.0	6.5
	51～55歳	57.6	31.5	10.9	11.9
	56歳以上	59.2	32.7	8.2	6.3

26．たとえば，この漢字は，理科の用語によく使われる漢字だから，よく教えておこう，というように，国語以外の教科のことを考えて，漢字の指導をすることがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全　体
全　　体		11.9	39.9	48.3	100.0
地域	秋田県	7.1	40.4	52.6	20.1
	奈良県	11.3	35.0	53.8	20.6
	東京都	13.7	41.4	44.9	59.2
性別	男　性	14.6	43.5	41.9	42.5
	女　性	9.9	37.2	52.9	57.5
年齢	25歳以下	12.7	35.4	51.9	10.2
	26～30歳	13.7	37.3	49.0	26.4
	31～35歳	8.0	38.4	53.6	14.5
	36～40歳	8.7	38.5	52.9	13.4
	41～45歳	10.7	40.5	48.8	10.9
	46～50歳	12.0	48.0	40.0	6.5
	51～55歳	15.2	47.8	37.0	11.9
	56歳以上	14.3	38.8	46.9	6.3

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
26-1．どのような教科のことを考えて，漢字の指導をしますか。その教科を，いくつでもよいですから選んでください。
1）社会　2）数学　3）理科　4）音楽　5）美術　6）保健体育　7）技術　8）家庭　9）英語

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	全　体
全　　体		97.3	21.7	70.1	12.0	17.0	15.0	9.5	16.0	11.0	100.0
地域	秋田県	97.3	18.9	78.4	14.9	13.5	14.9	6.8	18.9	5.4	18.5
	奈良県	95.9	16.2	70.3	6.8	12.2	12.2	10.8	14.9	13.5	18.5
	東京都	97.6	24.1	67.6	12.6	19.4	15.8	9.9	15.4	11.9	63.1
性別	男　性	96.3	22.5	70.2	11.5	15.2	16.8	10.5	9.9	12.6	47.6
	女　性	98.1	21.0	70.0	12.4	18.6	13.3	8.6	21.4	9.5	52.4
年齢	25歳以下	100.0	10.5	65.8	5.3	10.5	5.3	2.6	15.8	7.9	9.5
	26～30歳	99.0	23.1	64.4	10.6	14.4	11.5	9.6	15.4	12.5	26.0
	31～35歳	94.2	21.2	71.2	11.5	17.3	7.7	7.7	15.4	11.5	13.0
	36～40歳	95.9	26.5	73.5	12.2	20.4	14.3	12.2	18.4	14.3	12.3
	41～45歳	97.7	27.9	74.4	9.3	9.3	20.9	7.0	16.3	9.3	10.8
	46～50歳	100.0	26.7	80.0	13.3	16.7	33.3	10.0	10.0	10.0	7.5
	51～55歳	94.8	20.7	67.2	22.4	27.6	20.7	12.1	20.7	12.1	14.5
	56歳以上	96.2	11.5	76.9	7.7	19.2	11.5	15.4	11.5	3.8	6.5

26-2．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。
1）ほとんど読みだけ
2）書きも指導するが，読みのほうが多い
3）読み書き同じ程度
4）読みも指導するが，書きのほうが多い
5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		37.4	42.7	18.3	0.5	1.0	100.0
地域	秋田県	45.8	41.7	12.5	0.0	0.0	18.3
	奈良県	24.7	38.4	32.9	1.4	2.7	18.6
	東京都	38.7	44.4	15.7	0.4	0.8	63.1
性別	男性	39.7	39.7	18.5	0.5	1.6	48.1
	女性	35.3	45.6	18.1	0.5	0.5	51.9
年齢	25歳以下	41.7	27.8	30.6	0.0	0.0	9.2
	26～30歳	28.2	45.6	24.3	0.0	1.9	26.3
	31～35歳	25.0	53.8	19.2	1.9	0.0	13.3
	36～40歳	38.3	31.9	27.7	2.1	0.0	12.0
	41～45歳	48.8	41.9	9.3	0.0	0.0	11.0
	46～50歳	44.8	44.8	6.9	0.0	3.4	7.4
	51～55歳	47.4	43.9	7.0	0.0	1.8	14.5
	56歳以上	44.0	44.0	12.0	0.0	0.0	6.4

27．たとえば，毎週何分，毎日何分，毎授業時間何分のように，学校のなかで特別に時間を決めて，漢字の練習をさせていますか。
1）させている　2）させていない

		1	2	全体
全体		31.1	68.9	100.0
地域	秋田県	31.2	68.8	20.3
	奈良県	25.0	75.0	20.7
	東京都	33.3	66.7	59.0
性別	男性	32.3	67.7	42.4
	女性	30.3	69.7	57.6
年齢	25歳以下	16.5	83.5	10.2
	26～30歳	31.9	68.1	26.4
	31～35歳	26.8	73.2	14.5
	36～40歳	41.2	58.8	13.2
	41～45歳	25.0	75.0	10.9
	46～50歳	30.0	70.0	6.5
	51～55歳	39.8	60.2	12.0
	56歳以上	36.7	63.3	6.3

28．漢字のテストは，どういうときに行っていますか。
1）教科書の区切りのよいとき
2）毎日
3）毎週
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		61.9	8.9	13.3	15.8	100.0
地域	秋田県	60.7	10.7	8.0	20.7	20.0
	奈良県	70.6	7.2	10.5	11.8	20.4
	東京都	59.4	8.9	16.1	15.6	59.7
性別	男性	60.1	11.3	11.3	17.3	42.3
	女性	63.3	7.2	14.8	14.8	57.7
年齢	25歳以下	64.5	10.5	14.5	10.5	10.1
	26～30歳	58.3	11.1	14.1	16.6	26.5
	31～35歳	68.8	6.4	11.9	12.8	14.5
	36～40歳	52.5	13.1	16.2	18.2	13.2
	41～45歳	64.3	7.1	9.5	19.0	11.2
	46～50歳	69.6	6.5	10.9	13.0	6.1
	51～55歳	59.6	6.7	14.6	19.1	11.9
	56歳以上	68.8	4.2	12.5	14.6	6.4

29．漢字のテストは，読みと書きとでは，どちらのほうが多いですか。
1）ほとんど読みだけ
2）読みのほうが多い
3）読み書き同じ程度
4）書きのほうが多い
5）ほとんど書きだけ

		1	2	3	4	5	全体
全体		0.6	5.0	42.6	40.5	11.2	100.0
地域	秋田県	0.0	9.0	55.8	26.9	8.3	20.1
	奈良県	0.6	1.3	28.1	53.1	16.9	20.6
	東京都	0.9	5.0	43.1	40.7	10.2	59.2
性別	男性	1.2	7.3	44.2	34.8	12.5	42.3
	女性	0.2	3.4	41.4	44.7	10.3	57.7
年齢	25歳以下	1.3	3.8	38.0	41.8	15.2	10.2
	26～30歳	0.0	2.9	39.2	44.6	13.2	26.4
	31～35歳	0.9	4.5	35.7	43.8	15.2	14.5
	36～40歳	0.0	3.8	38.5	44.2	13.5	13.4
	41～45歳	1.2	6.0	50.0	38.1	4.8	10.9
	46～50歳	0.0	10.0	48.0	32.0	10.0	6.5
	51～55歳	2.2	8.7	51.1	32.6	5.4	11.9
	56歳以上	0.0	6.1	55.1	34.7	4.1	6.3

30．漢字の書き取りのテストで，生徒の書いた漢字の字形の評価については，長短，とめ，はね，点の方向など，教科書の巻末の漢字表の形（教科書体）に従っていますか。
1）厳密に従っている　2）だいたい従っている
3）ほとんど従っていない

		1	2	3	全体
全体		12.9	80.8	6.3	100.0
地域	秋田県	14.3	79.2	6.5	20.3
	奈良県	16.2	77.9	5.8	20.3
	東京都	11.3	82.3	6.4	59.5
性別	男性	11.7	80.6	7.7	42.6
	女性	13.8	81.0	5.3	57.4
年齢	25歳以下	18.2	71.4	10.4	10.1
	26～30歳	10.1	85.9	4.0	26.1
	31～35歳	8.2	87.3	4.5	14.5
	36～40歳	11.8	78.4	9.8	13.4
	41～45歳	14.5	79.5	6.0	10.9
	46～50歳	10.0	82.0	8.0	6.6
	51～55歳	20.0	76.7	3.3	11.9
	56歳以上	16.3	73.5	10.2	6.5

31．教科書の予習・復習以外に，漢字学習を宿題として出すことがありますか。
1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

		1	2	3	全体
全体		21.1	54.3	24.6	100.0
地域	秋田県	8.9	70.1	21.0	20.3
	奈良県	29.4	38.1	32.5	20.7
	東京都	22.4	54.6	23.0	59.0
性別	男性	19.8	54.9	25.3	42.4
	女性	22.0	53.9	24.0	57.6
年齢	25歳以下	22.8	46.8	30.4	10.2
	26～30歳	22.1	51.0	27.0	26.4
	31～35歳	25.0	55.4	19.6	14.5
	36～40歳	19.6	54.9	25.5	13.2
	41～45歳	13.1	58.3	28.6	10.9
	46～50歳	22.0	56.0	22.0	6.5
	51～55歳	22.6	60.2	17.2	12.0
	56歳以上	18.8	58.3	22.9	6.2

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。
31-1．どのような課題を出すことが多いですか。（複数回答可）
1）漢字の書き取り練習
2）市販されている練習問題（集）
3）教師作成の練習問題（集）
4）その他（　　）

		1	2	3	4	全体
全体		58.5	35.0	42.9	1.0	100.0
地域	秋田県	52.4	47.6	40.3	0.8	21.3
	奈良県	60.2	22.2	38.9	1.9	18.5
	東京都	60.1	34.5	45.0	0.9	60.2
性別	男性	55.9	36.3	38.0	0.8	42.0
	女性	60.4	34.0	46.4	1.2	58.0
年齢	25歳以下	49.1	27.3	34.5	5.5	9.4
	26～30歳	59.1	35.6	46.3	0.7	25.6
	31～35歳	57.8	37.8	40.0	0.0	15.4
	36～40歳	53.9	34.2	44.7	0.0	13.0
	41～45歳	60.0	38.3	38.3	1.7	10.3
	46～50歳	69.2	25.6	43.6	0.0	6.7
	51～55歳	62.3	40.3	46.8	1.3	13.2
	56歳以上	59.5	32.4	43.2	0.0	6.3

付録3　中学校他教科教師用アンケート集計表

1)　数字は，実数を省略し，百分率（パーセント）のみとした。四捨五入による誤差のため，合計が100.0にならない場合があるが，そのままとした。

2)　調査対象の教師の担当教科別の集計を基本とした。調査対象の教師の，担当教科をふくめた属性別の人数については，本章の第3節を参照されたい。

3)　無回答（NA）は除外して集計した。しかし，どの質問も無回答の数はきわめて少なかったので，そのことによる影響はほとんどないと思われる。

Ⅳ．どの教科を担当していますか。（二つ以上の教科を担当している場合は，主に担当している教科を一つだけ選んでください。）

1）社会　2）数学　3）理科
4）音楽　5）美術　6）保健体育
7）技術　8）家庭　9）英語

	秋田県	奈良県	東京都	全　体
社　会	16.1	14.9	15.5	15.5
数　学	15.1	14.7	16.2	15.8
理　科	14.8	14.0	15.7	15.2
音　楽	8.6	7.9	6.4	7.1
美　術	7.6	9.1	6.7	7.3
保健体育	13.3	12.8	14.5	14.0
技　術	6.0	6.4	6.6	6.4
家　庭	5.1	6.4	5.2	5.4
英　語	13.4	13.8	13.2	13.3

Ⅴ．今年度は，何学年の生徒の指導を受け持っていますか。（二つ以上の学年を受け持っている場合は，受け持っている学年を全部選んでください。）

1）1学年　2）2学年　3）3学年

	秋田県	奈良県	東京都	全　体
第1学年	11.8	15.4	12.8	13.2
第2学年	11.0	16.8	15.5	15.0
第3学年	11.8	16.5	16.5	15.7
第1・2学年	14.0	14.8	14.4	14.4
第1・3学年	10.0	14.3	15.4	14.4
第2・3学年	14.6	12.1	15.8	14.9
第1・2・3学年	26.8	10.1	9.6	12.6

1．あなたの（主に）担当している教科の授業中に，漢字の指導をすることがありますか。

1）よくある　2）ときどきある　3）ほとんどない

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
よくある	35.1	4.0	15.4	5.3	3.7	5.9	8.9	9.1	3.2
ときどきある	58.8	51.2	66.5	54.8	55.1	51.4	59.1	73.5	43.3
ほとんどない	6.1	44.8	18.1	39.9	41.2	42.7	32.0	17.4	53.5

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

1-1．その場合，読みと書きとでは，どちらを指導することが多いですか。

1）ほとんど読みだけ　2）書きも指導するが，読みのほうが多い
3）読み書き同じ程度　4）読みも指導するが，書きのほうが多い
5）ほとんど書きだけ

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
ほとんど読みだけ	13.7	25.7	17.0	17.6	26.1	30.7	29.5	23.2	8.5
読みのほうが多い	42.2	32.3	27.6	36.5	23.3	34.2	38.6	47.5	16.3
読み書き同じ程度	33.0	24.0	33.3	30.0	20.3	22.3	21.6	22.1	37.0
書きのほうが多い	9.7	14.2	19.5	10.0	16.3	9.7	6.3	5.5	19.5
ほとんど書きだけ	1.4	3.8	2.6	5.9	14.0	3.1	4.0	1.7	18.7

2. あなたの(主に)担当している教科の授業中に,「国語」でもうすこし漢字の読み書きの指導をしてもらいたい,と思うことがありますか。

1) よくある　　2) ときどきある　　3) ほとんどない

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
よくある	25.0	6.5	12.0	10.6	7.2	11.6	10.9	9.6	12.0
ときどきある	49.8	40.5	47.9	52.1	40.8	53.3	53.3	48.8	49.2
ほとんどない	25.2	53.0	40.1	37.3	52.0	35.1	35.8	41.6	38.8

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

2-1. その場合,読みと書きのどちらを,「国語」でもうすこし指導してもらいたい,と思いますか。

1) 読みのほう　　2) 読み書き両方　　3) 書きのほう

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
読みのほう	29.3	37.1	18.3	23.2	28.5	29.9	37.7	24.0	13.5
読み書き両方	59.4	45.0	59.1	54.2	52.5	54.6	48.7	64.8	55.8
書きのほう	11.3	17.9	22.6	22.6	19.0	15.5	13.6	11.2	30.7

3. 「国語」以外の教科でよく使われる漢字については,「国語」のなかで指導するよりも,その教科のなかで指導するほうがよい,という意見があります。この意見に賛成ですか。

1) 賛成(その教科のなかで指導するほうがよい)
2) 賛成でも反対でもない(その教科と「国語」の両方で指導すべきだ)
3) 反対(「国語」以外の教科では指導しなくてよい)
4) 分からない

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
賛成	25.3	22.7	23.7	18.9	19.7	21.6	22.8	18.0	18.8
賛成でも反対もでない	3.5	4.8	4.9	1.4	4.8	3.2	3.5	2.8	3.8
反対	67.2	63.0	66.6	69.5	65.6	66.6	64.4	75.1	69.3
分からない	4.0	9.5	4.8	10.2	9.9	8.6	9.3	4.1	8.1

↓

1)と2)を選んだ場合だけ答えてください。

3-1. その場合,その教科では,読み書き両方とも指導すべきだと思いますか。

1) 読み書き両方とも指導すべきだと思う
2) 読みだけ指導すべきだと思う
3) 書きだけ指導すべきだと思う

	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語
読み書き両方	81.5	78.7	83.1	82.4	80.3	77.4	68.0	76.8	79.6
読みだけ	18.1	20.5	15.4	16.8	18.4	22.0	31.1	23.2	17.5
書きだけ	0.4	0.8	1.5	0.8	1.3	0.6	0.9	0.0	2.9

第3章

漢字の学習指導に関する文献目録

第1節　小，中学生の漢字習得に関する実態調査

小，中学生の漢字習得に関して，多くの実態調査が行われている。これらの調査の結果を知ることは，漢字の学習指導を考える上で，有益なことである。以下，戦後に行われた調査のうち，主なものをあげる。著者と発行所が同じ場合，発行所名は省略した。

天野清・黒須俊夫『小学生の国語・算数の学力』秋山書店，1992年

有本良彦「小・中学校の諸教科における学習効果の現状に関する調査研究」，『国立教育研究所紀要』93，1977年

伊ヶ崎暁生「II　調査の結果―その1・国語―」，『教育評論』1976年7月臨時増刊号

川崎市立中原中学校『中学校生徒の当用漢字の読解力について〔国語科研究発表要項。謄写〕』1957年

京都市立中学校教育研究会国語部会「漢字を書く力」調査委員会『中学生の漢字を書く力の調査』京都市立中学校教育研究会，1980年

国立国語研究所『低学年の読み書き能力』〈報告10〉，秀英出版，1956年

国立国語研究所『中学年の読み書き能力』〈報告14〉，秀英出版，1958年

国立国語研究所『高学年の読み書き能力』〈報告17〉，秀英出版，1960年

国立国語研究所『小学生の言語能力の発達』〈報告26〉，明治図書，1964年

国立国語研究所『中学生の漢字習得に関する研究』〈報告36〉，秀英出版，1971年

国立国語研究所『児童・生徒の常用漢字の習得』〈報告95〉，東京書籍，1988年

総合初等教育研究所『小学生の漢字の力』文渓堂，1982年

東京都杉並区立済美教育研究所『教育漢字がどれだけ書けるか』1953年

長野正『義務教育終了時における教育漢字（書き）の習得に関する実態と考察』1975年

日本教育学会学力調査委員会『中学校生徒の基礎学力』東京大学出版会，1954年

日本教職員組合学力調査委員会『国語の学力調査』大日本図書，1955年

日本教職員組合・国民教育研究所「教育課程改善のための学力実態調査―その結果と分析―」，『季刊国民教育』29号，1976年

日本私学教育研究所『中等学校における漢字書写能力調査』1968年

日本標準教育研究所『漢字』〈全国学力調査シリーズ2〉，日本標準，1980年

文化庁『児童・生徒の読み書きの力―当用漢字について―』大蔵省印刷局，1972年

文化庁国語課『「音訓の読みの力の調査」報告書』1973年

文部省『児童生徒の漢字を書く能力とその基準』明治図書，1952年

文部省『漢字の学年配当―昭和27・28年度調査報告―』〈国語シリーズ24〉，明治図書，1955年

文部省『漢字の学習指導に関する研究』〈初等教育研究資料19〉，明治図書，1957年

文部省『教育漢字の学年配当―漢字学習指導実験調査報告―』教育出版，1957年

文部省『中学生・高校生の漢字を読む力』教育出版，1959年

文部省『全国学力調査報告書』

　文部省全国学力調査：昭和31年（1956年）度～昭和41年（1966年）度まで実施

文部省小学校課小学校教育研究会『学習達成状況と授業改善の視点―教育課程実施状況に関する総合的調査研究調査報告から―I　国語』東洋館出版社，1985年

文部省調査普及局国語課『義務教育における漢字習得に関する調査報告』1951年

文部省初等中等教育局『教育課程実施状況に関する総合的調査研究調査報告書―中学校―国語』学習研究社，1986年

第2節　単行本

以下，国立国語研究所編『国語年鑑』(1954～1988年版）にもとづいて，漢字の学習指導に関する単行本を一覧する。歴史研究，学習指導要領およびその解説，事典および国語表記のハンドブック類は除いた。

(1) 漢字の学習指導一般

池田英雄・長沢規矩也『理論的方法による基本漢字の学び方』学友社，1953年
石田佐久馬『1・2年の漢字のきまり』さえら書房，1959年
石田佐久馬『3・4年の漢字のきまり』さえら書房，1959年
石田佐久馬編著『国語授業の発見5　効率を高める漢字指導の方法』東洋館出版社，1969年
磯山忠雄『漢字指導を効果的に行なうにはどうしたらよいか〔中間報告〕』1971年
市川本太郎『教育漢字指導法―学年配当と字源解説―』学芸図書，1963年
井上敏夫編『小学校新指導要領の指導事例4・国語科編4　書写力と文字力の指導』明治図書，1970年
岩下忠男・隈井良幸・劔持昭典・生信勇荘・高橋金次・石田佐久馬・江頭太郎『国語授業の創造4文字・語句指導の効果的方法』東洋館出版社，1967年
江守賢治『漢字字体の解明』日本習字普及協会，1965年
江守賢治『漢字の○×（まるばつ）―教育漢字の標準の形と許容の形―』日本習字普及協会，1977年
大阪市教育研究所『語い拡充と定着をめざす漢字の学習指導』1973年
大阪市立中野中学校『中学一年生の教育漢字の読み方書き方の指導の記録〔謄写〕』1958年
大村はま『やさしい漢字教室』共文社，1981年
岡崎市国語教育研究推進委員会編『部首のおいたち』〈国語教育研究資料1〉，1968年
岡崎市国語教育研究推進委員会編『教科書における漢字の語いと指示語』〈国語教育研究資料2〉，1968年
岡崎市国語教育研究推進委員会編『国語教育研究中間報告　言語要素の指導』1968年
岡田進『これなら楽しくできる漢字の教え方―量と水道方式の発想による―』太郎次郎社，1979年
沖縄県立教育センター編『基礎的漢字習得の実態調査・文学的文章における「発問の研究」』〈研修集録教52〉，1979年
神奈川県松浪小学校実践国語教育研究所編『読解指導過程における漢字』〈共同研究1〉，明治図書，1972年
北川鉄斎『一・二年生のための漢字のわかる本』アロー出版社，1976年
鬼頭有一『漢字の教育学』黎明書房，1956年
金田一春彦・中村通夫・奥田靖雄編『文字教育』〈講座現代の用字・用語教育1〉，春秋社，1957年
倉沢栄吉『漢字と国語教育』〈国語シリーズ13〉，文部省，1953年
信光社編『漢字』〈覆刻文化庁国語シリーズ6〉，教育出版，1974年に復刻
小林一仁『漢字教育の基礎研究』明治図書，1981年
小林一仁『漢字の系統的指導』明治図書，1984年
小林国雄『辞書指導の研究―付・現代かなづかい解説・新字体早見表―』信学社，1954年
国語教育研究所編『漢字の読み書き分離学習』〈研究シリーズ2〉，明治図書，1971年

佐藤辰雄『文字とことばの力をのばす―1年生―』盛光社，1966年
寒川道夫『文字とことばの力をのばす―6年生―』盛光社，1966年
下別府峰春『新しい漢字の教え方学び方』布井書房，1973年
下村昇『先生と母親のための漢字教室―絵で見る漢字のなりたち小事典つき―』偕成社，1978年
下村昇『先生と母親のための漢字教室（続）―付・「同音の漢字による書きかえ」表―』偕成社，1981年
下村昇『子どもを活かす漢字指導はコレだ!!―驚異の口唱法学習全公開―』偕成社，1990年
白石光邦編『要素形的漢字学習指導法』桜楓社，1978年
須藤久幸『漢字指導の計画と展開』明治図書，1969年
瀬川栄志『誤りやすい表記の事例と指導法』〈双書国語指導技術1〉，明治図書，1973年
関可明・田川時彦・成尾正治・宮下久夫『ちからを伸ばす小学国語・漢字の授業―新しい指導の観点から―』日本書籍，1982年
関岡松籟『漢字の基本―学び方と教え方―』日本習字普及協会，1984年
関谷義道『漢字学習と書の学習』創研社，1967年
砂川守一『漢字が身につく教えかた―小学生の996字―』立教書院，1969年
田中久直『教育漢字の系統指導』東洋館出版社，1958年
田中久直『これからの漢字指導』新光閣書店，1971年
田宮輝夫『文字とことばの教室―4年生―』三十書房，1955年
田宮輝夫『文字とことばの力をのばす―4年生―』盛光社，1966年
田嶋定雄『文字とことばの力をのばす―5年生―』盛光社，1966年
友野一『漢字の教え方―1・2年編―』さえら書房，1961年
友野一『漢字の教え方―3・4年編―』さえら書房，1962年
友野一『漢字の教え方―5・6年編―』さえら書房，1962年
友野一『漢字の教え方・学び方―1・2年編―』さえら書房，1971年
友野一『漢字の教え方・学び方―3・4年編―』さえら書房，1971年
友野一『漢字の教え方・学び方―5・6年編―』さえら書房，1971年
友野一・江崎富子『先生と父母の楽しい漢字教室―1年編―』さえら書房，1979年
友野一・江崎富子『先生と父母の楽しい漢字教室―2年編―』さえら書房，1979年
友野一・江崎富子『先生と父母の楽しい漢字教室―3年編―』さえら書房，1979年
中坪昭義ほか『国語科指導法の開発5―漢字・書写指導のめざす能力の開発―』近代新書出版社，1970年
中西淑・吉永正広・神谷久子・高橋太郎ほか『ちからを伸ばす小学国語―「読み書き」のなかと「とりたて」の言語の授業　文字・文法・発音・語彙―』日本書籍，1982年
滑川道夫『漢字指導の問題』〈国語シリーズ3〉，文部省，1951年
信光社編『漢字』〈覆刻文化庁国語シリーズ6〉，教育出版，1974年に復刻
新潟県立教育センター編『漢文教材における漢字・漢語指導の在り方―基礎的学習能力の育成を目指して―』〈研究報告58〉，1983年
熊沢竜ほか編；西尾実・時枝誠記監修『表記法の理論と教育』〈国語教育のための国語講座3〉，朝倉書店，1958年
野地潤家・森野繁夫編著『国語教材研究シリーズ11―漢字・漢語・漢文編―』桜楓社，1981年
原田種成『先生と母親の漢字教室』愛育出版，1965年
飛田多喜雄・小林一仁編『最新中学校国語科指導法講座11―言語事項1　漢字，語句・語彙の指導―』明治図書，1983年
福沢周亮『漢字の読字学習―その教育心理学的研究―』学燈社，1976年
藤原宏・瀬川栄志編『小学校国語科新学習指導要領の指導事例集1―新しい「言語事項」の指導(1)発音・

発声・文字・表記法―』明治図書，1978年
松山市造・小林喜三男編著『文字・語句教育の理論と実践』〈新・国語教育シリーズ９〉，一光社，1980年
水原町立水原小学校『漢字指導強化をめざす提案と実践』1968年
明星学園国語部『にっぽんご７―漢字―』麦書房，1969年
文部省『中学校高等学校学習指導法―国語科編―』明治図書，1954年
文部省『国語科学習指導法（表記編）』東洋館出版社，1959年
文部省『筆順指導の手びき』博文社，1958年
文部省『書くことの学習指導１・２・３』〈小学校国語指導資料２・３・４〉，東洋館出版社，1964・1964・1967年
文部省国語課『漢字学習指導実験学校会議―昭和29年度〔謄写〕―』1955年
柳内達雄『文字とことばの教室―２年生―』三十書房，1955年
柳内達雄『文字とことばの力をのばす―２年生―』盛光社，1966年
山根一眞『変体少女文字の研究』講談社，1986年
横浜市立西中学校編『国語表記の学習指導〔文部省実験学校中間発表要旨〕』1957年
横山吉男『漢字指導上の問題点について』1966年
綿田三郎『文字とことばの教室―３年生―』三十書房，1955年
綿田三郎『文字とことばの力をのばす―３年生―』盛光社，1966年
渡辺富美雄『文字指導法』笠間書院，1971年

(2) 書写

阿保直彦ほか編『書写・書道教育史資料１～３』東京法令出版，1984年
小倉不折『書写ハンドブック　図説指導』日貿出版社，1981年
小倉不折『図説小・中学生の書写指導―いつ，なにを，どう教えるか発達段階別―』日貿出版社，1982年
片岸年雄ほか編『図説小学校書写授業の実際　１・２硬筆　３・４毛筆』教育出版，1983年
近藤弘文ほか編著『小学校実践書写指導』東京書籍，1981年
歌子『子どもの字硬筆を上手にする本』学陽書房，1982年
氷田作治・柘植昌汎『書写指導の基本』〈教師のためのベストライブラリー40〉，第一法規，1984年
藤原宏ほか編著『わかりやすい書写の授業―内容と展開と評価―』東洋館出版社，1981年
文部省『指導計画の作成と書写の指導』〈小学校国語指導資料〉，大阪書籍，1980年
文部省『書写の学習指導』〈中学校国語指導資料３〉，東洋館出版，1983年

(3) 石井方式・幼児の漢字教育

石井勲『私の漢字教室―石井学級の実験報告―』黎明書房，1961年
石井勲『１年生でも新聞が読める―革命的漢字教育法―』講談社，1963年
石井勲『漢字の神話』宮川書房，1967年
石井勲『石井方式漢字の覚え方』学燈社，1968年
石井勲『石井方式漢字の教え方』学燈社，1969年
石井勲『漢字による才能開発―３歳からの漢字教育―』講談社，1970年
石井勲『連想式漢字記憶術―石井方式漢字はむずかしくない―』朝日ソノラマ，1975年
石井勲『親こそ最良の教師―心身障害児を甦らせた漢字教育の実際―』グリーンアロー出版社，1980年
石井勲『石井勲の漢字教室』双柿舎，1～5,別巻1～4，1983年
石井勲『連想式漢字記憶術―石井方式・漢字は言葉よりも覚えやすい―』朝日ソノラマ，1983年
国立国語研究所『幼児の読み書き能力』〈報告45〉，東京書籍，1972年

大橋久利『グングン頭のよくなる漢字教育入門―家庭でできる石井式能力開発法―』ダイナミックセラーズ，1983年
山田稔『たのしい漢字あそび―かわい幼稚園の文字保育―』双柿舎，1984年

第3節　雑誌論文

以下，国立国語研究所編『国語年鑑』(1954～1988年版）にもとづいて，雑誌論文を一覧する。原則として，歴史研究，書評，時評類は，除いた。なお，『国語年鑑』では，雑誌の特集名などもいっしょにあげているが，そのまま従った。また，ダッシュ（―）の使い方などに統一を欠くところがあるが，そのままとした。書誌項目は，『国語年鑑』どおり，

著者名，論文名，掲載雑誌，巻号，発行年月，頁数

である。ただし，巻号・頁数をあげていないものもある。

(1) 漢字の学習指導一般

相原永一「国語科単元展開例　ことばと文字の研究をしよう」，『小五教育技術』7-8，1953年11月，4
相原永一「漢字指導の実践記録とその問題点―小学校―」，『漢字漢文教育』2，1961年9月，5
青木五郎「辞書と国語教育―漢和辞典の使い方」，『国語教育』18，1983年12月，10
東洋・水谷博臣・沼野一男・堀内敏夫・最上太門・宮崎浩平・山口国雄「共同討議，漢字学習プログラムをどう修正するか」，『教育技術学習心理』4-1，1963年4月，2
荒井真弓「総特集・日本国辞書批判―学校に於る辞書の活用　小学校」，『あらたま』24，1987年12月，2
安達美和子「連載・授業技術研究―効果的な書きとり練習法2　私のくふう，正しく使うことのできる漢字」，『教育科学国語教育』252，1978年9月，3
跡部和夫「特集・文字の指導　国語教育の今日的課題―実践研究，商業高校における文字力強化の試み―国語と商業実践を通じて」，『月刊国語教育』5-1，1985年4月，6
虻川ツサ・片岸年雄・山野雅行・斎藤文四郎・道元昭隆「特集・文字の指導　国語教育の今日的課題―アイデア特集，文字・漢字指導のコツ」，『月刊国語教育』5-1，1985年4月，11
阿部哲郎「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　効果的な漢字指導の方法のくふう1　小学校低学年の効果的方法」，『教育科学国語教育』10-12，1968年12月，3
天津俊英「漢字漢字語の指導　漢字をどう教えるか」，『児言研国語』25，1970年8月，7
荒井真弓「総特輯・日本国教科書修正案・実践＜小学校＞小学校一年生への漢字漢詩指導の試み」，『あらたま』16，1983年12月，8
荒木茂「漢字漢字語の指導　漢字をどう定着させるか」，『児言研国語』25，1970年8月，6
安藤操「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　文学教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか　小学校中学年段階における実践」，『教育科学国語教育』10-3，1968年3月，5
生熊文雄「特集・基礎学力の育て方と伸ばし方　基礎学力としての漢字指導」，『教育研究』14-7，1959年7月，3
池田嘉登「漢字指導の問題」，『信濃教育』822，1955年6月，8
池田英雄「特集・漢字・かな問題と教育　国語教育と国語国字問題・2の5　高校における用語用字の指導」，『国文学』6-9，1961年7月臨時増刊号，4
池田英雄「教材研究　高校漢文教材中の『漢字』の習得指導」，『漢字漢文』1，1969年11月，2
石井茂「作文における辞書のすすめ―高校生の誤字・誤用の実態から―」，『辞書』1969，1969年1月，2

石井正夫「学習技術としての文字の学ばせ方」,『小六教育技術』8-6, 1955年8月, 5
石川弘明「指導と研究, 漢字指導の年間指導計画を」,『漢字漢文』12-25, 1980年11月, 3
石黒修「国語科以外の漢字の問題」,『初等教育資料』110, 1959年5月, 2
石黒修「巻頭随想　文字というもの―三年生のことばの指導にふれて―」,『小三教育技術』15-13, 1962年2月, 4
石田佐久馬「国語科. 基礎学習　漢字を読む力」,『小六教育技術』6-1, 1953年4月, 5
石田佐久馬「国語科. 基礎学習　漢字を書く力」,『小六教育技術』6-2, 1953年5月, 5
石田佐久馬「各科優秀作品の研究　紀行文・感想文・漢字の研究の事例研究」,『小六教育技術』6-5, 1953年8月, 6
石田佐久馬「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　漢字指導法改造のための研究視点4　漢字学習のためのノート研究」,『教育科学国語教育』10-12, 1968年12月, 6
出雲路猛雄「子どものための辞書　辞書に親しむために」,『ことばの窓』1, 1981年3月, 2
市村友子「小学校低学年の漢字指導の一考察―音読みと訓読みを中心として―」,『国語研究（山形大学)』22, 1971年7月, 10
伊藤菊子「形声文字と漢字指導」,『言語生活』326, 1979年2月, 14
伊藤昭樹「漢字・語彙の学習指導の体系化をめざして」,『全日本国語教育協議会紀要』4, 1970年3月, 3
稲垣寿年「特集・学力の見かた考えかた　私たちは練習学習をこうやってきた　中学校の文字・語いの練習」,『教育科学国語教育』2-6, 1960年6月, 6
稲田宏「特集・創造力をつちかう授業研究II　漢字の指導」,『実践国語』28-332, 1967年6月, 2
井上敏夫「漢字指導と教科書との関係」,『国語教室』45, 1955年5・6月, 5
井上敏夫「漢字指導と語彙との関係―正書法と語形法―」,『国語教室』81, 1958年10月, 6
井上治夫・野島喜久枝「わかって使える文字の学ばせ方」,『小五教育技術』9-13, 1956年2月, 7
井上光彦「特集・正しい表記とは―実践研究, 漢字の特殊性を実感させる試み」,『月刊国語教育』6-12, 1987年3月, 6
茨城・日立市宮田小学校「漢字の読みのつまずきとその対策」,『小五教育技術』10-14, 1957年3月, 2
今井幹夫「語彙指導としての漢字教育」,『日本語教育』28, 1975年50-12月, 8
今関喜江「〈実践記録〉国語学習における辞書の利用」,『学校図書館』115, 1960年5月, 4
今本勝造「特集・漢字学習の指導　漢字指導紹介, わが校の漢字学習指導―奈良県・都介野中学校―」,『教育技術中学国語』5-6, 1955年9月, 4
岩下忠男「特集・『わかる』授業づくりの条件―その構造契機を考える・1　教材の条件―漢字・語句・文章表現と理解―」,『教育科学国語教育』214, 1976年2月, 7
植松清彦「教材研究　小学校における漢字指導の実際」,『漢字漢文』1, 1969年11月, 2
謡口明「特集・漢字教育　漢字・漢語に留意した国語指導」,『国語教室』21, 1984年9月, 4
遠藤圭二「指導要領の付録について―漢字と語い―（国語科指導講座)」,『教育技術中学（国・社・英)』, 1953年1月, 5
遠藤与治右衛門「特集・国語学習指導の計画　小学校における漢字指導の計画」,『実践国語』14-151, 1953年4月, 6
尾石忠正「特集・漢字習得の自力をつける指導　漢字習得の自力をつける指導の実際（高学年）子どもの筋・生活経験に着眼する漢字教育」,『教育科学国語教育』279, 1980年9月, 6
大木春基「辞書利用の指導について」,『教室の窓中学国語』136, 1971年4月, 2
大木春基「興味を持たせる漢字漢文の指導」,『漢字漢文』12-25, 1980年11月, 8
大木正之「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　文学教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―小学校高学年段階における実践」,『教育科学国語教育』10-3, 1968年3月, 5

大久保忠利「連載・人間の全面発達をめざす国語教育のために(24)『小学校・責任必修六〇〇漢字表・第一次私案'78公開』　漢字教育の基礎理論　その三」,『国語の授業』27, 1978年8月, 12
大塩卓「漢字力の向上を図るための学習態度の確立」,『実践国語教育』22-255, 1961年10月, 21
大島孜「特集・学力の見かた考えかた　実践記録・私はこうして評価してきた（中学校), 個人診断としての漢字力」,『教育科学国語教育』2-3, 1960年3月, 4
大島信夫「『国語科同題材と漢字修得をどうするか』」,『小三教育技術』10-2, 1956年5月, 2
太田康治「効果的な『学び方』指導の方法例・4　漢字の読み書きの『学び方』指導」,『教育科学国語教育』177, 1973年6月, 6
大槻一夫「国語学習指導の問題点, 文字の指導」,『教育』25, 1953年11月, 7
大槻一夫「特集・練習学習と学力向上　漢字練習の問題点とその克服」,『教育科学国語教育』2-6, 1960年6月, 6
大西久一「研究資料　文字学習とそのくふう」,『小三教育技術』12-10, 1958年11月, 4
大西久一「漢字の学習指導」,『学校教育』602, 1967年12月, 3
大西久一・木村万寿夫「特集・漢字の学習指導　Ⅰ漢字指導をめぐって　漢字の学習指導」,『国語科教育』15, 1968年3月, 10
大西久一「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　効果的な漢字指導の方法のくふう2　小学校中学年の効果的方法」,『教育科学国語教育』10-12, 1968年12月, 3
大橋富貴子「小学校低学年児童に対する漢字の音訓指導」,『言語生活』211, 1969年4月, 5
大橋富貴子「もう一つの教材研究（3）―三年生・文字―」, 月刊『実践国語教育情報』3-8, 1985年8月, 6
大庭忠義「国語の治療教室　漢字力の診断と治療指導の実際」,『小三教育技術』11-8, 1957年9月, 5
大庭忠義「読解・漢字語いの指導―手引き黒板・文字練習機の活用―」,『小六教育技術』13-4, 1960年5月, 6
大日方千秋「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　文学教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―小学校低学年段階における実践」,『教育科学国語教育』10-3, 1968年3月, 6
大平浩哉「各教科等の研究・国語　漢字の読み書きの学習指導について―その一・その二―」,『中等教育資料』501・504, 1986年2・4月, 4
大森延太「第二特集・漢字教育　高校入試と漢字指導　その二　指導上の問題点」,『国文学』7-13, 1962年10月臨時増刊号, 4
大矢武師「各教科等の解説・国語　漢字と表記の指導(高等学校)」,『中等教育資料』286, 1972年7月, 2
大山正幸「国語科単元学習　ことばと文字(国語科単元学習)」,『小五教育技術』6-12, 1953年2月, 5
岡田一城「漢字指導について―未配当漢字を中心に―」,『国語教育研究（広島大学教育学部)』5, 1962年11月, 5
岡田裕正「漢字学習について」,『滋賀県高校国語教育研究会会誌』52年度, 1978年3月, 12
岡村麻美「小学校国語科における漢字教育について」,『高大国語教育』34, 1987年3月, 20
小川和宏「第1特集・漢字指導の実践7　漢字指導―高学年」,『国語の授業』25, 1978年4月, 6
小川由李「実践記録・入門期における漢字指導」,『ことばの教育』99, 1958年3月, 3
沖倉充「漢字誤記の類型とその指導―小学校―」,『漢字漢文教育』2, 1961年9月, 4
沖倉充「第二特集・漢字教育　中学入試と漢字指導　その二　指導上の問題点」,『国文学』7-13, 1962年10月臨時増刊号, 5
沖田千尋「特集・国語教育方法の問題　文字力の伸長をはかる―その方法と実践―」,『実践国語』14-149, 1953年1月, 5
沖山光「漢字学習プログラム修正のために―これまでの調査研究にもとづいて―」,『教育技術学習心理』

4-1，1963年4月，2
奥田恭子「漢字指導教材の実際―小学校教科書に見られる漢字指導教材の実態―」，『京都教育大国文学会誌』16，1981年5月，7
小沢良衛「特集・漢字・かな問題と教育　国語教育と国語国字問題・２の６　高校における用語用字指導の実際」，『国文学』6-9，1961年7月臨時増刊号，5
尾関富太郎「教育漢字・当用漢字以外の漢字指導をどうするか―高校―」，『漢字漢文教育』2，1961年9月，5
甲斐直「読み方の定まらない漢字語句」，『国語の研究』2，1967年3月，10
垣田敏明「特集・たのしいドリルのさせかた・指導記録　書く字を育てるドリル学習―旧型も生かしながら新型のドリルへ―」，『小二教育技術』8-10，1955年12月，5
風間章典「特集・漢字習得の自力をつける指導―漢字習得の自力と指導計画のあり方」，『教育科学国語教育』279，1980年9月，6
梶原勝「漢和辞典の指導」，『学校図書館』，1953年4・5月，9
梶原勝「漢和辞典の指導―２―」，『学校図書館』，1953年7月，5
カタオカイクジ「実践記録・漢字，かなのドリル学習について」，『ことばの教育』95，1957年11月，4
勝又昌義「特集・新しい国語教師像II　研究論文　漢字の知識（六書・部首）に関する教材の問題点」，『国語科教育』19，1972年3月，7
勝又昌義「談話室，漢字の由来・構成に関する教材について」，『月刊国語教育研究』184，1987年9月，2
金井伍一「小学校低学年の漢字指導について」，『教育国語』11，1967年12月，18
金沢文彦「教育漢字読字力・書字力ドリル効果の考察」，『国語教室』53，1956年2月，6
金平正「小学部における漢字教育」，『全人教育』145，1961年9月，13
加納喜光「特集・漢字教育　漢字の楽しみ―植物の雌雄の話―」，『国語教室』21，1984年9月，4
上飯坂好美「読む漢字と書く漢字の区別」，『教育科学国語教育』8-10，1966年9月，5
上沢紀子・清水千波「児童の漢字かなづかいの誤りとその対策」，『国語学研究報告』1，1962年2月，14
神島達郎「指導法講座(1)教師自らもっと辞書の活用を」，『月刊国語教育』6-4，1986年7月，19
神谷研治「実践報告，漢字修得のための方策」，『国語教室』27，1953年9月，6
川上浩治「学習りぽーと，筆順の実態とその指導のあり方」，『月刊国語教育』4-5，1984年8月，3
川上浩治「生徒に漢字力をつけさせる指導のあり方」，『月刊国語教育』4-8，1984年11月，4
川端芳則・近藤克巳「漢字の構成を生かした指導の工夫『常用漢字中学校学年別配当表』私案の作成」，『国語と教育（長崎大学）』11，1986年12月，9
川鰭定明「漢字学習の一つのこころみ―ドリル・ブック「漢字に強くなる本」の作成と利用―」，『国語教育(三省堂)』7-5，1965年6月，4
川鰭定明「わたしの漢字指導の試み」，『教育科学国語教育』7-7，1965年7月，4
川村精一「特集・文字指導の原理と方法　高校における漢字指導―教材開発の試みとその反省―」，『国語教育研究』94，1980年3月，5
神鳥武彦「小学校低学年児童の作文―漢字の使用状況から見た漢字指導法の考察―」，『試論』11，1966年2月，30
規工川佑輔「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　漢字指導法改造のための研究視点５　中学生の漢字指導研究―まず能力の実態把握から―」，『教育科学国語教育』10-12，1968年12月，6
菊池菊雄「学習を身につける指導　漢字のドリルをどのように試みたか」，『小四教育技術』12-13，1960年2月，3
菊地明「研究発表４・漢字の熟語を適切に使わせるための試み(研究発表要旨)」，『漢字漢文』3-8，1971年12月，2

基礎学力研究・国語科プロジェクトチーム「国語科における基礎学力研究　漢字学習のプログラム化を考えるにあたって」,『大阪府科学教育センター研究報告集録』94, 1979年3月, 8
北川貞雄「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　漢字のとり立て練習学習」,『教育科学国語教育』8-13, 1966年12月, 5
北村季夫「特集・ドリルと練習　語句と漢字の練習」,『小五教育技術』9-10, 1955年12月, 3
北村道彦「特集・漢字・かな問題と教育　国語教育と国語国字問題・2の3　中学校における用字用語の指導」,『国文学』6-9, 1961年7月臨時増刊号, 4
木村孝雄・磨野久一・竹原宏・土田雅道「特集・漢字習得の自力をつける指導―効果的な漢字の覚えさせ方そのアイデア」,『教育科学国語教育』279, 1980年9月, 4
岐阜市梅林中学校「基礎能力の診断の具体例と治療の実例研究について―漢字教育の場合―」,『教育技術』11-13, 1957年3月, 5
桑原淳「第二特集・漢字教育　高卒入社試験と漢字指導」,『国文学』7-13, 1962年10月臨時増刊号, 5
久米公「筆順の研究―基準的筆順の体系確立をめざして―」,『国語科研究紀要』2, 1969年12月, 39
倉沢栄吉「教育通信, 漢字指導をめぐって」,『言語と文芸』73, 1970年11月, 2
栗岩英雄「第二特集・漢字教育　中学入試と漢字指導　その一　入試問題の分析」,『国文学』7-13, 1962年10月臨時増刊号, 6
栗山亀蔵「漢字学習の一試案―書く能力のつけ方―」,『東大附属論集』2, 1956年3月, 7
黒沢すみ江「特集・むりとむだのない練習・指導と実践　新出漢字とカタカナの練習」,『小二教育技術』10-6, 1957年7月, 4
見城慶和「第1特集・漢字指導の実践2　字源を利用しての漢字指導」,『国語の授業』25, 1978年4月, 8
現代日本語研究会「高校生と国語辞典　その利用度と信頼度」,『ことば』5, 1984年12月, 16
国語科教育研究プロジェクトチーム「高校国語科における漢字学習教材の開発とその利用法に関する研究」,『大阪府科学教育センター研究報告集録』99, 1984年3月, 14
小柴千枝子「読書による文字習得」,『児童心理』26-6, 1972年6月, 7
輿水実「漢字を読む能力と書く能力」,『実践国語』, 1955年4月, 5
輿水実「連載講座　国語教育の近代化6　漢字学習指導の近代化」,『教育科学国語教育』7-9, 1965年9月, 6
輿水実「国語教育の改造1　読解漢字表と書写漢字表とを区別すること」,『教育科学国語教育』8-5, 1966年4月, 6
輿水実「連載講座　国語教育の改造2　漢字学習指導法の改造」,『教育科学国語教育』8-6, 1966年5月, 6
輿水実「連載講座　国語科の新しい学習システム設計・第4回　漢字の三本立て学習システム」,『教育科学国語教育』207, 1975年7月, 6
小塚芳夫「特集・作文と漢字の指導　これからの漢字教育　漢字の効果的な教え方」,『国文学』13-16, 1968年12月臨時増刊号, 5
小林一仁「特集・言語指導の諸問題　漢字『字形』指導上の諸問題(一)」,『国語教育研究』100, 1980年9月, 8
小林一仁「特集・言語指導の諸問題　漢字『字形』指導上の諸問題(二)」,『国語教育研究』102, 1980年11月, 7
小林一仁「国語表記のチェックポイント(1)　語彙指導に立つ漢字『字形』の指導」,『月刊国語教育』1-1, 1981年8月, 2
小林一仁「国語表記のチェックポイント(2)　漢字『字種』指導への配慮を」,『月刊国語教育』1-2, 1981年11月, 2

小林一仁「国語表記のチェックポイント(3)　憲法に出現する漢字について」,『月刊国語教育』1-3, 1981年12月, 2
小林一仁「国語表記のチェックポイント(4)　国語科の教材に馴染みにくい漢字・漢語の学習指導法」,『月刊国語教育』1-4, 1982年1月, 3
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語句・語彙の学習指導(8)　語彙を豊かにする漢字の効果的指導(1)」,『中等教育資料』454, 1983年2月, 2
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語句・語彙の学習指導(9)　語彙を豊かにする漢字の効果的指導」,『中等教育資料』457, 1983年4月, 2
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語句・語彙の学習指導(10)　語彙を豊かにする漢字の効果的指導」,『中等教育資料』463, 1983年9月, 2
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語彙を豊かにする漢字の効果的指導(2)」,『中等教育資料』469, 1984年1月, 2
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語彙を豊かにする漢字の効果的指導(3)」,『中等教育資料』471, 1984年3月, 2
小林一仁「漢字の系統的指導法における諸問題」,『国語科教育』31, 1984年3月, 7
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語彙を豊かにする漢字の効果的指導(4)」,『中等教育資料』474, 1984年5月, 2
小林一仁「国語教育実践の新しい動向―中学校(2)　漢字の読み・書き」,『教育科学国語教育』332, 1984年5月, 3
小林一仁「特集・漢字教育　高等学校での漢字指導の工夫」,『国語教室』21, 1984年9月, 4
小林一仁「〈情報と解説〉字形の許容」,『教室の窓中学国語』283, 1984年9月, 1
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語彙を豊かにする漢字の効果的指導(5)」,『中等教育資料』481, 1984年10月, 2
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語彙を豊かにする漢字の効果的指導(6)」,『中等教育資料』483, 1984年12月, 2
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践. 語彙を豊かにする漢字の効果的指導(7)」,『中等教育資料』485, 1985年2月, 2
小林一仁「講座・言語指導　漢字を使いこなす」,『月刊国語教育研究』170, 1986年7月, 5
小林一弘・斎藤修一・須田清・馬場正男・（司会）根本今朝男「特集―文字の形座談会, 字形の指導はむずかしい」,『言語生活』272, 1974年5月, 14
小林喜三男「発達段階に応じた指導のあり方―ことばや文字の指導について―」,『教育技術学習心理』1-1, 1960年4月, 5
小林喜三男「漢字指導にムリするな」,『日本のコトバ』8, 1961年7月, 6
小林喜三男「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　説明文教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―小学校高学年段階における実践」,『教育科学国語教育』10-3, 1968年3月, 5
小林喜三男「漢字指導をいかにすべきか」,『児言研国語』19, 1969年3月, 3
小林喜三男「特集・文字・漢字の指導をどう進めるか　漢字指導―低学年」,『国語の授業』10, 1975年6月, 11
小林喜三男「特集・文字・漢字・話し合い・表現よみの実践プラン　漢字指導の実践プラン」,『国語の授業』15, 1976年7月, 12
小林金次郎「漢字学習のドリル指導」,『教育技術中学国語』5-6, 1955年9月, 7
小林富雄「創造・発見の漢字学習指導―三本の柱を立てて」,『児言研国語』25, 1970年8月, 3
小林久麿「『文字』についての提言―特に筆順を中心として」,『香川大一般教育研究』10, 1976年51-10月,

5
駒木勝一「特集・日本の教育の目標を考える＝国語　文字の指導からみた教科書・市販テスト一」,『教育』282, 1972年11月, 5
小松善之助「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　漢字指導の計画をどう立てるべきか—コトバの発達を重視する立場から」,『教育科学国語教育』8-13, 1966年12月, 9
米納三雄「漢字の指導」,『国語教室』74, 1958年2月, 3
小山定良「講座　国語学習指導上の諸問題一書き方について一」,『初等教育資料』41, 1953年10月, 4
近藤武「特集・漢字学習の指導　漢字指導紹介, 漢字の指導をこうしている」,『教育技術中学国語』5-6, 1955年9月, 7
近藤美津子「特集・国語表記法教え方　漢字の使い方指導」,『ことばの教育』99, 1958年3月, 3
斎藤文四郎「小特集・漢字・漢語の力をどうつけるか　実践報告　漢字指導の創意と工夫」,『月刊国語教育』1-2, 1981年11月, 4
斎藤松夫「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　文学教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか一中学校段階における実践」,『教育科学国語教育』10-3, 1968年3月, 6
坂井勝司「特集・国語教育の実証的研究　漢字指導の一資料」,『実践国語』16-179, 1955年9月, 9
坂井勝司「特集・国語の学習系統　小学漢字の学習系統」,『実践国語』19-210, 1958年4月, 7
坂井勝司「特集・解釈と表現の理論と実際　読解指導と漢字」,『実践国語教育』22-249, 1961年4月, 7
坂井勝司「漢字教育　漢字教育・漢字のはたらかせ方」,『実践国語教育』24-280, 1963年7月, 8
坂井勝司「現場講座, とりたて漢字指導」,『実践国語』26-304, 1965年5月, 6
坂井勝司「現場講座, 特集・学習指導課程の実態報告Ⅰ　漢字の新出時の指導をたいせつに」,『実践国語』26-309, 1965年9月, 4
坂井勝司「現場講座, 特集・学習指導課程の実態報告Ⅱ　教育漢字の四年配当字の位置」,『実践国語』26-310, 1965年10月, 6
坂井勝司「現場講座, 四年生の漢字使用指導への足場一一二三年での漢字使用の歴史一」,『実践国語』26-313, 1965年12月, 5
坂井勝司「現場講座, 漢字の学習指導(三年生) ―どんなことのうえにたってどんな指導をしたらよいか一」,『実践国語』28-328, 1967年2月, 13
酒井秀彦「特集・夏休みと自主的学習研究, 漢字指導に関する一考察」,『児童心理』15-8, 1961年8月, 7
坂井福作「指導と研究, 漢字・漢詩の指導について　低学力生徒の指導」,『漢字漢文』19-32, 1987年11月, 4
坂本清太郎「漢字指導, 漢字駆使のための指導」,『実践国語』28-333, 1967年7月, 4
桜井長一・西村省吾「国語科基礎学習の指導　文字や文の書き方」,『小1教育技術』12-5, 1958年7月, 10
佐々木公彦「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　中学校ではどう考えていくべきか一読解過程に漢字指導を位置づける」,『教育科学国語教育』8-13, 1966年12月, 5
佐々木久近「特集Ⅱ・問題研究の成果　漢字力をつけるために」,『実践国語』18-196, 1957年2月, 5
佐々木久近「実践紹介　反復練習の勝利一漢字の指導はこのように一」,『小五教育技術』10-13, 1957年2月, 6
笹倉美好「各科の学習指導国語科　文字を正しく整えて書く」,『小三教育技術』13-7, 1959年9月, 6
佐藤利右ェ門「漢和辞典編集者への提言　学習の効率化のために」,『漢字漢文』4-11, 1972年9月, 2
佐藤潤一郎・橋本恭一・牛島倫子・(司会) 小林一仁「特集・文字の指導　国語教育の今日的課題一座談会, 発達段階に応じた文字指導」,『月刊国語教育』5-1, 1985年4月, 18
佐野藤雄「漢字カードの工夫と使用について」,『教育技術』, 1953年9月, 6. 5
塩田紀和「第二特集・漢字教育　小・中・高における系統的漢字教育をどうするか」,『国文学』7-13,

1962年10月臨時増刊号，5
志賀幸子「研究発表２・意欲的な漢字学習法(研究発表要旨)」，『漢字漢文』3-8，1971年12月，3
篠原聖二「未修得漢字の多い生徒をどう指導したか」，『国語国文研究と教育』7，1979年1月，9
渋谷由郎「小特集・漢字指導の原理と方法２　子供の願いを伸ばしていく―漢字指導の力点と実践」，『国語の教育』18，1969年10月，9
清水晴男「特集・読みの指導のポイント　文字学習の能率的方法はどうあるべきか(シンポジウム）―この提案を読んで（感想）―」，『小五教育技術』9-8，1955年10月，3
清水義晶「特集・言葉遊び・漢字遊びで授業を楽しく―言葉遊び・漢字遊び事例集―中学校版　みんな生き生き語句・漢字遊び」，『教育科学国語教育』370，1986年11月，5
白石光邦「漢字の体系的学習指導法―要素形的学習指導法―」，『言語生活』183，1966年12月，7
白石光邦「漢字の体系的学習指導法（続）―要素形的学習指導法―」，『言語生活』184，1967年1月，9
白石光邦「指導漢字1580字の提言」，『国語国字』99，1978年4月，7
進藤猛・鈴木敏夫・今坂晃・林四郎・（司会）小林一仁「小特集・漢字・漢語の力をどうつけるか（座談会）漢字・漢語の力をどうつけるか―常用漢字の時代をむかえて」，『月刊国語教育』1-2，1981年11月，20
神藤吉重「いろいろな文字とことば(単元展開例)」，『小六教育技術』6-11，1954年2月，4
新村作「特集・漢字学習の指導　漢字指導研究，漢字の学習指導法」，『教育技術中学国語』5-6，1955年9月，5
末田克美「国語教育　文字教育の問題点―漢字教育を中心に―」，『国語学』20，1955年3月，12
菅井建吉「小特集・漢字・漢語の力をどうつけるか　実践報告　多出漢字からの文章理解」，『月刊国語教育』1-2，1981年11月，4
杉山愛子「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　漢字指導法改造のための研究視点１　新出漢字の指導方法研究」，『教育科学国語教育』10-12，1968年12月，6
杉山愛子「作文と漢字教育―母親への指導をどう行なうか」，『国文学』13-16，1968年12月，4
鈴木昭一「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　説明文教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―小学校低学年段階における実践」，『教育科学国語教育』10-3，1968年3月，5
須田実「寄贈研究誌から問題をひろう，漢字・語彙・語句の指導―子どもの声を生かす授業―」，『教育科学国語教育』360，1986年3月，4
須藤久幸「特集・教育課程改定と現場研究の課題　重点指導の問題点　小・中学校を通した漢字指導」，『教育科学国語教育』10-1，1968年1月，4
須藤久幸「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　効果的な漢字指導の方法のくふう４　中学校の効果的方法」，『教育科学国語教育』10-12，1968年12月，3
すながわもりかず「小学生の漢字対策」，『カナノヒカリ』729，1983年4月，3
砂川守一「特集・漢字教育の問題点―字体を神経質に考えないで　大切なのは骨組み」，『カナノヒカリ』759，1985年10月，2
住山恭子「小特集・漢字・漢語の力をどうつけるか　文献散策　漢字・漢語の指導の充実を目指して」，『月刊国語教育』1-2，1981年11月，2
瀬川栄志「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　漢字指導の計画をどう立てるべきか―指導法の分類化，指導計画の構造化」，『教育科学国語教育』8-13，1966年12月，9
瀬川栄志（国語教育研究所編）「話題と情報　３　漢字指導の動向」，『教育科学国語教育』187，1974年2月，2
関可明「特集・文字・漢字の指導をどう進めるか　漢字指導―中学年」，『国語の授業』10，1975年6月，11

関可明「第１特集・漢字指導の実践３　構造を手がかりにした漢字指導」,『国語の授業』25，1978年4月，8
高木一彦「漢字指導のちかごろ」,『教育国語』66，1981年9月，8
高下正毅「野地潤家先生還暦記念特集　書字力の低位な生徒に対する個別指導と漢字学習への意欲づけ」,『国語教育研究(広島大教育学部)』26下，1980年11月，11
高野柔蔵「国語科．基礎学習　漢字の認知力をたかめる」,『小二教育技術』5-11，1953年1月，4
高橋一夫「興味をもって習得できる漢字学習ー川鰭先生の御研究を読んでー」,『国語教育(三省堂)』7-5，1965年6月，1
高橋清輔「漢字学習をめぐって」,『初等教育資料』110，1959年5月，2
高橋忠良「漢字指導　一つの試み」,『教室の窓中学国語』240，1980年10月，1
高橋太郎「国語教育と国語問題ー漢字指導をめぐってー」,『教育評論』382，1979年9月，4
たかはしたろう「漢字の体系的指導について」,『教育国語』59，1979年12月，13
高橋靖「学級における漢字指導の一考察」,『全人教育』145，1961年9月，10
竹田正雄「中学校の国語教育における読みの指導の一考察ー読解力と読字力を中心としてー」,『国語教室』25，1953年7月，5
武田政市「研究発表３・中学校における漢字指導ー新教育課程との関連ー(研究発表要旨)」,『漢字漢文』3-8，1971年12月，2
竹之内裕章「漢字学習指導の実践的研究(1)ー漢字の統一的指導ー」,『佐賀大学教育学部研究論文集』31-1(1)，1983年7月，15
竹之内裕章「漢字学習指導の実践的研究(2)　2　統一的指導の具現化のためにー低学年を中心にー」,『佐賀大学教育学部研究論文集』32-2(Ｉ)，1985年2月，17
橘与志美「漢字教育に関する実証的，分析的，比較的研究（小学校４年生の場合)」,『大東文化大学紀要(社会自然科学)』17，1979年3月，16
田中久直「研究　小学校低学年で指導すべき漢字語彙」,『教育研究』第8-10，1953年10月，3
田中久直「漢字の指導(国語科基礎指導)」,『小四教育技術』7-1，1954年4月，7
田中久直「読字力評価の実態ーまちまちな基準を改めたいー」,『日本の教育』2，1955年1・2月，1
田中久直「ー編集者のファイルからー漢字指導と指導主事」,『教育手帖』80，1958年3月，2
田中久直「研究情報，漢字指導の工夫と研究」,『教育科学国語教育』262，1979年6月，4
田中稔「指導事例　漢字学習における理解と練習」,『初等教育資料』91，1957年11月，3
田中庸之「特集・ことばの力を育てるー第42回国語教育全国大会記録　漢字学習の問題点ーその一側面ー」,『国語教育研究』88，1979年9月，3
田中庸之・菅井建吉「特集・漢字習得の自力をつける指導　漢字習得の自力をつける指導の実際(中学校)漢字の指導」,『教育科学国語教育』279，1980年9月，6
田辺万平「漢字憎悪の妄執ーたたりを受けた漢字指導ー」,『国語国字』1，1960年12月，2
谷川英則「漢字指導の基点について」,『香川大学国文研究』4，1979年9月，10
谷川英則「特集・文集表現力II　研究論文　字彙表による漢字指導」,『国語科教育』28，1981年3月，7
玉木英彦「漢字の筆順を軽んじるな」,『日本語』12-9，1972年11月，1
タマキヒデヒコ「小学校高学年の漢字のおしえかたまなびかた」,『カナノヒカリ』772，1986年11月，4
田宮輝夫「文字表現指導の系統案ーなにに注目して系統試案をつくったかー」,『作文と教育』14-4，1963年4月，7
田宮輝夫「特集・シンポジウム『国語の学力低下』をどう克服するか　文化遺産としての漢字の指導ー松山提案にそってー」,『国語の授業』17，1976年11月，7
田村利樹「1984ネンドカナモジカイカイインソウカイ　小学校の漢字教育の現状ーソウカイ　デノオハナ

シ」，『カナノヒカリ』750，1985年1月，2
田村胞治「字体指導について―問題点と意見―」，『宮城教育大国語国文』7，1976年1月，9
知久宏次「特集・国語教育の実証的研究　漢字の忘却とその阻止について」，『実践国語』16-179，1955年9月，7
千々岩弘一「漢字指導系統化の基本問題」，『教育学研究紀要』27，1982年3月，3
張崇賜「教育漢字の分類による心理的学習指導法」，『上武大学論集』6，1975年2月，20
月渓宏「小学校教育課程「国語」における漢字指導展開の留意点」，『京都文教短大研究紀要』19，1980年12月，8
津田泰男「ポケットカードを利用した漢字の指導」，『小五教育技術』8-12，1955年2月，3
土田茂範「漢字をどう教えたか―その指導記録から―」，『教育国語』9，1967年6月，13
土田雅道「わたしの国語教室　漢字かるたの創作で六〇〇漢字をバッチリ」，『国語の授業』31，1979年4月，6
土屋信一「『魚』字の訓『うお』と『さかな』の指導」，『教科通信』20-21，1983年11月，2
寺門正人「特集・漢字指導のアイデア　特集の解明　漢字に対する課題意識をひとりひとりに」，『実践国語研究』43，1984年1月，6
寺島一之「指導と研究，漢字の学習　音声と漢字との照合」，『漢字漢文』19-32，1987年11月，3
東京都荒川区立第四峡田小学校「特集・漢字の学習指導　国語の学力向上をはかるための効果的な指導法―漢字の読み書きを中心として―」，『国語情報』12-5，1981年5月，8
東宮もち子「筆順矯正指導の一方法」，『国語研究』，1954年3月，2
戸上輝雄「高校における漢字指導」，『佐賀大国文』8，1980年11月，3
富田富貴雄「漢字の筆順指導試論(上)」，『鳥取大学教育学部研究報告(教育科学)』20-2，1978年12月，27
富田富貴雄「漢字の筆順指導試論(下)」，『鳥取大学教育学部研究報告(教育科学)』21-1，1979年7月，27
友野一「漢字の本質と教え方」，『信濃教育』822，1955年6月，5
友野一「特集・記憶のよい子・悪い子　漢字の覚え方」，『児童心理』24-11，1970年11月，5
堂免国好「特集・漢字習得の自力をつける指導　漢字習得の自力をつける指導の実際（低学年）全文通読段階における漢字指導」，『教育科学国語教育』279，1980年9月，6
ドリル研究班「漢字のドリルに於ける継続時間」，『国語教育の研究』創刊号，1955年1月，5
内藤哲彦「中学校での漢字指導」，『教育国語』24，1971年3月，12
内藤哲彦「小学校における漢字指導(一)」，『教育国語』67，1981年12月，5
内藤哲彦「小学校における漢字指導(二)」，『教育国語』68，1982年3月，6
内藤哲彦「漢字指導のこと(1)～(4)」，『教育国語』84～87，1986年3・6・9・12月，36
内藤哲彦「漢字指導のこと(5)(6)」，『教育国語』88・89，1987年3・6月，16
直井喜美子・野田弘「国語科基礎学習の指導　漢字の学習」，『小一教育技術』12-8，1958年10月，8
永井袈裟美「字形と筆順の指導―文の視写を通して―」，『小一教育技術』14-11，1960年10月，7
中尾昭人「総特集・日本国辞書批判―子供用辞書の批判」，『あらたま』24，1987年12月，2
長岡文雄「筆順の指導について」，『学習研究』，1953年11月，7
中沢政雄「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　読解指導における漢字・語句指導の位置」，『教育科学国語教育』10-3，1968年3月，18
中沢仙兆「低学年の漢字指導について」，『信濃教育』1017，1971年8月，11
中沢政雄「特集・国語科基礎学習のシステム―漢字学習・語い学習・文法学習(1)～(4)」，『国語情報』8-2・3・6・8，1977年2・3・6・8月，89
中沢政雄「第17回国語教育科学研究大会　研究主題，国語科基礎学習のシステムと実践―漢字学習・語句学習・文法学習―講演，国語科基礎学習(言語事項）の原則と方法のシステム」，『国語教育科学』17-9，

1977年9月，21
中沢政雄「これからの国語科教育(70)（71）　漢字学習の新しいシステム(1)(2)ー漢字学習法の改善ー」，『国語情報』9-9．10，1978年9．10月，4
中沢政雄「言語事項指導法(1)(2)　文脈の原理にもとづく漢字指導の改善(1)(2)」，『国語情報』12-3．4，1981年3．4 月，6
中沢政雄「新国語科教育の創造(83)　漢字・漢語指導法の改善をー漢字学的方法から学習理論的方法へー」，『国語情報』12-3，1981年3月，2
中沢政雄「講演・漢字学習指導法の改善」，『国語情報』12-5，1981年5月，11
中沢政雄「言語事項指導法(3)(7)(8)反復(練習）の原理にもとづく漢字指導法の改善(1)～(3)」，『国語情報』12-6～8，1981年6～8月，12
中沢政雄「言語事項指導法(9)～(11）類別・異同の原理にもとづく漢字指導法の改善(1)～(3)」，『国語情報』12-9・10・12，1981年9・10・12月，8
中沢政雄「言語事項指導法(12）～(15）類別・異同の原理にもとづく漢字指導法の改善(4)～(7)」，『国語情報』13-2・3・5・10，1982年2・3・5・10月，12
中沢政雄「言語事項指導法　比較対照の原理にもとづく漢字指導法の改善(1)」，『国語情報』13-12，1982年12月，4
中沢政雄「言語事項指導法　比較対照の原理にもとづく漢字指導法の改善(2)」，『国語情報』14-2，1983年2月，2
中沢政雄「言語事項指導法　比較対照の原理にもとづく漢字・漢語指導法の改善(3)～(5)」，『国語情報』14-4・6・9，1983年4・6・9月，8
中沢政雄「言語事項指導法　比較対照の原理にもとづく漢字・漢語指導法の改善(6)」，『国語情報』15-2，1984年2月，5
中沢政雄「特集・楽しい辞書指導」，『国語情報』18-5，1987年5月，19
中野仙蔵「国語の力を伸ばすための漢字指導」，『語学と文学』12，1967年8月，9
中林哲夫「中学校における漢字指導ープログラム学習の試みー」，『国語新潟』87，1967年4月，6
中原国明「相談室，漢字指導の工夫」，『月刊国語教育研究』127，1982年12月，2
中村鉄治「小学校高学年における効果的漢字指導について」，『信濃教育』913，1962年12月，6
中村元千「指導の工夫，国語科　漢字テストの採点基準」，『教育研究(初等教育研究会)』37-4，1982年4月，1
長野県穂高小学校「実践記録　入門期における文字を書く学習のさせ方について」，『国語の教室』11，1965年8月，3
永松丈「漢字の力をつける学習指導の実際」，『村の教師の記録』，1956年2月，4
新潟県三条市立裏館小学校国語科研究部「国語科基礎学力指導　たのしい漢字の練習」，『小一教育技術』11-9，1957年10月，7
西敏「漢字誤記の類型とその指導ー中学校ー」，『漢字漢文教育』2，1961年9月，3
西川和夫・有福潤一「漢字書字学習におけるプログラム化と系統化の効果」，『三重大教育学部研究紀要(教育)』33，1982年2月，3
西川和夫「漢字書字学習における熟知情報利用の効果」，『日本教育工学雑誌』10-4，1986年12月，5
西原栄穂「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　中学校ではどう考えていくべきかー語い語句としての漢字習得をめざす」，『教育科学国語教育』8-13，1966年12月，5
西原慶一「国語教育実践講座（四）～（七）漢字教育の展開(一）～(四)」，『実践国語教育』22-254～22-258，1961年9～12月，51
西村省吾「基礎指導　漢字の学習（表現室・飼育栽培などの記録）ー国語科ー」，『小三教育技術』7-2，

1953年5月，7
西村省吾「国語科・基礎学習の指導　漢字をおぼえさせる」，『小一教育技術』8-6，1954年9月，8
西村省吾・山口不美「国語科・基礎指導　漢字を正しく読み・書きましょう―漢字の使いわけの指導―」，『小二教育技術』8-12，1956年1月，8
西村省吾・渋谷速男「国語科・基礎学習の指導　漢字の学習―読解の中で指導する―」，『小一教育技術』10-8，1956年10月，8
西村哲郎「低学年における筆順指導」，『小二教育技術』7-12，1955年2月，3
丹羽宗吉「特集・正しい表記とは―調査記録，漢字指導の一考察―高校生の実態調査から」，『月刊国語教育』6-12，1987年3月，6
沼野一男・市川荘二・中川真弥・横山旭「共同研究，漢字学習プログラミングの研究」，『教育技術学習心理』4-3，1963年6月，21
根本今朝男「漢字指導についての試論」，『教育国語』7，1966年12月，13
根本今朝男「漢字学年配当と漢字指導の改革」，『教育科学国語教育』10-6，1968年6月，7
根本今朝男「小特集・漢字指導の原理と方法３　漢字教育の展望」，『国語の教育』18，1969年10月，7
根本今朝男「小特集・漢字・漢語の力をどうつけるか　学校教育における漢字指導のあり方」，『月刊国語教育』1-2，1981年11月，6
野田弘「国語科十月各科基礎学習の指導　運動会―漢字の読ませかた・書かせかた―」，『小一教育技術』9-8，1955年10月，8
野田弘「秋のころ―漢字の学習―」，『小二教育技術』，1956年10月，8
野中常雄「特集・読解指導の再検討　漢字の指導―特に語としての指導―」，『実践国語』15-166，1954年7月，4
野村兼嗣「特集・国語学習指導の諸問題　字を書くことの指導」，『実践国語』15-171，1954年12月，5
野村吉次「国語科における基礎学力としての文字指導」，『初等教育資料』379，1979年5月，5
羽柴弘「教材研究　中学校における漢字漢語教育の実際」，『漢字漢文』1，1969年11月，2
長谷作市「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　効果的な漢字指導の方法のくふう３　小学校高学年の効果的方法」，『教育科学国語教育』10-12，1968年12月，4
長谷川敏正「辞書の使用について」，『実践国語』，1954年7月，5
長谷川敏正「教育漢字・当用漢字以外の漢字指導をどうするか―中学校―」，『漢字漢文教育』2，1961年9月，4
畑瀬一夫「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　説明文教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―小学校中学年段階における実践」，『教育科学国語教育』10-3，1968年3月，5
畠山熙一郎「わが校の実践 ―創意ある国語指導をめざして　漢字学習指導上の問題と小説教材の活用」，『月刊国語教育』4-6，1984年9月，7
八田洋弥「特集・文字指導の原理と方法　小学校における漢字指導―低学年の指導事例を中心にして」，『国語教育研究』94，1980年3月，6
花田哲幸「特集・文字と国語教育　作文と文字学習」，『児童心理』10-9，1956年9月，7
林巨樹「国語教育における漢字指導の方向」，『教育と文化』17，1982年3月，8
林進治「漢字漢字語の指導　漢字指導の系統と方法　浅間台小学校の実践」，『児言研国語』25，1970年8月，6
林進治「第１特集・漢字指導の実践４　音訓の指導」，『国語の授業』25，1978年4月，6
林進治「ひとり読みに全員・全力の発揮を　文章中の新出文字・難語句の扱い」，『国語の授業』49，1982年4月，10
林恒明「総合活動『漢字のゲーム化』―第三学年」，『教育研究』32-6，1977年6月，4

林輝夫「字形を大切にする漢字指導　漢字書き取り調査を行って」,『奈良教育大学国文―研究と教育―』2, 1978年8月, 14
林百合子「ひろば　O・H・Pを使った漢字指導」,『漢字漢文』3-8, 1971年12月, 2
原栄一「特集・学習の遅れがちな子の診断と対策　学習の遅れがちな子の特別指導例・1―漢字の読み書きが劣る子」,『教育科学国語教育』202, 1975年3月, 6
原田種成「教師は子供を漢字の奴隷にしていないか」,『国語の授業』55, 1983年4月, 6
原田嘉美「教育技術コンクール参加・実践記録　新出漢字の能率的指導」,『小四教育技術』9-4, 1956年6月, 5
東出市二郎「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　説明文教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―中学校三年における実践」,『教育科学国語教育』10-3, 1968年3月, 5
菱沼太郎「特集・文字・漢字の指導をどう進めるか　漢字指導―高学年」,『国語の授業』10, 1975年6月, 9
菱沼太郎「第1特集・漢字指導の実践5　漢字の遊戯的勉強」,『国語の授業』25, 1978年4月, 8
飛田多喜雄「寄贈研究誌から問題をひろう　漢字・語句の指導を強化したい」,『教育科学国語教育』158, 1971年12月, 4
平井英一「第1特集・漢字指導の実践8　漢字指導―中学校」,『国語の授業』25, 1978年4月, 8
平井昌夫「国語の治療教室10　文字力の治療指導」,『小五教育技術』11-15, 1958年3月, 4
平田精一「漢字学習　事例からみた漢字学習の実態と解決の方向」,『実践国語教育』24-280, 1963年7月, 7
平山多津雄「〈実践記録〉『辞書指導の展開』とその中から考えたこと」,『学校図書館』115, 1960年5月, 3
福沢幾男・福沢周亮「漢字の学習指導に関する基礎的研究―読みについて―」,『読書科学』7-2, 1963年9月, 8
福島十八「第1特集・漢字指導の実践6　漢字指導―低学年」,『国語の授業』25, 1978年4月, 8
福田襄之介「昭和五十一年度岡山大学言語国語国文学会研究発表要旨　文字教育の実際(研究発表要旨)」,『岡大国文論稿』5, 1977年3月, 1
福原太一「反省と前身のための『実践記録』漢字指導の実践的研究」,『教育技術中学教育』3-12, 1959年3月, 4
藤井治「連載・授業技術研究―効果的な書きとり練習法1　文字の練習と効果的方法の工夫」,『教育科学国語教育』252, 1978年9月, 6
藤井治「特集・漢字指導のアイデア　読み書き分離の考え方を基本に」,『実践国語研究』8-1, 1984年1月, 6
藤井圀彦「特集・練習効果を最大限に発揮させるには―三学期の教材に即して―漢字の練習はどうしたらよいか」,『教育研究(初等教育研究会)』17-1, 1962年1月, 3
藤井信男「漢字の学習について」,『実践国語教育』20-219, 1959年1月, 4
藤井信男「漢字指導の動向」,『漢字漢文教育』2, 1961年9月, 5
藤井信男「漢字指導の意義」,『国文学』7-13, 1962年10月, 5
藤井信男「各教科等の解説・国語　漢字指導（字体）について」,『中等教育資料』156, 1963年12月, 1
藤崎一夫「一九八一年・第20回教育科学研究会全国大会分科会報告国語教育, 体系的な漢字指導と文学作品の読み方指導」,『教育』405, 1981年11月増, 7
藤本一郎「漢字練習板のくふう」,『小二教育技術』10-9, 1957年10月, 2
藤本良公「特集・漢字と日本人―漢字教育の現場から」,『言語』6-8, 1977年7月, 9
藤本良公「指導と研究, 漢字学習の生活化―漢字指導改善へのアプローチ―」,『漢字漢文』11-24, 1979

年11月，4
藤原貞子「特集・書くことの学習心理　実践記録　漢字の教え方―低学年の場合―」，『ことばの教育』99，1958年3月，3
舟茂俊雄「漢字指導の実践記録とその問題点―中学校―」，『漢字漢文教育』2，1961年9月，6
古田拡「国語教育の創造4，漢字教育について―付・教師演技論―」，『教育科学国語教育』2-8，1960年8月，4
編集部「漢字教育の合理化をはかれ　使用度数のちがいに応じた指導」，『カナノヒカリ』718，1982年6月，2
北条常久「特集・方言と共通語II　研究論文　高校漢字教育について」，『国語科教育』22，1975年3月，8
星野栄一「特集・文字の指導　国語教育の今日的課題―実践研究，遅進児の漢字学習をめぐって」，『月刊国語教育』5-1，1985年4月，6
堀田虎二「辞書を引く能力」，『国語教育（三省堂）』6-5，1964年5月，3
堀内武雄「第二特集・漢字教育　大学入試と漢字教育」，『国文学』7-13，1962年10月臨時増刊号，5
堀川勝太郎「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　漢字指導法改造のための研究視点2　漢字の定着をはかる指導方法研究」，『教育科学国語教育』10-12，1968年12月，6
堀川勝太郎「特集・作文と漢字の指導　これからの漢字教育　文字力の評価と処理―漢字を中心として」，『国文学』13-16，1968年12月臨時増刊号，6
堀川三代子「指導と研究，漢字指導を考える」，『漢字漢文』15-28，1983年11月，3
本堂寛「国語教育実践の新しい動向―小学校(5)　文字の読み書き指導」，『教育科学国語教育』336，1984年8月，3
槇さとの「特集・国語学習指導の計画　文字を覚えさせるまで」，『実践国語』14-151，1953年4月，3
増井金典「教師から見た辞書」，『会誌』46年度，1972年3月，7
真武直・遠藤光代・占部玄海「体系的漢字漢語教授法の理論とその教授様式」，『福岡教育大学紀要』17，1967年12月，26
松井早苗「漢字あつめ(国語科単元学習)」，『小三教育技術』5-13，1953年3月，4
松井四郎「特集・漢字・かな問題と教育　国語教育と国語国字問題・2の1　小学校における用字用語の指導」，『国文学』6-9，1961年7月臨時増刊号，5
松井四郎「特集・文字・漢字の指導をどう進めるか　漢字教育における四楽章」，『国語の授業』10，1975年6月，10
松川文太「漢字を書く能力を高めるための一方策―文部省示唆の学年配当漢字を中心にして」，『横浜市立教育研究所所報』，1954年7月，20
松村伊佐武「漢字指導の問題」，『漢文学』2，1953年10月，4
松本順之「特集・国語教育における正確さの指導　文字を正確に学ばせる指導」，『児童心理』15-12，1961年12月，5
松山市造「特集・シンポジウム『国語の学力低下』をどう克服するか　提案・『国語の学力低下』をどう克服するか」，『国語の授業』17，1976年11月，9
松山市造「特集・漢字習得の自力をつける指導　新国語科の漢字指導はどうあるべきか―自力で漢字を習得する力をつけさせるために―・3　多面的な基礎指導の上に」，『教育科学国語教育』 279，1980年9月，6
松山市造「漢字の問題点と漢字の教え方　無理をしないで楽しく教えよう」，『国語の授業』53，1982年12月，8
松山市造「漢字教育の実態とその対策」，『カナノヒカリ』729，1983年4月，4
松永玉吉「語い・漢字・文法」，『国語教室』57，1956年7月，4

真鍋寛「実践事例　現代国語における当用漢字の指導」,『中等教育資料』206, 1967年2月, 5
前沢泰「中学校における漢字の指導」,『解釈』14, 1956年6月, 2
丸山悟「特集・実践記録の研究　漢字指導について―殊に新出漢字の多い高学年についてのメモ―」,『小五教育技術』12-14, 1959年3月, 2
丸山茂「漢字誤記の類型とその指導―高等学校―」,『漢字漢文教育』2, 1961年9月, 5
満田幸四郎「特集・漢字習得の自力をつける指導　漢字習得の自力をつける指導の実際（中学年）自力で学ぶ漢字学習プリントの工夫と実践」,『教育科学国語教育』279, 1980年9月, 6
三浦勇二「「字形素」による漢字指導―誤字の矯正指導法―」,『言語生活』199, 1968年4月, 8
水上静夫「漢字教育の理論と実際―書体―」,『語学と文学（群馬大学語文学会）』19, 1978年7月, 13
水上静夫「漢字教育の理論と実際―字音―」,『語学と文学（群馬大学語文学会）』20, 1981年2月, 12
水口芳明「体験的漢字教育論」,『高松短期研究紀要』15, 1985年3月, 10
蓑手重則「特集・漢字の学習指導Ⅰ漢字指導をめぐって　提案, 漢字学習指導の問題点」,『国語科教育』15, 1968年3月, 3
宮井章子「中学校における漢字指導に関する一研究」,『大阪市教育研究所53年度研究員研究報告集』, 1979年3月, 16
宮川利三郎「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　漢字のプログラム学習」,『教育科学国語教育』8-13, 1966年12月, 6
三宅武郎「漢字教育今日の問題」,『国語教室』27, 1953年9月, 5
三宅武郎「漢字学習上の諸問題」,『国語教室(大修館)』63, 1957年2月, 5
宮坂許生「漢字の指導について」,『国語の教室』12, 1965年12月, 4
宮崎浩明「特集・漢字の指導計画と指導法の改造　漢字指導法改造のための研究視点3　漢字学習のための教具研究」,『教育科学国語教育』10-12, 1968年12月, 6
宮下久夫「漢字指導の教科書案」,『教育国語』8, 1967年3月, 14
宮下久夫「特集　国語辞典のつかい方」,『国語の教育』38, 1971年6月, 12
宮下久夫「どんな国語辞典がよいか」,『教育国語』16, 1969年3月, 15
宮下久夫「特集・教材と教具　国語科教材論, なにを選びどう配列するか―漢字指導―」,『教育』248, 1970年5月, 13
宮下久夫「小学校での漢字指導」,『教育国語』24, 1971年3月, 11
宮下久夫「漢字教科書(案) (1)(2)小学校高学年での指導のために」,『教育国語』38・39, 1974年9, 12月, 23
宮下久夫「漢字教科書(案) (3)～(5)小学校高学年での指導のために」,『教育国語』40～42, 1975年3・6・9 月, 37
宮下久夫「漢字の授業」,『教育国語』85, 1986年6月, 19
宮島達夫「『集中識字教育』と日本の漢字指導」,『教育国語』67, 1981年12月, 2
向窪督・新谷正彦・基礎学力研究国語科プロジェクトチーム「国語科における基礎学力研究　高等学校教育研究(4)　高等学校における漢字学習教材の開発」,『大阪府科学教育センター研究報告集録』97, 1982年3月, 8
村内英一「特集・漢字の学習指導Ⅰ　漢字指導をめぐって　漢字の字体に関する問題―書取の正誤判定の限界―」,『国語科教育』15, 1968年3月, 5
村上生一「漢字指導について」,『国語展望』57, 1981年3月, 4
村田満「私の問題点, 漢字指導と語句指導」,『教室の窓中学国語』232, 1980年1月, 1
村山里司「特集・漢字・かな問題と教育　国語教育と国語国字問題・2の2　小学校における漢字指導について」,『国文学』6-9, 1961年7月臨時増刊号, 4

望月栄一「私の漢字教育論　漢字の教え方を改善せよ―三千標準漢字を小・中学生にも楽におぼえられるようにする方法―」,『教育技術』10-7, 1955年10月, 6
望月辰夫「特集・学力の見かた考えかた　私たちは練習学習をこうやってきた　小学校の文字・語いの練習」,『教育科学国語教育』2-6, 1960年6月, 5
望月努「特集・覚えること・考えること　漢字学習の工夫」,『児童心理』31-7, 1977年7月, 7
本山真美「私の漢字学習史　小学校三年生の場合」,『うずしお文藻』4, 1987年3月, 43
百瀬澄雄「辞書のひけない子ども」,『小五教育技術』12-10, 1958年11月, 3
森岡健二「特集・漢字習得の自力をつける指導　新国語科の漢字指導はどうあるべきか―自力で漢字を習得する力をつけさせるために―・1　漢字教育の構想」,『教育科学国語教育』279, 1980年9月, 6
森川久「児童の力をつける漢字指導の具体的展開」,『小五教育技術』9-1, 1955年4月, 3
森久保安美「小特集・漢字指導の原理と方法1　漢字の指導―論文・書物にみるその問題点」,『国語の教育』18, 1969年10月, 9
森口正彦「「にっぽんご7・漢字」の実践から―中学校での漢字教育のこころみ―」,『教育国語』55, 1978年12月, 21
森本正一「特集・漢字指導のアイデア　特集の解明　漢字指導の体系化をめざして」,『実践国語研究』43, 1984年1月, 6
八木甫瑳子「特集・練習学習の強化　漢字力を定着させるわたしのこころみ」,『研究と実践国語の教師』6, 1983年3月, 4
矢口龍彦「特集・漢字習得の自力をつける指導―漢字習得の自力と練習学習のあり方」,『教育科学国語教育』279, 1980年9月, 6
山下七郎「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　漢字の発見的学習―漢字のとり立て指導―」,『教育科学国語教育』8-13, 1966年12月, 6
山下七郎「特集・文字・漢字の指導をどう進めるか　一年生の文字指導」,『国語の授業』10, 1975年6月, 9
安田充「講座　カードの効果的なつかわせかた―文字を書くことをこのまぬ児童のために―」,『小一教育技術』8-11, 1955年1月, 2
矢野敏雄「漢字教育課程の考察」,『国学院大教育学研究室紀要』10, 1975年3月
山城治「自主的な漢字学習の一方途」,『研究要覧』, 1962年3月, 3
山本茂久「学級における漢字指導について」,『全人教育』145, 1961年9月, 8
山本正次「特集・国語の力を評価する 入門期の漢字指導とその評価」,『国語の教育』34, 1971年2月, 8
山崎隆「中学　漢字を書く力を伸ばすための指導法の研究」,『実践国語教育』23-266, 1962年7月, 4
山本平太郎「小・中学校における漢字の学習指導について」,『漢文学』12, 1965年9月, 11
山本平太郎「小学校国語科における漢字教育法について」,『漢文学』13, 1969年3月, 10
横岡和雄「国語科基礎指導　五年生のまとめ―漢字の研究・辞書の指導・文集の編集―」,『小五教育技術』7-12, 1954年3月, 6
横山克己「漢字指導の問題点と指導の改善について(一・二)」,『実践国語教育』21-238・239, 1960年6・7月, 16
横山克己「辞典（辞書）をひく基礎訓練1」,『実践国語教育』283, 1963年10月, 6
横山克己「辞典（辞書）をひく基礎訓練2」,『実践国語教育』284, 1963年11月, 6
横山克己「辞典（辞書）をひく基礎訓練3」,『実践国語教育』285, 1963年12月, 6
横山験也「特集・言葉遊び・漢字遊びで授業を楽しく―言葉遊び・漢字遊び事例集―小学校版　楽しい漢字パズル」,『教育科学国語教育』370, 1986年11月, 5
横山貞作「特集・読解指導各論・漢字指導の探求主題論文, 漢字指導の小さな実験」,『実践国語』25-296,

1964年10月，4
横山吉男「漢字指導上の問題点」，『日本語』6-5，1966年5月，4
吉田章宏・松田弥生・志村正子「漢字の教授・学習―誤字分析からの接近」，『東京大学教育学部紀要』14，1975年3月，31
吉田雄幸「特集・読解での抵抗は漢字や語句だけか　説明文教材で漢字・語句指導をいつ取り扱うか―中学校―年における実践」，『教育科学国語教育』10-3，1968年3月，5
吉田伴治「特集・漢字指導をどう改善するか　漢字指導の問題点　教科書の文章の中での漢字指導」，『教育科学国語教育』8-13，1966年12月，5
吉成勝好「指導と研究・小学校，漢字学習用『読本』の必要性」，『漢字漢文』9-22，1977年11月，3
吉峰宏見「語彙指導の中の漢字指導」，『国語展望』73，1986年6月，7
芳村勝重「辞典を引く技能について―技能の限界および知能との関連―」，『国語教育（三省堂）』3-7，1961年7月，16
湧井貞三「指導と研究　私の漢字指導」，『漢字漢文』3-8，1971年12月，3
渡辺格「連載・授業技術研究―効果的な書きとり練習法4　私のくふう，漢字指導時間の展開」，『教育科学国語教育』252，1978年9月，3
渡辺正巳「特集・実践記録Ⅰ　文字の読めない子の指導―掲示係(新聞係）で育てた―」，『小四教育技術』7-8，1954年11月，5
渡辺正巳「文字学習の能率的方法はどうあるべきか(シンポジウム）―提案―」，『小三教育技術』9-8，1955年10月，5
渡辺義夫「『漢字指導を系統的・計画的にするための提言』について」，『教育国語』70，1982年9月，7
HAM「言語社会時評，現代っ子と漢字指導」，『言語生活』249，1972年6月，1
Linzbichler，G「漢字漢語の学習及び教授法に関する一考察」，『慶応義塾大学経済学部日吉論文集』9，1968年7月，16
「実践記録　読解力向上のための漢字指導　愛知県犬山市立南部中学校羽黒教場」，『教育技術中学教育』5-12，1961年2月，12
「語い拡充指導法の研究　漢字を中心として」，『大阪市教育研究所教育研究紀要』118，1972年3月，30

(2) 書写

相川正志「小学校の毛筆書写の練習」，『教育科学国語教育』3-11，1961年10月，5
浅葉浩男・書写指導研究部「〈テーマ〉書写学習の意識を高めるために　一年生から―毛筆しどうについての思案」，『領域研究』51年度，1977年3月，9
新井智子・書写指導研究部「〈テーマ〉書写学習の意識を高めるために　書写ノートの作成」，『領域研究』51年度，1977年3月，9
安藤新太郎「習字の学習指導」，『中学教育技術「国語科」』，1954年6月，5
安藤新太郎「習字は文字学習にプラスするか」，『児童心理』10-9，1956年9月，6
イカワヤスヒコ「マンガ字の問題」，『カナノヒカリ』752，1985年3月，1
石井庄司「中学校毛筆書写の指導と問題点」，『教育科学国語教育』3-11，1961年10月，6
石坂雅彦「中学校の書教育　新中学校学習指導要領における書写」，『実践国文学』14，1978年10月，7
石坂雅彦「高等学校の書教育　新高等学校指導要領における書道」，『実践国文学』17，1980年3月，10
井島勉「書教育の理念」，『中等教育資料』Ⅵ-9，1957年9月，5
石本栄「特集・用具としての言語学習のあり方―児童の言語生態合同調査研究研究報告　小学生の書写体の大きさと教科書活字号数」，『児童の言語生態研究』9，1978年6月，30
井関義久「国語教育アラカルト　丸文字またはマンガ字」，『実践国語教育情報』4-4，1986年4月，2

井田敢三・書写指導研究部「〈テーマ〉書写学習の意識を高めるために　毛筆書写授業の展開に寄せて」，『領域研究』51年度，1977年3月，9
伊藤瑞山「習字指導の目標と要点」，『小六教育技術』，1956年4月，3
伊藤瑞山「習字指導の実際」，『小六教育技術』，1956年5月，4
伊藤瑞山「習字クラブの指導例」，『小六教育技術』，1956年6月，2
稲荷晟子「書写指導について」，『国語研究（愛媛国語研）』43，1963年5月，5
井上敏夫「毛筆習字教育の問題点―毛筆書写教育の功罪」，『言語生活』195，1967年12月，8
井上輝夫「講座・国語教育における書写の指導」，『月刊国語教育研究』133，1983年6月，6
入沢八祥・書写指導研究部「〈テーマ〉書写学習の意識を高めるために　書写学習の意識を高めるために」，『領域研究』51年度，1977年3月，9
魚住和晃「中国における書道教育の実際と日本の書写書道教育の問題点」，『神戸大教育学部研究集録』62，1979年10月，13
海老原伸明「書写・書道のねらいとその問題」，『解釈』23-6，1977年6月，5
江守賢治「書写・書道の教科書について」，『中等教育資料』15-1，＜1966年1月＞2
大石賢治「文字の書写練習　小学校高学年」，『教育科学国語教育』3-11，1961年10月，5
大久保芳継「文字の書写練習　小学校中学年」，『教育科学国語教育』3-11，1961年10月，5
太田静夫「毛筆習字の問題をめぐって」，『文化と教育』，1956年8月，3
太田弥太郎「書写教育における『評価の一考察』について」，『佐賀大国文』5，1977年11月，12
太田弥太郎「学習指導要領の改訂生高校書道の今後について」，『佐賀大国文』6，1978年11月，10
太田弥太郎「書写教育　入門期における諸問題について(2)」，『佐賀大教育学部研究論文集』27-1，1979年8月，20
太田弥太郎「書写・書道教育の問題点」，『佐賀大国文』9，1981年11月，13
太田弥太郎「書道教育における隷書指導法」，『佐賀大教育学部研究論文集』29-2(Ⅰ)，1982年1月，11
太田弥太郎「私の小三毛筆書写指導」，『佐賀大国文』8，1980年11月，9
大野定男「昭和53年度書道教育研究とその周辺」，『高大国語教育』27，1979年12月，3
大野定男「国語科教育実践研究動向　書道教育とその周辺」，『高大国語教育』28，1980年12月，2
大野定男「昭和55年度高知県における研究動向　書道教育とその周辺」，『高大国語教育』29，1981年12月，4
大野定男「昭和56，57年度高知県における研究動向　書道教育とその周辺」，『高大国語教育』30・31，1983年1・12月，5
大畑俊正「低学年初期における硬筆指導について」，『島大国文』6，1977年3月，6
大平浩哉「各教科等の研究・国語　『速く書く』ということについて　書写の指導」，『中等教育資料』495，1985年9月，2
大平浩哉「各教科等の研究・国語　『書写力を生に役立てる』ということ」，『中等教育資料』509，1986年8月，2
大平浩哉「各教科等の研究・書道　文字意識の向上を目指す書道教育」，『中等教育資料』511，1986年10月，2
大平浩哉「各教科等の研究・国語　個人差に応じた書写指導」，『中等教育資料』524，1987年8月，2
木村恭造「『丸文字』の問題」，『表現研究』44，1986年9月，7
岡本奎六「児童のひらがな書写力診断法に関する基礎的研究」，『成城文芸』41，1965年12月，13
岡本敏之「書写の研究」，『高知県教育センター研習生研究報告集』44年度，1970年3月，5
緒方博司「特集・視写・聴写による学習訓練―表現領域における視写指導の工夫」，『実践国語研究』6-3，1982年5月，18

小方豊・書写指導研究部「〈テーマ〉書写学習の意識を高めるために　毛筆書写の効果的な指導方法について(4)」,『領域研究』51年度, 1977年3月, 9
沖六鵬「教育書道としての楷書」,『中等教育資料』374, 1978年2月, 2
加藤達成「各教科等の解説・国語　書写の指導(1)」,『中等教育資料』278, 1970年12月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　書写に対する意識・意欲を高めるための指導・自己評価」,『中等教育資料』350, 1976年8月, 2
加藤達成「各教科等の研究・書道　表現力を養う指導(1)」,『中等教育資料』358, 1977年2月, 2
加藤達成「各教科等の研究・書道　表現力を養う指導(2)」,『中等教育資料』361, 1977年4月, 2
加藤達成「各教科等の研究・書道　表現力を養う指導(3)」,『中等教育資料』363, 1977年6月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　書写に対する意識・意欲を高めるための指導(2)」,『中等教育資料』366, 1977年8月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　新学習指導要領による中学校書写の視点(1)」,『中等教育資料』372, 1977年12月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　新学習指導要領による中学校書写の視点(2)」,『中等教育資料』379, 1978年5月, 2
加藤達成「各教科等の研究・書道　書道における理論に関する指導(1)(2)」,『中教育指導』376・383, 1978年3・7月, 4
加藤達成「各教科等の研究・国語　新学習指導要領による中学校書写の視点(3)～(5)第1学年・第2学年・第3学年の書写の指導事項」,『中等教育資料』391・397・402, 1979年1・5・9月, 6
加藤達成「各教科等の研究・書道　高等学校『芸術』の改訂の要点―書道に関する主な改善点と内容について(1)(2)」,『中等教育資料』394・404, 1979年3・11月, 4
加藤達成「各教科等の研究・国語　表現の領域となった書写の年間指導計画の作成(4)～(6)」,『中等教育資料』422・428・433, 1981年2・6・10月, 6
加藤達成「各教科等の研究・書道　高等学校『芸術』の改訂の要点　書道II・書道III」,『中等教育資料』425・430, 1981年4・8月, 4
加藤達成「各教科等の研究・国語　書写の内容とその指導(その1)―楷書の表現指導(1)(2)―」,『中等教育資料』447・452, 1982年8・12月, 4
加藤達成「各教科等の研究・国語　書写の内容とその指導(その3)―易しい行書指導(1)―」,『中等教育資料』457, 1983年4月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　書写の内容とその指導(その4)―易しい行書指導(2)―」,『中等教育資料』462, 1983年8月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　書写の内容とその指導(その5)―仮名の指導―」,『中等教育資料』473, 1984年4月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　中学校書写の鑑賞指導について」,『児童心理』309, 1972年1月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　やさしい行書とその指導(2)」,『児童心理』321, 1972年10月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　やさしい行書とその指導(3)」,『中等教育資料』328, 1975年3月, 2
加藤達成「各教科等の研究・国語　やさしい行書とその指導(4)」,『中等教育資料』333, 1975年7月, 2
金田心象「中学習字の書風について」,『教育手帖』, 1953年6月, 2
金田心象「習字教育の問題点」,『教育技術小四』, 1953年7月, 4
加部佐助「中学校の書写指導」,『実践国語』332, 1967年6月, 4
上条源七「書くことの指導」,『小一教育技術』12-12, 1959年1月, 2
上条源七「教育書道の位置づけとその問題点」,『信濃教育』956, 1966年7月, 5
上条周一「書道教育における将来の問題点(一)」,『実践国語』, 1953年6月, 4

上条周一「毛筆習字教育の問題点―毛筆学習のめざすもの」,『言語生活』195, 1967年12月, 8
上条信山「書道教育における将来の問題点(二)」,『実践国語』, 1953年8月, 4
上条信山「書くことの指導」,『小二教育技術』, 1958年4～12月, 25
上条信山「書くことの指導」,『小二教育技術』11-12～14, 1959年1～3月, 6
上条信山・大沢翠湖「書くことの指導(1)～(9)」,『小四教育技術』, 1958年4～12月, 33
上条信山・大沢翠湖「書くことの指導(10)～(12)」,『小四教育技術』11-12～14, 1959年1～3月, 12
上条信山・上条源七「書くことの指導―美しく正しく書かせるために―」,『小一教育技術』, 1958年4～12月, 30
上条信山・上条源七「書くことの指導」,『小一教育技術』12-12・13, 1959年1～3月, 2
上条信山・清水庄太郎「書くことの指導(1)～(9)」,『小六教育技術』, 1958年4～12月, 35
上条信山・清水庄太郎「書くことの指導―書くことのあり方―」,『小六教育技術』11-12～14, 1959年1～3月, 12
上条信山・林直洞「書くことの指導(1)～(9)」,『小五教育技術』, 1958年4～12月, 36
上条信山・林真洞「書くことの指導」,『小五教育技術』12-12～14, 1959年1～3月, 12
上条信山・吉田竹泉「書くことの指導(1)～(9)」,『小三教育技術』, 1958年4～12月, 35
上条信山・吉田竹泉「書くことの指導(10)～(12)」,『小三教育技術』12-12～14, 1959年1～3月, 11
亀山光「特集・基礎学力の定着をはかる練習学習―練習学習の内容と方法の検討　書き取り, 書写の練習学習」,『教育科学国語教育』235, 1977年7月, 6
川口義克「特集　新指導要領・書くことの総合検討―書写指導の目標と内容―毛筆書写の考え方」,『教育科学国語教育』130, 1969年8月, 12
菅野小鶴「小中学生に於ける毛筆写を正課にとりあげた意図は何か。今後の書写教育はどのようにあればよいか」,『国語研究（山形大)』20, 1969年6月, 7
喜多幸夫「小学校における書写学習指導について」,『国語国文研究と教育』4, 1976年1月, 11
北川茂治「各教科等の研究・国語　『書写』の関連学習指導」,『中等教育資料』500, 1986年1月, 4
北川茂治「各教科等の研究・国語　書写の指導　硬筆と毛筆の指導の関連について」,『中等教育資料』504, 1986年4月
北川茂治「各教科等の研究・国語　中学校書写『易しい行書』指導の工夫」,『中等教育資料』519, 1987年4月, 4
郷衡・中島正子・堀内順子「漢字テストについて」,『跡見学園国語科紀要』33, 1985年4月, 9
久米公「中学校書写と各教科のつながり―指導要領・各科教科書を資料として」,『国語教育研究』8, 1963年12月, 9
久米公・小竹光夫・竹之内裕章「筆圧・握圧測定による書写指導の研究（14)」,『国語科教育』29, 1982年3月, 8
久米公「書写・書道科教育学の構想」,『国語科研究紀要』4, 1971年12月, 8
久米公「特集・国語科『観点別学習状況』の評価基準―『書写』　書写の評価基準設定の手順を考える」,『教育科学国語教育』282, 1980年11月, 17
興水実「国語教育の近代化5　書写学習指導の近代化」,『教育科学国語教育』7-8, 1965年8月, 7
興水実「国語教育の改造6　書写教育の改造」,『教育科学国語教育』8-10, 1966年9月, 5
興水実「国語教育研究法10　中学校の書写の研究」,『教育科学国語教育』10-1, 1968年1月, 6
小林一仁「国語教育アラカルト　左手書きをどう矯正するか(1)(2)」,『実践国語教育情報』4-5・6, 1986年5・6月, 4
小林一仁「国語教育の実践の新しい動向―中学校(4)『書写』の指導を活性化する(1)」,『教育科学国語教育』335, 1984年7月, 3

小林一仁「国語教育の実践の新しい動向―中学校(5)『書写』の指導を活性化する(2)」,『教育科学国語教育』336, 1984年8月, 3
小林一仁「各教科等の研究・国語　中学校国語の理論と実践―表現(2)『書写』の学習指導を活性化するには」,『中等教育資料』490, 1985年5月, 2
小山定良「小学校における毛筆習字の学習指導状況」,『教育心理』, 1955年8月, 3
小山定良「硬筆書き方の指導と評価の問題」,『児童心理』, 1956年9月, 5
斉藤喜久恵・書写指導研究部「〈テーマ〉書写学習の意識を高めるために　硬筆書写と毛筆書写との関連」,『領域研究』51年度, 1977年3月, 9
斎藤喜門「書写能力をつけるための学習指導」,『教育技術中学教育』4-8, 1959年11月, 6
佐川俊明「基礎基本を重視し意欲を持たせる書写指導の在り方」,『愛媛県総合教育センター教育研究紀要』52, 1986年3月, 4
笹尾忠夫「中学校における書写指導のあり方」,『教育月報』145, 1962年2月, 4
佐々木賞「国語科漢字の書写練習」,『小三教育技術』11-6, 1957年7月, 4
寿岳章子「国語・国字問題　マル字の意味」,『三省堂ぶっくれっと』70, 1987年9月, 6
白石嘉男「書写基礎技能の完成をめざした筆順指導の問題―〈私のなやみ〉筆順まで正しくすることのむずかしさ―」,『小二教育技術』11-12, 1959年1月, 2
白砂宏「正しい書写指導のコツ」,『小一教育技術』15-5, 1961年6月, 7
須田実「〈寄贈研究誌から問題をひろう〉『書写』指導の見直し」,『教育科学国語教育』374, 1987年2月, 4
須藤久幸「漢字配当・読解漢字・書写漢字の問題点」,『教育科学国語教育』8-13, 1966年12月, 8
瀬戸仁「連載・新教育課程講座―中学校(13)　書写の指導, 漢字の指導」,『教育科学国語教育』246, 1978年4月, 7
高岸藤江「人間形成を目ざす習字教育」,『新しい教室』, 1953年3月, 4
田中久直「書写基礎技能の完成をめざした筆順指導の問題―〈解決のねらい〉筆順指導の問題点と解決への接近―」,『小二教育技術』11-12, 1959年1月, 4
田村胞治「書写と書道の時間」,『宮城教育大国語国文』5, 1974年2月, 8
千々岩弘一「書写教育論の考察　上条信山氏のばあいを中心に」,『教育学研究紀要』28, 1983年3月, 4
塚田清策「書写教育と今後の動向」,『研究論集』19, 1967年3月, 9
塚田清策「書写指導について」,『国語の教室』16, 1967年10月, 5
塚田清策「鉛筆の持ち方」,『信濃教育』1088, 1977年7月, 15
塚田清策「書写教育と今後の方向」,『信濃教育』957, 1966年8月, 4
友井敏男「習字教育はなぜ必要か」,『文化と教育』, 1956年8月, 3
富田富貴雄「マンガ字考(上)―中学生の実態―」,『岡山大学教育学部研究集録』69, 1985年7月, 14
富田富貴雄「マンガ字考(中)」,『岡山大学教育学部研究集録』71, 1986年1月, 15
富田富貴雄「マンガ字考(下)―その周辺―」,『岡山大学教育学部研究集録』78, 1988年7月, 15
富山民蔵「高等学校における芸術科書道の指導事例の調査結果について」,『中等教育資料』Ⅵ-9, 1957年9月, 11
中沢政雄「漢字と表記の指導(中学一年)―付・習字の指導―」,『教育技術中学(国・社・英)』1953年5月, 6
長岡文雄「書写能力の分析と指導（その一)」,『学習研究』, 1953年12月, 6
長沢由美子「文字意識を深めるための書写指導　毛筆書写における評価を通して」,『富山大学国語教育』10, 1985年11月, 14
氷田作治「書写書道教育の原理研究―文字字体の諸問題について―」,『山梨大学教育学部研究報告』26-1,

1975年12月，10
氷田作治「書写書道教育の原理研究ー文字字体の諸問題についてー」，『国文学論集（山梨大）』14，1976年3月，10
氷田作治「書写書道教育の原理研究ー仮名文字についてー」，『国文学論集（山梨大）』21，1983年3月，17
氷田作治「書写書道教育の原理研究　仮名文字について」，『山梨大学教育学部研究報告』33-1，1983年12月，17
縄手晟「文字の書写練習　小学校低学年」，『教育科学国語教育』3-11，1961年10月，5
野口芳宏・本橋京二「＜往復書簡＞毛筆書写と書道はどうちがうか」，『国語の教育』23，1970年3月，12
原子朗「書写論の成立」，『文芸論叢』11，1975年3月，2
春名好重「習字教育における鑑賞ー中学校の場合ー」，『新しい教室』，1953年2月，4
深田なが子「小学校一年生入門期の硬筆書写指導」，『高大国語教育』29，1981年12月，10
府川次男「新しい教育課題による中学校書写指導」，『教科通信』17-6，1980年4月，2
藤井節雄「習字と文字学習」，『教育研究』14-3，1959年3月，2
藤井信男・続木敏郎・堀口和正・須藤久幸・稲川三郎・相原永一・風間章典・西久保茂長・中島輝雄・細矢肇・播摩晃一・北村季夫「〈特集〉書写指導内容の明確化と系統化」，『教育科学国語教育』9-6，1967年6月，80
藤井信男「文字の学習と書写の学習」，『中等教育資料』14-10，1965年6月，1
藤原宏「国語科の改善(19)　書写の指導」，『教育科学国語教育』384，1987年10月，6
古川満・高橋金次・田中光穂・江頭太郎・市村芳夫・真下千秋・北山吉秋・片岸年雄「小学校国語教育の方法と技術ー書写の指導」，『解釈と鑑賞』35-15，1970年12臨月，31
法水光雄「書写・書道教育試論(1)　中学校書写教育を中心として」，『教科教育研究』18，1982年7月，14
法水光雄「書写・書道教育試論(2)　書写・書道教育概説ノート」，『教科教育研究』21，1985年7月，25
細矢肇「新教育課程講座3　毛筆習字必修の理由」，『教育じほう』246，1968年6月，3
細矢肇「書写の基本的指導過程を検討する」，『教育科学国語教育』8-1，1966年1月，6
細矢肇「重点指導の問題点ー書写学習としての毛筆指導」，『教育科学国語教育』10-1，1968年1月，4
堀口和正「書写の学習指導の近代化ー入門期のひらがな指導を中心にー」，『教育科学国語教育』8-10，1966年9月，5
本多忠一「ふしぎな『国語科書道』」，『Rômazi no Nippon』218，1971年5月，1
本堂寛「国語教育実践の新しい動向ー小学校(6)　文字指導としての『書写』の重視」，『教育科学国語教育』337，1984年9月，3
宮沢清「漢字の書写指導における困難性の心理的考察とその指導(一)」，『実践国語』18-197，1957年3月，8
宮沢清「漢字の書写指導における困難性の心理的考察とその指導(二)」，『実践国語』18-198，1957年4月，10
宮沢正明「書写教育における平仮名字体の考察」，『国文学論考』21，1985年3月，12
宮沢正明「マンガ文字の特徴とその原因」，『教室の窓中学国語新しい国語』294，1985年9月，2
望月誼三「習字を義務教育でやることは反対である」，『文化と教育』，1956年8月，3
森井一幸「書の領域と大学書道の本質」，『広島大学教育学部紀要』II-19，1971年3月，8
森井一幸「書写教育論　字形の指導法について(1)」，『広島大学教育学部紀要』II-26，1978年3月，8
森井一幸「書写教育論　字形の指導法について(2)」，『広島大学学校教育学部紀要』II-1，1978年12月，8
森井一幸「書写教育論(3)　天覆・地載・上占地歩・下占地歩・中占地歩の指導法」，『広島大学学校教育学部紀要』II-2，1979年12月，9
森井一幸「書写教育論(4)　上下占地歩・横勒・均画の指導法」，『広島大学学校教育学部紀要』II-3，1980

年12月，9
森井一幸「書写教育論(5)　行書体の指導法について」，『広島大学学校教育学部紀要』II-8，1985年12月，21
森田和子「特集・文字の指導　国語教育の今日的課題―〈実践研究〉マンガ字の実態と書写指導」，『月刊国語教育』5-1，1985年4月，
森田安次「毛筆書き方習字教育は批判されている」，『文化と教育』，1953年11月，9
森山秀吉「特集・国語学と国語教育―小学校毛筆書写における教科書教材取扱い上の問題点」，『国語国文研究と教育』5，1977年3月，8
森山秀吉「毛筆書写指導上の諸問題」，『熊本大教育学部紀要』26(人文)，1977年9月，9
森山秀吉「書写技能習得過程における毛筆学習の効果」，『熊本大教育学部紀要』27(人文)，1978年10月，9
森山秀吉「毛筆書写技能習得状況の研究　練習法を違えた場合」，『熊本大教育学部紀要』30(人文)，1981年9月，6
森山秀吉・吉田道雄・森春美「毛筆書写指導における訓練法の研究　臨書法・手取法・模写法とその効果」，『熊本大教育学部紀要』33(人文)，1984年10月，10
森山秀吉「小学校毛筆書写における効果的指導過程」，『国語国文研究と教育』3，1975年1月，7
文部省初等教育課「小学校における毛筆習字学習指導状況の調査」，『初等教育資料』，1955年6月，3
安田剛雄「中学校書写教育の課題と展望　改訂学習指導要領の完全実施を前にして」，『滋賀大国文』18，1980年12月，8
柳下昭夫「中学校の作文・書写について」，『国文学』6-9，1961年7月，6
吉原謙三「細字の指導（習字学習）」，『小四教育技術』，1953年3月，5

(3) 石井方式・幼児の漢字教育

石井勲「漢字はこんなに覚えやすい―新入生の子をもつお母さん方へ―」，『婦人公論』46-6，1961年5月，3
石井勲・富沢功「(対談) 現場の国語改革問題」，『小五教育技術』15-7，1961年8月，6
石井勲「小学校における漢字教育について」，『国語国字』特集号，1961年9月，9
石井勲「漢字はむずかしくない―私は一年間に文部省の目標の約十倍を習得させた」，『文芸春秋』39-12，1961年12月，9
石井勲「漢字教育の成果」，『国語国字』12，1962年10月，2
石井勲「漢字教育はどうすればよいか」，『教育日本』1-7，1962年10月，4
石井勲「〈私の漢字教室〉漢字教育の再発見」，『国文学』7-13，1962年10月，6
石井勲「漢字はやはり難しくはなかった」，『国語国字』14，1963年3月，6
石井勲「〈国語問題時評〉厳格な漢字指導の裏に潜むもの」，『国語国字』15，1963年4月，2
石井勲「石井方式は誤解されている―これが石井方式だ―」，『言語生活』141，1963年6月，4
石井勲「入門期の文字指導」，『教育科学国語教育』5-6，1963年6月，5
石井勲「亀田東小学校の漢字教育について」，『国語国字』18，1963年10月，3
石井勲「漢字で学ばせる石井方式」，『教育心理』14-6，1966年6月，4
石井勲「〈シンポジウム―提案〉漢字指導をどう改善するか」，『教育科学国語教育』8-13，1966年12月，9
石井勲「天才児をつくる漢字学習法」，『勝利』2-1，1968年1月，8
石井勲「〈特集〉第10回国語問題講演会（記録）―幼児と漢字」，『国語国字』50，1969年2月，7
石井勲「幼児や児童は漢字が大好き」，『漢字漢文』1，1969年11月，4
石井勲・加藤彖男・北村道彦・西敏・佐藤利右エ門・加唐興三郎・金子泰三・妹尾勇・栗原圭介・原田種

成「〈座談会〉幼稚園から大学までの漢字指導上の諸問題」,『漢字漢文』3-7, 1971年9月, 12
石井勲・下村昇・西敏・羽柴弘・日野得隆・佐藤利右エ門・池田英雄・鎌田義勝・石川梅次郎・栗原圭介・原田種成―司会「〈座談会〉漢和辞典をめぐる諸問題　学習指導の効率化をめざして」,『漢字漢文』4-12, 1972年12月, 10
石井勲「幼児における漢字学習の国語学力への影響」,『教育心理』21-7, 1973年7月, 4
石井勲「漢字教育の新しい発想」,『漢字漢文』7-20, 1975年11月, 8
石井勲「体系学的理論的, 漢字学習法」,『国語国字』97, 1977年6月, 5
石井勲「第20回国語問題講演会〈シンポジウム〉これからの国語教育はどうあるべきか　漢字教育は幼児期から」,『国語国字』102, 1979年3月, 41
石井勲「幼稚園における漢字漢文教育について」,『漢字漢文』12-25, 1980年11月, 3
石井勲「特輯・第24回国語問題講演会　生涯教育としての日本語教育」,『国語国字』107, 1981年5月, 13
石井勲「幼稚園・小学校の漢文教育について　荒井教諭の唐詩指導記録とその感想」,『漢字漢文』14-27, 1982年11月, 7
石井勲「〈指導と研究〉幼稚園の漢字教育」,『漢字漢文』15-28, 1983年11月, 3
石井勲「漢字教育の必要性について　道真や松陰の〝天才的頭脳〟の秘密」,『文化会議』181, 1984年7月, 5
石井勲「特集・文字の指導　国語教育の今日的課題―〈随想〉なぜ3歳から漢字教育か」,『月刊国語教育』5-1, 1985年4月
(主題提示) 石井勲・(質疑) 筧泰彦・林巨樹・三潴信吾・木内信胤「特集・第三十四回国語問題講演会記録　今後の国語教育の在り方　討論・今後の国語教育の在り方」,『国語国字』131, 1986年2月, 12
石井勲「日本語の表記について」,『国語国字』133, 1986年6月, 7
石井勲「特輯・第35回国語問題講演会記録―国語教育はどうあるべきか」,『国語国字』134, 1986年8月, 6
石井勲「漢字の学習はどうあるべきか」,『漢字漢文』18-31, 1986年11月, 3
石井勲「国語国字の根本問題について」,『漢字漢文』19-32, 1987年11月, 4
石井勲・藤堂明保・輿水実・波多野完治「〈座談会〉〝漢字〟をめぐる諸問題」,『朝日ジャーナル』5月28日号, 1961年5月, 10
石井勲「特集・国語教育―戦後の国語教育の歩みと今後の問題」,『月刊ことば』2-1, 1978年1月, 5
井上文克「石井方式に拠る幼稚園教育」,『国語国字』45, 1968年4月, 2
井上文克「特集・幼児の漢字教育　幼稚園における漢字教育の歩み」,『漢字漢文』4-10, 1972年6月, 4
グレン・ドーマン「幼児の才能開発－国語問題協議会第15回講演会の講演より」,『漢字漢文』6-16・17, 1974年6月, 6
寒川道夫「石井勲著『私の漢字教室』」,『言語生活』121, 1961年10月, 2
東京原人「文化ジャーナル・ことば, 幼児に対する漢字保育―幼稚園長研究会から―」,『朝日ジャーナル』9. 14, 1969年9月, 1
時実利彦・柳平利彦「特集・幼児の漢字教育　〈対談〉大脳生理学から見た幼児の漢字教育」,『漢字漢文』4-10, 1972年6月, 4
平岡伴一「石井勲氏の実験報告」,『Romazi Sekai』536, 1961年11・12月, 2
平山寛司「総特輯・現代著作家案内―石井勲　石井方式に依る漢字教育」,『あらたま』22, 1986年12月, 4
松下史生・石井勲「〈往復書簡〉漢字教育はこれでよいか―石井方式への疑問」,『国語の教育』23, 1970年3月, 11
山田稔「特集・幼児の漢字教育　漢字教育に対する幼児と親の反応」,『漢字漢文』4-10, 1972年6月, 4
「〈この人訪問〉漢字指導に革命を起こそうとする石井勲先生」,『小六教育技術』14-1, 1961年4月, 2
「〈紹介〉論争・漢字の簡易化―石黒修氏・石井勲氏―」,『カナノヒカリ』560, 1969年3月, 2

「〈読者報告〉文字に魅せられた幼児たち」,『言語生活』234, 1971年3月, 4
「『石井方式』の効果をさぐって　漢字の早期教育についての黒田教授たちの研究結果」,『カナノヒカリ』599, 1972年7月, 4

分類学習漢字表

まえがき

1　この「分類学習漢字表」は，漢字の学習指導上の参考資料として，常用漢字表の漢字1945字を，意味の各分野に配分し，それぞれの語例を示すもので，「分類項目一覧」「本表」「索引」および「語例一覧」の４部からなる。

2　意味の分類は，おおむね国立国語研究所資料集６『分類語彙表』（秀英出版，1964年）の「体の類」の分類の考え方により，「用の類」および「相の類」の意味を持つものを併合した。

3　分類の区分は，大区分６部，中区分83部，小区分530項目となっている。区分の大小は必ずしも平均したものではない。

4　全体530項目には，それぞれ３けた又は４けたの分類番号が附してある。その最初（左）のけたの数字は，大区分（１～６）を示す。第２のけたの数字，ないし第２のけたの数字と第３のけたの数字は，大区分それぞれの中における中区分を示す。次の１けた又は２けたの数字は，それぞれの中区分の中における小区分すなわち分類項目の番号である。（３けたの番号は，４けために０があるものと考えられたい。）

5　上の中区分および分類項目には，分類番号のほかにそれぞれ見出しの名がつけてある。これらの見出しの名は，それぞれの区分に属するすべての漢字の意味を代表するはずのものであるが，実際は検索上のひとつの手がかりとして仮に名づけた見出しにとどまり，必ずしもそれらの漢字すべてについての上位概念を表しているとは言えない。

6　「分類項目一覧」は，上記の分類区分の一覧で，それぞれの中区分および小区分（分類項目）の分類番号とともに，その見出しの名を示す。中区分は，ゴシックとした。大区分は，点線を引いて分けた。

7　「本表」は，常用漢字表の1945字を，それぞれの意味によって上記の530項目に配当し，平成元年改訂の小学校学習指導要領の第２章第１節国語の別表「学年別漢字配当表」における配当学年に従って，五十音順に配列してある。①～⑥は，それぞれ第１学年～第６学年の配当漢字であることを示し，㊥は小学校配当漢字以外の常用漢字であることを示す。

8　漢字の意味は，その漢字が，単独でも，また他と結合したときにも，それ自身の意味として認められるものを対象とした。多義であるものについては，それぞれの意味の分類項目に重出させている。また別義とは考えられなくても，他の字との類義関係から別の分類項目に重出させたものがある。

9　「語例一覧」は，常用漢字表の1945字を学年別漢字配当表の配列（代表的な音訓の五十音順）に従って「索引」の通し番号を附して配列し，区分される意味ごとにその漢字を用いる語の例を掲げる。上の㊥の漢字（小学校配当漢字以外の常用漢字）は最後にまとめた。

10　「語例一覧」に掲げる語例は，その主たる源を阪本一郎『新教育基本語彙』（学芸図書，1984年）に求めた。語例に附したＡ１，Ｂ２等の記号は，同書においてその語の学習段階として示されているものである。Ｄを附したものは，同書に採り上げられていない語である。

11　この「分類学習漢字表」は，昭和61年度科学研究費補助金による「漢字情報のデータベース化

に基づく常用漢字の学習段階配当に関する研究」（代表者・村石昭三）の一部として作成した『分類漢字表稿本』（林大担当，科研費報告書，1987年）を台としてこれを改修し，新たに語例を加えたものである。

12　この作業は，林大が担当し，鮎澤孝子，小高京子，および数人の補助者がこれを助けた。

1　分類項目一覧

10　本体

100　何
101　事象
102　条項
1030　真偽
1031　徴候
1040　基本
1041　正副
105　重要

11　関係

1100　様式
1101　系列
1102　関係
1113　因果
1120　異同
1130　相対
1131　交応
1132　非・否
1133　被・脱

12　存在

1200　存在
1201　空・無
1202　除却
1203　消滅
1210　発生
1211　露呈
1213　残余
1220　秘密
1221　必要

13　様相性情

1300　様相
1301　風味
1302　形姿
1303　品質
1310　正邪
1311　美好
1320　便利
1321　英・逸
1330　安危
1340　整斉・混雑
1341　具備
1342　簡約
1344　緊張
135　特殊
1350　清素
1351　珍奇

14　力

140　力
141　強弱

15　作用

1500　作用
1501　始終
1502　交替・修訂
1503　連絡

151　活動

1510　活動
1511　回転
1512　静止
1513　起倒
1514　懸垂
1515　転移
1516　経路

152　来往

1520　発着
1521　歩行
1522　通過
1523　先導・追従
1524　進退
1525　周回
1526　往復

153　出入

1530　出入
1533　包囲
1534　埋没
1535　脱漏

154　上下

1540　上下
1541　乗降
1542　浮沈

155　集散

1551　集合
1552　絞締
1553　分散
1554　開閉

156　接触

1560　接触
1561　附属
1562　衝突
1563　抑圧
1564　防止

157　変形

1570　曲折
1571　切断
1572　破壊
1573　積重
1574　配列

158　増減

1580　増減
1581　補充
1582　伸縮

16　位置・時間

1600　位置
1610　時間
1611　年月
1612　日
1613　昼夜
1614　老幼・永久
1615　再・毎
1616　際・臨
1620　古今
1621　初・末
1622　順序
1623　漸・即
1630　新旧
1631　遅速

17　空間

1700　空間
1710　地点
1720　座席
1721　限界
1730　縦横・傾斜
1731　方角
1740　左右
1741　上下
1742　頂・央
1750　表裏
1760　前後
1770　内外
1771　奥底
1780　周辺

18　形状

180　図形
181　点線
182　方円
1821　凹凸
183　球・輪
184　口・孔
185　文様
186　行列

19　数量

1900　数(1)
1901　数(2)
1902　数(3)
1910　数詞
1911　助数(1)
1912　助数(2)
1913　助数(3)
1914　助数(4)
1915　助数(5)
1916　助数(6)
1917　助数(7)
1918　助数(8)
1919　助数(9)
1920　多少

1921 長短
1922 大小
1923 軽重
1924 冷暖
1925 急緩
1926 強弱
1930 算
1940 具備
1941 余剰
1942 全欠
1943 単複
1950 程度
1951 概略
1952 極限

20 人

200 我
201 自他
2020 氏・様
2021 者・屋
2022 衆
203 神仏
204 男女
205 老幼

21 家族

2100 家
2101 実・義
211 夫婦
212 父母
213 子孫
214 兄弟
215 叔伯

22 相手

220 相手
221 師友
222 主客

23 身分

230 民衆
231 君主
2320 貴族
2330 官民
2331 階層
234 人物

24 職

240 担当
241 職
242 将兵
243 役職
244 僧尼

25 国

2530 国
2531 各国
254 都市
255 府県
256 村里

26 現場・組織

260 現場・世界
261 学校
262 市・駅
263 家宅
2640 機関(1)
2641 機関(2)
265 軍隊
266 組織

300 心

3000 心
3001 感覚
3002 驚・酔
3003 疲労
3004 睡眠

301 性情

3010 性癖
3011 清廉
3012 誠実
3014 卑屈
3015 勇敢
3016 温順・明朗
3017 粗暴・放漫

302 感情

3020 志操
3021 快楽
3022 悲苦
3023 恐怖・憤怒
3025 好悪
3026 寛厳
3027 敬仰
3028 賞嘆
3029 恥辱

303 表情

3030 表情
3031 泣笑

304 志操

3040 志念
3041 勉励
3042 栄誉
3043 希望
3044 覚悟
3045 祝賀
3046 節義

305 才知

3050 才能
3051 巧拙
3052 学習
3053 記憶
3054 認識
3055 思考
3056 迷惑
3057 賢愚
3058 綿密

306 理解・研究(1)

3060 理解
3061 比較
3062 区別
3063 採択
3064 計算(1)
3065 計算(2)
3066 研究・探索
3067 推量
3068 決定
3069 肯否

307 理解・研究(2)

3071 意義・道理
3072 過誤
3073 訂正・証明
3074 学問(1)
3075 学問(2)
3076 思想

308 法則・方策

3080 法則
3081 方法
3082 計画

309 見聞

3090 見
3091 指示
3092 探求
3093 聞
3094 味

310 言語

3100 言語
3101 名
3102 記述
3103 音声・語詞
3104 文字
3105 符号
3106 章段
3107 図表

311 談話・通信

3110 談話
3111 通信
3112 問答
3113 議論
3114 解釈
3115 宣告
3116 届
3117 提・寄

312 文章

3120 筆録
3121 文章
3122 典籍
3123 編・巻

32 創作

320　創作
321　文学・芸術
322　説話
323　絵画
324　彫刻
325　音楽
326　演劇

330　人生

3300　文化
3301　風俗
3302　運命
3304　苦難
3306　処世
3307　声聞

331　勤労

3310　就任
3311　勤労
3312　休・閑

332　生活

3320　生活
3321　居住
3322　起居
3323　飲食
3324　茶酒
3325　装身
3326　保健

333　学業

3330　学業(1)
3331　学業(2)

334　儀礼

3340　祝祭
3341　結婚
3342　式典
3343　参拝

335　遊楽

3350　遊楽
3351　技芸(1)
3352　技芸(2)
3353　歌舞

339　動作

3390　礼容
3391　立ち居
3392　足の動作
3393　手の動作(1)
3394　手の動作(2)
3395　抱・負
3396　喫食

340　身上

3400　身上
3410　才腕
3411　徳操

342　行為

3420　行為
3421　犯罪
3422　成績
3423　遂行

350　交際

3500　融和
3501　断絶
3502　会合
3503　出欠
3504　面会
3505　訪問
3506　送迎
3507　仲介

351　約束

3510　契約
3511　請求
3512　許諾
3513　拒否

352　協力

3520　参加
3521　去就
3522　貢献

353　抗争

3530　侵害
3531　抗争
3532　防衛
3533　軍事
3534　勝敗
3535　滅亡
3536　服従

354　治乱

3540　和平
3541　騒乱

360　支配

3600　支配
3601　管理
3602　運営
3603　争乱
3604　訴訟
3605　刑罰

361　任免

3610　登用
3611　任免
3612　派遣
3613　推薦・糾弾
3614　奉仕

362　教育

3620　教育
3621　勧諭
3622　援護
3623　命令
3624　規制

363　待遇

3630　待遇
3631　恩恵
3632　賞賛
3633　懲戒
3634　威嚇

370　経済

3700　取得
3701　保持
3702　会計
3703　需給

371　金銭

3710　金銭
3711　価値
3712　給与
3713　損益

372　取引

3720　交易
3721　売買
3722　贈与
3724　配布

373　貸借

3730　貸借
3731　弁済

374　貧富

3740　貧困
3741　節倹
3742　富裕

380　産業

3800　産業(1)
3801　産業(2)

381　農水

3810　栽培
3811　採収
3812　土木
3813　漁猟

382　工業・通運

3820　工(1)
3821　工(2)
3822　工(3)
3823　通運

383　衛生・出版

3830　衛生

3831 編集
3832 報刊

384 家事

3840 家事(1)
3841 家事(2)
3842 家事(3)
3844 家事(4)

386 作業

3860 製作
3861 設置
3862 処理・修理
3863 加工
3864 使用

40 貨財

400 貨財(1)
401 貨財(2)

41 材料・部品

410 材料(1)
411 材料(2)
412 材料(3)
413 材料(4)
414 部品(1)
415 部品(2)
416 部品(3)

42 衣料

420 糸布
421 被服
422 身の回り

43 食品

430 食品(1)
431 食品(2)
432 食品(3)
433 食品(4)
434 薬剤
435 紅墨

44 住居

440 家屋
4410 邸
4411 墓
4420 館
4421 倉
4423 室
443 門
444 柱
445 戸
446 机

45 道具

450 宝貨
451 容器
452 文具
453 武器
454 もてあそびもの(玩)
455 標額
456 図冊

46 機器

460 光具
461 計器
462 器械
463 船車

47 土木

470 田園
471 道路
472 池堤
473 港・城

50 色声香味

5000 光(1)
5001 光(2)
5010 色(1)
5011 色(2)
5012 鮮明
5013 美醜
5020 音(1)
5021 音(2)
5022 音(3)
5030 香
504 味
5050 清濁
5051 硬軟

51 自然

5100 自然(1)
5101 自然(2)
5102 自然(3)
5110 物質(1)
5111 物質(2)
5112 物質(3)
5113 物質(4)
5114 災害

512 気象

5120 寒暑
5121 雲雨
5122 晴曇
5123 波浪
5130 変化(1)
5131 変化(2)
5132 火
5133 乾湿

52 天地

520 天地
521 天
522 地
523 山
5240 野
5241 谷
5242 森
525 川
526 海
527 島
5280 地帯
5281 景

55 生物・植物

550 生物
5510 植物(1)
5511 植物(2)
5512 植物(3)
5513 植物(4)
5514 植物(5)

56 動物

5600 動物(1)
5601 動物(2)
561 動物(3)
563 動物(4)
564 動物(5)

57 生体

570 身体
571 頭
572 胴
573 手足
574 肉
575 臓
576 皮膚
5761 歯・骨
577 血・乳
578 便
5781 卵

58 生命

580 生命
581 生育
5811 老若
5812 茂・枯
582 死
5821 傷害
583 生理(1)
584 生理(2)
585 疾病
5860 健康
5861 痛・麻
5862 飢渇

60 助語

600 助語(1)
601 助語(2)
602 助語(3)
603 助語(4)
604 助語(5)
605 助語(6)

2 本 表

10 本体

100 何
① 本
② 何当同
④ 各
⑤ 個
�外 該

101 事象
③ 事由
④ 象
⑤ 件
�外 般

102 条項
⑤ 条
�外 款儀項旨

1030 真偽
③ 実真
⑤ 仮
⑥ 秘密
�外 偽虚粋

1031 徴候
④ 候兆
�外 祥徴

1040 基本
① 本
② 元原
③ 根
⑤ 幹基準素
⑥ 源
�外 髄枢礎

1041 正副
① 正
③ 次主助
④ 副別
⑤ 支属
�外 亜兼控肢侍准随伴附

105 重要
③ 重
④ 要
�外 肝

11 関係

1100 様式
③ 式様流
④ 型種特類例
⑥ 模律
�外 殊範

1101 系列
③ 階級等列
④ 位脈
⑤ 格序統比
⑥ 系層段
�外 緒秩

1102 関係
② 間当
③ 係
④ 関仲
⑤ 際
�外 与

1113 因果
② 帰理
③ 由
④ 果
⑤ 因基故効証
�外 依縁拠

1120 異同
② 合同
③ 等
④ 差変類
⑤ 似
⑥ 異
�外 違如肖斉

1130 相対
② 合
③ 受相対
④ 共
⑥ 従
�外 互被与

1131 交応
② 交通
⑤ 応
�外 響拘

1132 非・否
③ 反
④ 不無
⑤ 逆非
⑥ 否

1133 被・脱
④ 囲付包浴
�外 含脱被覆

12 存在

1200 存在
③ 持有
⑤ 仮在保
⑥ 存
�外 耐

1201 空・無
① 空
② 明
④ 欠省無
⑤ 略
�外 虚

1202 除却
② 外
③ 去
⑥ 捨除
�外 棄却撤排払

1203 消滅
② 切
③ 消
④ 失
⑤ 絶退断
⑥ 亡
�外 枯尽衰喪廃滅耗

1210 発生
① 生立
② 東
③ 起発
④ 産成
⑥ 樹
�外 遂

1211 露呈
② 明
③ 表
⑤ 現興暴
⑥ 創
�外 顕彰呈幽露

1213 残余
④ 残
⑤ 余
⑥ 遺
�外 冗剰

1220 秘密
⑥ 秘密
�外 隠匿

1221 必要
② 当
④ 必要
⑤ 可適能

13 様相性情

1300 様相
③ 相様
④ 観然
⑤ 状情勢態
�外 儀況如致徴

1301 風味
① 気
② 風
③ 調味

1302 形姿
② 形色体
④ 象
⑤ 容
⑥ 姿

1303 品質
③ 品
⑤ 格資質状性
⑥ 値
�外 柄

1310 正邪
① 正
② 直
③ 悪曲
④ 良
⑤ 可非
⑥ 聖善
�外 宜邪是妄

1311 美好
③ 美
④ 栄好
⑥ 純
�外 佳華雅秀醜淑貞妙幽霊麗

1320 便利
③ 重
④ 便利
⑤ 適
⑥ 貴尊
�外 玄抜卑

1321 英・逸

② 太
③ 勝平
④ 英
⑤ 常
⑥ 並優
�外 偉逸傑豪丈尋卓凡雄庸劣

1330 安危
③ 安急平和
⑤ 易確険容
⑥ 危困難
�外 穏泰寧

1340 整斉・混雑
③ 真整調
④ 散
⑤ 均混雑
⑥ 乱
�外 荒衡込錯斉摂粗疎端釣紛漫濫

1341 具備
③ 具
⑤ 損備
⑥ 障
�外 妨

1342 簡約
① 草
④ 約
⑤ 略
⑥ 簡密
�外 煩繁

1344 緊張
⑤ 張
⑥ 厳
�外 緩緊締

135 特殊
④ 特
⑥ 純専
�外 殊

1350 清素
④ 清
⑤ 潔精素
�外 汚浄濁

1351 珍奇
④ 変
�外 怪奇狂矯珍普

14 力

140 力
① 力
⑤ 圧勢能

141 強弱
② 強弱
⑥ 劇激盛
�外 壮猛隆烈

15 作用

1500 作用
② 作用
⑤ 応効

1501 始終
① 休
② 止切
③ 開始終息発
④ 結初卒
⑤ 絶断
⑥ 創閉
�外 了

1502 交替・修訂
① 正
② 交直
③ 化代転
④ 改治変
⑤ 移易修
⑥ 革
�外 換更遷替訂迭

1503 連絡
③ 次返
④ 続伝連
⑤ 承復
�外 継襲

151 活動

1510 活動
② 活
③ 運動

1511 回転
② 回
③ 転
�外 鼓振震旋弾跳舞躍揺

1512 静止
② 止
③ 安息定遊
④ 静置停
⑤ 留
⑥ 座
�外 据滞駐鎮

1513 起倒
① 立
③ 横起返
�外 傾寝倒伏覆翻

1514 懸垂
⑤ 構支提
⑥ 垂頂
�外 掛掲懸釣敷

1515 転移
② 外
③ 転反
⑤ 移
�外 逸遷

1516 経路
② 道
③ 路
④ 径
⑤ 経程
�外 途

152 来往

1520 発着
① 出
③ 向着発
④ 達
⑤ 往
⑥ 延至届臨
�外 及征逝到罷赴

1521 歩行
② 行走歩
③ 流
④ 航飛
�外 滑駆渉渡漂

1522 通過
② 通
⑤ 過経破布
�外 越貫疎超徹渡透

1523 先導・追従
① 先
② 後
③ 追
⑤ 率導
⑥ 従
�外 及駆随逐逃伴誘

1524 進退
③ 進
⑤ 退
�外 却斥

1525 周回
② 回
④ 周伝
⑤ 寄
�外 環巡循旋

1526 往復
② 帰交通来
③ 去送反返
④ 参
⑤ 往復
�外 還却戻

153 出入

1530 出入
① 出入
② 外
③ 注放
④ 差
⑥ 吸
�外 込沸噴

1533 包囲
④ 囲包
⑤ 容
⑥ 収蔵納
�外 含詰挟挿被覆

1534 埋没
④ 浴
�外 浸潜漬没埋

1535 脱漏
�外 脱排抜漏

154 上下

1540 上下
① 下上
③ 登落
④ 挙
⑥ 降垂
�外 卸陥昇堕墜滴騰揚

1541 乗降
③ 乗
④ 積
⑥ 降
�外 載搭

1542 浮沈
�外 沈浮

155 集散

1551 集合
② 会合組
③ 集
④ 結束
⑤ 群統編
�外 括遇遭屯併絡
1552 絞締
�外 絞搾締縛
1553 分散
② 分
③ 放
④ 散
⑤ 解
⑥ 割揮乱
�外 隔析
1554 開閉
③ 開発
⑥ 展閉
�外 披封

156 接触

1560 接触
② 引遠近
③ 着
④ 付
⑤ 寄接
�外 触迫薄離隣
1561 附属
③ 具
④ 付副連
⑤ 属
⑥ 沿
�外 侍随添陪伴附
1562 衝突
① 中
② 当
③ 打
�外 殴撃擦刺衝突撲摩
1563 抑圧
⑤ 圧
�外 押堪抗耐抵抑
1564 防止
② 止
⑤ 支制防
⑥ 障
�外 隔遮阻避妨

157 変形

1570 曲折
③ 曲反平返
④ 折
⑤ 均
⑥ 延巻
�外 屈畳伸
1571 切断
② 切
④ 害
⑤ 損断破
⑥ 割刻裁傷
�外 刈削彫剖磨抹裂
1572 破壊
⑤ 損破
�外 壊掘砕崩
1573 積重
③ 重乗着
④ 積
⑥ 盛層
�外 累
1574 配列
③ 配列
④ 連
⑥ 並
�外 岐排羅

158 増減

1580 増減
① 足
② 引
③ 乗倍
④ 加積
⑤ 均減増
�外 累
1581 補充
④ 欠満
⑤ 余
⑥ 補
�外 控充添埋
1582 伸縮
④ 約
⑤ 張
⑥ 延拡縮展
�外 殖伸脹膨

16 位置・時間

1600 位置
② 場地
③ 局次所
④ 位席
⑤ 境
⑥ 座処
1610 時間
② 間時
③ 期世代度
④ 紀機候折節
⑤ 経際
⑥ 刻
�外 暇瞬
1611 年月
① 月日年
② 夏秋春冬
④ 季紀
�外 歳
1612 日
① 火金月水土日木
② 週曜
�外 旬盆
1613 昼夜
① 夕
② 午昼朝明夜
⑥ 晩暮
�外 暁宵
1614 老幼・永久
② 少長
④ 老
⑤ 永久序常
⑥ 若幼
�外 恒壮悠
1615 再・毎
② 毎
③ 重宿予
④ 固末
⑤ 再復
�外 既更暫瞬繁頻累
1616 際・臨
② 当
③ 丁
⑤ 際
⑥ 垂臨
�外 偶
1620 古今
① 先
② 元古後今当明来
③ 去昔
④ 昨
⑤ 往過旧現故
⑥ 翌
1621 初・末
① 先中
② 元後首前頭
③ 始次終
④ 果極結初末
⑥ 晩
�外 緒端途尾
1622 順序
② 番
③ 第
④ 位順
⑤ 序程
�外 遞
1623 漸・即
② 直
③ 終追
④ 固
�外 依既遂漸即
1630 新旧
② 古新
⑤ 旧
�外 陳
1631 遅速
① 早
② 後
③ 急進速
�外 緩疾徐迅滞遅敏慢猶

17 空間

1700 空間
② 間地
③ 界所
④ 位
⑤ 境
⑥ 処宙
1710 地点
① 目
② 元地点
③ 局
④ 的標要
⑤ 基許
�外 拠衝
1720 座席

② 野
③ 界区代
④ 席帯
⑤ 領
⑥ 座
�外 軸陣枢跡敷欄墨

1721 限界
③ 界
④ 果極末
⑤ 境限際
�外 涯荒

1730 縦横・傾斜
② 交
③ 横急向対反平
⑤ 逆経
⑥ 縦
�外 緯傾斜

1731 方角
② 西東南方北

1740 左右
① 右左

1741 上下
① 下上

1742 頂・央
① 先中
② 角心頭
③ 央
④ 辺
⑥ 源頂
�外 縁核隅端

1750 表裏
③ 表面
④ 側
⑥ 背腹裏

1760 前後
② 後前

1770 内外
② 外合内

1771 奥底
① 口中
④ 底
�外 奥懐

1780 周辺
② 頭
④ 囲周側続辺
⑤ 寄接
⑥ 沿臨
�外 縁畔傍隣

18 形状

180 図形
② 画形図体地
③ 相
④ 印型象
⑤ 構状像態
⑥ 姿

181 点線
② 線直点
③ 曲
④ 辺
⑥ 筋垂
�外 岐軌弦弧

182 方円
① 円
② 角丸方

1821 凹凸
③ 急平
⑤ 険
�外 鋭凹滑緩凸突鈍

183 球・輪
① 玉
③ 球
④ 管輪
⑥ 片枚
�外 渦塊環滴筒洞粒

184 口・孔
① 口
⑥ 穴
�外 孔溝洞

185 文様
① 文目
�外 柄紋

186 行列
② 行
③ 波列
④ 束隊
⑤ 群判
⑥ 層段
�外 渦郭房欄枠

19 数量

1900 数(1)
② 高数
③ 員度
④ 量
⑤ 価額
⑥ 値
�外 齢

1901 数(2)
④ 囲径周
�外 幅

1902 数(3)
① 正
② 公
③ 級係実整対負
④ 変法
⑤ 因序常
�外 奇偶

1910 数詞
① 一九五三四七十千二八百六
② 万
③ 拾
④ 億参兆
�外 壱乙幾甲弐丙零

1911 助数(1)
① 目
② 回前当
③ 第度
⑥ 割
�外 掛項遍

1912 助数(2)
① 口人本名
② 羽体頭
③ 着
⑤ 個
�外 箇騎錠振尾匹

1913 助数(3)
② 画歩
③ 発服
⑤ 件編
�外 滴把杯封抱

1914 助数(4)
① 足
② 戸行首台茶通門
③ 階皿重章部面両列
④ 節束輪
⑤ 基句条俵
⑥ 巻冊枚
�外 脚軒隻粒

1915 助数(5)
① 円
② 元
③ 両
⑤ 銭
�外 厘

1916 助数(6)
① 月日年
② 才時分
③ 秒
⑥ 刻
�外 更歳

1917 助数(7)
① 町
② 間分里
③ 丁
⑥ 尺寸
�外 丈

1918 助数(8)
② 歩
③ 反
⑥ 段
�外 勺畳畝坪

1919 助数(9)
① 石
② 合
�外 貫斤匁升斗匁

1920 多少
② 少多
⑤ 貧豊
⑥ 衆
�外 寡沢乏

1921 長短
② 遠近広高細太長
③ 深短洋
④ 浅低博
⑤ 厚
⑥ 寸
�外 隔寛距狭丈繊薄漠

1922 大小
① 小大中
�外 巨洪微零

1923 軽重
② 角
③ 軽重

1924 冷暖
③ 温寒暑
④ 熱冷
⑥ 暖
�外 涼

1925 急緩
③ 急速
㊥ 緩疾徐迅滞遅敏慢
1926 強弱
② 強高弱
③ 安
⑥ 貴
㊥ 廉
1930 算
③ 根商等和
④ 差積
⑤ 均率比
1940 具備
③ 具
④ 欠満
⑤ 備
1941 余剰
④ 残付
⑤ 過余
㊥ 込冗剰端超添飽
1942 全欠
① 足
② 丸半分
③ 全部
④ 完挙欠満
⑤ 総
⑥ 諸
㊥ 皆充庶般普
1943 単複
③ 集対両
④ 各共単連
⑤ 群団独複
⑥ 片
㊥ 孤隻双
1950 程度
③ 度
④ 位
⑤ 程
1951 概略
④ 以約
⑤ 過適略
㊥ 概凡
1952 極限
② 切
③ 究
④ 極最
⑤ 限絶
⑥ 至
㊥ 詰窮甚唯

20 人

200 我
③ 君予
⑤ 余
⑥ 我私
㊥ 朕彼某僕
201 自他
② 自当
③ 身他代
④ 各
⑥ 己
2020 氏・様
① 王
② 公
③ 院宮君主様
④ 関氏
㊥ 丈嬢殿姫坊房
2021 者・屋
① 手人生
② 家丸工方
③ 員屋漢者
④ 士徒夫
⑤ 師婦
⑥ 仁
㊥ 奴
2022 衆
② 方
④ 徒類連
⑤ 群勢
⑥ 衆党
㊥ 輩
203 神仏
① 天
③ 化神
⑤ 精仏
⑥ 聖尊
㊥ 怪鬼魂仙魔霊
204 男女
① 女男
⑤ 婦
㊥ 姫郎
205 老幼
② 少
③ 童
④ 児老
⑤ 故
⑥ 若亡幼
㊥ 翁壮稚婆坊娘

21 家族

2100 家
② 家門
③ 族
④ 氏類
⑥ 従
㊥ 姻縁
2101 実・義
③ 実
④ 養
⑤ 義
⑥ 厳尊
㊥ 岳継慈庶
211 夫婦
② 室
③ 配
④ 夫
⑤ 妻婦
⑥ 后
㊥ 奥嫁寡偶婿妃
212 父母
② 親父母
⑤ 祖
⑥ 宗
213 子孫
① 子
③ 息
④ 児孫
㊥ 孤嗣嬢婿嫡胞
214 兄弟
② 兄姉弟妹
215 叔伯
㊥ 叔伯

22 相手

220 相手
④ 仲徒連
⑤ 敵
㊥ 輩匹
221 師友
② 友
⑤ 師
㊥ 僚
222 主客
③ 客主
㊥ 賓

23 身分

230 民衆
③ 族
④ 民
⑥ 衆
㊥ 庶蛮
231 君主
① 王
③ 君主
⑥ 皇陛
㊥ 帝
2320 貴族
① 子男
② 公
⑥ 貴
㊥ 侯爵覇伯
2330 官民
② 公野
④ 官民労
⑤ 資
⑥ 私
2331 階層
② 工
③ 商農
④ 官士臣
㊥ 庶紳奴微匹虜隷
234 人物
② 通
③ 客
④ 材
⑤ 犯
⑥ 聖尊
㊥ 狂愚傑賢豪儒囚仙俗賊泥哲盗伯雄浪

24 職

240 担当
① 手人
③ 委員係者役
241 職
① 生
② 家工弟
③ 医商
④ 士
⑤ 師職
⑥ 優

㋐ 匠
242 将兵
④ 卒兵
⑥ 将
㋐ 尉佐帥曹
243 役職
② 首長頭
③ 使主相役
④ 官臣
⑤ 幹
⑥ 従補
㋐ 侍僕吏僚
244 僧尼
⑤ 師
㋐ 僧尼坊

25 国

2530 国
② 国
⑤ 領
㋐ 藩邦
2531 各国
① 中日
② 米
③ 漢洋和
④ 印英
⑤ 独仏
㋐ 亜欧華呉鮮唐伯露
254 都市
① 町
② 京市里
③ 宿都
④ 街
255 府県
① 字村町
② 市道
③ 区県州都
④ 郡府
256 村里
① 村
② 里
③ 落
④ 辺
⑤ 在
⑥ 郷
㋐ 郊

26 現場・組織
260 現場・世界
① 口上先
② 場地
③ 界世
④ 辺
⑥ 域筋
㋐ 陣壇
261 学校
① 学校山
② 園寺社
③ 院
④ 堂
㋐ 塾坊
262 市・駅
② 行市店
③ 駅屋所
④ 牧
㋐ 坑
263 家宅
② 家
③ 館宿
⑤ 営舎
⑥ 閣城宅
㋐ 軒斎荘邸舗寮
2640 機関(1)
② 台
③ 院局庫所部
④ 課司省府
⑥ 閣署庁
㋐ 廷
2641 機関(2)
⑥ 蔵郵
㋐ 逓
265 軍隊
④ 軍隊
⑥ 幕
266 組織
② 会社組体
③ 級
④ 協連
⑤ 講団
⑥ 座宗党派班盟
㋐ 閥

300 心

3000 心
① 気
② 心
③ 神
⑤ 志精
⑥ 腹
㋐ 懐魂丹胆衷霊
3001 感覚
③ 感味
④ 覚
⑤ 識
⑥ 警視痛認
㋐ 勘触聴
3002 驚・酔
④ 散
⑤ 迷
㋐ 狂驚慌酔漫惑
3003 疲労
① 休
④ 労
㋐ 餓渇飢疲飽
3004 睡眠
⑤ 夢
㋐ 寝睡眠

301 性情

3010 性癖
① 力
② 才
⑤ 情性能
⑥ 操
㋐ 癖
3011 清廉
④ 清
⑤ 潔徳
⑥ 純聖
㋐ 廉
3012 誠実
② 直
③ 実真
⑤ 厚質素率
⑥ 誠
㋐ 恭謹倹謙粛慎篤朴
3014 卑屈
④ 浅
⑤ 険
㋐ 陰屈薄卑浮偏劣
3015 勇敢
④ 果健固勇
⑤ 断
㋐ 敢頑堅硬剛豪壮胆雄
3016 温順・明朗
② 活明
③ 温和
④ 順静冷
⑤ 快
⑥ 優朗
㋐ 穏柔淑泰貞悠
3017 粗暴・放漫
③ 放
⑤ 雑暴
⑥ 激
㋐ 逸狂荒粗惰怠蛮奔漫猛烈

302 感情

3020 志操
④ 節
⑤ 志情
⑥ 操
3021 快楽
② 楽晴
③ 安
④ 喜
⑤ 快興
⑥ 朗
㋐ 慰悦閑歓娯陶愉悠
3022 悲苦
③ 苦悲
④ 案労
⑥ 危困傷痛
㋐ 哀虞患窮屈索寂愁焦辛沈泥悩煩憂
3023 恐怖・憤怒
④ 戦
㋐ 慨憾恐恨嘆怒怖憤
3025 好悪
② 親
③ 悪
④ 好
㋐ 懐甘忌嫌恨懇疾疎憎避慕恋
3026 寛厳
③ 悲
④ 愛残冷
⑤ 暴容

⑥ 厳仁優
�外 寛虐狭酷慈淡忍薄偏
3027 敬仰
③ 服礼
④ 信
⑥ 貴敬尊
�外 虚仰謙尚譲崇頼
3028 賞嘆
③ 軽重
④ 賞
�外 哀惜嘆弔悼
3029 恥辱
�外 辱恥卑侮慢

303 表情

3030 表情
① 音
② 顔色声
③ 相息面
3031 泣笑
② 鳴
③ 号
④ 泣笑
�外 叫慌咲嘆

304 志操

3040 志念
② 心
③ 意根
④ 念
⑤ 志
⑥ 我
�外 概魂
3041 勉励
③ 苦勉
④ 努勇労
⑤ 禁
⑥ 勤奮
�外 逸堪控渋惰耐怠忍憤漫励
3042 栄誉
① 名
④ 栄
�外 誇辱恥誉
3043 希望
③ 期待
④ 希求望
⑤ 志
⑥ 欲
�外 懸惜
3044 覚悟
③ 着反
④ 覚願信省
�外 悔祈凝顧悟執禅
3045 祝賀
④ 祝
⑤ 賀
�外 忌慶斎
3046 節義
④ 節
⑤ 義責徳
⑥ 孝誠善操忠
�外 偽貞

305 才知

3050 才能
② 才知
④ 芸
⑤ 幹技能
�外 堪腕
3051 巧拙
④ 老
⑥ 優
�外 巧拙稚劣
3052 学習
① 学
② 行
③ 習勉練
④ 達努
⑤ 慣修
⑥ 熟模
�外 擬鍛倣磨錬
3053 記憶
② 記
③ 習想
④ 覚
⑤ 慣
⑥ 忘
�外 憶癖銘
3054 認識
① 見
② 知通理
④ 観
⑤ 識弁
⑥ 認
�外 暁悟
3055 思考
② 考思
③ 感想
④ 案観念
⑥ 存
�外 懐勘鑑慮
3056 迷惑
④ 信
⑤ 迷
⑥ 異危疑警
�外 怪奇惑
3057 賢愚
② 明
④ 英利
⑥ 幼
�外 鋭頑愚賢俊駄遅痴稚鈍敏凡庸
3058 綿密
② 細
④ 周的
⑤ 確雑精綿
⑥ 密
�外 詳粗漠

306 理解・研究(1)

3060 理解
② 会読分理
④ 得
⑤ 解承判弁領
�外 詳了
3061 比較
② 合
③ 対
④ 照例
⑤ 比
�外 較鑑擬
3062 区別
② 画同分
③ 区
④ 差別類
3063 採択
③ 取
④ 参選
⑤ 採
�外 酌措択抽抜
3064 計算(1)
② 計算数
④ 量
⑤ 測評
3065 計算(2)
① 足
② 引通
③ 開式乗倍
④ 加積法約
⑤ 寄減比
⑥ 割除
�外 掛微
3066 研究・探索
② 点
③ 究研調追
④ 求験察試
⑤ 解検査
⑥ 視探討
�外 閲監窮索詳診審析捜
3067 推量
② 当
③ 想
④ 察量
⑤ 易測
⑥ 推
�外 勘占
3068 決定
③ 決定
④ 極
⑤ 断判評迷
⑥ 裁認批
�外 惑
3069 肯否
③ 消
④ 改
⑤ 確証
⑥ 誤否
㋐ 肯諾抹

307 理解・研究(2)

3071 意義・道理
② 道理
③ 意題由
④ 案要
⑤ 義
⑥ 筋訳
㋐ 概綱旨趣倫
3072 過誤
④ 差失

⑤ 過損
⑥ 誤
�外 違偽虚錯妄
3073 訂正・証明
① 正
② 直
④ 改治
⑤ 修準証
�外 繕訂
3074 学問(1)
① 学
② 科
③ 業題問
④ 課芸説
⑤ 講術
⑥ 論
3075 学問(2)
① 文
② 工国理
③ 医漢農洋
④ 史法
⑤ 経
�外 哲倫
3076 思想
⑤ 仏
�外 儒

308 法則・方策

3080 法則
② 道理
④ 紀典法令
⑤ 格規禁条制則
⑥ 憲律
�外 款軌是範倫
3081 方法
① 手
② 方
③ 式様
④ 案法例
⑤ 術制
⑥ 策
3082 計画
② 画計図
④ 案
⑤ 構講略
⑥ 策
�外 企謀

309 見聞

3090 見
① 見目
② 番
④ 観察望
⑥ 看視覧
�外 閲監鑑顧伺診
眺
3091 指示
③ 指
④ 差
⑤ 示
⑥ 展秘
�外 隠陳匿忍
3092 探求
④ 求
⑥ 探
�外 索伺尋斥捜偵
3093 聞
① 耳
② 聞
⑤ 承
�外 伺聴
3094 味
③ 味
�外 吟

310 言語

3100 言語
① 口
② 言語
④ 辞
⑤ 舌弁
⑥ 呼
�外 喚叫黙
3101 名
① 字名目
③ 号題
④ 氏
�外 称姓銘
3102 記述
② 記読
③ 写表
④ 伝
⑤ 現述
⑥ 模訳
�外 叙陳描翻
3103 音声・語詞
① 音
② 語声
③ 調
④ 訓辞節
⑤ 句
⑥ 詞
�外 韻拍
3104 文字
① 字草文
② 行
⑤ 構
�外 冠脚偏隷
3105 符号
② 点
③ 号
④ 印信標
�外 符紋
3106 章段
③ 章
④ 節
⑤ 条編
⑥ 段
�外 款欄
3107 図表
② 図
③ 式表
�外 譜

311 談話・通信

3110 談話
① 白
② 言語広風聞話
③ 申談
④ 告唱説
⑤ 弁
⑥ 宣
�外 喝仰啓触託黙
3111 通信
① 音文
② 知通電
③ 送
④ 告信伝便
⑤ 状報
⑥ 簡郵
3112 問答
② 答
③ 問
⑤ 応質
�外 糾伺諮酬尋
3113 議論
④ 議説
⑤ 非評弁
⑥ 難批論
�外 詰
3114 解釈
③ 注
④ 説
⑤ 解講
�外 釈
3115 宣告
④ 告
⑥ 宣
�外 詔託勅
3116 届
③ 申
⑥ 奏届
�外 訟訴陳
3117 提・寄
③ 投
④ 建
⑤ 寄提
⑥ 供

312 文章

3120 筆録
② 記書読
③ 写筆表
④ 案印録
⑥ 署認
�外 控稿抄謄描
3121 文章
① 文
③ 章
④ 辞
⑤ 句序条編
⑥ 詞
�外 碑銘
3122 典籍
① 文本
② 紙書
③ 表
④ 典録
⑤ 経証状
⑥ 誌著
�外 鑑献籍譜暦
3123 編・巻
② 記紙
③ 号
④ 紀
⑤ 編報

⑥ 巻誌

32 創作

320 創作
② 作
③ 筆
④ 案
⑤ 述製造編
⑥ 創著
�外 詠吟
321 文学・芸術
① 文
② 歌
③ 詩
④ 芸
⑤ 句
⑥ 俳
�外 謡
322 説話
② 記語話
③ 談
④ 史説伝
⑥ 詞
323 絵画
② 画絵図
③ 写美
�外 影彩撮描
324 彫刻
② 形
⑤ 像
⑥ 刻
�外 塑彫
325 音楽
② 歌楽声
③ 曲
④ 唱節
⑥ 奏
�外 響吹弾
326 演劇
⑤ 演能
⑥ 映劇幕
�外 戯舞

330 人生

3300 文化
① 文
② 風
③ 化習
④ 史伝歴
⑤ 慣故
�外 俗普弊
3301 風俗
② 風野
③ 様流
⑥ 潮
�外 華雅粋俗卑
3302 運命
③ 運幸福命落
④ 栄利
⑤ 勢豊
⑥ 盛
�外 禍吉凶恵慶枯祉辱衰替隆零
3304 苦難
③ 苦
④ 害変
⑤ 災
⑥ 難乱
�外 患惨厄憂
3306 処世
③ 落
④ 達
⑥ 処
�外 昇遭堕被避
3307 声聞
① 名
② 声聞
⑤ 評

331 勤労

3310 就任
① 入
② 当
③ 転服
⑤ 任復
⑥ 就
�外 遷即
3311 勤労
③ 業仕役
④ 働労
⑤ 営職務
⑥ 勤従
�外 稼携
3312 休・閑
① 休
② 直番
③ 息
④ 散
�外 暇閑憩惰怠繁忙

332 生活

3320 生活
① 生
② 活
③ 事
⑥ 暮
3321 居住
③ 住流旅
④ 巣
⑤ 寄居退留
⑥ 亡
�外 逃漂奔浪
3322 起居
③ 起宿
�外 寝泊
3323 飲食
③ 飲
④ 飯
�外 喫酌炊
3324 茶酒
② 茶
③ 酒薬
④ 毒
�外 煙
3325 装身
③ 着服
④ 衣帯
⑥ 装
�外 粧飾脱被覆
3326 保健
② 理
③ 整湯美
④ 健養浴
⑤ 保
⑥ 洗
�外 粧

333 学業

3330 学業(1)
① 学
③ 業
3331 学業(2)
① 入
② 合
③ 進第放落
④ 験試失停
⑤ 格検退
�外 及

334 儀礼

3340 祝祭
③ 祭礼
④ 祝
⑤ 賀
�外 冠忌慶寿葬弔盆
3341 結婚
④ 結
�外 姻縁嫁婚
3342 式典
③ 祭式礼
④ 典
�外 儀
3343 参拝
③ 服
④ 参
⑥ 拝
�外 忌喪

335 遊楽

3350 遊楽
② 楽行歩
③ 遊旅
④ 散
⑤ 興
�外 宴歓娯狩猟
3351 技芸(1)
② 道
④ 芸
⑤ 技術
3352 技芸(2)
① 花
② 茶
⑤ 武
�外 華棋碁
3353 歌舞
② 歌
④ 唱
⑤ 演能
⑥ 奏
�外 詠戯吟吹弾舞踊

339 動作

3390 礼容
③ 礼
⑤ 額態容
⑥ 拝
3391 立ち居
① 立
③ 起
⑤ 居
⑥ 座
㊥ 仰寝伏腰
3392 足の動作
② 走歩
③ 泳登
④ 徒
㊥ 騎駆践跳踏舞奔躍踊履
3393 手の動作(1)
③ 打投
④ 折
⑤ 格
㊥ 押殴撃拷擦拍撲摩抹抑
3394 手の動作(2)
③ 指持拾着
④ 差
⑤ 提
⑥ 揮推操
㊥ 握挟携撮執振摂掃摘把払捕
3395 抱・負
③ 荷負
⑥ 射担
㊥ 扇抱擁
3396 喫食
② 食
③ 飲
⑥ 吸
㊥ 喫吹吐

340 身上

3400 身上
② 分
③ 身役
④ 歴
⑤ 職責任務
⑥ 権担
㊥ 籍履
3410 才腕
① 力
② 才
④ 芸
⑤ 技術能
㊥ 腕
3411 徳操
② 声
③ 度品
④ 器望量
⑤ 徳
⑥ 操
㊥ 威

342 行為

3420 行為
② 行作止
③ 業仕
④ 挙働労
⑤ 営演
㊥ 為敢施践措致履
3421 犯罪
② 科
④ 害殺
⑤ 罪犯
⑥ 傷
㊥ 偽欺詐窃盗
3422 成績
④ 功失成敗
⑤ 過績
㊥ 勲
3423 遂行
② 用
③ 決放
⑤ 断
⑥ 縦
㊥ 敢催遂罷冒

350 交際

3500 融和
② 交親友
③ 和
④ 協仲
⑥ 善
㊥ 歓懇妥融
3501 断絶
③ 反
⑤ 絶断
㊥ 抗斥疎排妨
3502 会合
② 会合
③ 集
④ 散
⑤ 解寄
3503 出欠
① 出
③ 列
④ 欠参
⑥ 臨
㊥ 伺
3504 面会
② 会
③ 面
④ 候
⑤ 応接
㊥ 謁遇遭
3505 訪問
③ 問
④ 辞
⑤ 招
⑥ 呼訪
㊥ 喚召致弔誘
3506 送迎
③ 送待
④ 別
㊥ 迎離
3507 仲介
④ 仲
㊥ 介紹媒

351 約束

3510 契約
④ 結約
⑥ 盟
㊥ 契誓締
3511 請求
③ 申談
④ 願議求望要
⑤ 責
㊥ 依請訴託頼
3512 許諾
② 同
③ 受
⑤ 応可許賛承容
⑥ 認
㊥ 准諾聴免
3513 拒否
④ 辞
⑤ 謝絶
⑥ 否
㊥ 拒譲

352 協力

3520 参加
④ 加協参
⑤ 応
㊥ 携渉与
3521 去就
③ 去向
⑤ 退
⑥ 就除背
㊥ 脱
3522 貢献
⑤ 寄報
㊥ 犠献貢殉奉

353 抗争

3530 侵害
④ 害
⑤ 犯略
⑥ 干
㊥ 威嚇脅侵挑妨冒
3531 抗争
④ 競戦争
⑤ 応敵
⑥ 討
㊥ 撃抗攻襲征闘伐
3532 防衛
③ 守
⑤ 衛護防
⑥ 警
㊥ 戒拒抗脱抵免
3533 軍事
④ 軍兵
⑤ 武
㊥ 陣
3534 勝敗
② 北
③ 勝負落
④ 敗
⑤ 退破
㊥ 陥却屈克

3535 滅亡
⑥ 亡
㋐ 滅
3536 服従
③ 定服平
④ 参順
⑤ 圧制
⑥ 降従
㋐ 循遵随鎮伏

354 治乱

3540 和平
② 太
③ 安平和
④ 治
㋐ 穏寛泰寧
3541 騒乱
④ 競争
⑤ 暴
⑥ 乱
㋐ 騒闘

360 支配

3600 支配
④ 治
⑤ 支制率統領
⑥ 揮
㋐ 監御督
3601 管理
② 理
④ 管司
⑤ 政
㋐ 轄宰掌摂覇
3602 運営
① 立
③ 運
⑤ 営幹経設
3603 争乱
③ 反
④ 争変
⑤ 逆
⑥ 乱
㋐ 紛
3604 訴訟
⑤ 検判
⑥ 裁
㋐ 訟審訴
3605 刑罰
② 科
③ 追配放流
④ 課
⑤ 禁留
⑥ 処
㋐ 監刑拘拷獄赦釈囚逮逐懲縛罰捕免

361 任免

3610 登用
② 用
③ 登
④ 挙選
⑥ 認
㋐ 仰
3611 任免
③ 委命
⑤ 解任
⑥ 補
㋐ 雇叙嘱託罷封免
3612 派遣
⑥ 派
㋐ 遣
3613 推薦・糾弾
⑥ 推
㋐ 劾詰糾唆奨薦弾誘
3614 奉仕
③ 仕事服
⑥ 供従
㋐ 侍殉随奉

362 教育

3620 教育
② 教
③ 育化度
④ 訓伝養
⑤ 授導
㋐ 矯薫啓陶範
3621 勧諭
⑥ 警
㋐ 戒勧唆催奨振促督諭誘励
3622 援護
③ 助
④ 救養
⑤ 護賛保
⑥ 看済
㋐ 援介佐扶
3623 命令
③ 委指命
④ 課達令
⑤ 任
㋐ 仰
3624 規制
② 強止
④ 束
⑤ 圧規禁制
⑥ 律
㋐ 縛

363 待遇

3630 待遇
③ 待
④ 労
㋐ 扱慰欺虐遇辱
3631 恩恵
③ 礼
⑤ 恩謝徳報
⑥ 仁
㋐ 恵顧
3632 賞賛
③ 美
④ 賞
⑤ 賛
㋐ 称彰褒揚
3633 懲戒
⑤ 許責容
㋐ 戒赦懲罰免
3634 威嚇
㋐ 威嚇喝脅唆詐魅惑

370 経済

3700 取得
③ 取受服
④ 得
⑤ 略領
⑥ 収頂
㋐ 拐獲穫享摂占奪盗捕
3701 保持
③ 持有
④ 管帯貯
⑤ 保領
⑥ 蔵担
㋐ 稼携占蓄
3702 会計
② 会計
③ 調
④ 費
⑤ 経支税
⑥ 収
㋐ 租払
3703 需給
③ 集注配
④ 課給要
⑤ 弁
⑥ 供納
㋐ 需償徴賦募免与戻

371 金銭

3710 金銭
① 金
④ 貨産
⑤ 財資質銭
⑥ 株宝
㋐ 債幣
3711 価値
② 用
④ 費
⑤ 価
⑥ 値
3712 給与
② 当
③ 代
④ 給料
⑤ 謝報
⑥ 賃
㋐ 酬償秩俸与
3713 損益
③ 息
④ 害欠失得利
⑤ 益損
㋐ 潤

372 取引

3720 交易
② 交通
③ 商
⑤ 易貿輸

㊥ 換融
3721 売買
② 売買
㊥ 卸購販
3722 贈与
① 上
② 答
③ 進
④ 給付
⑤ 寄授
⑥ 割供捨納
㊥ 恵献貢施賜譲
贈呈渡奉与賄
3724 配布
② 分
③ 送配
④ 達
⑤ 布
⑥ 届
㊥ 頒

373 貸借

3730 貸借
③ 負
④ 借
⑤ 質貸預
㊥ 債租託
3731 弁済
③ 返
⑤ 弁報
⑥ 済補
㊥ 還却償賠

374 貧富

3740 貧困
③ 苦
⑤ 貧
⑥ 困
㊥ 窮恐慌迫乏
3741 節倹
④ 節約
㊥ 倹
3742 富裕
③ 落
④ 栄
⑤ 富豊
⑥ 貴盛
㊥ 衰替繁裕隆零

380 産業

3800 産業(1)
③ 業事役
⑤ 営職務
3801 産業(2)
③ 商
④ 産
⑤ 興
⑥ 操
㊥ 企

381 農水

3810 栽培
② 作
③ 育植農
⑤ 耕
㊥ 墾栽培
3811 採収
⑤ 採
⑥ 収
㊥ 穫刈挿摘伐
3812 土木
③ 開
④ 治
㊥ 掘墾拓
3813 漁猟
④ 漁牧養
⑤ 飼
㊥ 狩畜釣捕猟

382 工業・通運

3820 工(1)
② 工
⑤ 製造
㊥ 醸
3821 工(2)
③ 研練
⑤ 織精績
㊥ 繰抄鍛鋳紡磨
抹錬
3822 工(3)
④ 印建刷
⑤ 構築版
㊥ 架敷舗埋
3823 通運
② 通
③ 運送配
④ 航達便
⑥ 届郵
㊥ 逓搬

383 衛生・出版

3830 衛生
① 生
③ 医
④ 治
⑤ 衛検護厚保
⑥ 看
㊥ 診療
3831 編集
① 校
③ 集
⑤ 修編
㊥ 訂
3832 報刊
③ 発
⑤ 刊版報
⑥ 映
㊥ 載撮

384 家事

3840 家事(1)
⑤ 接編
⑥ 裁
㊥ 繰縫
3841 家事(2)
⑥ 干洗染
㊥ 乾絞濯
3842 家事(3)
② 理
③ 調
④ 焼料
⑥ 蒸
㊥ 煮炊漬
3844 家事(4)
④ 刷
⑤ 防
⑥ 除
㊥ 掃

386 作業

3860 製作
② 工作
④ 成
⑤ 製造
⑥ 装
㊥ 施
3861 設置
③ 整配
④ 給置
⑤ 設備
㊥ 措
3862 処理・修理
② 直理
⑤ 修
⑥ 処
㊥ 繕
3863 加工
③ 研写練
④ 印
⑤ 張
⑥ 刻
㊥ 彩飾塑彫塗陶
磨
3864 使用
② 用
③ 使発
⑥ 射縦操
㊥ 扱詰撃遣

40 貨財

400 貨財(1)
① 金
③ 荷銀品物
④ 貨
⑤ 財銭
㊥ 駄幣
401 貨財(2)
④ 札票
⑤ 券

41 材料・部品

410 材料(1)
④ 材料
⑤ 資
411 材料(2)
① 石木
② 紙
③ 板
④ 材
412 材料(3)
① 金

③ 鉄
⑥ 鋼磁
㋝ 銑鋳陶
413 材料(4)
③ 炭油
⑤ 肥
㋝ 脂漆渋薪
414 部品(1)
① 車
④ 管輪
⑥ 棒
㋝ 縁環桟軸筒盤枠
415 部品(2)
④ 型
⑤ 弁
⑥ 針模
㋝ 架軌錠錘栓柄
416 部品(3)
② 線
⑤ 条
㋝ 維弦綱鎖索緒縄網羅

42 衣料

420 糸布
① 糸
② 毛
③ 皮
⑤ 布綿
⑥ 革絹縮
421 被服
③ 着服
④ 衣帯
⑤ 織
㋝ 襟被
422 身の回り
㋝ 靴冠甲傘扇駄帽履

43 食品

430 食品(1)
② 食
④ 飯
㋝ 滋汁糧
431 食品(2)
② 麦米
③ 豆
④ 粉
⑥ 干穀
㋝ 卸乾煮漬
432 食品(3)
② 魚肉
③ 油
④ 塩菜
⑥ 糖
㋝ 酢脂
433 食品(4)
② 茶
③ 酒
⑥ 乳
㋝ 菓酪
434 薬剤
③ 薬
④ 毒
㋝ 剤錠
435 紅墨
④ 粉
⑥ 紅
㋝ 香墨

44 住居

440 家屋
② 家
③ 屋住
④ 巣
⑤ 居
⑥ 宅
4410 邸
③ 院宮
⑥ 城
㋝ 斎荘邸房寮
4411 墓
⑤ 墓
㋝ 塚墳陵
4420 館
③ 館
④ 堂
⑤ 舎
⑥ 閣
㋝ 亭殿塔楼
4421 倉
③ 庫
④ 倉
⑥ 蔵
4423 室
② 間室
㋝ 房
443 門
② 門
③ 階
⑥ 段
㋝ 縁垣床塀廊
444 柱
② 台
③ 屋柱
⑥ 窓
㋝ 架軒桟礎棚壇棟壁欄
445 戸
② 戸
⑥ 幕
㋝ 畳扉
446 机
⑥ 机座
㋝ 床卓窯炉

45 道具

450 宝貨
① 玉
③ 具度
④ 器
⑤ 財
⑥ 宝
㋝ 珠
451 容器
③ 皿箱
④ 器
⑤ 俵
㋝ 缶棺槽袋杯鉢盤瓶盆
452 文具
② 紙
③ 章筆
④ 印
⑤ 判版
㋝ 鑑璽墨
453 武器
② 弓矢刀
④ 兵
㋝ 剣銃盾刃弾爆砲矛雷
454 もてあそびもの(玩)
① 玉
③ 球笛面
⑤ 像
㋝ 棋琴偶鼓碁鐘盤鈴
455 標額
④ 旗札的標
⑤ 額
㋝ 軸碑
456 図冊
① 本
② 図
③ 帳
④ 票
⑤ 券
⑥ 巻冊
㋝ 符簿

46 機器

460 光具
② 電
④ 鏡灯
461 計器
② 計
③ 度
④ 量
⑥ 尺
㋝ 衡斗
462 器械
④ 械器機
㋝ 儀
463 船車
① 車
② 船
③ 乗両
㋝ 艦舟艇舶帆

47 土木

470 田園
① 田
② 園
③ 庭畑
⑤ 墓
㋝ 畝塚墳陵
471 道路
② 線通道
③ 橋坂路
⑤ 条
㋝ 架軌
472 池堤

② 池
⑥ 穴
�外 坑溝井堤堀
473 港・城
② 台
③ 岸港
⑥ 城
�外 郭津塁炉

50 色声香味

5000 光(1)
② 光明
③ 暗昭陽
�外 陰影
5001 光(2)
④ 照
⑤ 像
⑥ 映射
�外 輝幻淡透濃
5010 色(1)
② 色
�外 彩沢
5011 色(2)
① 青赤白
② 黄黒茶
③ 緑
⑤ 桜
⑥ 灰紅
�外 褐玄紺紫朱丹桃墨
5012 鮮明
② 明
④ 歴
⑤ 判
⑥ 著朗
�外 顕晶彰鮮幽
5013 美醜
③ 美
⑥ 染
�外 汚華醜麗
5020 音(1)
① 音
② 声鳴
�外 韻響
5021 音(2)
④ 静
�外 寂粛騒
5022 音(3)
③ 調和
④ 節
⑥ 律
�外 旋
5030 香
�外 薫香臭芳
504 味
③ 苦味
⑤ 酸
�外 甘渋辛
5050 清濁
④ 清
⑤ 潔
�外 汚浄濁淡澄濃
5051 硬軟
④ 固
�外 凝堅硬柔渋軟粘

51 自然

5100 自然(1)
② 自
③ 陽
④ 象然
�外 陰
5101 自然(2)
① 気
② 体電
③ 物
④ 極
⑤ 質能
⑥ 磁
�外 核
5102 自然(3)
③ 流
④ 固粉末
⑤ 液導
⑥ 乳
�外 塊滴粒
5110 物質(1)
② 元
⑤ 質素属
5111 物質(2)
① 金水
③ 銀炭鉄
④ 塩
⑤ 鉱酸銅
⑥ 鋼
�外 鉛硝銃窒硫
5112 物質(3)
① 玉石土
② 岩
③ 油
⑥ 灰砂糖
�外 煙汚晶壌泥陶
5113 物質(4)
① 気空水
② 汽
③ 湯氷
�外 霜滴雰泡露
5114 災害
④ 害毒変
⑤ 災
�外 洪震爆噴崩雷濫

512 気象

5120 寒暑
③ 温寒暑和
④ 候熱冷
⑥ 暖
�外 炎涼
5121 雲雨
① 雨
② 雲雪
⑥ 干降
�外 渇雰霧
5122 晴曇
② 晴風
④ 照
⑤ 暴
⑥ 朗
�外 陰穏荒吹曇麗
5123 波浪
③ 波流
④ 満
⑥ 干
�外 渦浪
5130 変化(1)
③ 化和
�外 爆漂腐噴裂
5131 変化(2)
④ 結
⑤ 解
⑥ 蒸
�外 凝脹凍沸膨融溶
5132 火
① 火
② 点
③ 消
④ 焼灯熱
⑤ 燃
�外 炎煮焦
5133 乾湿
⑥ 干
�外 渇乾湿潤燥凍

52 天地

520 天地
① 空天
② 地
③ 球
⑥ 宇宙
�外 乾壌
521 天
① 月日
② 星
③ 陽
④ 望
�外 陰
522 地
② 地
④ 脈陸
⑥ 層
�外 殻軸盤
523 山
① 山
③ 坂
�外 岳丘峠峰陵
5240 野
② 原野
�外 漠
5241 谷
② 谷
⑥ 穴
�外 峡渓洞壁盆
5242 森
① 森田林
525 川
① 川
③ 流
⑤ 河
⑥ 源泉
�外 江瀬滝沢
526 海
② 海池
③ 湖洋

㊥ 沼沖
527 島
③ 岸島
㊥ 潟江崎礁津浜浦岬湾
5280 地帯
④ 極帯
⑥ 域
㊥ 圏
5281 景
② 色
④ 観景望
㊥ 眺

55 生物・植物

550 生物
① 生
⑤ 性
㊥ 酵雌胞雄
5510 植物(1)
① 草木本
③ 植
④ 菜
⑥ 樹
5511 植物(2)
① 竹
② 茶
④ 松梅
⑤ 桜
㊥ 菊漆杉桑桃朴柳
5512 植物(3)
② 麦米
③ 豆
㊥ 芋芝藻稲麻
5513 植物(4)
① 花
③ 根皮葉
④ 芽節
⑤ 幹枝条弁
⑥ 株
㊥ 華茎苗
5514 植物(5)
③ 実
④ 果種
⑥ 穀
㊥ 核脂穂房

56 動物

5600 動物(1)
① 犬人
② 牛馬
③ 羊
④ 象
㊥ 猿鯨獣駄豚猫
5601 動物(2)
㊥ 犠牲畜匹
561 動物(3)
② 魚鳥
㊥ 鶏
563 動物(4)
① 虫
⑥ 蚕
㊥ 蚊蛍繭昆
564 動物(5)
① 貝
㊥ 介菌蛇竜

57 生体

570 身体
② 体
③ 身
④ 徒
㊥ 裸
571 頭
① 口耳目
② 顔首頭
③ 鼻面
⑤ 額眼舌
㊥ 唇
572 胴
⑥ 胸乳背腹
㊥ 肩胴尾腰
573 手足
① 手足
③ 指
④ 節
㊥ 脚肢掌翼腕
574 肉
② 肉
⑥ 筋
㊥ 膜
575 臓
④ 胃腸
⑥ 臓脳肺
㊥ 肝髄胎胆胞
576 皮膚
② 羽角毛
③ 皮
⑥ 革
㊥ 肌髪膚
5761 歯・骨
③ 歯
⑥ 骨
㊥ 殻甲
577 血・乳
③ 血
⑥ 乳
㊥ 汗脂肪涙
578 便
④ 便
㊥ 吐尿排
5781 卵
⑥ 卵

58 生命

580 生命
① 生
② 活
③ 命
④ 産
⑥ 存誕
㊥ 寿胎
581 生育
② 長
③ 育実
④ 成
⑥ 熟
㊥ 伸
5811 老若
④ 老
⑥ 若幼
㊥ 壮稚
5812 茂・枯
④ 栄
㊥ 朽枯咲繁腐茂
582 死
③ 死
④ 卒
⑤ 絶
⑥ 亡
㊥ 寂殉衰逝廃崩没滅
5821 傷害
④ 害殺毒敗
⑥ 傷創
㊥ 腐
583 生理(1)
③ 息
⑤ 経
⑥ 吸呼
㊥ 瞬排泌
584 生理(2)
④ 熱脈
㊥ 酵娠胎妊
585 疾病
③ 感病
④ 治
⑤ 快
⑥ 染
㊥ 疫炎患疾症冒癒
5860 健康
② 細太
④ 健康
⑤ 肥
㊥ 丈
5861 痛・麻
④ 戦
⑥ 痛
㊥ 酔痘麻盲痢
5862 飢渇
㊥ 餓渇飢凍
600 助語(1)
⑥ 並
㊥ 且及更
601 助語(2)
⑥ 若
㊥ 又
602 助語(3)
㊥ 尚但猶
603 助語(4)
④ 然
㊥ 併
604 助語(5)
④ 以
⑤ 因故
605 助語(6)
⑤ 則
㊥ 況即

3 索引

1 亜 ㋝ 1041 正副
2531 各国
2 哀 ㋝ 3022 悲苦
3028 賞嘆
3 愛 ④ 3026 寛厳
4 悪 ③ 1310 正邪
3025 好悪
5 握 ㋝ 3394 手の動作(2)
6 圧 ⑤ 140 力
1563 抑圧
3536 服従
3624 規制
7 扱 ㋝ 3630 待遇
3864 使用
8 安 ③ 1330 安危
1512 静止
1926 強弱
3021 快楽
3540 和平
9 案 ④ 3022 悲苦
3055 思考
3071 意義・道理
3081 方法
3082 計画
3120 筆録
320 創作
10 暗 ③ 5000 光(1)
11 以 ④ 1951 概略
604 助語(5)
12 衣 ④ 3325 装身
421 被服
13 位 ④ 1101 系列
1600 位置
1622 順序
1700 空間
1950 程度
14 囲 ④ 1133 被・脱
1533 包囲
1780 周辺
1901 数(2)
15 医 ③ 241 職
3075 学問(2)
3830 衛生
16 依 ㋝ 1113 因果
1623 漸・即
3511 請求
17 委 ③ 240 担当
3611 任免
3623 命令
18 威 ㋝ 3411 徳操
3530 侵害
3634 威嚇
19 胃 ④ 575 臓
20 為 ㋝ 3420 行為
21 尉 ㋝ 242 将兵
22 異 ⑥ 1120 異同
3056 迷惑
23 移 ⑤ 1502 交替・修訂
1515 転移
24 偉 ㋝ 1321 英・逸
25 意 ③ 3040 志念
3071 意義・道理
26 違 ㋝ 1120 異同
3072 過誤
27 維 ㋝ 416 部品(3)
28 慰 ㋝ 3021 快楽
3630 待遇
29 遺 ⑥ 1213 残余
30 緯 ㋝ 1730 縦横・傾斜
31 域 ⑥ 260 現場・世界
5280 地帯
32 育 ③ 3620 教育
3810 栽培
581 生育
33 一 ① 1910 数詞
34 壱 ㋝ 1910 数詞
35 逸 ㋝ 1321 英・逸
1515 転移
3017 粗暴・放漫
3041 勉励
36 芋 ㋝ 5512 植物(3)
37 引 ② 1560 接触
1580 増減
3065 計算(2)
38 印 ④ 180 図形
2531 各国
3105 符号
3120 筆録
3822 工(3)
3863 加工
452 文具
39 因 ⑤ 1113 因果
1902 数(3)
604 助語(5)
40 姻 ㋝ 2100 家
3341 結婚
41 員 ③ 1900 数(1)
2021 者・屋
240 担当
42 院 ③ 2020 氏・様
261 学校
2640 機関(1)
4410 邸
43 陰 ㋝ 3014 卑屈
5000 光(1)
5100 自然(1)
5122 晴曇
521 天
44 飲 ③ 3323 飲食
3396 喫食
45 隠 ㋝ 1220 秘密
3091 指示
46 韻 ㋝ 3103 音声・語詞
5020 音(1)
47 右 ① 1740 左右
48 宇 ⑥ 520 天地
49 羽 ② 1912 助数(2)
576 皮膚
50 雨 ① 5121 雲雨
51 運 ③ 1510 活動
3302 運命
3602 運営
3823 通運
52 雲 ② 5121 雲雨
53 永 ⑤ 1614 老幼・永久
54 泳 ③ 3392 足の動作
55 英 ④ 1321 英・逸
2531 各国
3057 賢愚
56 映 ⑥ 326 演劇
3832 報刊
5001 光(2)
57 栄 ④ 1311 美好
3042 栄誉
3302 運命
3742 富裕
5812 茂・枯
58 営 ⑤ 263 家宅
3311 勤労
3420 行為
3602 運営

3800 産業(1)
59 詠 ㊥ 320 創作
3353 歌舞
60 影 ㊥ 323 絵画
5000 光(1)
61 鋭 ㊥ 1821 凹凸
3057 賢愚
62 衛 ⑤ 3532 防衛
3830 衛生
63 易 ⑤ 1330 安危
1502 交替・修訂
3067 推量
3720 交易
64 疫 ㊥ 585 疾病
65 益 ⑤ 3713 損益
66 液 ⑤ 5102 自然(3)
67 駅 ③ 262 市・駅
68 悦 ㊥ 3021 快楽
69 越 ㊥ 1522 通過
70 謁 ㊥ 3504 面会
71 閲 ㊥ 3066 研究・探索
3090 見
72 円 ① 182 方円
1915 助数(5)
73 延 ⑥ 1520 発着
1570 曲折
1582 伸縮
74 沿 ⑥ 1561 附属
1780 周辺
75 炎 ㊥ 5120 寒暑
5132 火
585 疾病
76 宴 ㊥ 3350 遊楽
77 援 ㊥ 3622 援護
78 園 ② 261 学校
470 田園
79 煙 ㊥ 3324 茶酒
5112 物質(3)
80 猿 ㊥ 5600 動物(1)
81 遠 ② 1560 接触
1921 長短
82 鉛 ㊥ 5111 物質(2)
83 塩 ④ 432 食品(3)
5111 物質(2)
84 演 ⑤ 326 演劇
3353 歌舞
3420 行為
85 縁 ㊥ 1113 因果
1742 頂・央→1780
1780 周辺
2100 家
3341 結婚
414 部品(1)
443 門
86 汚 ㊥ 1350 清素
5013 美醜
5050 清濁
5112 物質(3)
87 王 ① 2020 氏・様
231 君主
88 凹 ㊥ 1821 凹凸
89 央 ③ 1742 頂・央
90 応 ⑤ 1131 交応
1500 作用
3112 問答
3504 面会
3512 許諾
3520 参加
3531 抗争
91 往 ⑤ 1520 発着
1526 往復
1620 古今
92 押 ㊥ 1563 抑圧
3393 手の動作(1)
93 欧 ㊥ 2531 各国
94 殴 ㊥ 1562 衝突
3393 手の動作(1)
95 桜 ⑤ 5011 色(2)
5511 植物(2)
96 翁 ㊥ 205 老幼
97 奥 ㊥ 1771 奥底
211 夫婦
98 横 ③ 1513 起倒
1730 縦横・傾斜
99 屋 ③ 2021 者・屋
262 市・駅
440 家屋
444 柱
100 億 ④ 1910 数詞
101 憶 ㊥ 3053 記憶
102 虞 ㊥ 3022 悲苦
103 乙 ㊥ 1910 数詞
104 卸 ㊥ 1540 上下
3721 売買
431 食品(2)
105 音 ① 3030 表情
3103 音声・語詞
3111 通信
5020 音(1)
106 恩 ⑤ 3631 恩恵
107 温 ③ 1924 冷暖
3016 温順・明朗
5120 寒暑
108 穏 ㊥ 1330 安危
3016 温順・明朗
3540 和平
5122 晴曇
109 下 ① 1540 上下
1741 上下
110 化 ③ 1502 交替・修訂
203 神仏
3300 文化
3620 教育
5130 変化(1)
111 火 ① 1612 日
5132 火
112 加 ④ 1580 増減
3065 計算(2)
3520 参加
113 可 ⑤ 1221 必要
1310 正邪
3512 許諾
114 仮 ⑤ 1030 真偽
1200 存在
115 何 ② 100 何
116 花 ① 3352 技芸(2)
5513 植物(4)
117 佳 ㊥ 1311 美好
118 価 ⑤ 1900 数(1)
3711 価値
119 果 ④ 1113 因果
1621 初・末
1721 限界
3015 勇敢
5514 植物(5)
120 河 ⑤ 525 川
121 科 ② 3074 学問(1)
3421 犯罪
3605 刑罰
122 架 ㊥ 3822 工(3)
415 部品(2)
444 柱
471 道路
123 夏 ② 1611 年月
124 家 ② 2021 者・屋
2100 家
241 職
263 家宅
440 家屋
125 荷 ③ 3395 抱・負

400 貨財(1)
126 華 ㊥ 1311 美好
2531 各国
3301 風俗
3352 技芸(2)
5013 美醜
5513 植物(4)
127 菓 ㊥ 433 食品(4)
128 貨 ④ 3710 金銭
400 貨財(1)
129 渦 ㊥ 183 球・輪
186 行列
5123 波浪
130 過 ⑤ 1522 通過
1620 古今
1941 余剰
1951 概略
3072 過誤
3422 成績→3072
131 嫁 ㊥ 211 夫婦
3341 結婚
132 暇 ㊥ 1610 時間
3312 休・閑
133 禍 ㊥ 3302 運命
134 靴 ㊥ 422 身の回り
135 寡 ㊥ 1920 多少
211 夫婦
136 歌 ② 321 文学・芸術
325 音楽
3353 歌舞
137 箇 ㊥ 1912 助数(2)
138 稼 ㊥ 3311 勤労
3701 保持
139 課 ④ 2640 機関(1)
3074 学問(1)
3605 刑罰
3623 命令
3703 需給
140 蚊 ㊥ 563 動物(4)
141 我 ⑥ 200 我
3040 志念
142 画 ② 180 図形
1913 助数(3)
3062 区別
3082 計画
323 絵画
143 芽 ④ 5513 植物(4)
144 賀 ⑤ 3045 祝賀
3340 祝祭
145 雅 ㊥ 1311 美好
3301 風俗
146 餓 ㊥ 3003 疲労→5862
5862 飢渇
147 介 ㊥ 3507 仲介
3622 援護
564 動物(5)
148 回 ② 1511 回転
1525 周回
1911 助数(1)
149 灰 ⑥ 5011 色(2)
5112 物質(3)
150 会 ② 1551 集合
266 組織
3060 理解
3502 会合
3504 面会
3702 会計
151 快 ⑤ 3016 温順・明朗
3021 快楽
585 疾病
152 戒 ㊥ 3532 防衛
3621 勧諭
3633 懲戒
153 改 ④ 1502 交替・修訂
3069 肯否
3073 訂正・証明
154 怪 ㊥ 1351 珍奇
203 神仏
3056 迷惑
155 拐 ㊥ 3700 取得
156 悔 ㊥ 3044 覚悟
157 海 ② 526 海
158 界 ③ 1700 空間
1720 座席
1721 限界
260 現場・世界
159 皆 ㊥ 1942 全欠
160 械 ④ 462 器械
161 絵 ② 323 絵画
162 開 ③ 1501 始終
1554 開閉
3065 計算(2)
3812 土木
163 階 ③ 1101 系列
1914 助数(4)
443 門
164 解 ⑤ 1553 分散
3060 理解
3066 研究・探索
3114 解釈
3502 会合
3611 任免
5131 変化(2)
165 塊 ㊥ 183 球・輪→5102
5102 自然(3)
166 壊 ㊥ 1572 破壊
167 懐 ㊥ 1771 奥底
3000 心
3025 好悪
3055 思考
168 貝 ① 564 動物(5)
169 外 ② 1202 除却
1515 転移
1530 出入
1770 内外
170 劾 ㊥ 3613 推薦・糾弾
171 害 ④ 1571 切断
3304 苦難
3421 犯罪
3530 侵害
3713 損益
5114 災害
5821 傷害
172 涯 ㊥ 1721 限界
173 街 ④ 254 都市
174 慨 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
175 該 ㊥ 100 何
176 概 ㊥ 1951 概略
3040 志念
3071 意義・道理
177 垣 ㊥ 443 門
178 各 ④ 100 何
1943 単複
201 自他
179 角 ② 1742 頂・央
182 方円
1923 軽重
576 皮膚
180 拡 ⑥ 1582 伸縮
181 革 ⑥ 1502 交替・修訂
420 糸布
576 皮膚
182 格 ⑤ 1101 系列
1303 品質
3080 法則
3331 学業(2)
3393 手の動作(1)
183 核 ㊥ 1742 頂・央
5101 自然(2)
5514 植物(5)

184 殻 ㊥ 522 地→5761
5761 歯・骨
185 郭 ㊥ 186 行列
473 港・城
186 覚 ④ 3001 感覚
3044 覚悟
3053 記憶
187 較 ㊥ 3061 比較
188 隔 ㊥ 1553 分散
1564 防止
1921 長短
189 閣 ⑥ 263 家宅
2640 機関(1)
4420 館
190 確 ⑤ 1330 安危
3058 綿密
3069 肯否
191 獲 ㊥ 3700 取得
192 嚇 ㊥ 3530 侵害→3634
3634 威嚇
193 穫 ㊥ 3700 取得→3811
3811 採収
194 学 ① 261 学校
3052 学習
3074 学問(1)
3330 学業(1)
195 岳 ㊥ 2101 実・義
523 山
196 楽 ② 3021 快楽
325 音楽
3350 遊楽
197 額 ⑤ 1900 数(1)
3390 礼容
455 標額
571 頭
198 掛 ㊥ 1514 懸垂
1911 助数(1)
3065 計算(2)
199 潟 ㊥ 527 島
200 括 ㊥ 1551 集合
201 活 ② 1510 活動
3016 温順・明朗
3320 生活
580 生命
202 喝 ㊥ 3110 談話
3634 威嚇
203 渇 ㊥ 3003 疲労
5121 雲雨
5133 乾湿
5862 飢渇
204 割 ⑥ 1553 分散
1571 切断
1911 助数(1)
3065 計算(2)
3722 贈与
205 滑 ㊥ 1521 歩行
1821 凹凸
206 褐 ㊥ 5011 色(2)
207 轄 ㊥ 3601 管理
208 且 ㊥ 600 助語(1)
209 株 ⑥ 3710 金銭
5513 植物(4)
210 刈 ㊥ 1571 切断
3811 採収
211 干 ⑥ 3530 侵害
3841 家事(2)
431 食品(2)
5121 雲雨
5123 波浪
5133 乾湿
212 刊 ⑤ 3832 報刊
213 甘 ㊥ 3025 好悪
504 味
214 汗 ㊥ 577 血・乳
215 缶 ㊥ 451 容器
216 完 ④ 1942 全欠
217 肝 ㊥ 105 重要
575 臓
218 官 ④ 2330 官民
2331 階層
243 役職
219 冠 ㊥ 3104 文字
3340 祝祭
422 身の回り
220 巻 ⑥ 1570 曲折
1914 助数(4)
3123 編・巻
456 図冊
221 看 ⑥ 3090 見
3622 援護
3830 衛生
222 陥 ㊥ 1540 上下
3534 勝敗
223 乾 ㊥ 3841 家事(2)
431 食品(2)
5133 乾湿
520 天地
224 勘 ㊥ 3001 感覚
3055 思考
3067 推量
225 患 ㊥ 3022 悲苦
3304 苦難
585 疾病
226 貫 ㊥ 1522 通過
1919 助数(9)
227 寒 ③ 1924 冷暖
5120 寒暑
228 喚 ㊥ 3100 言語
3505 訪問
229 堪 ㊥ 1563 抑圧
3041 勉励
3050 才能
230 換 ㊥ 1502 交替・修訂
3720 交易
231 敢 ㊥ 3015 勇敢
3420 行為
3423 遂行
232 棺 ㊥ 451 容器
233 款 ㊥ 102 条項→3106
3080 法則
3106 章段
234 間 ② 1102 関係
1610 時間
1700 空間
1917 助数(7)
4423 室
235 閑 ㊥ 3021 快楽
3312 休・閑
236 勧 ㊥ 3621 勧諭
237 寛 ㊥ 1921 長短→3026
3026 寛厳
3540 和平
238 幹 ⑤ 1040 基本
243 役職
3050 才能
3602 運営
5513 植物(4)
239 感 ③ 3001 感覚
3055 思考
585 疾病
240 漢 ③ 2021 者・屋
2531 各国
3075 学問(2)
241 慣 ⑤ 3052 学習
3053 記憶
3300 文化
242 管 ④ 183 球・輪
3601 管理
3701 保持
414 部品(1)

243 関 ④ 1102 関係
2020 氏・様
244 歓 ㊥ 3021 快楽
3350 遊楽
3500 融和
245 監 ㊥ 3066 研究・探索
3090 見
3600 支配
3605 刑罰
246 緩 ㊥ 1344 緊張
1631 遅速
1821 凹凸
1925 急緩
247 憾 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
248 還 ㊥ 1526 往復
3731 弁済
249 館 ③ 263 家宅
4420 館
250 環 ㊥ 1525 周回
183 球・輪
414 部品(1)→183
251 簡 ⑥ 1342 簡約
3111 通信
252 観 ④ 1300 様相
3054 認識
3055 思考
3090 見
5281 景
253 艦 ㊥ 463 船車
254 鑑 ㊥ 3055 思考
3061 比較
3090 見
3122 典籍
452 文具
255 丸 ② 182 方円
1942 全欠
2021 者・屋
256 含 ㊥ 1133 被・脱
1533 包囲
257 岸 ③ 473 港・城
527 島
258 岩 ② 5112 物質(3)
259 眼 ⑤ 571 頭
260 頑 ㊥ 3015 勇敢
3057 賢愚
261 顔 ② 3030 表情
571 頭
262 願 ④ 3044 覚悟
3511 請求
263 企 ㊥ 3082 計画
3801 産業(2)
264 危 ⑥ 1330 安危
3022 悲苦
3056 迷惑
265 机 ⑥ 446 机
266 気 ① 1301 風味
3000 心
5101 自然(2)
5113 物質(4)
267 岐 ㊥ 1574 配列
181 点線
268 希 ④ 3043 希望
269 忌 ㊥ 3025 好悪
3045 祝賀
3340 祝祭
3343 参拝
270 汽 ② 5113 物質(4)
271 奇 ㊥ 1351 珍奇
1902 数(3)
3056 迷惑
272 祈 ㊥ 3044 覚悟
273 季 ④ 1611 年月
274 紀 ④ 1610 時間
1611 年月
3080 法則
3123 編・巻
275 軌 ㊥ 181 点線
3080 法則
415 部品(2)→471
471 道路
276 既 ㊥ 1615 再・毎
1623 漸・即
277 記 ② 3053 記憶
3102 記述
3120 筆録
3123 編・巻
322 説話
278 起 ③ 1210 発生
1513 起倒
3322 起居
3391 立ち居
279 飢 ㊥ 3003 疲労
5862 飢渇
280 鬼 ㊥ 203 神仏
281 帰 ② 1113 因果
1526 往復
282 基 ⑤ 1040 基本
1113 因果
1710 地点
1914 助数(4)
283 寄 ⑤ 1525 周回
1560 接触
1780 周辺
3065 計算(2)
3117 提・寄
3321 居住
3502 会合
3522 貢献
3722 贈与
284 規 ⑤ 3080 法則
3624 規制
285 喜 ④ 3021 快楽
286 幾 ㊥ 1910 数詞
287 揮 ⑥ 1553 分散
3394 手の動作(2)
3600 支配
288 期 ③ 1610 時間
3043 希望
289 棋 ㊥ 3352 技芸(2)→454
454 もてあそびもの(玩)
290 貴 ⑥ 1320 便利
1926 強弱
2320 貴族
3027 敬仰
3742 富裕
291 棄 ㊥ 1202 除却
292 旗 ④ 455 標額
293 器 ④ 3411 徳操
450 宝貨
451 容器
462 器械
294 輝 ㊥ 5001 光(2)
295 機 ④ 1610 時間
462 器械
296 騎 ㊥ 1912 助数(2)
3392 足の動作
297 技 ⑤ 3050 才能
3351 技芸(1)
3410 才腕
298 宜 ㊥ 1310 正邪
299 偽 ㊥ 1030 真偽
3046 節義
3072 過誤→3421
3421 犯罪
300 欺 ㊥ 3421 犯罪
3630 待遇
301 義 ⑤ 2101 実・義
3046 節義
3071 意義・道理

302 疑 ⑥ 3056 迷惑
303 儀 ㊥ 102 条項
1300 様相
3342 式典
462 器械
304 戯 ㊥ 326 演劇
3353 歌舞
305 擬 ㊥ 3052 学習
3061 比較
306 犠 ㊥ 3522 貢献
5601 動物(2)
307 議 ④ 3113 議論
3511 請求
308 菊 ㊥ 5511 植物(2)
309 吉 ㊥ 3302 運命
310 喫 ㊥ 3323 飲食
3396 喫食
311 詰 ㊥ 1533 包囲
1952 極限
3113 議論
3613 推薦・糾弾
3864 使用
312 却 ㊥ 1202 除却
1524 進退
1526 往復
3534 勝敗
3731 弁済
313 客 ③ 222 主客
234 人物
314 脚 ㊥ 1914 助数(4)
3104 文字
573 手足
315 逆 ⑤ 1132 非・否
1730 縦横・傾斜
3603 争乱
316 虐 ㊥ 3026 寛厳
3630 待遇
317 九 ① 1910 数詞
318 久 ⑤ 1614 老幼・永久
319 及 ㊥ 1520 発着
1523 先導・追従
3331 学業(2)
600 助語(1)
320 弓 ② 453 武器
321 丘 ㊥ 523 山
322 旧 ⑤ 1620 古今
1630 新旧
323 休 ① 1501 始終
3003 疲労
3312 休・閑
324 吸 ⑥ 1530 出入
3396 喫食
583 生理(1)
325 朽 ㊥ 5812 茂・枯
326 求 ④ 3043 希望
3066 研究・探索
3092 探求
3511 請求
327 究 ③ 1952 極限
3066 研究・探索
328 泣 ④ 3031 泣笑
329 急 ③ 1330 安危
1631 遅速→1925
1730 縦横・傾斜
1821 凹凸→1730
1925 急緩
330 級 ③ 1101 系列
1902 数(3)
266 組織
331 糾 ㊥ 3112 問答
3613 推薦・糾弾
332 宮 ③ 2020 氏・様
4410 邸
333 救 ④ 3622 援護
334 球 ③ 183 球・輪
454 もてあそびもの(玩)
520 天地
335 給 ④ 3703 需給
3712 給与
3722 贈与
3861 設置
336 窮 ㊥ 1952 極限
3022 悲苦
3066 研究・探索
3740 貧困
337 牛 ② 5600 動物(1)
338 去 ③ 1202 除却
1526 往復
1620 古今
3521 去就
339 巨 ㊥ 1922 大小
340 居 ⑤ 3321 居住
3391 立ち居
440 家屋
341 拒 ㊥ 3513 拒否
3532 防衛
342 拠 ㊥ 1113 因果
1710 地点
343 挙 ④ 1540 上下
1942 全欠
3420 行為
3610 登用
344 虚 ㊥ 1030 真偽
1201 空・無
3027 敬仰
3072 過誤
345 許 ⑤ 1710 地点
3512 許諾
3633 懲戒
346 距 ㊥ 1921 長短
347 魚 ② 432 食品(3)
561 動物(3)
348 御 ㊥ 3600 支配
349 漁 ④ 3813 漁猟
350 凶 ㊥ 3302 運命
351 共 ④ 1130 相対
1943 単複
352 叫 ㊥ 3031 泣笑→3100
3100 言語
353 狂 ㊥ 1351 珍奇
234 人物
3002 驚・酔
3017 粗暴・放漫
354 京 ② 254 都市
355 享 ㊥ 3700 取得
356 供 ⑥ 3117 提・寄
3614 奉仕
3703 需給
3722 贈与
357 協 ④ 266 組織
3500 融和
3520 参加
358 況 ㊥ 1300 様相
605 助語(6)
359 峡 ㊥ 5241 谷
360 挟 ㊥ 1533 包囲
3394 手の動作(2)
361 狭 ㊥ 1921 長短
3026 寛厳
362 恐 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
3740 貧困
363 恭 ㊥ 3012 誠実
364 胸 ⑥ 572 胴
365 脅 ㊥ 3530 侵害
3634 威嚇
366 強 ② 141 強弱
1926 強弱
3624 規制
367 教 ② 3620 教育

368 郷 ⑥ 256 村里
369 境 ⑤ 1600 位置
1700 空間
1721 限界
370 橋 ③ 471 道路
371 矯 ㊥ 1351 珍奇
3620 教育
372 鏡 ④ 460 光具
373 競 ④ 3531 抗争
3541 騒乱→3531
374 響 ㊥ 1131 交応
325 音楽
5020 音(1)
375 驚 ㊥ 3002 驚・酔
376 仰 ㊥ 3027 敬仰
3110 談話
3391 立ち居
3610 登用→3623
3623 命令
377 暁 ㊥ 1613 昼夜
3054 認識
378 業 ③ 3074 学問(1)
3311 勤労
3330 学業(1)
3420 行為
3800 産業(1)
379 凝 ㊥ 3044 覚悟
5051 硬軟
5131 変化(2)
380 曲 ③ 1310 正邪
1570 曲折
181 点線
325 音楽
381 局 ③ 1600 位置
1710 地点
2640 機関(1)
382 極 ④ 1621 初・末
1721 限界
1952 極限
3068 決定
5101 自然(2)
5280 地帯
383 玉 ① 183 球・輪
450 宝貨
454 もてあそびもの(玩)
5112 物質(3)
384 斤 ㊥ 1919 助数(9)
385 均 ⑤ 1340 整斉・混雑
1570 曲折
1580 増減
1930 算
386 近 ② 1560 接触
1921 長短
387 金 ① 1612 日
3710 金銭
400 貨財(1)
412 材料(3)
5111 物質(2)
388 菌 ㊥ 564 動物(5)
389 勤 ⑥ 3041 勉励
3311 勤労
390 琴 ㊥ 454 もてあそびもの(玩)
391 筋 ⑥ 181 点線
260 現場・世界
3071 意義・道理
574 肉
392 禁 ⑤ 3041 勉励
3080 法則
3605 刑罰
3624 規制
393 緊 ㊥ 1344 緊張
394 謹 ㊥ 3012 誠実
395 襟 ㊥ 421 被服
396 吟 ㊥ 3094 味
320 創作
3353 歌舞
397 銀 ③ 400 貨財(1)
5111 物質(2)
398 区 ③ 1720 座席
255 府県
3062 区別
399 句 ⑤ 1914 助数(4)
3103 音声・語詞→3121
3121 文章
321 文学・芸術
400 苦 ③ 3022 悲苦
3041 勉励
3304 苦難
3740 貧困
504 味
401 駆 ㊥ 1521 歩行
1523 先導・追従
3392 足の動作
402 具 ③ 1341 具備
1561 附属
1940 具備
450 宝貨
403 愚 ㊥ 234 人物
3057 賢愚
404 空 ① 1201 空・無
5113 物質(4)
520 天地
405 偶 ㊥ 1616 際・臨
1902 数(3)
211 夫婦
454 もてあそびもの(玩)
406 遇 ㊥ 1551 集合→3504
3504 面会
3630 待遇
407 隅 ㊥ 1742 頂・央
408 屈 ㊥ 1570 曲折
3014 卑屈
3022 悲苦
3534 勝敗
409 掘 ㊥ 1572 破壊
3812 土木
410 繰 ㊥ 3821 工(2)
3840 家事(1)
411 君 ③ 200 我
2020 氏・様
231 君主
412 訓 ④ 3103 音声・語詞
3620 教育
413 勲 ㊥ 3422 成績
414 薫 ㊥ 3620 教育
5030 香
415 軍 ④ 265 軍隊
3533 軍事
416 郡 ④ 255 府県
417 群 ⑤ 1551 集合
186 行列
1943 単複
2022 衆
418 兄 ② 214 兄弟
419 刑 ㊥ 3605 刑罰
420 形 ② 1302 形姿
180 図形
324 彫刻
421 系 ⑥ 1101 系列
422 径 ④ 1516 経路
1901 数(2)
423 茎 ㊥ 5513 植物(4)
424 係 ③ 1102 関係
1902 数(3)
240 担当
425 型 ④ 1100 様式

180 図形
415 部品(2)
426 契 ㊥ 3510 契約
427 計 ② 3064 計算(1)
3082 計画
3702 会計
461 計器
428 恵 ㊥ 3302 運命
3631 恩恵
3722 贈与
429 啓 ㊥ 3110 談話
3620 教育
430 掲 ㊥ 1514 懸垂
431 渓 ㊥ 5241 谷
432 経 ⑤ 1516 経路
1522 通過
1610 時間
1730 縦横・傾斜
3075 学問(2)
3122 典籍
3602 運営
3702 会計
583 生理(1)
433 蛍 ㊥ 563 動物(4)
434 敬 ⑥ 3027 敬仰
435 景 ④ 5281 景
436 軽 ③ 1923 軽重
3028 賞嘆
437 傾 ㊥ 1513 起倒
1730 縦横・傾斜
438 携 ㊥ 3311 勤労
3394 手の動作(2)
3520 参加
3701 保持
439 継 ㊥ 1503 連絡
2101 実・義
440 慶 ㊥ 3045 祝賀
3302 運命→3045
3340 祝祭→3045
441 憩 ㊥ 3312 休・閑
442 警 ⑥ 3001 感覚
3056 迷惑
3532 防衛
3621 勧諭
443 鶏 ㊥ 561 動物(3)
444 芸 ④ 3050 才能
3074 学問(1)
321 文学・芸術
3351 技芸(1)
3410 才腕→3050
445 迎 ㊥ 3506 送迎
446 鯨 ㊥ 5600 動物(1)
447 劇 ⑥ 141 強弱
326 演劇
448 撃 ㊥ 1562 衝突
3393 手の動作(1)
3531 抗争
3864 使用→1562
449 激 ⑥ 141 強弱
3017 粗暴・放漫
450 欠 ④ 1201 空・無
1581 補充
1940 具備
1942 全欠
3503 出欠
3713 損益
451 穴 ⑥ 184 口・孔
472 池堤
5241 谷
452 血 ③ 577 血・乳
453 決 ③ 3068 決定
3423 遂行
454 結 ④ 1501 始終→1621
1551 集合
1621 初・末
3341 結婚
3510 契約
5131 変化(2)
455 傑 ㊥ 1321 英・逸
234 人物
456 潔 ⑤ 1350 清素→5050
3011 清廉
5050 清濁
457 月 ① 1611 年月
1612 日
1916 助数(6)
521 天
458 犬 ① 5600 動物(1)
459 件 ⑤ 101 事象
1913 助数(3)
460 見 ① 3054 認識
3090 見
461 券 ⑤ 401 貨財(2)
456 図冊
462 肩 ㊥ 572 胴
463 建 ④ 3117 提・寄
3822 工(3)
464 研 ③ 3066 研究・探索
3821 工(2)→3863
3863 加工
465 県 ③ 255 府県
466 倹 ㊥ 3012 誠実
3741 節倹
467 兼 ㊥ 1041 正副
468 剣 ㊥ 453 武器
469 軒 ㊥ 1914 助数(4)
263 家宅
444 柱
470 健 ④ 3015 勇敢
3326 保健
5860 健康
471 険 ⑤ 1330 安危
1821 凹凸
3014 卑屈
472 圏 ㊥ 5280 地帯
473 堅 ㊥ 3015 勇敢
5051 硬軟
474 検 ⑤ 3066 研究・探索
3331 学業(2)
3604 訴訟
3830 衛生
475 嫌 ㊥ 3025 好悪
476 献 ㊥ 3122 典籍
3522 貢献
3722 贈与
477 絹 ⑥ 420 糸布
478 遣 ㊥ 3612 派遣
3864 使用
479 権 ⑥ 3400 身上
480 憲 ⑥ 3080 法則
481 賢 ㊥ 234 人物
3057 賢愚
482 謙 ㊥ 3012 誠実
3027 敬仰
483 繭 ㊥ 563 動物(4)
484 顕 ㊥ 1211 露呈
5012 鮮明
485 験 ④ 3066 研究・探索
3331 学業(2)
486 懸 ㊥ 1514 懸垂
3043 希望
487 元 ② 1040 基本
1620 古今
1621 初・末
1710 地点
1915 助数(5)
5110 物質(1)
488 幻 ㊥ 5001 光(2)
489 玄 ㊥ 1320 便利
5011 色(2)

490 言 ② 3100 言語
3110 談話
491 弦 �外 181 点線
416 部品(3)
492 限 ⑤ 1721 限界
1952 極限
493 原 ② 1040 基本
5240 野
494 現 ⑤ 1211 露呈
1620 古今
3102 記述
495 減 ⑤ 1580 増減
3065 計算(2)→1580
496 源 ⑥ 1040 基本
1742 頂・央→525
525 川
497 厳 ⑥ 1344 緊張
2101 実・義
3026 寛厳
498 己 ⑥ 201 自他
499 戸 ② 1914 助数(4)
445 戸
500 古 ② 1620 古今
1630 新旧
501 呼 ⑥ 3100 言語
3505 訪問
583 生理(1)
502 固 ④ 1615 再・毎
1623 漸・即
3015 勇敢
5051 硬軟
5102 自然(3)
503 孤 �外 1943 単複
213 子孫
504 弧 �外 181 点線
505 故 ⑤ 1113 因果
1620 古今
205 老幼
3300 文化
604 助語(5)
506 枯 �外 1203 消滅
3302 運命
5812 茂・枯
507 個 ⑤ 100 何
1912 助数(2)
508 庫 ③ 2640 機関(1)
4421 倉
509 湖 ③ 526 海
510 雇 �外 3611 任免
511 誇 �外 3042 栄誉
512 鼓 �外 1511 回転
454 もてあそびもの(玩)
513 顧 �外 3044 覚悟
3090 見
3631 恩恵
514 五 ① 1910 数詞
515 互 �外 1130 相対
516 午 ② 1613 昼夜
517 呉 �外 2531 各国
518 後 ② 1523 先導・追従
1620 古今
1621 初・末
1631 遅速
1760 前後
519 娯 �外 3021 快楽→3350
3350 遊楽
520 悟 �外 3044 覚悟
3054 認識
521 碁 �外 3352 技芸(2)→454
454 もてあそびもの(玩)
522 語 ② 3100 言語
3103 音声・語詞
3110 談話
322 説話
523 誤 ⑥ 3069 肯否→3072
3072 過誤
524 護 ⑤ 3532 防衛
3622 援護
3830 衛生
525 口 ① 1771 奥底
184 口・孔
1912 助数(2)
260 現場・世界
3100 言語
571 頭
526 工 ② 2021 者・屋
2331 階層
241 職
3075 学問(2)
3820 工(1)
3860 製作
527 公 ② 1902 数(3)
2020 氏・様
2320 貴族
2330 官民
528 孔 �外 184 口・孔
529 功 ④ 3422 成績
530 巧 �外 3051 巧拙
531 広 ② 1921 長短
3110 談話
532 甲 �外 1910 数詞
422 身の回り
5761 歯・骨
533 交 ② 1131 交応
1502 交替・修訂
1526 往復
1730 縦横・傾斜
3500 融和
3720 交易
534 光 ② 5000 光(1)
535 向 ③ 1520 発着
1730 縦横・傾斜
3521 去就
536 后 ⑥ 211 夫婦
537 好 ④ 1311 美好
3025 好悪
538 江 �外 525 川
527 島
539 考 ② 3055 思考
540 行 ② 1521 歩行
186 行列
1914 助数(4)
262 市・駅
3052 学習
3104 文字
3350 遊楽
3420 行為
541 坑 �外 262 市・駅→472
472 池堤
542 孝 ⑥ 3046 節義
543 抗 �外 1563 抑圧
3501 断絶→1563
3531 抗争→1563
3532 防衛
544 攻 �外 3531 抗争
545 更 �外 1502 交替・修訂
1615 再・毎
1916 助数(6)
600 助語(1)
546 効 ⑤ 1113 因果
1500 作用
547 幸 ③ 3302 運命
548 拘 �外 1131 交応
3605 刑罰
549 肯 �外 3069 肯否
550 侯 �外 2320 貴族
551 厚 ⑤ 1921 長短
3012 誠実

3830 衛生
552 恒 ㊥ 1614 老幼・永久
553 洪 ㊥ 1922 大小
5114 災害
554 皇 ⑥ 231 君主
555 紅 ⑥ 435 紅墨
5011 色(2)
556 荒 ㊥ 1340 整斉・混雑
1721 限界
3017 粗暴・放漫
5122 晴曇
557 郊 ㊥ 256 村里
558 香 ㊥ 435 紅墨
5030 香
559 候 ④ 1031 徴候
1610 時間
3504 面会
5120 寒暑
560 校 ① 261 学校
3831 編集
561 耕 ⑤ 3810 栽培
562 航 ④ 1521 歩行
3823 通運
563 貢 ㊥ 3522 貢献
3722 贈与
564 降 ⑥ 1540 上下
1541 乗降
3536 服従
5121 雲雨
565 高 ② 1900 数(1)
1921 長短
1926 強弱
566 康 ④ 5860 健康
567 控 ㊥ 1041 正副
1581 補充
3041 勉励
3120 筆録
568 黄 ② 5011 色(2)
569 慌 ㊥ 3002 驚・酔
3031 泣笑
3740 貧困
570 港 ③ 473 港・城
571 硬 ㊥ 3015 勇敢
5051 硬軟
572 絞 ㊥ 1552 絞締
3841 家事(2)
573 項 ㊥ 102 条項
1911 助数(1)
574 溝 ㊥ 184 口・孔→472
472 池堤
575 鉱 ⑤ 5111 物質(2)
576 構 ⑤ 1514 懸垂
180 図形
3082 計画
3104 文字
3822 工(3)
577 綱 ㊥ 3071 意義・道理
416 部品(3)
578 酵 ㊥ 550 生物
584 生理(2)
579 稿 ㊥ 3120 筆録
580 興 ⑤ 1211 露呈
3021 快楽
3350 遊楽
3801 産業(2)
581 衡 ㊥ 1340 整斉・混雑
461 計器
582 鋼 ⑥ 412 材料(3)
5111 物質(2)→412
583 講 ⑤ 266 組織
3074 学問(1)
3082 計画
3114 解釈
584 購 ㊥ 3721 売買
585 号 ③ 3031 泣笑
3101 名
3105 符号
3123 編・巻
586 合 ② 1120 異同
1130 相対
1551 集合
1770 内外
1919 助数(9)
3061 比較
3331 学業(2)
3502 会合
587 拷 ㊥ 3393 手の動作(1)→3605
3605 刑罰
588 剛 ㊥ 3015 勇敢
589 豪 ㊥ 1321 英・逸
234 人物
3015 勇敢
590 克 ㊥ 3534 勝敗
591 告 ④ 3110 談話
3111 通信
3115 宣告
592 谷 ② 5241 谷
593 刻 ⑥ 1571 切断
1610 時間
1916 助数(6)
324 彫刻
3863 加工→324
594 国 ② 2530 国
3075 学問(2)
595 黒 ② 5011 色(2)
596 穀 ⑥ 431 食品(2)
5514 植物(5)
597 酷 ㊥ 3026 寛厳
598 獄 ㊥ 3605 刑罰
599 骨 ⑥ 5761 歯・骨
600 込 ㊥ 1340 整斉・混雑
1530 出入
1941 余剰
601 今 ② 1620 古今
602 困 ⑥ 1330 安危
3022 悲苦
3740 貧困
603 昆 ㊥ 563 動物(4)
604 恨 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
3025 好悪
605 根 ③ 1040 基本
1930 算
3040 志念
5513 植物(4)
606 婚 ㊥ 3341 結婚
607 混 ⑤ 1340 整斉・混雑
608 紺 ㊥ 5011 色(2)
609 魂 ㊥ 203 神仏
3000 心
3040 志念
610 墾 ㊥ 3810 栽培→3812
3812 土木
611 懇 ㊥ 3025 好悪
3500 融和
612 左 ① 1740 左右
613 佐 ㊥ 242 将兵
3622 援護
614 査 ⑤ 3066 研究・探索
615 砂 ⑥ 5112 物質(3)
616 唆 ㊥ 3613 推薦・糾弾→3621
3621 勧諭
3634 威嚇
617 差 ④ 1120 異同
1530 出入
1930 算
3062 区別
3072 過誤
3091 指示

3394 手の動作(2)
618 詐 ㊥ 3421 犯罪
3634 威嚇
619 鎖 ㊥ 416 部品(3)
620 座 ⑥ 1512 静止
1600 位置
1720 座席
266 組織
3391 立ち居
446 机
621 才 ② 1916 助数(6)
3010 性癖
3050 才能
3410 才腕
622 再 ⑤ 1615 再・毎
623 災 ⑤ 3304 苦難
5114 災害
624 妻 ⑤ 211 夫婦
625 砕 ㊥ 1572 破壊
626 宰 ㊥ 3601 管理
627 栽 ㊥ 3810 栽培
628 彩 ㊥ 323 絵画
3863 加工
5010 色(1)
629 採 ⑤ 3063 採択
3811 採収
630 済 ⑥ 3622 援護
3731 弁済
631 祭 ③ 3340 祝祭
3342 式典
632 斎 ㊥ 263 家宅
3045 祝賀
4410 邸→263
633 細 ② 1921 長短
3058 綿密
5860 健康
634 菜 ④ 432 食品(3)
5510 植物(1)
635 最 ④ 1952 極限
636 裁 ⑥ 1571 切断
3068 決定
3604 訴訟
3840 家事(1)
637 債 ㊥ 3710 金銭
3730 貸借
638 催 ㊥ 3423 遂行
3621 勧諭
639 歳 ㊥ 1611 年月
1916 助数(6)
640 載 ㊥ 1541 乗降
3832 報刊
641 際 ⑤ 1102 関係
1610 時間
1616 際・臨
1721 限界
642 在 ⑤ 1200 存在
256 村里
643 材 ④ 234 人物
410 材料(1)
411 材料(2)
644 剤 ㊥ 434 薬剤
645 財 ⑤ 3710 金銭
400 貨財(1)
450 宝貨
646 罪 ⑤ 3421 犯罪
647 崎 ㊥ 527 島
648 作 ② 1500 作用
320 創作
3420 行為
3810 栽培
3860 製作
649 削 ㊥ 1571 切断
650 昨 ④ 1620 古今
651 索 ㊥ 3022 悲苦
3066 研究・探索
3092 探求→3066
416 部品(3)
652 策 ⑥ 3081 方法
3082 計画
653 酢 ㊥ 432 食品(3)
654 搾 ㊥ 1552 絞締
655 錯 ㊥ 1340 整斉・混雑
3072 過誤
656 咲 ㊥ 3031 泣笑
5812 茂・枯
657 冊 ⑥ 1914 助数(4)
456 図冊
658 札 ④ 401 貨財(2)
455 標額
659 刷 ④ 3822 工(3)
3844 家事(4)
660 殺 ④ 3421 犯罪
5821 傷害
661 察 ④ 3066 研究・探索
3067 推量
3090 見
662 撮 ㊥ 323 絵画
3394 手の動作(2)
3832 報刊→323
663 擦 ㊥ 1562 衝突
3393 手の動作(1)
664 雑 ⑤ 1340 整斉・混雑
3017 粗暴・放漫
3058 綿密
665 皿 ③ 1914 助数(4)
451 容器
666 三 ① 1910 数詞
667 山 ① 261 学校
523 山
668 参 ④ 1526 往復
1910 数詞
3063 採択
3343 参拝
3503 出欠
3520 参加
3536 服従
669 桟 ㊥ 414 部品(1)
444 柱
670 蚕 ⑥ 563 動物(4)
671 惨 ㊥ 3304 苦難
672 産 ④ 1210 発生
3710 金銭
3801 産業(2)
580 生命
673 傘 ㊥ 422 身の回り
674 散 ④ 1340 整斉・混雑
1553 分散
3002 驚・酔
3312 休・閑
3350 遊楽
3502 会合
675 算 ② 3064 計算(1)
676 酸 ⑤ 504 味
5111 物質(2)
677 賛 ⑤ 3512 許諾
3622 援護
3632 賞賛
678 残 ④ 1213 残余
1941 余剰
3026 寛厳
679 暫 ㊥ 1615 再・毎
680 士 ④ 2021 者・屋
2331 階層
241 職
681 子 ① 213 子孫
2320 貴族
682 支 ⑤ 1041 正副
1514 懸垂
1564 防止
3600 支配

3702 会計
683 止 ② 1501 始終
1512 静止
1564 防止
3420 行為
3624 規制
684 氏 ④ 2020 氏・様
2100 家
3101 名
685 仕 ③ 3311 勤労
3420 行為
3614 奉仕
686 史 ④ 3075 学問(2)
322 説話
3300 文化
687 司 ④ 2640 機関(1)
3601 管理
688 四 ① 1910 数詞
689 市 ② 254 都市
255 府県
262 市・駅
690 矢 ② 453 武器
691 旨 ㊥ 102 条項
3071 意義・道理
692 死 ③ 582 死
693 糸 ① 420 糸布
694 至 ⑥ 1520 発着
1952 極限
695 伺 ㊥ 3090 見
3092 探求
3093 聞
3112 問答
3503 出欠
696 志 ⑤ 3000 心
3020 志操
3040 志念
3043 希望
697 私 ⑥ 200 我
2330 官民
698 使 ③ 243 役職
3864 使用
699 刺 ㊥ 1562 衝突
700 始 ③ 1501 始終
1621 初・末
701 姉 ② 214 兄弟
702 枝 ⑤ 5513 植物(4)
703 祉 ㊥ 3302 運命
704 肢 ㊥ 1041 正副
573 手足
705 姿 ⑥ 1302 形姿
180 図形→1302
706 思 ② 3055 思考
707 指 ③ 3091 指示
3394 手の動作(2)
3623 命令
573 手足
708 施 ㊥ 3420 行為
3722 贈与
3860 製作
709 師 ⑤ 2021 者・屋
221 師友
241 職
244 僧尼
710 紙 ② 3122 典籍
3123 編・巻→3122
411 材料(2)
452 文具
711 脂 ㊥ 413 材料(4)
432 食品(3)
5514 植物(5)
577 血・乳
712 視 ⑥ 3001 感覚
3066 研究・探索
3090 見
713 紫 ㊥ 5011 色(2)
714 詞 ⑥ 3103 音声・語詞
3121 文章
322 説話
715 歯 ③ 5761 歯・骨
716 嗣 ㊥ 213 子孫
717 試 ④ 3066 研究・探索
3331 学業(2)
718 詩 ③ 321 文学・芸術
719 資 ⑤ 1303 品質
2330 官民
3710 金銭
410 材料(1)
720 飼 ⑤ 3813 漁猟
721 誌 ⑥ 3122 典籍
3123 編・巻
722 雌 ㊥ 550 生物
723 賜 ㊥ 3722 贈与
724 諮 ㊥ 3112 問答
725 示 ⑤ 3091 指示
726 字 ① 255 府県
3101 名
3104 文字
727 寺 ② 261 学校
728 次 ③ 1041 正副
1503 連絡
1600 位置
1621 初・末
729 耳 ① 3093 聞
571 頭
730 自 ② 201 自他
5100 自然(1)
731 似 ⑤ 1120 異同
732 児 ④ 205 老幼
213 子孫
733 事 ③ 101 事象
3320 生活
3614 奉仕
3800 産業(1)
734 侍 ㊥ 1041 正副→243
1561 附属→243
243 役職
3614 奉仕
735 治 ④ 1502 交替・修訂→3073
3073 訂正・証明
3540 和平
3600 支配
3812 土木
3830 衛生
585 疾病
736 持 ③ 1200 存在
3394 手の動作(2)
3701 保持
737 時 ② 1610 時間
1916 助数(6)
738 滋 ㊥ 430 食品(1)
739 慈 ㊥ 2101 実・義
3026 寛厳
740 辞 ④ 3100 言語
3103 音声・語詞
3121 文章
3505 訪問
3513 拒否
741 磁 ⑥ 412 材料(3)
5101 自然(2)
742 璽 ㊥ 452 文具
743 式 ③ 1100 様式
3065 計算(2)
3081 方法
3107 図表
3342 式典
744 識 ⑤ 3001 感覚
3054 認識
745 軸 ㊥ 1720 座席
414 部品(1)

455 標額
522 地
746 七 ① 1910 数詞
747 失 ④ 1203 消滅
3072 過誤
3331 学業(2)
3422 成績
3713 損益
748 室 ② 211 夫婦
4423 室
749 疾 ㊥ 1631 遅速
1925 急緩
3025 好悪
585 疾病
750 執 ㊥ 3044 覚悟
3394 手の動作(2)
751 湿 ㊥ 5133 乾湿
752 漆 ㊥ 413 材料(4)
5511 植物(2)
753 質 ⑤ 1303 品質
3012 誠実
3112 問答
3710 金銭
3730 貸借
5101 自然(2)
5110 物質(1)
754 実 ③ 1030 真偽
1902 数(3)
2101 実・義
3012 誠実
5514 植物(5)
581 生育
755 芝 ㊥ 5512 植物(3)
756 写 ③ 3102 記述
3120 筆録
323 絵画
3863 加工
757 社 ② 261 学校
266 組織
758 車 ① 414 部品(1)
463 船車
759 舎 ⑤ 263 家宅
4420 館
760 者 ③ 2021 者・屋
240 担当
761 射 ⑥ 3395 抱・負
3864 使用
5001 光(2)
762 捨 ⑥ 1202 除却
3722 贈与
763 赦 ㊥ 3605 刑罰
3633 懲戒
764 斜 ㊥ 1730 縦横・傾斜
765 煮 ㊥ 3842 家事(3)
431 食品(2)
5132 火
766 遮 ㊥ 1564 防止
767 謝 ⑤ 3513 拒否
3631 恩恵
3712 給与
768 邪 ㊥ 1310 正邪
769 蛇 ㊥ 564 動物(5)
770 勺 ㊥ 1918 助数(8)
1919 助数(9)
771 尺 ⑥ 1917 助数(7)
461 計器
772 借 ④ 3730 貸借
773 酌 ㊥ 3063 採択
3323 飲食
774 釈 ㊥ 3114 解釈
3605 刑罰
775 爵 ㊥ 2320 貴族
776 若 ⑥ 1614 老幼・永久
205 老幼
5811 老若
601 助語(2)
777 弱 ② 141 強弱
1926 強弱
778 寂 ㊥ 3022 悲苦
5021 音(2)
582 死
779 手 ① 2021 者・屋
240 担当
3081 方法
573 手足
780 主 ③ 1041 正副
2020 氏・様
222 主客
231 君主
243 役職
781 守 ③ 3532 防衛
782 朱 ㊥ 5011 色(2)
783 取 ③ 3063 採択
3700 取得
784 狩 ㊥ 3350 遊楽
3813 漁猟
785 首 ② 1621 初・末
1914 助数(4)
243 役職
571 頭
786 殊 ㊥ 1100 様式
135 特殊
787 珠 ㊥ 450 宝貨
788 酒 ③ 3324 茶酒
433 食品(4)
789 種 ④ 1100 様式
5514 植物(5)
790 趣 ㊥ 3071 意義・道理
791 寿 ㊥ 3340 祝祭
580 生命
792 受 ③ 1130 相対
3512 許諾
3700 取得
793 授 ⑤ 3620 教育
3722 贈与
794 需 ㊥ 3703 需給
795 儒 ㊥ 234 人物
3076 思想
796 樹 ⑥ 1210 発生
5510 植物(1)
797 収 ⑥ 1533 包囲
3700 取得
3702 会計
3811 採収
798 囚 ㊥ 234 人物
3605 刑罰
799 州 ③ 255 府県
800 舟 ㊥ 463 船車
801 秀 ㊥ 1311 美好
802 周 ④ 1525 周回
1780 周辺
1901 数(2)
3058 綿密
803 宗 ⑥ 212 父母
266 組織
804 拾 ③ 1910 数詞
3394 手の動作(2)
805 秋 ② 1611 年月
806 臭 ㊥ 5030 香
807 修 ⑤ 1502 交替・修訂
3052 学習
3073 訂正・証明
3831 編集
3862 処理・修理
808 終 ③ 1501 始終
1621 初・末
1623 漸・即
809 習 ③ 3052 学習
3053 記憶
3300 文化

810 週 ② 1612 日
811 就 ⑥ 3310 就任
3521 去就
812 衆 ⑥ 1920 多少
2022 衆
230 民衆
813 集 ③ 1551 集合
1943 単複
3502 会合
3703 需給
3831 編集
814 愁 ㊥ 3022 悲苦
815 酬 ㊥ 3112 問答
3712 給与
816 醜 ㊥ 1311 美好
5013 美醜
817 襲 ㊥ 1503 連絡
3531 抗争
818 十 ① 1910 数詞
819 汁 ㊥ 430 食品(1)
820 充 ㊥ 1581 補充
1942 全欠
821 住 ③ 3321 居住
440 家屋
822 柔 ㊥ 3016 温順・明朗
5051 硬軟
823 重 ③ 105 重要
1320 便利
1573 積重
1615 再・毎
1914 助数(4)
1923 軽重
3028 賞嘆
824 従 ⑥ 1130 相対
1523 先導・追従
2100 家
243 役職
3311 勤労
3536 服従
3614 奉仕
825 渋 ㊥ 3041 勉励
413 材料(4)
504 味
5051 硬軟
826 銃 ㊥ 453 武器
827 獣 ㊥ 5600 動物(1)
828 縦 ⑥ 1730 縦横・傾斜
3423 遂行
3864 使用
829 叔 ㊥ 215 叔伯
830 祝 ④ 3045 祝賀
3340 祝祭
831 宿 ③ 1615 再・毎
254 都市
263 家宅
3322 起居
832 淑 ㊥ 1311 美好
3016 温順・明朗
833 粛 ㊥ 3012 誠実
5021 音(2)
834 縮 ⑥ 1582 伸縮
420 糸布
835 塾 ㊥ 261 学校
836 熟 ⑥ 3052 学習
581 生育
837 出 ① 1520 発着
1530 出入
3503 出欠
838 述 ⑤ 3102 記述
320 創作
839 術 ⑤ 3074 学問(1)
3081 方法
3351 技芸(1)
3410 才腕
840 俊 ㊥ 3057 賢愚
841 春 ② 1611 年月
842 瞬 ㊥ 1610 時間
1615 再・毎
583 生理(1)
843 旬 ㊥ 1612 日
844 巡 ㊥ 1525 周回
845 盾 ㊥ 453 武器
846 准 ㊥ 1041 正副
3512 許諾
847 殉 ㊥ 3522 貢献
3614 奉仕
582 死
848 純 ⑥ 1311 美好
135 特殊
3011 清廉
849 循 ㊥ 1525 周回
3536 服従
850 順 ④ 1622 順序
3016 温順・明朗
3536 服従
851 準 ⑤ 1040 基本
3073 訂正・証明
852 潤 ㊥ 3713 損益
5133 乾湿
853 遵 ㊥ 3536 服従
854 処 ⑥ 1600 位置
1700 空間→1600
3306 処世
3605 刑罰
3862 処理・修理
855 初 ④ 1501 始終
1621 初・末
856 所 ③ 1600 位置
1700 空間
262 市・駅
2640 機関(1)
857 書 ② 3120 筆録
3122 典籍
858 庶 ㊥ 1942 全欠
2101 実・義
230 民衆
2331 階層
859 暑 ③ 1924 冷暖
5120 寒暑
860 署 ⑥ 2640 機関(1)
3120 筆録
861 緒 ㊥ 1101 系列
1621 初・末
416 部品(3)
862 諸 ⑥ 1942 全欠
863 女 ① 204 男女
864 如 ㊥ 1120 異同
1300 様相
865 助 ③ 1041 正副
3622 援護
866 序 ⑤ 1101 系列
1614 老幼・永久
1622 順序
1902 数(3)
3121 文章
867 叙 ㊥ 3102 記述
3611 任免
868 徐 ㊥ 1631 遅速
1925 急緩
869 除 ⑥ 1202 除却
3065 計算(2)
3521 去就
3844 家事(4)
870 小 ① 1922 大小
871 升 ㊥ 1919 助数(9)
872 少 ② 1614 老幼・永久
1920 多少
205 老幼
873 召 ㊥ 3505 訪問
874 匠 ㊥ 241 職

875 床 ㊥ 443 門
446 机
876 抄 ㊥ 3120 筆録
3821 工(2)
877 肖 ㊥ 1120 異同
878 尚 ㊥ 3027 敬仰
602 助語(3)
879 招 ⑤ 3505 訪問
880 承 ⑤ 1503 連絡
3060 理解
3093 聞
3512 許諾
881 昇 ㊥ 1540 上下
3306 処世
882 松 ④ 5511 植物(2)
883 沼 ㊥ 526 海
884 昭 ③ 5000 光(1)
885 宵 ㊥ 1613 昼夜
886 将 ⑥ 242 将兵
887 消 ③ 1203 消滅
3069 肯否
5132 火
888 症 ㊥ 585 疾病
889 祥 ㊥ 1031 徴候
890 称 ㊥ 3101 名
3632 賞賛
891 笑 ④ 3031 泣笑
892 唱 ④ 3110 談話
325 音楽
3353 歌舞
893 商 ③ 1930 算
2331 階層
241 職
3720 交易
3801 産業(2)
894 渉 ㊥ 1521 歩行
3520 参加
895 章 ③ 1914 助数(4)
3106 章段
3121 文章
452 文具
896 紹 ㊥ 3507 仲介
897 訟 ㊥ 3116 届→3604
3604 訴訟
898 勝 ③ 1321 英・逸
3534 勝敗
899 掌 ㊥ 3601 管理
573 手足
900 晶 ㊥ 5012 鮮明
5112 物質(3)
901 焼 ④ 3842 家事(3)
5132 火
902 焦 ㊥ 3022 悲苦
5132 火
903 硝 ㊥ 5111 物質(2)
904 粧 ㊥ 3325 装身→3326
3326 保健
905 詔 ㊥ 3115 宣告
906 証 ⑤ 1113 因果
3069 肯否
3073 訂正・証明
3122 典籍
907 象 ④ 101 事象
1302 形姿
180 図形
5100 自然(1)
5600 動物(1)
908 傷 ⑥ 1571 切断
3022 悲苦
3421 犯罪
5821 傷害
909 奨 ㊥ 3613 推薦・糾弾
3621 勧諭
910 照 ④ 3061 比較
5001 光(2)
5122 晴曇
911 詳 ㊥ 3058 綿密
3060 理解
3066 研究・探索
912 彰 ㊥ 1211 露呈→3632
3632 賞賛
5012 鮮明→3632
913 障 ⑥ 1341 具備
1564 防止
914 衝 ㊥ 1562 衝突
1710 地点
915 賞 ④ 3028 賞嘆
3632 賞賛
916 償 ㊥ 3703 需給
3712 給与
3731 弁済
917 礁 ㊥ 527 島
918 鐘 ㊥ 454 もてあそびもの(玩)
919 上 ① 1540 上下
1741 上下
260 現場・世界
3722 贈与
920 丈 ㊥ 1321 英・逸
1917 助数(7)
1921 長短
2020 氏・様
5860 健康→1321
921 冗 ㊥ 1213 残余
1941 余剰
922 条 ⑤ 102 条項
1914 助数(4)
3080 法則
3106 章段
3121 文章
416 部品(3)
471 道路
5513 植物(4)
923 状 ⑤ 1300 様相
1303 品質
180 図形
3111 通信
3122 典籍
924 乗 ③ 1541 乗降
1573 積重
1580 増減
3065 計算(2)
463 船車
925 城 ⑥ 263 家宅
4410 邸
473 港・城
926 浄 ㊥ 1350 清素
5050 清濁
927 剰 ㊥ 1213 残余
1941 余剰
928 常 ⑤ 1321 英・逸
1614 老幼・永久
1902 数(3)
929 情 ⑤ 1300 様相
3010 性癖
3020 志操
930 場 ② 1600 位置
260 現場・世界
931 畳 ㊥ 1570 曲折
1918 助数(8)
445 戸
932 蒸 ⑥ 3842 家事(3)
5131 変化(2)
933 縄 ㊥ 416 部品(3)
934 壌 ㊥ 5112 物質(3)
520 天地
935 嬢 ㊥ 2020 氏・様
213 子孫
936 錠 ㊥ 1912 助数(2)
415 部品(2)

434 薬剤
937 譲 ㊥ 3027 敬仰
3513 拒否
3722 贈与
938 醸 ㊥ 3820 工(1)
939 色 ② 1302 形姿
3030 表情
5010 色(1)
5281 景
940 食 ② 3396 喫食
430 食品(1)
941 植 ③ 3810 栽培
5510 植物(1)
942 殖 ㊥ 1582 伸縮
943 飾 ㊥ 3325 装身
3863 加工
944 触 ㊥ 1560 接触
3001 感覚
3110 談話
945 嘱 ㊥ 3611 任免
946 織 ⑤ 3821 工(2)
421 被服
947 職 ⑤ 241 職
3311 勤労
3400 身上
3800 産業(1)
948 辱 ㊥ 3029 恥辱
3042 栄誉
3302 運命
3630 待遇
949 心 ② 1742 頂・央
3000 心
3040 志念
950 申 ③ 3110 談話
3116 届
3511 請求
951 伸 ㊥ 1570 曲折
1582 伸縮
581 生育
952 臣 ④ 2331 階層
243 役職
953 身 ③ 201 自他
3400 身上
570 身体
954 辛 ㊥ 3022 悲苦
504 味
955 侵 ㊥ 3530 侵害
956 信 ④ 3027 敬仰
3044 覚悟
3056 迷惑
3105 符号
3111 通信
957 津 ㊥ 473 港・城
527 島
958 神 ③ 203 神仏
3000 心
959 唇 ㊥ 571 頭
960 娠 ㊥ 584 生理(2)
961 振 ㊥ 1511 回転
1912 助数(2)
3394 手の動作(2)
3621 勧諭
962 浸 ㊥ 1534 埋没
963 真 ③ 1030 真偽
1340 整斉・混雑
3012 誠実
964 針 ⑥ 415 部品(2)
965 深 ③ 1921 長短
966 紳 ㊥ 2331 階層
967 進 ③ 1524 進退
1631 遅速
3331 学業(2)
3722 贈与
968 森 ① 5242 森
969 診 ㊥ 3066 研究・探索
3090 見
3830 衛生
970 寝 ㊥ 1513 起倒
3004 睡眠
3322 起居
3391 立ち居
971 慎 ㊥ 3012 誠実
972 新 ② 1630 新旧
973 審 ㊥ 3066 研究・探索
3604 訴訟
974 震 ㊥ 1511 回転
5114 災害
975 薪 ㊥ 413 材料(4)
976 親 ② 212 父母
3025 好悪
3500 融和
977 人 ① 1912 助数(2)
2021 者・屋
240 担当
5600 動物(1)
978 刃 ㊥ 453 武器
979 仁 ⑥ 2021 者・屋
3026 寛厳
3631 恩恵
980 尽 ㊥ 1203 消滅
981 迅 ㊥ 1631 遅速→1925
1925 急緩
982 甚 ㊥ 1952 極限
983 陣 ㊥ 1720 座席
260 現場・世界
3533 軍事
984 尋 ㊥ 1321 英・逸
3092 探求
3112 問答
985 図 ② 180 図形
3082 計画
3107 図表
323 絵画
456 図冊
986 水 ① 1612 日
5111 物質(2)
5113 物質(4)
987 吹 ㊥ 325 音楽
3353 歌舞→325
3396 喫食
5122 晴曇
988 垂 ⑥ 1514 懸垂
1540 上下
1616 際・臨
181 点線
989 炊 ㊥ 3323 飲食
3842 家事(3)
990 帥 ㊥ 242 将兵
991 粋 ㊥ 1030 真偽
3301 風俗
992 衰 ㊥ 1203 消滅
3302 運命
3742 富裕
582 死
993 推 ⑥ 3067 推量
3394 手の動作(2)
3613 推薦・糾弾
994 酔 ㊥ 3002 驚・酔
5861 痛・麻
995 遂 ㊥ 1210 発生→3423
1623 漸・即
3423 遂行
996 睡 ㊥ 3004 睡眠
997 穂 ㊥ 5514 植物(5)
998 錘 ㊥ 415 部品(2)
999 随 ㊥ 1041 正副
1523 先導・追従
1561 附属
3536 服従
3614 奉仕

1000 髄 ㊥ 1040 基本
575 臓
1001 枢 ㊥ 1040 基本
1720 座席→1040
1002 崇 ㊥ 3027 敬仰
1003 数 ② 1900 数(1)
3064 計算(1)
1004 据 ㊥ 1512 静止
1005 杉 ㊥ 5511 植物(2)
1006 寸 ⑥ 1917 助数(7)
1921 長短
1007 畝 ㊥ 1918 助数(8)
470 田園
1008 瀬 ㊥ 525 川
1009 是 ㊥ 1310 正邪
3080 法則
1010 井 ㊥ 472 池堤
1011 世 ③ 1610 時間
260 現場・世界
1012 正 ① 1041 正副
1310 正邪
1502 交替・修訂
1902 数(3)
3073 訂正・証明
1013 生 ① 1210 発生
2021 者・屋
241 職
3320 生活
3830 衛生
550 生物
580 生命
1014 成 ④ 1210 発生
3422 成績
3860 製作
581 生育
1015 西 ② 1731 方角
1016 声 ② 3030 表情
3103 音声・語詞
325 音楽
3307 声聞
3411 徳操
5020 音(1)
1017 制 ⑤ 1564 防止
3080 法則
3081 方法
3536 服従
3600 支配
3624 規制
1018 姓 ㊥ 3101 名
1019 征 ㊥ 1520 発着
3531 抗争
1020 性 ⑤ 1303 品質
3010 性癖
550 生物
1021 青 ① 5011 色(2)
1022 斉 ㊥ 1120 異同
1340 整斉・混雑
1023 政 ⑤ 3601 管理
1024 星 ② 521 天
1025 牲 ㊥ 5601 動物(2)
1026 省 ④ 1201 空・無
2640 機関(1)
3044 覚悟
1027 逝 ㊥ 1520 発着
582 死
1028 清 ④ 1350 清素
3011 清廉
5050 清濁
1029 盛 ⑥ 141 強弱
1573 積重
3302 運命
3742 富裕
1030 婿 ㊥ 211 夫婦
213 子孫
1031 晴 ② 3021 快楽
5122 晴曇
1032 勢 ⑤ 1300 様相
140 力
2022 衆
3302 運命
1033 聖 ⑥ 1310 正邪
203 神仏
234 人物
3011 清廉
1034 誠 ⑥ 3012 誠実
3046 節義
1035 精 ⑤ 1350 清素
203 神仏
3000 心
3058 綿密
3821 工(2)
1036 製 ⑤ 320 創作
3820 工(1)
3860 製作
1037 誓 ㊥ 3510 契約
1038 静 ④ 1512 静止
3016 温順・明朗
5021 音(2)
1039 請 ㊥ 3511 請求
1040 整 ③ 1340 整斉・混雑
1902 数(3)
3326 保健
3861 設置
1041 税 ⑤ 3702 会計
1042 夕 ① 1613 昼夜
1043 斥 ㊥ 1524 進退→3092
3092 探求
3501 断絶
1044 石 ① 1919 助数(9)
411 材料(2)
5112 物質(3)
1045 赤 ① 5011 色(2)
1046 昔 ③ 1620 古今
1047 析 ㊥ 1553 分散
3066 研究・探索
1048 隻 ㊥ 1914 助数(4)
1943 単複
1049 席 ④ 1600 位置
1720 座席
1050 惜 ㊥ 3028 賞嘆
3043 希望
1051 責 ⑤ 3046 節義
3400 身上
3511 請求
3633 懲戒
1052 跡 ㊥ 1720 座席
1053 積 ④ 1541 乗降
1573 積重
1580 増減
1930 算
3065 計算(2)
1054 績 ⑤ 3422 成績
3821 工(2)
1055 籍 ㊥ 3122 典籍
3400 身上
1056 切 ② 1203 消滅
1501 始終
1571 切断
1952 極限
1057 折 ④ 1570 曲折
1610 時間
3393 手の動作(1)
1058 拙 ㊥ 3051 巧拙
1059 窃 ㊥ 3421 犯罪
1060 接 ⑤ 1560 接触
1780 周辺
3504 面会
3840 家事(1)
1061 設 ⑤ 3602 運営
3861 設置

1062 雪 ② 5121 雲雨
1063 摂 ㊥ 1340 整斉・混雑
3394 手の動作(2)→3601,3700
3601 管理
3700 取得
1064 節 ④ 1610 時間
1914 助数(4)
3020 志操
3046 節義
3103 音声・語詞
3106 章段
325 音楽
3741 節倹
5022 音(3)→325
5513 植物(4)
573 手足
1065 説 ④ 3074 学問(1)
3110 談話
3113 議論
3114 解釈
322 説話
1066 舌 ⑤ 3100 言語
571 頭
1067 絶 ⑤ 1203 消滅
1501 始終
1952 極限
3501 断絶
3513 拒否
582 死
1068 千 ① 1910 数詞
1069 川 ① 525 川
1070 仙 ㊥ 203 神仏
234 人物
1071 占 ㊥ 3067 推量
3700 取得
3701 保持
1072 先 ① 1523 先導・追従
1620 古今
1621 初・末
1742 頂・央
260 現場・世界
1073 宣 ⑥ 3110 談話
3115 宣告
1074 専 ⑥ 135 特殊
1075 泉 ⑥ 525 川
1076 浅 ④ 1921 長短
3014 卑屈
1077 洗 ⑥ 3326 保健
3841 家事(2)
1078 染 ⑥ 3841 家事(2)
5013 美醜
585 疾病
1079 扇 ㊥ 3395 抱・負
422 身の回り
1080 栓 ㊥ 415 部品(2)
1081 旋 ㊥ 1511 回転
1525 周回
5022 音(3)
1082 船 ② 463 船車
1083 戦 ④ 3023 恐怖・憤怒
3531 抗争
5861 痛・麻
1084 践 ㊥ 3392 足の動作→3420
3420 行為
1085 銭 ⑤ 1915 助数(5)
3710 金銭
400 貨財(1)
1086 銑 ㊥ 412 材料(3)→5111
5111 物質(2)
1087 潜 ㊥ 1534 埋没
1088 線 ② 181 点線
416 部品(3)
471 道路
1089 遷 ㊥ 1502 交替・修訂
1515 転移
3310 就任
1090 選 ④ 3063 採択
3610 登用
1091 薦 ㊥ 3613 推薦・糾弾
1092 繊 ㊥ 1921 長短
1093 鮮 ㊥ 2531 各国
5012 鮮明
1094 全 ③ 1942 全欠
1095 前 ② 1621 初・末
1760 前後
1911 助数(1)
1096 善 ⑥ 1310 正邪
3046 節義
3500 融和
1097 然 ④ 1300 様相
5100 自然(1)
603 助語(4)
1098 禅 ㊥ 3044 覚悟
1099 漸 ㊥ 1623 漸・即
1100 繕 ㊥ 3073 訂正・証明
3862 処理・修理
1101 阻 ㊥ 1564 防止
1102 祖 ⑤ 212 父母
1103 租 ㊥ 3702 会計
3730 貸借
1104 素 ⑤ 1040 基本
1350 清素
3012 誠実
5110 物質(1)
1105 措 ㊥ 3063 採択
3420 行為
3861 設置
1106 粗 ㊥ 1340 整斉・混雑
3017 粗暴・放漫
3058 綿密
1107 組 ② 1551 集合
266 組織
1108 疎 ㊥ 1340 整斉・混雑
1522 通過
3025 好悪
3501 断絶
1109 訴 ㊥ 3116 届
3511 請求
3604 訴訟
1110 塑 ㊥ 324 彫刻
3863 加工
1111 礎 ㊥ 1040 基本
444 柱
1112 双 ㊥ 1943 単複
1113 壮 ㊥ 141 強弱
1614 老幼・永久→205
205 老幼
3015 勇敢
5811 老若→205
1114 早 ① 1631 遅速
1115 争 ④ 3531 抗争
3541 騒乱
3603 争乱
1116 走 ② 1521 歩行
3392 足の動作
1117 奏 ⑥ 3116 届
325 音楽
3353 歌舞
1118 相 ③ 1130 相対
1300 様相
180 図形
243 役職
3030 表情
1119 荘 ㊥ 263 家宅→4410
4410 邸
1120 草 ① 1342 簡約
3104 文字

5510 植物(1)
1121 送 ③ 1526 往復
3111 通信
3506 送迎
3724 配布
3823 通運
1122 倉 ④ 4421 倉
1123 捜 ㊥ 3066 研究・探索
3092 探求
1124 挿 ㊥ 1533 包囲
3811 採収
1125 桑 ㊥ 5511 植物(2)
1126 掃 ㊥ 3394 手の動作(2)
3844 家事(4)
1127 曹 ㊥ 242 将兵
1128 巣 ④ 3321 居住
440 家屋
1129 窓 ⑥ 444 柱
1130 創 ⑥ 1211 露呈
1501 始終
320 創作
5821 傷害
1131 喪 ㊥ 1203 消滅
3343 参拝
1132 葬 ㊥ 3340 祝祭
1133 装 ⑥ 3325 装身
3860 製作
1134 僧 ㊥ 244 僧尼
1135 想 ③ 3053 記憶
3055 思考
3067 推量
1136 層 ⑥ 1101 系列
1573 積重
186 行列
522 地
1137 総 ⑤ 1942 全欠
1138 遭 ㊥ 1551 集合
3306 処世
3504 面会
1139 槽 ㊥ 451 容器
1140 操 ⑥ 3010 性癖
3020 志操
3046 節義
3394 手の動作(2)
3411 徳操
3801 産業(2)
3864 使用
1141 燥 ㊥ 5133 乾湿
1142 霜 ㊥ 5113 物質(4)
1143 騒 ㊥ 3541 騒乱
5021 音(2)
1144 藻 ㊥ 5512 植物(3)
1145 造 ⑤ 320 創作
3820 工(1)
3860 製作
1146 像 ⑤ 180 図形
324 彫刻
454 もてあそびもの(玩)
5001 光(2)
1147 増 ⑤ 1580 増減
1148 憎 ㊥ 3025 好悪
1149 蔵 ⑥ 1533 包囲
2641 機関(2)
3701 保持
4421 倉
1150 贈 ㊥ 3722 贈与
1151 臓 ⑥ 575 臓
1152 即 ㊥ 1623 漸・即
3310 就任
605 助語(6)
1153 束 ④ 1551 集合
186 行列
1914 助数(4)
3624 規制
1154 足 ① 1580 増減
1914 助数(4)
1942 全欠
3065 計算(2)
573 手足
1155 促 ㊥ 3621 勧諭
1156 則 ⑤ 3080 法則
605 助語(6)
1157 息 ③ 1501 始終
1512 静止
213 子孫
3030 表情
3312 休・閑
3713 損益
583 生理(1)
1158 速 ③ 1631 遅速
1925 急緩
1159 側 ④ 1750 表裏
1780 周辺
1160 測 ⑤ 3064 計算(1)
3067 推量
1161 俗 ㊥ 234 人物
3300 文化
3301 風俗
1162 族 ③ 2100 家
230 民衆
1163 属 ⑤ 1041 正副
1561 附属
5110 物質(1)
1164 賊 ㊥ 234 人物
1165 続 ④ 1503 連絡
1780 周辺
1166 卒 ④ 1501 始終
242 将兵
582 死
1167 率 ⑤ 1523 先導・追従
1930 算
3012 誠実
3600 支配
1168 存 ⑥ 1200 存在
3055 思考
580 生命
1169 村 ① 255 府県
256 村里
1170 孫 ④ 213 子孫
1171 尊 ⑥ 1320 便利
203 神仏
2101 実・義
234 人物
3027 敬仰
1172 損 ⑤ 1341 具備
1571 切断
1572 破壊
3072 過誤
3713 損益
1173 他 ③ 201 自他
1174 多 ② 1920 多少
1175 打 ③ 1562 衝突
3393 手の動作(1)
1176 妥 ㊥ 3500 融和
1177 堕 ㊥ 1540 上下
3306 処世
1178 惰 ㊥ 3017 粗暴・放漫
3041 勉励
3312 休・閑
1179 駄 ㊥ 3057 賢愚
400 貨財(1)
422 身の回り
5600 動物(1)
1180 太 ② 1321 英・逸
1921 長短
3540 和平
5860 健康
1181 対 ③ 1130 相対
1730 縦横・傾斜

1902 数(3)
1943 単複
3061 比較
1182 体 ② 1302 形姿
180 図形
1912 助数(2)
266 組織
5101 自然(2)
570 身体
1183 耐 ㊥ 1200 存在
1563 抑圧
3041 勉励
1184 待 ③ 3043 希望
3506 送迎
3630 待遇
1185 怠 ㊥ 3017 粗暴・放漫
3041 勉励
3312 休・閑
1186 胎 ㊥ 575 臓
580 生命
584 生理(2)
1187 退 ⑤ 1203 消滅
1524 進退
3321 居住
3331 学業(2)→1524
3521 去就
3534 勝敗
1188 帯 ④ 1720 座席
3325 装身
3701 保持
421 被服
5280 地帯
1189 泰 ㊥ 1330 安危
3016 温順・明朗
3540 和平
1190 袋 ㊥ 451 容器
1191 逮 ㊥ 3605 刑罰
1192 替 ㊥ 1502 交替・修訂
3302 運命
3742 富裕
1193 貸 ⑤ 3730 貸借
1194 隊 ④ 186 行列
265 軍隊
1195 滞 ㊥ 1512 静止
1631 遅速
1925 急緩
1196 態 ⑤ 1300 様相
180 図形
3390 礼容
1197 大 ① 1922 大小
1198 代 ③ 1502 交替・修訂
1610 時間
1720 座席
201 自他
3712 給与
1199 台 ② 1914 助数(4)
2640 機関(1)
444 柱
473 港・城
1200 第 ③ 1622 順序
1911 助数(1)
3331 学業(2)
1201 題 ③ 3071 意義・道理
3074 学問(1)
3101 名
1202 滝 ㊥ 525 川
1203 宅 ⑥ 263 家宅
440 家屋
1204 択 ㊥ 3063 採択
1205 沢 ㊥ 1920 多少
5010 色(1)
525 川
1206 卓 ㊥ 1321 英・逸
446 机
1207 拓 ㊥ 3812 土木
1208 託 ㊥ 3110 談話
3115 宣告
3511 請求
3611 任免
3730 貸借
1209 濯 ㊥ 3841 家事(2)
1210 諾 ㊥ 3069 肯否
3512 許諾
1211 濁 ㊥ 1350 清素→5050
5050 清濁
1212 但 ㊥ 602 助語(3)
1213 達 ④ 1520 発着
3052 学習
3306 処世
3623 命令
3724 配布
3823 通運
1214 脱 ㊥ 1133 被・脱
1535 脱漏
3325 装身
3521 去就
3532 防衛
1215 奪 ㊥ 3700 取得
1216 棚 ㊥ 444 柱
1217 丹 ㊥ 3000 心
5011 色(2)
1218 担 ⑥ 3395 抱・負
3400 身上
3701 保持
1219 単 ④ 1943 単複
1220 炭 ③ 413 材料(4)
5111 物質(2)
1221 胆 ㊥ 3000 心
3015 勇敢
575 臓
1222 探 ⑥ 3066 研究・探索
3092 探求
1223 淡 ㊥ 3026 寛厳
5001 光(2)
5050 清濁
1224 短 ③ 1921 長短
1225 嘆 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
3028 賞嘆
3031 泣笑
1226 端 ㊥ 1340 整斉・混雑
1621 初・末
1742 頂・央
1941 余剰
1227 誕 ⑥ 580 生命
1228 鍛 ㊥ 3052 学習
3821 工(2)
1229 団 ⑤ 1943 単複
266 組織
1230 男 ① 204 男女
2320 貴族
1231 段 ⑥ 1101 系列
186 行列
1918 助数(8)
3106 章段
443 門
1232 断 ⑤ 1203 消滅
1501 始終
1571 切断
3015 勇敢
3068 決定
3423 遂行
3501 断絶
1233 弾 ㊥ 1511 回転
325 音楽
3353 歌舞
3613 推薦・糾弾
453 武器
1234 暖 ⑥ 1924 冷暖
5120 寒暑
1235 談 ③ 3110 談話

322 説話
3511 請求
1236 壇 ㊥ 260 現場・世界
444 柱
1237 地 ② 1600 位置
1700 空間
1710 地点
180 図形
260 現場・世界
520 天地
522 地
1238 池 ② 472 池堤
526 海
1239 知 ② 3050 才能
3054 認識
3111 通信
1240 値 ⑥ 1303 品質
1900 数(1)
3711 価値
1241 恥 ㊥ 3029 恥辱
3042 栄誉
1242 致 ㊥ 1300 様相
3420 行為
3505 訪問
1243 遅 ㊥ 1631 遅速
1925 急緩
3057 賢愚
1244 痴 ㊥ 3057 賢愚
1245 稚 ㊥ 205 老幼
3051 巧拙→3057
3057 賢愚
5811 老若→205
1246 置 ④ 1512 静止
3861 設置
1247 竹 ① 5511 植物(2)
1248 畜 ㊥ 5601 動物(2)
3813 漁猟
1249 逐 ㊥ 1523 先導・追従
3605 刑罰
1250 蓄 ㊥ 3701 保持
1251 築 ⑤ 3822 工(3)
1252 秩 ㊥ 1101 系列
3712 給与
1253 窒 ㊥ 5111 物質(2)
1254 茶 ② 1914 助数(4)
3324 茶酒
3352 技芸(2)
433 食品(4)
5011 色(2)
5511 植物(2)
1255 着 ③ 1520 発着
1560 接触
1573 積重
1912 助数(2)
3044 覚悟
3325 装身
3394 手の動作(2)
421 被服
1256 嫡 ㊥ 213 子孫
1257 中 ① 1562 衝突
1621 初・末
1742 頂・央
1771 奥底
1922 大小
2531 各国
1258 仲 ④ 1102 関係
220 相手
3500 融和
3507 仲介
1259 虫 ① 563 動物(4)
1260 沖 ㊥ 526 海
1261 宙 ⑥ 1700 空間
520 天地
1262 忠 ⑥ 3046 節義
1263 抽 ㊥ 3063 採択
1264 注 ③ 1530 出入
3114 解釈
3703 需給
1265 昼 ② 1613 昼夜
1266 柱 ③ 444 柱
1267 衷 ㊥ 3000 心
1268 鋳 ㊥ 3821 工(2)
412 材料(3)
1269 駐 ㊥ 1512 静止
1270 著 ⑥ 3122 典籍
320 創作
5012 鮮明
1271 貯 ④ 3701 保持
1272 丁 ③ 1616 際・臨
1917 助数(7)
1273 弔 ㊥ 3028 賞嘆
3340 祝祭
3505 訪問
1274 庁 ⑥ 2640 機関(1)
1275 兆 ④ 1031 徴候
1910 数詞
1276 町 ① 1917 助数(7)
254 都市
255 府県
1277 長 ② 1614 老幼・永久
1921 長短
243 役職
581 生育
1278 挑 ㊥ 3530 侵害
1279 帳 ③ 456 図冊
1280 張 ⑤ 1344 緊張
1582 伸縮
3863 加工
1281 彫 ㊥ 1571 切断
324 彫刻
3863 加工
1282 眺 ㊥ 3090 見
5281 景
1283 釣 ㊥ 1340 整斉・混雑
1514 懸垂
3813 漁猟
1284 頂 ⑥ 1514 懸垂
1742 頂・央
3700 取得
1285 鳥 ② 561 動物(3)
1286 朝 ② 1613 昼夜
1287 脹 ㊥ 1582 伸縮
5131 変化(2)→1582
1288 超 ㊥ 1522 通過
1941 余剰
1289 腸 ④ 575 臓
1290 跳 ㊥ 1511 回転
3392 足の動作
1291 徴 ㊥ 1031 徴候
1300 様相
3703 需給
1292 潮 ⑥ 3301 風俗
1293 澄 ㊥ 5050 清濁
1294 調 ③ 1301 風味
1340 整斉・混雑
3066 研究・探索
3103 音声・語詞
3702 会計
3842 家事(3)
5022 音(3)
1295 聴 ㊥ 3001 感覚
3093 聞
3512 許諾
1296 懲 ㊥ 3605 刑罰
3633 懲戒
1297 直 ② 1310 正邪
1502 交替・修訂
1623 漸・即
181 点線
3012 誠実

3073 訂正・証明
3312 休・閑
3862 処理・修理
1298 勅 ㊥ 3115 宣告
1299 沈 ㊥ 1542 浮沈
3022 悲苦
1300 珍 ㊥ 1351 珍奇
1301 朕 ㊥ 200 我
1302 陳 ㊥ 1630 新旧
3091 指示
3102 記述
3116 届
1303 賃 ⑥ 3712 給与
1304 鎮 ㊥ 1512 静止
3536 服従
1305 追 ③ 1523 先導・追従
1623 漸・即
3066 研究・探索
3605 刑罰
1306 墜 ㊥ 1540 上下
1307 通 ② 1131 交応
1522 通過
1526 往復
1914 助数(4)
234 人物
3054 認識
3065 計算(2)
3111 通信
3720 交易
3823 通運
471 道路
1308 痛 ⑥ 3001 感覚
3022 悲苦
5861 痛・麻
1309 塚 ㊥ 4411 墓
470 田園→4411
1310 漬 ㊥ 1534 埋没
3842 家事(3)
431 食品(2)
1311 坪 ㊥ 1918 助数(8)
1312 低 ④ 1921 長短
1313 呈 ㊥ 1211 露呈
3722 贈与
1314 廷 ㊥ 2640 機関(1)
1315 弟 ② 214 兄弟
241 職
1316 定 ③ 1512 静止
3068 決定
3536 服従
1317 底 ④ 1771 奥底
1318 抵 ㊥ 1563 抑圧
3532 防衛
1319 邸 ㊥ 263 家宅→4410
4410 邸
1320 亭 ㊥ 4420 館
1321 貞 ㊥ 1311 美好→3046
3016 温順・明朗→3046
3046 節義
1322 帝 ㊥ 231 君主
1323 訂 ㊥ 1502 交替・修訂
3073 訂正・証明
3831 編集→3073
1324 庭 ③ 470 田園
1325 逓 ㊥ 1622 順序
2641 機関(2)
3823 通運
1326 停 ④ 1512 静止
3331 学業(2)
1327 偵 ㊥ 3092 探求
1328 堤 ㊥ 472 池堤
1329 提 ⑤ 1514 懸垂
3117 提・寄
3394 手の動作(2)
1330 程 ⑤ 1516 経路
1622 順序
1950 程度
1331 艇 ㊥ 463 船車
1332 締 ㊥ 1344 緊張
1552 絞締
3510 契約
1333 泥 ㊥ 234 人物
3022 悲苦
5112 物質(3)
1334 的 ④ 1710 地点
3058 綿密
455 標額
1335 笛 ③ 454 もてあそびもの(玩)
1336 摘 ㊥ 3394 手の動作(2)
3811 採収
1337 滴 ㊥ 1540 上下
183 球・輪→5102
1913 助数(3)
5102 自然(3)
5113 物質(4)→5102
1338 適 ⑤ 1221 必要
1320 便利
1951 概略
1339 敵 ⑤ 220 相手
3531 抗争
1340 迭 ㊥ 1502 交替・修訂
1341 哲 ㊥ 234 人物
3075 学問(2)
1342 鉄 ③ 412 材料(3)
5111 物質(2)
1343 徹 ㊥ 1522 通過
1344 撤 ㊥ 1202 除却
1345 天 ① 203 神仏
520 天地
1346 典 ④ 3080 法則
3122 典籍
3342 式典
1347 店 ② 262 市・駅
1348 点 ② 1710 地点
181 点線
3066 研究・探索
3105 符号
5132 火
1349 展 ⑥ 1554 開閉
1582 伸縮
3091 指示
1350 添 ㊥ 1561 附属
1581 補充
1941 余剰
1351 転 ③ 1502 交替・修訂
1511 回転
1515 転移
3310 就任
1352 田 ① 470 田園
5242 森
1353 伝 ④ 1503 連絡
1525 周回
3102 記述
3111 通信
322 説話
3300 文化
3620 教育
1354 殿 ㊥ 2020 氏・様
4420 館
1355 電 ② 3111 通信
460 光具
5101 自然(2)
1356 斗 ㊥ 1919 助数(9)
461 計器
1357 吐 ㊥ 3396 喫食
578 便
1358 徒 ④ 2021 者・屋
2022 衆
220 相手

3392 足の動作
570 身体
1359 途 ㊥ 1516 経路
1621 初・末
1360 都 ③ 254 都市
255 府県
1361 渡 ㊥ 1521 歩行
1522 通過
3722 贈与
1362 塗 ㊥ 3863 加工
1363 土 ① 1612 日
5112 物質(3)
1364 奴 ㊥ 2021 者・屋
2331 階層
1365 努 ④ 3041 勉励
3052 学習
1366 度 ③ 1610 時間
1900 数(1)
1911 助数(1)
1950 程度
3411 徳操
3620 教育
450 宝貨
461 計器
1367 怒 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
1368 刀 ② 453 武器
1369 冬 ② 1611 年月
1370 灯 ④ 460 光具
5132 火
1371 当 ② 100 何
1102 関係
1221 必要
1562 衝突
1616 際・臨
1620 古今
1911 助数(1)
201 自他
3067 推量
3310 就任
3712 給与
1372 投 ③ 3117 提・寄
3393 手の動作(1)
1373 豆 ③ 431 食品(2)
5512 植物(3)
1374 東 ② 1210 発生→1731
1731 方角
1375 到 ㊥ 1520 発着
1376 逃 ㊥ 1523 先導・追従
3321 居住
1377 倒 ㊥ 1513 起倒
1378 凍 ㊥ 5131 変化(2)
5133 乾湿
5862 飢渇
1379 唐 ㊥ 2531 各国
1380 島 ③ 527 島
1381 桃 ㊥ 5011 色(2)
5511 植物(2)
1382 討 ⑥ 3066 研究・探索
3531 抗争
1383 透 ㊥ 1522 通過
5001 光(2)
1384 党 ⑥ 2022 衆
266 組織
1385 悼 ㊥ 3028 賞嘆
1386 盗 ㊥ 234 人物
3421 犯罪
3700 取得
1387 陶 ㊥ 3021 快楽
3620 教育
3863 加工
412 材料(3)
5112 物質(3)→412
1388 塔 ㊥ 4420 館
1389 搭 ㊥ 1541 乗降
1390 棟 ㊥ 444 柱
1391 湯 ③ 3326 保健
5113 物質(4)
1392 痘 ㊥ 5861 痛・麻
1393 登 ③ 1540 上下
3392 足の動作
3610 登用
1394 答 ② 3112 問答
3722 贈与
1395 等 ③ 1101 系列
1120 異同
1930 算
1396 筒 ㊥ 183 球・輪
414 部品(1)
1397 統 ⑤ 1101 系列
1551 集合
3600 支配
1398 稲 ㊥ 5512 植物(3)
1399 踏 ㊥ 3392 足の動作
1400 糖 ⑥ 432 食品(3)
5112 物質(3)
1401 頭 ② 1621 初・末
1742 頂・央
1780 周辺
1912 助数(2)
243 役職
571 頭
1402 謄 ㊥ 3120 筆録
1403 闘 ㊥ 3531 抗争
3541 騒乱
1404 騰 ㊥ 1540 上下
1405 同 ② 100 何
1120 異同
3062 区別
3512 許諾
1406 洞 ㊥ 183 球・輪→184
184 口・孔
5241 谷
1407 胴 ㊥ 572 胴
1408 動 ③ 1510 活動
1409 堂 ④ 261 学校
4420 館
1410 童 ③ 205 老幼
1411 道 ② 1516 経路
255 府県
3071 意義・道理
3080 法則
3351 技芸(1)
471 道路
1412 働 ④ 3311 勤労
3420 行為
1413 銅 ⑤ 5111 物質(2)
1414 導 ⑤ 1523 先導・追従
3620 教育
5102 自然(3)
1415 峠 ㊥ 523 山
1416 匿 ㊥ 1220 秘密
3091 指示
1417 特 ④ 1100 様式
135 特殊
1418 得 ④ 3060 理解
3700 取得
3713 損益
1419 督 ㊥ 3600 支配
3621 勧諭
1420 徳 ⑤ 3011 清廉
3046 節義
3411 徳操
3631 恩恵
1421 篤 ㊥ 3012 誠実
1422 毒 ④ 3324 茶酒
434 薬剤
5114 災害
5821 傷害
1423 独 ⑤ 1943 単複
2531 各国

1424 読 ② 3060 理解
3102 記述
3120 筆録
1425 凸 ㊥ 1821 凹凸
1426 突 ㊥ 1562 衝突
1821 凹凸
1427 届 ⑥ 1520 発着
3116 届
3724 配布
3823 通運
1428 屯 ㊥ 1551 集合
1429 豚 ㊥ 5600 動物(1)
1430 鈍 ㊥ 1821 凹凸
3057 賢愚
1431 曇 ㊥ 5122 晴曇
1432 内 ② 1770 内外
1433 南 ② 1731 方角
1434 軟 ㊥ 5051 硬軟
1435 難 ⑥ 1330 安危
3113 議論
3304 苦難
1436 二 ① 1910 数詞
1437 尼 ㊥ 244 僧尼
1438 弐 ㊥ 1910 数詞
1439 肉 ② 432 食品(3)
574 肉
1440 日 ① 1611 年月
1612 日
1916 助数(6)
2531 各国
521 天
1441 入 ① 1530 出入
3310 就任
3331 学業(2)
1442 乳 ⑥ 433 食品(4)
5102 自然(3)
572 胴
577 血・乳
1443 尿 ㊥ 578 便
1444 任 ⑤ 3310 就任
3400 身上
3611 任免
3623 命令
1445 妊 ㊥ 584 生理(2)
1446 忍 ㊥ 3026 寛厳
3041 勉励
3091 指示
1447 認 ⑥ 3001 感覚
3054 認識
3068 決定
3120 筆録
3512 許諾
3610 登用
1448 寧 ㊥ 1330 安危
3540 和平→1330
1449 熱 ④ 1924 冷暖
5120 寒暑
5132 火
584 生理(2)
1450 年 ① 1611 年月
1916 助数(6)
1451 念 ④ 3040 志念
3055 思考
1452 粘 ㊥ 5051 硬軟
1453 燃 ⑤ 5132 火
1454 悩 ㊥ 3022 悲苦
1455 納 ⑥ 1533 包囲
3703 需給
3722 贈与
1456 能 ⑤ 1221 必要
140 力
3010 性癖
3050 才能
326 演劇
3353 歌舞
3410 才腕
5101 自然(2)
1457 脳 ⑥ 575 臓
1458 農 ③ 2331 階層
3075 学問(2)
3810 栽培
1459 濃 ㊥ 5001 光(2)
5050 清濁
1460 把 ㊥ 1913 助数(3)
3394 手の動作(2)
1461 波 ③ 186 行列
5123 波浪
1462 派 ⑥ 266 組織
3612 派遣
1463 破 ⑤ 1522 通過
1571 切断
1572 破壊
3534 勝敗
1464 覇 ㊥ 2320 貴族
3601 管理
1465 馬 ② 5600 動物(1)
1466 婆 ㊥ 205 老幼
1467 拝 ⑥ 3343 参拝
3390 礼容
1468 杯 ㊥ 1913 助数(3)
451 容器
1469 背 ⑥ 1750 表裏
3521 去就
572 胴
1470 肺 ⑥ 575 臓
1471 俳 ⑥ 321 文学・芸術
1472 配 ③ 1574 配列
211 夫婦
3605 刑罰
3703 需給
3724 配布
3823 通運
3861 設置
1473 排 ㊥ 1202 除却
1535 脱漏
1574 配列
3501 断絶
578 便→583
583 生理(1)
1474 敗 ④ 3422 成績
3534 勝敗
5821 傷害
1475 廃 ㊥ 1203 消滅
582 死
1476 輩 ㊥ 2022 衆
220 相手
1477 売 ② 3721 売買
1478 倍 ③ 1580 増減
3065 計算(2)
1479 梅 ④ 5511 植物(2)
1480 培 ㊥ 3810 栽培
1481 陪 ㊥ 1561 附属
1482 媒 ㊥ 3507 仲介
1483 買 ② 3721 売買
1484 賠 ㊥ 3731 弁済
1485 白 ① 3110 談話
5011 色(2)
1486 伯 ㊥ 215 叔伯
2320 貴族
234 人物
2531 各国
1487 拍 ㊥ 3103 音声・語詞
3393 手の動作(1)
1488 泊 ㊥ 3322 起居
1489 迫 ㊥ 1560 接触
3740 貧困
1490 舶 ㊥ 463 船車
1491 博 ④ 1921 長短
1492 薄 ㊥ 1560 接触
1921 長短

3014 卑屈
3026 寛厳
1493 麦 ② 431 食品(2)
5512 植物(3)
1494 漠 ㊥ 1921 長短
3058 綿密
5240 野
1495 縛 ㊥ 1552 絞締
3605 刑罰
3624 規制
1496 爆 ㊥ 453 武器
5114 災害
5130 変化(1)
1497 箱 ③ 451 容器
1498 畑 ③ 470 田園
1499 肌 ㊥ 576 皮膚
1500 八 ① 1910 数詞
1501 鉢 ㊥ 451 容器
1502 発 ③ 1210 発生
1501 始終
1520 発着
1554 開閉
1913 助数(3)
3832 報刊
3864 使用→1554
1503 髪 ㊥ 576 皮膚
1504 伐 ㊥ 3531 抗争
3811 採収
1505 抜 ㊥ 1320 便利
1535 脱漏
3063 採択
1506 罰 ㊥ 3605 刑罰
3633 懲戒
1507 閥 ㊥ 266 組織
1508 反 ③ 1132 非・否
1515 転移
1526 往復
1570 曲折
1730 縦横・傾斜
1918 助数(8)
3044 覚悟
3501 断絶
3603 争乱
1509 半 ② 1942 全欠
1510 犯 ⑤ 234 人物
3421 犯罪
3530 侵害
1511 帆 ㊥ 463 船車
1512 伴 ㊥ 1041 正副
1523 先導・追従
1561 附属
1513 判 ⑤ 186 行列
3060 理解
3068 決定
3604 訴訟
452 文具
5012 鮮明
1514 坂 ③ 471 道路
523 山
1515 板 ③ 411 材料(2)
1516 版 ⑤ 3822 工(3)
3832 報刊
452 文具
1517 班 ⑥ 266 組織
1518 畔 ㊥ 1780 周辺
1519 般 ㊥ 101 事象
1942 全欠
1520 販 ㊥ 3721 売買
1521 飯 ④ 3323 飲食
430 食品(1)
1522 搬 ㊥ 3823 通運
1523 煩 ㊥ 1342 簡約
3022 悲苦
1524 頒 ㊥ 3724 配布
1525 範 ㊥ 1100 様式
3080 法則
3620 教育
1526 繁 ㊥ 1342 簡約
1615 再・毎
3312 休・閑
3742 富裕
5812 茂・枯
1527 藩 ㊥ 2530 国
1528 晩 ⑥ 1613 昼夜
1621 初・末
1529 番 ② 1622 順序
3090 見
3312 休・閑
1530 蛮 ㊥ 230 民衆
3017 粗暴・放漫
1531 盤 ㊥ 414 部品(1)
451 容器
454 もてあそびもの(玩)
522 地
1532 比 ⑤ 1101 系列
1930 算
3061 比較
3065 計算(2)
1533 皮 ③ 420 糸布
5513 植物(4)
576 皮膚
1534 妃 ㊥ 211 夫婦
1535 否 ⑥ 1132 非・否
3069 肯否
3513 拒否
1536 批 ⑥ 3068 決定
3113 議論
1537 彼 ㊥ 200 我
1538 披 ㊥ 1554 開閉
1539 肥 ⑤ 413 材料(4)
5860 健康
1540 非 ⑤ 1132 非・否
1310 正邪
3113 議論
1541 卑 ㊥ 1320 便利
3014 卑屈
3029 恥辱→3014
3301 風俗
1542 飛 ④ 1521 歩行
1543 疲 ㊥ 3003 疲労
1544 秘 ⑥ 1030 真偽
1220 秘密
3091 指示
1545 被 ㊥ 1130 相対
1133 被・脱
1533 包囲
3306 処世
3325 装身
421 被服
1546 悲 ③ 3022 悲苦
3026 寛厳
1547 扉 ㊥ 445 戸
1548 費 ④ 3702 会計
3711 価値
1549 碑 ㊥ 3121 文章
455 標額
1550 罷 ㊥ 1520 発着
3423 遂行
3611 任免
1551 避 ㊥ 1564 防止
3025 好悪
3306 処世
1552 尾 ㊥ 1621 初・末
1912 助数(2)
572 胴
1553 美 ③ 1311 美好
323 絵画
3326 保健→5013
3632 賞賛

5013 美醜
1554 備 ⑤ 1341 具備
1940 具備
3861 設置
1555 微 ㊥ 1922 大小
2331 階層
3065 計算(2)
1556 鼻 ③ 571 頭
1557 匹 ㊥ 1912 助数(2)
220 相手
2331 階層
5601 動物(2)
1558 必 ④ 1221 必要
1559 泌 ㊥ 583 生理(1)
1560 筆 ③ 3120 筆録
320 創作
452 文具
1561 姫 ㊥ 2020 氏・様
204 男女
1562 百 ① 1910 数詞
1563 氷 ③ 5113 物質(4)
1564 表 ③ 1211 露呈
1750 表裏
3102 記述
3107 図表
3120 筆録→3122
3122 典籍
1565 俵 ⑤ 1914 助数(4)
451 容器
1566 票 ④ 401 貨財(2)
456 図冊
1567 評 ⑤ 3064 計算(1)
3068 決定
3113 議論
3307 声聞
1568 漂 ㊥ 1521 歩行
3321 居住
5130 変化(1)
1569 標 ④ 1710 地点
3105 符号
455 標額
1570 苗 ㊥ 5513 植物(4)
1571 秒 ③ 1916 助数(6)
1572 病 ③ 585 疾病
1573 描 ㊥ 3102 記述
3120 筆録
323 絵画
1574 猫 ㊥ 5600 動物(1)
1575 品 ③ 1303 品質
3411 徳操
400 貨財(1)
1576 浜 ㊥ 527 島
1577 貧 ⑤ 1920 多少
3740 貧困
1578 賓 ㊥ 222 主客
1579 頻 ㊥ 1615 再・毎
1580 敏 ㊥ 1631 遅速
1925 急緩
3057 賢愚
1581 瓶 ㊥ 451 容器
1582 不 ④ 1132 非・否
1583 夫 ④ 2021 者・屋
211 夫婦
1584 父 ② 212 父母
1585 付 ④ 1133 被・脱
1560 接触
1561 附属
1941 余剰
3722 贈与
1586 布 ⑤ 1522 通過
3724 配布
420 糸布
1587 扶 ㊥ 3622 援護
1588 府 ④ 255 府県
2640 機関(1)
1589 怖 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
1590 附 ㊥ 1041 正副→1561
1561 附属
1591 負 ③ 1902 数(3)
3395 抱・負
3534 勝敗
3730 貸借
1592 赴 ㊥ 1520 発着
1593 浮 ㊥ 1542 浮沈
3014 卑屈
1594 婦 ⑤ 2021 者・屋
204 男女
211 夫婦
1595 符 ㊥ 3105 符号
456 図冊
1596 富 ⑤ 3742 富裕
1597 普 ㊥ 1351 珍奇
1942 全欠
3300 文化
1598 腐 ㊥ 5130 変化(1)
5812 茂・枯
5821 傷害
1599 敷 ㊥ 1514 懸垂
1720 座席
3822 工(3)
1600 膚 ㊥ 576 皮膚
1601 賦 ㊥ 3703 需給
1602 譜 ㊥ 3107 図表
3122 典籍
1603 侮 ㊥ 3029 恥辱
1604 武 ⑤ 3352 技芸(2)
3533 軍事
1605 部 ③ 1914 助数(4)
1942 全欠
2640 機関(1)
1606 舞 ㊥ 1511 回転
326 演劇
3353 歌舞
3392 足の動作
1607 封 ㊥ 1554 開閉
1913 助数(3)
3611 任免
1608 風 ② 1301 風味
3110 談話
3300 文化
3301 風俗
5122 晴曇
1609 伏 ㊥ 1513 起倒
3391 立ち居
3536 服従
1610 服 ③ 1913 助数(3)
3027 敬仰
3310 就任
3325 装身
3343 参拝
3536 服従
3614 奉仕
3700 取得
421 被服
1611 副 ④ 1041 正副
1561 附属
1612 幅 ㊥ 1901 数(2)
1613 復 ⑤ 1503 連絡
1526 往復
1615 再・毎
3310 就任
1614 福 ③ 3302 運命
1615 腹 ⑥ 1750 表裏
3000 心
572 胴
1616 複 ⑤ 1943 単複
1617 覆 ㊥ 1133 被・脱
1513 起倒
1533 包囲
3325 装身

1618 払 ㊥ 1202 除却
3394 手の動作(2)
3702 会計
1619 沸 ㊥ 1530 出入
5131 変化(2)
1620 仏 ⑤ 203 神仏
2531 各国
3076 思想
1621 物 ③ 400 貨財(1)
5101 自然(2)
1622 粉 ④ 431 食品(2)
435 紅墨
5102 自然(3)
1623 紛 ㊥ 1340 整斉・混雑
3603 争乱
1624 雰 ㊥ 5113 物質(4)
5121 雲雨→5113
1625 噴 ㊥ 1530 出入
5114 災害
5130 変化(1)
1626 墳 ㊥ 4411 墓
470 田園
1627 憤 ㊥ 3023 恐怖・憤怒
3041 勉励
1628 奮 ⑥ 3041 勉励
1629 分 ② 1553 分散
1916 助数(6)
1917 助数(7)
1942 全欠
3060 理解
3062 区別
3400 身上
3724 配布
1630 文 ① 185 文様
3075 学問(2)
3104 文字
3111 通信
3121 文章
3122 典籍
321 文学・芸術
3300 文化
1631 聞 ② 3093 聞
3110 談話
3307 声聞
1632 丙 ㊥ 1910 数詞
1633 平 ③ 1321 英・逸
1330 安危
1570 曲折
1730 縦横・傾斜
1821 凹凸
3536 服従
3540 和平
1634 兵 ④ 242 将兵
3533 軍事
453 武器
1635 併 ㊥ 1551 集合
603 助語(4)
1636 並 ⑥ 1321 英・逸
1574 配列
600 助語(1)
1637 柄 ㊥ 1303 品質
185 文様
415 部品(2)
1638 陛 ⑥ 231 君主
1639 閉 ⑥ 1501 始終
1554 開閉
1640 塀 ㊥ 443 門
1641 幣 ㊥ 3710 金銭→400
400 貨財(1)
1642 弊 ㊥ 3300 文化
1643 米 ② 2531 各国
431 食品(2)
5512 植物(3)
1644 壁 ㊥ 444 柱
5241 谷
1645 癖 ㊥ 3010 性癖
3053 記憶
1646 別 ④ 1041 正副
3062 区別
3506 送迎
1647 片 ⑥ 183 球・輪
1943 単複
1648 辺 ④ 1742 頂・央
1780 周辺
181 点線
256 村里
260 現場・世界
1649 返 ③ 1503 連絡
1513 起倒
1526 往復
1570 曲折
3731 弁済
1650 変 ④ 1120 異同
1351 珍奇
1502 交替・修訂
1902 数(3)
3304 苦難
3603 争乱
5114 災害
1651 偏 ㊥ 3014 卑屈
3026 寛厳
3104 文字
1652 遍 ㊥ 1911 助数(1)
1653 編 ⑤ 1551 集合
1913 助数(3)
3106 章段→3121
3121 文章
3123 編・巻
320 創作
3831 編集
3840 家事(1)
1654 弁 ⑤ 3054 認識
3060 理解
3100 言語
3110 談話
3113 議論
3703 需給
3731 弁済
415 部品(2)
5513 植物(4)
1655 便 ④ 1320 便利
3111 通信
3823 通運
578 便
1656 勉 ③ 3041 勉励
3052 学習
1657 歩 ② 1521 歩行
1913 助数(3)
1918 助数(8)
3350 遊楽
3392 足の動作
1658 保 ⑤ 1200 存在
3326 保健
3622 援護
3701 保持
3830 衛生→3326
1659 捕 ㊥ 3394 手の動作(2)
3605 刑罰
3700 取得
3813 漁猟
1660 浦 ㊥ 527 島
1661 補 ⑥ 1581 補充
243 役職
3611 任免
3731 弁済
1662 舗 ㊥ 263 家宅
3822 工(3)
1663 母 ② 212 父母
1664 募 ㊥ 3703 需給
1665 墓 ⑤ 4411 墓

470 田園
1666 慕 ㊥ 3025 好悪
1667 暮 ⑥ 1613 昼夜
3320 生活
1668 簿 ㊥ 456 図冊
1669 方 ② 1731 方角
182 方円
2021 者・屋
2022 衆
3081 方法
1670 包 ④ 1133 被・脱
1533 包囲
1671 芳 ㊥ 5030 香
1672 邦 ㊥ 2530 国
1673 奉 ㊥ 3522 貢献
3614 奉仕
3722 贈与
1674 宝 ⑥ 3710 金銭
450 宝貨
1675 抱 ㊥ 1913 助数(3)
3395 抱・負
1676 放 ③ 1530 出入
1553 分散
3017 粗暴・放漫
3331 学業(2)
3423 遂行
3605 刑罰
1677 法 ④ 1902 数(3)
3065 計算(2)
3075 学問(2)
3080 法則
3081 方法
1678 泡 ㊥ 5113 物質(4)
1679 胞 ㊥ 213 子孫
550 生物
575 臓
1680 俸 ㊥ 3712 給与
1681 倣 ㊥ 3052 学習
1682 峰 ㊥ 523 山
1683 砲 ㊥ 453 武器
1684 崩 ㊥ 1572 破壊
5114 災害
582 死
1685 訪 ⑥ 3505 訪問
1686 報 ⑤ 3111 通信
3123 編・巻
3522 貢献→3631
3631 恩恵
3712 給与
3731 弁済
3832 報刊→3123
1687 豊 ⑤ 1920 多少
3302 運命
3742 富裕
1688 飽 ㊥ 1941 余剰
3003 疲労
1689 褒 ㊥ 3632 賞賛
1690 縫 ㊥ 3840 家事(1)
1691 亡 ⑥ 1203 消滅
205 老幼→582
3321 居住
3535 滅亡
582 死
1692 乏 ㊥ 1920 多少
3740 貧困
1693 忙 ㊥ 3312 休・閑
1694 坊 ㊥ 2020 氏・様
205 老幼
244 僧尼
261 学校
1695 妨 ㊥ 1341 具備
1564 防止
3501 断絶→3530
3530 侵害
1696 忘 ⑥ 3053 記憶
1697 防 ⑤ 1564 防止
3532 防衛
3844 家事(4)
1698 房 ㊥ 186 行列
2020 氏・様
4410 邸
4423 室
5514 植物(5)
1699 肪 ㊥ 577 血・乳
1700 某 ㊥ 200 我
1701 冒 ㊥ 3423 遂行
3530 侵害
585 疾病
1702 剖 ㊥ 1571 切断
1703 紡 ㊥ 3821 工(2)
1704 望 ④ 3043 希望
3090 見
3411 徳操
3511 請求
521 天
5281 景
1705 傍 ㊥ 1780 周辺
1706 帽 ㊥ 422 身の回り
1707 棒 ⑥ 414 部品(1)
1708 貿 ⑤ 3720 交易
1709 暴 ⑤ 1211 露呈
3017 粗暴・放漫
3026 寛厳
3541 騒乱
5122 晴曇
1710 膨 ㊥ 1582 伸縮
5131 変化(2)
1711 謀 ㊥ 3082 計画
1712 北 ② 1731 方角
3534 勝敗
1713 木 ① 1612 日
411 材料(2)
5510 植物(1)
1714 朴 ㊥ 3012 誠実
5511 植物(2)
1715 牧 ④ 262 市・駅
3813 漁猟
1716 僕 ㊥ 200 我
243 役職
1717 墨 ㊥ 435 紅墨
452 文具
5011 色(2)
1718 撲 ㊥ 1562 衝突
3393 手の動作(1)
1719 没 ㊥ 1534 埋没
582 死
1720 堀 ㊥ 472 池堤
1721 本 ① 100 何
1040 基本
1912 助数(2)
3122 典籍
456 図冊
5510 植物(1)
1722 奔 ㊥ 3017 粗暴・放漫
3321 居住
3392 足の動作
1723 翻 ㊥ 1513 起倒
3102 記述
1724 凡 ㊥ 1321 英・逸
1951 概略
3057 賢愚
1725 盆 ㊥ 1612 日
3340 祝祭
451 容器
5241 谷
1726 麻 ㊥ 5512 植物(3)
5861 痛・麻
1727 摩 ㊥ 1562 衝突
3393 手の動作(1)
1728 磨 ㊥ 1571 切断

3052 学習
3821 工(2)
3863 加工
1729 魔 ㊥ 203 神仏
1730 毎 ② 1615 再・毎
1731 妹 ② 214 兄弟
1732 枚 ⑥ 183 球・輪
1914 助数(4)
1733 埋 ㊥ 1534 埋没
1581 補充
3822 工(3)
1734 幕 ⑥ 265 軍隊
326 演劇
445 戸
1735 膜 ㊥ 574 肉
1736 又 ㊥ 601 助語(2)
1737 末 ④ 1621 初・末
1721 限界
5102 自然(3)
1738 抹 ㊥ 1571 切断
3069 肯否
3393 手の動作(1)
3821 工(2)→3393
1739 万 ② 1910 数詞
1740 満 ④ 1581 補充
1940 具備
1942 全欠
5123 波浪
1741 慢 ㊥ 1631 遅速
1925 急緩
3029 恥辱
1742 漫 ㊥ 1340 整斉・混雑
3002 驚・酔
3017 粗暴・放漫
3041 勉励→3002
1743 未 ④ 1615 再・毎
1744 味 ③ 1301 風味
3001 感覚
3094 味
504 味
1745 魅 ㊥ 3634 威嚇
1746 岬 ㊥ 527 島
1747 密 ⑥ 1030 真偽
1220 秘密
1342 簡約
3058 綿密
1748 脈 ④ 1101 系列
522 地
584 生理(2)
1749 妙 ㊥ 1311 美好
1750 民 ④ 230 民衆
2330 官民
1751 眠 ㊥ 3004 睡眠
1752 矛 ㊥ 453 武器
1753 務 ⑤ 3311 勤労
3400 身上
3800 産業(1)
1754 無 ④ 1132 非・否
1201 空・無
1755 夢 ⑤ 3004 睡眠
1756 霧 ㊥ 5121 雲雨
1757 娘 ㊥ 205 老幼
1758 名 ① 1912 助数(2)
3042 栄誉
3101 名
3307 声聞
1759 命 ③ 3302 運命
3611 任免
3623 命令
580 生命
1760 明 ② 1201 空・無
1211 露呈
1613 昼夜
1620 古今
3016 温順・明朗
3057 賢愚
5000 光(1)
5012 鮮明
1761 迷 ⑤ 3002 驚・酔
3056 迷惑
3068 決定
1762 盟 ⑥ 266 組織
3510 契約
1763 銘 ㊥ 3053 記憶
3101 名
3121 文章
1764 鳴 ② 3031 泣笑
5020 音(1)
1765 滅 ㊥ 1203 消滅
3535 滅亡
582 死
1766 免 ㊥ 3512 許諾
3532 防衛
3605 刑罰
3611 任免
3633 懲戒
3703 需給
1767 面 ③ 1750 表裏
1914 助数(4)
3030 表情
3504 面会
454 もてあそびもの(玩)
571 頭
1768 綿 ⑤ 3058 綿密
420 糸布
1769 茂 ㊥ 5812 茂・枯
1770 模 ⑥ 1100 様式
3052 学習
3102 記述→3052
415 部品(2)
1771 毛 ② 420 糸布
576 皮膚
1772 妄 ㊥ 1310 正邪
3072 過誤→1310
1773 盲 ㊥ 5861 痛・麻
1774 耗 ㊥ 1203 消滅
1775 猛 ㊥ 141 強弱
3017 粗暴・放漫
1776 網 ㊥ 416 部品(3)
1777 目 ① 1710 地点
185 文様
1911 助数(1)
3090 見
3101 名
571 頭
1778 黙 ㊥ 3100 言語
3110 談話
1779 門 ② 1914 助数(4)
2100 家
443 門
1780 紋 ㊥ 185 文様
3105 符号
1781 問 ③ 3074 学問(1)
3112 問答
3505 訪問
1782 匁 ㊥ 1919 助数(9)
1783 夜 ② 1613 昼夜
1784 野 ② 1720 座席
2330 官民
3301 風俗
5240 野
1785 厄 ㊥ 3304 苦難
1786 役 ③ 240 担当
243 役職
3311 勤労
3400 身上
3800 産業(1)
1787 約 ④ 1342 簡約
1582 伸縮→1342

1951 概略
3065 計算(2)
3510 契約
3741 節倹
1788 訳 ⑥ 3071 意義・道理
3102 記述
1789 薬 ③ 3324 茶酒
434 薬剤
1790 躍 ㊥ 1511 回転
3392 足の動作
1791 由 ③ 101 事象
1113 因果
3071 意義・道理
1792 油 ③ 413 材料(4)
432 食品(3)
5112 物質(3)
1793 愉 ㊥ 3021 快楽
1794 諭 ㊥ 3621 勧諭
1795 輸 ⑤ 3720 交易
1796 癒 ㊥ 585 疾病
1797 唯 ㊥ 1952 極限
1798 友 ② 221 師友
3500 融和
1799 有 ③ 1200 存在
3701 保持
1800 勇 ④ 3015 勇敢
3041 勉励
1801 幽 ㊥ 1211 露呈
1311 美好
5012 鮮明
1802 悠 ㊥ 1614 老幼・永久
3016 温順・明朗→3021
3021 快楽
1803 郵 ⑥ 2641 機関(2)
3111 通信
3823 通運
1804 猶 ㊥ 1631 遅速
602 助語(3)
1805 裕 ㊥ 3742 富裕
1806 遊 ③ 1512 静止
3350 遊楽
1807 雄 ㊥ 1321 英・逸
234 人物
3015 勇敢
550 生物
1808 誘 ㊥ 1523 先導・追従
3505 訪問
3613 推薦・糾弾
3621 勧諭
1809 憂 ㊥ 3022 悲苦
3304 苦難
1810 融 ㊥ 3500 融和
3720 交易
5131 変化(2)
1811 優 ⑥ 1321 英・逸
241 職
3016 温順・明朗
3026 寛厳
3051 巧拙
1812 与 ㊥ 1102 関係
1130 相対
3520 参加
3703 需給→3712
3712 給与
3722 贈与
1813 予 ③ 1615 再・毎
200 我
1814 余 ⑤ 1213 残余
1581 補充
1941 余剰
200 我
1815 誉 ㊥ 3042 栄誉
1816 預 ⑤ 3730 貸借
1817 幼 ⑥ 1614 老幼・永久
205 老幼
3057 賢愚
5811 老若
1818 用 ② 1500 作用
3423 遂行
3610 登用
3711 価値
3864 使用
1819 羊 ③ 5600 動物(1)
1820 洋 ③ 1921 長短
2531 各国
3075 学問(2)→2531
526 海
1821 要 ④ 105 重要
1221 必要
1710 地点
3071 意義・道理
3511 請求
3703 需給
1822 容 ⑤ 1302 形姿
1330 安危
1533 包囲
3026 寛厳
3390 礼容
3512 許諾
3633 懲戒
1823 庸 ㊥ 1321 英・逸
3057 賢愚→1321
1824 揚 ㊥ 1540 上下
3632 賞賛
1825 揺 ㊥ 1511 回転
1826 葉 ③ 5513 植物(4)
1827 陽 ③ 5000 光(1)
5100 自然(1)
521 天
1828 溶 ㊥ 5131 変化(2)
1829 腰 ㊥ 3391 立ち居
572 胴
1830 様 ③ 1100 様式
1300 様相
2020 氏・様
3081 方法
3301 風俗→1100
1831 踊 ㊥ 3353 歌舞
3392 足の動作
1832 窯 ㊥ 446 机
1833 養 ④ 2101 実・義
3326 保健
3620 教育
3622 援護
3813 漁猟
1834 擁 ㊥ 3395 抱・負
1835 謡 ㊥ 321 文学・芸術
1836 曜 ② 1612 日
1837 抑 ㊥ 1563 抑圧
3393 手の動作(1)
1838 浴 ④ 1133 被・脱
1534 埋没
3326 保健
1839 欲 ⑥ 3043 希望
1840 翌 ⑥ 1620 古今
1841 翼 ㊥ 573 手足
1842 裸 ㊥ 570 身体
1843 羅 ㊥ 1574 配列
416 部品(3)
1844 来 ② 1526 往復
1620 古今
1845 雷 ㊥ 453 武器
5114 災害
1846 頼 ㊥ 3027 敬仰
3511 請求
1847 絡 ㊥ 1551 集合
1848 落 ③ 1540 上下
256 村里
3302 運命

3306 処世
3331 学業(2)
3534 勝敗
3742 富裕
1849 酪 ㋝ 433 食品(4)
1850 乱 ⑥ 1340 整斉・混雑
1553 分散
3304 苦難
3541 騒乱
3603 争乱
1851 卵 ⑥ 5781 卵
1852 覧 ⑥ 3090 見
1853 濫 ㋝ 1340 整斉・混雑
5114 災害
1854 欄 ㋝ 1720 座席→444
186 行列→444
3106 章段
444 柱
1855 吏 ㋝ 243 役職
1856 利 ④ 1320 便利
3057 賢愚
3302 運命
3713 損益
1857 里 ② 1917 助数(7)
254 都市
256 村里
1858 理 ② 1113 因果
3054 認識
3060 理解
3071 意義・道理
3075 学問(2)
3080 法則
3326 保健
3601 管理
3842 家事(3)
3862 処理・修理
1859 痢 ㋝ 5861 痛・麻
1860 裏 ⑥ 1750 表裏
1861 履 ㋝ 3392 足の動作
3400 身上
3420 行為
422 身の回り
1862 離 ㋝ 1560 接触
3506 送迎
1863 陸 ④ 522 地
1864 立 ① 1210 発生
1513 起倒
3391 立ち居
3602 運営
1865 律 ⑥ 1100 様式
3080 法則
3624 規制
5022 音(3)
1866 略 ⑤ 1201 空・無
1342 簡約
1951 概略
3082 計画
3530 侵害
3700 取得
1867 柳 ㋝ 5511 植物(2)
1868 流 ③ 1100 様式
1521 歩行
3301 風俗
3321 居住
3605 刑罰
5102 自然(3)
5123 波浪
525 川
1869 留 ⑤ 1512 静止
3321 居住
3605 刑罰
1870 竜 ㋝ 564 動物(5)
1871 粒 ㋝ 183 球・輪
1914 助数(4)
5102 自然(3)
1872 隆 ㋝ 141 強弱
3302 運命
3742 富裕
1873 硫 ㋝ 5111 物質(2)
1874 旅 ③ 3321 居住
3350 遊楽
1875 虜 ㋝ 2331 階層
1876 慮 ㋝ 3055 思考
1877 了 ㋝ 1501 始終
3060 理解
1878 両 ③ 1914 助数(4)
1915 助数(5)
1943 単複
463 船車
1879 良 ④ 1310 正邪
1880 料 ④ 3712 給与
3842 家事(3)
410 材料(1)
1881 涼 ㋝ 1924 冷暖
5120 寒暑
1882 猟 ㋝ 3350 遊楽
3813 漁猟
1883 陵 ㋝ 4411 墓
470 田園→523
523 山
1884 量 ④ 1900 数(1)
3064 計算(1)
3067 推量
3411 徳操
461 計器
1885 僚 ㋝ 221 師友
243 役職
1886 領 ⑤ 1720 座席
2530 国
3060 理解
3600 支配
3700 取得
3701 保持
1887 寮 ㋝ 263 家宅
4410 邸→263
1888 療 ㋝ 3830 衛生
1889 糧 ㋝ 430 食品(1)
1890 力 ① 140 力
3010 性癖
3410 才腕
1891 緑 ③ 5011 色(2)
1892 林 ① 5242 森
1893 厘 ㋝ 1915 助数(5)
1894 倫 ㋝ 3071 意義・道理
3075 学問(2)
3080 法則
1895 輪 ④ 183 球・輪
1914 助数(4)
414 部品(1)
1896 隣 ㋝ 1560 接触
1780 周辺
1897 臨 ⑥ 1520 発着
1616 際・臨
1780 周辺
3503 出欠
1898 涙 ㋝ 577 血・乳
1899 累 ㋝ 1573 積重
1580 増減
1615 再・毎
1900 塁 ㋝ 1720 座席
473 港・城
1901 類 ④ 1100 様式
1120 異同
2022 衆
2100 家
3062 区別
1902 令 ④ 3080 法則
3623 命令
1903 礼 ③ 3027 敬仰
3340 祝祭

3342 式典
3390 礼容
3631 恩恵
1904 冷 ④ 1924 冷暖
3016 温順・明朗
3026 寛厳
5120 寒暑
1905 励 ㊥ 3041 勉励
3621 勧諭
1906 戻 ㊥ 1526 往復
3703 需給
1907 例 ④ 1100 様式
3061 比較
3081 方法
1908 鈴 ㊥ 454 もてあそびもの(玩)
1909 零 ㊥ 1910 数詞
1922 大小
3302 運命
3742 富裕→3302
1910 霊 ㊥ 1311 美好
203 神仏
3000 心
1911 隷 ㊥ 2331 階層
3104 文字
1912 齢 ㊥ 1900 数(1)
1913 麗 ㊥ 1311 美好
5013 美醜
5122 晴曇
1914 暦 ㊥ 3122 典籍
1915 歴 ④ 3300 文化
3400 身上
5012 鮮明
1916 列 ③ 1101 系列
1574 配列
186 行列
1914 助数(4)
3503 出欠
1917 劣 ㊥ 1321 英・逸
3014 卑屈
3051 巧拙
1918 烈 ㊥ 141 強弱
3017 粗暴・放漫
1919 裂 ㊥ 1571 切断
5130 変化(1)
1920 恋 ㊥ 3025 好悪
1921 連 ④ 1503 連絡
1561 附属
1574 配列
1943 単複
2022 衆
220 相手
266 組織
1922 廉 ㊥ 1926 強弱
3011 清廉
1923 練 ③ 3052 学習
3821 工(2)
3863 加工
1924 錬 ㊥ 3052 学習
3821 工(2)
1925 炉 ㊥ 446 机
473 港・城
1926 路 ③ 1516 経路
471 道路
1927 露 ㊥ 1211 露呈
2531 各国
5113 物質(4)
1928 老 ④ 1614 老幼・永久
205 老幼
3051 巧拙
5811 老若
1929 労 ④ 2330 官民
3003 疲労
3022 悲苦
3041 勉励
3311 勤労
3420 行為
3630 待遇
1930 郎 ㊥ 204 男女
1931 朗 ⑥ 3016 温順・明朗
3021 快楽
5012 鮮明
5122 晴曇
1932 浪 ㊥ 234 人物
3321 居住
5123 波浪
1933 廊 ㊥ 443 門
1934 楼 ㊥ 4420 館
1935 漏 ㊥ 1535 脱漏
1936 六 ① 1910 数詞
1937 録 ④ 3120 筆録
3122 典籍
1938 論 ⑥ 3074 学問(1)
3113 議論
1939 和 ③ 1330 安危
1930 算
2531 各国
3016 温順・明朗
3500 融和
3540 和平
5022 音(3)
5120 寒暑
5130 変化(1)
1940 話 ② 3110 談話
322 説話
1941 賄 ㊥ 3722 贈与
1942 惑 ㊥ 3002 驚・酔
3056 迷惑
3068 決定
3634 威嚇
1943 枠 ㊥ 186 行列
414 部品(1)
1944 湾 ㊥ 527 島
1945 腕 ㊥ 3050 才能
3410 才腕
573 手足

4　語例一覧

1　この語例一覧は，漢字の意味分類ごとに，語例を一覧したものである。

2　語例として，阪本一郎『新教育基本語彙』（学芸図書，1984年）に掲載されている語彙を利用した。A1，B1，C1などの記号は，同書にあげられている各語の学習段階である。（A－小学校低学年段階，B－小学校高学年段階，C－中学校段階。）Dは，同書に掲載されていない語である。

3　漢字の提出順序は，平成元年改訂の小学校学習指導要領にあげられている学年別漢字配当表に従っている。同表にない漢字は最後にまとめ，その提出順序は，常用漢字表に従った。

4　見出しの漢字の右肩の数字は，索引の検字番号である。そして，「音」は片仮名で示し，「訓」は平仮名で示した。音訓に付けられた㊥㊦の記号は，文部省初等中等教育局小学校課『音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表』（1991年）にもとづいた各音訓の学習段階である。（小学校配当漢字以外の常用漢字についても，㊥㊦の記号を付けた。）

5　意味分類を細かくしたため，適当な語例がなく，常用漢字表外の音訓を用いた語例をあげた場合もある。また，はっきりと意味を区別できずに語例をあげた場合もある。しかし，あえて細かい分類のままとした。読者は，用途に応じて，意味分類をもう少し大きくまとめて使ってもよいだろう。

6　全部で30,000語ほどの語を意味分類してあるが，スペースの関係で，この語例一覧には，9,700語あまりの語をあげるにとどまっている。本表，索引等を含め，全データを電子媒体で提供することを考えているので，希望する方は，国立国語研究所言語教育研究部第1研究室まで連絡されたい。

1年配当漢字

一[33]　イチ　イツ
ひと　ひと-つ
1910 数詞　一昨日A1　一利一害C2　第一印象C3

右[47]　ウ　ユウ
みぎ
1740 左右　右A1　右翼C1　右岸C4

雨[50]　ウ
あめ　あま
5121 雲雨　雨宿りA2　雨量B2　梅雨C1

円[72]　エン
まる-い
182 方円　円筒B3　円錐C2
1915 助数(5)　円A1

王[87]　オウ
2020 氏・様　王A1
231 君主　仁王B3　勤王C3

音[105]　オン　イン㊥
おと　ね
3030 表情　本音C2
3103 音声・語詞　濁音C1　同音C4
3111 通信　録音B1　音波C1
5020 音(1)　擬音B2　騒音C1

下[109]　カ　ゲ
した　しも　もと㊥　さ-げる　さ-がる　くだ-る　くだ-す　くだ-さる　お-ろす　お-りる
1540 上下　お下げA2　垂れ下がるB2　落下C1
1741 上下　下A1　下手B2　配下C3

火[111]　カ
ひ　ほ㊦
1612 日　火曜日D
5132 火　活火山B2　漁火C4

花[116]　カ
はな
3352 技芸(2)　花瓶A1　生け花B2　花器C3
5513 植物(4)　線香花火A2　虫媒花B3

貝 168 かい

564 動物(5) 貝殻 A2 貝柱 B3

学 194 ガク
まな-ぶ

261 学校 学芸会 A2 学友 B3 停学 C2
3052 学習 見学 A1 独学 C1 晩学 C4
3074 学問(1) 学 B3 人文科学 C2
3330 学業(1) 学費 B2 奨学金 C4

気 266 キ ケ

1301 風味 火気 B2 臭気 C1
3000 心 気遣い B1 正気 B2 気勢 C3
5101 自然(2) 電気 A1 磁気 B2
5113 物質(4) 気体 B1 低気圧 B2 冷気 C3

九 317 キュウ ク
ここの ここの-つ

1910 数詞 九つ A1 九九 B1

休 323 キュウ
やす-む やす-まる やす-める

1501 始終 運休 C2 休講 C4
3003 疲労 お休み A2 休場 B2 休眠 C3
3312 休・閑 休業 B1 休職 C1

玉 383 ギョク
たま

183 球・輪 玉葱 A2 玉算 B3 大目玉 C4
450 宝貨 玉手箱 A2 珠玉 C4
454 もてあそびもの(玩) シャボン玉 A2 手玉 A2
5112 物質(3) 玉石 C3

金 387 キン コン
かね かな

1612 日 金曜日 D
3710 金銭 賃金 B2 年金 C2
400 貨財(1) 黄金 C1 金堂 C3
412 材料(3) 金網 A2 金具 B2 地金 C2
5111 物質(2) 金 A1 砂金 B3

空 404 クウ
そら あ-く あ-ける から

1201 空・無 空く A1 空振り B3 空砲 C4
5113 物質(4) 空気 A1 真空 B1 空気銃 B2
520 天地 空豆 A2 上空 B2 中空 C3

月 457 ゲツ ガツ
つき

1611 年月 年月 B2 皐月 C2
1612 日 月曜日 D
1916 助数(6) 月(がつ) A1 一月 D 二月 D
521 天 月影 A2 名月 B1 おぼろ月夜 C2

犬 458 ケン
いぬ

5600 動物(1) 野良犬 A2 猟犬 B3 狛犬 C4

見 460 ケン
み-る み-える み-せる

3054 認識 見積もり B2 見限る C2
3090 見 見学 A1 見返す B2 散見 C4

五 514 ゴ
いつ いつ-つ

1910 数詞 五 A1 五官 C1 五感 C3

口 525 コウ ク
くち

1771 奥底 火口 B1 口座 C4
184 口・孔 河口 B2 序の口 C4
1912 助数(2) 人口 B1
260 現場・世界 捌け口 C2 大口 C3 遣り口 C4
3100 言語 口喧しい B2 異口同音 C3
571 頭 口元 A2 口紅 A2

校 560 コウ

261 学校 下校 A1 校門 A2 校風 B2
3831 編集 対校 B3 校正 C1

左 612 サ
ひだり

1740 左右 左 A1 左側 B3 左派 C3

三 666 サン
み み-つ みっ-つ

1910 数詞 七五三 A2 三脚 C3

山 667 サン
やま

261 学校 開山 D 本山 D
523 山 山間 B2 山河 C2

子 681 シ ス
こ

213 子孫 女子 A2 実子 B2 直弟子 C3

2320 貴族　皇太子A1　貴公子C3　子爵D

四 688
シ
よ　よ-つ　よっ-つ　よん

1910 数詞　四季B1　四囲C3

糸 693
シ
いと

420　糸布　糸A1　生糸B1　糸口C2

字 726
ジ
あざ㊥

255　府県　小字(あざ)D　大字(あざ)D
3101 名　名字A1
3104 文字　活字B1　十字架B2　赤字C1

耳 729
ジ㊥
みみ

3093 聞　耳打ちB1　初耳B2　耳目C1
571　頭　耳飾りB3　牛耳るC3

七 746
シチ
なな　なな-つ　なの

1910 数詞　七五三A2　七曜表B2　七光りC3

車 758
シャ
くるま

414　部品(1)　風車A2　車輪B2　矢車B3
463　船車　自転車A1　乗車B1

手 779
シュ
て　た㊥

2021 者・屋　手(接辞)B1　名手C2
240　担当　歌い手A2　助手B1　捕手B3
3081 方法　下手A1　下手人C1　逆手C4
573　手足　握手B1　手癖B3　手跡C4

十 818
ジュウ　ジッ
とお　と

1910 数詞　十二指腸B2　十進法C3

出 837
シュツ　スイ㊥
で-る　だ-す

1520 発着　出発A1　降り出すA2　滑り出しB3
1530 出入　持ち出しA2　出世B2　出資C1
3503 出欠　出迎えるA2　出席B1

女 863
ジョ　ニョ㊥　ニョウ㊫
おんな　め㊥

204　男女　少女A1　女史C1

小 870
ショウ
ちい-さい　こ　お

1922 大小　小屋A1　小麦B2　小銭C4

上 919
ジョウ　ショウ㊫
うえ　うわ　かみ　あ-げる　あ-がる　のぼ-る
のぼ-せる㊥　のぼ-す㊥

1540 上下　沸き上がるA2　編み上げ靴B3
1741 上下　上品B1　上目使いB3
260　現場・世界　路上B2　屋上C4
3722 贈与　啓上C1　呈上C2　奏上C4

森 968
シン
もり

5242 森　森A1　森林B1　森厳C4

人 977
ジン　ニン
ひと

1912 助数(2)　一人A1　人口B1　二人三脚B3
2021 者・屋　主人A1　人間A1　お人よしC4
240　担当　商人B1　俳人C2
5600 動物(1)　人類B1　類人猿C4

水 986
スイ
みず

1612 日　水曜日D
5111 物質(2)　水銀B1　水分B1
5113 物質(4)　水道A1　噴水A2　水雷B2　水火C2

正 1012
セイ　ショウ
ただ-しい　ただ-す　まさ

1041 正副　正面A1　正午B1　端正C2
1310 正邪　正直A1　厳正C1
1502 交替・修訂　正すA1
1902 数(3)　正数D
3073 訂正・証明　改正B1　訂正C1　補正C3

生 1013
セイ　ショウ
い-きる　い-かす　い-ける　う-まれる　う-む
お-う㊥　は-える　は-やす　き㊥　なま

1210 発生　生やすA1　生ずるB1　発生B1
2021 者・屋　先生A1　小生C3
241　職　生業C2
3320 生活　平生A1　厚生C2　生活難C3
3830 衛生　衛生A1
550　生物　生き物A2　生け花B2　卵生C4
580　生命　誕生A1　長生きA2　生き甲斐B3　出生C2

青 1021 セイ　ショウ(高)
あお　あお-い

5011 色(2)　青空 A2　青蛙 B3　青銅 C2

夕 1042 セキ(中)
ゆう

1613 昼夜　夕焼け A1　夕顔 B1　今夕 C2

石 1044 セキ　シャク　コク(中)
いし

1919 助数(9)　百万石 D
411 材料(2)　宝石 A1　石器 B2　礎石 C2
5112 物質(3)　石炭 A1　大理石 B2

赤 1045 セキ　シャク(高)
あか　あか-い　あか-らむ　あか-らめる

5011 色(2)　赤い A1　赤チン B3　赤松 C4

千 1068 セン
ち

1910 数詞　千枚通し B2　千三つ C4

川 1069 セン(中)
かわ

525 川　小川 A1　川向かい A2　川魚 B3

先 1072 セン
さき

1523 先導・追従　先 A1　先例 B3　先天的 C2
1620 古今　先刻 B3　先着 C4
1621 初・末　先生 A1　先先 B2　先見の明 C3
1742 頂・央　舳先 B2　矢先 C3
260 現場・世界　縁先 B3　先陣 C2

早 1114 ソウ　サッ(中)
はや-い　はや-まる　はや-める

1631 遅速　手早い A2　早早 B2　早生児 C4

草 1120 ソウ
くさ

1342 簡約　草草 C4
3104 文字　草稿 C1　草書 C3　草子 C4
5510 植物(1)　蔓草 A2　秋草 B3　草原 B3

足 1154 ソク
あし　た-りる　た-る　た-す

1580 増減　満足 B1　補足 C2
1914 助数(4)　足(そく) A1
1942 全欠　定足数 C4
3065 計算(2)　足し算 A1　足す A1
573 手足　遠足 A1　後足 A2　足慣らし B3

村 1169 ソン
むら

255 府県　町村 D
256 村里　農村 B1　村落 C1

大 1197 ダイ　タイ
おお　おお-きい　おお-いに

1922 大小　大将 A1　大幅 B3　大家 C3

男 1230 ダン　ナン
おとこ

204 男女　男性 B1　男装 C4
2320 貴族　男爵 D

竹 1247 チク
たけ

5511 植物(2)　竹竿 A2　竹刀 C2

中 1257 チュウ
なか

1562 衝突　命中 B1　食中り C1　中風(病名) C3
1621 初・末　暑中 B1　中断 C1　中興 C3
1742 頂・央　中心 A1　中立 B1　中庸 C2
1771 奥底　夢中 A1　空中 B1　意中 C3
1922 大小　中学生 B3　中小企業 C4
2531 各国　中華 B2　中国 B2

虫 1259 チュウ
むし

563 動物(4)　青虫 A2　火取り虫 B3　防虫剤 C4

町 1276 チョウ
まち

1917 助数(7)　～町(ちょう) D
254 都市　町 A1　町外れ A2　町並み B3
255 府県　町会 B3

天 1345 テン
あめ(高)　あま

203 神仏　天国 A2　天職 C1
520 天地　天気 A1　寒天 B2　天火 C4

田 1352 デン
た

470 田園　田 A1　田園 C1
5242 森　炭田 B2　油田 C1

土 1363 ド ト
つち

1612 日 土曜A2 土用B1 土星B3
5112 物質(3) 土地A1 土橋A2 浄土C2

一 1436 ニ
ふた ふた-つ

1910 数詞 二階A2 二葉B2 二の足C3

日 1440 ニチ ジツ
ひ か

1611 年月 日延べA2 後日C1
1612 日 日夜B1 日盛りC4
1916 助数(6) 七日A2 初七日C2
2531 各国 日本画B3 日本晴れC4
521 天 日光A1 日傘A2 日和B1 日長B3

入 1441 ニュウ
い-る い-れる はい-る

1530 出入 嫁入りA1 入り交じるB3 潜入C3
3310 就任 入社B3 入閣C4
3331 学業(2) 入学A1 入門C1 入試C2

年 1450 ネン
とし

1611 年月 年上A2 年月日B3 周年C4
1916 助数(6) 年A1 一年B3

白 1485 ハク ビャク(高)
しろ しら しろ-い

3110 談話 白状B1 白白C1
5011 色(2) 白菊A2 白鳥B2 白木C4

八 1500 ハチ
や や-つ やっ-つ よう

1910 数詞 八百屋A1 八頭身C3

百 1562 ヒャク

1910 数詞 百貨店A2 嘘八百C4

文 1630 ブン モン
ふみ(中)

185 文様 天文台B3 天文C2 縄文D
3075 学問(2) 人文科学C2
3104 文字 文字A1 一文字B3 音標文字C3
3111 通信 注文A1 文通C1
3121 文章 作文A1 論文B2 序文C2 文面C3
3122 典籍 文庫B2 文書C2 文献C3
321 文学・芸術 文学B1 文芸B2 文士C2
3300 文化 文化B1 文明B1 文物C4

木 1713 ボク モク
き こ

1612 日 木曜D 木曜日D
411 材料(2) 木戸A1 木剣B2 木賃宿C4
5510 植物(1) 木の実(きのみ)A2 接ぎ木B2 灌木C1

本 1721 ホン
もと

100 何 本人B1 本誌D
1040 基本 根本B1 本腰B3 本名C2
1912 助数(2) 本(鉛筆2～)A1
3122 典籍 読本A1 単行本B2 種本C3
456 図冊 見本B1 謄本C1
5510 植物(1) 草本D 本草D 木本D

名 1758 メイ ミョウ
な

1912 助数(2) 名A1
3042 栄誉 名誉B1 名折れB2 名分C4
3101 名 指名B1 名宛B3 戒名C3
3307 声聞 名月B1 名物B1 匿名C1

目 1777 モク ボク(中)
め ま(高)

1710 地点 折り目B2 死に目C3
185 文様 蛇の目傘B2 木目B3
1911 助数(1) 目A1 二枚目A2 五目鮨C1
3090 見 目隠しA2 反目C1 目撃C4
3101 名 目次A2 項目C1 曲目C3
571 頭 目薬A2 目配せB2 大目玉C4

立 1864 リツ リュウ(高)
た-つ た-てる

1210 発生 夕立A1 沸き立つB2 泡立てるB3
1513 起倒 起立B1 脚立C2
3391 立ち居 逆立ちA2 立ち会うB2 立ち居振る舞いC3
3602 運営 成立B1 中立B1 立脚C2

力 1890 リョク リキ
ちから

140 力 速力B1 原動力C1 力闘C3
3010 性癖 助力B2 魅力C1 胆力C4
3410 才腕 実力B1 迫力C2

林 1892 リン
はやし

5242 森　林A1　山林B2　林間B3

六1936 ロク
む　む-つ　むっ-つ　むい
1910 数詞　双六A1　六A1　六つA1

2 年 配 当 漢 字

引37 イン
ひ-く　ひ-ける
1560 接触　引き抜きA2　引き立つB2　忌引きC2
1580 増減　割り引くB1　天引きC2
3065 計算(2)　引き算A2

羽49 ウ(中)
は　はね
1912 助数(2)　羽(わ)A1　一羽(わ)D　二羽(わ)D
576 皮膚　羽衣A2　羽振りC3

雲52 ウン
くも
5121 雲雨　雲行きB2　暗雲C3　密雲C4

園78 エン
その(中)
261 学校　幼稚園A2　学園B3
470 田園　公園A1　遊園地A2　楽園C1

遠81 エン　オン(高)
とお-い
1560 接触　遠慮A1　遠ざかるB1　遠因C3
1921 長短　遠方A1　遠景C1

何115 カ(中)
なに　なん
100 何　如何A1　何程B2　如何なるC1

科121 カ
3074 学問(1)　内科B1　産科C3
3421 犯罪　科(とが)C2
3605 刑罰　前科C1　科料C3　罪科C4

夏123 カ　ゲ(中)
なつ
1611 年月　夏A1　立夏B2　晩夏C3

家124 カ　ケ
いえ　や
2021 者・屋　楽天家C3　老大家C3
2100 家　家庭B1　家財C2　名家C4
241 職　画家B2　書家C2
263 家宅　借家B2　家主B3　大家C3
440 家屋　空き家B2　家並C4

歌136 カ
うた　うた-う
321 文学・芸術　歌集B1　歌人C2　歌壇C4
325 音楽　唱歌A1　歌詞B2　御詠歌C4
3353 歌舞　歌舞伎C1　歌舞C4

画142 ガ　カク
180 図形　映画A1　劇画B2
1913 助数(3)　字画C2
3062 区別　画するB1　画一C2
3082 計画　計画B1　参画C1
323 絵画　水彩画B2　線画B3

回148 カイ　エ(高)
まわ-る　まわ-す
1511 回転　回すA1　転げ回るA2　螺子回しB3
1525 周回　遠回りB2　利回りC1
1911 助数(1)　回A1　回数券B2　今回C2

会150 カイ　エ(高)
あ-う
1551 集合　社会A1　都会B1
266 組織　会社A1　会員B2　町会B3
3060 理解　会釈B1　会得C2　会心C4
3502 会合　会A1　集会B1　学会C1
3504 面会　会わすA1　会見B1　立ち会いB2
3702 会計　会計B1

海157 カイ
うみ
526 海　海岸A1　海外B1　海軍B3　山海C4

絵161 カイ　エ
323 絵画　絵本A1　絵入りA2　似顔絵B2

外169 ガイ　ゲ(中)
そと　ほか　はず-す　はず-れる
1202 除却　外すA1　当て外れB1　以外B1
1515 転移　案外B1　存外C2
1530 出入　外出B1　外来C3
1770 内外　外国A2　外形B2　外用薬C2

角 179 カク
かど つの

1742 頂・央 角度B2 角立てるC2
182 方円 三角A2 四角A2 長四角A2
1923 軽重 方角A1
576 皮膚 角A1 触角C2

楽 196 ガク ラク
たの-しい たの-しむ

3021 快楽 楽A1 気楽B2 安楽C1
325 音楽 音楽A1 声楽B2 奏楽C3
3350 遊楽 娯楽B1 行楽C1 道楽C1

活 201 カツ

1510 活動 活動B1 活況C2
3016 温順・明朗 活発A1 快活B1 活気B1
3320 生活 生活A1 生活難C3
580 生命 死活C1 復活C1 活路C3

間 234 カン ケン
あいだ ま

1102 関係 間違うA1 仲間A1 間接B1
1610 時間 時間A1 瞬間B1 束の間C2
1700 空間 間B1 眉間B2 間引きC3
1917 助数(7) 三十三間堂D
4423 室 客間A2 板の間A2 洋間B3

丸 255 ガン
まる まる-い まる-める

182 方円 丸太A1 丸木B3 砲丸B3
1942 全欠 丸出しB1 丸焼けB2 丸儲けB2
2021 者・屋 丸B3

岩 258 ガン
いわ

5112 物質(3) 岩石B1 溶岩B1 安山岩C2

顔 261 ガン
かお

3030 表情 笑顔A1 寝顔A2 真顔C3
571 頭 古顔B2 顔合わせC3

汽 270 キ

5113 物質(4) 汽車A1 汽船A1 汽笛A1

記 277 キ
しる-す

3053 記憶 暗記A1 記念B1 銘記C4
3102 記述 記章A1 記号B1 記述C1
3120 筆録 記者B1 速記C1 無記名C2
3123 編・巻 記C3
322 説話 日記A1 伝記B1 手記C1

帰 281 キ
かえ-る かえ-す

1113 因果 帰依C1 帰化C1 帰するC4
1526 往復 帰るA1 帰宅B3 帰心C4

弓 320 キュウ(中)
ゆみ

453 武器 弓A1 弓矢A2 弓道C4

牛 337 ギュウ
うし

5600 動物(1) 牛A1 牛乳A1 牛歩C2

魚 347 ギョ
うお さかな

432 食品(3) 魚市場A2 干し魚B3
561 動物(3) 金魚A1 飛び魚B2 養魚B3

京 354 キョウ ケイ(中)

254 都市 京B1 上京B1

強 366 キョウ ゴウ(中)
つよ-い つよ-まる つよ-める し-いる(中)

141 強弱 強者B2 強力B2 列強C2
1926 強弱 強ばるB2 増強C1
3624 規制 強いるB1 強行C1 強制C1

教 367 キョウ
おし-える おそ-わる

3620 教育 教わるA1 教育B1 教科B2

近 386 キン
ちか-い

1560 接触 近付きA2 近付けるA2 接近B1
1921 長短 近寄せるA2 近道A2 近郊C2

兄 418 ケイ(中) キョウ
あに

214 兄弟 兄弟A1 従兄弟A1 兄嫁C2

形 420 ケイ ギョウ
かた かたち

1302 形姿 花形B2 無形C1 整形C3
180 図形 三角形A2 菱形A2 楕円形B2

324 彫刻　人形A1　雛人形A1　操り人形B3

計427 ケイ
はか-る　はか-らう

3064 計算(1)　計算A1　統計B1　計量C4
3082 計画　計画B1　設計B1　取り計らうB2
3702 会計　会計B1
461 計器　時計A1　寒暖計A2　腕時計A2

元487 ゲン　ガン
もと

1040 基本　根元A1　版元B2　膝元C2
1620 古今　元来B1
1621 初・末　元祖B2　元旦C3
1710 地点　中元C2　国元C3
1915 助数(5)　元A1
5110 物質(1)　還元C3

言490 ゲン　ゴン
い-う　こと

3100 言語　言葉A1　無言B1　方言B1　名言C3
3110 談話　言い聞かせるA2　発言B1　言い様B3

原493 ゲン
はら

1040 基本　原料B1　原動力C1
5240 野　原A1　高原B1　海原C2

戸499 コ
と

1914 助数(4)　戸B2
445 戸　背戸A2　戸別C3

古500 コ
ふる-い　ふる-す

1620 古今　古C1　太古C1　考古学C3
1630 新旧　古臭いB2　古風C1

午516 ゴ

1613 昼夜　午前A1　正午B1　午睡C3

後518 ゴ　コウ
のち　うし-ろ　あと　おく-れる(中)

1523 先導・追従　後戻りA2　後進C1　後妻C4
1620 古今　以後B1　明明後日B3　予後C3
1621 初・末　最後A1　後B2　後天的C2
1631 遅速　後程B2　後の祭りC2
1760 前後　前後B2　後事C4

語522 ゴ
かた-る　かた-らう

3100 言語　国語A1　言語B1　語義C3
3103 音声・語詞　語気C2　語尾C2
3110 談話　物語るA1　語るB1　口語B1
322 説話　物語A1　文語B3

工526 コウ　ク

2021 者・屋　大工A1　職工B1　名工C3
2331 階層　士農工商C3
241 職　木工B1
3075 学問(2)　工夫A1
3820 工(1)　工業B1　土木工事B1　手工業C2
3860 製作　工作A1　人工B1　工程C2

公527 コウ
おおやけ(中)

1902 数(3)　公倍数B1　公約数B1
2020 氏・様　主人公B3　公僕C1　公務員C2
2320 貴族　貴公子C3
2330 官民　公式B1　公認C1　公告C3

広531 コウ
ひろ-い　ひろ-まる　ひろ-める　ひろ-がる　ひろ-げる

1921 長短　広がりA1　広場A2　徒広いB2
3110 談話　広告A1　広めるB1

交533 コウ
まじ-わる　まじ-える　ま-じる　ま-ざる　ま-ぜる　か-う(中)　か-わす(中)

1131 交応　交えるB1　交響楽C1
1502 交替・修訂　交ざるA1　交番A1　交代B1
1526 往復　交通A1　行き交うB3　交わすC1
1730 縦横・傾斜　筋交いC2　交点C3
3500 融和　外交B1　交流C1　親交C2
3720 交易　交換B1　交渉B1　交信D

光534 コウ
ひか-る　ひかり

5000 光(1)　日光A1　後光B3　御来光C4

考539 コウ
かんが-える

3055 思考　考えるA1　考案B2　選考C2

行540 コウ　ギョウ　アン(慣)
い-く　ゆ-く　おこな-う

1521 歩行　急行A1　同行B2　壮行C4

186 行列　行列A1　平行B1　平行線C2
1914 助数(4)　行A1　一行D　二行D
262 市・駅　銀行A1　洋行B2
3052 学習　行A1　難行C3　修行D
3104 文字　行書C1
3350 遊楽　旅行A1　紀行C1　行楽C1
3420 行為　行儀A1　航行B3　行状C2　非行C4

高 565 コウ
たか-い　たか　たか-まる　たか-める

1900 数(1)　金高B3　売れ高B3　高C1
1921 長短　高低B2　高齢C2　高峰C4
1926 強弱　高圧的C1　崇高C2

黄 568 コウ(中)　オウ
き　こ(中)

5011 色(2)　黄金B2　黄C1　黄色いC1

合 586 ゴウ　ガッ　カッ
あ-う　あ-わす　あ-わせる

1120 異同　合図A1　釣り合うA2　非合法C2
1130 相対　試合A1　取り合うA2　張り合うB2
1551 集合　合唱A1　混合B1　出来合いB3
複合C2
1770 内外　合間B3
1919 助数(9)　合A1
3061 比較　場合A1　問い合わすA2　割合B1
3331 学業(2)　合格B1　不合格B2　合否C2
3502 会合　会合B1　申し合わせB2　合宿C1

谷 592 コク(中)
たに

5241 谷　谷A1　峡谷C3　渓谷C4

国 594 コク
くに

2530 国　国A1　天国A2　国運B3　入国C3
3075 学問(2)　国語A1

黒 595 コク
くろ　くろ-い

5011 色(2)　黒板A1　黒潮B2　白黒B3

今 601 コン　キン(中)
いま

1620 古今　今A1　今朝A1　今日A2　当今C4

才 621 サイ

1916 助数(6)　青二才B3
3010 性癖　才女B2　才子C3　才人C4
3050 才能　才能B1　才気C1　非才C3
3410 才腕　漫才A1　才腕C2　多才C4

細 633 サイ
ほそ-い　ほそ-る　こま-か　こま-かい

1921 長短　細めるA1　細細とB2　毛細管C2
3058 綿密　細工A1　細菌B1　委細C1　精細C2
5860 健康　細胞B2

作 648 サク　サ
つく-る

1500 作用　作用B1　発作C1　反作用C4
320 創作　作文A1　自作B2　拙作C4
3420 行為　不作法A2　動作B1　作為C3
3810 栽培　耕作B1　豊作B1　秋作C2
3860 製作　作りA1　作成B2　家作C3

算 675 サン

3064 計算(1)　計算A1　算数A1　概算C1　算C4

止 683 シ
と-まる　と-める

1501 始終　止めA1　降り止むA2　終止符C2
1512 静止　止まりA1　止まるB1　静止B3
1564 防止　波止場A1　歯止めB2　止血C2
3420 行為　引き止めA2　食い止めるB2
3624 規制　禁止B1　差し止めるB3

市 689 シ
いち

254 都市　市民B1　都市B1　市井C3
255 府県　市B1
262 市・駅　市A1　市場A1　市価C1

矢 690 シ(高)
や

453 武器　矢A1　弓矢A2　矢先C3　矢面C4

姉 701 シ(中)
あね

214 兄弟　姉さんA1　姉妹B1　姉上C4

思 706 シ
おも-う

3055 思考　思うA1　思い切るA2　不可思議C2

紙 710 シ
かみ

3122 典籍　機関紙 C1　新聞紙 D
411　材料(2)　紙芝居 A2　印紙 B1　折り紙付き C4
452　文具　包み紙 A2　筆紙 C3

寺 727

ジ
てら

261　学校　寺 A1　寺院 B1　寺子屋 C4

自 730

ジ　シ
みずか-ら

201　自他　自分 A1　自家用 B3　自給自足 C2
5100 自然(1)　自然 A1

時 737

ジ
とき

1610 時間　時間 A1　時計 A1　時局 C1
1916 助数(6)　一時 D　二時 D

室 748

シツ
むろ(中)

211　夫婦　妻室 D　正室 D
4423 室　教室 A1　寝室 A2　洋室 B3

社 757

シャ
やしろ

261　学校　社 A1　神社 B1
266　組織　社会 A1　社員 B2　結社 C4

弱 777

ジャク
よわ-い　よわ-る　よわ-まる　よわ-める

141　強弱　弱る A1　貧弱 C1　衰弱 C2
1926 強弱　弱める A1　弱視 C3

首 785

シュ
くび

1621 初・末　首相 B1　首都 B2　首脳 C1　首唱 C4
1914 助数(4)　首(和歌の単位) C4
243　役職　元首 C1　党首 C2
571　頭　首 A1　首輪 A2　自首 C1

秋 805

シュウ
あき

1611 年月　秋 A1　秋季 B1　秋草 B3　秋作 C2

週 810

シュウ

1612 日　週間 A2　来週 A2　週末 B2

春 841

シュン
はる

1611 年月　春 A1　春雨 B2　春告げ鳥 C2

書 857

ショ
か-く

3120 筆録　書く A1　書き込み B2　肩書き C1
3122 典籍　教科書 A1　図書館 A2　書簡 C1

少 872

ショウ
すく-ない　すこ-し

1614 老幼・永久　少壮 C1　年少 C2　幼少 C2
1920 多少　少ない A1　少少 B2
205　老幼　少女 A1　少年 A1　青少年 B2

場 930

ジョウ
ば

1600 位置　場面 B1　入場 B1　開場 B3
260　現場・世界　工場 A1　議場 B2　場末 C2

色 939

ショク　シキ
いろ

1302 形姿　特色 B1　脚色 C1　潤色 C4
3030 表情　血色 B3　難色 C3　気色ばむ C4
5010 色(1)　桃色 A2　色彩 B1
5281 景　景色 A1

食 940

ショク　ジキ(高)
く-う　く-らう(高)　た-べる

3396 喫食　食事 A1　飲食 B1　弱肉強食 C4
430　食品(1)　給食 A1　餌食 B2　粗食 C2

心 949

シン
こころ

1742 頂・央　中心 A1　重心 B1　核心 C3
3000 心　安心 A1　心 A1　内心 B2
3040 志念　感心 A1　老婆心 B3　下心 C2

新 972

シン
あたら-しい　あら-た　にい(中)

1630 新旧　新 A1　新米 B2　新陳代謝 C3

親 976

シン
おや　した-しい　した-しむ

212　父母　親類 A1　親子 A2　親父 B3
3025 好悪　親切 A1　親しむ B1　親近感 C4
3500 融和　親密 B2　親交 C2　親和 C2

図 985

ズ　ト
はか-る(中)

180　図形　図案 B1　図形 B2　見取り図 C1
3082 計画　意図 C1　図る C1　壮図 C2

3107 図表　地図A1　版図C4
323　絵画　図画A1　掛け図A2　絵図C2
456　図冊　図書館A2　図書B1

数 1003 スウ　ス㊟
かず　かぞ-える

1900 数(1)　数字A2　小数点B1　有数C1
3064 計算(1)　算数A1　数学B1　計数C4

西 1015 セイ　サイ
にし

1731 方角　西A1　大西洋B2　西班牙D

声 1016 セイ　ショウ㊟
こえ　こわ㊥

3030 表情　笑い声A2　どら声B2　歓声C1
3103 音声・語詞　掛け声A2　声色B2　産声B3
325　音楽　声楽B2　声量C3　混声C4
3307 声聞　声明C2　声価C3
3411 徳操　名声B2　声望C4
5020 音(1)　拡声器A2　銃声B3　無声C4

星 1024 セイ　ショウ㊥
ほし

521　天　星A1　星座B1　黒星B2　流れ星B3

晴 1031 セイ
は-れる　は-らす

3021 快楽　晴らすA1　晴れ着A2　天晴れC3
5122 晴曇　晴れA1　秋晴れA2　日本晴れC4

切 1056 セツ　サイ㊥
き-る　き-れる

1203 消滅　売り切れA2　打ち切りB2　息切れB3
1501 始終　貸し切るB2　幕切れC3
1571 切断　切るA1　切り抜きA2　切断B3
1952 極限　はち切れるB1　切望C2

雪 1062 セツ
ゆき

5121 雲雨　雪A1　初雪A2　花吹雪B3　降雪C3

船 1082 セン
ふね　ふな

463　船車　商船A2　助け船B2　屋形船C2

線 1088 セン

181　点線　線A1　直線B1　曲線美C2　死線C4
416　部品(3)　電線A1　線香花火A2　架線C3
471　道路　線路A1　幹線B2

前 1095 ゼン
まえ

1621 初・末　以前B1　前触れB2　寸前C2
1760 前後　前向きA2　前列B2　前例C1
1911 助数(1)　一人前D

組 1107 ソ
く-む　くみ

1551 集合　組みA1　組み立てるA2　組み替えB2
266　組織　組合B1　組織B1　改組C2

走 1116 ソウ
はし-る

1521 歩行　競走A1　脱走C1　先走りC2
3392 足の動作　走るA1　走者C3

多 1174 タ
おお-い

1920 多少　多いA1　多分A1　多量B2　多難C3

太 1180 タイ　タ
ふと-い　ふと-る

1321 英・逸　太陽A1　太刀B1　受け太刀C3
1921 長短　太いA1　太股B3
3540 和平　太平C2
5860 健康　太るA1

体 1182 タイ　テイ㊥
からだ

1302 形姿　全体A1　不体裁B3　機体C3
180　図形　体(からだ)A1　立方体B1　直方体C3
1912 助数(2)　一体A1　体(たい)B1
266　組織　団体B1　自治体C4
5101 自然(2)　気体B1　天体B1　導体C4
570　身体　体格A1　体温B1　弱体C1　肢体C3

台 1199 ダイ　タイ

1914 助数(4)　台(～台)A1
2640 機関(1)　天文台B3
444　柱　台所A1　卓袱台B2　台秤B3
473　港・城　舞台A1　灯台A2　高台B2　屋台B3

地 1237 チ　ジ

1600 位置　地位B1　見地C2　地歩C4
1700 空間　地下B1　地上B1　地階C4
1710 地点　地形B1　番地B2　極地C3

180 図形　白地A2　地B1
260 現場・世界　遊園地A2　基地B2　陣地B3
520 天地　地球A1　天地B1　露地C4
522 地　地震A1　地均しA2　地滑りB3

池 1238 チ
いけ

472 池堤　溜池A2　乾電池B2　浄水池B3
526 海　池A1

知 1239 チ
し-る

3050 才能　知恵A1　知識B1　無知C1　知謀C4
3054 認識　承知A1　知るA1　未知C1
3111 通信　知らせるA1　通知B1

茶 1254 チャ　サ(中)

1914 助数(4)　紅茶B1　番茶B2　緑茶B2
3324 茶酒　茶店A2　日常茶飯事C2　茶話会C3
3352 技芸(2)　茶道C1　茶の湯C2
433 食品(4)　製茶B3　粗茶C4
5011 色(2)　茶色A2　えび茶C4　焦げ茶色C4
5511 植物(2)　茶A1　茶摘みB2

昼 1265 チュウ
ひる

1613 昼夜　昼A1　昼寝A2　白昼C1

長 1277 チョウ
なが-い

1614 老幼・永久　長続きA2　日長B3　悠長C3
1921 長短　長いA1　長靴A2　長袖B3
243 役職　校長A2　会長B2　座長C1
581 生育　成長B1　助長C1　増長C2

鳥 1285 チョウ
とり

561 動物(3)　鳥A1　小鳥A2　鳥居B1　九官鳥C3

朝 1286 チョウ
あさ

1613 昼夜　今朝A1　朝起きA2　早朝B2　朝靄B3

直 1297 チョク　ジキ
ただ-ちに　なお-す　なお-る

1310 正邪　正直A1　真っ正直B3　不正直B3
1502 交替・修訂　直るA1　仲直りA2　持ち直すB3
急転直下C3
1623 漸・即　直にA1　直接B1　直筆C2
181 点線　直角B1　直球C3　硬直C4
3012 誠実　素直A1　率直C1　剛直C4
3073 訂正・証明　言い直しA2　見直しB2
3312 休・閑　宿直B1　日直C1　当直C2
3862 処理・修理　直すA1

通 1307 ツウ　ツ(慣)
とお-る　とお-す　かよ-う

1131 交応　普通A1　通常B2　通称C3
1522 通過　交通A1　通すA1　千枚通しB2
1526 往復　通いA1　開通B1　不通B1
1914 助数(4)　通B1
234 人物　通C3
3054 認識　見通しA2　精通C2
3065 計算(2)　通算C3
3111 通信　通話B1　通報C2
3720 交易　通帳B1　通い帳B3　流通C1
3823 通運　通運C3
471 道路　大通りA2　通り道A2　通路B1

弟 1315 テイ(中)　ダイ　デ(中)
おとうと

214 兄弟　兄弟A1　末弟C2　乳兄弟C4
241 職　弟子B1　門弟C2　内弟子C3

店 1347 テン
みせ

262 市・駅　店A1　夜店A2　商店B1

点 1348 テン

1710 地点　終点A2　重点B1　力点C2
181 点線　点A1　点点B3　点滴C4
3066 研究・探索　点呼C1　点検C3
3105 符号　零点A2　句読点B2
5132 火　点火C2　点滅C2

電 1355 デン

3111 通信　電報A1　電信B1　弔電C2
460 光具　電灯A1　電球A2
5101 自然(2)　電気A1　充電C1

刀 1368 トウ
かたな

453 武器　刀A1　竹刀C2

冬 1369 トウ
ふゆ

1611 年月　冬A1　冬至B1　冬眠B1　初冬C2

当 1371 トウ
あ-たる　あ-てる

100　何　本当 A1　正当 B1　当 B3　不当 C1
1102 関係　割り当て B1　当てはまる B1　配当 C1
1221 必要　当たり前 A1　当然 B1　当て字 B3
1562 衝突　突き当たり A2　当選 B1　風当たり B2
1616 際・臨　当分 B1　当座 C1　目の当たり C2
1620 古今　当日 B1　当時 B2　当世 C1
1911 助数(1)　一人当り D
201　自他　当人 B2　当方 C4
3067 推量　見当 A1　目当て A1　当て外れ B1
3310 就任　当番 A1　当事者 C1　当直 C2
3712 給与　手当 A1　抵当 C1　日当 D

東 1374 トウ
ひがし

1731 方角　東(ひがし) A1　東海道 B2

答 1394 トウ
こた-える　こた-え

3112 問答　答える A1　返答 B1
3722 贈与　贈答 C2　答礼 C2

頭 1401 トウ　ズ　ト㊞
あたま　かしら㊥

1621 初・末　先頭 A1　音頭 C2　陣頭 C4
1742 頂・央　指頭 D　柱頭 D
1780 周辺　口頭 B2　街頭 D　店頭 D
1912 助数(2)　頭 B1
243　役職　船頭 A1　頭取 C1　旗頭 C4
571　頭　頭 A1　頭脳 C2

同 1405 ドウ
おな-じ

100　何　同日 C2　同人 D
1120 異同　同一 B2　同病 C1　大同小異 C3
3062 区別　同士 A1　同化 C1　同宿 C3
3512 許諾　同調 C1　雷同 C3

道 1411 ドウ　トウ㊞
みち

1516 経路　道中 B2　道断 C4
255　府県　都道府県 D　北海道 D
3071 意義・道理　道徳 B1　人道 C1　伝道 C3
3080 法則　軌道 C1　無軌道 C2
3351 技芸(1)　柔道 B1　道楽 C1　弓道 C4
471　道路　道 A1　野道 A2　地下道 B2

読 1424 ドク　トク　トウ
よ-む

3060 理解　精読 C1　味読 C2　熟読 C3
3102 記述　読み A1　一読 B2　回読 C3
3120 筆録　読本 A1　副読本 B3　読点 C3

内 1432 ナイ　ダイ㊥
うち

1770 内外　案内 A1　内 A1　内省 C2

南 1433 ナン　ナ㊞
みなみ

1731 方角　南 A1　南天 B2　南下 C3

肉 1439 ニク

432　食品(3)　牛肉 A1　挽肉 B3
574　肉　肉 A1　肉体 B1　骨肉 C2

馬 1465 バ
うま　ま㊞

5600 動物(1)　馬乗り A2　出馬 C1

売 1477 バイ
う-る　う-れる

3721 売買　商売 A1　押し売り B2　売名 C2

買 1483 バイ
か-う

3721 売買　買い物 A2　買い占め B2　買収 C1

麦 1493 バク㊥
むぎ

431　食品(2)　麦飯 A2　麦湯 B3　麦粉 B3
5512 植物(3)　大麦 A2　小麦 B2　麦芽 C2

半 1509 ハン
なか-ば

1942 全欠　半ば B1　半減 C1　半途 C3

番 1529 バン

1622 順序　一番 A1　番組 A2　十八番 C3
3090 見　番人 A2　番犬 B1
3312 休・閑　当番 A1　週番 B2　非番 C4

父 1584 フ
ちち

212　父母　祖父 B1　養父母 C3

風 1608 フウ　フ(高)
かぜ　かざ

1301 風味　風情 C1　風采 C2　風体 C4
3110 談話　風刺 C2
3300 文化　風習 B2　風土 C1
3301 風俗　家風 C1　風潮 C1　風紀 C3
5122 晴曇　風鈴 A1　暴風雨 B2　風雪 C3

分 1629 ブン　フン　ブ
わ-ける　わ-かれる　わ-かる　わ-かつ

1553 分散　区分 B2　均分 C4
1916 助数(6)　分 A1
1917 助数(7)　時分 A1　五分五分 B2
1942 全欠　十分 A1　余分 B3
3060 理解　分かり A1　分からず屋 A2　無分別 C3
3062 区別　夜分 A2　取り分け B3
3400 身上　自分自身 A1　分際 C2
3724 配布　分家 B2　配分 C2

聞 1631 ブン　モン(高)
き-く　き-こえる

3093 聞　言い聞かせる A2　聞き取る B3
3110 談話　新聞 A1　又聞き B3　伝聞 C3
3307 声聞　外聞 C1　醜聞 C4

米 1643 ベイ　マイ
こめ

2531 各国　米国 B1　南米 C4
431 食品(2)　精米 B1　米穀 C1
5512 植物(3)　米 A1　玄米 B1

歩 1657 ホ　ブ(中)　フ(高)
あるー-く　あゆ-む

1521 歩行　飛び歩く A2　進歩 B1
1913 助数(3)　歩 B1
1918 助数(8)　歩合 C2
3350 遊楽　散歩 A1　そぞろ歩き C3
3392 足の動作　歩度 A1　徒歩 B2　歩測 C3

母 1663 ボ
はは

212 父母　小母さん A1　乳母 B1　母堂 C2

方 1669 ホウ
かた

1731 方角　遠方 A1　味方 A2　方位 C2
182 方円　立方体 B1　方解石 C4
2021 者・屋　親方 A2　土方 B3
2022 衆　皆様方 D
3081 方法　読み方 A1　方式 C2

北 1712 ホク
きた

1731 方角　北 A1　北緯 B2
3534 勝敗　敗北 C2

毎 1730 マイ

1615 再・毎　毎 A1　日毎 B2

妹 1731 マイ(中)
いもうと

214 兄弟　従姉妹 A1　姉妹 B1　弟妹 C4

万 1739 マン　バン(中)

1910 数詞　万国旗 B1　千差万別 C3　笑止千万 C4

明 1760 メイ　ミョウ
あ-かり　あか-るい　あか-るむ　あか-らむ　あ
き-らか　あ-ける　あ-く　あ-くる　あ-かす

1201 空・無　明け渡し C2　明け渡す C2
1211 露呈　証明 B1　判明 C1　声明 C2
1613 昼夜　夜明け A2　有明 C1
1620 古今　明後日 A1　文明 B1　明朝 B3
3016 温順・明朗　明るい A1　明朗 C2
3057 賢愚　発明 B1　公明正大 C2　明君 C3
5000 光(1)　光明 B1　照明 C1
5012 鮮明　明快 C1　鮮明 C3

鳴 1764 メイ
な-く　な-る　な-らす

3031 泣笑　怒鳴る A1　鳴き A1　鳴く A1
5020 音(1)　地鳴り B1　雷鳴 C1　鳴動 C4

毛 1771 モウ
け

420 糸布　毛糸 A1　純毛 B1
576 皮膚　毛皮 A2　羽毛 C2　産毛 C3

門 1779 モン
かど(中)

1914 助数(4)　一門 D
2100 家　門人 C1　名門 C3
443 門　校門 A2　門衛 C2

夜 1783 ヤ
よ　よる

1613 昼夜　夜更け A2　夜警 B2　おぼろ月夜 C2

野[1784] ヤ
の

1720 座席　外野B1　視野C1　分野C1
2330 官民　野党C1　野望C2
3301 風俗　野郎B2　野性C2　野人C3
5240 野　野菊A2　野営C2

友[1798] ユウ
とも

221　師友　学友B3　竹馬の友C3
3500 融和　友情B1　友好C1

用[1818] ヨウ
もち-いる

1500 作用　効用C1　反作用C4
3423 遂行　用A1　商用C2
3610 登用　起用C2　登用C2　雇用C4
3711 価値　学用品A2　自家用B3
3864 使用　信用B1　不用B3

曜[1836] ヨウ

1612 日　土曜A2　七曜表B2

来[1844] ライ
く-る　きた-る㊥　きた-す㊥

1526 往復　出来るA1　出来映えB3　外来C3
1620 古今　来週A2　来るB2　旧来C3

里[1857] リ
さと

1917 助数(7)　里B1　海里B2　五里霧中C3
254　都市　里A1
256　村里　郷里B1　人里C3

理[1858] リ

1113 因果　理由B1　不義理C3
3054 認識　屁理屈B3　理C2
3060 理解　理解B1　推理C1
3071 意義・道理　無理A1　真理B1　理性C1
3075 学問(2)　理科A1　地理B1　生理C1
3080 法則　理論B2　定理C1
3326 保健　理髪C1　理容C4
3601 管理　整理B1　管理C1
3842 家事(3)　料理A1　調理C1　手料理C3
3862 処理・修理　修理B1

話[1940] ワ
はな-す　はなし

3110 談話　電話A1　会話B1　講話C1
322　説話　昔話A2　説話C1　小話C4

3 年 配 当 漢 字

悪[4] アク　オ㊟
わる-い

1310 正邪　悪魔A1　善悪B1　悪し様C2
3025 好悪　意地悪A1　醜悪C3

安[8] アン
やす-い

1330 安危　安全A2　安易C1　安泰C2
1512 静止　安定B1　安静B2　不安定B2
1926 強弱　安いA1　安請け合いC3　割り安C3
3021 快楽　安心A1　心安いB3
3540 和平　平安C1　安穏C4

暗[10] アン
くら-い

5000 光(1)　暗がりA2　暗室B2　暗影C4

医[15] イ

241　職　医者A1　軍医C3
3075 学問(2)　医B3
3830 衛生　医薬C2　医療C2

委[17] イ

240　担当　委員B1
3611 任免　委嘱C1　委託C1
3623 命令　委ねるC1　委任C2

意[25] イ

3040 志念　得意A1　意志B1　来意C4
3071 意義・道理　意味A1　無意味C1　文意C3

育[32] イク
そだ-つ　そだ-てる

3620 教育　育てるA1　教育B1　育児C2
3810 栽培　飼育B1
581　生育　発育B2　生育C1

員[41] イン

1900 数(1)　定員B1　減員C3
2021 者・屋　乗員B2　客員C3
240　担当　船員A2　議員B1　公務員C2

院[42] イン

2020 氏・様　院B2
261 学校　寺院B1　書院C3　学院D
2640 機関(1)　病院A1　入院B1　参議院B2
4410 邸　書院D

飲[44] イン
の-む

3323 飲食　飲み水A2　暴飲C2
3396 喫食　飲み込むA2　固唾を飲むC2

運[51] ウン
はこ-ぶ

1510 活動　運びA1　運動A1
3302 運命　運命B1　悪運C2　運勢C3
3602 運営　運算B3　運営C1　運針C4
3823 通運　運送B1　水運B3　海運C3

泳[54] エイ
およ-ぐ

3392 足の動作　遠泳B2　背泳ぎB3

駅[67] エキ

262 市・駅　駅A1　駅弁B3

央[89] オウ

1742 頂・央　中央B1

横[98] オウ
よこ

1513 起倒　横たえるB1　横たわるB1
1730 縦横・傾斜　縦横A2　横綱B1　横目B3

屋[99] オク
や

2021 者・屋　屋A1　分からず屋A2
262 市・駅　八百屋A1　荒物屋B1　表具屋C2
440 家屋　豚小屋A2　楽屋C1
444 柱　屋根A1　屋台B3　屋形船C2

温[107] オン
あたた-か　あたた-かい　あたた-まる　あたた-める

1924 冷暖　温泉A1　生温いB3
3016 温順・明朗　温厚C2　温顔C4
5120 寒暑　温帯B1　温暖B2

化[110] カ　ケ㊥
ば-ける　ば-かす

1502 交替・修訂　進化B2　退化C1　俗化C2
203 神仏　お化けA2　化身C4　権化C4
3300 文化　文化B1　帰化C1　開化C3
3620 教育　感化C1　教化C1
5130 変化(1)　化けA1　化学B1　孵化C4

荷[125] カ㊥
に

3395 抱・負　重荷B1
400 貨財(1)　荷物A1　荷役C4

界[158] カイ

1700 空間　三界C2　下界C3　外界C3
1720 座席　界隈B3　視界C1
1721 限界　境界B2　限界C1
260 現場・世界　世界A1　財界C1　他界C1

開[162] カイ
ひら-く　ひら-ける　あ-く　あ-ける

1501 始終　開店B2　開設B3　開廷C4
1554 開閉　開け放すA2　開閉B3　申し開きC2
3065 計算(2)　開くA1　開平D
3812 土木　開通B1　開発B1　未開C2

階[163] カイ

1101 系列　音階B1　段階B2　階級C1
1914 助数(4)　二階A2
443 門　階段A2　地階C4

寒[227] カン
さむ-い

1924 冷暖　寒暖計A2　寒流B1　寒心C3
5120 寒暑　防寒B3　耐寒C2　余寒C4

感[239] カン

3001 感覚　感覚B1　予感C1　五感C3
3055 思考　感想A1　感化C1　万感C3
585 疾病　感冒B1　感染C1　流感C4

漢[240] カン

2021 者・屋　悪漢B3　痴漢C3
2531 各国　漢C3　和漢C3
3075 学問(2)　漢字A1　漢学D

館249 カン

263 家宅 図書館A2 博物館B2
4420 館 館B3 洋館B3 館C1

岸257 ガン
きし

473 港・城 岸壁C1
527 島 海岸A1 岸辺A2 対岸B2

起278 キ
お-きる お-こる お-こす

1210 発生 縁起C1 想起C4
1513 起倒 突起C1 奮起C3
3322 起居 朝起きA2 起き抜けC3
3391 立ち居 起立B1 起き上がり小法師B3 起つB3

期288 キ ゴ(高)

1610 時間 期間B1 農閑期B3 末期の水C3
3043 希望 期待B1 予期C1 期するC2

客313 キャク カク(中)

222 主客 客A1 客観C1 主客C3
234 人物 客間A2 客車B2 観客B3

究327 キュウ
きわ-める(中)

1952 極限 究極C3
3066 研究・探索 究明C1 追究C1

急329 キュウ
いそ-ぐ

1330 安危 急所B1 緊急C1 救急C2
1730 縦横・傾斜 急坂A1
1925 急緩 急行A1 急造C2

級330 キュウ

1101 系列 上級A2 等級B2 昇級C2
1902 数(3) 級数C3
266 組織 学級A1 級友B2

宮332 キュウ グウ(中) ク(高)
みや

2020 氏・様 宮A1 東宮C2
4410 邸 竜宮A2 宮廷C3 迷宮C4

球334 キュウ
たま

183 球・輪 球A1 球根B1 眼球C2
454 もてあそびもの(玩) 野球A1 排球C1 直球C3
520 天地 地球A1

去338 キョ コ
さ-る

1202 除却 除去C3 撤去C4
1526 往復 死去B1 辞去C4
1620 古今 過去B1 去るB2 過ぎ去るB3
3521 去就 去就C3

橋370 キョウ
はし

471 道路 鉄橋A1 架け橋C3

業378 ギョウ ゴウ(高)
わざ(中)

3074 学問(1) 業績C1 偉業C2
3311 勤労 職業B1 転業C2
3330 学業(1) 卒業A1 修業B2
3420 行為 軽業A1 仕業B1
3800 産業(1) 産業B1 企業C1

曲380 キョク
ま-がる ま-げる

1310 正邪 曲解C3 婉曲C4
1570 曲折 曲がるA1 曲がり角A2 湾曲C2
181 点線 曲線美C2
325 音楽 名曲B2 俗曲C1 曲目C3

局381 キョク

1600 位置 難局C1 戦局C3
1710 地点 局部C4
2640 機関(1) 局B1 薬局B1

銀397 ギン

400 貨財(1) 銀行A1
5111 物質(2) 銀A1 銀色A2 銀C2

区398 ク

1720 座席 区区A2 区域B1 地区C1
255 府県 区B1
3062 区別 区別A1 区切るB1

苦 400 ク
くる-しい　くる-しむ　くる-しめる　にが-い　にが-る

3022 悲苦　苦しむ A1　忍苦 C4
3041 勉励　苦学 B2
3304 苦難　苦手 B1　苦楽 C2　気苦労 C4
3740 貧困　貧苦 C1　困苦 C3
504 味　苦汁 C2　苦み走る C4

具 402 グ

1341 具備　具合 A1　具体的 C1　具現 C3
1561 附属　金具 B2　具 C4
1940 具備　具備 C3
450 宝貨　玩具 A1　農具 B2

君 411 クン
きみ

200 我　君 A1
2020 氏・様　諸君 A2　貴君 C3　細君 C3
231 君主　君子 C1　明君 C3

係 424 ケイ
かか-る　かかり

1102 関係　無関係 B2　係累 C4
1902 数(3)　係数 D
240 担当　係 A1

軽 436 ケイ
かる-い　かろ-やか㊥

1923 軽重　軽い A1　身軽い B2　軽減 C3
3028 賞嘆　軽軽しい B1　軽快 B3　軽妙 C3

血 452 ケツ
ち

577 血・乳　血 A1　血管 B1　流血 C3

決 453 ケツ
き-める　き-まる

3068 決定　決める A1　議決 B2　決然 C2
3423 遂行　解決 B1　決死 B1　決起 C3

研 464 ケン
と-ぐ㊥

3066 研究・探索　研究 B1　研鑽 B1　研修 C3
3863 加工　研ぐ A1　研ぎ澄ます B3

県 465 ケン

255 府県　県 B1　県庁 B1

庫 508 コ　ク㊥

2640 機関(1)　文庫 B2　国庫 C1
4421 倉　冷蔵庫 A2　車庫 B1　格納庫 C2

湖 509 コ
みずうみ

526 海　湖 A1　湖水 B1

向 535 コウ
む-く　む-ける　む-かう　む-こう

1520 発着　向かう A1　出向く B3
1730 縦横・傾斜　向こう A1　向こう見ず B3　動向 C3
3521 去就　歯向かい B2　転向 C1

幸 547 コウ
さいわ-い　さち㊥　しあわ-せ

3302 運命　幸福 B1　薄幸 C1

港 570 コウ
みなと

473 港・城　漁港 B2　入港 B2　寄港 C4

号 585 ゴウ

3031 泣笑　号令 A1　号泣 C4　怒号 C4
3101 名　番号 A1　号する C1　雅号 C4
3105 符号　信号 B1　暗号 C1
3123 編・巻　号外 B1

根 605 コン
ね

1040 基本　根強い B2　根城 C2
1930 算　根 B3
3040 志念　根性 B2　性根 B3
5513 植物(4)　根本(ねもと) A1　蓮根 B3

祭 631 サイ
まつ-る　まつ-り

3340 祝祭　祝祭日 B2　宵祭り B3　花祭り C2
3342 式典　祭り A1　祭礼 B3　地鎮祭 C4

皿 665 さら

1914 助数(4)　一皿 D　二皿 D
451 容器　皿 A1

仕 685 シ ジ(高)
つか-える

3311 勤労　仕事 A1　針仕事 A2　野良仕事 B3
3420 行為　仕業 B1　仕上げる B2　仕送り C2
3614 奉仕　奉仕 B1　仕える B2

死 692 シ
し-ぬ

582 死　死亡 B1　万死 C4

使 698 シ
つか-う

243 役職　召し使い A2　使者 B2　使徒 C2
3864 使用　使う A1　使用 B1

始 700 シ
はじ-める　はじ-まる

1501 始終　始終 A1　一部始終 C3
1621 初・末　始め A1　始業 B1　不始末 B3

指 707 シ
ゆび　さ-す

3091 指示　指名 B1　指標 C3
3394 手の動作(2)　指切り A2　屈指 C2
3623 命令　指導 B1　指令 C1　指弾 C4
573 手足　指人形 A2　人差し指 A2　指紋 C1

歯 715 シ
は

5761 歯・骨　歯科 B1　乳歯 B3

詩 718 シ

321 文学・芸術　詩集 B2　詩情 C2　詩趣 C4

次 728 ジ シ(中)
つ-ぐ　つぎ

1041 正副　次官 D　次席 D
1503 連絡　取り次ぎ B2　取り次ぐ B2
1600 位置　次第 B1　席次 C1
1621 初・末　次 A1　次男 B1　今次 C4

事 733 ジ ズ(高)
こと

101 事象　他人事 A2　惨事 C1
3320 生活　従事 B1　当事者 C1
3614 奉仕　師事 C3
3800 産業(1)　刑事 B1　土木工事 B1　理事 C3

持 736 ジ
も-つ

1200 存在　持ち場 B3　持ち前 B3　持ち味 C4
3394 手の動作(2)　持ち込む A2　持ち運び B3
3701 保持　持ち A1　持ち直す B3　堅持 C4

式 743 シキ

1100 様式　公式 B1　様式 C1　株式 C2
3065 計算(2)　式 A1　方程式 C2
3081 方法　新式 B2　単式 C3
3107 図表　図式 C4
3342 式典　儀式 B1　除幕式 C1

実 754 ジツ
み　みの-る

1030 真偽　実演 B2　無実 C1　有名無実 C4
1902 数(3)　実数 D
2101 実・義　実家 B2　実子 B2　実兄 C3
3012 誠実　堅実 C1　実直 C1　誠実 C1
5514 植物(5)　木の実 A2　果実 B1
581 生育　実り A1　実る A1

写 756 シャ
うつ-す　うつ-る

3102 記述　写し取る B3　模写 C1　転写 C2
3120 筆録　写し A1　写真 A1　青写真 C2
323 絵画　写生 A1　描写 C1
3863 加工　映写 B1　試写 C1

者 760 シャ
もの

2021 者・屋　何者 B3　強者 C3
240 担当　記者 B1　労働者 B3

主 780 シュ ス(高)
ぬし　おも

1041 正副　主に A1　主義 C1
2020 氏・様　主 A1
222 主客　坊主 A1　主人公 B3　主客 C3
231 君主　地主 B2　救世主 C3
243 役職　持ち主 A2　荷主 C3

守 781 シュ ス
まも-る　もり(中)

3532 防衛　守る A1　厳守 C1　攻守 C3

取 783 シュ
と-る

3063 採択　取り掛かり B2　取捨 C3

3700 取得　選り取り A2　鼠取り B3

酒 788 シュ
さけ　さか

3324 茶酒　酒盛り A2　禁酒 C2
433　食品(4)　酒 A1　酒屋 A2　神酒 C3

受 792 ジュ
う-ける　う-かる

1130 相対　受け A1　受ける A1　受動 C2
3512 許諾　引き受け A2　受け入れ B2
3700 取得　受け取る A2　受難 C1　受領 C3

州 799 シュウ
す(中)

255　府県　州 B1

拾 804 シュウ(中)　ジュウ(中)
ひろ-う

1910 数詞　拾 D
3394 手の動作(2)　拾い A1　拾う A1　拾得 C3

終 808 シュウ
お-わる　お-える

1501 始終　終わる A1　終止 C2
1621 初・末　終点 A2　終結 C1　有終 C4
1623 漸・即　終に A1

習 809 シュウ
なら-う

3052 学習　学習 B1　実習 C1
3053 記憶　習性 B2　習癖 C4
3300 文化　風習 B2　言い習わす C2

集 813 シュウ
あつ-まる　あつ-める　つど-う(中)

1551 集合　集める A1　召集 B1　集積 C2
1943 単複　集まり A1　集団 B1　群集 B2
3502 会合　集会 B1　参集 C2
3703 需給　募集 B1　徴集 C1
3831 編集　全集 B1　詩集 B2　集約 C3

住 821 ジュウ
す-む　す-まう

3321 居住　住まう A1　居住 B2　衣食住 C4
440　家屋　住まい A1　住居 B1

重 823 ジュウ　チョウ
え(中)　おも-い　かさ-ねる　かさ-なる

105　重要　重要 B1　丁重 C2
1320 便利　重宝 B1
1573 積重　重ね A1　重曹 C3
1615 再・毎　重出 D　重複 D
1914 助数(4)　八重 B1　羽二重 B3
1923 軽重　重荷 B1　重工業 B2　軽重 C2
3028 賞嘆　自重 C1

宿 831 シュク
やど　やど-る　やど-す

1615 再・毎　宿命 C1　宿望 C3
254　都市　宿場 B2
263　家宅　下宿 B1　宿帳 C3
3322 起居　宿泊 B2　同宿 C3

所 856 ショ
ところ

1600 位置　場所 A1　住所 B1　所在 C3
1700 空間　長所 B1　要所 C3
262　市・駅　便所 A1　停留所 A2　関所 B1
2640 機関(1)　託児所 C2　所轄 C3

暑 859 ショ
あつ-い

1924 冷暖　暑い A1　蒸し暑い A2　暑 C4
5120 寒暑　残暑 C2　炎暑 C3

助 865 ジョ
たす-ける　たす-かる　すけ(中)

1041 正副　助役 B1　助産婦 C2
3622 援護　救助 B1　賛助 C2

昭 884 ショウ

5000 光(1)　昭代 D

消 887 ショウ
き-える　け-す

1203 消滅　消しゴム A2　抹消 C1
3069 肯否　取り消す A2　消極 C2
5132 火　火消し A2　消え残る B3

商 893 ショウ
あきな-う(中)

1930 算　商 B1
2331 階層　士農工商 C3
241　職　商人 B1　商家 B3　呉服商 D
3720 交易　商い B1　商標 C1　隊商 C3
3801 産業(2)　商業 B1　商科 C3

章 895 ショウ

1914 助数(4)　一章D　二章D
3106 章段　章B1
3121 文章　文章B1　憲章C4
452 文具　勲章B1　帽章C4

勝 898 ショウ
かーつ　まさーる(中)

1321 英・逸　景勝C1　男勝りC2　名勝C3
3534 勝敗　勝負A1　準決勝B2　勝者B3

乗 924 ジョウ
のーる　のーせる

1541 乗降　乗せるA1　乗客B2
1573 積重　乗っかるA2　乗っけるA2
1580 増減　乗っ取るC4
3065 計算(2)　乗じるC3　乗法C3
463 船車　乗り合いA2　乗り物A2

植 941 ショク
うーえる　うーわる

3810 栽培　田植えA2　植林B1　植民地C1
5510 植物(1)　植物A1　植木A2　動植物B2

申 950 シン(中)
もうーす

3110 談話　申すA1　申し上げるA2
3116 届　申し出るA2　申告C1
3511 請求　申し立てB2　申し付けB3

身 953 シン
み

201 自他　身寄りB2　身銭C2　身勝手C4
3400 身上　身代わりB1　身柄C2
570 身体　身A1　身軽いB2　献身C3

神 958 シン　ジン
かみ　かん(中)　こう(高)

203 神仏　神社B1　神前B3　疫病神C4
3000 心　精神B1　神経質C2　神髄C3

真 963 シン
ま

1030 真偽　真ん丸A1　真意C1
1340 整斉・混雑　真空B1　真一文字B3　真砂C4
3012 誠実　真っ正直B3　純真C1

深 965 シン
ふかーい　ふかーまる　ふかーめる

1921 長短　情け深いA2　深入りB3　深刻C1

進 967 シン
すすーむ　すすーめる

1524 進退　進むA1　進展C1
1631 遅速　日進月歩C4
3331 学業(2)　進級B1　進路B3
3722 贈与　進物B3　進呈C1　進上C3

世 1011 セイ　セ
よ

1610 時間　後世B1　一世C2　世紀C4
260 現場・世界　世界A1　見世物A2　世情C2

整 1040 セイ
ととのーえる　ととのーう

1340 整斉・混雑　整うB1　整理B1　整然C1
1902 数(3)　整数D
3326 保健　整形C3
3861 設置　整備C1

昔 1046 セキ(高)　シャク(中)
むかし

1620 古今　昔A1　大昔A2　昔気質C4

全 1094 ゼン
まったーく

1942 全欠　全部A1　全般C1

相 1118 ソウ　ショウ(中)
あい

1130 相対　相談A1　相伴C3
1300 様相　粗相B2　世相C2
180 図形　形相C2　相似C3
243 役職　首相B1　外相C2
3030 表情　相槌B2　血相C3

送 1121 ソウ
おくーる

1526 往復　送還C1
3111 通信　放送A1　発送B2　郵送C1
3506 送迎　送りA1　送別B1
3724 配布　申し送りB3　仕送りC2　送付C2
3823 通運　運送B1　回送C3　搬送C3

想 1135 ソウ　ソ(高)

3053 記憶　回想C1　想起C4
3055 思考　無愛想B3　想C4
3067 推量　想像B1　予想B1　想定C2

息 1157 ソク
いき

1501 始終　一息に B3
1512 静止　息災 C4
213　子孫　愚息 C3　息女 C4
3030 表情　溜息 A2　寝息 B3　息巻く C2
3312 休・閑　休息 B1　安息 C3　息抜き C3
3713 損益　利息 B1
583　生理(1)　鼻息 A2　窒息 C1　吐息 C4

速 1158 ソク
はや-い　はや-める　すみ-やか㊥

1631 遅速　速まる B1　速成 C2
1925 急緩　速力 B1　速記 C1

族 1162 ゾク

2100 家　家族 A1　遺族 B2
230　民衆　種族 B3　氏族 D

他 1173 タ

201　自他　他界 C1　他郷 C4

打 1175 ダ
う-つ

1562 衝突　打ち明ける A2　打撃 B2　仕打ち C2
3393 手の動作(1)　打ち合う A2　本塁打 B2

対 1181 タイ　ツイ㊥

1130 相対　反対 A1　応対 C1
1730 縦横・傾斜　対岸 B2　対象 C1
1902 数(3)　対角線 C2　対照 C2　対流 C2
1943 単複　対句 C2　好一対 C4
3061 比較　絶対 B1　対決 C3

待 1184 タイ
ま-つ

3043 希望　期待 B1　待望 C1
3506 送迎　待つ A1　待ち伏せ B2　待避 C2
3630 待遇　虐待 C1　優待 C1

代 1198 ダイ　タイ
か-わる　か-える　よ　しろ㊥

1502 交替・修訂　代わり A1　交代 B1
1610 時間　現代 B1　前代未聞 C3
1720 座席　苗代 A1
201　自他　代理 B1　代人 C3
3712 給与　代 A1　足代 C2　代物 C4

第 1200 ダイ

1622 順序　次第に B1　第一印象 C3　第一線 C3
1911 助数(1)　第 A1
3331 学業(2)　及第 B1　落第 B1

題 1201 ダイ

3071 意義・道理　出放題 B3　難題 C1
3074 学問(1)　問題 A1　主題 C1
3101 名　題 A1　題する A2　演題 C1

炭 1220 タン
すみ

413　材料(4)　炭火 A2　練炭 B2　塗炭 C3
5111 物質(2)　石炭 A1　炭田 B2　炭化 C4

短 1224 タン
みじか-い

1921 長短　短文 B2　短命 B3　短 C4

談 1235 ダン

3110 談話　座談 B1　対談 B2　密談 C1
322　説話　美談 B1　怪談 C1　講談 C1
3511 請求　談判 B2　破談 C2

着 1255 チャク　ジャク㊥
き-る　き-せる　つ-く　つ-ける

1520 発着　着く A1　延着 C4
1560 接触　粘着 C2　着意 C4
1573 積重　落ち着き A1　着実 C2
1912 助数(2)　着 B1
3044 覚悟　横着 B2　執着 C2
3325 装身　薄着 A2　着服 C4
3394 手の動作(2)　着る A1　着替える A2　着飾る B2
421　被服　肌着 A2　合着 B3

注 1264 チュウ
そそ-ぐ

1530 出入　注意 A1　注目 B1
3114 解釈　注釈 C1　注進 C3
3703 需給　注文 A1　発注 C2

柱 1266 チュウ
はしら

444　柱　霜柱 A2　支柱 B2

丁 1272 チョウ　テイ㊥

1616 際・臨　丁度 A1
1917 助数(7)　丁 B3

帳 1279 チョウ

456　図冊　手帳 A2　帳簿 B3　宿帳 C3

調 1294 チョウ
しら-べる　ととの-う㊥　ととの-える㊥

1301 風味　口調 B1　単調 C1
1340 整斉・混雑　新調 B1　不調 C2
3066 研究・探索　調べる A1　調査 B1
3103 音声・語詞　哀調 C2　音調 D　声調 D
3702 会計　調達 C3
3842 家事(3)　調理 C1
5022 音(3)　調子 A1

追 1305 ツイ
お-う

1523 先導・追従　追い越す A2　追跡 C1
1623 漸・即　追い追い B1　追って C2　追っ付け C3
3066 研究・探索　追究 C1　追求 C2
3605 刑罰　追放 C1　追試験 C4　追徴 C4

定 1316 テイ　ジョウ
さだ-める　さだ-まる　さだ-か㊞

1512 静止　一定 B1　固定 C1
3068 決定　限定 C1　改定 C4
3536 服従　平定 C1

庭 1324 テイ
にわ

470　田園　庭 A1　庭球 B1

笛 1335 テキ
ふえ

454　もてあそびもの(玩)　笛 A1　横笛 B3　草笛 B3

鉄 1342 テツ

412　材料(3)　水鉄砲 A2　鉄筋 B1　鉄兜 B3
5111 物質(2)　鉄 A1　鉄(くろがね) C2

転 1351 テン
ころ-がる　ころ-げる　ころ-がす　ころ-ぶ

1502 交替・修訂　気転 B1　転業 C2
1511 回転　転がる A1　運転 B1　転落 C2
1515 転移　転校 B2　転地 C2
3310 就任　転任 B2　栄転 C1　転勤 C1

都 1360 ト　ツ
みやこ

254　都市　都 A1　都市 B1
255　府県　都 B2

度 1366 ド　ト㊞　タク㊥
たび㊥

1610 時間　今度 A1　度度 A2　都度 C1
1900 数(1)　度 A1　緯度 B1　経度 C4
1911 助数(1)　何度 A2　年度 C1
1950 程度　程度 B1　限度 C2
3411 徳操　度胸 B1　節度 C3
3620 教育　済度 D　得度 D
450　宝貨　調度 C3　用度 D
461　計器　分度器 B2　度量衡 C1

投 1372 トウ
な-げる

3117 提・寄　投書 B1　投ずる C2
3393 手の動作(1)　毬投げ A2　投影 C1　投入 C4

豆 1373 トウ　ズ
まめ

431　食品(2)　豆腐 A1　蜜豆 B2　煮豆 C1
5512 植物(3)　空豆 A2　大豆 A2　南京豆 B2

島 1380 トウ
しま

527　島　島 A1　半島 B1　無人島 B3

湯 1391 トウ
ゆ

3326 保健　湯上がり A2　湯冷め B2　入湯 D
5113 物質(4)　湯冷まし B2　ぬるま湯 D

登 1393 トウ　ト
のぼ-る

1540 上下　登山 B1　登頂 C4
3392 足の動作　木登り A2　攀登る B2
3610 登用　登用 C2　登竜門 C4

等 1395 トウ
ひと-しい

1101 系列　下等 B1　等外 B3　品等 C4
1120 異同　対等 C1　不平等 C4
1930 算　均等 C2　等式 D

動 1408 ドウ
うご-く　うご-かす

1510 活動　動揺 C1　鳴動 C4

童 1410 ドウ
わらべ(中)

205　老幼　児童 B1　童歌 C4

農 1458 ノウ

2331 階層　豪農 C3　士農工商 C3
3075 学問(2)　農学 C4　農事 C4
3810 栽培　農具 B2　農林 C2

波 1461 ハ
なみ

186　行列　音波 C1　波状 C3　周波数 C4
5123 波浪　波打ち際 A2　余波 B3　波浪 C3

配 1472 ハイ
くば-る

1574 配列　配列 C1　配する C2　配色 C2
211　夫婦　配偶者 C3
3605 刑罰　手配 C1
3703 需給　配給 B1　配当 C1
3724 配布　配る A1　心配 A1　配慮 C2
3823 通運　配達 A1　集配 B2　遅配 C3
3861 設置　配属 C2　配置 C2

倍 1478 バイ

1580 増減　倍する A1　人一倍 B2
3065 計算(2)　倍 A1　公倍数 B1

箱 1497 はこ

451　容器　玉手箱 A2　箱庭 A2

畑 1498 はた　はたけ

470　田園　畑 A1　田畑 C1

発 1502 ハツ　ホツ(中)

1210 発生　水力発電 C1　不発 C3
1501 始終　発端 C1
1520 発着　発信 B1　発着 B2　終発(↔始発) C3
1554 開閉　発達 B1　発散 C3
1913 助数(3)　～発(はつ) B1
3832 報刊　発行 A2　発布 C1　発禁 C4

反 1508 ハン　ホン(高)　タン(中)
そ-る　そ-らす

1132 非・否　違反 C1　反証 C4
1515 転移　反らす A1　反らす D
1526 往復　反映 C1　反転 C2
1570 曲折　反る A1　反歯 B3
1730 縦横・傾斜　反動 C1　反作用 C4
1918 助数(8)　反 B1　反物 B1
3044 覚悟　反省 B1
3501 断絶　反発 C1　反感 C2
3603 争乱　反逆 C1　反乱 C1

坂 1514 ハン(高)
さか

471　道路　急坂 A1　坂道 A2　上り坂 A2
523　山　坂 A1

板 1515 ハン　バン
いた

411　材料(2)　板の間 A2　立て板 C3

皮 1533 ヒ
かわ

420　糸布　毛皮 A2　皮革 C2
5513 植物(4)　竹の皮 B3　樹皮 D
576　皮膚　皮 A1　脱皮 C1

悲 1546 ヒ
かな-しい　かな-しむ

3022 悲苦　悲観 C1　悲喜劇 C3
3026 寛厳　慈悲 C1　無慈悲 C2

美 1553 ビ
うつく-しい

1311 美好　美声 C2　美味 C2　美男 C4
323　絵画　美術 B1
3632 賞賛　褒美 A1　美談 B1　賛美 C1
5013 美醜　美しい A1　美観 C2　美容 D

鼻 1556 ビ(中)
はな

571　頭　鼻水 A2　鼻筋 B2　鼻毛 B3

筆 1560 ヒツ
ふで

3120 筆録　筆跡 C1　筆頭 C4
320　創作　随筆 C1
452　文具　筆 A1　絵筆 B3　筆紙 C3

氷 1563 ヒョウ
こおり　ひ(高)

5113 物質(4)　氷滑り A2　氷河 B2　流氷 C2

表 1564 ヒョウ
おもて　あらわ-す　あらわ-れる

1211 露呈　表れ A1　表彰 C1　意表 C3
1750 表裏　表紙 A1　表札 B1
3102 記述　言い表す A1　表す A1　表現 B1
3107 図表　表 A1　七曜表 B2　一覧表 C2
3122 典籍　辞表 C1　表記 C2

秒 1571 ビョウ

1916 助数(6)　寸秒 D

病 1572 ビョウ　ヘイ(高)
や-む(中)　やまい

585 疾病　熱病 B2　病み上がり C3

品 1575 ヒン
しな

1303 品質　品評会 C1　粗品 C4
3411 徳操　気品 B2　品性 C1
400 貨財(1)　特価品 B2　逸品 C4

負 1591 フ
ま-ける　ま-かす　お-う

1902 数(3)　正負 D
3395 抱・負　負ぶさる A1　抱負 C1
3534 勝敗　負かす A1　負け惜しみ A2　負け戦 B3
3730 貸借　請け負う B1　負担 C1

部 1605 ブ

1914 助数(4)　部 B3　部数 D
1942 全欠　部屋 A1　患部 C2
2640 機関(1)　部落 B1　本部 B2　部署 C4

服 1610 フク

1913 助数(3)　一服 A2
3027 敬仰　敬服 C1　心服 C1　感服 C2
3310 就任　服務 C1
3325 装身　服飾 C4
3343 参拝　元服 C2　忌服 D　服装 D
3536 服従　征服 B2　不服 C1　承服 C3
3614 奉仕　服役 C2
3700 取得　服毒 C1　頓服 C3
421 被服　衣服 B1　私服 C2

福 1614 フク

3302 運命　幸福 B1　福の神 B2　福祉 C2

物 1621 ブツ　モツ
もの

400 貨財(1)　食物 B1　呼び物 B3
5101 自然(2)　植物 A1　生物 B1　万物 C1

平 1633 ヘイ　ビョウ
たい-ら　ひら

1321 英・逸　平生 A1　平年 B1　平易 C1
1330 安危　不平 A1　平穏 C1　平然 C2
1570 曲折　平均 B1　平行線 C2
1730 縦横・傾斜　水平 A2　平面 B1
1821 凹凸　平ら A1　地平線 B2　平板 C4
3536 服従　平に C3　平伏す C3
3540 和平　平和 B1　泰平 C2

返 1649 ヘン
かえ-す　かえ-る

1503 連絡　ぶり返し B2　返す返す B2　返り咲く C3
1513 起倒　煮え返る A2　寝返り B1
1526 往復　仕返し A2　返信 B3
1570 曲折　裏返し A2　裏返す A2
3731 弁済　返金 B2　返納 C2　返済 C3

勉 1656 ベン

3041 勉励　勤勉 B1　勉励 C2
3052 学習　勉強 A1　勉学 B1

放 1676 ホウ
はな-す　はな-つ　はな-れる

1530 出入　開けっ放し A2　開け放す A2　放出 C2
1553 分散　放す A1　放つ B1　放射能 C2
3017 粗暴・放漫　豪放 C3　奔放 C3　放蕩 C4
3331 学業(2)　放課 B2
3423 遂行　放る A1　出放題 B3　放任 C1
3605 刑罰　釈放 C1　放免 C4

味 1744 ミ
あじ　あじ-わう

1301 風味　風味 C1　地味 C2
3001 感覚　味わい B1　情味 C3
3094 味　毒味 B3　味読 C2　味得 C3
504 味　味付け B3　美味 C2　調味料 C4

命 1759 メイ　ミョウ(中)
いのち

3302 運命　運命B1　宿命C1　亡命C1
3611 任免　任命C1　特命C4　命C4
3623 命令　命じるC1・B1　用命C4
580 生命　命A1　短命B3　絶命C3

面 1767 メン
おも(中)　おもて(中)　つら(高)

1750 表裏　真正面A2　書面C1
1914 助数(4)　一面A1　社会面D
3030 表情　赤面C1　面汚しC4
3504 面会　対面B2　面接C1　直面C3
454 もてあそびもの(玩)　面(めん)A1　能面C4
571 頭　覆面B2　面当てC3

問 1781 モン
と-う　と-い　とん

3074 学問(1)　学問A1　顧問C1
3112 問答　問いA1　押し問答C3
3505 訪問　訪問B1　慰問C1　弔問C3

役 1786 ヤク　エキ(中)

240 担当　主役A2　子役C3　脇役C3
243 役職　役目A1　役人A2　上役B3
3311 勤労　使役C1　労役C2　懲役C4
3400 身上　役割B1　役立てるB1
3800 産業(1)　役者B1　雑役C2

薬 1789 ヤク
くすり

3324 茶酒　麻薬C2
434 薬剤　膏薬B1　薬B3　弾薬C3

由 1791 ユ　ユウ　ユイ(高)
よし(高)

101 事象　自由A1　自由詩C2　由由しいC3
1113 因果　経由C1　由緒C1　由来C1
3071 意義・道理　理由B1　由C3

油 1792 ユ
あぶら

413 材料(4)　油A1　給油C4
432 食品(3)　醤油A1　肝油B1　油菜B2
5112 物質(3)　石油B1　原油B2　油田C1

有 1799 ユウ　ウ(中)
あ-る

1200 存在　有るA1　有意義C1　有識C4
3701 保持　共有B3　専有C4

遊 1806 ユウ　ユ(高)
あそ-ぶ

1512 静止　遊動円木B3　遊牧C2　遊離C2
3350 遊楽　遊覧B2　外遊C2

予 1813 ヨ

1615 再・毎　予算B1　予選B3　予備C1
200 我　予C3

羊 1819 ヨウ
ひつじ

5600 動物(1)　羊A1　綿羊C3

洋 1820 ヨウ

1921 長短　洋洋(前途〜)C3
2531 各国　洋菓子B3　和洋C3
526 海　海洋B1　南洋B1　遠洋B3

葉 1826 ヨウ
は

5513 植物(4)　落ち葉A2　飼い葉C4

陽 1827 ヨウ

5000 光(1)　陽炎A1　斜陽C4　陰陽D
5100 自然(1)　陽気B1　陽極C3　陽電気C4
521 天　太陽A1

様 1830 ヨウ
さま

1100 様式　様式C1　多様C4
1300 様相　真っ逆様A2　異様B3　左様C2
2020 氏・様　王様A1　様A1　殿様B2
3081 方法　仕様A2

落 1848 ラク
お-ちる　お-とす

1540 上下　取り落とすA2　落日B3　落花C3
256 村里　部落B1　村落C1　集落C3
3302 運命　生まれ落ちるB3　落ち合うC4
3306 処世　手落ちB2　落胆C1
3331 学業(2)　落第B1　落後C3
3534 勝敗　陥落C1　落城C4
3742 富裕　没落C1　落ちぶれるC1

流 1868 リュウ　ル(高)
ながーれる　ながーす

1100 様式　中流 B1　女流 C2　時流 C3
1521 歩行　横流し C3　流用 C4
3301 風俗　流行る A2　流布 C1
3321 居住　流転 C1　流離 C2
3605 刑罰　流罪 C3
5102 自然(3)　流れる A1　交流 C1　流血 C3
5123 波浪　海流 B1　潮流 C1
525 川　電流 B1　支流 B2　奔流 C2

旅 1874 リョ
たび

3321 居住　旅館 B1
3350 遊楽　旅行 A1　旅芸人 C3

両 1878 リョウ

1914 助数(4)　両 D
1915 助数(5)　両替 C1
1943 単複　両院 C4　両側 D
463 船車　車両 C4

緑 1891 リョク　ロク(高)
みどり

5011 色(2)　新緑 B1　浅緑 C3

礼 1903 レイ　ライ(高)

3027 敬仰　無礼 B1　礼賛 C4
3340 祝祭　巡礼 C1　洗礼 C3
3342 式典　朝礼 B3　儀礼 C1　婚礼 C1
3390 礼容　礼 A1　目礼 C1　礼法 C2
3631 恩恵　謝礼 B2

列 1916 レツ

1101 系列　系列 C1　序列 C4
1574 配列　整列 B1　分列 B2　列席 C2
186 行列　列 A1　列島 B1
1914 助数(4)　一列　二列
3503 出欠　列する A1　参列 C1　列強 C2

練 1923 レン
ねーる

3052 学習　練る B1　未練 C2
3821 工(2)　精練 C2
3863 加工　練り固める B3　練り合わせる B3

路 1926 ロ
じ

1516 経路　家路 C2　遍路 C4
471 道路　道路 B1　路頭 C3

和 1939 ワ　オ(高)
やわーらぐ(中)　やわーらげる(中)　なごーむ(中)　なごーやか(中)

1330 安危　不和 C4
1930 算　和 B1
2531 各国　和歌 B1　大和魂 C3
3016 温順・明朗　柔和 C1　和やかに C1
3500 融和　調和 B1　和解 C2
3540 和平　平和 B1　和議 C4
5022 音(3)　和音 D
5120 寒暑　日和 B1　温和 C1
5130 変化(1)　和らぐ A1　中和 C1　緩和 C4

4 年 配 当 漢 字

愛 3 アイ

3026 寛厳　愛児 B2　敬愛 C2　相愛 C4

案 9 アン

3022 悲苦　案じる B1
3055 思考　考案 B2　懸案 C1　案出 C4
3071 意義・道理　議案 C1　提案 C1
3081 方法　新案 B2
3082 計画　名案 B2　立案 C1
3120 筆録　図案 B1　草案 C1　翻案 C3
320 創作　創案 C2

以 11 イ

1951 概略　以下 B1　以内 B1
604 助語(5)　以ての外 C3　以心伝心 C4

衣 12 イ
ころも(中)

3325 装身　脱衣 C1　衣食住 C4
421 被服　浴衣 A1　衣類 B2　衣料 C2

位 13 イ
くらい

1101 系列　各位 C1　譲位 C3
1600 位置　位置 B1　気位 C2　優位 C4
1622 順序　順位 B1　首位 C2

1700 空間　水位C2　方位C2
1950 程度　位(およその所)A1

囲[14]　イ
かこ-む　かこ-う

1133 被・脱　囲いA1　囲みA1　囲炉裏A1
1533 包囲　囲むA1　包囲C1
1780 周辺　周囲B1　雰囲気C2
1901 数(2)　胸囲B1

胃[19]　イ

575 臓　胃A1　胃液C1

印[38]　イン
しるし

180 図形　印(しるし)A1　印す(しる)D　印する(いん)D
2531 各国　印度D
3105 符号　目印A2　印象B1　第一印象C3
3120 筆録　消印B2　調印C1　割り印C4
3822 工(3)　印刷A1　印画紙C4
3863 加工　焼き印C3　烙印C4
452 文具　印(いん)A1　印紙B1　印鑑C2

英[55]　エイ

1321 英・逸　英気C1　英傑C3
2531 各国　英語A1　英国B1　英文C2
3057 賢愚　英知C2　育英C3　英才C3

栄[57]　エイ
さか-える　は-え㊞　は-える㊞

1311 美好　見栄A1　栄えC2
3042 栄誉　栄光C2　栄冠C3
3302 運命　栄転C1　栄達C2　栄進C3
3742 富裕　栄えB1　栄華C3
5812 茂・枯　栄養B1　栄枯C2

塩[83]　エン
しお

432 食品(3)　塩A1　食塩B1　塩分B3
5111 物質(2)　塩(えん)C3　塩素C4

億[100]　オク

1910 数詞　億C1

加[112]　カ
くわ-える　くわ-わる

1580 増減　増加B1　加害C4
3065 計算(2)　加算C3
3520 参加　参加B1　加盟C1

果[119]　カ
は-たす　は-てる　は-て

1113 因果　効果B1　成果C1　逆効果C2
1621 初・末　果たしてB1　果たすB1
1721 限界　果てB1　尽き果てるB3
3015 勇敢　果敢D
5514 植物(5)　果物A1　果樹B2　青果C4

貨[128]　カ

3710 金銭　貨幣C1　通貨C1
400 貨財(1)　貨車A2　貨物B1　滞貨C2

課[139]　カ

2640 機関(1)　課長D　総務課D
3074 学問(1)　放課B2　課程C2
3605 刑罰　課するC3
3623 命令　日課C1
3703 需給　課税C1

芽[143]　ガ
め

5513 植物(4)　芽生えB2　若芽B3　麦芽C2

改[153]　カイ
あらた-める　あらた-まる

1502 交替・修訂　改善B1　改装C2
3069 肯否　改札B1
3073 訂正・証明　改心B2　改悟C4

械[160]　カイ

462 器械　機械A1

害[171]　ガイ

1571 切断　自害C2
3304 苦難　害B1　有害B1
3421 犯罪　迫害C1　加害C4
3530 侵害　障害C1　妨害C1　要害C4
3713 損益　利害B1　損害B2　一利一害C2
5114 災害　水害B1　惨害C3
5821 傷害　傷害C1　危害C2　殺害C4

街173 ガイ　カイ㊥
まち

254　都市　街A2　街灯B2　繁華街C1

各178 カク
おのおの㊞

100　何　各B1
1943 単複　各自B2　各地B2
201　自他　各位C1

覚186 カク
おぼ-える　さ-ます　さ-める

3001 感覚　感覚B1　味覚C1
3044 覚悟　覚悟A1　自覚B1　不覚C2
3053 記憶　覚えるA1　見覚えるA2　一つ覚えC3

完216 カン

1942 全欠　完全B1　完備C1　未完C3

官218 カン

2330 官民　官舎B3　官C3　官選C4
2331 階層　上官B3　官位C2
243　役職　左官B2　任官C3

管242 カン
くだ

183　球・輪　管(くだ)A1　管(かん)B1
3601 管理　管理C1　管轄C2
3701 保持　保管C1
414　部品(1)　土管A2　気管C1

関243 カン
せき

1102 関係　関するB1　関心C2　関知C4
2020 氏・様　大関B2　関取B3

観252 カン

1300 様相　概観C1　美観C2
3054 認識　観音B2　主観C1　達観C2
3055 思考　楽観C1　観念C1　悲観C1
3090 見　観測B1　拝観C1　観点C3
5281 景　景観C2

願262 ガン
ねがーう

3044 覚悟　願いA1　祈願C1　宿願C3
3511 請求　嘆願C1　懇願C4

希268 キ

3043 希望　希望B1　希うC3

季273 キ

1611 年月　四季B1　春季B1　季C1

紀274 キ

1610 時間　紀元B1　二十世紀B2　世紀C4
1611 年月　芳紀C2
3080 法則　風紀C3
3123 編・巻　紀行C1

喜285 キ
よろこ-ぶ

3021 快楽　喜びA1　喜怒哀楽C3　糠喜びC4

旗292 キ
はた

455　標額　万国旗B1　弔旗C3

器293 キ
うつわ㊥

3411 徳操　不器用B2　器量C2　不器量C4
450　宝貨　漆器B2　土器B2　磁器C2
451　容器　洗面器A2　器物C2
462　器械　器具B1　打楽器C1　変圧器C3

機295 キ
はた㊥

1610 時間　機B1　機運C2
462　器械　蓄音機A1　電動機C2

議307 ギ

3113 議論　決議B1　議案C1　合議C2
3511 請求　抗議C1　争議C1　和議C4

求326 キュウ
もと-める

3043 希望　求めるB1　欲求C1　求婚C4
3066 研究・探索　求心力C3
3092 探求　求人C1　追求C2　求知心C3
3511 請求　求めB1　要求B1　請求C1

泣328 キュウ㊥
な-く

3031 泣笑　泣く A1　嬉し泣き B3　泣き寝入り C2

救 333　キュウ
すく-う

3622 援護　救い A1　救援 C1　救命具 C2

給 335　キュウ

3703 需給　供給 C1　自給自足 C2　給油 C4
3712 給与　俸給 B1　支給 C1　無給 C3
3722 贈与　給食 A1　給付 C2　給費 C4
3861 設置　給仕 B1　配給 B1　女給 C3

挙 343　キョ
あ-げる　あ-がる

1540 上下　挙手 C2　挙げ足とり C2
1942 全欠　列挙 C1　大挙 C2
3420 行為　挙動 C1　快挙 C4
3610 登用　選挙 B1　検挙 C1　推挙 C3

漁 349　ギョ　リョウ

3813 漁猟　大漁 B1　不漁 C2

共 351　キョウ
とも

1130 相対　共 A1　諸共に C1
1943 単複　共同 B1　共謀 C1

協 357　キョウ

266 組織　協会 C1
3500 融和　協議 C1　協定 C1　協約 C4
3520 参加　協力 B1　協賛 C4

鏡 372　キョウ
かがみ

460 光具　望遠鏡 A2　鏡台 B2　老眼鏡 C3

競 373　キョウ　ケイ
きそ-う(中)　せ-る(高)

3531 抗争　競走 A1　競り C3

極 382　キョク　ゴク(中)
きわ-める(中)　きわ-まる(中)　きわ-み(中)

1621 初・末　至極 B1　極秘 C3
1721 限界　極楽 B2　極言 C3
1952 極限　極まる B1　積極 C1　消極 C2
3068 決定　見極め B2　月極め B3
5101 自然(2)　陰極 C2　電極 C3　陽極 C3
5280 地帯　北極 B1　南極 C1　極地 C3

訓 412　クン

3103 音声・語詞　音訓 C2
3620 教育　訓 B1　訓示 C1

軍 415　グン

265 軍隊　軍 B1　孤軍奮闘 C2　敗軍 C3
3533 軍事　軍配 B2　軍歌 B3　軍需 C2

郡 416　グン

255 府県　郡 B1　郡部 C3

径 422　ケイ

1516 経路　径 C4
1901 数(2)　直径 B1　半径 B1　口径 C4

型 425　ケイ
かた

1100 様式　大型 A2　典型 C2
180 図形　模型 A1　流線型 A2　類型 C1
415 部品(2)　型 B1　雛型 B2

景 435　ケイ

5281 景　風景 B1　殺風景 C1　夜景 C3

芸 444　ゲイ

3050 才能　芸能 C1　芸名 C3
3074 学問(1)　学芸会 A2　園芸 B2　農芸 C4
321 文学・芸術　芸術 B1　文芸 B2
3351 技芸(1)　演芸 B1　芸者 C3

欠 450　ケツ
か-ける　か-く

1201 空・無　欠く B1　欠き餅 B3　欠如 C4
1581 補充　補欠 B1　欠航 C4
1940 具備　欠点 B1　欠陥 C1　不可欠 C2
1942 全欠　欠食 C4
3503 出欠　欠勤 B2　欠礼 C4
3713 損益　欠損 C2

結 454　ケツ
むす-ぶ　ゆ-う(中)　ゆ-わえる(中)

1551 集合　結わえる A1　連結 B2

1621 初・末　結構 A1　結成 C2
3341 結婚　結婚 B1　結納 C3
3510 契約　結ぶ A1　締結 C2
5131 変化(2)　結晶 B1　凍結 C1

建 463
ケン　コン(慣)
たてる　たつ

3117 提・寄　建て前 C2
3822 工(3)　建設 B1　掘っ建て小屋 B3　建立 C2

健 470
ケン
すこやか(中)

3015 勇敢　健気 B1　穏健 C1　剛健 C2
3326 保健　保健 B2　健忘症 C3
5860 健康　健康 B1　健在 C2

験 485
ケン　ゲン(慣)

3066 研究・探索　実験 B1　試験管 B3　効験 C3
3331 学業(2)　試験 B1　無試験 C2

固 502
コ
かためる　かたまる　かたい

1615 再・毎　固より B2　固有名詞 C3
1623 漸・即　固定 C1
3015 勇敢　確固 C1　固守 C2
5051 硬軟　固い A1　堅固 C1
5102 自然(3)　固まり A1　固体 B1　固形 C3

功 529
コウ　ク(慣)

3422 成績　功績 B1　功徳 C1　老功 C2

好 537
コウ
このむ　すく

1311 美好　好都合 B2　好況 C2　好評 C2
3025 好悪　好く A1　好物 B2　同好 C2

候 559
コウ
そうろう(慣)

1031 徴候　兆候 C3　徴候 C3
1610 時間　候 C3
3504 面会　居候 C2　斥候 C4
5120 寒暑　時候 B1　測候所 C3

航 562
コウ

1521 歩行　密航 C2　渡航 C3
3823 通運　航空 B1　巡航 C2　周航 C4

康 566
コウ

5860 健康　健康 B1　小康 C3

告 591
コク
つげる

3110 談話　告げ口 B2　申告 C1　急告 C2
3111 通信　広告 A1　報告 B1
3115 宣告　告訴 C1　被告 C1　告発 C2

差 617
サ
さす

1120 異同　交差 B2　無差別 C2
1530 出入　差し込む A2　状差し B3　差し入れる C3
1930 算　差 B1　差し引き B1　差し引く B1
3062 区別　時差 C2　差額 C3　落差 C3
3072 過誤　誤差 C1
3091 指示　人差し指 A2　差し向かい B3
3394 手の動作(2)　差し出す A2　日差し B2

菜 634
サイ
な

432 食品(3)　菜(さい) B1
5510 植物(1)　山菜 B1　蔬菜 C3

最 635
サイ
もっとも

1952 極限　最前 B1　最低 B2

材 643
ザイ

234 人物　人材 C1　適材 C1
410 材料(1)　材料 A1　素材 C1
411 材料(2)　材木 A1　用材 B3　材 C3

昨 650
サク

1620 古今　昨晩 A2　昨年 B1　昨夜 B2

札 658
サツ
ふだ

401 貨財(2)　検札 B3　改札 D　出札 D
455 標額　立て札 A2　名札 B3　制札 C3

刷 659
サツ
する

3822 工(3)　刷る A1　色刷り B3
3844 家事(4)　刷新 C1

殺 660 サツ サイ㊟ セツ㊟
ころ-す

3421 犯罪 人殺し A2 殺人 B2
5821 傷害 皆殺し A2 暗殺 C1 笑殺 C4

察 661 サツ

3066 研究・探索 警察署 A1 考察 C1 検察 C3
3067 推量 察する B1 察知 C4
3090 見 視察 B1

参 668 サン
まい-る

1526 往復 持参 B1 参内 C4
1910 数詞 参 D
3063 採択 参考 B1 参照 C2 参酌 C4
3343 参拝 墓参り A2 代参 C3
3503 出欠 遅参 C4 不参 C4
3520 参加 参議院 B2 古参 C2 新参 C4
3536 服従 降参 A1

産 672 サン
う-む う-まれる うぶ㊟

1210 発生 産地 B2 無産階級 C3
3710 金銭 財産 B1 動産 C2
3801 産業(2) 生産 B1 林産 B3
580 生命 産声 B3 産湯 C1 産科 C3

散 674 サン
ち-る ち-らす ち-らかす ち-らかる

1340 整斉・混雑 散らかる A1 追い散らす B3 散乱 C2
1553 分散 散り散り A2 当たり散らす C3
3002 驚・酔 散漫 C3
3312 休・閑 閑散 C4
3350 遊楽 散歩 A1 散策 C3
3502 会合 解散 B1 散会 C4 退散 C4

残 678 ザン
のこ-る のこ-す

1213 残余 咲き残る A2 仕残す B3 残像 C2
1941 余剰 書き残す B2
3026 寛厳 残虐 C1 残忍 C2

士 680 シ

2021 者・屋 紳士 B1 名士 B2 弁士 C2
2331 階層 武士 B1 士気 C2
241 職 代議士 C1

氏 684 シ
うじ㊥

2020 氏・様 彼氏 B1
2100 家 氏子 B2 氏神 B2
3101 名 氏 B1 氏名 B1

史 686 シ

3075 学問(2) 史 C1 史料 C3 史家 C4
322 説話 戦史 C3
3300 文化 歴史 B1 史跡 C1 史実 C2

司 687 シ

2640 機関(1) 行司 A1 国司 D
3601 管理 司会 B1 司る C2

試 717 シ
こころ-みる ため-す㊥

3066 研究・探索 試し A1 試験管 B3
3331 学業(2) 試験 B1 入試 C2 追試験 C4

児 732 ジ ニ㊥

205 老幼 小児 B2 託児所 C2 早生児 C4
213 子孫 愛児 B2 孤児 C1 育児 C2

治 735 ジ チ
おさ-める おさ-まる なお-る なお-す

3073 訂正・証明 治し A1
3540 和平 治まる A1 治安 C1
3600 支配 退治 A1 法治国 C3
3812 土木 治水 C2
3830 衛生 治療 B1 主治医 C3 療治 C3
585 疾病 治る A1 全治 C2

辞 740 ジ
や-める㊥

3100 言語 辞典 B1 言辞 C2
3103 音声・語詞 助辞 D 接頭辞 D 接尾辞 D
3121 文章 お世辞 B2 答辞 C1
3505 訪問 辞世 C1 辞する C2
3513 拒否 辞意 C1 固辞 C2

失 747 シツ
うしな-う

1203 消滅 失敬 B1 失せる C2 喪失 C4
3072 過誤 失策 C1 失態 C3 失火 C4
3331 学業(2) 失格 C1
3422 成績 失敗 A1

3713 損益　損失B1　得失C1

借772　シャク
かーりる

3730 貸借　借り手B2　貸借C1　前借C4

種789　シュ
たね

1100 様式　種B1　種族B3
5514 植物(5)　種A1　種痘B1　種本C3

周802　シュウ
まわーり

1525 周回　周旋C2　周波数C4
1780 周辺　周囲B1　周辺C1　周知C3
1901 数(2)　円周B3
3058 綿密　周到C1

祝830　シュク　シュウ(高)
いわーう

3045 祝賀　祝電B2　祝意B3　前祝いC2
3340 祝祭　祝祭日B2

順850　ジュン

1622 順序　順位B1　手順C3
3016 温順・明朗　従順C1　恭順C4
3536 服従　順法C3　順守C4

初855　ショ
はじーめ　はじーめて　はつ　うい(高)　そーめる(中)

1501 始終　初めてD
1621 初・末　初春B2　初一念C4

松882　ショウ
まつ

5511 植物(2)　松葉A2　松の内C4

笑891　ショウ(中)
わらーう　えーむ(中)

3031 泣笑　笑顔A1　微笑ましいA2　苦笑C2

唱892　ショウ
となーえる

3110 談話　唱えるB1　主唱C4　首唱C4
325 音楽　唱歌A1　愛唱C2　輪唱C2
3353 歌舞　暗唱B1　朗唱C3　唱和C4

焼901　ショウ(中)
やーく　やーける

3842 家事(3)　丸焼きB2　蒸し焼きB3
5132 火　焼きA1　焼き付けるB3　焼却C2

象907　ショウ　ゾウ

101 事象　現象C1　第一印象C3　万象C4
1302 形姿　象徴C1
180 図形　象るB1
5100 自然(1)　気象B1
5600 動物(1)　象A1　象牙B2

照910　ショウ
てーる　てーらす　てーれる

3061 比較　参照C2　対照C2
5001 光(2)　照らすA1　照準C1　照明C1
5122 晴曇　照りA1　照る照る坊主A2

賞915　ショウ

3028 賞嘆　賞するB1　賞味C3　賞揚C4
3632 賞賛　賞金B1　賞与C1　賞杯C3

臣952　シン　ジン

2331 階層　臣C2
243 役職　大臣A1

信956　シン

3027 敬仰　信望C1　威信C4
3044 覚悟　信念B1　信条C1　背信C4
3056 迷惑　信者B3　不信任C2
3105 符号　信号B1　赤信号B3
3111 通信　受信B1　送信B3　私信C1

成1014　セイ　ジョウ(高)
なーる　なーす

1210 発生　水成岩B2　結成C2
3422 成績　成功B1　成算C1　成仏C2
3860 製作　作成B2　落成C1　醸成C4
581 生育　成虫B3　育成C2

省1026　セイ　ショウ
かえりーみる(中)　はぶーく

1201 空・無　省くB1　省略B1
2640 機関(1)　省B2
3044 覚悟　省みるB1　帰省C1　人事不省C3

清1028　セイ　ショウ(高)
きよーい　きよーまる　きよーめる

1350 清素　清書B1　清算C2
3011 清廉　清清するB3　清栄C4
5050 清濁　清水B1　清けくC2

静 1038 セイ　ジョウ㊥
しず　しず-か　しず-まる　しず-める

1512 静止　静まるA1　安静B2　静C4
3016 温順・明朗　冷静C1　静観C3
5021 音(2)　静かA1　静粛C2　閑静C3

席 1049 セキ

1600 位置　首席B2　主席C2　陪席C4
1720 座席　退席B2　同席C3

積 1053 セキ
つ-む　つ-もる

1541 乗降　積み荷B2　積み込むB2
1573 積重　積み木A2　積年C3
1580 増減　蓄積C1　累積C4
1930 算　体積B1　面積B1　容積B1
3065 計算(2)　見積もりB2　見積もるB2　積C3

折 1057 セツ
お-る　おり　お-れる

1570 曲折　折角A1　折り詰めB3　折衷C1
1610 時間　折折A2　時折B3　折良くC2
3393 手の動作(1)　折るA1　折り返すB3
手折るC4

節 1064 セツ　セチ㊫
ふし

1610 時間　季節A1　節分B1　折節B2
1914 助数(4)　節B1
3020 志操　節操C1　節度C3
3046 節義　節制C1　節煙C3
3103 音声・語詞　節(ふし)A1
3106 章段　章節D
325 音楽　曲節D　節(ふし)D　節まわしD
3741 節倹　調節B1　節約B3　節倹C3
5513 植物(4)　節A1
573 手足　関節B2　腕っ節B2

説 1065 セツ　ゼイ㊫
と-く

3074 学問(1)　説C1　卓説C3
3110 談話　説教B2　説法C2　遊説C3
3113 議論　論説C1　自説C3　説諭C4
3114 解釈　解説B1　力説C2
322 説話　小説B1　説話C1

浅 1076 セン㊥
あさ-い

1921 長短　浅いA1　浅瀬B2　浅慮C4
3014 卑屈　浅はかC1　浅ましいC1　浅学C3

戦 1083 セン
いくさ㊥　たたか-う

3023 恐怖・憤怒　戦慄D
3531 抗争　対戦B2　観戦C3
5861 痛・麻　戦死A2　戦没C3

選 1090 セン
えら-ぶ

3063 採択　選るA2　選択C1　選るC3
3610 登用　選定B2　粒選C2

然 1097 ゼン　ネン

1300 様相　偶然C1　厳然C3
5100 自然(1)　自然A1　天然B1
603 助語(4)　然らばC4　然る者C4

争 1115 ソウ
あらそ-う

3531 抗争　競争A1　論争C1　争論C4
3541 騒乱　争議C1　闘争C1　紛争C1
3603 争乱　争いA1　争奪C2

倉 1122 ソウ
くら

4421 倉　倉A1　倉庫B1

巣 1128 ソウ㊫
す

3321 居住　空き巣B3　空き巣ねらいB3
440 家屋　巣A1　巣箱A2　古巣B2

束 1153 ソク
たば

1551 集合　束ねるA1　束子A2　束ねるC2
186 行列　装束C3
1914 助数(4)　束C3
3624 規制　拘束C1　不束C3

側 1159 ソク
かわ

1750 表裏　内側A2　側面C1
1780 周辺　側A1　側近C2　側杖C3

続 1165 ゾク
つづ-く　つづ-ける

1503 連絡　手続き B1　勤続 C1　存続 C2
1780 周辺　地続き D　陸続き D

卒 1166 ソツ

1501 始終　卒業 A1
242　将兵　兵卒 C4
582　死　卒倒 C1

孫 1170 ソン
まご

213　子孫　子孫 B1　初孫 C4

帯 1188 タイ
お-びる　おび

1720 座席　所帯 C2　世帯 C2
3325 装身　帯びる A1　眼帯 C2　帯する C4
3701 保持　帯出 C2　付帯 C4　連帯 C4
421　被服　帯 A1　帯封 C2
5280 地帯　寒帯 B1　一帯 B3　亜熱帯 C2

隊 1194 タイ

186　行列　楽隊 A1　隊商 C3
265　軍隊　隊 B2　艦隊 C1

達 1213 タツ

1520 発着　達する B1　到達 C1
3052 学習　熟達 C1　達意 C2
3306 処世　栄達 C2
3623 命令　達し B1　伝達 C1　下達 D
3724 配布　配達 A1　速達 B1
3823 通運　調達 C3

単 1219 タン

1943 単複　単物 B3　単記 C2

置 1246 チ
お-く

1512 静止　位置 B1　据え置き C1　差し置く C4
3861 設置　設置 C1　配置 C2　措置 C3

仲 1258 チュウ㊥
なか

1102 関係　仲間外れ A2　恋仲 C4
220　相手　仲間 A1
3500 融和　仲直り A2　仲違い B2
3507 仲介　仲裁 C1　仲介 C2

貯 1271 チョ

3701 保持　貯金 A1　貯水池 B2　貯蓄 C1

兆 1275 チョウ
きざ-す㊟　きざ-し㊟

1031 徴候　兆し C2　兆候 C3
1910 数詞　兆 C2

腸 1289 チョウ

575　臓　胃腸 B2　盲腸 C1　直腸 C4

低 1312 テイ
ひく-い　ひく-める　ひく-まる

1921 長短　最低 B2　低調 C1　低迷 C4

底 1317 テイ
そこ

1771 奥底　到底 B1　根底 C2

停 1326 テイ

1512 静止　停電 A2　停戦 C2
3331 学業(2)　停学 C2

的 1334 テキ
まと

1710 地点　目的 B1　的中 C1
3058 綿密　的確 C2
455　標額　的 A1　金的 C4　射的 C4

典 1346 テン

3080 法則　典型 C2
3122 典籍　事典 B1　辞典 B1　出典 C2
3342 式典　祭典 D　祝典 D

伝 1353 デン
つた-わる　つた-える　つた-う

1503 連絡　伝わる A1　秘伝 C2
1525 周回　手伝い A1　伝染病 B1　伝聞 C3
3102 記述　伝記 B1　自伝 C3
3111 通信　言伝 B1　伝書鳩 B2　伝言 C2
322　説話　伝え A1　言い伝え B2
3300 文化　伝統 C1
3620 教育　伝授 C2

徒 1358 ト

2021 者・屋　生徒 A1　信徒 C1　使徒 C2
2022 衆　暴徒 C2　徒党 C4
220　相手　徒弟 C3
3392 足の動作　徒競走 B3　徒 C3
570　身体　徒歩 B2　徒渉 D

努 1365 ド
つと-める

3041 勉励　努めて C4
3052 学習　努力 B1

灯 1370 トウ
ひ(高)

460　光具　街灯 B2　灯心 C3
5132 火　灯す A1　灯火 C1

堂 1409 ドウ

261　学校　講堂 A1
4420 館　食堂 A1　母堂 C2　殿堂 C4

働 1412 ドウ
はたら-く

3311 勤労　労働者 B3　下働き C3　重労働 C3
3420 行為　働かす A1　働き A1　働く A1

特 1417 トク

1100 様式　特徴 B1　独特 B2
135　特殊　特産 B3　特種 C2　特典 C3

得 1418 トク
え-る　う-る(中)

3060 理解　体得 C1　味得 C3
3700 取得　得る(える) B1　既得 C2
3713 損益　得 A1　得失 C1　利得 C4

毒 1422 ドク

3324 茶酒　毒味 B3　服毒 C1
434　薬剤　毒 A1　毒毒しい B2　毒消し B3
5114 災害　中毒 B2　防毒 C3
5821 傷害　毒 A1　毒素 C4

熱 1449 ネツ
あつ-い

1924 冷暖　熱い A1　熱湯 B2　熱り立つ C2
5120 寒暑　亜熱帯 C2　熱れ C4
5132 火　電熱 B2　過熱 C1　地熱 C2
584　生理(2)　発熱 B2　猩紅熱 C3

念 1451 ネン

3040 志念　記念 B1　専念 C1　失念 C3
3055 思考　概念 C1　疑念 C3　雑念 C4

敗 1474 ハイ
やぶ-れる

3422 成績　失敗 A1　成敗 C1
3534 勝敗　敗北 C2　敗訴 C4
5821 傷害　腐敗 C1　敗残 C4

梅 1479 バイ
うめ

5511 植物(2)　梅干し A2　梅雨 C1

博 1491 ハク　バク(高)

1921 長短　博士 B2　博識 C1

飯 1521 ハン
めし

3323 飲食　飯炊き B3　飯台 C4
430　食品(1)　握り飯 A2　飯米 B2

飛 1542 ヒ
と-ぶ　と-ばす

1521 歩行　飛白 A1　飛び火 B3　高飛び C4

費 1548 ヒ
つい-やす(中)　つい-える(中)

3702 会計　雑費 B2　入費 C4
3711 価値　空費 C1　費え C2

必 1558 ヒツ
かなら-ず

1221 必要　必至 B1　必然 C1

票 1566 ヒョウ

401　貨財(2)　伝票 C1
456　図冊　開票 B2　散票 C4

標 1569 ヒョウ

1710 地点　標準 B1　目標 B1
3105 符号　商標 C1　音標文字 C3　指標 C3

455 標額　標本B1　道標C3

不 1582 フ　ブ

1132 非・否　不安B1　不可解C1　不渡りC3

夫 1583 フ　フウ(中)
おっと

2021 者・屋　水夫A2　人夫B1
211 夫婦　夫婦(ふうふ)A1　夫人B1　令夫人C4

付 1585 フ
つ-ける　つ-く

1133 被・脱　食い付きA2　塗り付けるA2　はんだ付けC4
1560 接触　気付けA2　据え付けB2　付け目B3
1561 附属　付き添うA2　添付C2
1941 余剰　付加C3
3722 贈与　給付C2　送付C2　納付C4

府 1588 フ

255 府県　府立D
2640 機関(1)　幕府B2　府県D

副 1611 フク

1041 正副　副食物B2　副読本B3
1561 附属　副産物B2　副作用C1

粉 1622 フン
こ　こな

431 食品(2)　汁粉A2　麦粉B3
435 紅墨　天花粉A2　洗い粉B3　脂粉C3
5102 自然(3)　粉粉A2　澱粉B1　粉乳C4

兵 1634 ヘイ　ヒョウ(高)

242 将兵　兵者B2　水兵C4　兵馬C4
3533 軍事　兵役C4
453 武器　兵器B3

別 1646 ベツ
わか-れる

1041 正副　別段B1　別格C4　別表C4
3062 区別　識別C1　別個C3
3506 送迎　死に別れるB2　離別C2

辺 1648 ヘン
あた-り　べ

1742 頂・央　天辺A1
1780 周辺　辺りA1　周辺C1
181 点線　四辺形B3　等辺C2　斜辺C3
256 村里　辺鄙B3　辺地C4
260 現場・世界　岸辺A2　辺B1　磯辺C4

変 1650 ヘン
か-わる　か-える

1120 異同　相変わらずA2　変調C3
1351 珍奇　変わり者A2　変人B3　変死C3
1502 交替・修訂　変装B3　変声期C4
1902 数(3)　変数D
3304 苦難　異変C3
3603 争乱　変A1　変動C1
5114 災害　大変A1　天変地異C4

便 1655 ベン　ビン
たよ-り

1320 便利　便利A1　便宜C1　音便C3
3111 通信　便りA1　便箋B1
3823 通運　便乗C1　便C4
578 便　小便A1　便通A2　用便C2

包 1670 ホウ
つつ-む

1133 被・脱　包帯A1　小包A2　包み隠すB3
1533 包囲　包むA1　包括C2　包容C4

法 1677 ホウ　ハッ(高)　ホッ(高)

1902 数(3)　法B1
3065 計算(2)　乗法C3　除法D
3075 学問(2)　法科D
3080 法則　便法C1　法外C3　無法C4
3081 方法　用法B2　技法C4

望 1704 ボウ　モウ(中)
のぞ-む

3043 希望　絶望B2　野望C2
3090 見　望遠鏡A2　遠望C2　一望C4
3411 徳操　人望C1　衆望C3
3511 請求　要望C1
521 天　望月B3
5281 景　展望C1

牧 1715 ボク
まき(中)

262 市・駅　牧場A1　牧場B1
3813 漁猟　牧畜B1　遊牧C2　放牧C3

末 1737 マツ バツ(高)
すえ

1621 初・末 週末B2 歳末C1 本末C4
1721 限界 末端C1 末期C2 末路C3
5102 自然(3) 粉末C2

満 1740 マン
みーちる みーたす

1581 補充 満たすB1
1940 具備 肥満C1 満遍無くC3 豊満C4
1942 全欠 不満足B2 満身C2
5123 波浪 満ちるB1 満潮C2

未 1743 ミ

1615 再・毎 未知C1 未然C2

脈 1748 ミャク

1101 系列 文脈C2 乱脈C3
522 地 山脈B1 鉱脈C2
584 生理(2) 脈A1 静脈B1 動脈B1

民 1750 ミン
たみ(中)

230 民衆 民衆B2 難民C2
2330 官民 住民B1 植民地C1 民意C4

無 1754 ム ブ
なーい

1132 非・否 無作法A2 無器用B2 無気味B3
1201 空・無 無理やりA2 無電B3 無神経C2

約 1787 ヤク

1342 簡約 約するB3 要約C1 集約C3
1951 概略 約B1
3065 計算(2) 公約数B1
3510 契約 条約B1 制約C1 先約C3
3741 節倹 倹約B1 節約B3

勇 1800 ユウ
いさーむ

3015 勇敢 勇壮C1 蛮勇C4
3041 勉励 勇ましいA1 勇むA1

要 1821 ヨウ
いーる(中)

105 重要 要職C1 概要C4
1221 必要 必要B1 不要B3 要員C4
1710 地点 大要C1 法要C4 要衝C4
3071 意義・道理 要素C1 要因C3
3511 請求 要望C1 要請C4
3703 需給 需要C1

養 1833 ヨウ
やしなーう

2101 実・義 養子B2 養女C2 養父母C3
3326 保健 休養B1 養生B1 静養B2
3620 教育 養成B1 修養C1
3622 援護 養育B1 供養C3
3813 漁猟 養殖B2 養鶏C1

浴 1838 ヨク
あーびる あーびせる

1133 被・脱 浴びせるA1 浴衣A1
1534 埋没 海水浴A2 水浴B2 浴C3
3326 保健 入浴B1 湯浴みC2

利 1856 リ
きーく(高)

1320 便利 便利A1 水利B2 利器C3
3057 賢愚 利口A1 目利きC3 利き腕C4
3302 運命 勝利B1 大勝利B2
3713 損益 金利C2 利得C4

陸 1863 リク

522 地 上陸B1 陸路C1

良 1879 リョウ
よーい

1310 正邪 良心B1 良家C4

料 1880 リョウ

3712 給与 料金B1 有料B2 科料C3
3842 家事(3) 料理A1 手料理C3 料亭C4
410 材料(1) 原料B1 資料C1 史料C3

量 1884 リョウ
はかーる

1900 数(1) 多量B2 容量C2
3064 計算(1) 量るA1 測量B1 計量C4
3067 推量 推し量るB2 推量C1 酌量C3
3411 徳操 雅量C3 度量C3 不器量C4
461 計器 度量衡C1

輪 1895 リン
わ

183 球・輪　年輪B1　埴輪C2
1914 助数(4)　輪C4
414 部品(1)　三輪車A2　車輪B2　輪禍C4

類 1901 ルイ

1100 様式　書類B1　同類B2　菌類C3
1120 異同　類似C1　類(たぐい)C2　類人猿C4
2022 衆　人類B1
2100 家　親類A1
3062 区別　分類B1　無類C3

令 1902 レイ

3080 法則　法令C1　禁令C3　令C4
3623 命令　命令B1　訓令C2

冷 1904 レイ

つめ-たい　ひ-える　ひ-や　ひ-やす　ひ-やかす　さ-める　さ-ます

1924 冷暖　冷蔵庫A2　冷却C1
3016 温順・明朗　冷やかしB1　冷やかすB1　冷静C1
3026 寛厳　冷酷C1　冷淡C1　冷遇C4
5120 寒暑　冷えるA1　冷害C1　秋冷C3

例 1907 レイ

たと-える

1100 様式　先例B3　定例C1　引例C4
3061 比較　比例B1　例題C1
3081 方法　特例C1　判例C1　例文D

歴 1915 レキ

3300 文化　歴史B1　歴代C1
3400 身上　経歴C1　歴戦C3
5012 鮮明　歴歴C4

連 1921 レン

つら-なる　つら-ねる　つ-れる

1503 連絡　関連C1　連関C3
1561 附属　連れるA1　連れ出すB3　連れ子C4
1574 配列　連ねるB1　連記C2
1943 単複　連日C2　連夜C2　連署C4
2022 衆　連中B2　常連C4
220 相手　連れA1　道連れA2
266 組織　連合B1　連立C2

老 1928 ロウ

お-いる　ふ-ける㊙

1614 老幼・永久　老年B2　老朽C4
205 老幼　敬老C1　養老C3
3051 巧拙　老功C2　老練C2
5811 老若　長老C1　家老C4　古老C4

労 1929 ロウ

2330 官民　労C2
3003 疲労　疲労C1　心労C3
3022 悲苦　苦労A1　気苦労C4
3041 勉励　労苦B2　労作C1
3311 勤労　勤労B1　不労所得C2
3420 行為　労力B1　労役C2　足労C4
3630 待遇　労りA1　慰労C1

録 1937 ロク

3120 筆録　記録B1　登録C1　集録C2
3122 典籍　付録A1　目録B1　備忘録C1

5年配当漢字

圧 6 アツ

140 力　気圧B1　重圧C2
1563 抑圧　圧迫C1　圧搾C2　抑圧C2
3536 服従　鎮圧C1　制圧C3
3624 規制　高圧的C1　弾圧C1　威圧C2

移 23 イ

うつ-る　うつ-す

1502 交替・修訂　推移C1
1515 転移　移りA1　移民B1　移入C2

因 39 イン

よ-る㊙

1113 因果　原因B1　因みC2　要因C3
1902 数(3)　因数D
604 助語(5)　因るA1　因ってC3

永 53 エイ

なが-い

1614 老幼・永久　永遠B1　永続C1　永久にC4

営 58 エイ

いとな-む

263 家宅　陣営C2　野営C2
3311 勤労　営営とC2
3420 行為　営みB1　営むB1
3602 運営　運営C1　自営C2

3800 産業(1)　営業B1

衛[62]　エイ

3532 防衛　前衛C1　護衛C2　門衛C2
3830 衛生　衛生A1

易[63]　エキ　イ
やさ-しい

1330 安危　易易とB1　簡易C1
1502 交替・修訂　不易C4
3067 推量　易者C3
3720 交易　貿易B1

益[65]　エキ　ヤク(高)

3713 損益　益するB1　損益B3

液[66]　エキ

5102 自然(3)　液B1　唾液C1

演[84]　エン

326 演劇　演劇B1　上演C1
3353 歌舞　演奏B1　演ずるB3　競演C4
3420 行為　講演B1　演壇B2　演題C1

応[90]　オウ

1131 交応　相応C1　反応C1　因果応報C4
1500 作用　応用B1
3112 問答　応じるB1　呼応C2
3504 面会　応接B1　供応C4
3512 許諾　応諾C4
3520 参加　応援A1　応募C2
3531 抗争　応戦C3

往[91]　オウ

1520 発着　立ち往生B2　往生C1
1526 往復　往復A2　右往左往C4
1620 古今　往古D　往時D　往年D

桜[95]　オウ(高)
さくら

5011 色(2)　桜色A2
5511 植物(2)　桜A1　彼岸桜B3

恩[106]　オン

3631 恩恵　恩師B2　恩典C2

可[113]　カ

1221 必要　不可解C1　不可欠C2　不可侵C3
1310 正邪　不可B3　可C1　可否C1
3512 許諾　可決B1　許可B1　認可C1

仮[114]　カ　ケ(中)
かり

1030 真偽　仮装B2　仮名(かめい)C2
1200 存在　仮B1　仮住まいB2　仮定C1

価[118]　カ
あたい(高)

1900 数(1)　価格B1　売価C1
3711 価値　価B1　価値B1　評価C1

河[120]　カ
かわ

525 川　河馬A2　河水B2　河川敷C4

過[130]　カ
す-ぎる　す-ごす　あやま-つ(高)　あやま-ち(高)

1522 通過　寝過ごすA2　過ぎ去るB3　看過C4
1620 古今　過去B1　過日C2
1941 余剰　過熱C1　過労C2
1951 概略　昼過ぎA2
3072 過誤　過るA2　過つB1　過誤C2

賀[144]　ガ

3045 祝賀　年賀B1　年賀状B3
3340 祝祭　拝賀C2　参賀C4

快[151]　カイ
こころよ-い

3016 温順・明朗　快晴B1　明快C1
3021 快楽　快楽B2　壮快C1
585 疾病　全快B1　快方C2

解[164]　カイ　ゲ(高)
と-く　と-かす　と-ける

1553 分散　解れるB1　解除C1　解れるC2
3060 理解　打ち解けるB1　不可解C1　半解C4
3066 研究・探索　解くA1　解決B1　解明C2
3114 解釈　解釈B1　見解C1
3502 会合　解散B1

3611 任免　解雇 C1　解任 C2　解脱 C3
5131 変化(2)　解ける A1　霜解け A2

格 182　カク　コウ(格)

1101 系列　格別 B1　昇格 C1　別格 C4
1303 品質　厳格 B1　格安 C3
3080 法則　資格 B1　破格 C2　適格 C3
3331 学業(2)　合格 B1　不合格 B2　失格 C1
3393 手の動作(1)　格闘 B3

確 190　カク
たし-か　たし-かめる

1330 安危　確かめる A1　確認 C1
3058 綿密　正確 B1　確率 C1
3069 肯否　確答 C1　確証 C2

額 197　ガク
ひたい

1900 数(1)　半額 B2　残額 C2　減額 C4
3390 礼容　額ずく(ぬか) C3
455　標額　額(がく) A1　額縁 B1　額面 C1
571　頭　額(ひたい) A1

刊 212　カン

3832 報刊　創刊 B2　近刊 C3　旬刊 C4

幹 238　カン
みき

1040 基本　幹線 B2　根幹 C3
243　役職　幹部 B2
3050 才能　才幹 C4
3602 運営　幹事 C1
5513 植物(4)　幹 A1

慣 241　カン
な-れる　な-らす

3052 学習　慣らす A1　足慣らし B3
3053 記憶　不慣れ B2　手慣れる C2
3300 文化　習慣 B1　慣習 C1　慣例 C1

眼 259　ガン　ゲン(格)
まなこ(中)

571　頭　眼鏡 A1　心眼 C4

基 282　キ
もと(中)　もとい(格)

1040 基本　基本 B1　基数 D
1113 因果　基づく B1
1710 地点　基地 B2
1914 助数(4)　基 B1

寄 283　キ
よ-る　よ-せる

1525 周回　寄る A1　寄港 C4
1560 接触　押し寄せる A2　取り寄せる B2　繻寄せ C3
1780 周辺　身寄り B2　最寄り C2
3065 計算(2)　寄せ算 D
3117 提・寄　寄稿 C1
3321 居住　寄宿舎 B2　寄生 B2　寄留 C1
3502 会合　寄り合い B2　寄席 C2
3522 貢献　寄与 C2
3722 贈与　寄付 B1　寄贈 C3

規 284　キ

3080 法則　規律 B1　規約 C1　新規 C3
3624 規制　規制 D

技 297　ギ
わざ(中)

3050 才能　特技 C1　技量 C3
3351 技芸(1)　競技 B1　妙技 C1　技芸 C3
3410 才腕　技師 B1　技巧 C1

義 301　ギ

2101 実・義　義弟 C2　義母 C3
3046 節義　忠義 C1　義憤 C3　不義理 C3
3071 意義・道理　主義 C1　有意義 C1　名義 C3

逆 315　ギャク
さか　さか-らう

1132 非・否　逆境 C2　逆説 C2
1730 縦横・傾斜　逆さま A1　逆行 C1　逆巻く C3
3603 争乱　逆捩じ B3　反逆 C1

久 318　キュウ　ク(格)
ひさ-しい

1614 老幼・永久　久し振り A2　耐久 C1

旧 322　キュウ

1620 古今　旧交 B3　旧態 C2　旧知 C3
1630 新旧　旧 B1　旧聞 C3

居 340　キョ
い-る

3321 居住　居住 B2　居座り C3
3391 立ち居　居心地 B2　立ち居振る舞い C3　居留守 C4
440　家屋　敷居 A1　住居 B1　鴨居 C3

許 345　キョ　ゆる-す

1710 地点　心許無い C4　許(もと) D
3512 許諾　許し A1　免許 C2
3633 懲戒　許す D

境 369　キョウ　ケイ(中)　さかい

1600 位置　境遇 C1　進境 C3
1700 空間　境地 C1　老境 C2
1721 限界　境内 B1　境界 B2　越境 C2

均 385　キン

1340 整斉・混雑　均衡 C1　均斉 C2
1570 曲折　地均し A2
1580 増減　均し B1　均一 C1
1930 算　平均 B1　平均台 B3　均分 C4

禁 392　キン

3041 勉励　禁じる B1　禁煙 C1　厳禁 C2
3080 法則　禁制 C3　禁令 C3
3605 刑罰　監禁 C3　拘禁 C4
3624 規制　禁 B1　禁足 C2　発禁 C4

句 399　ク

1914 助数(4)　句 B1　一句 D　二句 D
3121 文章　句読点 B2　句点 C3
321　文学・芸術　俳句 B1　挙げ句 C2

群 417　グン　む-れる　む-れ　むら

1551 集合　群がり B1　群がる B1　抜群 C1
186　行列　群れ B1　群れる B1
1943 単複　群島 B1　群居 C3　群像 C3
2022 衆　群集 B2　群衆 D

経 432　ケイ　キョウ(中)　へ-る

1516 経路　経験 B1　経歴 C1　経路 C1
1522 通過　経過 B1　経由 C1　経る C3
1610 時間　経つ A2
1730 縦横・傾斜　経緯 B1　経度 C4
3075 学問(2)　経済 B1
3122 典籍　経 B1
3602 運営　経営 B1　不経済 B2
3702 会計　経費 B1　経理 C1
583　生理(1)　神経 B1　神経質 C2

潔 456　ケツ　いさぎよ-い(高)

3011 清廉　潔い B1　純潔 C1　高潔 C2
5050 清濁　清潔 B1　不潔 B2　簡潔 C1

件 459　ケン

101　事象　条件 B1　無条件 C1　一件 C4
1913 助数(3)　件 C2

券 461　ケン

401　貨財(2)　回数券 B2　入場券 B3　証券 C1
456　図冊　券 B1

険 471　ケン　けわ-しい

1330 安危　探険 B1　冒険 B1
1821 凹凸　険難 C2　険阻 C4
3014 卑屈　険悪 C2　陰険 C4　邪険 C4

検 474　ケン

3066 研究・探索　検討 C1　検分 C4
3331 学業(2)　検算 B1　検定 C1
3604 訴訟　検挙 C1　検死 C3　検束 C4
3830 衛生　検温 B2　検便 B2　検疫 C4

限 492　ゲン　かぎ-る

1721 限界　限界 C1　無制限 C2
1952 極限　年限 C1　有限 C2

現 494　ゲン　あらわ-れる　あらわ-す

1211 露呈　現像 C1　権現 C4
1620 古今　現在 B1　現に C2　現況 C4
3102 記述　表現 B1

減 495　ゲン　へ-る　へ-らす

1580 増減　擦り減る A2　減刑 C2　減点 C4

故[505] コ
ゆえ(中)

1113 因果　故障B1　縁故C1　何故C2
1620 古今　故郷B1　故国C1
205 老幼　故C1　故人C2
3300 文化　故事C1
604 助語(5)　故B1　其れ故B3　故にC3

個[507] コ

100 何　個性C1　個人差C3　個個C4
1912 助数(2)　個A1

護[524] ゴ

3532 防衛　護衛C2　警護C3
3622 援護　愛護B1　援護C1　養護C1
3830 衛生　看護B1　看護婦B1　救護C2

効[546] コウ
き-く

1113 因果　無効C1　有効C1
1500 作用　効能C1　時効C3　奏効C4

厚[551] コウ(中)
あつ-い

1921 長短　厚紙A2　厚着B3
3012 誠実　手厚いB2　温厚C2　厚遇C4
3830 衛生　厚生C2

耕[561] コウ
たがや-す

3810 栽培　耕すA1　耕地B1　耕土C4

鉱[575] コウ

5111 物質(2)　鉱業B1　鉱物B1　溶鉱炉C2

構[576] コウ
かま-える　かま-う

1514 懸垂　身構えA2　身構えるA2
180 図形　構えB1　面構えC3
3082 計画　心構えB2　構成C1　構文C1
3104 文字　門構えD
3822 工(3)　構えるB1　構内C2

興[580] コウ　キョウ
おこ-る(高)　おこ-す(高)

1211 露呈　復興B2　再興C2
3021 快楽　興ずるC1　不興C3
3350 遊楽　余興B1　遊興C3　座興C4
3801 産業(2)　振興C1

講[583] コウ

266 組織　講(こう)D　念仏講D　無尽講D
3074 学問(1)　講師C2
3082 計画　講和B1　講じるC2
3114 解釈　講演B1　講談C1　講読C3

混[607] コン
ま-じる　ま-ざる　ま-ぜる

1340 整斉・混雑　混ぜるA1　混線C1　混成C4

査[614] サ

3066 研究・探索　調査B1　捜査C1

再[622] サイ　サ
ふたた-び

1615 再・毎　再生B2　再現C2

災[623] サイ
わざわ-い(中)

3304 苦難　災いB1　災厄C2
5114 災害　戦災B1　災禍C4

妻[624] サイ
つま

211 夫婦　稲妻B1　夫妻B2　妻C4

採[629] サイ
と-る

3063 採択　採決C1　採点C1　採否C2
3811 採収　採るA1　採光C1　採取C2

際[641] サイ
きわ(高)

1102 関係　交際B1　国際B1　分際C2
1610 時間　実際A1　際B1
1616 際・臨　波打ち際A2　手際B2　際どいC1
1721 限界　際A1　死に際B2　瀬戸際C3

在[642] ザイ
あ-る

1200 存在　在りかC2　内在C4
256 村里　在D

財[645] ザイ　サイ(中)

3710 金銭　財政 C1　財団 C3
400　貨財(1)　財産 B1　私財 C1
450　宝貨　家財 C2　財宝 C2

罪 646　ザイ　つみ

3421 犯罪　罪人 B1　有罪 C1

雑 664　ザツ　ゾウ

1340 整斉・混雑　大雑把 B2　雑記帳 C2
3017 粗暴・放漫　粗雑 C1　乱雑 C2　雑言 C3
3058 綿密　複雑 B1　雑 C3

酸 676　サン　す-い(高)

504　味　酸い A1　酸っぱい A1　辛酸 C4
5111 物質(2)　酸化 B2　硝酸 C2

賛 677　サン

3512 許諾　賛成 A1　賛否 C1　賛同 C4
3622 援護　賛助 C2　協賛 C4
3632 賞賛　賛美 C1　賛歌 C4　絶賛 C4

支 682　シ　ささ-える

1041 正副　支流 B2　十二支 C2
1514 懸垂　支え A1　支える A1
1564 防止　支え B1　支持 C1
3600 支配　支配 B1
3702 会計　支出 B1　支払う B1　収支 C1

志 696　シ　こころざ-す　こころざし

3000 心　意志 B1　有志 B2　闘志 C2
3020 志操　同志 C1　志操 C2
3040 志念　遺志 C2　薄志弱行 C2　厚志 C4
3043 希望　志す B1　志望 B1　宿志(かねてからの志) C4

枝 702　シ(高)　えだ

5513 植物(4)　枝豆 B2　枝垂れる B3

師 709　シ

2021 者・屋　庭師 C3　絵師 C4
221　師友　教師 B1　師匠 C1　師事 C3
241　職　調理師 D　美容師 D　薬剤師 D
244　僧尼　一寸法師 A2　牧師 B2　法師 C1

資 719　シ

1303 品質　資格 B1　資質 C3
2330 官民　資本家 B1　労資 B1
3710 金銭　資金 C1　融資 C2
410　材料(1)　資源 B1　資料 C1　資する C3

飼 720　シ　か-う

3813 漁猟　飼育 B1　飼い葉 C4

示 725　ジ　シ(中)　しめ-す

3091 指示　示す B1　示威 C3

似 731　ジ(中)　に-る

1120 異同　似合う A1　疑似 C3

識 744　シキ

3001 感覚　意識 C1　無意識 C1
3054 認識　見識 C1　一面識 C2

質 753　シツ　シチ(中)　チ(高)

1303 品質　質(たち) B1　特質 C1　同質 C4
3012 誠実　質素 B1　質実 C1　質朴 C4
3112 問答　質問 A1　質疑 C1
3710 金銭　質屋 B2　質草 C3
3730 貸借　人質 C2　言質 C4
5101 自然(2)　地質 C3
5110 物質(1)　蛋白質 B1　物質 C1

舎 759　シャ

263　家宅　寄宿舎 B2　宿舎 B2　官舎 B3
4420 館　校舎 A1

謝 767　シャ　あやま-る(中)

3513 拒否　謝絶 C1
3631 恩恵　謝恩 B1　謝する C2　慰謝 C4
3712 給与　月謝 B1　薄謝 C1

授 793　ジュ　さず-ける(中)　さず-かる(中)

3620 教育　授業 A1　教授 B1　伝授 C2

3722 贈与　授かる B1　授与 C1

修 807　シュウ　シュ㊥
おさ-める　おさ-まる

1502 交替・修訂　修交 C4
3052 学習　修養 C1　研修 C3
3073 訂正・証明　修正 C1
3831 編集　修史 D　編修 D
3862 処理・修理　修繕 B1　修理 B1　改修 C2

述 838　ジュツ
の-べる

3102 記述　述語 B2　述懐 C2　前述 C4
320 創作　著述 C1

術 839　ジュツ

3074 学問(1)　術語 C1
3081 方法　手術 B1　術 C3
3351 技芸(1)　美術 B1　戦術 C3
3410 才腕　話術 C1

準 851　ジュン

1040 基本　基準 B1　照準 C1　準 C2
3073 訂正・証明　準急 B2　準決勝 B2　準ずる C2

序 866　ジョ

1101 系列　秩序 C1　序列 C4
1614 老幼・永久　序曲 C2
1622 順序　順序 A1　序でに A1
1902 数(3)　序の口 C4
3121 文章　序文 C2　序 C3　序論 C3

招 879　ショウ
まね-く

3505 訪問　招き A1　差し招く B2

承 880　ショウ
うけたまわ-る㊥

1503 連絡　継承 C3
3060 理解　了承 C3
3093 聞　承る B1　伝承 C2
3512 許諾　不承知 B3　承認 C1　不承不承 C3

証 906　ショウ

1113 因果　証拠 B1　証 C3
3069 肯否　証言 C1　偽証 C4
3073 訂正・証明　証明 B1　証する C2　論証 C3
3122 典籍　証書 B1　証 C2　免許証 D

条 922　ジョウ

102 条項　条項 C1
1914 助数(4)　条 C1
3080 法則　信条 C1　条理 C2
3106 章段　箇条 C2
3121 文章　条約 B1
416 部品(3)　鉄条 D
471 道路　軌条 D
5513 植物(4)　枝条 D　柳条 D

状 923　ジョウ

1300 様相　現状 B2　状勢 C1　近状 C3
1303 品質　別状 C4
180 図形　形状 C2　波状 C3
3111 通信　礼状 B2　年賀状 B3　状 C4
3122 典籍　賞状 B2　免状 B2

常 928　ジョウ
つね　とこ㊞

1321 英・逸　常識 B1　常軌 C3
1614 老幼・永久　常に B1　常置 C1　常温 C4
1902 数(3)　常数 D

情 929　ジョウ　セイ㊞
なさ-け

1300 様相　情況 C1　世情 C2
3010 性癖　情け深い A2　無情 C1　多情 C3
3020 志操　情け B1　情操 C1　心情 C3

織 946　ショク㊞　シキ
お-る

3821 工(2)　組織 B1　綿織物 B2
421 被服　羽織 A1　羽織る A1

職 947　ショク

241 職　職 B1　鳶職 B3　住職 C2
3311 勤労　公職 C1　職域 C2　職分 C4
3400 身上　退職 B2　現職 C3
3800 産業(1)　職工 B1　内職 B1

制 1017　セイ

1564 防止　節制 C1　制止 C2　抑制 C3
3080 法則　制度 B1　制定 B2　制 C1

3081 方法　編制C2
3536 服従　牽制B2　制裁C1　制約C1
3600 支配　強制C1　制圧C3　制空権C3
3624 規制　制限B1　禁制C3

性 1020 セイ　ショウ(中)

1303 品質　弾性C2　可溶性C3
3010 性癖　性能C1　性行C3
550　生物　男性B1　冷え性C3

政 1023 セイ　ショウ(高)
まつりごと(高)

3601 管理　参政権C1　政変C2

勢 1032 セイ
いきお-い

1300 様相　地勢B1　情勢C1　大勢C1
140　力　勢いA1　優勢C2
2022 衆　大勢A1　勢揃いB3　無勢C4
3302 運命　運勢C3

精 1035 セイ　ショウ(中)

1350 清素　精精B2　精鋭C1　精華C4
203　神仏　精A1
3000 心　無精B1　丹精C2　精神病C3
3058 綿密　精読C1　精選C2　精算C4
3821 工(2)　精密C1　精練C2

製 1036 セイ

320　創作　製図C1　創製C4
3820 工(1)　製造B1　製鉄B2　製品B2
3860 製作　製するB1　剝製B2　官製C3

税 1041 ゼイ

3702 会計　税B1　租税C1　郵税C1

責 1051 セキ
せ-める

3046 節義　自責C3　引責C4
3400 身上　無責任B2　責務C3
3511 請求　責めB1　責めるB1
3633 懲戒　譴責C1　叱責C4　責め苦C4

績 1054 セキ

3422 成績　成績A1　業績C1
3821 工(2)　紡績B1

接 1060 セツ
つ-ぐ(高)

1560 接触　接続B1　接ぎ合わせるB3　接収C2
1780 周辺　接近B1　近接C3
3504 面会　応接B1　接待B1
3840 家事(1)　骨接ぎB2　接ぎ木B2

設 1061 セツ
もう-ける

3602 運営　設けB1　創設C1
3861 設置　建設B1　架設C2　敷設C2

舌 1066 ゼツ(中)
した

3100 言語　毒舌C2　二枚舌C3
571　頭　舌A1　舌打ちA2　舌鼓B3

絶 1067 ゼツ
た-える　た-やす　た-つ

1203 消滅　絶えるB1　絶滅C3　絶するC4
1501 始終　絶筆C2　絶版C4
1952 極限　絶対B1　絶海C2　絶賛C4
3501 断絶　絶つC1　中絶C1
3513 拒否　拒絶C1　謝絶C1
582　死　気絶B1　絶命C3　絶体絶命C4

銭 1085 セン
ぜに(中)

1915 助数(5)　銭B1
3710 金銭　銭A1　釣り銭B2　小銭C4
400　貨財(1)　銭貨D　賃銭D

祖 1102 ソ

212　父母　先祖A1　祖母B1　祖C4

素 1104 ソ　ス(中)

1040 基本　素人B1　素足B3　素話C2
1350 清素　質素B1　素朴C1
3012 誠実　素直A1　素気無いC2
5110 物質(1)　酸素B1　葉緑素C2

総 1137 ソウ

1942 全欠　総代B1　総理C1　総裁C4

造 1145 ゾウ
つく-る

320 創作 創造C1 造化C1 摸造C3
3820 工(1) 製造B1 醸造C1 鋳造C3
3860 製作 構造B1 無造作B2 急造C2

像 1146 ゾウ

180 図形 肖像B1 想像B1 群像C3
324 彫刻 像B1 胸像C2 彫像C4
454 もてあそびもの(玩) 偶像C1
5001 光(2) 現像C1 映像C2 残像C2

増 1147 ゾウ
ま-す ふ-える ふ-やす

1580 増減 増産B1 割り増しC2 増援C4

則 1156 ソク

3080 法則 法則B1 不規則B3 則るC1
605 助語(6) 規則A1 罰則C2 変則C4

測 1160 ソク
はか-る

3064 計算(1) 測量B1 歩測C3
3067 推量 推測C1 予測C1 臆測C2

属 1163 ゾク

1041 正副 従属C1 直属C4
1561 附属 所属C1 帰属C4
5110 物質(1) 金属B1 貴金属C1

率 1167 ソツ(中) リツ
ひき-いる

1523 先導・追従 引率B2 率先C1
1930 算 率B3 比率C1 利率C3
3012 誠実 軽率B3 率直C1
3600 支配 率いるB1 統率C1

損 1172 ソン
そこ-なう(中) そこ-ねる(中)

1341 具備 損害B2
1571 切断 損なうA1 損ねるA1
1572 破壊 損じるC2 毀損C2
3072 過誤 言い損ないA2 仕損じB2
3713 損益 損A1 損得B2 欠損C2

退 1187 タイ
しりぞ-く しりぞ-ける

1203 消滅 退けるA1 減退C2 退廃C3
1524 進退 退けるB1 進退C1 退路C2
3321 居住 退院B1 退出C1
3521 去就 退席B2 引退C2
3534 勝敗 撃退C2 敗退C2

貸 1193 タイ(中)
か-す

3730 貸借 貸し家B2 貸し付けるB3

態 1196 タイ

1300 様相 状態B2 変態C1 常態C3
180 図形 形態C1
3390 礼容 態度B1 失態C3

団 1229 ダン トン(高)

1943 単複 集団B1 団B3 団欒C4
266 組織 団員B2 財団C3

断 1232 ダン
た-つ(中) ことわ-る

1203 消滅 断末魔C4
1501 始終 不断B2 遮断C2
1571 切断 横断B1 断崖C1 断腸C3
3015 勇敢 断言C1 断固C3
3068 決定 判断B1 断じるC3
3423 遂行 断行C1
3501 断絶 断るA1 断絶C2 禁断C4

築 1251 チク
きず-く

3822 工(3) 改築B3 構築C4

張 1280 チョウ
は-る

1344 緊張 踏ん張りA1 欲張るA2 張り詰めるB3
1582 伸縮 見張りA2 張り出しB2 張り飛ばすB3
3863 加工 張り札B2 張り板B3

提 1329 テイ
さ-げる(中)

1514 懸垂 提灯A1
3117 提・寄 提携C1 提示C3
3394 手の動作(2) 手提げA2

程 1330 テイ
ほど(中)

1516 経路 行程C1 工程C2 旅程C4

1622 順序　先程 A2　後程 B2　この程 C4
1950 程度　何程 A2　左程 B3

適 1338 テキ

1221 必要　適う A1　適中 C1　適用 C2
1320 便利　適宜 C1　適性 C3
1951 概略　適度 B2　適量 C2　適齢 C4

敵 1339 テキ
かたき㊥

220 相手　敵 A1　敵国 B3　仇敵 C3
3531 抗争　敵討ち B3　敵意 C2　不敵 C2

統 1397 トウ
す-べる㊥

1101 系列　血統 C1　伝統 C1　系統 D
1551 集合　統一 B1　統合 C1　統括 C3
3600 支配　大統領 B2　統制 C1　統御 C2

銅 1413 ドウ

5111 物質(2)　銅貨 B1　銅 B3

導 1414 ドウ
みちびー く

1523 先導・追従　導火線 B2　導べ C3
3620 教育　指導 B1　善導 C3
5102 自然(3)　導体 C4　良導体 C4

徳 1420 トク

3011 清廉　悪徳 C2　美徳 C2
3046 節義　道徳 B1　知徳 C3　背徳 C3
3411 徳操　徳望 C2　仁徳 C3
3631 恩恵　功徳 C1　徳政 C3　報徳 C4

独 1423 ドク
ひと-り

1943 単複　独唱 B1　独学 C1　独断 C1
2531 各国　独逸 D　日独 D

任 1444 ニン
まか-せる　まか-す

3310 就任　転任 B2　兼任 C2
3400 身上　責任 B1　放任 C1
3611 任免　委任 C2　任用 C3
3623 命令　任せる A1　人任せ B2　一任 C3

燃 1453 ネン
も-える　も-やす　も-す

5132 火　燃やす A1　燃焼 C1　不燃 C2

能 1456 ノウ

1221 必要　可能 C1　不可能 C1　不能 C1
140 力　効能 C1　万能 C1　能書き C4
3010 性癖　性能 C1　本能 C1
3050 才能　知能 C1　有能 C1
326 演劇　芸能 C1
3353 歌舞　能楽 C1　能面 C4
3410 才腕　機能 C1　職能 C2
5101 自然(2)　放射能 C2

破 1463 ハ
やぶ-る　やぶ-れる

1522 通過　踏破 C2　看破 C4
1571 切断　破く A1　破る A1　素っ破抜く C3
1572 破壊　破壊 C1　読破 C3　破廉恥 C4
3534 勝敗　破れる A1

犯 1510 ハン
おか-す㊥

234 人物　犯人 B1　主犯 C2
3421 犯罪　犯罪 B1　防犯 C1
3530 侵害　犯す B1

判 1513 ハン　バン

186 行列　小判 B2　大判 C3
3060 理解　判読 C2
3068 決定　判じ物 B2　判別 C3
3604 訴訟　裁判 B1　公判 C1　判事 C1
452 文具　判 A1
5012 鮮明　判然 C1

版 1516 ハン

3822 工(3)　活版 B3　版画 B3　凸版 C2
3832 報刊　出版 B1　版 C2
452 文具　版図 C4

比 1532 ヒ
くら-べる

1101 系列　比肩 C4
1930 算　比 B1　比率 C1
3061 比較　比べる A1　腕比べ B2　無比 C3
3065 計算(2)　比重 B1　比例 B1

肥 1539 ヒ
こ-える　こえ　こ-やす　こ-やし

413 材料(4)　肥料 B1　元肥 C3
5860 健康　肥える A1　肥満 C1　肥立ち C4

非 1540 ヒ

1132 非・否　非公式 C2　非常口 C4
1310 正邪　非礼 C2　非道 C3　非行 C4
3113 議論　非難 B1

備 1554 ビ
そな-える　そな-わる

1341 具備　備わる A1　具備 C3
1940 具備　完備 C1　予備 C1
3861 設置　準備 A1　守備 B2　装備 C1

俵 1565 ヒョウ
たわら

1914 助数(4)　米百俵 D
451 容器　俵 A1　炭俵 A2　土俵 A2

評 1567 ヒョウ

3064 計算(1)　評価 C1
3068 決定　選評 C3
3113 議論　品評会 C1　論評 C3
3307 声聞　風評 C1　下馬評 C3

貧 1577 ヒン㊥　ビン
まず-しい

1920 多少　脳貧血 B2　貧血 C1　貧弱 C1
3740 貧困　貧しい A1　貧苦 C1　素寒貧 C3

布 1586 フ
ぬの

1522 通過　分布 B2　流布 C1
3724 配布　発布 C1　布施 C3
420 糸布　敷き布団 A2　綿布 B3

婦 1594 フ

2021 者・屋　看護婦 B1　家政婦 C2　助産婦 C2
204 男女　主婦 B2　寡婦 C3　寡婦 C4
211 夫婦　夫婦(ふうふ) A1

富 1596 フ　フウ㊟
と-む　とみ

3742 富裕　豊富 B1　富豪 C2

武 1604 ブ　ム

3352 技芸(2)　武勇 B2　武骨 C4
3533 軍事　武者振り付く B2　武力 C2

復 1613 フク

1503 連絡　回復 B1　復帰 C2　復古 C2
1526 往復　往復 A2　拝復 C1　反復 C1
1615 再・毎　復興 B2　復員 C2
3310 就任　復職 C3

複 1616 フク

1943 単複　複線 B2　複合 C2

仏 1620 ブツ
ほとけ

203 神仏　仏(ほとけ) A1　仏像 B2　お陀仏 C3
2531 各国　日仏 D　仏蘭西 D
3076 思想　念仏 B1　仏教 B1

編 1653 ヘン
あ-む

1551 集合　編入 C1
1913 助数(3)　編 B3
3121 文章　長編 B2　編成 C2
3123 編・巻　初編 D　前編 D
320 創作　編み笠 C4　詩編 D
3831 編集　編集 B1
3840 家事(1)　編み A1　編む A1　手編み B3

弁 1654 ベン

3054 認識　弁ずる C2
3060 理解　弁え(わきまえ) C1　弁別 C3
3100 言語　関西弁 D
3110 談話　雄弁 C1　駄弁 C3　熱弁 C4
3113 議論　弁解 C1　弁論 C1　弁明 C4
3703 需給　駅弁 B3　支弁 C4
3731 弁済　弁償 C1　代弁 C4　弁済 C4
415 部品(2)　弁 C3
5513 植物(4)　花弁(はなびら) A1　花弁 C2

保 1658 ホ
たも-つ

1200 存在　保存 B1　保安 C3
3326 保健　保健 B2
3622 援護　保護 B1　保育 C1　保母 C4
3701 保持　保管 C1　担保 C3

墓 1665 ボ
はか

4411 墓　墳墓 C2　墓標 C3
470　田園　墓場 B2　墓地 B2

報 1686 ホウ
むく-いる㊥

3111 通信　急報 C1　悲報 C2
3123 編・巻　報告 B1　公報 C1　年報 D
3631 恩恵　報復 C1　因果応報 C4
3712 給与　報酬 C1
3731 弁済　報償 C2

豊 1687 ホウ
ゆた-か

1920 多少　豊か B1
3302 運命　豊年 A1　豊作 B1
3742 富裕　豊富 B1　豊満 C4

防 1697 ボウ
ふせ-ぐ

1564 防止　消防 A1　防波堤 B2
3532 防衛　防衛 C1　攻防 C4
3844 家事(4)　防虫剤 C4

貿 1708 ボウ

3720 交易　貿易 B1

暴 1709 ボウ　バク㊥
あば-く㊫　あば-れる

1211 露呈　暴露 C1
3017 粗暴・放漫　暴投 C1　暴食 C4
3026 寛厳　横暴 C2　暴君 C2　暴虐 C4
3541 騒乱　暴れ A1　暴落 C1　暴騰 C3
5122 晴曇　暴風雨 B2

務 1753 ム
つと-める

3311 勤労　務める A1　職務 C1　税務署 C3
3400 身上　任務 B1　専務 C3　本務 C4
3800 産業(1)　執務 C1　庶務 C3

夢 1755 ム
ゆめ

3004 睡眠　夢中 A1　無我夢中 B3　夢路 C4

迷 1761 メイ㊥
まよ-う

3002 驚・酔　迷わす A1　血迷う C4
3056 迷惑　迷惑 A1　迷子 A2　低迷 C4
3068 決定　迷路 C1　迷宮 C4

綿 1768 メン
わた

3058 綿密　綿密 C1
420　糸布　真綿 B1　綿織物 B2　綿羊 C3

輸 1795 ユ

3720 交易　輸送 B1　運輸 C1　空輸 C2

余 1814 ヨ
あま-る　あま-す

1213 残余　余地 C1　余命 C3
1581 補充　余興 B1　余儀無い C2　余技 C3
1941 余剰　余り A1　有余る B3　余裕 C1
200　我　余 C3

預 1816 ヨ
あず-ける　あず-かる

3730 貸借　預かる A1　預ける A1　お預け B3

容 1822 ヨウ

1302 形姿　容疑 C2　理容 C4
1330 安危　容易 B2　従容 C3
1533 包囲　容積 B1　収容 C1　容量 C2
3026 寛厳　寛容 C1　包容 C4
3390 礼容　容体 C1　容態 C1
3512 許諾　許容 C2　容認 C4
3633 懲戒　容赦 C2

略 1866 リャク

1201 空・無　略 B2　略する B2
1342 簡約　省略 B1　簡略 C1　略歴 C3
1951 概略　概略 C1　大略 C1
3082 計画　商略 C1　戦略 C2　政略 C4
3530 侵害　侵略 C1　攻略 C4
3700 取得　略奪 C3

留 1869 リュウ　ル
と-める　と-まる

1512 静止　留まる A1　仕留める B2　留任 C1
3321 居住　留学 B1　居留 C2　駐留 C3
3605 刑罰　拘留 C1　抑留 C1　留置 C2

領 1886 リョウ

1720 座席　領域C1　本領C3　領土D
2530 国　大統領B2　領主C2
3060 理解　領解D　領承D
3600 支配　主領C2　領C2
3700 取得　横領C1　領収C2　受領C3
3701 保持　占領B1

6年配当漢字

異 22 イ こと

1120 異同　異人B2　変異C1　大同小異C3
3056 迷惑　異常B1　異彩C1　特異C1

遺 29 イ ユイ(中)

1213 残余　遺言B1　遺児C2

域 31 イキ

260 現場・世界　領域C1　職域C2
5280 地帯　区域B1　地域C1

宇 48 ウ

520 天地　宇宙B1

映 56 エイ うつ-る　うつ-す　は-える(中)

326 演劇　映画A1
3832 報刊　映写B1　上映C1　放映C2
5001 光(2)　映しA1　目映いA1　映えるC2

延 73 エン の-びる　の-べる　の-ばす

1520 発着　延着C4
1570 曲折　延ばすA1　延びるA1　延べB2
1582 伸縮　延期B1　食い延ばすC2

沿 74 エン そ-う

1561 附属　沿うA1　沿革C1
1780 周辺　沿岸B1　沿線C1

我 141 ガ(中) われ　わ(中)

200 我　我が家A2　我等B1　我知らずB3
3040 志念　無我夢中B3　我意C3

灰 149 カイ(中) はい

5011 色(2)　灰色A2
5112 物質(3)　石灰B2　護摩の灰C4

拡 180 カク

1582 伸縮　拡大B1　拡充C2

革 181 カク かわ(中)

1502 交替・修訂　沿革C1　革命C1
420 糸布　吊革A2　革靴B3
576 皮膚　皮革C2　鞣し革C3

閣 189 カク

263 家宅　仏閣D
2640 機関(1)　内閣B2　倒閣C1　入閣C4
4420 館　天守閣C2

割 204 カツ(中) わ-る　わり　わ-れる　さ-く(中)

1553 分散　割り当てB1　割り付けるB3
1571 切断　割るA1　割り切るB1
1911 助数(1)　割A1
3065 計算(2)　割り引きB1　割合B1　割り戻すB3
3722 贈与　割く(さく)D　割譲D

株 209 かぶ

3710 金銭　株主C1　株式C2
5513 植物(4)　株A1　切り株A2

干 211 カン ほ-す　ひ-る(中)

3530 侵害　干渉C1
3841 家事(2)　干すA1　虫干しA2
431 食品(2)　干し柿A2　干菓子B2
5121 雲雨　干魃C4
5123 波浪　干拓C2　干潟C3
5133 乾湿　干からびるB2　干るB2　干乾しB3

巻 220 カン ま-く　まき

1570 曲折　渦巻きA2　腹巻きA2　巻き取るB3
1914 助数(4)　巻B3
3123 編・巻　巻頭C2
456 図冊　巻C1　絵巻物D

看[221] カン

3090 見　看板 A1　看過 C4
3622 援護　看護 B1　看取り(看病) B3
3830 衛生　看護婦 B1

簡[251] カン

1342 簡約　簡単 B1　簡略 C1
3111 通信　書簡 C1

危[264] キ
あぶ-ない　あや-うい中　あや-ぶむ中

1330 安危　危ない A1　危急 C1　危地 C4
3022 悲苦　危ぶむ D
3056 迷惑　危ぶむ C1

机[265] キ中
つくえ

446 机　机 A1　机上 C3

揮[287] キ

1553 分散　揮発 D
3394 手の動作(2)　揮毫 D
3600 支配　指揮 C1

貴[290] キ
たっと-い中　とうと-い中　たっと-ぶ中　とうと-ぶ中

1320 便利　貴重 B1　貴金属 C1
1926 強弱　騰貴 C2
2320 貴族　貴公子 C3
3027 敬仰　貴方 A1　兄貴 B3　貴兄 C3
3742 富裕　富貴 C1

疑[302] ギ
うたが-う

3056 迷惑　疑惑 C1　疑獄 C2　疑念 C3

吸[324] キュウ
す-う

1530 出入　吸い口 A2　吸い付ける A2
3396 喫食　吸い殻 A2　吸い飲み B2　吸い物 B2
583 生理(1)　深呼吸 A2　吸入 C2

供[356] キョウ　ク高
そな-える　とも

3117 提・寄　自供 C2　供述 C3
3614 奉仕　供 A1　供応 C4
3703 需給　供出 C1　供託 C3
3722 贈与　供える A1　供物 C2

胸[364] キョウ
むね　むな中

572 胴　度胸 B1　胸倉 C3

郷[368] キョウ　ゴウ中

256 村里　故郷 A1　郷愁 C2　帰郷 C4

勤[389] キン　ゴン高
つと-める　つと-まる

3041 勉励　勤続 C1　勤惰 C4
3311 勤労　勤める A1　出勤 B2　皆勤 C2

筋[391] キン
すじ

181 点線　背筋 B2　筋向かい B3　筋交い C2
260 現場・世界　鉄筋 B1
3071 意義・道理　筋書き B2　粗筋 B2　一筋縄 B3
574 肉　筋肉 B1　筋骨 C1

系[421] ケイ

1101 系列　系列 C1　家系 C3

敬[434] ケイ
うやま-う

3027 敬仰　敬語 B1　敬遠 C2

警[442] ケイ

3001 感覚　警戒 B1　夜警 B2　警備 C1
3056 迷惑　警句 C3
3532 防衛　警察署 A1　警官 B1　警護 C3
3621 勧諭　警告 C1　警鐘 C4

劇[447] ゲキ

141 強弱　劇薬 B2
326 演劇　劇 A1　劇画 B2　惨劇 C3

激[449] ゲキ
はげ-しい

141 強弱　急激 C1　激流 C1　激烈 C2
3017 粗暴・放漫　感激 B1　激賞 C2

穴[451] ケツ(中)
あな
184 口・孔 穴A1 大穴B3
472 池堤 穴蔵C3 穴埋めC4 墓穴C4
5241 谷 抜け穴B2

絹[477] ケン(高)
きぬ
420 糸布 絹糸A2

権[479] ケン ゴン(高)
3400 身上 権利B1 職権C1 越権C3

憲[480] ケン
3080 法則 立憲C3 憲法C4

源[496] ゲン
みなもと
1040 基本 資源B1 起源C1 電源C1
525 川 水源地B3 源泉C2 桃源D

厳[497] ゲン ゴン(高)
おごそ-か(中) きび-しい
1344 緊張 威厳C1 厳戒C2 森厳C4
2101 実・義 厳君D 厳父D
3026 寛厳 手厳しいB3 厳密C1 厳封C2

己[498] コ キ(中)
おのれ(中)
201 自他 己C1 利己的C1

呼[501] コ
よ-ぶ
3100 言語 歓呼C3
3505 訪問 呼び掛けA2 呼び出すA2 呼び物B3
583 生理(1) 深呼吸A2 呼吸B1

誤[523] ゴ
あやま-る
3072 過誤 誤りB1 誤字C1 正誤C4

后[536] コウ
211 夫婦 皇后A1 后B1 皇太后C2

孝[542] コウ
3046 節義 孝行B1 孝心C3 孝C4

皇[554] コウ オウ
231 君主 皇太子A1 皇居B1 皇帝B2

紅[555] コウ ク(中)
べに くれない(中)
435 紅墨 紅(べに)A1 紅差し指B3
5011 色(2) 紅白B2 真紅C2 紅潮C4

降[564] コウ
お-りる お-ろす ふ-る
1540 上下 見降ろすA2 滑降C3
1541 乗降 降ろしA1 乗り降りA2
3536 服従 降参A1 降服C1 投降C4
5121 雲雨 雨降りA2 土砂降りB2

鋼[582] コウ
はがね(中)
412 材料(3) 鋼鉄B1 製鋼D

刻[593] コク
きざ-む
1571 切断 刻みA1 刻むA1
1610 時間 時刻A1 先刻B3 即刻C3
1916 助数(6) 刻C4
324 彫刻 彫刻C1

穀[596] コク
431 食品(2) 米穀C1
5514 植物(5) 穀物B1 五穀C1 脱穀C1

骨[599] コツ
ほね
5761 歯・骨 骨接ぎB2 骨髄C3

困[602] コン
こま-る
1330 安危 困難B1
3022 悲苦 困るA1 困惑C3 困却C4
3740 貧困 貧困C1 困窮C2 困苦C3

砂[615] サ シャ(中)
すな
5112 物質(3) 角砂糖A2 砂漠B1 砂鉄B3

座[620] ザ
すわ-る(中)
1512 静止 座り込みB1 居座りC3

1600 位置　玉座C1　上座C2　下座C4
1720 座席　座談B1　中座C2
266 組織　講座C1　座C1　連座C4
3391 立ち居　座布団A2　端座C4
446 机　円座D　玉座D

済 630 サイ
す-む　す-ます

3622 援護　経済B1　不経済B2　救済C1
3731 弁済　済ますA1　返済C3

裁 636 サイ
た-つ㊥　さば-く

1571 切断　裁つB1　不体裁B3
3068 決定　裁決C3　決裁C4
3604 訴訟　裁判B1　仲裁C1　裁きC2
3840 家事(1)　裁縫A1　洋裁B1

策 652 サク

3081 方法　万策C1　方策C3
3082 計画　失策C1　策略C2　得策C3

冊 657 サツ　サク㊞

1914 助数(4)　冊A1
456 図冊　短冊C1

蚕 670 サン
かいこ

563 動物(4)　蚕A1　春蚕B3

至 694 シ
いた-る

1520 発着　至るB1　必至B1
1952 極限　至りB1　至誠C1　至宝C4

私 697 シ
わたくし

200 我　私(わた(く)し)A1
2330 官民　私語C1　私用C1　私淑C3

姿 705 シ
すがた

1302 形姿　容姿C1　姿態C4

視 712 シ

3001 感覚　視覚C1
3066 研究・探索　重視C1　監視C2
3090 見　凝視C2　熟視C4

詞 714 シ

3103 音声・語詞　動詞C2　名詞C2
3121 文章　台詞B1　枕詞C2
322 説話　祝詞C3

誌 721 シ

3122 典籍　雑誌A1　週刊誌B1　地方紙D
3123 編・巻　誌B3

磁 741 ジ

412 材料(3)　陶磁器B3　磁器C2
5101 自然(2)　磁気B2　磁力C2

射 761 シャ
い-る

3395 抱・負　射るA1
3864 使用　射撃B2　射殺B3
5001 光(2)　反射B1　直射C2　投射C4

捨 762 シャ
す-てる

1202 除却　四捨五入B2　捨て台詞C3
3722 贈与　喜捨D

尺 771 シャク

1917 助数(7)　尺A1　一尺D　二尺D
461 計器　巻尺B1　尺度C3

若 776 ジャク㊥　ニャク㊞
わか-い　も-しくは㊞

1614 老幼・永久　若若しいB2　若返るB2　若年C2
205 老幼　若者A2　若人C2
5811 老若　若布A1　若葉A2　若芽B3
601 助語(2)　若しくはB2

樹 796 ジュ

1210 発生　樹立C3
5510 植物(1)　針葉樹C2　樹齢C4

収 797 シュウ
おさ-める　おさ-まる

1533 包囲　収まるB1　見収めB2
3700 取得　回収C1　収用C1　没収C1

3702 会計　収支 C1　領収 C2
3811 採収　収穫 B1　収集 C1　収録 C2

宗 803　シュウ　ソウ中

212　父母　祖宗 D
266　組織　宗派 C1　禅宗 C2

就 811　シュウ　ジュ高
つ-く中　つ-ける中

3310 就任　就職 B1　就業 C2
3521 去就　去就 C3

衆 812　シュウ　シュ高

1920 多少　衆生 C2　衆議 C3　衆望 C3
2022 衆　若い衆 B3　衆(村の〜) B3
230　民衆　公衆 B1　民衆 B2　聴衆 C1

従 824　ジュウ　ショウ高　ジュ高
したが-う　したが-える

1130 相対　主従 C3
1523 先導・追従　追従 B2　従前 C3
2100 家　従兄弟 A1　従姉妹 A1
243　役職　従者 C2　侍従 C4
3311 勤労　従事 B1　従業員 B3
3536 服従　服従 B1　従順 C1　屈従 C4
3614 奉仕　従う A1

縦 828　ジュウ
たて

1730 縦横・傾斜　縦 A1　縦横 C1　縦走 C2
3423 遂行　放縦 D
3864 使用　操縦 B2

縮 834　シュク
ちぢ-む　ちぢ-まる　ちぢ-める　ちぢ-れる
ちぢ-らす

1582 伸縮　縮図 B2　縮小 C2
420　糸布　縮み B2

熟 836　ジュク
う-れる中

3052 学習　熟練 B1　熟達 C1　熟視 C4
581　生育　熟れる B1　成熟 C1

純 848　ジュン

1311 美好　純 C2　清純 C2　純良 C4
135　特殊　単純 B1　純益 C1
3011 清廉　純白 B2　純情 C2

処 854　ショ

1600 位置　各処 D　処処 D
3306 処世　処女 C1　処世 C3
3605 刑罰　処罰 C2　処刑 C3
3862 処理・修理　処分 B1　善処 C1

署 860　ショ

2640 機関(1)　税務署 C3　部署 C4
3120 筆録　署名 C1　連署 C4

諸 862　ショ

1942 全欠　諸 B3　諸共に C1

除 869　ジョ　ジ中
のぞ-く

1202 除却　泥除け B2　除雪 C2
3065 計算(2)　除する C3
3521 去就　除け者 A2　除名 C1　除籍 C4
3844 家事(4)　掃除 A1　庭掃除 A2　拭き掃除 B2

将 886　ショウ

242　将兵　大将 A1　主将 B2　青大将 B2

傷 908　ショウ
きず　いた-む中　いた-める中

1571 切断　傷 A1　無傷 B3
3022 悲苦　感傷 C1　傷心 C3
3421 犯罪　傷付ける C1
5821 傷害　傷害 B2　外傷 C2

障 913　ショウ
さわ-る高

1341 具備　保障 C1
1564 防止　障り B1　差し障る B2　障壁 C3

城 925　ジョウ
しろ

263　家宅　根城 C2
4410 邸　籠城 C4
473　港・城　城 A1　城郭 C3

蒸 932　ジョウ
む-す中　む-れる中　む-らす中

3842 家事(3)　蒸かす B1　蒸らす B1　蒸籠 C3

5131 変化(2)　蒸れる B1　蒸発 B1　蒸留水 C3

針 964 シン はり

415 部品(2)　針金 A2　指針 C1

仁 979 ジン ニ(中)

2021 者・屋　仁 C1
3026 寛厳　仁王 B1　仁義 C3　仁徳 C3
3631 恩恵　仁愛 C3　仁慈 C4

垂 988 スイ たーれる　たーらす

1514 懸垂　垂れる A1　垂れ下がる B2　前垂れ B3
1540 上下　項垂れる B1
1616 際・臨　垂死 D
181 点線　垂直 B1　垂線 B2

推 993 スイ おーす(中)

3067 推量　推移 C1　推量 C1　推察 C3
3394 手の動作(2)　推し B1　推す B1
3613 推薦・糾弾　推進 C1　推挙 C3

寸 1006 スン

1917 助数(7)　一寸 A1　一寸法師 A2　寸 B1
1921 長短　寸志 C1　寸暇 C2　寸陰 C3

盛 1029 セイ(中)　ジョウ(高) もーる　さかーる(中)　さかーん(中)

141 強弱　盛り返す B3　盛大 C1
1573 積重　盛る A1　盛り上がる A2　手盛り C4
3302 運命　盛衰 C2　盛運 C4
3742 富裕　花盛り A2　真っ盛り B2　盛装 C2

聖 1033 セイ

1310 正邪　神聖 C1
203 神仏　聖火 B2　聖書 C1　聖母 C2
234 人物　聖 C2
3011 清廉　聖域 D　聖火 D　聖地 D

誠 1034 セイ まこと(中)

3012 誠実　誠 B1　誠意 C1　熱誠 C1
3046 節義　忠誠 C2　赤誠 C4

宣 1073 セン

3110 談話　宣する C4
3115 宣告　宣言 C1　宣誓 C1　宣揚 C4

専 1074 セン もっぱーら(中)

135 特殊　専心 C1　専一 C2

泉 1075 セン いずみ

525 川　泉 A1　黄泉 C4

洗 1077 セン あらーう

3326 保健　手洗い A2　洗練 C2　水洗 C4
3841 家事(2)　洗い A1　洗濯 A1　洗い粉 B3

染 1078 セン(中) そーめる　そーまる　しーみる(高)　しーみ(高)

3841 家事(2)　染め A1　染め粉 B2　墨染め C3
5013 美醜　染み A1　馴染む B2
585 疾病　伝染病 B1　感染 C1

善 1096 ゼン よーい

1310 正邪　改善 B1　善悪 B1　独り善がり C2
3046 節義　善良 B2　慈善 C1　善用 C2
3500 融和　親善 B2

奏 1117 ソウ かなーでる(高)

3116 届　奏する C2　奏効 C4　奏上 C4
325 音楽　奏でる C1　前奏 C2
3353 歌舞　演奏 B1　伴奏 B1　吹奏 C3

窓 1129 ソウ まど

444 柱　窓 A1　同窓会 B3　深窓 C3

創 1130 ソウ

1211 露呈　創意 C1　創設 C1
1501 始終　創立 B1　創業 C1
320 創作　創作 C1　独創 C1　創始 C2
5821 傷害　銃創 D　創傷 D

装 1133 ソウ　ショウ(中) よそおーう(高)

3325 装身　服装 A1　正装 C2　男装 C4

3860 製作　装備 C1　装丁 C2

層 1136 ソウ

1101 系列　一層 A1　大層 A1
1573 積重　下層 C1　成層圏 C2　高層 C3
186 行列　断層 C1　層 C3
522 地　地層 D

操 1140 ソウ

みさお㊞　あやつ-る㊥

3010 性癖　操行 B2
3020 志操　情操 C1　志操 C2
3046 節義　貞操 C1
3394 手の動作(2)　体操 A1　操る B1　操り人形 B3
3411 徳操　節操 C1　操 C1
3801 産業(2)　操業 C4
3864 使用　操縦 B2　操作 C2

蔵 1149 ゾウ

くら㊥

1533 包囲　秘蔵 C1　埋蔵 C2　死蔵 C3
2641 機関(2)　大蔵省 D
3701 保持　蔵書 C1　所蔵 C3　蔵する C4
4421 倉　蔵 A1　土蔵 B1

臓 1151 ゾウ

575 臓　心臓 A1　肝臓 C1

存 1168 ソン　ゾン

1200 存在　存在 C1　存続 C2　存廃 C4
3055 思考　存じ B2　存外 C2
580 生命　生存 B1　存命 C2

尊 1171 ソン

たっと-い　とうと-い　たっと-ぶ　とうと-ぶ

1320 便利　尊重 B1　尊大 C2
203 神仏　本尊 C2　釈尊 C4
2101 実・義　尊属 C3　尊父 C3
234 人物　尊 C4
3027 敬仰　尊い B1　尊敬 B1　自尊心 C2

宅 1203 タク

263 家宅　宅 B2　在宅 C2
440 家屋　住宅 B1　宅地 C1　邸宅 C1

担 1218 タン

かつ-ぐ㊞　にな-う㊞

3395 抱・負　担う A1　担架 C3
3400 身上　担任 A2　担当 C1
3701 保持　担保 C3

探 1222 タン

さぐ-る㊥　さが-す

3066 研究・探索　探究 C1　探索 C4
3092 探求　探り A1　探偵 B1

誕 1227 タン

580 生命　誕生 A1　天皇誕生日 A1　降誕 C3

段 1231 ダン

1101 系列　別段 B1　一段 B3　段取り C3
186 行列　段丘 D
1918 助数(8)　段 A1
3106 章段　段落 B1　一段落 C3
443 門　階段 A2　石段 A2　段段 A2

暖 1234 ダン

あたた-か　あたた-かい　あたた-まる　あたた-める

1924 冷暖　暖める A1　暖炉 B2
5120 寒暑　温暖 B2　春暖 C3

値 1240 チ

ね　あたい㊥

1303 品質　値打ち A1　価値 B1　値する B1
1900 数(1)　数値 C2
3711 価値　値下がり B2　闇値 C4

宙 1261 チュウ

1700 空間　宙返り A2　宙 C2
520 天地　宇宙 B1

忠 1262 チュウ

3046 節義　忠告 B1　忠義 C1　忠 C3

著 1270 チョ

あらわ-す㊥　いちじる-しい㊥

3122 典籍　著書 B2　名著 C3
320 創作　著す B1　著作 C1　著 C4
5012 鮮明　著しい B1　著名 C1　顕著 C4

庁 1274 チョウ

2640 機関(1)　県庁 B1　官庁 C1　庁 C4

頂 1284 チョウ
いただ-く　いただき

1514 懸垂　頂く A1
1742 頂・央　頂上 A1　絶頂 B3　登頂 C4
3700 取得　頂く A1　頂戴 A1

潮 1292 チョウ
しお

3301 風俗　風潮 C1　思潮 C2

賃 1303 チン

3712 給与　家賃 B1　工賃 C3　木賃宿 C4

痛 1308 ツウ
いた-い　いた-む　いた-める

3001 感覚　痛む A1　激痛 C2
3022 悲苦　悲痛 C1　心痛 C3
5861 痛・麻　腹痛 A2　腹痛 B2

展 1349 テン

1554 開閉　親展 C1
1582 伸縮　発展 A1　展開 C1
3091 指示　展覧会 A2　展示 D

討 1382 トウ
う-つ(中)

3066 研究・探索　討議 B1　討論 B1　検討 C1
3531 抗争　相討ち B3　焼き討ち C4

党 1384 トウ

2022 衆　悪党 C4　辛党 C4
266 組織　党 C1　野党 C1　与党 C3

糖 1400 トウ

432 食品(3)　砂糖 A1　金平糖 A2　氷砂糖 A2
5112 物質(3)　糖分 B2　糖 D

届 1427 とど-ける　とど-く

1520 発着　届く A1　行き届く B2　不届き C4
3116 届　届け A1　無届け B2
3724 配布　付け届け B3
3823 通運　届ける A1

難 1435 ナン
かた-い(高)　むずか-しい

1330 安危　有り難う A1　難産 C1　難物 C3
3113 議論　難問 C1　難ずる C2　難癖 C3
3304 苦難　遭難 C1　海難 C3

乳 1442 ニュウ
ちち　ち(中)

433 食品(4)　牛乳 A1　粉乳 C4
5102 自然(3)　鍾乳洞 C3
572 胴　乳房 A1　乳首 A2
577 血・乳　乳 A1　乳飲み子 B3　哺乳 C2

認 1447 ニン(中)
みと-める

3001 感覚　認める B1
3054 認識　確認 C1　認識 C1　誤認 C2
3068 決定　認定 C1
3120 筆録　認め B1　認める(したためる) C2
3512 許諾　承認 C1　黙認 C1　容認 C4
3610 登用　公認 C1　非公認 C4

納 1455 ノウ　ナッ(中)　ナ(高)　ナン(高)　トウ(中)
おさ-める　おさ-まる

1533 包囲　納まる B1　格納庫 C2
3703 需給　出納簿 C1　納得 C1　受納 C3
3722 贈与　納める B1　延納 C3

脳 1457 ノウ

575 臓　脳貧血 B2　大脳 C2　脳髄 C4

派 1462 ハ

266 組織　一派 C2　新派 C3
3612 派遣　派遣 C1　特派 C3　派出 C3

拝 1467 ハイ
おが-む

3343 参拝　参拝 B1　拝賀 C2　拝殿 C2
3390 礼容　崇拝 C1　拝 C3　遙拝 C4

背 1469 ハイ
せ　せい　そむ-く(中)　そむ-ける(中)

1750 表裏　背戸 A2　背水の陣 B3
3521 去就　背く B1　背徳 C3　背任 C4
572 胴　背(身長) A1　背泳 B3

肺[1470] ハイ

575 臓 肺臓B1 肺炎B2 肺活量C2

俳[1471] ハイ

321 文学・芸術 俳優B1 俳壇C4

班[1517] ハン

266 組織 班B1

晩[1528] バン

1613 昼夜 今晩A2 晩春C2
1621 初・末 早晩(おっつけ)C2 晩学C4

否[1535] ヒ
いな(高)

1132 非・否 賛否C1 諾否C2 正否C3
3069 肯否 否決C1 否定C1 否認C1
3513 拒否 拒否C1 否C3 否応無しC3

批[1536] ヒ

3068 決定 批判C1 批正C3 批准D
3113 議論 批評B1

秘[1544] ヒ
ひ-める(中)

1030 真偽 秘C3
1220 秘密 秘訣C1 極秘C3 秘術C4
3091 指示 秘するC3 秘めるC3

腹[1615] フク
はら

1750 表裏 腹案C1 中腹C2 裏腹C3
3000 心 腹立ちB1 立腹C1 腹芸C4
572 胴 腹下りA2 満腹B2 腹蔵C4

奮[1628] フン
ふる-う

3041 勉励 奮い立つB3 奮発C2 奮励C4

並[1636] ヘイ(中)
なみ なら-べる なら-ぶ なら-びに

1321 英・逸 並大抵B2 並みC2
1574 配列 軒並みB2 居並ぶC4
600 助語(1) 並びにC1

陛[1638] ヘイ

231 君主 陛下A1

閉[1639] ヘイ
と-じる と-ざす(中) し-める し-まる

1501 始終 閉会B1
1554 開閉 閉まるA1 閉じ込めるB2 閉鎖C2

片[1647] ヘン(中)
かた

183 球・輪 片A2 破片B2 断片C1
1943 単複 片寄せるA2 取り片付けるB3

補[1661] ホ
おぎな-う

1581 補充 補うB1 補強C1 補正C3
243 役職 補佐C2
3611 任免 候補B1
3731 弁済 補償C1

暮[1667] ボ(中)
く-れる く-らす

1613 昼夜 暮れるA1 暮れ方A2 歳暮C3
3320 生活 暮らしA1 暮らすA1 明かし暮らすC3

宝[1674] ホウ
たから

3710 金銭 財宝C2
450 宝貨 宝A1 家宝C3

訪[1685] ホウ
おとず-れる(中) たず-ねる

3505 訪問 訪れB1 来訪C1

亡[1691] ボウ モウ(高)
な-い(高)

1203 消滅 亡いC2
3321 居住 逃亡C1 亡命C1
3535 滅亡 興亡C2 衰亡C3
582 死 死亡B1 亡くなるB1 亡霊C3

忘[1696] ボウ(中)
わす-れる

3053 記憶 忘れ物A2 忘年会C2

棒[1707] ボウ

414 部品(1) 棒A1 相棒B3

枚 1732 マイ

183 球・輪　枚挙 C4
1914 助数(4)　枚 A1　千枚通し B2

幕 1734 マク　バク

265 軍隊　幕府 B2　黒幕 C1　内幕 C3
326 演劇　開幕 B2　幕間 C2　字幕 C4
445 戸　天幕 B2　暗幕 C4

密 1747 ミツ

1030 真偽　密告 C1
1220 秘密　秘密 B1　密議 C2　密売 C4
1342 簡約　密林 B2　密接 C2　密閉 C3
3058 綿密　厳密 C1　綿密 C1　細密 C3

盟 1762 メイ

266 組織　加盟 C1　同盟 C1　連盟 C2
3510 契約　盟友 C3　盟約 C4

模 1770 モ　ボ

1100 様式　模範 B1　雨模様 B3　模糊 C2
3052 学習　模倣 C1　模する C2　模擬 C3
415 部品(2)　模型 A1

訳 1788 ヤク
わけ

3071 意義・道理　言い訳 A2　内訳 C1
3102 記述　訳する C2　訳 D

郵 1803 ユウ

2641 機関(2)　郵政省 D　郵便局 D
3111 通信　郵税 C1
3823 通運　郵便 A1　郵送 C1

優 1811 ユウ
やさ-しい㊥　すぐ-れる㊥

1321 英・逸　優越 C1　優に C3
241 職　女優 B1　俳優 B1
3016 温順・明朗　優しい A1　優雅 C1　優美 C1
3026 寛厳　優遇 C1　優先 C1　優待 C1
3051 巧拙　優等 A2　優良 C1

幼 1817 ヨウ
おさな-い

1614 老幼・永久　幼少 C2
205 老幼　幼稚園 A2　幼子 B2　幼なじみ C4
3057 賢愚　幼い B1　幼稚 B2
5811 老若　幼虫 B1　幼弱 C3　幼 C4

欲 1839 ヨク
ほっ-する㊞　ほ-しい㊥

3043 希望　欲張り A2　欲求 C1　貪欲 C4

翌 1840 ヨク

1620 古今　翌 B1

乱 1850 ラン
みだ-れる　みだ-す

1340 整斉・混雑　乱す A1　乱雑 C2　乱舞 C4
1553 分散　一心不乱に B3　乱視 C2
3304 苦難　狂乱 C2　取り乱す C3　乱心 C4
3541 騒乱　動乱 C1　乱世 C1　乱入 C3
3603 争乱　反乱 C1　乱戦 C3

卵 1851 ラン㊥
たまご

5781 卵　卵 A1　鶏卵 C2

覧 1852 ラン

3090 見　博覧会 B2　観覧 C2

裏 1860 リ㊥
うら

1750 表裏　裏返す A2　裏打ち C3

律 1865 リツ　リチ㊞

1100 様式　一律 C2
3080 法則　規律 B1　法律 B1
3624 規制　自律 C1　律する C3
5022 音(3)　旋律 C1　韻律 C3

臨 1897 リン
のぞ-む㊥

1520 発着　臨幸 D
1616 際・臨　臨時 B1　臨終 C1
1780 周辺　臨海 C4
3503 出欠　臨床 C2　臨席 C2

朗 1931 ロウ
ほが-らか㊥

3016 温順・明朗　朗らか A1　明朗 C2

3021 快楽　朗報C1
5012 鮮明　朗読B1　朗詠C3
5122 晴曇　晴朗C4

論[1938] ロン
3074 学問(1)　推論C1　本論C3
3113 議論　論B1　論争C1　論外C3

小学校配当外常用漢字

亜[1] ア㊥
1041 正副　亜鉛B1　亜流C3
2531 各国　東亜C4

哀[2] アイ㊥
あわ-れ㊥　あわ-れむ㊥
3022 悲苦　悲哀C1　喜怒哀楽C3
3028 賞嘆　哀れみA1　物の哀れC3

握[5] アク㊥
にぎ-る㊥
3394 手の動作(2)　握りA1　握り飯A2　握力C3

扱[7] あつか-う㊥
3630 待遇　扱いA1　取り扱いA2
3864 使用　扱うA1　取り扱うA2

依[16] イ㊥　エ㊟
1113 因果　帰依C1　依存C2
1623 漸・即　依然C3
3511 請求　依頼C1

威[18] イ㊥
3411 徳操　威儀C3　威信C4
3530 侵害　脅威C1　暴威C3　威C4
3634 威嚇　威勢A2　威圧C2　威力C2

為[20] イ㊥
3420 行為　為さいA1　為替C1　無為C3

尉[21] イ㊥
242 将兵　尉官D　陸尉D

偉[24] イ㊥
えら-い㊥
1321 英・逸　偉人B1　偉業C2　偉才C4

違[26] イ㊥
ちが-う㊥　ちが-える㊥
1120 異同　行き違うA2　入れ違いB3
3072 過誤　間違いA1　思い違えるA2　違反C1

維[27] イ㊥
416 部品(3)　繊維B1　維持C1

慰[28] イ㊥
なぐさ-める㊥　なぐさ-む㊥
3021 快楽　慰むB1　慰めるB1　慰謝C4
3630 待遇　慰問C1　慰労C1　慰霊C4

緯[30] イ㊥
1730 縦横・傾斜　経緯B1　経緯C2

壱[34] イチ㊥
1910 数詞　壱万円D

逸[35] イツ㊥
1321 英・逸　逸話C1　逸品C4　秀逸C4
1515 転移　散逸C4　逸脱D
3017 粗暴・放漫　逸楽D　放逸D
3041 勉励　安逸D

芋[36] いも㊥
5512 植物(3)　芋A1　里芋A2　山芋B3

姻[40] イン㊥
2100 家　姻戚D　姻族D
3341 結婚　婚姻C1

陰[43] イン㊥
かげ㊥　かげ-る㊥
3014 卑屈　陰気B3　陰険C4
5000 光(1)　陰日向B2　夜陰C3
5100 自然(1)　山陰C2
5122 晴曇　陰るA1
521 天　光陰C2　寸陰C3　陰陽D

隠[45] イン(中)
かく-す(中) かく-れる(中)

1220 秘密 隠れん坊 A2 隠れ家 B3 隠者 C4
3091 指示 目隠し A2 包み隠す B3 隠忍 C4

韻[46] イン(中)

3103 音声・語詞 韻文 C2 韻 C3
5020 音(1) 韻律 C3 余韻 C3

詠[59] エイ(中)
よ-む(高)

320 創作 詠む B1 歌詠み C3 詠み人 C4
3353 歌舞 詠嘆 C2 朗詠 C3 御詠歌 C4

影[60] エイ(中)
かげ(中)

323 絵画 面影 B1 撮影 B2 幻影 C2
5000 光(1) 月影 A2 投影 C1

鋭[61] エイ(中)
するど-い(中)

1821 凹凸 鋭利 C1 先鋭 C3
3057 賢愚 精鋭 C1 鋭意 C3

疫[64] エキ(中) ヤク(高)

585 疾病 免疫 C1 疫病 C3 検疫 C4

悦[68] エツ(中)

3021 快楽 悦に入る C4 満悦 C4

越[69] エツ(中)
こ-す(中) こ-える(中)

1522 通過 越す A1 通り越す A2 卓越 C2

謁[70] エツ(中)

3504 面会 謁見 D 拝謁 D

閲[71] エツ(中)

3066 研究・探索 検閲 C1
3090 見 閲覧 C1

炎[75] エン(中)
ほのお(中)

5120 寒暑 炎天 B2 炎熱 C2 炎暑 C3
5132 火 陽炎 A1 炎炎 C3
585 疾病 肺炎 B2 炎症 C3 中耳炎 C3

宴[76] エン(中)

3350 遊楽 宴 C1 宴会 C1 酒宴 C2

援[77] エン(中)

3622 援護 応援 A1 後援 C1 義援金 C3

煙[79] エン(中)
けむ-る(中) けむり(中) けむ-い(中)

3324 茶酒 禁煙 C1 喫煙 C3 節煙 C3
5112 物質(3) 煙い A1 土煙 A2 狼煙 C3

猿[80] エン(中)
さる(中)

5600 動物(1) 猿 A1 猿股 B3 猿知恵 C3

鉛[82] エン(中)
なまり(中)

5111 物質(2) 鉛筆 A1 亜鉛 B1 鉛 B1

縁[85] エン(中)
ふち(中)

1113 因果 縁日 B2 絶縁 C1 縁 C4
1780 周辺 縁(ふち) B1 縁(えん) C3
2100 家 縁者 C1 遠縁 C2
3341 結婚 離縁 C1 縁付き C3
414 部品(1) 額縁 B1
443 門 縁側 A1 縁先 B3

汚[86] オ(中)
けが-す(高) けが-れる(高) けが-らわしい(高) よご-す(中) よご-れる(中) きたな-い(中)

1350 清素 汚職 A2 口汚い B3
5013 美醜 汚染 B1
5050 清濁 汚す A1 薄汚い B2
5112 物質(3) 汚水 C2 汚物 C2

凹[88] オウ(中)

1821 凹凸 凸凹 A2 凹レンズ B3 凹凸 C1

押[92] オウ(高)
お-す(中) お-さえる(中)

1563 抑圧 押し詰まる B3 押し問答 C3
3393 手の動作(1) 押し合い A2 押し込める A2
押し上げる B3

欧[93] オウ(中)

2531 各国　西欧C1　欧文C4　南欧C4

殴[94] オウ(高)
なぐ-る(中)

1562 衝突　横殴りB3
3393 手の動作(1)　殴るA1

翁[96] オウ(中)

205 老幼　翁C1

奥[97] オウ(高)
おく(中)

1771 奥底　奥A1　奥の手C1
211 夫婦　奥さんA1　奥様A1　奥方C2

憶[101] オク(中)

3053 記憶　記憶B1　追憶C1

虞[102] おそれ(中)

3022 悲苦　虞(おそれ)D

乙[103] オツ(中)

1910 数詞　甲乙C3

卸[104] おろ-す(中)　おろし(中)

1540 上下　卸すB1
3721 売買　卸しB1
431 食品(2)　大根卸しA2

穏[108] オン(中)
おだ-やか(中)

1330 安危　穏当C1　穏便C2　安穏C4
3016 温順・明朗　穏健C1
3540 和平　平穏C1　不穏C3
5122 晴曇　穏やかB1　静穏C4

佳[117] カ(中)

1311 美好　佳境C3

架[122] カ(中)
か-ける(中)　か-かる(中)

3822 工(3)　架空B3　架設C2
415 部品(2)　架線C3
444 柱　十字架B2　書架B2　担架C3
471 道路　架け橋C3　高架C3

華[126] カ(中)　ケ(高)
はな(中)

1311 美好　華麗C2　栄華C3　精華C4
2531 各国　中華B2
3301 風俗　繁華街C1
3352 技芸(2)　華道C4
5013 美醜　華華しいB1　華やかB2　華やぐB2
5513 植物(4)　散華(さんげ)D

菓[127] カ(中)

433 食品(4)　干菓子B2　洋菓子B3　製菓C3

渦[129] カ(高)
うず(中)

183 球・輪　渦巻きA2
186 行列　渦巻くA2　渦中C4
5123 波浪　渦A1

嫁[131] カ(高)
よめ(中)　とつ-ぐ(中)

211 夫婦　嫁A1　花嫁A2　兄嫁C2
3341 結婚　嫁入りA1　嫁入るA1　嫁ぐC1

暇[132] カ(中)
ひま(中)

1610 時間　暇A1　余暇C1　寸暇C2
3312 休・閑　暇B1　暇乞いB2

禍[133] カ(中)

3302 運命　惨禍C2　禍根C3　災禍C4

靴[134] カ(高)
くつ(中)

422 身の回り　靴A1　長靴A2　編み上げ靴B3

寡[135] カ(中)

1920 多少　衆寡C3　多寡C3
211 夫婦　寡婦(かふ)C4

箇[137] カ(中)

1912 助数(2)　箇条C2

稼138 カ高
かせ-ぐ中
3311 勤労　共稼ぎ C4　出稼ぎ C4
3701 保持　稼ぎ B1　稼ぐ B1

蚊140 か中
563 動物(4)　蚊帳 A1　藪蚊 A2

雅145 ガ中
1311 美好　優雅 C1　雅量 C3　雅やか C4
3301 風俗　風雅 C3　雅号 C4

餓146 ガ中
5862 飢渇　餓える C2　飢餓 C3

介147 カイ中
3507 仲介　媒介 C1　仲介 C2
3622 援護　介抱 B1　お節介 B2
564 動物(5)　魚介 D

戒152 カイ中
いまし-める中
3532 防衛　警戒 B1　厳戒 C2
3621 勧諭　戒め B1　訓戒 C1　自戒 C4
3633 懲戒　懲戒 C2　戒告 C4

怪154 カイ中
あや-しい中　あや-しむ中
1351 珍奇　怪談 C1　怪奇 C3
203 神仏　怪物 B2　妖怪 D
3056 迷惑　怪しむ A1　怪漢 C4

拐155 カイ中
3700 取得　拐かす C2　誘拐 C2

悔156 カイ中
く-いる中　く-やむ中　くや-しい中
3044 覚悟　悔いる B1　悔悟 C4

皆159 カイ中
みな中
1942 全欠　皆殺し A2　皆無 C1　皆目 C2

塊165 カイ中
かたまり中
5102 自然(3)　山塊 D　肉塊 D

壊166 カイ中
こわ-す中　こわ-れる中
1572 破壊　壊れる A2　破壊 C1　壊滅 C4

懐167 カイ中
ふところ高　なつ-かしい高　なつ-かしむ高　なつ-く高　なつ-ける高
1771 奥底　懐 A1　懐炉 B3　懐中 C1
3000 心　懐く B1　本懐 C3
3025 好悪　懐かしむ A1　人懐こい B2
3055 思考　懐疑 C2　懐旧 C3

劾170 ガイ中
3613 推薦・糾弾　弾劾 C4

涯172 ガイ中
1721 限界　生涯 B1

慨174 ガイ中
3023 恐怖・憤怒　憤慨 C1　感慨 C2

該175 ガイ中
100 何　該当 C2　当該 C4

概176 ガイ中
1951 概略　概括 C1　概数 C1　概評 C2
3040 志念　気概 C2
3071 意義・道理　概念 C1

垣177 かき中
443 門　垣 A1　石垣 A2　生け垣 B3

核183 カク中
1742 頂・央　核心 C3　中核 C3
5101 自然(2)　結核 B1　肺結核 B2
5514 植物(5)　核 C1

殻184 カク中
から中
5761 歯・骨　貝殻 A2　脱け殻 A2　地殻 D

郭185 カク㊥

186 行列 輪郭B2 胸郭C4
473 港・城 城郭C3

較187 カク㊥

3061 比較 比較C1

隔188 カク㊥
へだ-てる㊥ へだ-たる㊥

1553 分散 隔てるB1 隔日C1 隔月C3
1564 防止 隔てB1 隔離C1
1921 長短 間隔B1 遠隔C3

獲191 カク㊥
え-る㊥

3700 取得 獲物A1 漁獲C1

嚇192 カク㊥

3634 威嚇 威嚇C2

穫193 カク㊥

3811 採収 収穫B1

岳195 ガク㊥
たけ㊥

2101 実・義 岳父D
523 山 山岳C1

掛198 か-ける㊥ か-かる㊥ かかり㊥

1514 懸垂 掛かるA1 取り掛かるB2
1911 助数(1) 掛A1
3065 計算(2) 掛けるA1 掛け算A2

潟199 かた㊥

527 島 干潟C3

括200 カツ㊥

1551 集合 締め括るB2 括れるC4

喝202 カツ㊥

3110 談話 喝采B1
3634 威嚇 恐喝C4

渇203 カツ㊥
かわ-く㊥

3003 疲労 渇望C2
5121 雲雨 渇水C2 枯渇C4
5133 乾湿 渇かすA1 渇くA1
5862 飢渇 渇きA1 渇C2

滑205 カツ㊥
すべ-る㊥ なめ-らか㊥

1521 歩行 滑り込みA2 滑走B1 滑空C2
1821 凹凸 滑らかB1 円滑C1 潤滑油C4

褐206 カツ㊥

5011 色(2) 褐色B1

轄207 カツ㊥

3601 管理 直轄C1 管轄C2 所轄C3

且208 か-つ㊥

600 助語(1) 且(かつ)D

刈210 か-る㊥

1571 切断 刈るA1 柴刈りA2 草刈りA2
3811 採収 刈り入れA2 刈り入れるA2

甘213 カン㊥
あま-い㊥ あま-える㊥ あま-やかす㊥

3025 好悪 甘党C4 甘美C4
504 味 甘酒A2 甘柿B3 甘蔗B3

汗214 カン㊥
あせ㊥

577 血・乳 汗疹A2 一汗B3 汗顔C4

缶215 カン㊥

451 容器 薬缶A1 空き缶A2

肝217 カン㊥
きも㊥

105 重要 肝心A1 肝要C1
575 臓 肝油B1 肝臓C1

冠219 カン㊥
かんむり㊥

3104 文字　ウ冠 D　草冠 D
3340 祝祭　若冠 C4
422　身の回り　鶏冠 A2　王冠 C3

陥 222 カン中
おちい-る中　おとしい-れる高

1540 上下　陥る B1　陥れる B1　陥没 C2
3534 勝敗　陥落 C1

乾 223 カン中
かわ-く中　かわ-かす中

3841 家事(2)　乾かす A1
431　食品(2)　乾パン B3
5133 乾湿　乾電池 B2　乾杯 C3
520　天地　乾坤(けんこん) D

勘 224 カン中

3001 感覚　勘 C2　勘違い C2
3055 思考　勘弁 A1　勘当 C4
3067 推量　勘定 A1

患 225 カン中
わずら-う高

3022 悲苦　患う B1
3304 苦難　外患 D　憂患 D
585　疾病　患部 C2　疾患 C4

貫 226 カン中
つらぬ-く中

1522 通過　貫ぬく B1　貫通 C2　突貫 C4
1919 助数(9)　貫 B1

喚 228 カン中

3100 言語　喚く B1　喚起 C4
3505 訪問　召喚 C3　喚問 C4

堪 229 カン高
た-える中

1563 抑圧　堪える B1　持ち堪え B2
3041 勉励　堪える A1　堪らない A1　堪忍 A1
3050 才能　堪能 C4

換 230 カン中
か-える中　か-わる中

1502 交替・修訂　乗り換え A2　書き換える B3
換言 C3
3720 交易　交換 B1

敢 231 カン中

3015 勇敢　勇敢 B1　敢闘 C3
3420 行為　取り敢えず C2
3423 遂行　敢えて C2

棺 232 カン中

451　容器　棺 B1

款 233 カン中

3080 法則　定款 D　約款 D
3106 章段　款項 D

閑 235 カン中

3021 快楽　安閑 C2
3312 休・閑　閑静 C3　深閑 C4

勧 236 カン中
すす-める中

3621 勧諭　勧告 C1　勧誘 C1

寛 237 カン中

3026 寛厳　寛容 C1
3540 和平　寛大 C1　寛厚 D

歓 244 カン中

3021 快楽　歓声 C1　歓呼 C3
3350 遊楽　歓楽 C2
3500 融和　歓待 C4　交歓 C4

監 245 カン中

3066 研究・探索　監査 C1
3090 見　監視 C2
3600 支配　監督 B1
3605 刑罰　監獄 B3　監禁 C3

緩 246 カン中
ゆる-い中　ゆる-やか中　ゆる-む中
ゆる-める中

1344 緊張　緩む A1　緩和 C4
1631 遅速　緩い A1　緩慢 C2
1821 凹凸　緩やか A1
1925 急緩　緩急 C2

憾[247] カン㊥

3023 恐怖・憤怒　遺憾 C1

還[248] カン㊥

1526 往復　返還 C1　還元 C3　帰還 C3
3731 弁済　償還 C2

環[250] カン㊥

1525 周回　循環 B1　環境 C1
183　球・輪　環礁 D　金環 D

艦[253] カン㊥

463　船車　艦 B2　艦隊 C1　母艦 C3

鑑[254] カン㊥

3055 思考　鑑みる C2
3061 比較　鑑定 C1
3090 見　鑑識 C3
3122 典籍　年鑑 B1　図鑑 B2
452　文具　印鑑 C2　鑑札 C2

含[256] ガン㊥
ふく-む㊥　ふく-める㊥

1133 被・脱　含み A1　含蓄 C2　包含 C3
1533 包囲　含む A1　含める A1

頑[260] ガン㊥

3015 勇敢　頑張り A1　頑丈 B3　頑強 C3
3057 賢愚　頑固 B1　頑な(かたくな) C1　頑として C3

企[263] キ㊥
くわだ-てる㊥

3082 計画　企てる B1　企む C1　企図 C1
3801 産業(2)　企業 C1　中小企業 C4

岐[267] キ㊥

1574 配列　岐路 C3
181　点線　分岐点 C4

忌[269] キ㊥
い-む㊟　い-まわしい㊟

3025 好悪　忌む C1　忌避 C3　忌憚なく C4
3045 祝賀　忌まわしい C1
3340 祝祭　周忌(〜周忌) C3　回忌 C4　忌日 C4
3343 参拝　忌引き C2　忌中 C2

奇[271] キ㊥

1351 珍奇　怪奇 C3　数奇 C4
1902 数(3)　奇数 B1
3056 迷惑　奇縁 C3　奇遇 C3　奇襲 C3

祈[272] キ㊥
いの-る㊥

3044 覚悟　祈る A1　祈禱 C2

軌[275] キ㊥

181　点線　軌跡 C4
3080 法則　常軌 C3
471　道路　軌道 C1　無軌道 C2

既[276] キ㊥
すで-に㊥

1615 再・毎　既成 C1　既往症 C3　既婚 C4
1623 漸・即　皆既食 C1

飢[279] キ㊥
う-える㊥

3003 疲労　飢える C2
5862 飢渇　飢え B1　飢え死に B2　飢餓 C3

鬼[280] キ㊥
おに㊥

203　神仏　鬼ごっこ A2　鬼畜 C2

幾[286] キ㊥
いく㊥

1910 数詞　幾ら A1　幾重にも B2　幾何 C3

棋[289] キ㊥

454　もてあそびもの(玩)　将棋 B1

棄[291] キ㊥

1202 除却　棄権 B1　自暴自棄 C2　破棄 C3

輝[294] キ㊥
かがや-く㊥

5001 光(2)　輝き A1　輝く A1　光輝 C2

騎296 キ中

1912 助数(2)　一騎討 C4　騎 C4
3392 足の動作　騎馬 B2　騎手 C4

宜298 ギ中

1310 正邪　宜しい A1　適宜 C1　禰宜 C3

偽299 ギ中
いつわ-る中　にせ高

1030 真偽　偽 B1　偽名 C2
3046 節義　偽り B1　偽善 C2
3421 犯罪　偽る B1　虚偽 C1

欺300 ギ中
あざむ-く中

3421 犯罪　詐欺 C2
3630 待遇　欺く C1

儀303 ギ中

102 条項　難儀 B1　余儀なく C2
1300 様相　威儀 D　行儀 D
3342 式典　儀式 B1　葬儀 C1
462 器械　地球儀 D

戯304 ギ中
たわむ-れる高

326 演劇　戯曲 C1
3353 歌舞　遊戯 A1　戯れる B1

擬305 ギ中

3052 学習　擬音 B2　擬人法 C3　模擬 C3
3061 比較　擬える(なぞらえる) C3

犠306 ギ中

3522 貢献　犠牲 B1
5601 動物(2)　犠牲 D

菊308 キク中

5511 植物(2)　白菊 A2　除虫菊 B3　雛菊 C4

吉309 キチ中　キツ中

3302 運命　吉報 C2　吉日 C3

喫310 キツ中

3323 飲食　喫茶 C3
3396 喫食　喫煙 C3　喫水線 C3

詰311 キツ高
つ-める中　つ-まる中　つ-む中

1533 包囲　詰め襟 B3
1952 極限　上り詰める B2　金詰まり C3
3113 議論　詰める A1　理詰め C4
3613 推薦・糾弾　問い詰める B2　詰問 C3
3864 使用　詰める A1　瓶詰め A2　折り詰め B3

却312 キャク中

1202 除却　忘却 C1　脱却 C2　棄却 C4
1524 進退　却下 C4
1526 往復　返却 C1　退却 D
3534 勝敗　冷却 C1
3731 弁済　売却 C1　困却 C4

脚314 キャク中　キャ高
あし中

1914 助数(4)　脚 C4
3104 文字　脚本 B1　脚色 C1
573 手足　脚気 B1　失脚 C1　立脚 C2

虐316 ギャク中
しいた-げる高

3026 寛厳　暴虐 C4
3630 待遇　虐待 C1　虐殺 C3

及319 キュウ中
およ-ぶ中　およ-び中　およ-ぼす中

1520 発着　過不及 C4
1523 先導・追従　及ぼす B1　言及 C3　波及 C3
3331 学業(2)　及第 B1
600 助語(1)　及び B1

丘321 キュウ中
おか中

523 山　丘 A1　丘陵 C1　砂丘 C1

朽325 キュウ中
く-ちる中

5812 茂・枯　不朽 C1　腐朽 C4

糾331 キュウ中

3112 問答　糾合 C4　紛糾 C4

3613 推薦・糾弾　糾明C3　糾弾C4

窮 336
キュウ中
きわ-める高　きわ-まる高

1952 極限　窮余C4
3022 悲苦　窮屈B1　窮地C4
3066 研究・探索　窮理D
3740 貧困　窮するC1　貧窮C1　困窮C2

巨 339
キョ中

1922 大小　巨人B2　巨大C2　巨費C4

拒 341
キョ中
こば-む中

3513 拒否　拒むC1　拒絶C1　拒否C1
3532 防衛　抗拒D

拠 342
キョ中　コ中

1113 因果　証拠B1　論拠C1　拠ん所無いC4
1710 地点　本拠C2　占拠C4

虚 344
キョ中　コ高

1030 真偽　虚報C2　虚構C4　虚妄D
1201 空・無　虚弱C2　虚脱C3　虚勢C4
3027 敬仰　謙虚C2
3072 過誤　虚偽C1　虚言C3

距 346
キョ中

1921 長短　距離B1　短距離B2

御 348
ギョ中　ゴ中
おん中

3600 支配　御者B2　制御C3

凶 350
キョウ中

3302 運命　凶C1　吉凶C3　凶器C4

叫 352
キョウ中
さけ-ぶ中

3100 言語　叫びA1　叫ぶA1　絶叫C3

狂 353
キョウ中
くる-う中　くる-おしい中

1351 珍奇　番狂わせB2　狂歌C3
234 人物　狂うA1　発狂C2
3002 驚・酔　狂わしいC2　狂乱C2
3017 粗暴・放漫　死に物狂いA2　狂暴C2

享 355
キョウ中

3700 取得　享楽C1　享受C3

況 358
キョウ中

1300 様相　概況C1　盛況C1　好況C2
605 助語(6)　況してB1

峡 359
キョウ中

5241 谷　海峡B1　峡谷C3

挟 360
キョウ高
はさ-む中　はさ-まる中

1533 包囲　挟み将棋D　挟撃D　紙挟みD
3394 手の動作(2)　差し挟むB2　挟むB3

狭 361
キョウ高
せま-い中　せば-める中　せば-まる中

1921 長短　狭いA1　手狭B2
3026 寛厳　狭量C4　偏狭C4

恐 362
キョウ中
おそ-れる中　おそ-ろしい中

3023 恐怖・憤怒　恐ろしいA1　恐れ入るB3　恐喝C4
3740 貧困　恐慌C4

恭 363
キョウ中
うやうや-しい高

3012 誠実　恭しいB1　恭順C4

脅 365
キョウ中
おびや-かす高　おど-す中　おど-かす中

3530 侵害　脅かすC1　脅威C1
3634 威嚇　脅かしA1　脅かすA1　脅迫C1

矯 371
キョウ中
た-める高

1351 珍奇　奇矯D
3620 教育　矯めるC1　矯正C2

響 374
キョウ中
ひび-く中

1131 交応　響かすA1　影響B1
325 音楽　交響楽C1

5020 音(1)　響き A1　地響き A2　反響 C1

驚 375　キョウ㊥
おどろ-く㊥　おどろ-かす㊥

3002 驚・酔　驚く A1　驚嘆 C2

仰 376　ギョウ㊥　コウ㊥
あお-ぐ㊥　おお-せ㊟

3027 敬仰　仰ぐ A1　信仰 B1　仰天 B3
3110 談話　仰せ B2
3391 立ち居　仰向く A1　仰向ける A1　仰角 C4
3623 命令　仰せ付け B2

暁 377　ギョウ㊟
あかつき㊥

1613 昼夜　暁 C1　早暁 C4　払暁 C4
3054 認識　通暁 C4

凝 379　ギョウ㊥
こ-る㊥　こ-らす㊥

3044 覚悟　凝る B1　凝り性 C4
5051 硬軟　凝り B1
5131 変化(2)　凝り固まる C2　凝結 C2　凝固 C2

斤 384　キン㊥

1919 助数(9)　斤 B1

菌 388　キン㊥

564 動物(5)　菌 B1　殺菌 B1　菌類 C3

琴 390　キン㊥
こと㊥

454 もてあそびもの(玩)　竪琴 A2　手風琴 C4

緊 393　キン㊥

1344 緊張　緊縮 C1　緊迫 C1　緊要 C3

謹 394　キン㊥
つつし-む㊥

3012 誠実　謹慎 C1　謹厳 C2　謹聴 C4

襟 395　キン㊟
えり㊥

421 被服　襟 A1　詰め襟 B3

吟 396　ギン㊥

3094 味　吟味 C1　吟醸 D
320 創作　吟ずる C3　名吟 D
3353 歌舞　詩吟 C1　朗吟 C1

駆 401　ク㊥
か-ける㊥　か-る㊥

1521 歩行　先駆け B2　駆け戻る B3　駆け引き C1
1523 先導・追従　駆除 C2　駆逐 C3
3392 足の動作　駆ける A1　駆け足 A2　疾駆 C4

愚 403　グ㊥
おろ-か㊥

234 人物　愚図 A2　愚息 C3
3057 賢愚　愚痴 B1　愚弄 C2

偶 405　グウ㊥

1616 際・臨　偶然 C1　偶発 C4
1902 数(3)　偶数 B1
211 夫婦　配偶者 C3
454 もてあそびもの(玩)　木偶の坊 B3　偶像 C1

遇 406　グウ㊥

3504 面会　奇遇 C3　遭遇 C3
3630 待遇　境遇 C1　遇する C4

隅 407　グウ㊥
すみ㊥

1742 頂・央　隅 A1　隅っこ A1　隅隅 A2

屈 408　クツ㊥

1570 曲折　屈む A1　屈折 C1　屈曲 C3
3014 卑屈　理屈 B1　屁理屈 B3
3022 悲苦　退屈 A1　屈辱 C1
3534 勝敗　屈する B1　屈指 C2　屈従 C4

掘 409　クツ㊥
ほ-る㊥

1572 破壊　掘っ建て小屋 B3
3812 土木　掘る A1　採掘 C2　発掘 C3

繰 410　く-る㊥

3821 工(2)　繰り上げ B2　繰り入れる B3
3840 家事(1)　繰る B1　手繰る B1

勲 413　クン㊥

3422 成績　勲章B1　偉勲C2　殊勲C4

薫[414]
クン(高)
かお-る(中)

3620 教育　薫陶C4
5030 香　薫るB1　薫製C4

刑[419]
ケイ(中)

3605 刑罰　刑C2　刑期C3　重刑C4

茎[423]
ケイ(中)
くき(中)

5513 植物(4)　歯茎B2　地下茎C2

契[426]
ケイ(中)
ちぎ-る(高)

3510 契約　契るC1　契機C3

恵[428]
ケイ(中)　エ(中)
めぐ-む(中)

3302 運命　知恵A1　猿知恵C3　入れ知恵C3
3631 恩恵　恵みB1　恩恵C1
3722 贈与　恵むB1

啓[429]
ケイ(中)

3110 談話　啓上C1　拝啓C1
3620 教育　啓発C2　啓蒙C4

掲[430]
ケイ(中)
かか-げる(中)

1514 懸垂　掲示A1　掲載C2

渓[431]
ケイ(中)

5241 谷　雪渓B3　渓谷C4　渓流C4

蛍[433]
ケイ(中)
ほたる(中)

563 動物(4)　蛍狩りB1　蛍光灯B2

傾[437]
ケイ(中)
かたむ-く(中)　かたむ-ける(中)

1513 起倒　傾くA1　傾向C1　傾倒C4
1730 縦横・傾斜　傾きA1　傾斜B1　傾聴C3

携[438]
ケイ(中)
たずさ-える(中)　たずさ-わる(中)

3311 勤労　携わるC1
3394 手の動作(2)　携えるC1　携行C2　携帯C2
3520 参加　提携C1
3701 保持　必携C4

継[439]
ケイ(中)
つ-ぐ(中)

1503 連絡　引き継ぎB3　受け継ぐB3　後継者C3
2101 実・義　継子B2　継母B2

慶[440]
ケイ(中)

3045 祝賀　慶弔C2　慶賀C3

憩[441]
ケイ(中)
いこ-い(中)　いこ-う(高)

3312 休・閑　休憩B1　憩いC3　憩うC3

鶏[443]
ケイ(中)
にわとり(中)

561 動物(3)　鶏冠A2　葉鶏頭A2　養鶏C1

迎[445]
ゲイ(中)
むか-える(中)

3506 送迎　迎えA1　歓迎B1

鯨[446]
ゲイ(中)
くじら(中)

5600 動物(1)　鯨A1　捕鯨B2

撃[448]
ゲキ(中)
う-つ(中)

1562 衝突　射撃B2　衝撃C2　目撃C4
3393 手の動作(1)　撃ちA1　打撃(野球のバッティング)C1
3531 抗争　突撃C1　襲撃C3

傑[455]
ケツ(中)

1321 英・逸　傑作B2　傑出C3
234 人物　豪傑B1　英傑C3

肩[462]
ケン(高)
かた(中)

572 胴　肩車B3　肩透かしC2　比肩C4

倹[466]
ケン(中)

3012 誠実　倹しいC4
3741 節倹　倹約B1　勤倹C3　節倹C3

兼[467] ケン㊥
か-ねる㊥
1041 正副　兼C2　兼用C3

剣[468] ケン㊥
つるぎ㊥
453 武器　真剣B1　剣道C2

軒[469] ケン㊥
のき㊥
1914 助数(4)　軒(けん)A1　一軒D　二軒D
263 家宅　軒(のき)A1　軒並みB2
444 柱　軒端B3

圏[472] ケン㊥
5280 地帯　圏内C2　成層圏C2　圏外C3

堅[473] ケン㊥
かた-い㊥
3015 勇敢　堅実C1　堅気C3　堅持C4
5051 硬軟　堅いA1　堅固C1

嫌[475] ケン㊥　ゲン㊥
きら-う㊥　いや㊥
3025 好悪　機嫌A1　嫌らしいA1　負けず嫌いB2

献[476] ケン㊥　コン㊥
3122 典籍　文献C3
3522 貢献　貢献C2　献身C3
3722 贈与　献上C2　献ずるC3

遣[478] ケン㊥
つか-う㊥　つか-わす㊥
3612 派遣　派遣C1　遣わすC2
3864 使用　遣り取りA2　遣り場B3　遣り口C4

賢[481] ケン㊥
かしこ-い㊥
234 人物　賢兄D　聖賢D
3057 賢愚　悪賢いB2　小賢しいC4

謙[482] ケン㊥
3012 誠実　謙虚C2
3027 敬仰　謙遜B1　謙るC1　謙譲C3

繭[483] ケン㊞
まゆ㊥
563 動物(4)　繭A1

顕[484] ケン㊥
1211 露呈　顕著C4
5012 鮮明　顕微鏡B1

懸[486] ケン㊥　ケ㊞
か-ける㊥　か-かる㊥
1514 懸垂　懸垂B1　懸念C1
3043 希望　一生懸命A1　命懸けA2　懸命B1

幻[488] ゲン㊥
まぼろし㊥
5001 光(2)　幻C1　幻想C2　夢幻C4

玄[489] ゲン㊥
1320 便利　玄関A1　玄人C1
5011 色(2)　玄米B1

弦[491] ゲン㊥
つる㊞
181 点線　下弦C2　上弦C2
416 部品(3)　管弦楽C1　弦楽器C4

孤[503] コ㊥
1943 単複　孤独C1　孤軍奮闘C2
213 子孫　孤児(みなしご)B1　孤児(こじ)C1

弧[504] コ㊥
181 点線　括弧B1　弧C2

枯[506] コ㊥
か-れる㊥　か-らす㊥
1203 消滅　枯渇C4
3302 運命　栄枯C2
5812 茂・枯　枯らすA1　夏枯れB3

雇[510] コ㊥
やと-う㊥
3611 任免　雇うA1　日雇いC1

誇[511] コ㊥
ほこ-る㊥
3042 栄誉　誇らしいB1　誇張C2

鼓[512] コ㊥
つづみ㊞
1511 回転　鼓膜B1　鼓吹C3
454 もてあそびもの(玩)　太鼓A1　鼓B1

顧[513] コ㊥
かえり-みる㊥
3044 覚悟　後顧C3　顧慮C4
3090 見　顧みるB1　回顧C1　顧問C1
3631 恩恵　愛顧C3　恩顧C3

互[515] ゴ㊥
たが-い㊥
1130 相対　お互いにA1　相互C1

呉[517] ゴ㊥
2531 各国　呉れるA1　呉服B1

娯[519] ゴ㊥
3350 遊楽　娯楽B1

悟[520] ゴ㊥
さと-る㊥
3044 覚悟　覚悟A1　悔悟C4　改悟C4
3054 認識　悟りB1　悟るB1

碁[521] ゴ㊥
454 もてあそびもの(玩)　碁石A2　碁盤B2

孔[528] コウ㊥
184 口・孔　眼孔D　気孔D　鼻孔D

巧[530] コウ㊥
たく-み㊥
3051 巧拙　巧いA1　精巧C1

甲[532] コウ㊥　カン㊥
1910 数詞　甲B1　甲乙C3
422 身の回り　甲A1　甲板B3　装甲C4
5761 歯・骨　甲羅B3　鼈甲C3

江[538] コウ㊥
え㊥
525 川　江湖D　江山D　江村D
527 島　入り江B3

坑[541] コウ㊥
472 池堤　炭坑C3　坑口D

抗[543] コウ㊥
1563 抑圧　抗議C1　抗争C1　反抗C1
3532 防衛　抵抗C1　無抵抗C2

攻[544] コウ㊥
せ-める㊥
3531 抗争　攻めB2　正攻法C2　攻略C4

更[545] コウ㊥
さら㊥　ふ-ける㊞　ふ-かす㊞
1502 交替・修訂　変更B2　更正C1　更迭C3
1615 再・毎　夜更かしA2　更かすB1　更新C1
1916 助数(6)　初更D
600 助語(1)　更にB1　殊更B1

拘[548] コウ㊥
1131 交応　拘りB1　拘束C1
3605 刑罰　拘留C1　拘禁C4

肯[549] コウ㊥
3069 肯否　肯定C1

侯[550] コウ㊥
2320 貴族　王侯D　諸侯D

恒[552] コウ㊥
1614 老幼・永久　恒久C3　恒例C3

洪[553] コウ㊥
1922 大小　洪恩D　洪大D
5114 災害　洪水B1

荒[556] コウ㊥
あら-い㊥　あ-れる㊥　あ-らす㊥
1340 整斉・混雑　荒れるA1　荒海B3　荒涼C2
1721 限界　破天荒C4
3017 粗暴・放漫　荒ら荒らしいA2　荒ぶC1
5122 晴曇　荒れA1　吹き荒ぶC2　荒天C3

郊[557] コウ中

256 村里 郊外B1 近郊C2

香[558] コウ中 キョウ高
か中 かお-り中 かお-る中

435 紅墨 香(こう)C1 香料C3 線香D
5030 香 香りB1 香(か)C2

貢[563] コウ中 ク高
みつ-ぐ高

3522 貢献 貢献C2
3722 贈与 年貢C2 貢ぎC4 貢ぐC4

控[567] コウ高
ひか-える中

1041 正副 控えB1 控えるB1
1581 補充 控訴C1 控除C3
3041 勉励 差し控えるC2 手控えるC4
3120 筆録 手控えC4

慌[569] コウ高
あわ-てる中 あわ-ただしい中

3002 驚・酔 慌ただしいB1
3031 泣笑 慌てA1 慌てるA1
3740 貧困 恐慌C4

硬[571] コウ中
かた-い中

3015 勇敢 強硬C1 硬化C2 硬直C4
5051 硬軟 硬筆B3 硬骨C4

絞[572] コウ高
しぼ-る中 し-める中 し-まる中

1552 絞締 絞めるA1 絞殺C3
3841 家事(2) 絞りA1 絞るA1 絞るB3

項[573] コウ中

102 条項 条項C1 項C3
1911 助数(1) 項C1

溝[574] コウ中
みぞ中

472 池堤 溝A1

綱[577] コウ中
つな中

3071 意義・道理 綱領C1 大綱C4
416 部品(3) 手綱A1 横綱B1 艦綱B3

酵[578] コウ中

550 生物 酵素D 酵母D
584 生理(2) 完酵C2 発酵C2

稿[579] コウ中

3120 筆録 寄稿C1 投稿C1

衡[581] コウ中

1340 整斉・混雑 均衡C1 平衡C4
461 計器 度量衡C1

購[584] コウ中

3721 売買 購買B2 購入C1 購読C2

拷[587] ゴウ中

3605 刑罰 拷問C3

剛[588] ゴウ中

3015 勇敢 剛の者C2 金剛石C4 剛直C4

豪[589] ゴウ中

1321 英・逸 豪雨C2 豪語C3 豪放C3
234 人物 豪傑B1 富豪C2 豪農C3
3015 勇敢 豪勇C4

克[590] コク中

3534 勝敗 克己C4 克明C4

酷[597] コク中

3026 寛厳 冷酷C1 酷使C3 酷寒C4

獄[598] ゴク中

3605 刑罰 地獄B1 投獄C2

込[600] こ-む中 こ-める中

1340 整斉・混雑 込み合うA2 込み入るB3
1530 出入 引き込むA2 住み込むB2
1941 余剰 持ち込みA2 込みB3

昆 603 コン㊥

563 動物(4) 昆虫 B1

恨 604 コン㊥
うら-む㊥ うら-めしい㊥

3023 恐怖・憤怒 恨む A1 逆恨み C3
3025 好悪 痛恨 C2 遺恨 C4

婚 606 コン㊥

3341 結婚 婚姻 C1 離婚 C1 既婚 C4

紺 608 コン㊥

5011 色(2) 紺 B1 紺青 C3

魂 609 コン㊥
たましい㊥

203 神仏 霊魂 C1
3000 心 魂 A1 魂消る A2
3040 志念 魂胆 C3 商魂 C4 面魂 C4

墾 610 コン㊥

3812 土木 開墾 B1

懇 611 コン㊥
ねんごーろ㊞

3025 好悪 懇意 C1 懇請 C3
3500 融和 懇親 C1 懇談 C1

佐 613 サ㊥

242 将兵 一佐 D 佐官 D
3622 援護 補佐 C2

唆 616 サ㊥
そそのか-す㊞

3621 勧諭 示唆 C2 教唆 D
3634 威嚇 唆す C1

詐 618 サ㊥

3421 犯罪 詐欺 C2
3634 威嚇 詐取 C3

鎖 619 サ㊥
くさり㊥

416 部品(3) 鎖 A1 封鎖 C2 鎖骨 C4

砕 625 サイ㊥
くだ-く㊥ くだ-ける㊥

1572 破壊 砕く A1 砕ける A1 粉砕 C1

宰 626 サイ㊥

3601 管理 宰相 D 庖宰 D

栽 627 サイ㊥

3810 栽培 栽培 B1 盆栽 C3

彩 628 サイ㊥
いろど-る㊞

323 絵画 水彩画 B2
3863 加工 彩り B1 極彩色 C3 淡彩 C4
5010 色(1) 異彩 C1 光彩 C4

斎 632 サイ㊥

263 家宅 書斎 C1
3045 祝賀 斎場 C4

債 637 サイ㊥

3710 金銭 公債 C1
3730 貸借 負債 C1

催 638 サイ㊥
もよお-す㊥

3423 遂行 催す B1 開催 C1
3621 勧諭 催促 B1 催眠術 C2

歳 639 サイ㊥ セイ㊥

1611 年月 万歳 A1 歳出 C2
1916 助数(6) 歳 A1 一歳 D 二歳 D

載 640 サイ㊥
の-せる㊥ の-る㊥

1541 乗降 舶載 C2 積載 C3 満載 C3
3832 報刊 記載 C1 掲載 C2 連載 C2

剤 644 ザイ㊥

434 薬剤 殺虫剤 B3 駆虫剤 C2 防虫剤 C4

崎[647] さき(中)

527 島 崎 B3

削[649] サク(中) けず-る(中)

1571 切断 削る A1 削除 C2

索[651] サク(中)

3022 悲苦 索然 D 索漠 D
3066 研究・探索 索引 C1 捜索 C1 探索 C4
416 部品(3) 鋼索 D 索条 D 鉄索 D

酢[653] サク(中) す(中)

432 食品(3) 酢 A1 酢酸 C3

搾[654] サク(高) しぼ-る(中)

1552 絞締 搾取 C1 圧搾 C2

錯[655] サク(中)

1340 整斉・混雑 錯雑 C4 錯乱 C4
3072 過誤 錯覚 C1 錯誤 C2

咲[656] さ-く(中)

3031 泣笑 咲う(わらう) D 哄咲(こうしょう) D
5812 茂・枯 咲き残る A2 咲き匂う C3

撮[662] サツ(中) と-る(中)

323 絵画 撮影 B2
3394 手の動作(2) 撮る A1

擦[663] サツ(中) す-る(中) す-れる(中)

1562 衝突 擦り剝く A2 擦れる B1
3393 手の動作(1) 擦る A1 擦る(マッチを〜) A1

桟[669] サン(中)

414 部品(1) 桟橋 B1 桟敷 B2
444 柱 桟 B2

惨[671] サン(中) ザン(高) みじ-め(高)

3304 苦難 惨事 C1 惨害 C3

傘[673] サン(高) かさ(中)

422 身の回り 唐傘 A1 蛇の目傘 B2

暫[679] ザン(中)

1615 再・毎 暫し B1 暫定 C3

旨[691] シ(中) むね(高)

102 条項 旨 C1
3071 意義・道理 主旨 C1 趣旨 C1 宗旨 C2

伺[695] シ(高) うかが-う(中)

3090 見 伺う D
3092 探求 伺う D
3093 聞 伺い A1
3112 問答 伺う A1 伺候 D
3503 出欠 伺う D

刺[699] シ(中) さ-す(中) さ-さる(中)

1562 衝突 刺 A1 刺激 B1 目刺し B3

祉[703] シ(中)

3302 運命 福祉 C2

肢[704] シ(中)

1041 正副 選択肢 D 分肢 D
573 手足 四肢 B1 肢体 C3

施[708] シ(中) セ(高) ほどこ-す(中)

3420 行為 施行 C1 実施 C1 施療 C4
3722 贈与 施し B1 布施 C3
3860 製作 施設 B2

脂[711] シ(中) あぶら(中)

413 材料(4) 脱脂綿 B2 脂粉 C3
432 食品(3) 脂 B1
5514 植物(5) 樹脂 C3
577 血・乳 脂肪 B1

紫713 シ㊥
むらさき㊥
5011 色(2) 薄紫A2 山紫水明C4

嗣716 シ㊥
213 子孫 継嗣D 嗣子D

雌722 シ㊥
め㊥ めす㊥
550 生物 雌A1 雌蕊B2 雌雄C1

賜723 シ㊫
たまわ-る㊥
3722 贈与 賜うC1 下賜C3

諮724 シ㊥
はか-る㊥
3112 問答 諮るC2 諮問C2

侍734 ジ㊥
さむらい㊥
243 役職 侍A2 侍医D 侍者D
3614 奉仕 侍るC3 侍従C4

滋738 ジ㊥
430 食品(1) 滋養B1 滋味C4

慈739 ジ㊥
いつく-しむ㊫
2101 実・義 慈母D
3026 寛厳 慈しみC1 慈悲C1 仁慈C4

璽742 ジ㊥
452 文具 印璽D 国璽D

軸745 ジク㊥
1720 座席 座標軸D 中軸D
414 部品(1) 軸B1 中軸C3 新機軸C4
455 標額 掛け軸C3
522 地 地軸C4

疾749 シツ㊥
1631 遅速 疾うからB2 疾うにB2
1925 急緩 疾風C1 疾走C3 疾駆C4
3025 好悪 疾視D
585 疾病 疾病C2 疾患C4

執750 シツ㊥ シュウ㊥
と-る㊥
3044 覚悟 固執C2 我執C4
3394 手の動作(2) 執るA1 執筆C1 執務C1

湿751 シツ㊥
しめ-る㊥ しめ-す㊥
5133 乾湿 湿すA1 湿布B1 湿疹C2

漆752 シツ㊥
うるし㊥
413 材料(4) 漆器B2
5511 植物(2) 漆B1

芝755 しば㊥
5512 植物(3) 芝A1 芝生A1 芝刈りA2

赦763 シャ㊥
3605 刑罰 恩赦C4 赦免C4
3633 懲戒 容赦C2

斜764 シャ㊥
なな-め㊥
1730 縦横・傾斜 斜かいB3 斜陽C4

煮765 シャ㊫
に-る㊥ に-える㊥ に-やす㊥
3842 家事(3) 煮詰まるB2 生煮えB3
431 食品(2) 煮魚B2 煮豆C1
5132 火 煮え立つA2 煮立てるB3

遮766 シャ㊥
さえぎ-る㊥
1564 防止 遮るB1 遮断C2

邪768 ジャ㊥
1310 正邪 邪道C2 邪C4

蛇769 ジャ㊥ ダ㊥
へび㊥
564 動物(5) 蛇の目傘B2 蛇足C2 竜頭蛇尾C4

勺770 シャク㊥
1918 助数(8) 勺(面積)D

1919 助数(9) 勺(量) D

酌773 シャク(中)
く-む(高)

3063 採択 酌量 C3 参酌 C4
3323 飲食 酌 C2

釈774 シャク(中)

3114 解釈 注釈 C1 釈然 C3
3605 刑罰 釈放 C1 保釈 C4

爵775 シャク(中)

2320 貴族 栄爵 D 爵位 D

寂778 ジャク(中) セキ(高)
さび(中) さび-しい(中) さび-れる(中)

3022 悲苦 寂 A1 寂しい A1 寂れる A1
5021 音(2) 静寂 C2
582 死 帰寂 D 示寂 D

朱782 シュ(中)

5011 色(2) 朱 B1

狩784 シュ(中)
か-る(中) か-り(中)

3350 遊楽 潮干狩り A1 茸狩り A2 蛍狩り B1
3813 漁猟 狩人 A2 狩り B1 狩猟 C1

殊786 シュ(中)
こと(中)

1100 様式 特殊 C1
135 特殊 殊に B1 殊勝 C2

珠787 シュ(中)

450 宝貨 真珠 B1 珠算 B3

趣790 シュ(中)
おもむき(中)

3071 意義・道理 趣味 B1 趣意 C2

寿791 ジュ(中)
ことぶき(中)

3340 祝祭 寿 C3
580 生命 寿命 B1 長寿 C2

需794 ジュ(中)

3703 需給 需要 C1 軍需 C2

儒795 ジュ(中)

234 人物 犬儒 D 俗儒 D 大儒 D
3076 思想 儒教 D 儒仏 D

囚798 シュウ(中)

234 人物 囚人 C1
3605 刑罰 幽囚 D

舟800 シュウ(中)
ふね(中) ふな(中)

463 船車 舟 A1 笹舟 A2

秀801 シュウ(中)
ひい-でる(高)

1311 美好 秀でる B1 秀逸 C4

臭806 シュウ(中)
くさ-い(中)

5030 香 悪臭 B2 うさん臭い C3

愁814 シュウ(中)
うれ-える(高) うれ-い(高)

3022 悲苦 哀愁 C1 旅愁 C2

酬815 シュウ(中)

3112 問答 応酬 C3
3712 給与 報酬 C1

醜816 シュウ(中)
みにく-い(中)

1311 美好 醜行 C3 醜 C4
5013 美醜 醜い A1 美醜 C2

襲817 シュウ(中)
おそ-う(中)

1503 連絡 世襲 C1 踏襲 C4
3531 抗争 逆襲 C1 襲来 C3

汁819 ジュウ(中)
しる(中)

430 食品(1) 汁 A1 汁粉 A2

充[820] ジュウ㊥
あ-てる㊞
1581 補充　充電C1　拡充C2　充当C3
1942 全欠　充実C1　充満C2

柔[822] ジュウ㊥　ニュウ㊥
やわ-らか㊥　やわ-らかい㊥
3016 温順・明朗　柔順C1　柔和C1　柔弱C3
5051 硬軟　柔らかいA1　柔軟C2

渋[825] ジュウ㊥
しぶ㊥　しぶ-い㊥　しぶ-る㊥
3041 勉励　渋るA1　渋渋B2　言い渋るC3
413 材料(4)　渋A1
504 味　渋いA1
5051 硬軟　渋滞(交通〜)C4　難渋C4

銃[826] ジュウ㊥
453 武器　銃B1　銃声B3　猟銃C3

獣[827] ジュウ㊥
けもの㊥
5600 動物(1)　獣A1　野獣C1

叔[829] シュク㊥
215 叔伯　叔父A1　叔母A1

淑[832] シュク㊥
1311 美好　淑女C1
3016 温順・明朗　淑やかにB1　貞淑C3

粛[833] シュク㊥
3012 誠実　厳粛C1　粛清C2
5021 音(2)　静粛C2

塾[835] ジュク㊥
261 学校　塾B1

俊[840] シュン㊥
3057 賢愚　俊才C4　俊秀C4　俊足C4

瞬[842] シュン㊥
またた-く㊞
1610 時間　瞬間B1　瞬時C3
1615 再・毎　瞬き(またたき)B1　瞬くB1
583 生理(1)　瞬き(まばたき)A1

旬[843] ジュン㊥
1612 日　下旬B2　上旬B2　旬日C4

巡[844] ジュン㊥
めぐ-る㊥
1525 周回　お巡り(おまわり)A1　巡回B2

盾[845] ジュン㊥
たて㊥
453 武器　盾C1　矛盾C1　盾突くC3

准[846] ジュン㊥
1041 正副　准后D
3512 許諾　准許D　批准D

殉[847] ジュン㊥
3522 貢献　殉職C1　殉国C3
3614 奉仕　殉ずるC2
582 死　殉死C1　殉難C4

循[849] ジュン㊥
1525 周回　循環B1
3536 服従　因循D　循吏D

潤[852] ジュン㊥
うるお-う㊥　うるお-す㊥　うる-む㊥
3713 損益　潤沢C3　利潤C3
5133 乾湿　潤うB1　潤むC2　潤滑油C4

遵[853] ジュン㊥
3536 服従　遵守D

庶[858] ショ㊥
1942 全欠　庶務C3　庶務D
2101 実・義　庶子D　嫡庶D
230 民衆　庶民C1
2331 階層　衆庶D

緒[861] ショ㊥　チョ㊥
お㊥
1101 系列　一緒(に)A1　由緒C1

1621 初・末　端緒 C4
416　部品(3)　緒(お) D

如[864]　ジョ中　ニョ高

1120 異同　如実 C2　不如意 C4
1300 様相　突如 C2　欠如 C4

叙[867]　ジョ中

3102 記述　自叙伝 C3　叙事詩 C3
3611 任免　叙位 D　叙勲 D

徐[868]　ジョ中

1631 遅速　徐行 C4　徐徐に C4
1925 急緩　徐に C1

升[871]　ショウ中
ます中

1919 助数(9)　升 A1　一升 D　二升 D

召[873]　ショウ中
め-す中

3505 訪問　召集 B1　召す B3　召還 C3

匠[874]　ショウ中

241　職　師匠 C1　巨匠 C3

床[875]　ショウ中
とこ中　ゆか中

443　門　床 A1　苗床 B2　温床 C2
446　机　起床 B1　臨床 C2

抄[876]　ショウ中

3120 筆録　抄本 C4
3821 工(2)　抄紙 D

肖[877]　ショウ中

1120 異同　肖像 B1

尚[878]　ショウ中

3027 敬仰　和尚 A1　高尚 C1
602　助語(3)　尚 A1　尚早 C4

昇[881]　ショウ中
のぼ-る中

1540 上下　昇天 C2　昇降 C3
3306 処世　昇格 C1　昇進 C2

沼[883]　ショウ高
ぬま中

526　海　沼 A1

宵[885]　ショウ高
よい中

1613 昼夜　今宵 B1　宵の明星 B3　宵祭り B3

症[888]　ショウ中

585　疾病　重症 B3　炎症 C3　健忘症 C3

祥[889]　ショウ中

1031 徴候　不祥 C3

称[890]　ショウ中

3101 名　称する B1　改称 C2　通称 C3
3632 賞賛　称える(たたえる) B1　称賛 C4　称揚 C4

渉[894]　ショウ中

1521 歩行　跋渉 C4　渉猟 D
3520 参加　交渉 D　渉外 D

紹[896]　ショウ中

3507 仲介　紹介 B1

訟[897]　ショウ中

3604 訴訟　訴訟 C1

掌[899]　ショウ中

3601 管理　車掌 A1　職掌 C4
573　手足　掌(てのひら) A2　合掌 C2

晶[900]　ショウ中

5012 鮮明　結晶 B1
5112 物質(3)　水晶 B1

焦[902] ショウ㊥
こ-げる㊥ こ-がす㊥ こ-がれる㊥ あせ-る㊞
3022 悲苦 焦る B1 焦らす B3 焦慮 C4
5132 火 焦げ A1 焦げ臭い B3 焦土 C2

硝[903] ショウ㊥
5111 物質(2) 硝子 A1 硝酸 C2 硝煙 C3

粧[904] ショウ㊥
3326 保健 化粧 A1

詔[905] ショウ㊥
みことのり㊞
3115 宣告 詔 C3

奨[909] ショウ㊥
3613 推薦・糾弾 奨励 C1 推奨 C1
3621 勧諭 奨学金 C4

詳[911] ショウ㊥
くわ-しい㊥
3058 綿密 詳しい A1 詳細 C1 詳報 C3
3060 理解 不詳 C4
3066 研究・探索 詳説 C4

彰[912] ショウ㊥
3632 賞賛 表彰 C1 顕彰 D

衝[914] ショウ㊥
1562 衝突 衝動 C1 衝撃 C2
1710 地点 衝 C4 要衝 C4

償[916] ショウ㊥
つぐな-う㊥
3703 需給 報償 C2
3712 給与 償金 C4
3731 弁済 弁償 C1 償い C2 償還 C2

礁[917] ショウ㊥
527 島 珊瑚礁 B2 暗礁 C1 座礁 C1

鐘[918] ショウ㊥
かね㊥
454 もてあそびもの(玩) 鐘 A1 入り相の鐘 C2

丈[920] ジョウ㊥
たけ㊥
1321 英・逸 気丈 D 丈夫 D
1917 助数(7) 三千丈 D
1921 長短 丈(たけ) D 背丈 D
2020 氏・様 吉右衛門丈 D

冗[921] ジョウ㊥
1213 残余 冗長 C2 冗漫 C4
1941 余剰 冗談 A1 冗費 C2

浄[926] ジョウ㊥
1350 清素 御不浄 B3 浄財 C2 不浄 C2
5050 清濁 浄水池 B3 浄書 C4

剰[927] ジョウ㊥
1213 残余 過剰 C2
1941 余剰 剰余 C2 余剰 C2

畳[931] ジョウ㊥
たた-む㊥ たたみ㊥
1570 曲折 畳む A1
1918 助数(8) 畳 B1
445 戸 畳 A1 石畳 C2

縄[933] ジョウ㊥
なわ㊥
416 部品(3) 縄 A1 荒縄 B3 泥縄式 C3

壌[934] ジョウ㊥
5112 物質(3) 土壌 D
520 天地 天壌 D

嬢[935] ジョウ㊥
2020 氏・様 嬢 B2
213 子孫 お嬢さん A1 令嬢 C3

錠[936] ジョウ㊥
1912 助数(2) 錠 B1
415 部品(2) 錠前 A2 手錠 C4
434 薬剤 錠剤 B3

譲[937] ジョウ(中)
ゆず-る(中)

3027 敬仰　謙譲 C3　敬譲 C4
3513 拒否　譲り合う B2
3722 贈与　譲渡 C1　譲位 C3　分譲 C3

醸[938] ジョウ(中)
かも-す(高)

3820 工(1)　醸造 C1　醸す C2　醸成 C4

殖[942] ショク(中)
ふ-える(中)　ふ-やす(中)

1582 伸縮　殖やす A1　生殖 C1　利殖 C3

飾[943] ショク(中)
かざ-る(中)

3325 装身　飾り A1　装飾 B1
3863 加工　松飾り A2　修飾語 C1

触[944] ショク(中)
ふ-れる(中)　さわ-る(中)

1560 接触　触り A1　接触 C1　触手 C3
3001 感覚　触れる B1　手触り B3　感触 C1
3110 談話　前触れ B2　触れ C3

嘱[945] ショク(中)

3611 任免　委嘱 C1　嘱託 C3

辱[948] ジョク(中)
はずかし-める(高)

3029 恥辱　恥辱 C2
3042 栄誉　雪辱 C2
3302 運命　屈辱 C1
3630 待遇　辱める B1　侮辱 C1

伸[951] シン(中)
の-びる(中)　の-ばす(中)

1570 曲折　屈伸 C4　伸す C4
1582 伸縮　伸ばす A1　伸し餅 A2　伸縮 C3
581 生育　伸び伸び B2　伸し上がる B3

辛[954] シン(中)
から-い(中)

3022 悲苦　辛うじて C2　辛酸 C4
504 味　辛い A1　塩辛い A2

侵[955] シン(中)
おか-す(中)

3530 侵害　侵す C1　侵食 C1　侵略 C1

津[957] シン(高)
つ(中)

473 港・城　津津浦浦 C4
527 島　津波 B2

唇[959] シン(高)
くちびる(中)

571 頭　唇 A1

娠[960] シン(中)

584 生理(2)　妊娠 C1

振[961] シン(中)
ふ-る(中)　ふ-るう(中)

1511 回転　久し振り A2　振動 B1　振替 C3
1912 助数(2)　振り(刀剣を数える) A1
3394 手の動作(2)　振り A1　手振り B2　振り切る B2
3621 勧諭　振興 C1　不振 C2

浸[962] シン(中)
ひた-す(中)　ひた-る(中)

1534 埋没　浸る A1　浸透 C3

紳[966] シン(中)

2331 階層　紳士 B1

診[969] シン(中)
み-る(中)

3066 研究・探索　診断 B1
3090 見　診察 B1
3830 衛生　打診 C1　休診 C2　診療 C2

寝[970] シン(中)
ね-る(中)　ね-かす(中)

1513 起倒　寝転がる A2　寝そべる B1
3004 睡眠　寝小便 A2　寝心地 B3
3322 起居　寝床 A2　寝台 B3
3391 立ち居　寝かす A1　寝かせる A1

慎[971] シン(中)
つつし-む(中)

3012 誠実　慎む B1　慎ましい C1　不謹慎 C2

審[973] シン(中)

3066 研究・探索　審議 C1　不審 C2

3604 訴訟　陪審 C4

震 974 シン(中)
ふる-う(中)　ふる-える(中)

1511 回転　震え A1　身震い B1
5114 災害　地震 A1　弱震 C3

薪 975 シン(中)
たきぎ(中)

413 材料(4)　薪 A1　薪割り A2　薪炭 C1

刃 978 ジン(高)
は(中)

453 武器　刃 B1　白刃 B2

尽 980 ジン(中)
つ-くす(中)　つ-きる(中)　つ-かす(中)

1203 消滅　尽くす B1　尽力 C2

迅 981 ジン(中)

1925 急緩　迅速 D

甚 982 ジン(高)
はなは-だ(中)　はなは-だしい(中)

1952 極限　甚だ B1　甚だしい B1　甚大 C4

陣 983 ジン(中)

1720 座席　陣営 C2　退陣 C2　陣頭 C4
260 現場・世界　陣 B1
3533 軍事　背水の陣 B3　戦陣 C2

尋 984 ジン(中)
たず-ねる(中)

1321 英・逸　尋常 C3
3092 探求　尋ねる A1
3112 問答　尋問 C3

吹 987 スイ(中)
ふ-く(中)

325 音楽　吹き寄せ B3　吹き替え C2　吹奏 C3
3396 喫食　吹く A1　吹き矢 B3
5122 晴曇　吹雪 A1　花吹雪 B3

炊 989 スイ(中)
た-く(中)

3323 飲食　雑炊 C3
3842 家事(3)　炊く A1　自炊 C1

帥 990 スイ(中)

242 将兵　元帥 C3

粋 991 スイ(中)

1030 真偽　純粋 B1　生粋 C3
3301 風俗　粋 C2

衰 992 スイ(中)
おとろ-える(中)

1203 消滅　衰え B1　衰弱 C2　老衰 C4
3302 運命　衰滅 C3
3742 富裕　盛衰 C2
582 死　衰亡 C3

酔 994 スイ(中)
よ-う(中)

3002 驚・酔　酔う A1　酔っ払う B3　陶酔 C3
5861 痛・麻　麻酔 C1

遂 995 スイ(中)
と-げる(中)

1623 漸・即　遂に A1
3423 遂行　遂げる B1　成し遂げる B2　未遂 C1

睡 996 スイ(中)

3004 睡眠　睡眠 B1　仮睡 C2

穂 997 スイ(高)
ほ(中)

5514 植物(5)　穂 A1　落ち穂 B2　初穂 C3

錘 998 スイ(中)
つむ(高)

415 部品(2)　鉛錘 D　紡錘 D

随 999 ズイ(中)

1041 正副　随一 C3
1523 先導・追従　追随 C3
1561 附属　随行 C1
3536 服従　随分 A1　随時 C1　随所 C4
3614 奉仕　随員 C3

髄 1000 ズイ(中)

1040 基本　真髄 C3　神髄 C3
575 臓　骨髄 C3　脳髄 C4

枢 1001 スウ(中)

1040 基本　中枢 C1

崇 1002 スウ(中)

3027 敬仰　崇る B1　崇拝 C1　崇高 C2

据 1004 す-える(中)　す-わる(中)

1512 静止　据え付け B2　据置き C1

杉 1005 すぎ(中)

5511 植物(2)　杉 A1　杉菜 B3

畝 1007 せ(中)　うね(中)

1918 助数(8)　畝 C2
470　田園　畝 B1

瀬 1008 せ(中)

525　川　瀬 B1　浅瀬 B2　瀬戸際 C3

是 1009 ぜ(中)

1310 正邪　是非とも B2　是 C2
3080 法則　国是 D　党是 D

井 1010 セイ(高)　ショウ(中)　い(中)

472　池堤　井戸 A1　井戸水 A2

姓 1018 セイ(中)　ショウ(中)

3101 名　百姓 A1　同姓 C2

征 1019 セイ(中)

1520 発着　遠征 C1
3531 抗争　征伐 A2　征服 B2

斉 1022 セイ(中)

1120 異同　一斉に B1　斉唱 C2
1340 整斉・混雑　均斉 C2

牲 1025 セイ(中)

5601 動物(2)　犠牲 B1

逝 1027 セイ(中)　ゆ-く(高)

1520 発着　逝く C2
582　死　長逝 C4

婿 1030 セイ(高)　むこ(中)

211　夫婦　花婿 A2
213　子孫　婿 A1

誓 1037 セイ(中)　ちか-う(中)

3510 契約　誓う B1　宣誓 C1

請 1039 セイ(中)　シン(高)　こ-う(高)　う-ける(中)

3511 請求　強請る B2　請求 C1　懇請 C3

斥 1043 セキ(中)

3092 探求　斥候 C4
3501 断絶　排斥 C1

析 1047 セキ(中)

1553 分散　解析 D
3066 研究・探索　分析 C1　析出 D　分析 D

隻 1048 セキ(中)

1914 助数(4)　隻 B1
1943 単複　隻脚 D　隻手 D

惜 1050 セキ(中)　お-しい(中)　お-しむ(中)

3028 賞嘆　負け惜しみ A2　可惜(あたら) C2
3043 希望　惜しい A1　惜しむ A1

跡 1052 セキ(中)　あと(中)

1720 座席　旧跡 C1　軌跡 C4

籍 1055 セキ(中)

3122 典籍　書籍 C1
3400 身上　戸籍 C1　籍 C2　入籍 C4

拙 1058 セツ中

3051 巧拙　拙い C1　拙速 C3　拙作 C4

窃 1059 セツ中

3421 犯罪　窃盗 C2

摂 1063 セツ中

1340 整斉・混雑　不摂生 C2
3601 管理　摂政 D　摂理 D
3700 取得　摂取 C3

仙 1070 セン中

203 神仏　歌仙 D　神仙 D　仙女 D
234 人物　仙人 B2　歌仙 D

占 1071 セン中
し-める中　うらな-う中

3067 推量　占い B1　占う B1
3700 取得　占領 B1　買い占め B2　独占 C1
3701 保持　占める B1　占有 C3

扇 1079 セン中
おうぎ中

3395 抱・負　扇ぐ A1　扇風機 B2　扇動 C2
422 身の回り　扇 A1　扇子 A1　団扇 A1

栓 1080 セン中

415 部品(2)　栓 A1

旋 1081 セン中

1511 回転　旋回 C1　旋風 C1　旋盤 C2
1525 周回　斡旋 C1　凱旋 C2　周旋 C2
5022 音(3)　旋律 C1

践 1084 セン中

3420 行為　実践 C1

銑 1086 セン中

5111 物質(2)　銑鉄 D　溶銑 D

潜 1087 セン中
ひそ-む中　もぐ-る中

1534 埋没　潜る A1　潜在 C1

遷 1089 セン中

1502 交替・修訂　遷延 C4
1515 転移　変遷 C2
3310 就任　左遷 C2

薦 1091 セン中
すす-める中

3613 推薦・糾弾　推薦 C1　自薦 C4

繊 1092 セン中

1921 長短　繊維 B1　繊細 C4

鮮 1093 セン中
あざ-やか中

2531 各国　朝鮮 D
5012 鮮明　新鮮 B1　鮮血 C2　鮮明 C3

禅 1098 ゼン中

3044 覚悟　座禅 C2　禅宗 C2　禅 C4

漸 1099 ゼン中

1623 漸・即　漸進 C2　漸減 C4

繕 1100 ゼン中
つくろ-う中

3073 訂正・証明　身繕い C4
3862 処理・修理　修繕 B1　繕い B1　繕う B1

阻 1101 ソ中
はば-む高

1564 防止　阻む C1　阻止 C2

租 1103 ソ中

3702 会計　租税 C1　地租 C3
3730 貸借　租界 D　租借 D

措 1105 ソ中

3063 採択　措辞 D　措定 D
3420 行為　挙措 D
3861 設置　措置 C3

粗 1106 ソ中
あら-い中

1340 整斉・混雑　粗末 A1　粗雑 C1　粗茶 C4
3017 粗暴・放漫　粗相 B2　粗探し C4
3058 綿密　粗筋 B2　粗略 C3　粗方 C4

疎 1108 ソ中
うと-い高　うと-む高

1340 整斉・混雑　疎ら(まばら) B1　疎い C1
疎水 C3
1522 通過　疎通 C4
3025 好悪　疎か(おろそか) B1　疎ましい C1
3501 断絶　疎遠 C1　疎外 C4

訴 1109 ソ中
うった-える中

3116 届　訴える B1　直訴 C4
3511 請求　訴願 C4
3604 訴訟　控訴 C1　訴訟 C1　敗訴 C4

塑 1110 ソ中

324 彫刻　彫塑 C3
3863 加工　塑像 C4

礎 1111 ソ中
いしずえ高

1040 基本　基礎 B1
444 柱　礎 C1　礎石 C2

双 1112 ソウ中
ふた中

1943 単複　双葉 B2　双書 C3

壮 1113 ソウ中

141 強弱　壮観 C1　壮大 C2　壮行 C4
205 老幼　強壮剤 C1　壮健 C1　壮者 C4
3015 勇敢　壮烈 C1　勇壮 C1

荘 1119 ソウ中

4410 邸　別荘 B1　山荘 D

捜 1123 ソウ中
さが-す中

3066 研究・探索　捜す A1　捜査 C1　捜索 C1
3092 探求　捜し A1　家捜し B3

挿 1124 ソウ中
さ-す中

1533 包囲　挿絵 A2　挿入 C2
3811 採収　挿し木 B2

桑 1125 ソウ高
くわ中

5511 植物(2)　桑 A1

掃 1126 ソウ中
は-く中

3394 手の動作(2)　掃く A1　掃き溜め B3　煤掃き B3
3844 家事(4)　庭掃除 A2　清掃 C1　掃海 C3

曹 1127 ソウ中

242 将兵　兵曹 D

喪 1131 ソウ中
も中

1203 消滅　喪失 C4
3343 参拝　喪 C1　喪中 C2　喪服 C4

葬 1132 ソウ中
ほうむ-る高

3340 祝祭　葬る B1　葬儀 C1　会葬 C2

僧 1134 ソウ中

244 僧尼　小僧 A1　僧侶 C2　尼僧 C4

遭 1138 ソウ中
あ-う中

1551 集合　遭遇 C3
3306 処世　遭難 C1
3504 面会　遭う D

槽 1139 ソウ中

451 容器　水槽 D　浴槽 D

燥 1141 ソウ中

5133 乾湿　乾燥 B1　焦燥 C3

霜 1142 ソウ高
しも中

5113 物質(4)　霜除け A2　霜枯れ C2

騒1143 ソウ㊥
さわ-ぐ㊥

3541 騒乱　騒ぐ A1　物騒 B1　胸騒ぎ C3
5021 音(2)　騒がしい A1　騒騒しい B1　騒音 C1

藻1144 ソウ㊥
も㊥

5512 植物(3)　藻 A1　藻屑 C4

憎1148 ゾウ㊥
にく-む㊥　にく-い㊥　にく-らしい㊥　にく-しみ㊥

3025 好悪　生憎 A1　憎む A1　憎憎しい B2

贈1150 ゾウ㊥　ソウ㊥
おく-る㊥

3722 贈与　贈り物 A2　寄贈 C3

即1152 ソク㊥

1623 漸・即　即座 C1　即売 C4
3310 就任　即位 C1　即する C2
605　助語(6)　即 B1

促1155 ソク㊥
うなが-す㊥

3621 勧諭　促す C1　督促 C1

俗1161 ゾク㊥

234　人物　俗人 C2　俗名 C4
3300 文化　俗語 C1　俗物 C3　俗謡 C4
3301 風俗　風俗 B1　民俗 C1　習俗 C4

賊1164 ゾク㊥

234　人物　海賊 B1　賊 B1　盗賊 B1

妥1176 ダ㊥

3500 融和　妥協 C2　妥結 C2

堕1177 ダ㊥

1540 上下　堕落 C1　堕する C4
3306 処世　自堕落 C4

惰1178 ダ㊥

3017 粗暴・放漫　惰性 C1　怠惰 C2
3041 勉励　惰弱 C4
3312 休・閑　惰眠 C3　勤惰 C4

駄1179 ダ㊥

3057 賢愚　駄駄っ子 A1　無駄骨 B3
400　貨財(1)　駄賃 A2
422　身の回り　下駄 A1　足駄 B3　駄菓子 C2
5600 動物(1)　駄馬 C2

耐1183 タイ㊥
た-える㊥

1200 存在　耐える B1　耐久 C1
1563 抑圧　耐火 C1　耐寒 C2
3041 勉励　忍耐 C1

怠1185 タイ㊥
おこた-る㊥　なま-ける㊥

3017 粗暴・放漫　怠ける A1　怠け者 A2　怠惰 C2
3041 勉励　怠り B1　怠る B1
3312 休・閑　怠い A1　怠慢 C1　倦怠 C4

胎1186 タイ㊥

575　臓　胎内 D　母胎 D
580　生命　胎児 C3
584　生理(2)　胎内 B2

泰1189 タイ㊥

1330 安危　安泰 C2
3016 温順・明朗　泰然自若 C2
3540 和平　泰平 C2

袋1190 タイ㊦
ふくろ㊥

451　容器　袋 A1　足袋跣 B2　布袋 C4

逮1191 タイ㊥

3605 刑罰　逮捕 C1

替1192 タイ㊥
か-える㊥　か-わる㊥

1502 交替・修訂　引き替える A2　入れ替え A2　詰め替える B3
3302 運命　替え玉 C4
3742 富裕　為替 C1　両替 C1　振替 C3

滞 1195 タイ㊥
とどこお-る㊥

1512 静止　滞り C1　滞る C1　沈滞 C2
1631 遅速　滞在 C1　滞納 C1　遅滞 C1
1925 急緩　滞貨 C2　停滞 C3　渋滞(交通〜) C4

滝 1202 たき㊥

525 川　滝 A1　滝壺 B3

択 1204 タク㊥

3063 採択　選択 C1　採択 C4

沢 1205 タク㊥
さわ㊥

1920 多少　沢山 A1　潤沢 C3　盛り沢山 C3
5010 色(1)　光沢 C1
525 川　沢 C1

卓 1206 タク㊥

1321 英・逸　卓越 C2　卓説 C3
446 机　食卓 A2　卓袱台 B2　教卓 C4

拓 1207 タク㊥

3812 土木　開拓 B1　干拓 C2

託 1208 タク㊥

3110 談話　託ける(かこつける) C1　仮托 D
3115 宣告　托宣 D
3511 請求　託する C2　託送 C3　結託 C4
3611 任免　委託 C1　嘱託 C3
3730 貸借　信託 C1　供託 C3

濯 1209 タク㊥

3841 家事(2)　洗濯 A1　濯ぎ B1　濯ぐ B1

諾 1210 ダク㊥

3069 肯否　諾否 C2
3512 許諾　承諾 C1　受諾 C2　内諾 C3

濁 1211 ダク㊥
にご-る㊥　にご-す㊥

5050 清濁　濁す A1　濁流 C2

但 1212 ただ-し㊥

602 助語(3)　但し C1　但し書き C3

脱 1214 ダツ㊥
ぬ-ぐ㊥　ぬ-げる㊥

1133 被・脱　脱け殻 A2　脱穀 C1　脱水 C3
1535 脱漏　脱臼 C2　虚脱 C3
3325 装身　脱げる A1　脱ぎ捨てる A2　肌脱ぎ B3
3521 去就　脱線 B1　解脱 C3　離脱 C4
3532 防衛　脱する C1　脱出 C1　脱走 C1

奪 1215 ダツ㊥
うば-う㊥

3700 取得　争奪 C2　奪取 C2　略奪 C3

棚 1216 たな㊥

444 柱　棚 A1　神棚 B2

丹 1217 タン㊥

3000 心　丹精 C2　丹念 C2
5011 色(2)　牡丹 A1　牡丹餅 A2

胆 1221 タン㊥

3000 心　落胆 C1　魂胆 C3
3015 勇敢　大胆 B1　剛胆 C4　胆力 C4
575 臓　胆 C4

淡 1223 タン㊥
あわ-い㊥

3026 寛厳　冷淡 C1
5001 光(2)　淡い C2　濃淡 C2
5050 清濁　淡白 C2

嘆 1225 タン㊥
なげ-く㊥　なげ-かわしい㊥

3023 恐怖・憤怒　嘆かわしい B1　嘆息 C1　嘆声 C3
3028 賞嘆　感嘆 C1　詠嘆 C2　驚嘆 C2
3031 泣笑　嘆く B1　嘆ずる C4

端 1226 タン㊥
はし㊥　は㊟　はた㊥

1340 整斉・混雑　端然 C2　端座 C4
1621 初・末　端午 B3　端 C3
1742 頂・央　軒端 B3　端折る C4
1941 余剰　中途半端 A1　端数 C2

鍛 1228 タン㊥ きた-える㊥

3052 学習　鍛える B1　鍛練 C1
3821 工(2)　鍛冶屋 A2

弾 1233 ダン㊥ ひ-く㊥　はず-む㊥　たま㊥

1511 回転　弾み A1　弾き A2　弾ける A2
325 音楽　弾く(ピアノを〜) A1　弾き初め B1
3353 歌舞　弾き手 B3
3613 推薦・糾弾　弾圧 C1　糾弾 C4　弾劾 C4
453 武器　爆弾 B1　実弾 B3　焼夷弾 C4

壇 1236 ダン㊥　タン㊞

260 現場・世界　歌壇 C4　俳壇 C4　文壇 C4
444 柱　教壇 A2　土壇場 B3

恥 1241 チ㊥ は-じる㊥　はじ㊥　は-じらう㊥　は-ずかしい㊥

3029 恥辱　恥ずかしい A1　恥じ入る C3
3042 栄誉　恥 B1

致 1242 チ㊥ いた-す㊥

1300 様相　合致 C2　満場一致 C3
3420 行為　致命傷 C1　致し方 C4
3505 訪問　誘致 C4

遅 1243 チ㊥ おく-れる㊥　おく-らす㊥　おそ-い㊥

1631 遅速　遅れる A1　月遅れ B3　遅配 C3
1925 急緩　遅い A1　遅遅と C2
3057 賢愚　遅鈍 D

痴 1244 チ㊥

3057 賢愚　愚痴 B1　愚痴る B1　痴漢 C3

稚 1245 チ㊥

205 老幼　幼稚園 A2　丁稚 B2　稚児 C1
3057 賢愚　幼稚 B2　稚拙 D

畜 1248 チク㊥

3813 漁猟　家畜 B1　牧畜 B1　畜産 C1
5601 動物(2)　畜生 B1　鬼畜 C2　人畜 C2

逐 1249 チク㊥

1523 先導・追従　逐次 C1　逐年 C1　逐一 C2
3605 刑罰　駆逐 C3　放逐 D

蓄 1250 チク㊥ たくわ-える㊥

3701 保持　蓄え B1　蓄電池 B2　貯蓄 C1

秩 1252 チツ㊥

1101 系列　秩序 C1
3712 給与　秩禄 D　俸秩 D

窒 1253 チツ㊥

5111 物質(2)　窒素 B1

嫡 1256 チャク㊥

213 子孫　嫡子 C2

沖 1260 チュウ㊞ おき㊥

526 海　沖 A1

抽 1263 チュウ㊥

3063 採択　抽象 C1　抽選 C1　抽出 C4

衷 1267 チュウ㊥

3000 心　衷情 C4　衷心 C4

鋳 1268 チュウ㊥ い-る㊥

3821 工(2)　鋳掛け C3　鋳型 C3　鋳造 C3
412 材料(3)　鋳物 B2

駐 1269 チュウ㊥

1512 静止　駐在 B2　進駐 C3

弔 1273 チョウ㊥ とむら-う㊥

3028 賞嘆　弔意 C3
3340 祝祭　弔い B1　弔辞 C1　弔電 C2
3505 訪問　弔問 C3

挑 1278 チョウ(中)
いど-む(中)

3530 侵害　挑む C1　挑戦 C2

彫 1281 チョウ(中)
ほ-る(中)

1571 切断　彫る B1
324　彫刻　彫刻 C1　彫塑 C3　彫像 C4
3863 加工　彫り B1

眺 1282 チョウ(中)
なが-める(中)

3090 見　眺める A1
5281 景　眺め A1　眺望 C1

釣 1283 チョウ(高)
つ-る(中)

1340 整斉・混雑　釣り合い A2　釣り合う A2　不釣り合い B2
1514 懸垂　釣る A1　釣り鐘 A2　釣瓶 A2
3813 漁猟　釣り A1　釣り竿 A2　釣り堀 B3

脹 1287 チョウ(中)

1582 伸縮　膨脹 C1　脹満 D

超 1288 チョウ(中)
こ-える(中)　こ-す(中)

1522 通過　超然 C1　超俗 C3
1941 余剰　超過 C1

跳 1290 チョウ(中)
は-ねる(中)　と-ぶ(中)

1511 回転　跳躍 C1
3392 足の動作　縄跳び A2　跳ぶ D

徴 1291 チョウ(中)

1031 徴候　徴候 C3
1300 様相　特徴 B1　象徴 C1
3703 需給　徴集 C1　徴する C2　徴発 C4

澄 1293 チョウ(高)
す-む(中)　す-ます(中)

5050 清濁　澄まし A1　澄む A1　研ぎ澄ます B3

聴 1295 チョウ(中)
き-く(中)

3001 感覚　聴覚 C1
3093 聞　聴衆 C1　聴診器 C2　謹聴 C4
3512 許諾　聴許 D

懲 1296 チョウ(中)
こ-りる(中)　こ-らす(中)　こ-らしめる(中)

3605 刑罰　懲役 C4
3633 懲戒　懲らしめ B1　懲りる B1　懲罰 C1

勅 1298 チョク(中)

3115 宣告　勅語 C2

沈 1299 チン(中)
しず-む(中)　しず-める(中)

1542 浮沈　沈み A1　沈澱 C1
3022 悲苦　沈黙 C1　沈痛 C3　沈勇 C4

珍 1300 チン(中)
めずら-しい(中)

1351 珍奇　珍奇 C4　珍事 C4　珍味 C4

朕 1301 チン(中)

200　我　われ D

陳 1302 チン(中)

1630 新旧　新陳代謝 C3　陳腐 C4
3091 指示　陳列 B1
3102 記述　陳謝 C1　陳述 C1
3116 届　陳情 C1

鎮 1304 チン(中)
しず-める(高)　しず-まる(高)

1512 静止　文鎮 B1　鎮火 C1　鎮痛剤 C3
3536 服従　鎮圧 C1

墜 1306 ツイ(中)

1540 上下　墜落 B1　失墜 C4　墜死 C4

塚 1309 つか(中)

4411 墓　塚 B1

漬 1310 つ-ける(中)　つ-かる(中)

1534 埋没　漬かる B2
3842 家事(3)　漬ける B2
431　食品(2)　茶漬け A2　奈良漬 B3

坪 1311 つぼ㊥

1918 助数(8)　坪 B1

呈 1313 テイ㊥

1211 露呈　呈する C3
3722 贈与　進呈 C1　贈呈 C1　呈上 C2

廷 1314 テイ㊥

2640 機関(1)　法廷 C1　宮廷 C3　開廷 C4

抵 1318 テイ㊥

1563 抑圧　抵当 C1　抵触 C4
3532 防衛　抵抗 C1　無抵抗 C2

邸 1319 テイ㊥

4410 邸　邸宅 C1　邸 C3

亭 1320 テイ㊥

4420 館　亭主 C1　料亭 C4

貞 1321 テイ㊥

3046 節義　貞操 C1　貞淑 C3

帝 1322 テイ㊥

231　君主　皇帝 B2　帝 C2

訂 1323 テイ㊥

1502 交替・修訂　改訂 C2
3073 訂正・証明　訂正 C1

逓 1325 テイ㊥

1622 順序　逓減 D　逓増 D
2641 機関(2)　逓信 D
3823 通運　逓送 D　逓伝 D

偵 1327 テイ㊥

3092 探求　探偵 B1　偵察 C1

堤 1328 テイ㊥ つつみ㊥

472　池堤　堤 A1　防波堤 B2

艇 1331 テイ㊥

463　船車　競艇 D　漕艇 D　艇庫 D

締 1332 テイ㊥ し-まる㊥　し-める㊥

1344 緊張　締まり A1　引き締まる B1　引き締める B1
1552 絞締　締め出し A2　締め括る B2
3510 契約　締結 C2

泥 1333 デイ㊦ どろ㊥

234　人物　泥棒 A1　こそ泥 B3　泥縄式 C3
3022 悲苦　拘泥 C1　泥む C4
5112 物質(3)　泥海 A2　泥絵の具 B3　泥酔 C4

摘 1336 テキ㊥ つ-む㊥

3394 手の動作(2)　摘む A1　指摘 C1、摘発 C3
3811 採収　花摘み A2　摘み草 A2　茶摘み B2

滴 1337 テキ㊥ しずく㊥　したた-る㊦

1540 上下　滴らす B1　滴る B1
1913 助数(3)　滴 C4
5102 自然(3)　滴 A1　水滴 C4

迭 1340 テツ㊥

1502 交替・修訂　更迭 C3

哲 1341 テツ㊥

234　人物　賢哲 D　聖哲 D　先哲 D
3075 学問(2)　哲学 C1

徹 1343 テツ㊥

1522 通過　徹底 C1　徹頭徹尾 C3

撤 1344 テツ㊥

1202 除却　撤回 C2　撤去 C4

添 1350 テン㊥
そ-える㊥　そ-う㊥

1561 附属　添い寝 B2　添付 C2
1581 補充　添え A1　口添え B3
1941 余剰　添削 C2　添書 C4

殿 1354 デン㊥　テン㊥
との㊥　どの㊥

2020 氏・様　殿 B1　殿様 B2
4420 館　湯殿 B2　殿堂 C4

斗 1356 ト㊥

1919 助数(9)　斗 B2
461　計器　北斗七星 D　漏斗 D

吐 1357 ト㊥
は-く㊥

3396 喫食　吐き気 B3　吐血 C2　吐露 C3
578　便　反吐 B2

途 1359 ト㊥

1516 経路　前途 B2　使途 C3　長途 C4
1621 初・末　途切れる B1　途端 B2

渡 1361 ト㊥
わた-る㊥　わた-す㊥

1521 歩行　渡る A1　渡り廊下 B3　渡り合う C4
1522 通過　渡し船 A2　世渡り B2　橋渡し C2
3722 贈与　言い渡す B2　前渡し C3

塗 1362 ト㊥
ぬ-る㊥

3863 加工　塗り上げる A2　塗炭 C3

奴 1364 ド㊥

2021 者・屋　其奴 A2　守銭奴 C4
2331 階層　奴凧 A2　奴隷 C1　奴 C4

怒 1367 ド㊥
いか-る㊥　おこ-る㊥

3023 恐怖・憤怒　怒鳴る A1　激怒 C3

到 1375 トウ㊥

1520 発着　到着 B1　周到 C1　殺到 C3

逃 1376 トウ㊥
に-げる㊥　に-がす㊥　のが-す㊥　のが-れる㊥

1523 先導・追従　逃れる B1　逃亡 C1
3321 居住　夜逃げ B2　乗り逃げ B3

倒 1377 トウ㊥
たお-れる㊥　たお-す㊥

1513 起倒　薙ぎ倒す B3　貸し倒れ C3

凍 1378 トウ㊥
こお-る㊥　こご-える㊥

5131 変化(2)　凍る A1　凍り付く B2
5133 乾湿　冷凍 B2　凍結 C1　不凍港 C2
5862 飢渇　凍える A1　凍死 C1　凍傷 C2

唐 1379 トウ㊥
から㊥

2531 各国　唐傘 A1　唐黍 B3

桃 1381 トウ㊥
もも㊥

5011 色(2)　桃色 A2
5511 植物(2)　桃 A1　水蜜桃 B3

透 1383 トウ㊥
す-く㊥　す-かす㊥　す-ける㊥

1522 通過　肩透かし C2　浸透 C3　透徹 C4
5001 光(2)　透かす A1　透ける B2

悼 1385 トウ㊥
いた-む㊥

3028 賞嘆　哀悼 C1　追悼 C3

盗 1386 トウ㊥
ぬす-む㊥

234　人物　盗人 A1　盗賊 B1
3421 犯罪　盗み A1　強盗 B1
3700 取得　盗る A1　盗難 C1　盗癖 C3

陶 1387 トウ㊥

3021 快楽　陶酔 C3
3620 教育　薫陶 C4
3863 加工　陶工 C3
412　材料(3)　陶器 B1　陶磁器 B3　陶土 D

塔 1388 トウ㊥

4420 館　塔 A1

搭 1389 トウ㊥
1541 乗降　搭乗 D

棟 1390 トウ㊥
むね㊥　むな㊫
444 柱　棟 B1　棟上げ B2

痘 1392 トウ㊥
5861 痛・麻　種痘 B1　痘痕 C4

筒 1396 トウ㊥
つつ㊥
183 球・輪　円筒 B3　筒袖 B3　筒抜け C1
414 部品(1)　水筒 A1　封筒 A1

稲 1398 トウ㊥
いね㊥　いな㊥
5512 植物(3)　稲 A1　稲刈り A2　陸稲 C4

踏 1399 トウ㊥
ふ-む㊥　ふ-まえる㊥
3392 足の動作　踏ん張り A1　雑踏 C1

謄 1402 トウ㊥
3120 筆録　謄写 B3　謄本 C1

闘 1403 トウ㊥
たたか-う㊥
3531 抗争　格闘 B3　健闘 C3
3541 騒乱　闘う A1　死闘 C2

騰 1404 トウ㊥
1540 上下　沸騰 C1　騰貴 C2　暴騰 C3

洞 1406 ドウ㊥
ほら㊥
184 口・孔　洞 A1　洞 B2
5241 谷　鍾乳洞 C3

胴 1407 ドウ㊥
572 胴　胴 A1　胴体 B3

峠 1415 とうげ㊥
523 山　峠 B1

匿 1416 トク㊥
1220 秘密　匿う C3　隠匿 C4
3091 指示　匿名 C1

督 1419 トク㊥
3600 支配　監督 B1　提督 C4
3621 勧諭　督促 C1　督励 C3

篤 1421 トク㊥
3012 誠実　危篤 B1　篤学 C2　篤と C3

凸 1425 トツ㊥
1821 凹凸　凸凹 A2　凹凸 C1

突 1426 トツ㊥
つ-く㊥
1562 衝突　突き A1　突っ掛かる B2
1821 凹凸　突飛 B2　突端 C2

屯 1428 トン㊥
1551 集合　駐屯 D　屯営 D

豚 1429 トン㊥
ぶた㊥
5600 動物(1)　豚 A1　豚カツ B3

鈍 1430 ドン㊥
にぶ-い㊥　にぶ-る㊥
1821 凹凸　鈍角 C2
3057 賢愚　鈍る B1　愚鈍 C3

曇 1431 ドン㊥
くも-る㊥
5122 晴曇　曇らす A1　曇る A1

軟 1434 ナン㊥
やわ-らか㊥　やわ-らかい㊥
5051 硬軟　軟骨 C1　軟膏 C3

尼 1437 ニ㊫
あま㊥
244 僧尼　尼寺 C4　尼僧 C4

弐 1438 ニ㊥

1910 数詞　弐心 D

尿 1443 ニョウ㊥

578 便　尿 C1　糖尿病 C4

妊 1445 ニン㊥

584 生理(2)　妊娠 C1

忍 1446 ニン㊥
しの-ぶ㊥　しの-ばせる㊥

3026 寛厳　残忍 C2
3041 勉励　堪忍 A1　忍耐 C1　忍苦 C4
3091 指示　忍び込む A2　忍ぶ B1　忍び足 C2

寧 1448 ネイ㊥

1330 安危　丁寧 A1

粘 1452 ネン㊥
ねば-る㊥

5051 硬軟　粘る A1　粘液 C1　粘膜 C2

悩 1454 ノウ㊥
なや-む㊥　なや-ます㊥

3022 悲苦　悩み B1　苦悩 C2

濃 1459 ノウ㊥
こ-い㊥

5001 光(2)　濃い A1　濃淡 C2
5050 清濁　濃厚 C1　濃霧 C2

把 1460 ハ㊥

1913 助数(3)　把 B2
3394 手の動作(2)　大雑把 B2　把握 C3

覇 1464 ハ㊥

2320 貴族　王覇 D
3601 管理　覇気 C1　覇権 C2　覇道 D

婆 1466 バ㊥

205 老幼　婆 A2　老婆心 B3

杯 1468 ハイ㊥
さかずき㊥

1913 助数(3)　一杯に A1　杯 B1　精一杯 B2
451 容器　祝杯 C1　賞杯 C3

排 1473 ハイ㊥

1202 除却　排除 C2
1535 脱漏　排水 B2　排出 C1　排する C4
1574 配列　排列 D
3501 断絶　排斥 C1　排撃 C2　排外 C3
583 生理(1)　排泄 B2　排尿 D　排便 D

廃 1475 ハイ㊥
すた-れる㊥　すた-る㊥

1203 消滅　廃止 B2　全廃 C1　廃業 C2
582 死　廃疾 D　廃人 D

輩 1476 ハイ㊥

2022 衆　若輩 C4　弱輩 C4　輩出 C4
220 相手　先輩 B2　同輩 C2

培 1480 バイ㊥
つちか-う㊦

3810 栽培　栽培 B1　培う C1　培養 C1

陪 1481 バイ㊥

1561 附属　陪審 C4　陪席 C4

媒 1482 バイ㊥

3507 仲介　虫媒花 B3　風媒花 B3　媒介 C1

賠 1484 バイ㊥

3731 弁済　賠償 C1

伯 1486 ハク㊥

215 叔伯　伯父 A1　伯母 A1　伯仲 C3
2320 貴族　伯爵 D
234 人物　画伯 C3
2531 各国　日伯 D　伯西児(ブラジル) D

拍 1487 ハク㊥　ヒョウ㊥

3103 音声・語詞　拍子 A1　拍子木 A2
3393 手の動作(1)　拍手 A1　拍手 C2　拍車 C3

泊 1488 ハク㊥
と-まる㊥　と-める㊥
3322 起居　泊まる A1　泊まり掛け B3　停泊 C3

迫 1489 ハク㊥
せま-る㊥
1560 接触　迫る B1　緊迫 C1　迫力 C2
3740 貧困　窮迫 C3

舶 1490 ハク㊥
463 船車　船舶 C1　舶来 C1　舶載 C2

薄 1492 ハク㊥
うす-い㊥　うす-める㊥　うす-まる㊥　うす-らぐ㊥　うす-れる㊥
1560 接触　肉薄 C1
1921 長短　薄める A1　薄幸 C1　薄暮 C4
3014 卑屈　軽薄 C1　薄志弱行 C2
3026 寛厳　薄情 C1

漠 1494 バク㊥
1921 長短　広漠 D　漠々 D
3058 綿密　漠然と C1
5240 野　砂漠 B1

縛 1495 バク㊥
しば-る㊥
1552 絞締　縛り A1　縛る A1
3605 刑罰　捕縛 C4
3624 規制　束縛 C2　自縄自縛 C3

爆 1496 バク㊥
453 武器　爆撃 B1　爆竹 B2
5114 災害　爆心地 C2
5130 変化(1)　爆発 B1　爆ぜる B3　爆笑 C3

肌 1499 はだ㊥
576 皮膚　肌触り B3　素肌 C3

鉢 1501 ハチ㊥　ハツ㊟
451 容器　鉢 A1　擂鉢 A2　捨て鉢 C1

髪 1503 ハツ㊥
かみ㊥
576 皮膚　髪結い B2　金髪 C4

伐 1504 バツ㊥
3531 抗争　征伐 A2　討伐 C1　殺伐 C3
3811 採収　伐採 C2　乱伐 C2

抜 1505 バツ㊥
ぬ-く㊥　ぬ-ける㊥　ぬ-かす㊥　ぬ-かる㊥
1320 便利　ず抜ける B1　抜きんでる C1　卓抜 C3
1535 脱漏　抜く A1　抜け道 B2　抜歯 C3
3063 採択　見抜く B2　えり抜き C4

罰 1506 バツ㊥　バチ㊥
3605 刑罰　賞罰 B1　厳罰 C2
3633 懲戒　罰 A1　天罰 B3　体罰 C3

閥 1507 バツ㊥
266 組織　財閥 C1　派閥 C3

帆 1511 ハン㊥
ほ㊥
463 船車　白帆 A2　帆柱 A2　帆前船 B3

伴 1512 ハン㊥　バン㊥
ともな-う㊥
1041 正副　伴奏 B1
1523 先導・追従　伴う B1　相伴 C3　伴侶 C4
1561 附属　同伴 C1

畔 1518 ハン㊥
1780 周辺　畔 A1　湖畔 C2

般 1519 ハン㊥
101 事象　一般に B1　全般 C1
1942 全欠　万般 C4

販 1520 ハン㊥
3721 売買　販売 C1　販路 C1　市販 C2

搬 1522 ハン㊥
3823 通運　運搬 B1　搬出 C3

煩 1523 ハン㊥ ボン㊞
わずら-う㊥ わずら-わす㊥

1342 簡約 煩わしい B1 煩雑 C1
3022 悲苦 煩い B1 煩悶 C3

頒 1524 ハン㊥

3724 配布 頒布 C2

範 1525 ハン㊥

1100 様式 範囲 B1 広範 C4 範疇 D
3080 法則 規範 C2
3620 教育 模範 B1 師範 C2

繁 1526 ハン㊥

1342 簡約 繁雑 C1 繁簡 C4
1615 再・毎 頻繁 C2
3312 休・閑 農繁期 B3 繁忙 C2
3742 富裕 繁盛 B1 繁栄 C1 繁華街 C1
5812 茂・枯 繁殖 C1 繁茂 C1

藩 1527 ハン㊥

2530 国 藩 C2 藩主 C3

蛮 1530 バン㊥

230 民衆 南蛮 D 蛮族 D 蛮地 D
3017 粗暴・放漫 野蛮 B2 蛮声 C4

盤 1531 バン㊥

414 部品(1) 円盤 B2 吸盤 B3 旋盤 C2
451 容器 盤 C4 水盤 D
454 もてあそびもの(玩) 算盤 B1 碁盤 B2 音盤 C4
522 地 地盤 C1 基盤 C2 銀盤 C4

妃 1534 ヒ㊥

211 夫婦 妃 C2

彼 1537 ヒ㊥
かれ㊥ かの㊥

200 我 彼 B1 彼等 B2 彼女 C3

披 1538 ヒ㊥

1554 開閉 披露 C2

卑 1541 ヒ㊥
いや-しい㊞ いや-しむ㊞ いや-しめる㊞

1320 便利 卑近 C3
3014 卑屈 卑怯 A1 卑下 C1 卑劣 C2
3301 風俗 卑俗 C4

疲 1543 ヒ㊥
つか-れる㊥ つか-らす㊥

3003 疲労 疲れ A1 疲労 C1 疲弊 C2

被 1545 ヒ㊥
こうむ-る㊥

1130 相対 被害 B1 被る(こうむる) C1 被災 C2
1133 被・脱 被せる A1 被る(かぶせる) A1 引っ被る B3
1533 包囲 頬被り A2
3306 処世 被告 C1 被疑者 C4
3325 装身 法被 B3
421 被服 被服 C1

扉 1547 ヒ㊞
とびら㊥

445 戸 扉 A1

碑 1549 ヒ㊥

3121 文章 碑 B1
455 標額 石碑 B1 墓碑 C3

罷 1550 ヒ㊥

1520 発着 罷り出る D 罷り通る D
3423 遂行 罷業 D
3611 任免 罷免 D

避 1551 ヒ㊥
さ-ける㊥

1564 防止 回避 C1 退避(〜訓練) C2 不可避 C4
3025 好悪 避ける B1 忌避 C3
3306 処世 逃避 C1 避難 C1

尾 1552 ビ㊥
お㊥

1621 初・末 尾行 C1 徹頭徹尾 C3
1912 助数(2) 語尾 C2 末尾 C3
572 胴 尾 A1 交尾 C4

微 1555 ビ中

1922 大小　微力 C1　微震 C4
2331 階層　微官 D　微賤 D
3065 計算(2)　顕微鏡 B1　微分 D

匹 1557 ヒツ中 ひき中

1912 助数(2)　匹 A1
220 相手　匹敵 C1
2331 階層　匹夫 D
5601 動物(2)　馬匹 D

泌 1559 ヒツ中　ヒ高

583 生理(1)　分泌 C4

姫 1561 ひめ中

2020 氏・様　姫 A1
204 男女　舞姫 C4

漂 1568 ヒョウ中 ただよ-う中

1521 歩行　漂う B1　漂わす B1　漂流 C1
3321 居住　漂泊 D　漂浪 D
5130 変化(1)　漂白 D

苗 1570 ビョウ高 なえ中　なわ中

5513 植物(4)　苗 A1　苗木 A2　苗床 B2

描 1573 ビョウ中 えが-く中

3102 記述　描写 C1
3120 筆録　描く B1
323 絵画　素描 C2

猫 1574 ビョウ高 ねこ中

5600 動物(1)　野良猫 A2　猫いらず B3

浜 1576 ヒン中 はま中

527 島　浜 A1　浜辺 A2　海浜 C3

賓 1578 ヒン中

222 主客　来賓 B1　貴賓 C2　主賓 C2

頻 1579 ヒン中

1615 再・毎　頻り A1　一頻 B2　頻頻 C2

敏 1580 ビン中

1631 遅速　機敏 B1　敏速 C1　敏捷 C3
1925 急緩　鋭敏 C1　敏感 C1　過敏 C3
3057 賢愚　敏腕 C3　明敏 C3

瓶 1581 ビン中

451 容器　土瓶 A1　空き瓶 A2　鉄瓶 A2

扶 1587 フ中

3622 援護　扶助 C1　扶養 C2

怖 1589 フ中 こわ-い中

3023 恐怖・憤怒　怖い A1　怖ける B1

附 1590 フ中

1561 附属　附属 B1

赴 1592 フ中 おもむ-く中

1520 発着　赴く C1　赴任 C1

浮 1593 フ中 う-く中　う-かれる中　う-かぶ中　う-かべる中

1542 浮沈　浮き A1　浮力 C1　浮世絵 C3
3014 卑屈　浮気 C4

符 1595 フ中

3105 符号　符丁 B2　符合 C4
456 図冊　切符 A1

普 1597 フ中

1351 珍奇　普通 A1
1942 全欠　普遍的 C3
3300 文化　普及 C1

腐 1598 フ中 くさ-る中　くさ-れる中　くさ-らす中

5130 変化(1)　豆腐 A1　腐食 C1　腐敗 C1
5812 茂・枯　持ち腐れ C2　防腐 C4

5821 傷害　腐す B2

敷 1599 フ(高)
し-く(中)

1514 懸垂　敷く A1　敷布 B1
1720 座席　座敷 A1　桟敷 B2
3822 工(3)　敷設 C2

膚 1600 フ(中)

576 皮膚　皮膚 B1

賦 1601 フ(中)

3703 需給　天賦 C2

譜 1602 フ(中)

3107 図表　音譜 C3　年譜 C4
3122 典籍　楽譜 B2

侮 1603 ブ(中)
あなど-る(高)

3029 恥辱　侮り B1　侮る B1　侮辱 C1

舞 1606 ブ(中)
ま-う(中)　まい(中)

1511 回転　舞い上がる B2　きりきり舞い C4
326 演劇　舞台 A1　歌舞伎 C1
3353 歌舞　しし舞 B3　歌舞 C4
3392 足の動作　見舞う A1　仕舞う A1　振る舞う B1

封 1607 フウ(中)　ホウ(中)

1554 開閉　同封 B2　密封 C3
1913 助数(3)　金一封 D
3611 任免　封建 C1

伏 1609 フク(中)
ふ-せる(中)　ふ-す(中)

1513 起倒　伏し目 B3　起伏 C2
3391 立ち居　伏す B1　起き伏し C3
3536 服従　説伏 C4　説き伏せる D

幅 1612 フク(中)
はば(中)

1901 数(2)　幅跳び A2　全幅 C1

覆 1617 フク(中)
おお-う(中)　くつがえ-す(高)　くつがえ-る(高)

1133 被・脱　覆う A1
1513 起倒　覆す B1　覆る B1　転覆 B2
1533 包囲　覆い A1　日覆い B3
3325 装身　覆面 B2

払 1618 フツ(高)
はら-う(中)

1202 除却　取り払らい B2　人払い C3
3394 手の動作(2)　追い払う A2　追っ払う A2
3702 会計　払い A1　支払い B1　未払い C1

沸 1619 フツ(中)
わ-く(中)　わ-かす(中)

1530 出入　沸き上がる A2　沸き返る B2　沸き立つ B2
5131 変化(2)　沸かす A1　湯沸かし B3　煮沸 C4

紛 1623 フン(中)
まぎ-れる(中)　まぎ-らす(中)　まぎ-らわす(中)　まぎ-らわしい(中)

1340 整斉・混雑　紛らわしい B1　紛れ当たり B3　紛い C3
3603 争乱　紛争 C1　内紛 C4　紛糾 C4

雰 1624 フン(中)

5113 物質(4)　雰囲気 C2

噴 1625 フン(中)
ふ-く(中)

1530 出入　噴水 A2　噴出 C3　噴煙 C4
5114 災害　噴火 B1
5130 変化(1)　噴霧器 C3

墳 1626 フン(中)

4411 墓　墳墓 C2
470 田園　古墳 C1

憤 1627 フン(中)
いきどお-る(高)

3023 恐怖・憤怒　憤り C1　悲憤 C3　憤激 C4
3041 勉励　発憤 C1

丙 1632 ヘイ(中)

1910 数詞　丙 C4

併 1635 ヘイ(中)
あわ-せる(中)

1551 集合　併用C1　併発C3
603　助語(4)　併A1

柄 1637 ヘイ(高)
がら(中)　え(中)

1303 品質　事柄A2　作柄C2　続き柄C4
185　文様　柄(がら)B1　小柄B2　大柄D
415　部品(2)　柄杓B1　取り柄B3

塀 1640 ヘイ(中)

443　門　塀A1　土塀B3　板塀B3

幣 1641 ヘイ(中)

400　貨財(1)　紙幣B1　貨幣C1　幣制D

弊 1642 ヘイ(中)

3300 文化　弊害C1　旧弊C3　語弊C4

壁 1644 ヘキ(中)
かべ(中)

444　柱　壁画C1　鉄壁C4
5241 谷　岸壁C1　絶壁C2

癖 1645 ヘキ(中)
くせ(中)

3010 性癖　手癖B3　習癖C4
3053 記憶　口癖B1

偏 1651 ヘン(中)
かたよ-る(中)

3014 卑屈　偏屈B2
3026 寛厳　偏するC1　偏狭C4
3104 文字　偏B1

遍 1652 ヘン(中)

1911 助数(1)　遍A1　満遍無くC3

捕 1659 ホ(中)
と-らえる(中)　と-らわれる(中)　と-る(中)　つか-まえる(中)　つか-まる(中)

3394 手の動作(2)　生け捕りA2　捕われB1
3605 刑罰　引っ捕らえるB3　捕り物C4
3700 取得　分捕りB3　分捕るB3
3813 漁猟　捕る(魚を〜)A1　捕鯨B2　捕獲C1

浦 1660 ホ(高)
うら(中)

527　島　浦B1　津津浦浦C4

舗 1662 ホ(中)

263　家宅　老舗C1　店舗C4
3822 工(3)　舗道B1　舗装C1

募 1664 ボ(中)
つの-る(中)

3703 需給　募るB1　公募C1　募金C4

慕 1666 ボ(中)
した-う(中)

3025 好悪　慕わしいB1　愛慕C2　追慕C3

簿 1668 ボ(中)

456　図冊　帳簿B3　原簿C2

芳 1671 ホウ(中)
かんば-しい(高)

5030 香　芳しいB1　芳名C3

邦 1672 ホウ(中)

2530 国　邦画B3　邦文C2　友邦C4

奉 1673 ホウ(中)　ブ(中)
たてまつ-る(高)

3522 貢献　奉るC2
3614 奉仕　奉職C1　年期奉公C4
3722 贈与　奉書B2　奉納C1

抱 1675 ホウ(中)
だ-く(中)　いだ-く(中)　かか-える(中)

1913 助数(3)　一抱えD
3395 抱・負　抱き合わせA2　抱くB1

泡 1678 ホウ(中)
あわ(中)

5113 物質(4)　泡立つB3　一泡吹かすC2　泡沫C3

胞 1679 ホウ(中)

213　子孫　同胞C1
550　生物　細胞B2
575　臓　胞子B1　胞衣D　胞胎D

俸 1680 ホウ中

3712 給与　俸給 B1　年俸 C4

倣 1681 ホウ中 ならーう高

3052 学習　模倣 C1

峰 1682 ホウ中 みね中

523 山　峰 A1　高峰 C4

砲 1683 ホウ中

453 武器　鉄砲 A1　無鉄砲 B2　砲撃 C2

崩 1684 ホウ中 くずーれる中　くずーす中

1572 破壊　崩れ A1　崩壊 C1
5114 災害　雪崩 B1
582 死　崩御 C4

飽 1688 ホウ中 あーきる中　あーかす中

1941 余剰　飽くまで B1　飽和 C1　飽食 C2
3003 疲労　飽き A1　飽きる A1

褒 1689 ホウ高 ほーめる中

3632 賞賛　褒める A1　褒美 A1

縫 1690 ホウ中 ぬーう中

3840 家事(1)　縫い A1　縫い糸 B2

乏 1692 ボウ中 とぼーしい中

1920 多少　乏しい B1　欠乏 B2
3740 貧困　貧乏 A1　耐乏 C1　窮乏 C2

忙 1693 ボウ中 いそがーしい中

3312 休・閑　忙しい A1　多忙 C1　忙しない C2

坊 1694 ボウ中　ボッ中

2020 氏・様　赤ん坊 A1　朝寝坊 A2
205 老幼　坊ちゃん A1　坊や A1
244 僧尼　坊さん A1　坊主 A1　照る照る坊主 A2
261 学校　坊 A1

妨 1695 ボウ中 さまたーげる中

1341 具備　妨げ B1
1564 防止　妨げる B1
3530 侵害　妨害 C1

房 1698 ボウ中 ふさ中

186 行列　乳房 A1
2020 氏・様　女房 C2
4410 邸　山房 D　僧房 D
4423 室　暖房 B3　工房 D　独房 D
5514 植物(5)　房 A1　子房 D

肪 1699 ボウ中

577 血・乳　脂肪 B1

某 1700 ボウ中

200 我　誰某 B3　某(それがし) C1　某(なに) C3

冒 1701 ボウ中 おかーす中

3423 遂行　冒険 B1　冒頭 C3
3530 侵害　冒す B1
585 疾病　感冒 B1

剖 1702 ボウ中

1571 切断　解剖 B1

紡 1703 ボウ中 つむーぐ高

3821 工(2)　紡績 B1　紡ぐ C2

傍 1705 ボウ中 かたわーら高

1780 周辺　傍ら B1　傍聴 C1　路傍 C2

帽 1706 ボウ中

422 身の回り　帽 A1　脱帽 B3　帽章 C4

膨 1710 ボウ中 ふくーらむ中　ふくーれる中

1582 伸縮　膨らます A1　膨れ A1　膨大 C4
5131 変化(2)　膨脹 C1

謀 1711 ボウ中 ム高 はかーる高

3082 計画　謀 C1　無謀 C2　た謀り（たばかり）C4

朴 1714 ボク中

3012 誠実　朴訥 C2　質朴 C4
5511 植物(2)　ほおのき D

僕 1716 ボク中

200 我　僕 A1
243 役職　公僕 C1

墨 1717 ボク中 すみ中

435 紅墨　墨絵 B3　眉墨 C4
452 文具　墨汁 B2　墨守 C4
5011 色(2)　墨 A1　墨染め C3

撲 1718 ボク中

1562 衝突　撲滅 C4
3393 手の動作(1)　腕相撲 A1　打撲 C4　撲殺 C4

没 1719 ボツ中

1534 埋没　沈没 B1　没頭 C1　水没 C2
582 死　没年 C3　没後 C4

堀 1720 ほり中

472 池堤　堀 A1　釣り堀 B3

奔 1722 ホン中

3017 粗暴・放漫　奔流 C2　奔放 C3
3321 居住　出奔 C4
3392 足の動作　奔走 C1　東奔西走 C4　奔命 C4

翻 1723 ホン中 ひるがえーる高 ひるがえーす高

1513 起倒　翻す B1　翻る B1
3102 記述　翻訳 C1　翻案 C3

凡 1724 ボン中 ハン高

1321 英・逸　平凡 B1　凡人 C2　凡 C4
1951 概略　凡そ（およそ）A1　凡て（すべて）B1
3057 賢愚　非凡 C3

盆 1725 ボン中

1612 日　うら盆 C2
3340 祝祭　盆踊り A2
451 容器　盆 A1　盆栽 C3
5241 谷　海盆 D　盆地 D

麻 1726 マ中 あさ中

5512 植物(3)　麻 B1　亜麻 C4
5861 痛・麻　麻疹 B1　麻酔 C1　麻薬 C2

摩 1727 マ中

1562 衝突　摩擦 B1　摩滅 C1
3393 手の動作(1)　按摩 A1　乾布摩擦 B2

磨 1728 マ中 みがーく中

1571 切断　鈍磨 D　磨滅 D
3052 学習　練磨 C3
3821 工(2)　磨き A1
3863 加工　磨く A1　歯磨き A2　磨き粉 B3

魔 1729 マ中

203 神仏　邪魔 A1　閻魔 B2　魔除け C4

埋 1733 マイ中 うーめる中 うーまる中 うーもれる中

1534 埋没　埋もれる A1　埋設 C3
1581 補充　埋め合わせ C2　埋め合わせる C2　埋め草 C3
3822 工(3)　埋め立て B2　埋め立てる B2

膜 1735 マク中

574 肉　鼓膜 B1　粘膜 C2　膜 C3

又 1736 また中

601 助語(2)　又とない B3　又聞き B3

抹 1738 マツ中

1571 切断　抹殺 C1
3069 肯否　抹消 C1
3393 手の動作(1)　一抹 C4

慢 1741 マン㊥

1631 遅速　慢性 C2
1925 急緩　緩慢 C2
3029 恥辱　自慢 A1　高慢 C1　慢心 C3

漫 1742 マン㊥

1340 整斉・混雑　散漫 C3　冗漫 C4
3002 驚・酔　漫才 A1　漫然 C3　漫遊 C4
3017 粗暴・放漫　放漫 D

魅 1745 ミ㊥

3634 威嚇　魅力 C1　魅する C4　魅惑 C4

岬 1746 みさき㊥

527 島　岬 A1

妙 1749 ミョウ㊥

1311 美好　神妙 C1　巧妙 C2　妙齢 C3

眠 1751 ミン㊥
ねむ-る㊥　ねむ-い㊥

3004 睡眠　睡眠 B1　就眠 C4

矛 1752 ム㊥
ほこ㊥

453 武器　矛盾 C1　矛 C3

霧 1756 ム㊥
きり㊥

5121 雲雨　霧 A1　霧吹き B3　五里霧中 C3

娘 1757 むすめ㊥

205 老幼　娘 A1　箱入り娘 B3

銘 1763 メイ㊥

3053 記憶　感銘 C1　銘じる C2　銘記 C4
3101 名　銘銘 A1
3121 文章　銘 C2

滅 1765 メツ㊥
ほろ-びる㊥　ほろ-ぼす㊥

1203 消滅　罪滅ぼし C2　滅入る C2　撲滅 C4
3535 滅亡　滅ぶ B1　絶滅 C3
582 死　死滅 C1

免 1766 メン㊥
まぬか-れる㊦

3512 許諾　御免 A1　免許 C2
3532 防衛　免疫 C1
3605 刑罰　赦免 C4　放免 C4
3611 任免　免職 C1　免官 C4
3633 懲戒　免れる B1　免じる C4
3703 需給　免税 C1

茂 1769 モ㊥
しげ-る㊥

5812 茂・枯　茂み A1　生い茂る B2

妄 1772 モウ㊥　ボウ㊦

1310 正邪　妄に(みだりに) B1　妄想 C2
妄動 C3

盲 1773 モウ㊥

5861 痛・麻　盲目 C1　盲人 C2　盲動 C3

耗 1774 モウ㊥　コウ㊦

1203 消滅　消耗 C1

猛 1775 モウ㊥

141 強弱　猛烈 B1　猛進 B3　猛威 C3
3017 粗暴・放漫　猛獣 B2　猛猛しい C1　猛犬 C3

網 1776 モウ㊥
あみ㊥

416 部品(3)　網棚 B2　網羅 C3

黙 1778 モク㊥
だま-る㊥

3100 言語　黙殺 B1　黙認 C1　暗黙 C4
3110 談話　黙る A1　黙読 C1　黙す C4

紋 1780 モン㊥

185 文様　紋白蝶 A2　指紋 C1　波紋 C3
3105 符号　紋 B1　紋切り型 C2　紋服 C4

匁 1782 もんめ㊥

1919 助数(9)　匁 B2

厄 1785 ヤク㊥

3304 苦難　災厄C2　厄日C3　厄落としC4

躍 1790 ヤク㊥
おど-る㊥

1511 回転　躍動C2　躍起C4
3392 足の動作　跳躍C1

愉 1793 ユ㊥

3021 快楽　愉快A1　不愉快B2

諭 1794 ユ㊥
さと-す㊥

3621 勧諭　諭すB1　説諭C4

癒 1796 ユ㊥

585 疾病　腹癒C2　癒えるC2　癒すC2

唯 1797 ユイ㊥　イ㊞

1952 極限　唯A1　唯今A1　唯一C2

幽 1801 ユウ㊥

1211 露呈　幽閉C4
1311 美好　幽玄D
5012 鮮明　幽霊A2

悠 1802 ユウ㊥

1614 老幼・永久　悠久D
3021 快楽　悠長C3　悠然D　悠悠D

猶 1804 ユウ㊥

1631 遅速　猶予C1
602 助語(3)　猶A1

裕 1805 ユウ㊥

3742 富裕　余裕C1　裕福C2　富裕C4

雄 1807 ユウ㊥
お㊥　おす㊥

1321 英・逸　雄大C1　雄(ゆう)C4　雄図C4
234 人物　英雄B1
3015 勇敢　雄弁C1　雄飛C2　雄雄しいC3
550 生物　雄鳥A2　雄花B2

誘 1808 ユウ㊥
さそ-う㊥

1523 先導・追従　誘蛾灯B2　誘導C1　誘因C4
3505 訪問　誘うA1　誘致C4
3613 推薦・糾弾　誘惑C1
3621 勧諭　誘いA1　誘拐C2

憂 1809 ユウ㊥
うれ-える㊥　うれ-い㊥　う-い㊞

3022 悲苦　憂いC1　同憂C3　憂愁C3
3304 苦難　憂患D

融 1810 ユウ㊥

3500 融和　融和C1
3720 交易　金融C1　融資C2　融通C2
5131 変化(2)　融合C1

与 1812 ヨ㊥
あた-える㊥

1102 関係　与かるC1　関与C2
1130 相対　与党C3
3520 参加　参与C2　与するC3
3712 給与　給与C1　賞与C1
3722 贈与　授与C1　寄与C2　付与C4

誉 1815 ヨ㊥
ほま-れ㊥

3042 栄誉　誉れB1　栄誉C2

庸 1823 ヨウ㊥

1321 英・逸　中庸C2　凡庸D

揚 1824 ヨウ㊥
あ-げる㊥　あ-がる㊥

1540 上下　陸揚げB3　旗揚げC3　掲揚C4
3632 賞賛　発揚C3　賞揚C4

揺 1825 ヨウ㊥
ゆ-れる㊥　ゆ-る㊥　ゆ-らぐ㊥　ゆ-るぐ㊥　ゆ-する㊥　ゆ-さぶる㊥　ゆ-すぶる㊥

1511 回転　揺するA1　揺り返すB2

溶 1828 ヨウ㊥
と-ける㊥　と-かす㊥　と-く㊥

5131 変化(2)　溶くA1　溶岩B1　溶鉱炉C2

腰1829 ヨウ㊞
こし㊥

3391 立ち居　逃げ腰 B2　強腰 C3
572 胴　腰 A1　腰掛け A1　腰掛ける A1

踊1831 ヨウ㊥
おど-る㊥　おど-り㊥

3353 歌舞　踊り A1　盆踊り A2
3392 足の動作　小踊り B2

窯1832 ヨウ㊞
かま㊥

446 机　窯業 D　窯元 D

擁1834 ヨウ㊥

3395 抱・負　擁護 C2　抱擁 C4　擁する C4

謡1835 ヨウ㊥
うたい㊞　うた-う㊞

321 文学・芸術　童謡 A1　民謡 C1　謡 C2

抑1837 ヨク㊥
おさ-える㊥

1563 抑圧　抑留 C1　抑揚 C2
3393 手の動作(1)　仰ぐ A1

翼1841 ヨク㊥
つばさ㊥

573 手足　翼 A1　左翼 C1

裸1842 ラ㊥
はだか㊥

570 身体　真っ裸 A2　裸体 C1

羅1843 ラ㊥

1574 配列　網羅 C3　森羅万象 D　羅列 D
416 部品(3)　甲羅 B3　羅針盤 C1

雷1845 ライ㊥
かみなり㊥

453 武器　水雷 B2
5114 災害　雷(かみなり) A1　雷(らい) C2
落雷 C2

頼1846 ライ㊥
たの-む㊥　たの-もしい㊥　たよ-る㊥

3027 敬仰　頼り B1　信頼 B2
3511 請求　頼む A1　頼信紙 B3　空頼み C2

絡1847 ラク㊥
から-む㊞　から-まる㊞

1551 集合　絡む A1　絡げる B1　絡繰 C1

酪1849 ラク㊥

433 食品(4)　酪農 C2

濫1853 ラン㊥

1340 整斉・混雑　濫読 D　濫発 D　濫用 D
5114 災害　氾濫 C1

欄1854 ラン㊥

3106 章段　欄 B1
444 柱　欄干 B1　欄間 C4

吏1855 リ㊥

243 役職　官吏 D　公吏 D

痢1859 リ㊥

5861 痛・麻　赤痢 A2　疫痢 B1　下痢 E2

履1861 リ㊥
は-く㊥

3392 足の動作　履く A1　履き違える B2
3400 身上　履歴 C1
3420 行為　履行 C2　履修 C4
422 身の回り　下履き A2　履物 A2

離1862 リ㊥
はな-れる㊥　はな-す㊥

1560 接触　見離す B2　離散 C3
3506 送迎　離縁 C1　離別 C2

柳1867 リュウ㊥
やなぎ㊥

5511 植物(2)　猫柳 B2　川柳 C1

竜1870 リュウ㊥
たつ㊥

564 動物(5)　竜宮 A2　竜巻 B2　登竜門 C4

粒1871 リュウ㊥
つぶ㊥

183 球・輪　粒 A1　粒選 C2　粒揃い C2

1914 助数(4)　粒 C4
5102 自然(3)　御飯粒 A1　粟粒 B2

隆 1872 リュウ㊥

141　強弱　隆起 C3
3302 運命　興隆 C2
3742 富裕　隆盛 C1

硫 1873 リュウ㊥

5111 物質(2)　硫黄 B2　硫酸 B2

虜 1875 リョ㊥

2331 階層　虜 A2

慮 1876 リョ㊥

3055 思考　遠慮 A1　短慮 C3

了 1877 リョウ㊥

1501 始終　完了 C1　修了 C2
3060 理解　了見 B2　了解 C1　了承 C3

涼 1881 リョウ㊥
すず-しい㊥　すず-む㊥

1924 冷暖　涼しい A1　荒涼 C2
5120 寒暑　涼み A1　清涼 C1　涼風 C3

猟 1882 リョウ㊥

3350 遊楽　猟(狩〜) A1　狩猟 C1
3813 漁猟　不猟 C2　猟銃 C3

陵 1883 リョウ㊥
みささぎ㊞

4411 墓　陵(みささぎ) C1　御陵 C2
523　山　丘陵 C1

僚 1885 リョウ㊥

221　師友　同僚 C1
243　役職　閣僚 C1　官僚 D

寮 1887 リョウ㊥

263　家宅　寮 C1

療 1888 リョウ㊥

3830 衛生　療養 C1　診療 C2　療治 C3

糧 1889 リョウ㊥　ロウ㊞
かて㊞

430　食品(1)　食糧 B1　糧 C2　糧食 C4

厘 1893 リン㊥

1915 助数(5)　七厘 B3

倫 1894 リン㊥

3071 意義・道理　人倫 C3
3075 学問(2)　倫理 C2
3080 法則　絶倫 C4

隣 1896 リン㊥
とな-る㊥　となり㊥

1560 接触　隣 A1　隣接 C3　隣国 C4
1780 周辺　近隣 C2

涙 1898 ルイ㊥
なみだ㊥

577　血・乳　嬉し涙 B3　暗涙 C3

累 1899 ルイ㊥

1573 積重　累代 C3　係累 C4　累累 C4
1580 増減　累加 C4　累積 C4
1615 再・毎　累進 C4

塁 1900 ルイ㊥

1720 座席　本塁打 B2　満塁 B3
473　港・城　土塁 D　砲塁 D

励 1905 レイ㊥
はげ-む㊥　はげ-ます㊥

3041 勉励　励み B1　精励 C1　勉励 C2
3621 勧諭　励ます B1　奨励 C1　督励 C3

戻 1906 レイ㊞
もど-す㊥　もど-る㊥

1526 往復　戻る A1　駆け戻る B3
3703 需給　割り戻し B3　割り戻す B3

鈴 1908 レイ㊥　リン㊥
すず㊥

454 もてあそびもの(玩) 鈴A1 風鈴A1

零 1909 レイ㊥

1910 数詞 零A1 零点A2 零下B2
1922 大小 零細C3 零細D
3302 運命 零落D

霊 1910 レイ㊥ リョウ㊟ たま㊟

1311 美好 霊宝D 霊妙D 霊力D
203 神仏 霊祭りB3 霊前C3
3000 心 霊感C2 霊験C4

隷 1911 レイ㊥

2331 階層 奴隷C1
3104 文字 隷書D

齢 1912 レイ㊥

1900 数(1) 学齢C2 樹齢C4

麗 1913 レイ㊥ うるわ-しい㊟

1311 美好 奇麗A1 秀麗C2 端麗C4
5013 美醜 麗しいB2
5122 晴曇 麗かなB1 麗にB1

暦 1914 レキ㊥ こよみ㊥

3122 典籍 西暦B1 陰暦C4

劣 1917 レツ㊥ おと-る㊥

1321 英・逸 劣るB1 劣等C1
3014 卑屈 下劣C2 卑劣C2 愚劣C4
3051 巧拙 見劣りB2 見劣るB2 拙劣C3

烈 1918 レツ㊥

141 強弱 烈火C4 烈風C4
3017 粗暴・放漫 猛烈B1 熱烈C1 激烈C2

裂 1919 レツ㊥ さ-く㊥ さ-ける㊥

1571 切断 裂け目A2 亀裂C4
5130 変化(1) 分裂C1 支離滅裂C4

恋 1920 レン㊥ こ-う㊥ こい㊥ こい-しい㊥

3025 好悪 恋しいC1 失恋C4 恋仲C4

廉 1922 レン㊥

1926 強弱 廉価C4 廉売C4
3011 清廉 破廉恥C4

錬 1924 レン㊥

3052 学習 鍛錬D 錬成D 錬磨D
3821 工(2) 精錬D 錬金術D

炉 1925 ロ㊥

446 机 囲炉裏A1 炉辺A2 暖炉B2
473 港・城 炉A1 溶鉱炉C2

露 1927 ロ㊥ ロウ㊥ つゆ㊥

1211 露呈 露骨C1 露見C4
2531 各国 日露D 露西亜D
5113 物質(4) 朝露A2 露天C2 露店C4

郎 1930 ロウ㊥

204 男女 野郎B2 源五郎B3

浪 1932 ロウ㊥

234 人物 浪人C1
3321 居住 放浪C1 浪費C1
5123 波浪 波浪C3

廊 1933 ロウ㊥

443 門 渡り廊下B3 歩廊C3

楼 1934 ロウ㊥

4420 館 鐘楼C3 蜃気楼C4

漏 1935 ロウ㊥ も-る㊥ も-れる㊥ も-らす㊥

1535 脱漏 漏るA1 漏電C1

賄 1941 ワイ㊥ まかな-う㊥

3722 贈与 収賄C1 賄うC1 贈賄C3

惑 1942 ワク㊥ まど-う㊥

3002 驚・酔　当惑 C1　戸惑い C2　困惑 C3
3056 迷惑　迷惑 A1
3068 決定　惑う B1　惑星 C1
3634 威嚇　惑わす B1　幻惑 C4　魅惑 C4

枠 1943 わく㊥

186 行列　黒枠 D　別枠 D
414 部品(1)　枠 B1

湾 1944 ワン㊥

527 島　湾 B1　湾曲 C2

腕 1945 ワン㊥ うで㊥

3050 才能　手腕 C1　才腕 C2　敏腕 C3

国立国語研究所刊行言語教育・言語発達関係書目一覧

少年と新聞——小学生・中学生の新聞への接近と理解——
School Children and Newspapers——Their Approach to the Newspapers and Their Comprehension
（報告６，1954年，Ａ５判156ページ，秀英出版，品切れ）

高校生と新聞
High-School Pupils and Newspapers
（国立国語研究所・日本新聞協会共編，1956年，Ａ５判252ページ，秀英出版，品切れ）

青年とマスコミュニケーション
Youth and Mass Communications
（日本新聞協会・国立国語研究所共著，Ａ５判252ページ，1956年，金沢書店，品切れ）

読みの実験的研究——音読にあらわれた読みあやまりの分析——
Experimental Research into Reading Deficiencies——An Analysis of Oral Reading Errors
（報告９，1955年，Ａ５判283ページ，秀英出版，品切れ）

入門期の言語能力
The Language Ability of Children in the Pre-reading Period
（報告７，1954年，Ａ５判217ページ，秀英出版，品切れ）

低学年の読み書き能力
The Language Ability of Children in the First and Second Grades
（報告10，1956年，Ａ５判388ページ，秀英出版，品切れ）

中学年の読み書き能力
The Language Ability of Children in the Third and Fourth Grades
（報告14，1958年，Ａ５判389ページ，秀英出版，品切れ）

高学年の読み書き能力
The Language Ability of Children in the Fifth and Sixth Grades
（報告17，1960年，Ａ５判427ページ，秀英出版，品切れ）

小学生の言語能力の発達
The Development of the Language Ability of School Children
（報告26，1964年，Ａ５判604ページ，明治図書，品切れ）

家庭における子どものコミュニケーション意識
Communication Consciousness of Boys and Girls in Their Homes
（報告33，1968年，Ａ５判149ページ，秀英出版，361円）

中学生の漢字習得に関する研究
Research on the Acquirement of Chinese Characters by Middle School Students
（報告36，1971年，A５判895ページ，秀英出版，品切れ）

幼児の読み書き能力
Reading and Writing Ability in Pre-School Children
（報告45，1972年，B５判527ページ，東京書籍，4500円）

幼時の文構造の発達――３歳～６歳児の場合――
The Development of Syntactic Structures in Children's Speech from 3 to 6
（報告50，1973年，B５判267ページ，秀英出版，品切れ）

幼児語の形態論的な分析――動詞・形容詞・述語名詞――
A Morphological Analysis of Verbs, Adjectives and Predicative Nouns in Children's Speech from 3 to 6
（報告55，1975年，B５判242ページ，秀英出版，品切れ）

幼児の文法能力
Grammatical Ability in Pre-School Children
（報告58，1977年，B５判414ページ，東京書籍，5500円）

児童の表現力と作文
Ability of Written Expression and Composition in Elementary School Children
（報告63，1978年，B５判411ページ，東京書籍，6000円）

幼児の語彙能力
The Lexical Ability of Pre-School Children
（報告66，1980年，B５判514ページ，東京書籍，8000円）

幼児・児童の連想語彙表
Tables of Vocabulary Obtained from Japanese Children by Association Method
（報告69，1981年，B５判324ページ，東京書籍，6800円）

幼児のことば資料（１～６）
A Record of Child-Mother Speech (I-VI)
（言語教育研究部資料，1981年～1983年，B５判363ページ～583ページ，秀英出版，3800円～6000円）

幼児・児童の概念形成と言語
Conceptual Development and Language in Children
（報告72，1982年，B５判341ページ，東京書籍，6800円）

児童・生徒の常用漢字の習得
Acquisition of Joyo Kanzi by School Children
（報告95，1988年，B５判392ページ，東京書籍，7800円）

児童の作文使用語彙
Vocabulary Used in Children's Writings
（報告98，1989年，B５判572ページ，東京書籍，9800円）

国立国語研究所報告 106

常用漢字の習得と指導

付・分類学習漢字表

平成6年3月　　第1刷発行

国立国語研究所
東京都北区西が丘3丁目9番14号　〒115
電話 03-3900-3111(代表)

本書の市販品発行所
東京書籍株式会社
東京都北区堀船2丁目17番1号　〒114
電話 03-5390-7531(営業)
　　03-5390-7505(編集)

ISBN4-487-74701-5　C3037　　NDC375.8

乱丁，落丁の場合はお取り替えいたします。